

**令和7年度
人権尊重社会推進に関する意識調査
報告書**

令和8年3月

渋谷区

目次

はじめに	1
1. 調査概要	2
1-1. 調査目的	2
1-2. 調査概要	2
1-3. 区民意識調査の割付方法について	3
1-4. セクシュアリティの区分方法について	4
1-5. 利用上の注意	7
2. 調査結果のまとめ	8
2-1. 調査全体のまとめ（渋谷区所感）	8
2-2. テーマ別のまとめ	11
3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果	24
3-1. 回答者の基本属性	24
3-2. 男女共同参画について	40
3-3. DV・IPVについて	77
3-4. ワーク・ライフ・バランスについて	97
3-5. 人権に対する意識・関心	109
3-6. 性の多様性について	131
3-7. 犯罪被害者等の支援について	169
3-8. 渋谷区の取組みについて	187
3-9. 自由回答記述一覧（一部抜粋）	202
4. 中生意識調査 調査結果	261
4-1. 回答者の基本属性	261
4-2. 男女共同参画について	263
4-3. DV・IPVについて	298
4-4. 人権にかかわる問題への関心・意識	304
4-5. 性の多様性について	322
4-6. 犯罪被害者等の支援について	335
4-7. 渋谷区の取組みについて	348
4-8. 自由回答記述一覧（一部抜粋）	354
5. 調査票	357

はじめに

令和4年度から令和8年度を計画期間とする「第2次男女平等・多様性社会推進行動計画」は、まもなく計画期間の最終年度を迎える。これを受け、次期計画の検討を行うにあたり、区民等の人権意識を把握するため、令和2年度以来の調査を実施した。

令和2年度から現在までの間に、渋谷区では「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」（以下「旧条例」という。）を「渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例」（以下、「人権条例」という。）に改正した。旧条例ではジェンダー平等（男女や性的マイノリティの人権尊重）に比重が置かれていたところから、「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」を掲げる基本構想の実現に向け、より包括的な人権課題にも対応できる条例へと見直しが図られたところである。

また、ジェンダー平等や性的マイノリティの人権尊重への取組みに関しても、区内外で進展がみられた。全国自治体に先駆けて導入した渋谷区パートナーシップ証明制度については、東京都で令和4年より「東京都パートナーシップ宣誓制度」が導入されたことを受け、渋谷区との間で基本協定を締結した。また、令和6年には、同性カップルだけではなく異性カップルも制度の対象に含めることとし、より包括的な制度へと転換が図られている。加えて、IPV相談支援センターを開設し、配偶者に限らず、結婚していない恋人や元恋人、同居していない交際相手、同性のパートナー間なども含め、性のありように関わらず親密なパートナー間の暴力について相談できる仕組みを整備した。

国では、令和5年6月に、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律（通称：理解増進法）が施行された。同法では、「地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する施策を策定し、及び実施するよう努めるものとする」とされ、地方自治体での対応が一層求められている。

こうした背景を踏まえ、本調査では、過年度調査で把握してきた男女共同参画や性の多様性などの事項に加え、様々な人権にかかわる問題への意識や犯罪被害者への支援など、新たなテーマも含む区民等の意識を聴取し、その実態を明らかにした。

1. 調査概要

1-1. 調査目的

渋谷区民および渋谷区内の事業所・大学等に通う者、渋谷区立中学校の2年生を対象にアンケート調査を実施し、区民等の人権に関する意識や実態等を把握し、今後の区の施策や取組みにあたっての基礎資料を作成することを目的として実施した。

1-2. 調査概要

以下4調査を実施した。それぞれの詳細は、図表1のとおり。

- ・区民意識調査（渋谷区民を対象）
- ・在勤者意識調査（渋谷区内の事業所に通う者を対象）
- ・在学者意識調査（渋谷区内の大学等に通う者を対象）
- ・中学生意識調査（渋谷区立中学校に通う中学2年生を対象）

図表 1 各調査の詳細

	区民意識調査	在勤者意識調査	在学者意識調査	中学生意識調査
調査対象	渋谷区在住の 18 歳～79 歳の 男女 4,000 人	渋谷区内の事業所 で働く労働者 3,156 人	渋谷区内の大学等 に通う学生等 1,369 人	渋谷区立中学校の 中学2年生 646 人
調査方法	性・年代別の構成比が、令和7年7月1日時点の渋谷区在住者の構成比と等しくなるように割付の上、住民基本台帳より対象者を抽出。 郵送により調査協力依頼を送付し、紙面調査票もしくは専用のアンケートフォームでの回答を求めた。	S-SAP(シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー)協定を結ぶ区内企業や大学等へ依頼。担当窓口経由で、該当者へ専用のアンケートフォームを周知し、回答を求めた。		教育委員会担当所管課より、生徒へ回答フォームを周知し、回答を求めた。
調査期間	令和7年9月17日(水)～10月26日(日)			
有効回収数・回収率	1,031 件(25.8%)	465 件(14.7%)	72 件(5.2%)	453 件(70.1%)

1-3. 区民意識調査の割付方法について

前述のとおり、区民意識調査については性・年代別の構成比が、令和7年7月1日時点の渋谷区在住者の構成比と等しくなるように割付の上、住民基本台帳より対象者を抽出した。発出数（抽出件数）および回収サンプルの構成比は、図表2のとおりである。

したがって、発出数に対して回収サンプルのほうが「女性」の比率が高く、「18-29歳」の比率が低い傾向がみられる。

図表 2 発出数・回収サンプルの構成比

	発出数			回収サンプル		
	総数	男	女	総数	男	女
18-29 歳	17.7%	8.7%	9.0%	10.6%	3.9%	6.7%
30-39 歳	20.3%	10.2%	10.1%	17.7%	7.5%	10.2%
40-49 歳	21.3%	10.6%	10.7%	20.1%	7.4%	12.7%
50-59 歳	19.2%	9.2%	10.0%	23.5%	7.5%	16.0%
60-69 歳	12.1%	5.8%	6.3%	16.6%	6.9%	9.7%
70-79 歳	9.5%	4.3%	5.2%	11.6%	5.4%	6.2%
計	100.0%	48.8%	51.2%	100.0%	38.5%	61.5%

1-4. セクシュアリティの区分方法について

各調査では、「出生時の戸籍・出生届に記載された性別」（問 20）や、「今の自身の性別を、出生時に割り当てられた性別と同じだと認識しているか」（問 21）、「今の認識に最も近い性別」（問 21-2）、「性的指向」（問 22）などを尋ね、回答内容を基に回答者のセクシュアリティを区分した。具体的な区分方法は図表 3、設問内容は図表 4 のとおりである。なお、区分は原則として令和 2 年度調査に準拠したものであり、回答者の認識ではなく、調査者による区分である点に留意が必要である。

図表 3 セクシュアリティの区分方法（区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査）

	区分	問 20	問 21	問 21-2	問 22
1	シスジェンダー・異性愛・男性	男性	出生時に割り当てられた性別と同じ	—	異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない
2	シスジェンダー・異性愛・女性	女性	出生時に割り当てられた性別と同じ	—	異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない
		女性	—	女性	異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない
3	※性的マイノリティ計	区分4～9の合計			
4	バイセクシュアル(両性愛)	—	—	—	バイセクシュアル・両性愛者
5	シスジェンダー・ゲイ男性	男性	出生時に割り当てられた性別と同じ	—	ゲイ・レズビアン・同性愛者
		男性	—	男性	ゲイ・レズビアン・同性愛者
6	シスジェンダー・レズビアン女性	女性	出生時に割り当てられた性別と同じ	—	ゲイ・レズビアン・同性愛者
7	エイセクシュアル	—	—	—	アセクシュアルもしくはエイセクシュアル・無性愛者
8	トランスジェンダー・性的指向問わず	男性	別の性別だととらえている／違和感がある	男性以外の選択肢	「決めたくない・決めていない」以外
		女性	別の性別だととらえている／違和感がある	女性以外の選択肢	「決めたくない・決めていない」以外
9	クエスチョニング／クイア	—	—	—	決めたくない・決めていない
10	その他	—	—	—	その他
11	質問の意味が分からない	—	—	—	質問の意味が分からない

注) 上表は、実際に存在した回答パターンを基に作成したものである。

注) 「8 トランスジェンダー・性的指向問わず」は、区分 4、7、9、11 との重複があった。(4 との重複が「区民」で 2 名、「在学者」で 1 名、7 との重複が「区民」で 2 名、「在勤者」で 3 名、「在学者」で 1 名、9 との重複が「区民」で 1 名、11 との重複が「在勤者」で 1 名。)

図表 4 区民意識調査等におけるセクシュアリティの区分に用いた設問

問 20. あなたの性別（出生時の戸籍・出生届の性別）をお答えください。（1 つだけ）

1. 男性
2. 女性

問 21. あなたは今のご自身の性別を、出生時に割り当てられた性別と同じだと認識していますか。（1 つだけ）

1. 出生時に割り当てられた性別と同じ
2. 別の性別だととらえている
3. 違和感がある

【問 21 で 2 か 3 を回答した方に】

問 21-2. 今の認識に最も近い性別を教えてください。（1 つだけ）

1. 男性
2. 女性
3. 男性・女性のどちらでもあると認識している
4. 男性・女性の間であると認識している
5. 男性・女性のどちらでもないと認識している
6. 自分の性別が揺れ動いていると認識している
7. その他（具体的に： _____）

問 22. 今のあなたに最も近いと思うものを教えてください。（1 つだけ）

1. 異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない（異性のみに性愛感情を抱く人）
2. ゲイ・レズビアン・同性愛者（同性のみに性愛感情を抱く人）
3. バイセクシュアル・両性愛者（男女どちらにも性愛感情を抱く人）
4. アセクシュアルもしくはエイセクシュアル・無性愛者
（誰に対しても性愛感情を抱かない人）
5. 決めたくない・決めていない
6. その他（具体的に： _____）
7. 質問の意味がわからない

1. 調査概要

また、中学生意識調査については「出生時の戸籍・出生届に記載された性別」（問 13）、「今の自身の性別を出生時に割り当てられた性別と同じだと感じているか」（問 14）、「今の自分の性別に最も近い性別」（問 14-2）、「恋愛・性愛感情を抱く相手」（問 15）などを尋ね、回答内容を基に回答者のセクシュアリティを区分した。具体的な区分方法は図表 5、設問内容は図表 6 のとおりである。

図表 5 セクシュアリティの区分方法（中学生意識調査）

	区分	問 13	問 14	問 14-2	問 15
1	シスジェンダー・異性愛・男性	男性	問 13 で答えた性別と同じだと感じている	—	女性のみ
		男性	—	男性	女性のみ
2	シスジェンダー・異性愛・女性	女性	問 13 で答えた性別と同じだと感じている	—	男性のみ
		女性	—	女性	男性のみ
3	※性的マイノリティ計	区分4～7の計			
4	バイセクシュアル（両性愛）	—	—	—	男性と女性同じぐらい
5	シスジェンダー・ゲイ男性	男性	問 13 で答えた性別と同じだと感じている	—	男性のみ
6	シスジェンダー・レズビアン女性	女性	問 13 で答えた性別と同じだと感じている	—	女性のみ
7	性別違和・性的指向問わず	男性	ほんとうは別の性別だと感じている／今の自分の性別は、本当の性別と違う部分があると感じている	男性以外の選択肢	—
		女性	ほんとうは別の性別だと感じている／今の自分の性別は、本当の性別と違う部分があると感じている	女性以外の選択肢	—
8	その他1	—	—	—	男女どちらにも恋愛・性愛感情を抱いたことがない
9	その他2	区分1～8にカテゴライズされた人以外			ほとんどが男性／ほとんどが女性

注) 上表は、実際に存在した回答パターンを基に作成したものである。

注) 「7 性別違和・性的指向問わず」は、性的指向を問わないため、区分 4 および 8 と重複があった。（4 との重複が 6 名、8 との重複が 6 名。）

注) 「8 その他 1」の「男女どちらにも恋愛・性愛感情を抱いたことがない」との回答は、成長途上のためにこうした回答をしている可能性もあり、ただちに性的指向と結び付けて解釈することが難しいため、「3 性的マイノリティ 計」には含めていない。

図表 6 中学生意識調査におけるセクシュアリティの区分に用いた設問

問 13. あなたの性別（出生時の戸籍・出生届の性別）をお答えください。（1 つだけ）

1. 男性
2. 女性

問 14. 今の自分の性別に最も近い性別を教えてください。（1 つだけ）

1. 問 13 で答えた性別と同じだと感じている
2. ほんとは別の性別だと感じている
3. 今の自分の性別は、本当の性別と違う部分があると感じている

【問 14 で 2 か 3 を回答した方に】

問 14-2. 今の自分の性別に最も近い性別を教えてください。（1 つだけ）

1. 男性
2. 女性
3. 男性・女性のどちらでもあると認識している
4. 男性・女性の間であると認識している
5. 男性・女性のどちらでもないと認識している
6. 自分の性別が揺れ動いていると認識している
7. その他（具体的に： _____）

問 15. あなたが恋愛・性愛感情を抱く相手について、最も近いと思うものを教えてください。
（1 つだけ）

1. 男女どちらにも恋愛・性愛感情を抱いたことがない
2. 男性のみ
3. ほとんどが男性
4. 女性のみ
5. ほとんどが女性
6. 男性と女性同じぐらい

1-5. 利用上の注意

- ・構成比の数値は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも 100% とならない場合がある。
- ・統計表中に使用されている記号等は、次のとおりである。
「-」は、調査又は集計したが、該当数字がないもの、又は数字が得られないものを示す。
「0」、「0.0」は、調査又は集計したが、該当数字が表章単位に満たないものを示す。

2. 調査結果のまとめ

2-1. 調査全体のまとめ（渋谷区所感）

本調査で把握できた事項は、次のとおりである。

【区民等の理解の土壌】

調査結果から、まず浮かび上がったことは、人権を尊重する社会に対しての区民の意識・関心が高いことであり、多様な人々が自分らしく生きる地域社会への期待を感じることができた。例えば、男女の固定的性別役割分担を否定する割合は区民等で7割超と高く、ワーク・ライフ・バランスのニーズにおいては柔軟な働き方や保育・介護支援の充実が求められるなど、世代横断で「より多様な生き方を実現したい」というニーズが顕在化した。また、男女共同参画や性の多様性、様々な人権にかかわる問題について、世論調査等と比較して区民の意識・関心が高く、「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」という渋谷区が掲げてきた理念が、着実に浸透していることを示しており、今後さらなる取組みを行ううえでも、区民等からの理解を得やすい土壌があると解釈できた。

【誰もが支援につながれる仕組みづくり】

一方、区の今後の政策形成に向けた重要な要素もうかがえた。行政サービスについての認知状況は依然として総じて低い傾向を示しており、DV・IPV、パートナーシップ制度、条例改正など、各制度で「知っていた」と答えた割合は限定的だった。区民等が何らかの困難に直面した際に、行政から切れ目なく支援を受けるためには、あらかじめ行政サービスを認知していることが極めて重要であると考えられる。そのため、現時点では利用ニーズがない（困りごとが顕在化していない）層も含めて、行政サービスについて周知啓発を図り、誰もが支援につながれる仕組みを強化する必要性が浮き彫りになったと言える。

【多文化共生と人権尊重を軸にした安全・安心なまちづくり】

今回の調査項目の特徴として、新たに「多様な人々が誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために充実すべき取組み」を聴取したことが挙げられる。結果、外国人観光客からの迷惑行為への対応や、生活に係る情報案内の多言語対応、人権に関する誤情報や偏見に惑わされず、正しい情報に基づき意思決定をする力（リテラシー）を育む取組みなどが上位に上がり、国際都市・渋谷ならではの“多文化共生”の基盤づくりが区民等の共通関心となっていることが明らかになった。

特に、外国人との共生について渋谷区内でも関心が高まっており、外国人観光客への対応だけでなく、渋谷区で暮らす外国人生活者に生活関連情報¹を発信していくことなども含め、包括的な取組みが必要である様子がうかがわれた。また、外国人に対する排外的な姿勢が生まれないよう、区として、誤情報や偏見の是正などにも取り組むことも欠かせないと考えられた。

¹ 例えば、ゴミの分別など暮らしに関わる情報や、地域活動に関わる情報、行政の相談先等、渋谷区で暮らしていくうえで把握しておくことが有用なあらゆる情報が想定される。

【性の多様性に関する認識の広まりと、求められる取り組み】

性の多様性では、用語認知や肯定的な意識の高さが確認されるとともに、カミングアウトやアウティングの適切な理解も広がりつつあり、多様な家族形態に関する意見等もあるなど、「誰もが自分らしく生きられる社会を望む」という価値観の定着が進んでいることがうかがえた。これは区のこれまでの先駆的な取り組みの成果といえる。一方、住まい探しや医療機関の利用、周囲へのカミングアウトなど、当事者が直面する困難について今後も実態把握に努め、課題解消に取り組む必要がある。

【若年層における人権意識の形成と教育の重要性】

区民等全体の人権意識の高さに加え、中学生の人権課題への高い関心がみられた。性別による「らしさ」の押し付けへの否定的な姿勢がみられた点で明らかのように、「ジェンダー平等」への感覚が若年層で自然な価値観として受け止められているなど、特徴的な点を把握することができた。

一方で、社会経験が限られる中、知識などが十分に備わっていない面があることも確認された。例えば、DV・IPVの認知に関連して、身体的暴力に比して精神的・経済的暴力の理解が低いことや、性の多様性に関連して、カミングアウトされた際の対応に不安を抱える割合が高いこと、性的マイノリティに区分される生徒であっても、性の多様性に関して肯定的な考え方を抱けていない者がいたことなどから、若年層が適切な知識を身に付けられるよう、学習環境の整備が求められる。

また、学校教育の現場では、自由回答において教職員の無意識の偏見により嫌な思いをしたといった記述が寄せられていることから、教職員自身の無自覚な言動が子どもの固定観念形成に影響する可能性も示唆された。

区民からも「子ども・子育て・教育」を重点的に取り組むべき分野として挙げる意見が多く、教職員への研修や学校現場での配慮、相談体制の強化を求める声が寄せられている。次世代を担う若年層が安心して自分らしさを表現し、適切な知識を身に付け、人権を尊重できる環境を整えることは区の人権尊重施策において非常に重要である。

【複合的困難の視点】

本調査では区民等の人権に関する意識について、様々なテーマから実態を浮き彫りにすることができた。一方、「渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例」においては、複数の要因が重なることで生じる特有の差別も重要な課題として位置付けている。包括的な人権課題への対応に向けては、複数の属性・状況が重なって困難が生じる複合的な困難にも目を向けることが欠かせない。

こうしたケースは数も限られ、本アンケートでの実態把握が難しい面もあった。本アンケートの結果を基礎資料としつつ、個別のテーマに関する対応だけに終始することなく、複合的な困難も考慮した区政の推進が求められると考えられた。

以上のとおり、渋谷区が求められる取り組みの方向性として、多様性尊重の基盤強化（制度・情報発信・教育）、誰もが支援につながる社会インフラの再構築、若年層の教育環境の整備、複合的困難への視点をもつ施策の推進などがあることを把握した。

2. 調査結果のまとめ

渋谷区は、パートナーシップ証明制度の拡充や人権条例への改正など、これまでも先進的な取り組みを積み重ねてきている。今回の調査を通じて、それらをさらに発展させ、すべての人が安心して暮らせるまちを実現するための「次の一歩」を後押しする、確かなエビデンスを得ることができた。

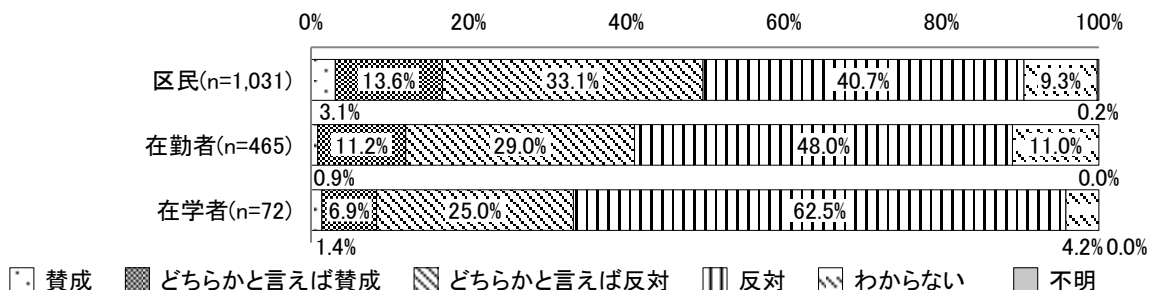
2-2. テーマ別のまとめ

(1) 男女共同参画について

① 固定的性別役割分担意識

- ・ 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成する割合²は、区民では16.7%、在勤者では12.0%、在学者では8.3%となっている。内閣府世論調査³における同割合は33.1%であることから、区民等は、全国的な水準に比べて固定的性別役割分担意識にとらわれておらず、ジェンダー平等意識が進んでいると言える。
- ・ 反対する者、すなわち、固定的性別役割分担意識にとらわれていない層の自由回答をみると、「現代においては個々人の意思を尊重する形で、どちらかだけが我慢して生きていくのではなく、両者（男/女）にどちらの選択肢も与えるべきだ」「基本は性別関係なく、パートナー同士の取り決め。ただし出産の場合はケアが必要。」との意見が寄せられるなど、個々人が配偶者・パートナーと相談の上、主体的に自身の人生を設計できるようにすることの重要性を挙げている。
- ・ また、同割合に関して、中学生では賛成する割合が11.0%であり、区民等と同水準であった。一方、「わからない」も29.1%を占めており、まだ男女間での固定的性別役割分担に関して賛否を判断し難いという者も相応に存在していた（P. 269 の図表 131 参照）。したがって、学校教育などを始めとする様々な機会や、中学生が身近で興味をもちやすい媒体（SNSやデジタルメディアなど）も活用して、ジェンダーについて考える機会を提供していく必要性がうかがわれた。なお、教職員から「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」などと言われたという回答も一定数みられており（P. 267 の図表 130 参照）、教職員の（無自覚なものも含む）言動が、生徒の固定的性別役割分担意識を強化する可能性も想定されることから、教職員向けの研修なども重要と考えられる。
- ・ なお、区民について、令和2年度調査における賛成の割合は16.4%であり、前回調査時点から大きな変化はみられなかった。全国水準（33.1%）に比べると、すでに区民は固定的性別役割分担意識にとらわれていないと言えることから、この水準を維持またはさらに改善できるよう、今後も区としての取組みを継続することが望ましいと考えられる。

図表 7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への賛否：単数回答（問2）



² 小数点以下の影響で、グラフ中の「賛成」「どちらかと言えば賛成」の割合の合計と、本文中の数値が一致しない場合がある。以降、合計値に言及している箇所について同様。

³ 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和6年9月調査）」

https://survey.gov-online.go.jp/women_empowerment/202502/r06/r06-danjo/

②様々な社会的場面における、ジェンダー平等の達成

- ・ 区民等に対して、様々な場面において男女が平等だと思うかを尋ねたところ、「学校生活の中で」を除き、男性の方が優遇されていると思う割合が高かった（P. 48 の図表 31 参照）。したがって、まだジェンダー平等が達成されていない場面が多いと考えられている様子うかがわれた。
- ・ 具体的な場面についてみると、特に「政治の中で」「社会通念・慣習・しきたりの中で」、男性の方が優遇されていると思う割合が8割超と高かった。令和2年度調査比で、「社会通念・慣習・しきたりの中で」は－5ポイントと若干の改善があるが（前回：86.4%、今回：81.7%）、「政治の中で」は同水準（前回：87.9%、今回：86.3%）となっている。
- ・ ただし、渋谷区では、区議会議員に占める女性割合は44.1%であり⁴、全国平均の20.3%を大きく上回っている。上述の調査結果は区政・区での暮らしに限って聴取したものではないため、結果の解釈には留意が必要だが、渋谷区では政治分野における女性参画も一定程度進んでおり、こうした実態を区民に周知していくことも必要と考えられる。
- ・ また、在勤者については、「職場の中で」男女が平等であると考える割合が、令和2年度調査比で改善しており（前回：32.6%、今回：39.6%）、特に若年層でその傾向が顕著だった。（「18～29歳について前回：34.4%、今回：48.3%、30代について前回：27.9%、今回：42.2%」）。

③子育てについての考え方や、「女性らしさ」「男性らしさ」への意識について

- ・ 区民等における子育てについての考え方をみると、「シスジェンダー・異性愛・女性」の方が「シスジェンダー・異性愛・男性」に比べて、「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい」に賛同する割合が低く、「性別に関わらず、経済的自立や家事ができるように育てるのがよい」「父親は現在よりももっと子育てにかかわるほうがよい」に賛同する割合が高い傾向がみられた（P. 70 の図表 43～P. 76 の図表 48 参照）。こうした結果から、依然として家事・育児等のケア役割が女性に偏っている中で、女性の間で、固定的性別役割分担からの脱却を求める声が高まっている様子うかがわれる。
- ・ また、中学生の間では、「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい」に賛同する割合が「シスジェンダー・異性愛・男性」で46.1%、「シスジェンダー・異性愛・女性」で21.6%であり、大きな乖離があった（P. 285 の図表 143 参照）。中学生の時点で「女性らしさ」「男性らしさ」を求める意識に男女差があり、こうした認識の差が大人になるまで維持されている可能性があることから、前述のとおり、ジェンダーについての教育・学習機会の提供が必要と考えられる。

⁴ 内閣府「市区町村女性参画状況見える化マップ」市区町村議会・議員に占める女性の割合（令和6年度）による。

(2) DV・IPVについて

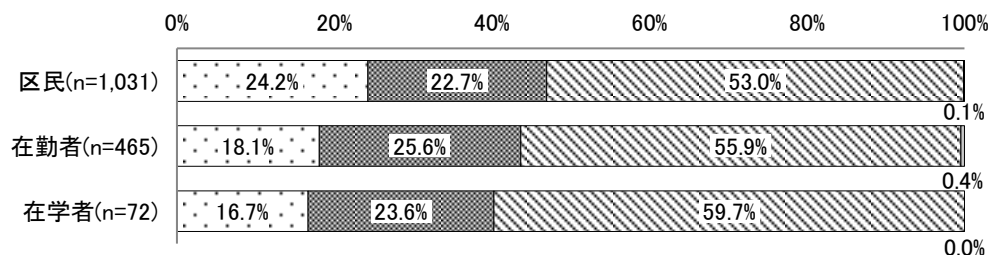
- ・ DV 等に関する用語について、区民等の認知状況をみると、「DV」「セクシュアル・ハラスメント」は「内容まである程度知っている」の割合が9割程度であるのに対し、「IPV」は2割前後であり、「IPV」の認知が進んでいない様子がうかがわれた。渋谷区ではIPVについて、「DVを含む配偶者など身近な人からの暴力（IPV＝Intimate Partner Violence の略）のことを言います。DVは異性間で起こると思われがちですが、同性パートナーの間でも起こりうることです。」と定義・解説しており⁵、DVとの異同も含め、用語についての周知を図ることが重要と考えられる。

図表 8 DV等に関する用語の認知状況：DV：単数回答（問9a）



□ 内容まである程度知っている ■ 聞いたことはあるが、内容は知らない ▨ 聞いたことがない □ 不明

図表 9 DV等に関する用語の認知状況：IPV：単数回答（問9b）



□ 内容まである程度知っている ■ 聞いたことはあるが、内容は知らない ▨ 聞いたことがない □ 不明

- ・ IPV に該当すると思う行為について、区民等では多くの項目で回答割合が約8割以上となっていた（P. 82 の図表 53 参照）のに対し、中学生ではもっとも回答割合が高い項目で8割弱となっていた（P. 302 の図表 158 参照）。中学生では、身体的暴力以外の行為（「男性が避妊に協力しない」「大声でどなる、無視する」「外出先をチェックする、封書やメールを無断で見る」「人前又は人目のないところで馬鹿にする」など）の割合が低く、IPVに関する認識を持てるよう、適切な知識を伝える機会の必要性がうかがわれた。
- ・ なんらかの IPV について、本人が経験または見聞きした経験があるのは4割弱となっている（P. 85 の図表 54 参照）。本人が経験した者のうち約3分の1は誰にも相談しておらず、その理由としては「どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから」が上位に挙がっている（それぞれ P. 87 の図表 55、P. 89 の図表 56 参照。なお、相談しなかった理由については、サンプルサイズが小さいため参考値）。

⁵ 渋谷区「あらゆる人々の多様性を認め合い人権が尊重される渋谷に。渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例について」（パンフレット）による。

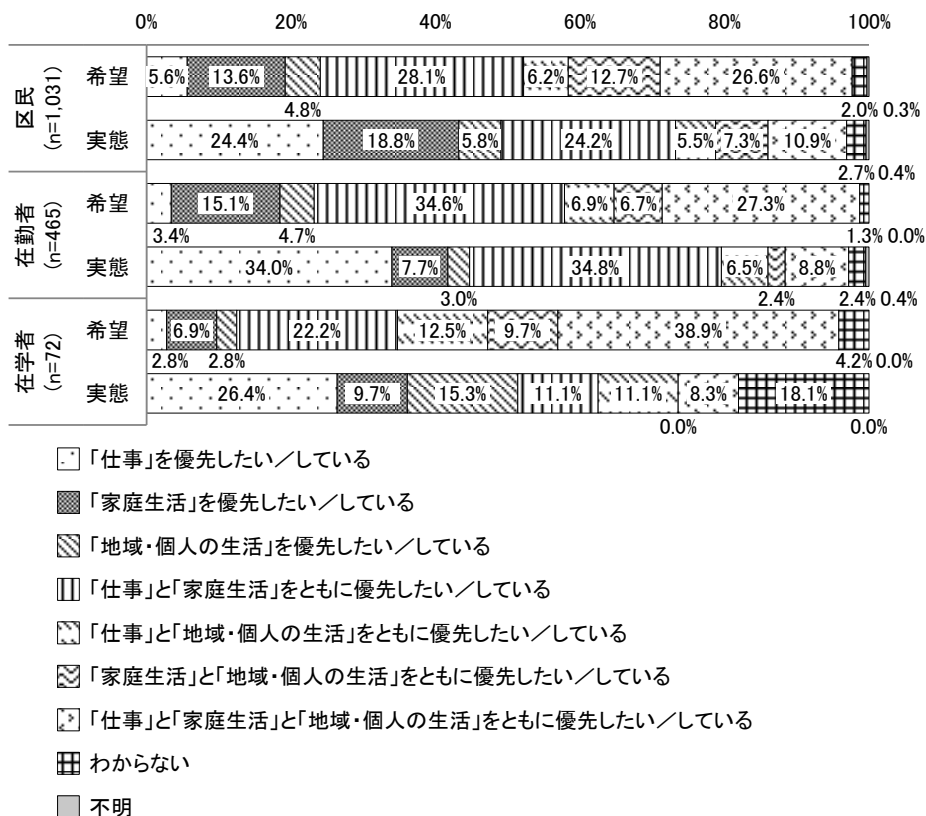
2. 調査結果のまとめ

- これに対し、IPV 相談支援センターの認知は進んでおらず（P.96 の図表 58 参照）、IPV 被害に遭った当事者あるいは周囲の者が、区が設置した相談先につながりづらい可能性もうかがわれた。前述のとおり、「IPV」という用語の認知度の低さを踏まえると、IPV 相談支援センターの機能・役割などが伝わりづらいことも想定されることから、用語の認知度を高めることは支援の実効性を高めるためにも必要であると考えられる。

(3) ワーク・ライフ・バランスについて

- ワーク・ライフ・バランスについて、区民の希望と実態をみると、「仕事」のほか、「家庭生活」や「地域・個人の生活」をともに重視したいという者が多数を占めるのに対し、実態としては「仕事」(のみ)を重視しているという者が多数を占めていた。したがって、区民は必ずしも希望する形でワーク・ライフ・バランスを実現できていない状況にある様子がうかがわれた。また、この傾向は令和2年度調査でも同様であり、改善が進んでいるとは言い難い状況にあった。
- ワーク・ライフ・バランスの実現のために必要だと思う取組みを尋ねたところ、総じて企業・職場の取組みを挙げる者が多く、特に「在勤者」でその傾向が顕著であった(P. 103 の図表 62 参照)。「在勤者」では勤務時間の柔軟化や勤務場所の柔軟化に対するニーズも高い傾向がみられ、単に残業削減や休暇の取得促進といった取組みだけではなく、ライフスタイルに応じて柔軟に働き方を調整できるような取組みも求められている様子がうかがわれた。企業・職場の取組みはあくまでも各社が主導するものであり、各社において制度を充実させるとともに、職場風土を醸成していくことが不可欠であるが、それに加えて区として区内企業に情報提供を図ることや、区職員の働き方改革を進め、率先垂範することなどにより、社会全体の意識改革を図っていくことも重要と考えられる。
- さらに、行政・地域全体での取組みも各項目で4割超と高く、特に「保育・介護サービスが充実すること」の割合が高かった。企業・職場の取組みのみならず、区としての取組みを推進することの重要性もうかがわれた。

図表 10 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の希望と実態
：単数回答（問 14、問 14-2）



(4) 人権に対する意識・関心

①人権にかかわる問題への関心

- ・ 人権にかかわる様々な問題についての関心をみると、関心がある割合は各項目でおよそ5割以上であった（P. 109 の図表 64 参照～P. 127 の図表 81 参照）。中でも、「女性の人権」「子どもの人権」「障がいをもつ理由とする偏見や差別の問題」「インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題」への関心が特に高かった。類似の項目について尋ねた他自治体の調査に比べても高い水準であり、日常生活に密接する人権課題や、現代社会で顕在化している問題に対する関心の高さがうかがわれた。一方、関心が低い項目もみられたことから、身近に感じづらいと思われる課題についても区民等の関心を高めていくことが求められる。
- ・ この点に関連して、例えば「子どもの人権」「高齢者の人権」では、「シスジェンダー・異性愛・男性」よりも「シスジェンダー・異性愛・女性」において関心が高い傾向がみられた。これは「シスジェンダー・異性愛・女性」において、「家事・育児・介護に専念」している割合が高いことも一つの背景と考えられる（P. 28 の図表 22 参照）。すなわち、当該の属性との関わりは、人権課題への関心を高める一助になる可能性がある⁶。
- ・ 人権問題への関心については、中学生についてもほぼ同様の傾向であり（P. 304 の図表 160～P. 321 の図表 177 参照）、大人から子どもまで、渋谷区全体として人権にかかわる問題への関心は高いと考えられる。
- ・ なお、本調査結果に関して、関心の高低と区としての取組みの要否・優先度は必ずしも一致しないことに留意が必要である。区の取組みにより当該の問題が可視化され、区民等の関心を高めている場合もあれば、当該の問題が一定程度解消されたことで、関心の低下につながっている場合も想定されるなど、関心の高低と区としての取組状況と関係は一様ではない。総じて、区民等において人権への関心は高いことを前向きに受け止め、各種人権課題への関心を高めつつ、それぞれについてさらなる取組みを進めていくことが必要と考えられる。

②多様な人々が誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために充実すべき取組み

- ・ 多様な人々が誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために充実すべき取組みとして必要だと思うことをみると、「外国人観光客からの迷惑行為の防止に向けた取組み」がもっとも割合が高くなっている（次頁参照）。外国人観光客からの迷惑行為の中には、ルールやマナー、文化の不知・誤解に基づく場合もあることを考慮しつつ、来街者も含め、多様な人々が共生できるような取組みが必要かどうかうかがわれた。
- ・ また、ほかに「防犯、防災、医療、子育てなど、生活に係る情報案内の多言語対応」「人権に関する誤情報や偏見に惑わされず、正しい情報に基づき意思決定をする力（リテラシー）を育む取組み」などの割合も高い傾向がみられた。観光客だけではなく渋谷区で生活する外国人がいることも踏まえた取組み⁷や、多様な人々が暮らす中、誤情報や偏見に惑わされないよ

⁶ 「シスジェンダー・異性愛・女性」において「家事・育児・介護に専念」の割合が高いことは、固定的性別役割分業の表れとも解釈できるため、こうしたジェンダーによる役割の差が解消されることで、人権課題への関心の差も、一部解消される可能性が考えられる。

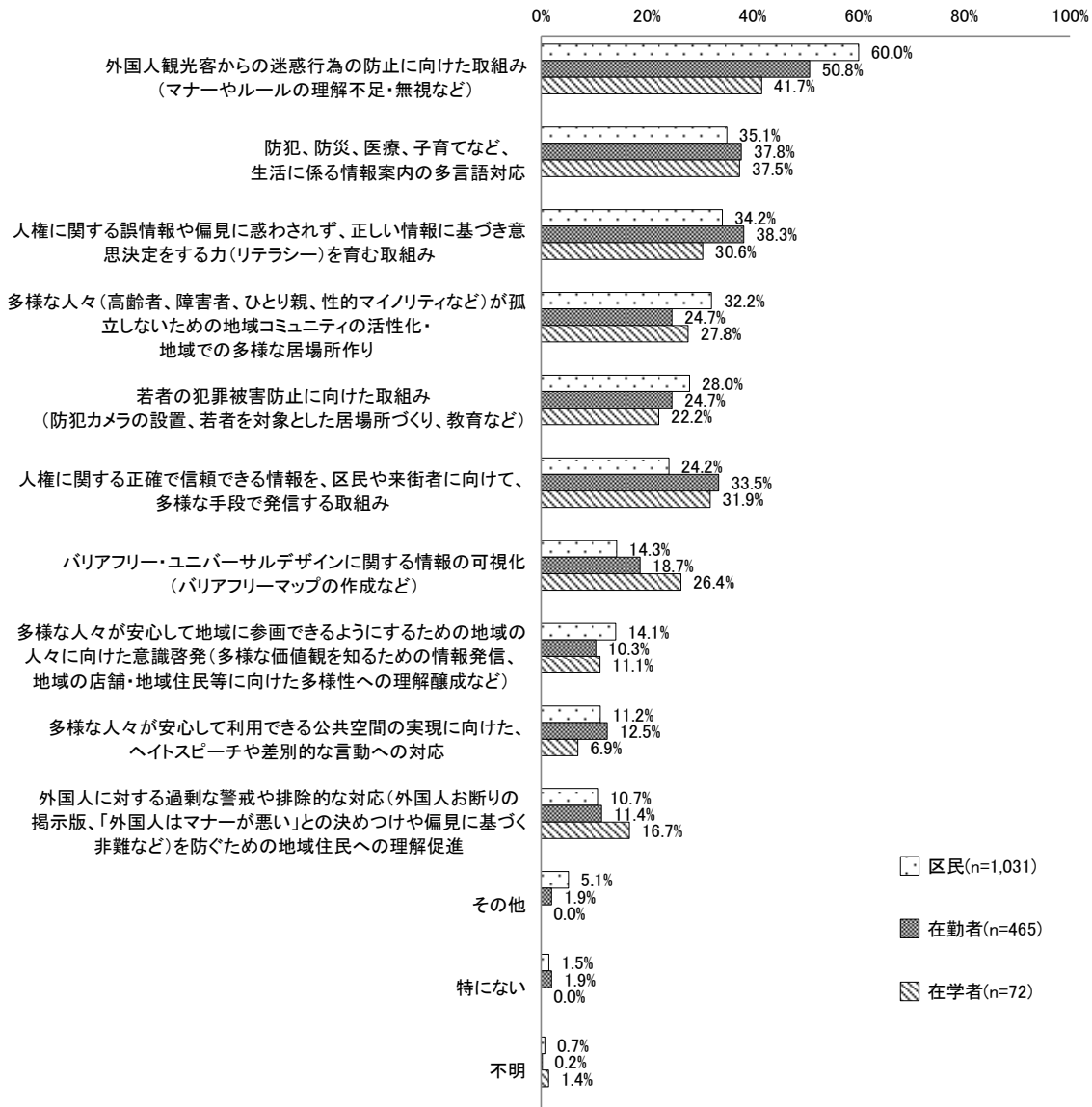
⁷ 例えば、渋谷区では、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社と協働し、外国人高齢者が抱える困難に関する調査を実施している。／三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「外国人高齢者の「助けて」に寄り添う～「外国人高齢者に関する調査」報告書～」

https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2024/03/seiken_240322_01.pdf

2. 調査結果のまとめ

う、正しい情報発信に取り組むことも重要と考えられる。また、平時から多様性の尊重に取り組むことで、災害発生時など緊急時においても、誰もが安心して支援を受けられるまちづくりにつながると期待できる。

図表 11 多様な人々が誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために充実すべき取り組み
：複数回答（問 17）

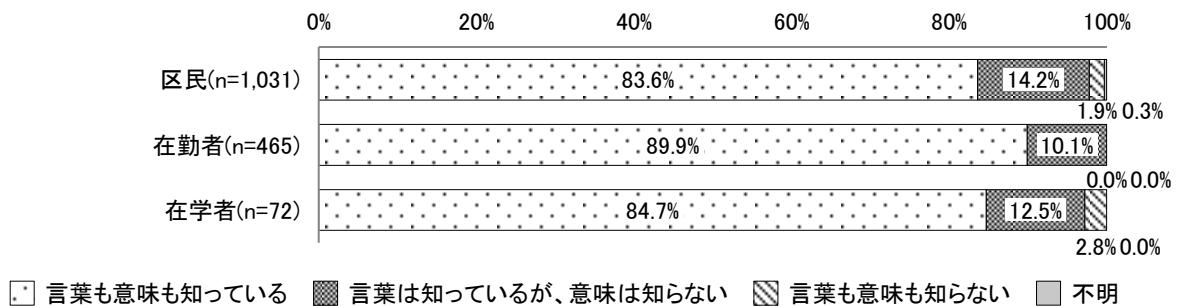


(5) 性の多様性について

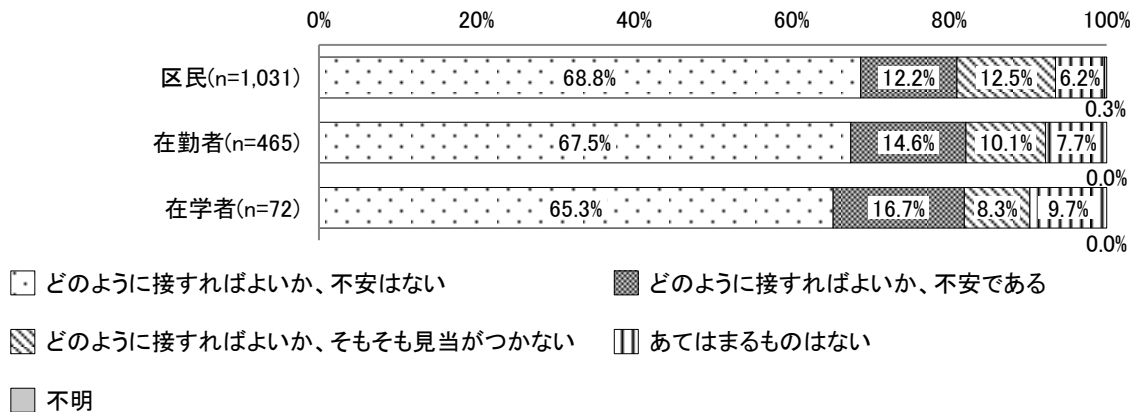
①用語の認知状況や、カミングアウト・アウティングについて

- ・ 「性的マイノリティ」という用語について、「言葉も意味も知っている」割合は区民・在勤者・在学者いずれも8割超となっており、特に区民については令和2年度調査比で5ポイント以上の改善となっている（前回：77.6%、今回：83.6%）。また、調査対象等が異なるため単純比較には留意が必要だが、厚生労働省委託事業⁸における調査結果では同割合が47.3%であり、比較すると高い水準と言える。
- ・ また、カミングアウトを受けたら不安に思うかをみると、「どのように接すればよいか、不安はない」の割合は、区民では7割弱となっている。さらに、アウティングについて、「第三者には伝えるべきでない」「本人からの明示的な許可がない限り第三者に伝えてはいけない」をあわせた割合は、区民では9割弱となっている（P. 149 の図表 93 参照）。これらの項目についても、前述の厚生労働省委託事業ではそれぞれ35.6%、82.5%であり、比較すると区民のほうが高い水準となっている。

図表 12 性的マイノリティという用語の認知状況：単数回答（問 18）



図表 13 カミングアウトを受けたら不安に思うか：単数回答（問 26）

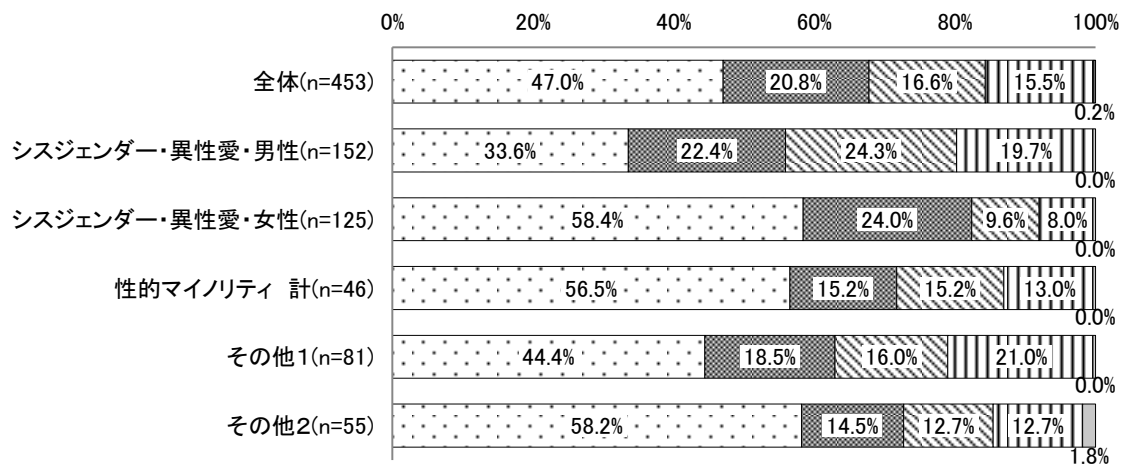


⁸ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「令和6年度職場におけるダイバーシティ調査・推進事業報告書」（厚生労働省委託事業）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001511340.pdf>

- これらの結果を総じてみると、区民等の間で性の多様性への認知が進んでいることや、カミングアウトを受けた場合にも、カミングアウトを受けた側が大きな不安を抱えることなく適切に対応できる環境が整ってきている様子がうかがえる。一方で、本調査の結果からは、カミングアウトしたいと思った当事者が周囲にカミングアウトできているのかどうか、カミングアウトした際に困難に直面していないのかなどは明らかになっていない。そのため、当事者の実態を把握することや、安心して生活できる環境を整えていくことも、依然として重要であると考えられる。
- なお、中学生では、カミングアウトを受けた場合の対応について「見当がつかない」「不安である」割合が区民等に比べて高くなっている。カミングアウトされたとき、アウティングが望ましくないという回答は8割程度であるため（P. 330 の図表 185 参照）、正しい対応は認識しつつも不安・懸念を抱えている様子がうかがわれる。区民等への調査で、性的マイノリティ当事者が直面する困難のうち、特に深刻だと思ふこととして「学校でのいじめや教育現場での理解不足」の割合がもっとも高く（P. 166 の図表 101 参照）、性的マイノリティ当事者の結果に限ってみたときにも同様の傾向であったことを踏まえると、生徒の不安・懸念を払しょくしつつ、学校で適切な対応がとられるような取組みも必要と考えられる。

図表 14 カミングアウトを受けたら不安に思うか：単数回答（問 17）



□ どのように接すればよいか、不安はない

■ どのように接すればよいか、不安である

▨ どのように接すればよいか、そもそも見当がつかない

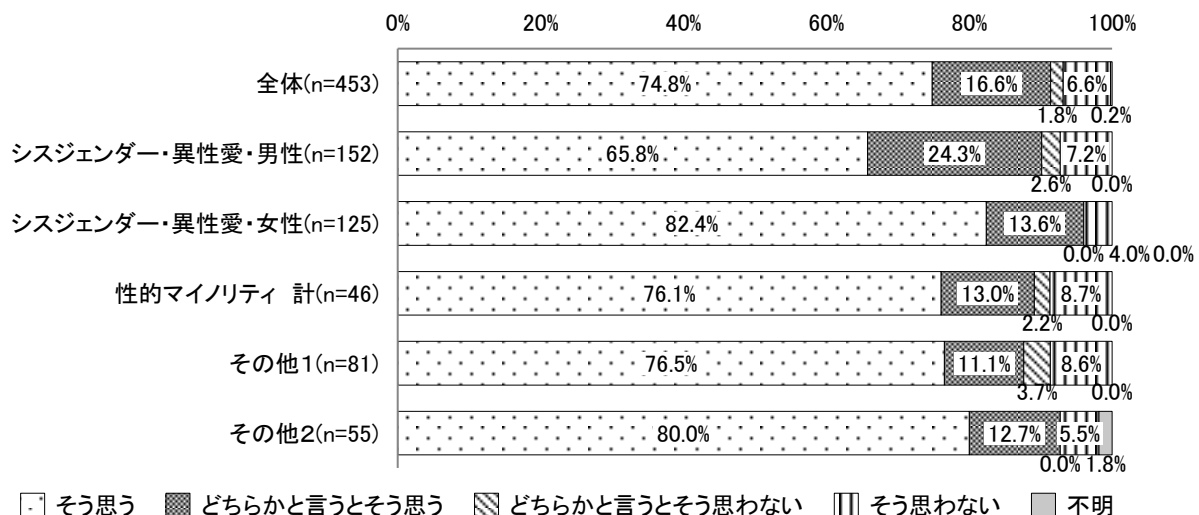
▮ あてはまるものはない

■ 不明

②性の多様性についての考え方

- ・ 「性別を男性から女性に変える人がいることに、抵抗はない」「女性に恋愛感情を抱く女性がいることに、抵抗はない」など、性の多様性についての考え方をみると、各項目でそう思う割合（肯定的な回答の割合）が7割を超えており（P. 151 の図表 94 参照）、性自認に関する項目と性的指向に関する項目のいずれにおいても、性の多様性があるということへの認識が広がっている。
- ・ 「家族が性別を男性から女性に変えるとしても、抵抗はない」「女性の家族が、女性に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない」など、家族について置き換えた場合は、そう思う割合（肯定的な回答の割合）が5割超となっていた（P. 157 の図表 95～P. 162 の図表 99 参照）。過半数には達しているものの、上述のように一般論として尋ねた場合には劣後していることから、区として性の多様性があることを周知するだけではなく、家族の性のあり方を尊重する姿勢を醸成できるような情報発信に取り組む必要性がうかがえる。
- ・ なお、令和2年度調査では、肯定的な回答が8割程度となっていた。設問の表現が異なるため単純比較はできないが、性的指向については今回調査でも8割超が肯定的な回答であったのに対し、性自認に関しては75%程度と、若干低下している。性自認に関する理解や認識をめぐって近年様々な議論や誤解が広がっているため、区として適切な情報発信に取り組む必要があると考えられる。
- ・ また、中学生では、「自分の性別に関する認識や恋愛・性愛感情を抱く性別は、人それぞれであってよい」と思う割合は91.4%であり、令和2年度調査の94.9%と同水準であった。一方、性的マイノリティに区分される者でも同割合は9割程度に留まっており、1割程度は否定的な回答を示していたことから、適切な知識を伝え、性的マイノリティにあたる生徒も自己肯定感を育めるようにする必要性がうかがわれた。

図表 15 自分の性別に関する認識や恋愛・性愛感情を抱く性別は、人それぞれであってよいと思うか：単数回答（問 19）

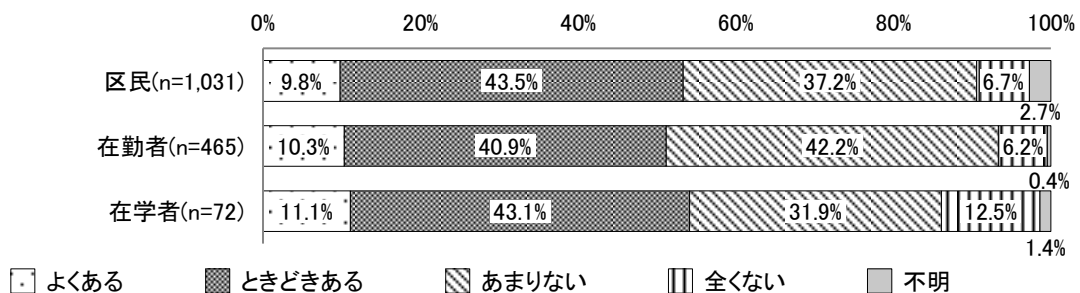


(6) 犯罪被害等の支援について

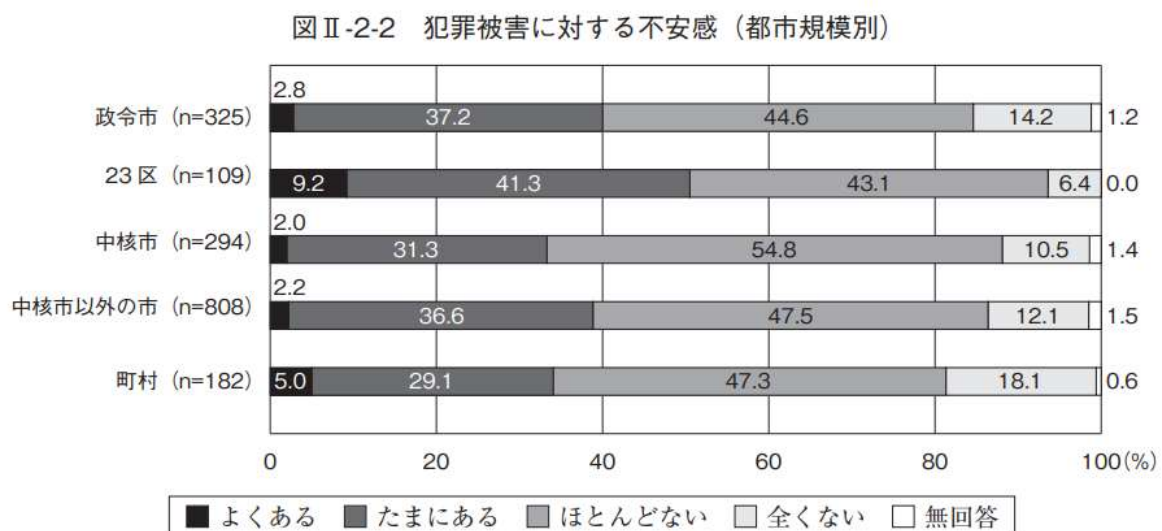
①犯罪不安について

- ・ 区民等について、自身が犯罪不安を感じることをみると、「犯罪全般」に不安を感じる割合は5割超となっている。公益財団法人日工組社会安全研究財団の調査における23区では、類似の項目の割合が50.5%とほぼ同水準となっていた。同調査では、政令市や中核市など他の都市区分に比べ、23区の犯罪不安が高い傾向が確認されており、こうした結果も勘案すると、区民の犯罪不安を払しょくする必要性がうかがわれる。
- ・ 区民等では、「不同意性交、不同意わいせつ」「つきまとい行為、ストーカー行為」「盗撮、痴漢行為」について、「シスジェンダー・異性愛・男性」よりも「シスジェンダー・異性愛・女性」「性的マイノリティ」において、犯罪不安を感じている割合が高かった。同様の傾向は中学生についてもみられ、これらの層では、性犯罪への不安が一定程度存在する様子がうかがわれた。

図表 16 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：犯罪全般：単数回答（問31a）



図表 17 参考：犯罪被害に対する不安感（都市規模別）

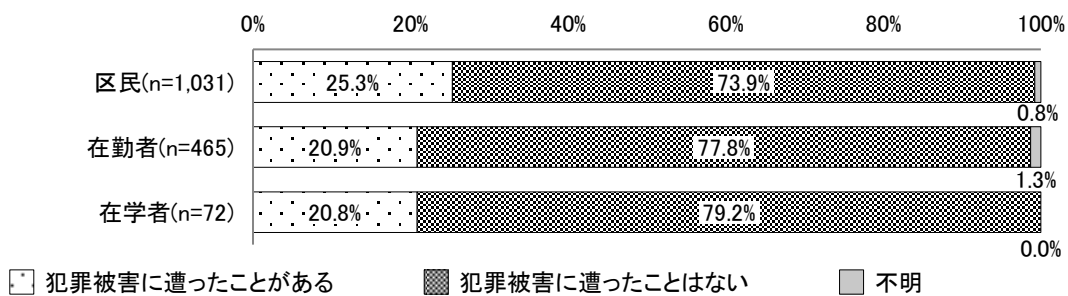


（出所）公益財団法人 日工組社会安全研究財団「犯罪に対する不安感等に関する調査研究— 第6回調査報告書 —」

②犯罪被害の経験や、犯罪被害者に向けた支援について

- ・ 自身や家族が犯罪被害に遭った経験がある区民は、約4人に1人となっている。被害経験は回答者の主観で回答を求めているため、解釈に留意が必要であるが、犯罪あるいは犯罪であると感じられるような被害に遭った経験がある者は相当数に上るとうかがわれ、被害に遭ったときに適切な支援を受けられるような取組みが求められる。
- ・ 渋谷区による犯罪被害者等に向けた支援として充実すべきことをみると、「区民」では、「警察などへの対応に関する支援（法律相談、同行支援、費用助成など）」が51.0%でもっとも割合が高く、次いで「総合的な相談窓口の設置」が43.2%、「医療に関する支援」が34.8%などとなっている（P.184の図表116参照）。こうした結果を踏まえると、防犯活動に取り組む⁹とともに、被害後に速やかな支援が行われる体制を構築することが求められる。
- ・ 一方、犯罪による被害は生命・身体・財産上の直接的な被害だけではなく、様々な二次的被害があるとされるが、これらに関連した項目は総じて回答割合が低い傾向がみられた。背景として、二次的被害の存在が一般に認知されていないことなども想定されることから、犯罪被害者等の支援の必要性について幅広く啓発することも重要と考えられる。

図表 18 自身や家族が犯罪被害に遭った経験：単数回答（問32）



図表 19 参考：二次的被害について



（出所）厚生労働省「犯罪被害者等の被害回復のための休暇制度周知リーフレット（令和5年度）」

⁹ 自由回答では、パトロールの強化や防犯カメラ・街灯の設置を求める意見なども寄せられており、警察や地域と連携した取組み、ハード面の整備なども重要と考えられる。

(7) 渋谷区の実践について

- ・ 「渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例」の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」割合は11.9%となっている（P.187の図表117参照）。令和2年度調査における「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の認知状況から劣後しており、条例改正についての周知に取り組む必要性がうかがわれた。
- ・ また、パートナーシップ証明制度を認知していた者のうち、パートナーシップ証明制度が異性カップルも対象になったことを「知っていた」割合は、区民では31.0%、在勤者では36.0%、在学者では23.7%となっている（P.194の図表121参照）。前回調査と比較し、パートナーシップ証明制度自体の認知もわずかに低下しており、異性カップルが対象になった点も十分に認知されていないことから、制度に関する情報が十分に浸透しているとはいえない。制度の趣旨や近年の変更点（異性カップルも対象になった点など）を多様な層に伝えられるよう、継続的に取り組むことが求められる。
- ・ 渋谷区役所や区の関連施設・教育機関の利用時に、ジェンダーやセクシュアリティに関する配慮が十分でないと感じた経験は、区民・在勤者・在学者いずれも約5%となっている（P.195の図表122参照）。中学生に対し、学校の先生や職員の対応について尋ねた際にも同様の傾向となっている（P.353の図表206参照）。いずれも決して高い割合ではないが、「結婚していた際、夫のことを「旦那様」、自分のことを「奥様」と呼ばれることがあり、悲しかった。また、当時別居婚をしていたが、「結婚＝同居」という意識も強かったように思う。」「昔ですが保育園の先生が、保護者会で保護者に対して「お母さん」と呼ぶこと。お父さんが育児に参加しない前提で話が進んでいた」など、行政サービスの提供にあたって不適切な対応が無いよう、引き続き留意が必要と考えられる。
- ・ 区民等に対し、ジェンダーやセクシュアリティの視点において、渋谷区が取り組むとよいと思うことをみると、区民では、「子ども・子育て・教育」や「健康・医療・福祉」の割合が高くなっている（P.196の図表123参照）。特に割合が高い「子ども・子育て・教育」について自由回答をみると¹⁰、多様性への認識を深めるための教育の必要性や、教職員への啓発の必要性などが挙げられていた。こうした区民からのニーズも踏まえつつ、取り組みを推進することが求められる。

¹⁰自由回答として、例えば以下のような意見が寄せられた。

- ・ 実際に性的マイノリティの方からお話を聞く、性的マイノリティかもしれないと思っている子供が相談できる環境の整備・窓口の設置。
- ・ 正しく知識をつけた教育者が授業を行い、マイノリティの子どもが相談しやすい場や差別されにくい場を作る
- ・ 児童が他の児童とコミュニケーションを取っていくなかで、自他の認識の違い、他人を尊重するマインドを習得できるようなカリキュラムの設定。孤立を防ぐサポート体制の構築。
- ・ 学校の授業の中で、性別に関係なく個人を大切にすることを教えてほしい。
- ・ 児童生徒の相談先の整備。渋谷区は他の行政区に比べてもこの分野の理解促進は進んでいると思うが、教育に携わる関係者の理解は昔と変わっていない気がする。保護者の目の届かない場所だからこそ指導者へ継続的に理解を深めさせてほしい。

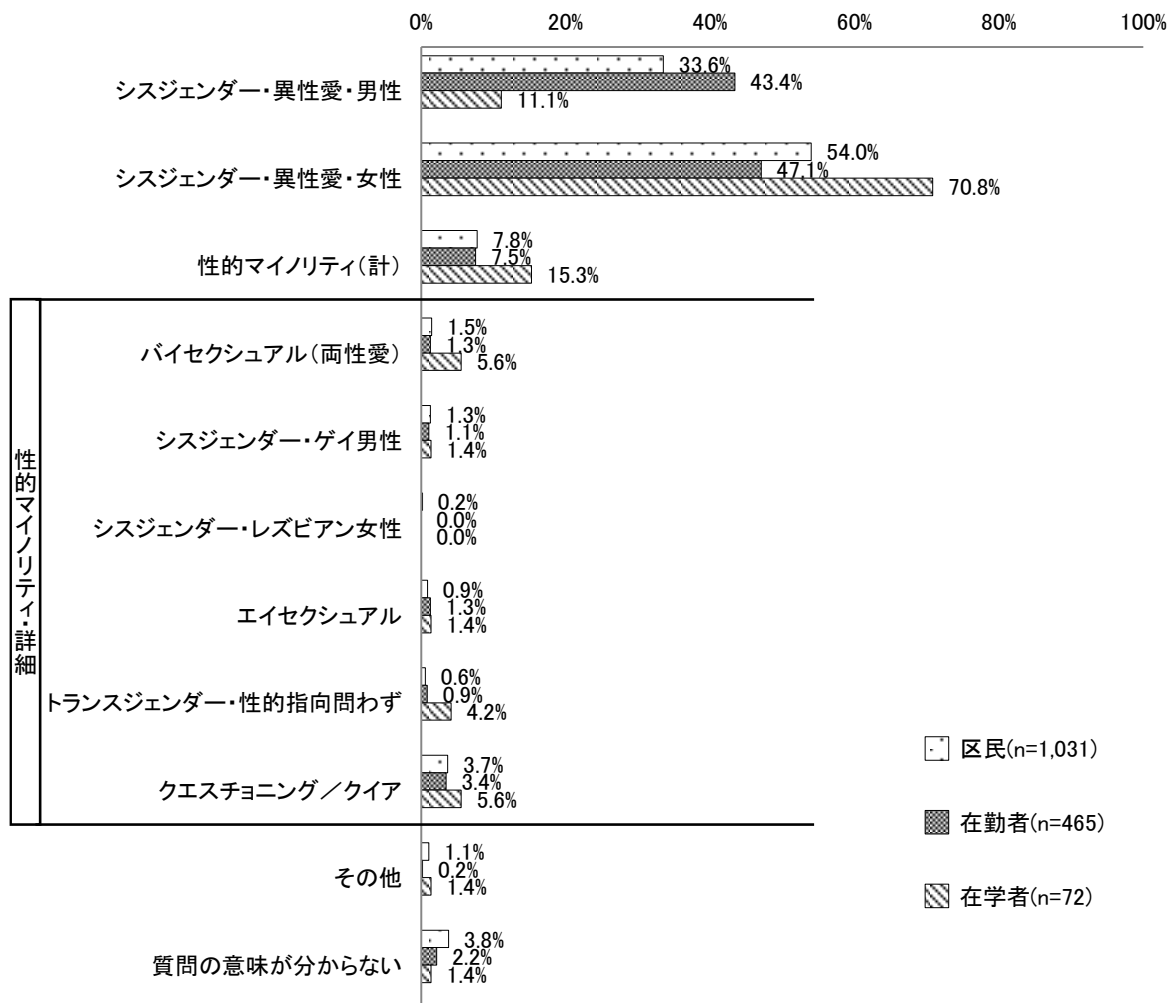
3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

3-1. 回答者の基本属性

(1) セクシュアリティ区分

「出生届に記載された性別」（問 20）、「今の自身の性別を、出生時に割り当てられた性別と同じだと認識しているか」（問 21）、「性自認」（問 21-2）、「性的指向」（問 22）を基に、回答者のセクシュアリティを区分したところ、性的マイノリティにあたる回答者の割合は、「区民」で 7.8%、「在勤者」で 7.5%、「在学者」で 15.3%となっている。

図表 20 セクシュアリティ区分：単数回答（問 20～問 22）



注) セクシュアリティ区分は、問 20、問 21、問 21-2、問 22 の回答により区分しており、後述の中学生調査とは区分方法に相違がある（詳細は、「1. 調査概要」参照）。

注) なお、「トランスジェンダー・性的指向問わず」の中で「バイセクシュアル（両性愛）」との両方に区分された回答者が「区民」で 2 名、「在学者」で 1 名、「エイセクシュアル」との両方に区分された回答者が「区民」で 2 名、「在勤者」で 3 名、「在学者」で 1 名、「クエスチョニング/クイア」との両方に区分された回答者が「区民」で 1 名、「質問の意味が分からない」との両方に区分された回答者が「在勤者」で 1 名存在する。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	セクシュアリティ区分(単数回答)											
			異性愛・男性	異性愛・女性	※性的マイノリティ(計)	バイセクシュアル(両性愛)	ゲイ男性	シスジェンダー・レズビアン女性	シスジェンダー・エイセクシュアル	性的指向問わず	トランスジェンダー・クイア	クエスチョニング／その他	質問の意味が分からない	不明
区民・全体		1,031	33.6	54.0	7.6	1.5	1.3	0.2	0.9	0.6	3.7	1.1	3.8	-
年代	18～29 歳	109	33.0	51.4	11.0	1.8	1.8	0.9	2.8	1.8	2.8	-	4.6	-
	30 代	182	37.4	52.2	8.8	3.3	0.5	-	1.1	-	3.8	1.1	0.5	-
	40 代	207	30.9	56.0	10.1	1.4	2.9	0.5	0.5	1.0	4.8	1.4	1.4	-
	50 代	242	29.8	61.2	6.6	0.8	0.8	-	1.2	0.8	3.7	1.2	1.2	-
	60 歳以上	291	36.4	48.8	4.5	0.7	0.7	-	-	-	3.1	1.0	9.3	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	100.0	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	-	100.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	78	-	-	100.0	19.2	16.7	2.6	11.5	7.7	48.7	-	-	-
	その他	50	-	-	0.0	-	-	-	-	-	-	22.0	78.0	-
在勤者・全体		465	43.4	47.1	7.3	1.3	1.1	-	1.3	0.9	3.4	0.2	2.2	-
年代	18～29 歳	60	28.3	56.7	13.3	6.7	1.7	-	1.7	-	3.3	-	1.7	-
	30 代	90	34.4	52.2	11.1	1.1	1.1	-	3.3	2.2	5.6	-	2.2	-
	40 代	116	53.4	40.5	4.3	-	1.7	-	-	-	2.6	-	1.7	-
	50 代	139	42.4	48.9	5.8	0.7	0.7	-	0.7	0.7	2.9	-	3.6	-
	60 歳以上	60	55.0	38.3	5.0	-	-	-	1.7	1.7	3.3	1.7	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	100.0	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	-	100.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	34	-	-	100.0	17.6	14.7	-	17.6	11.8	47.1	-	2.9	-
	その他	11	-	-	9.1	-	-	-	-	9.1	-	9.1	90.9	-
在学者・全体		72	11.1	70.8	15.3	5.6	1.4	-	1.4	4.2	5.6	1.4	1.4	-
年代	18～29 歳	51	9.8	72.5	13.7	3.9	-	-	2.0	5.9	5.9	2.0	2.0	-
	30 代	10	30.0	40.0	30.0	10.0	10.0	-	-	-	10.0	-	-	-
	40 代	4	-	75.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	50 代	6	-	100.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60 歳以上	1	-	100.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	100.0	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	-	100.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	11	-	-	100.0	36.4	9.1	-	9.1	27.3	36.4	-	-	-
	その他	2	-	-	0.0	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-

注) セクシュアリティ区分別の集計は、「性的マイノリティ」と「その他」に重複する回答者が含まれるため、「シスジェンダー・異性愛・男性」「シスジェンダー・異性愛・女性」「性的マイノリティ」「その他」の合計は「全体」の数値と一致しない。以降同様。

注) 「在勤者・その他」「在学者・30代」「在学者・40代」など、サンプルサイズが30未満のものについては、参考値。以降同様。

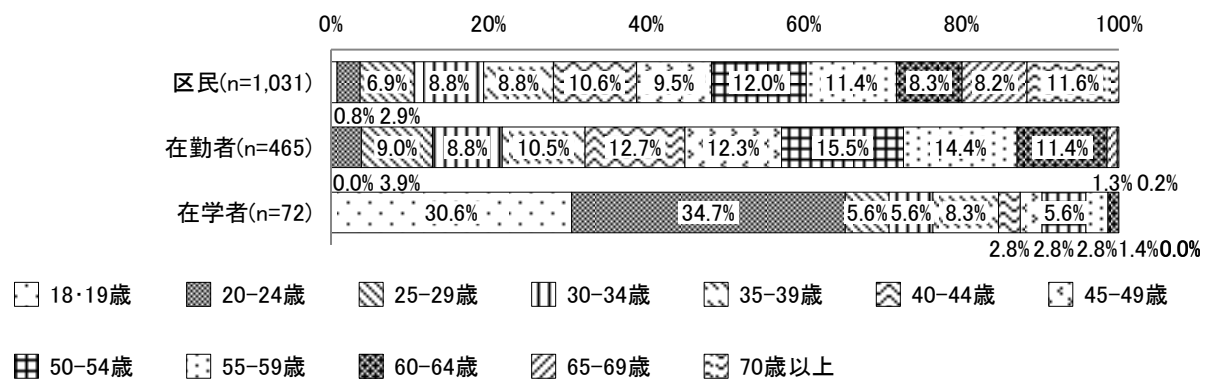
(2) 年齢

回答者の年齢をみると、「区民」では、「50-54 歳」が 12.0%でもっとも割合が高く、次いで「70 歳以上」が 11.6%となっている。

「在勤者」では、「50-54 歳」が 15.5%でもっとも割合が高く、次いで「55-59 歳」が 14.4%となっている。

「在学者」では、「20-24 歳」が 34.7%でもっとも割合が高く、次いで「18・19 歳」が 30.6%となっている。

図表 21 年齢：単数回答 (F1)



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	F1.年齢(単数回答)												
			18-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	不明
区民・全体		1,031	0.8	2.9	6.9	8.8	8.8	10.6	9.5	12.0	11.4	8.3	8.2	11.6	-
年代	18～29歳	109	7.3	27.5	65.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	182	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	40代	207	-	-	-	-	-	52.7	47.3	-	-	-	-	-	-
	50代	242	-	-	-	-	-	-	-	51.2	48.8	-	-	-	-
	60歳以上	291	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29.6	29.2	41.2	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	0.6	2.6	7.2	7.5	12.1	9.5	9.0	10.1	10.7	8.7	9.8	12.1	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	0.7	2.5	6.8	10.1	7.0	10.6	10.2	13.5	13.1	8.4	7.9	9.2	-
	性的マイノリティ	78	1.3	7.7	6.4	10.3	10.3	16.7	10.3	15.4	5.1	1.3	7.7	7.7	-
	その他	50	2.0	2.0	6.0	2.0	4.0	8.0	4.0	4.0	8.0	16.0	2.0	42.0	-
在勤者・全体		465	-	3.9	9.0	8.8	10.5	12.7	12.3	15.5	14.4	11.4	1.3	0.2	-
年代	18～29歳	60	-	30.0	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	90	-	-	-	45.6	54.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	40代	116	-	-	-	-	-	50.9	49.1	-	-	-	-	-	-
	50代	139	-	-	-	-	-	-	-	51.8	48.2	-	-	-	-
	60歳以上	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88.3	10.0	1.7	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	-	1.0	7.4	8.9	6.4	14.9	15.8	14.4	14.9	14.9	1.0	0.5	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	-	5.5	10.0	7.8	13.7	11.0	10.5	16.4	14.6	9.1	1.4	-	-
	性的マイノリティ	34	-	11.8	11.8	17.6	11.8	8.8	5.9	14.7	8.8	5.9	2.9	-	-
	その他	11	-	-	9.1	-	18.2	18.2	-	27.3	18.2	9.1	-	-	-
在学者・全体		72	30.6	34.7	5.6	5.6	8.3	2.8	2.8	5.6	2.8	1.4	-	-	-
年代	18～29歳	51	43.1	49.0	7.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	10	-	-	-	40.0	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	40代	4	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	50代	6	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-	-
	60歳以上	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	37.5	-	12.5	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	31.4	37.3	3.9	3.9	3.9	3.9	2.0	7.8	3.9	2.0	-	-	-
	性的マイノリティ	11	36.4	9.1	18.2	9.1	18.2	-	9.1	-	-	-	-	-	-
	その他	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

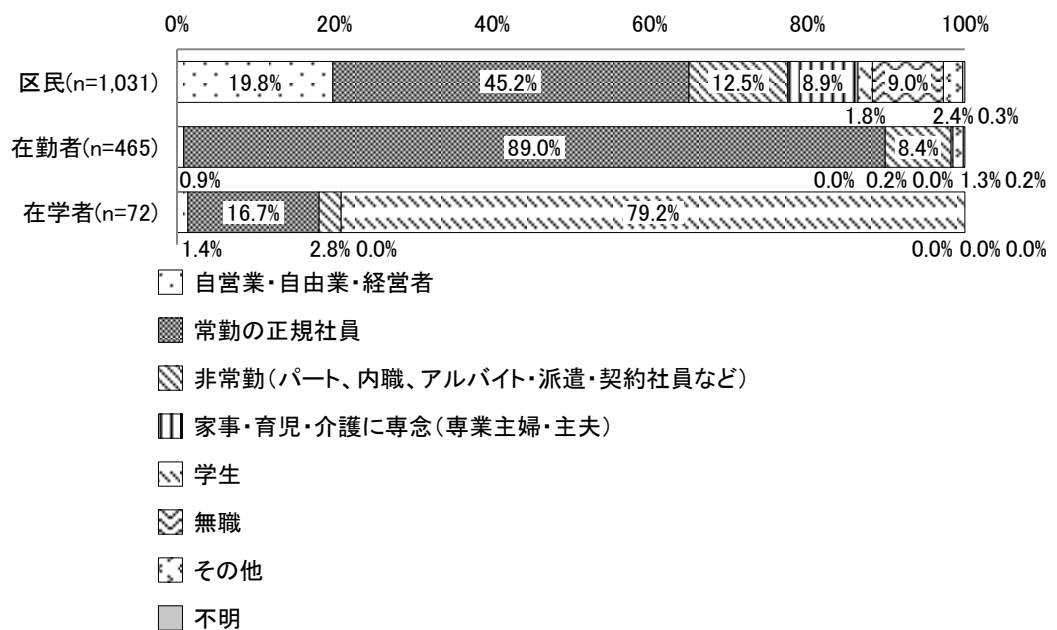
(3) 職業

回答者の職業をみると、「区民」では、「常勤の正規社員」が45.2%でもっとも割合が高く、次いで「自営業・自由業・経営者」が19.8%となっている。

「在勤者」では、「常勤の正規社員」が89.0%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤（パート、内職、アルバイト・派遣・契約社員など）」が8.4%となっている。

「在学者」では、「学生」が79.2%でもっとも割合が高く、次いで「常勤の正規社員」が16.7%となっている。

図表 22 職業：単数回答（F2）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	F2.職業(単数回答)							
			経営者 自営業・自由業・	常勤の正規社員	非常勤(パート、内職、アルバイト・派遣・契約社員など)	専念(専業主婦・主夫)	家事・育児・介護に	学生	無職	その他
区民・全体		1,031	19.8	45.2	12.5	8.9	1.8	9.0	2.4	0.3
年代	18～29 歳	109	7.3	64.2	8.3	－	16.5	1.8	0.9	0.9
	30 代	182	17.0	67.6	6.0	6.6	－	2.7	－	－
	40 代	207	24.2	54.6	11.1	7.7	－	1.4	0.5	0.5
	50 代	242	21.9	48.8	16.5	8.3	0.4	2.1	2.1	－
	60 歳以上	291	21.3	14.4	15.8	15.1	－	26.8	6.2	0.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	25.4	54.0	6.4	0.9	0.9	9.8	2.3	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	15.8	41.7	16.2	14.2	2.2	7.5	2.2	0.4
	性的マイノリティ	78	25.6	42.3	14.1	3.8	3.8	7.7	2.6	－
	その他	50	16.0	28.0	12.0	14.0	2.0	22.0	6.0	－
在勤者・全体		465	0.9	89.0	8.4	－	0.2	－	1.3	0.2
年代	18～29 歳	60	－	75.0	21.7	－	1.7	－	－	1.7
	30 代	90	－	95.6	4.4	－	－	－	－	－
	40 代	116	0.9	96.6	2.6	－	－	－	－	－
	50 代	139	1.4	91.4	4.3	－	－	－	2.9	－
	60 歳以上	60	1.7	73.3	21.7	－	－	－	3.3	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	1.0	94.1	3.0	－	－	－	2.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	0.9	86.3	11.0	－	0.5	－	0.9	0.5
	性的マイノリティ	34	－	73.5	26.5	－	－	－	－	－
	その他	11	－	100.0	－	－	－	－	－	－
在学者・全体		72	1.4	16.7	2.8	－	79.2	－	－	－
年代	18～29 歳	51	－	－	－	－	100.0	－	－	－
	30 代	10	－	50.0	10.0	－	40.0	－	－	－
	40 代	4	－	75.0	－	－	25.0	－	－	－
	50 代	6	16.7	50.0	16.7	－	16.7	－	－	－
	60 歳以上	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	－	12.5	12.5	－	75.0	－	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	2.0	15.7	2.0	－	80.4	－	－	－
	性的マイノリティ	11	－	27.3	－	－	72.7	－	－	－
	その他	2	－	－	－	－	100.0	－	－	－

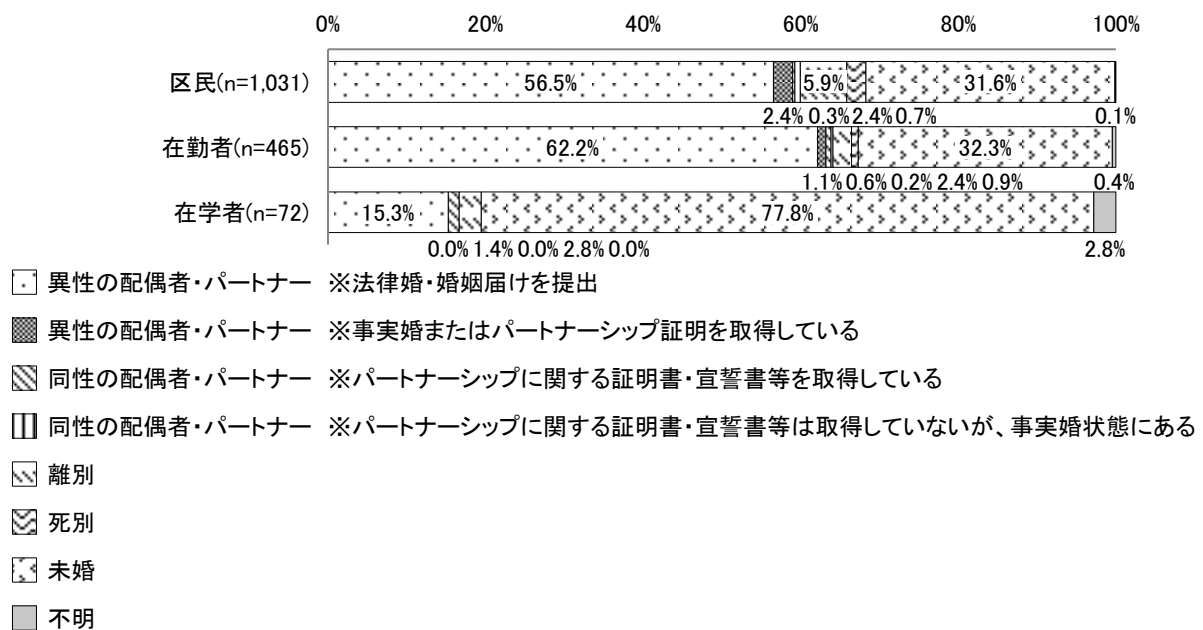
(4) 配偶者・パートナーの有無

配偶者・パートナーの有無をみると、「区民」では、「異性の配偶者・パートナー ※法律婚・婚姻届けを提出」が 56.5%でもっとも割合が高く、次いで「未婚」が 31.6%となっている。

「在勤者」では、「異性の配偶者・パートナー ※法律婚・婚姻届けを提出」が 62.2%でもっとも割合が高く、次いで「未婚」が 32.3%となっている。

「在学者」では、「未婚」が 77.8%でもっとも割合が高く、次いで「異性の配偶者・パートナー ※法律婚・婚姻届けを提出」が 15.3%となっている。

図表 23 配偶者・パートナーの有無：単数回答（F3）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

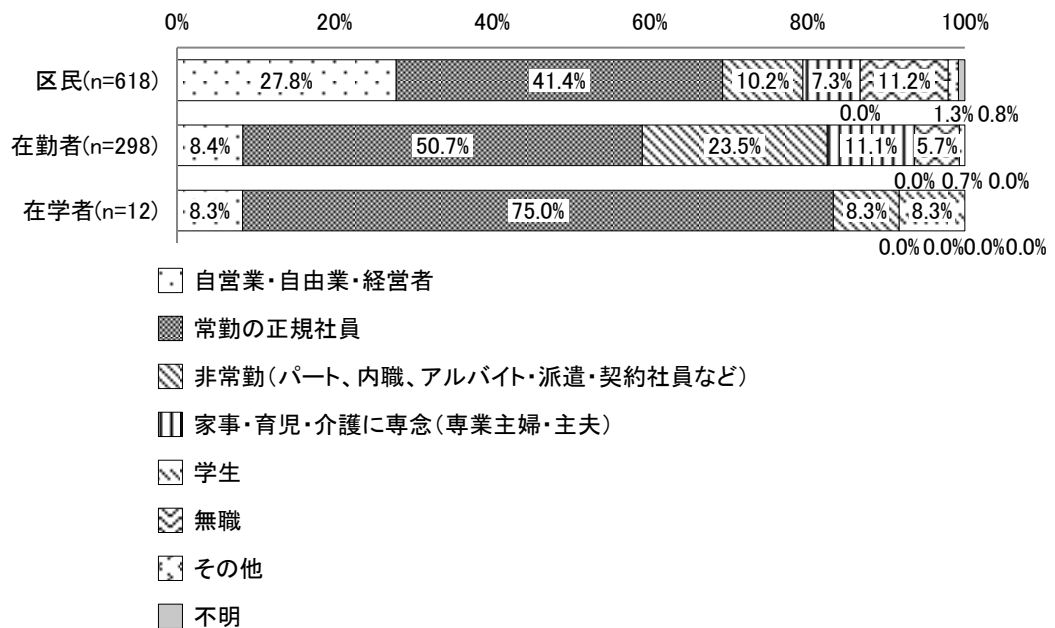
		合計	F3.配偶者・パートナーの有無(単数回答)							
			異性の配偶者・パートナー ※法律婚・婚姻届けを提出	異性の配偶者・パートナー ※事実婚またはパートナー シップ証明を取得している	同性の配偶者・パートナー ※パートナーシップに関する 証明書・宣誓書等を取得して いる	同性の配偶者・パートナー ※パートナーシップに関する 証明書・宣誓書等は取得して いないが、事実婚状態にある	離別	死別	未婚	不明
区民・全体		1,031	56.5	2.4	0.3	0.7	5.9	2.4	31.6	0.1
年代	18～29 歳	109	12.8	0.9	0.9	0.9	—	—	84.4	—
	30 代	182	51.1	1.6	0.5	1.1	2.2	0.5	42.3	0.5
	40 代	207	62.3	3.9	0.5	1.0	5.8	—	26.6	—
	50 代	242	62.4	2.5	—	0.8	8.3	0.8	25.2	—
	60 歳以上	291	67.4	2.4	—	—	8.6	7.6	14.1	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	346	63.6	1.4	—	1.2	3.8	0.9	29.2	—
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	557	55.8	2.7	—	—	6.5	2.9	32.1	—
	性的マイノリティ	78	25.6	2.6	3.8	3.8	11.5	2.6	48.7	1.3
	その他	50	64.0	6.0	—	—	6.0	8.0	16.0	—
在勤者・全体		465	62.2	1.1	0.6	0.2	2.4	0.9	32.3	0.4
年代	18～29 歳	60	15.0	—	—	—	—	—	83.3	1.7
	30 代	90	57.8	1.1	1.1	—	1.1	—	38.9	—
	40 代	116	75.0	0.9	—	0.9	3.4	—	19.8	—
	50 代	139	66.9	2.2	1.4	—	3.6	1.4	23.7	0.7
	60 歳以上	60	80.0	—	—	—	1.7	3.3	15.0	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	202	81.2	0.5	0.5	—	2.5	0.5	14.9	—
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	219	48.4	1.8	—	—	2.3	1.4	45.7	0.5
	性的マイノリティ	34	38.2	—	5.9	2.9	—	—	50.0	2.9
	その他	11	54.5	—	—	—	9.1	—	36.4	—
在学者・全体		72	15.3	—	1.4	—	2.8	—	77.8	2.8
年代	18～29 歳	51	—	—	—	—	—	—	96.1	3.9
	30 代	10	40.0	—	—	—	10.0	—	50.0	—
	40 代	4	50.0	—	25.0	—	—	—	25.0	—
	50 代	6	83.3	—	—	—	16.7	—	—	—
	60 歳以上	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	8	25.0	—	—	—	12.5	—	50.0	12.5
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	51	17.6	—	—	—	2.0	—	80.4	—
	性的マイノリティ	11	—	—	9.1	—	—	—	81.8	9.1
	その他	2	—	—	—	—	—	—	100.0	—

(5) 配偶者・パートナーの職業

配偶者・パートナーがいる者について、配偶者・パートナーの職業をみると、「区民」では、「常勤の正規社員」が41.4%でもっとも割合が高く、次いで「自営業・自由業・経営者」が27.8%となっている。

「在勤者」では、「常勤の正規社員」が50.7%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤（パート、内職、アルバイト・派遣・契約社員など）」が23.5%となっている。

図表 24 配偶者・パートナーの職業：単数回答（F4）



注) 「在学者」はサンプルサイズが小さいため参考値。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	F4.配偶者・パートナーの職業(単数回答)							
			経営者 自営業・自由業・ 専業主婦・主夫	常勤の正規社員	非常勤(パート、内職、 アルバイト・派遣・契約社員など)	家事・育児・介護に専念	学生	無職	その他	不明
区民・全体		618	27.8	41.4	10.2	7.3	-	11.2	1.3	0.8
年代	18～29 歳	17	5.9	76.5	17.6	-	-	-	-	-
	30 代	99	28.3	63.6	3.0	3.0	-	2.0	-	-
	40 代	140	31.4	52.1	8.6	5.7	-	0.7	0.7	0.7
	50 代	159	29.6	46.5	11.9	4.4	-	4.4	1.9	1.3
	60 歳以上	203	25.6	16.3	12.8	13.3	-	29.1	2.0	1.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	229	20.1	34.1	16.2	17.5	-	10.9	0.4	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	326	34.4	48.2	4.9	0.3	-	9.5	2.1	0.6
	性的マイノリティ	28	35.7	39.3	21.4	3.6	-	-	-	-
	その他	35	11.4	28.6	11.4	8.6	-	37.1	-	2.9
在勤者・全体		298	8.4	50.7	23.5	11.1	-	5.7	0.7	-
年代	18～29 歳	9	11.1	66.7	11.1	11.1	-	-	-	-
	30 代	54	5.6	77.8	7.4	7.4	-	1.9	-	-
	40 代	89	7.9	52.8	27.0	7.9	-	3.4	1.1	-
	50 代	98	9.2	46.9	26.5	11.2	-	5.1	1.0	-
	60 歳以上	48	10.4	20.8	31.3	20.8	-	16.7	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	166	3.0	36.7	34.3	18.1	-	7.2	0.6	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	110	16.4	72.7	6.4	0.9	-	2.7	0.9	-
	性的マイノリティ	16	6.3	43.8	31.3	12.5	-	6.3	-	-
	その他	6	16.7	50.0	16.7	-	-	16.7	-	-
在学者・全体		12	8.3	75.0	8.3	-	8.3	-	-	-
年代	18～29 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30 代	4	-	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-
	40 代	3	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	50 代	5	20.0	80.0	-	-	-	-	-	-
	60 歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	9	11.1	77.8	-	-	11.1	-	-	-
	性的マイノリティ	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-

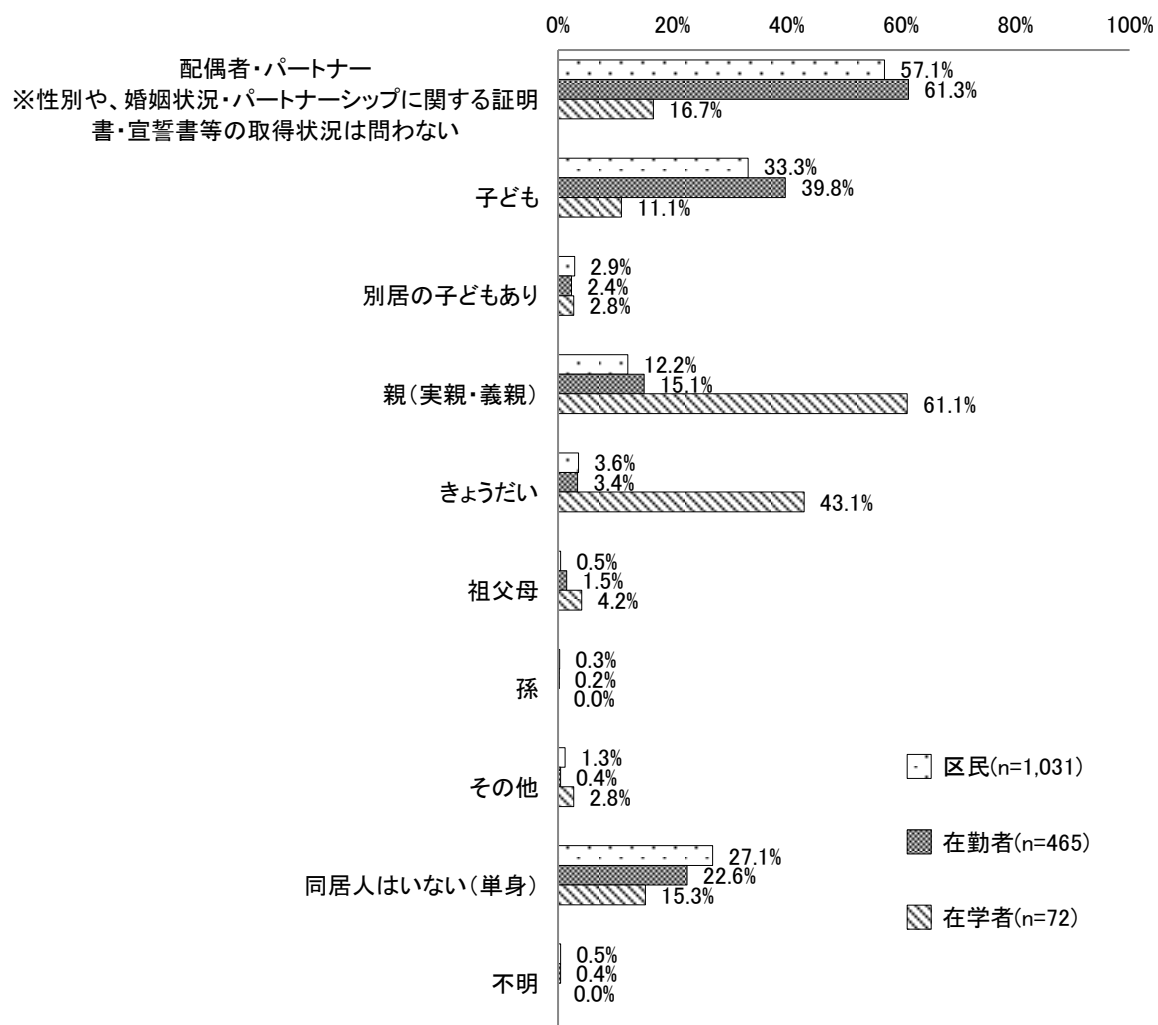
(6) 同居している家族・親族等

同居している家族・親族等の有無をみると、「区民」では、「配偶者・パートナー ※性別や、婚姻状況・パートナーシップに関する証明書・宣誓書等の取得状況は問わない」が57.1%でもっとも割合が高く、次いで「子ども」が33.3%となっている。

「在勤者」では、「配偶者・パートナー ※性別や、婚姻状況・パートナーシップに関する証明書・宣誓書等の取得状況は問わない」が61.3%でもっとも割合が高く、次いで「子ども」が39.8%となっている。

「在学者」では、「親（実親・義親）」が61.1%でもっとも割合が高く、次いで「きょうだい」が43.1%となっている。

図表 25 同居している家族・親族等：複数回答（F5）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	F5.同居している家族・親族等（複数回答）									
			配偶者・パートナー ※性別や、婚姻状況・パートナーシップに関する証明書・宣誓書等の取得状況は問わない	子ども	別居の子どもあり	親（実親・義親）	きょうだい	祖父母	孫	その他	同居人はいない（単身）	不明
区民・全体		1,031	57.1	33.3	2.9	12.2	3.6	0.5	0.3	1.3	27.1	0.5
年代	18～29 歳	109	16.5	4.6	－	34.9	19.3	3.7	－	3.7	40.4	0.9
	30 代	182	54.4	33.0	－	8.8	－	0.5	－	0.5	31.3	－
	40 代	207	63.3	48.8	2.4	10.6	1.4	－	－	1.0	24.6	0.5
	50 代	242	61.2	43.4	2.5	11.6	2.9	－	－	0.8	24.4	0.4
	60 歳以上	291	66.3	24.7	6.5	7.6	2.1	－	1.0	1.4	23.4	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	61.8	34.1	2.9	13.3	3.5	0.9	0.6	1.2	22.8	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	56.7	35.2	2.9	11.5	4.1	0.2	－	1.4	27.5	0.4
	性的マイノリティ	78	33.3	20.5	1.3	12.8	1.3	1.3	－	1.3	47.4	－
	その他	50	66.0	26.0	6.0	12.0	2.0	－	2.0	－	20.0	－
在勤者・全体		465	61.3	39.8	2.4	15.1	3.4	1.5	0.2	0.4	22.6	0.4
年代	18～29 歳	60	21.7	5.0	－	35.0	18.3	6.7	－	1.7	40.0	1.7
	30 代	90	62.2	37.8	－	12.2	2.2	1.1	－	－	26.7	－
	40 代	116	67.2	57.8	1.7	8.6	－	0.9	－	－	21.6	0.9
	50 代	139	66.9	41.0	2.9	18.0	2.2	－	－	0.7	15.1	－
	60 歳以上	60	75.0	40.0	8.3	5.0	－	1.7	1.7	－	18.3	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	76.7	56.9	2.5	5.4	0.5	0.5	0.5	－	17.3	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	49.3	28.8	2.7	21.5	5.9	2.3	－	0.9	27.4	0.5
	性的マイノリティ	34	47.1	14.7	－	32.4	5.9	2.9	－	－	20.6	－
	その他	11	54.5	18.2	－	18.2	－	－	－	－	27.3	－
在学者・全体		72	16.7	11.1	2.8	61.1	43.1	4.2	－	2.8	15.3	－
年代	18～29 歳	51	2.0	－	－	82.4	58.8	5.9	－	3.9	11.8	－
	30 代	10	40.0	10.0	10.0	10.0	10.0	－	－	－	40.0	－
	40 代	4	75.0	50.0	－	25.0	－	－	－	－	－	－
	50 代	6	66.7	83.3	16.7	－	－	－	－	－	－	－
	60 歳以上	1	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	12.5	12.5	50.0	37.5	12.5	－	12.5	12.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	17.6	11.8	2.0	60.8	43.1	2.0	－	2.0	13.7	－
	性的マイノリティ	11	9.1	9.1	－	63.6	36.4	9.1	－	－	27.3	－
	その他	2	－	－	－	100.0	100.0	－	－	－	－	－

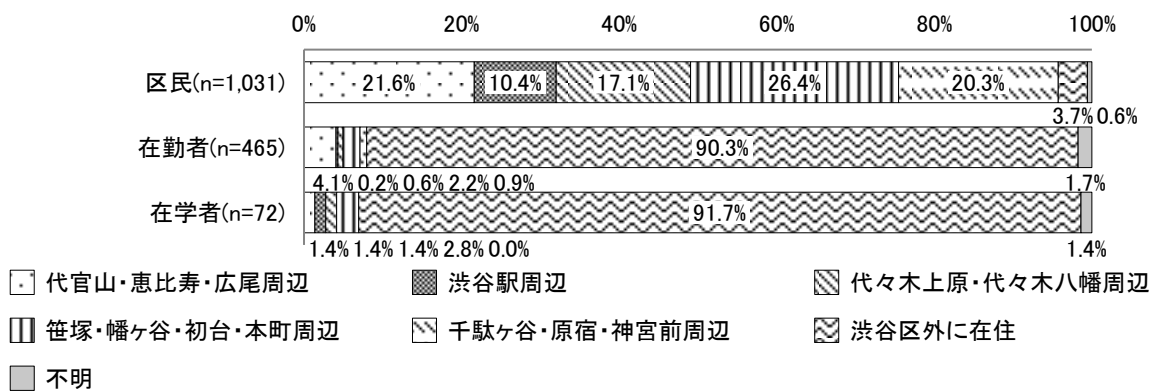
(7) 住まい

回答者の住まいをみると、「区民」では、「笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺」が26.4%でもっとも割合が高く、次いで「代官山・恵比寿・広尾周辺」が21.6%となっている。

「在勤者」では、「渋谷区外に在住」が90.3%でもっとも割合が高く、次いで「代官山・恵比寿・広尾周辺」が4.1%となっている。

「在学者」では、「渋谷区外に在住」が91.7%でもっとも割合が高く、次いで「笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺」が2.8%となっている。

図表 26 住まい：単数回答（F6）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	F6.住まい(単数回答)												
			※代官山・恵比寿・広尾 周辺(計)	恵比寿	広尾	東	恵比寿南	恵比寿西	代官山町	猿楽町	※渋谷駅周辺(計)	鉢山町	鶯谷町	渋谷	桜丘町
区民・全体		1,031	21.6	7.4	5.5	3.8	1.3	2.0	0.9	0.8	10.4	0.7	0.7	2.1	1.2
年代	18～29 歳	109	15.6	6.4	7.3	0.9	0.9	—	—	—	15.6	1.8	0.9	5.5	0.9
	30 代	182	18.7	4.4	6.0	3.3	0.5	1.6	1.6	1.1	14.3	—	1.1	3.3	2.7
	40 代	207	18.8	7.7	3.4	2.9	1.0	3.4	—	0.5	6.3	0.5	0.5	1.0	1.4
	50 代	242	24.0	10.3	5.8	3.7	0.8	1.7	0.8	0.8	8.7	0.4	0.8	1.7	0.8
	60 歳以上	291	25.8	6.9	5.8	5.8	2.4	2.4	1.4	1.0	10.3	1.0	0.3	1.4	0.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	346	24.3	8.7	4.6	5.2	1.4	2.3	1.4	0.6	10.1	0.6	0.9	2.0	1.2
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	557	20.6	6.8	6.1	2.7	1.1	2.3	0.5	1.1	10.1	0.7	0.5	1.6	1.3
	性的マイノリティ	78	20.5	7.7	5.1	5.1	1.3	—	1.3	—	14.1	1.3	1.3	5.1	1.3
	その他	50	16.0	4.0	6.0	4.0	2.0	—	—	—	10.0	—	—	4.0	—
在勤者・全体		465	4.1	3.7	0.2	0.2	—	—	—	—	0.2	—	0.2	—	—
年代	18～29 歳	60	0.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
	30 代	90	2.2	2.2	—	—	—	—	—	—	1.1	—	1.1	—	—
	40 代	116	3.4	2.6	0.9	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
	50 代	139	7.2	6.5	—	0.7	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
	60 歳以上	60	5.0	5.0	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	202	5.4	5.0	—	0.5	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	219	3.2	2.7	0.5	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
	性的マイノリティ	34	0.0	—	—	—	—	—	—	—	2.9	—	2.9	—	—
	その他	11	9.1	9.1	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
在学者・全体		72	1.4	—	1.4	—	—	—	—	—	1.4	—	—	1.4	—
年代	18～29 歳	51	2.0	—	2.0	—	—	—	—	—	2.0	—	—	2.0	—
	30 代	10	0.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
	40 代	4	0.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
	50 代	6	0.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
	60 歳以上	1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	8	0.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	51	2.0	—	2.0	—	—	—	—	—	2.0	—	—	2.0	—
	性的マイノリティ	11	0.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
	その他	2	0.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	F6.住まい(単数回答)												
			南平 台町	道 玄 坂	円 山 町	神 泉 町	松 濤	神 山 町	宇 田 川 町	神 南	※代々木上原・代々木八 幡周辺計)	代々木神園町	上 原	富 ヶ 谷	西 原
区民・全体		1,031	0.8	－	0.9	1.4	1.4	1.0	0.4	－	17.1	0.7	3.6	4.3	4.4
年代	18～29 歳	109	－	－	1.8	1.8	2.8	－	－	－	16.5	－	2.8	4.6	3.7
	30 代	182	0.5	－	2.2	0.5	1.6	1.1	1.1	－	17.6	1.6	2.7	4.9	4.4
	40 代	207	0.5	－	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	－	18.8	0.5	4.8	3.4	4.3
	50 代	242	0.4	－	－	1.7	0.4	2.1	0.4	－	18.6	0.8	4.5	5.0	4.5
	60 歳以上	291	1.7	－	0.7	2.1	2.1	0.7	－	－	14.4	0.3	2.7	3.8	4.5
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	346	－	－	2.0	1.4	0.9	0.6	0.6	－	13.3	0.3	3.5	1.7	3.8
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	557	1.3	－	0.2	1.3	1.4	1.4	0.4	－	19.7	1.1	3.6	5.4	5.0
	性的マイノリティ	78	1.3	－	1.3	1.3	1.3	－	－	－	17.9	－	5.1	6.4	5.1
	その他	50	－	－	－	2.0	4.0	－	－	－	12.0	－	2.0	6.0	－
在勤者・全体		465	－	－	－	－	－	－	－	－	0.6	－	0.2	0.2	0.2
年代	18～29 歳	60	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
	30 代	90	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
	40 代	116	－	－	－	－	－	－	－	－	0.9	－	0.9	－	－
	50 代	139	－	－	－	－	－	－	－	－	1.4	－	－	0.7	0.7
	60 歳以上	60	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	202	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	219	－	－	－	－	－	－	－	－	0.9	－	0.5	0.5	－
	性的マイノリティ	34	－	－	－	－	－	－	－	－	2.9	－	－	－	2.9
	その他	11	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
在学者・全体		72	－	－	－	－	－	－	－	－	1.4	－	－	－	1.4
年代	18～29 歳	51	－	－	－	－	－	－	－	－	2.0	－	－	－	2.0
	30 代	10	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
	40 代	4	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
	50 代	6	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
	60 歳以上	1	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	8	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	51	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
	性的マイノリティ	11	－	－	－	－	－	－	－	－	9.1	－	－	－	9.1
	その他	2	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	F6.住まい(単数回答)												
			元代々木町	大山町	※笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺(計)	初台	本町	笹塚	幡ヶ谷	※千駄ヶ谷・原宿・神宮前周辺(計)	代々木	千駄ヶ谷	神宮前	渋谷区外に住んでいる	不明
区民・全体		1,031	2.8	1.4	26.4	4.8	9.9	3.2	8.5	20.3	9.7	4.8	5.8	3.7	0.6
年代	18～29 歳	109	3.7	1.8	34.9	9.2	8.3	6.4	11.0	12.8	7.3	2.8	2.8	1.8	2.8
	30 代	182	1.1	2.7	31.9	3.8	9.9	6.6	11.5	15.4	8.2	4.4	2.7	1.6	0.5
	40 代	207	4.8	1.0	24.2	4.8	9.2	3.9	6.3	27.1	14.0	5.8	7.2	4.8	－
	50 代	242	2.9	0.8	24.4	4.1	10.3	0.8	9.1	19.4	8.3	5.8	5.4	5.0	－
	60 歳以上	291	2.1	1.0	23.0	4.1	10.7	1.4	6.9	22.0	9.6	4.1	8.2	3.8	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	2.6	1.4	28.3	4.6	11.8	3.2	8.7	20.8	9.5	5.2	6.1	3.2	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	3.4	1.3	25.0	4.3	8.4	2.9	9.3	19.9	9.9	4.5	5.6	3.8	0.9
	性的マイノリティ	78	1.3	－	21.8	6.4	7.7	2.6	5.1	20.5	11.5	2.6	6.4	3.8	1.3
	その他	50	－	4.0	36.0	8.0	16.0	8.0	4.0	20.0	6.0	8.0	6.0	6.0	－
在勤者・全体		465	－	－	2.2	0.6	0.4	0.2	0.9	0.9	0.6	－	0.2	90.3	1.7
年代	18～29 歳	60	－	－	3.3	1.7	－	－	1.7	0.0	－	－	－	93.3	3.3
	30 代	90	－	－	2.2	1.1	1.1	－	－	1.1	1.1	－	－	92.2	1.1
	40 代	116	－	－	2.6	－	－	0.9	1.7	0.9	0.9	－	－	90.5	1.7
	50 代	139	－	－	2.2	0.7	0.7	－	0.7	1.4	0.7	－	0.7	87.1	0.7
	60 歳以上	60	－	－	0.0	－	－	－	－	0.0	－	－	－	91.7	3.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	－	－	1.5	0.5	－	－	1.0	0.5	0.5	－	－	91.1	1.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	－	－	3.2	0.9	0.9	0.5	0.9	1.4	0.9	－	0.5	90.0	1.4
	性的マイノリティ	34	－	－	0.0	－	－	－	－	0.0	－	－	－	91.2	2.9
	その他	11	－	－	0.0	－	－	－	－	0.0	－	－	－	81.8	9.1
在学者・全体		72	－	－	2.8	－	－	－	2.8	0.0	－	－	－	91.7	1.4
年代	18～29 歳	51	－	－	3.9	－	－	－	3.9	0.0	－	－	－	88.2	2.0
	30 代	10	－	－	0.0	－	－	－	－	0.0	－	－	－	100.0	－
	40 代	4	－	－	0.0	－	－	－	－	0.0	－	－	－	100.0	－
	50 代	6	－	－	0.0	－	－	－	－	0.0	－	－	－	100.0	－
	60 歳以上	1	－	－	0.0	－	－	－	－	0.0	－	－	－	100.0	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	－	－	0.0	－	－	－	－	0.0	－	－	－	100.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	－	－	3.9	－	－	－	3.9	0.0	－	－	－	90.2	2.0
	性的マイノリティ	11	－	－	0.0	－	－	－	－	0.0	－	－	－	90.9	－
	その他	2	－	－	0.0	－	－	－	－	0.0	－	－	－	100.0	－

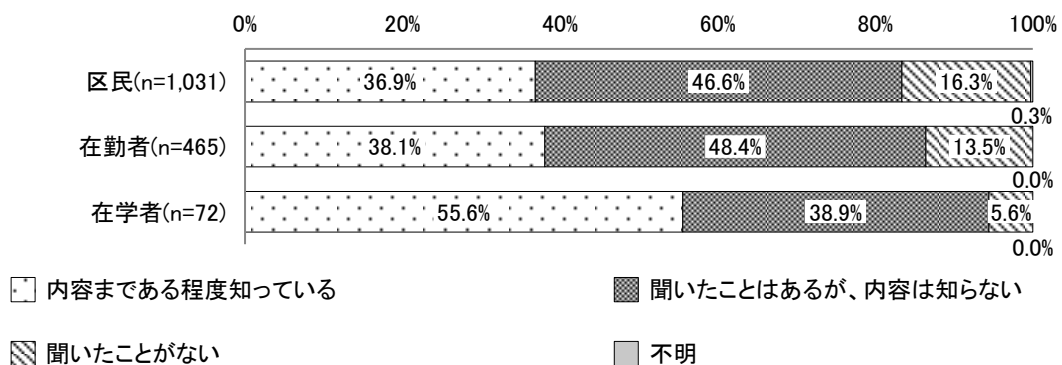
3-2. 男女共同参画について

(1) 男女共同参画社会基本法の認知状況

男女共同参画社会基本法の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」の割合は、「区民」では 36.9%、「在勤者」では 38.1%、「在学者」では 55.6%となっている。

「聞いたことはあるが、内容は知らない」とあわせると、「区民」「在勤者」「在学者」いずれも 8 割以上が男女共同参画社会基本法を認知しているが、内容まで理解している者は一部に限られる様子がうかがわれる。

図表 27 男女共同参画社会基本法の認知状況：単数回答（問 1）



		合計	問 1.男女共同参画社会基本法の認知状況(単数回答)				
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがない	不明	
区民・全体		1,031	36.9	46.6	16.3	0.3	
年代	18～29 歳	109	51.4	36.7	11.9	－	
	30 代	182	37.9	50.0	12.1	－	
	40 代	207	33.3	46.4	20.3	－	
	50 代	242	35.5	45.0	19.0	0.4	
	60 歳以上	291	34.4	49.5	15.5	0.7	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	35.8	48.8	14.7	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	37.5	45.4	16.9	0.2	
	性的マイノリティ	78	43.6	39.7	16.7	－	
	その他	50	26.0	54.0	20.0	－	
在勤者・全体		465	38.1	48.4	13.5	－	
年代	18～29 歳	60	40.0	46.7	13.3	－	
	30 代	90	34.4	51.1	14.4	－	
	40 代	116	37.9	45.7	16.4	－	
	50 代	139	34.5	52.5	12.9	－	
	60 歳以上	60	50.0	41.7	8.3	－	
	リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	35.6	49.5	14.9
シスジェンダー・異性愛・女性		219	39.7	48.9	11.4	－	
性的マイノリティ		34	38.2	44.1	17.6	－	
その他		11	45.5	36.4	18.2	－	
在学者・全体		72	55.6	38.9	5.6	－	
年代	18～29 歳	51	56.9	37.3	5.9	－	
	30 代	10	40.0	50.0	10.0	－	
	40 代	4	75.0	25.0	－	－	
	50 代	6	66.7	33.3	－	－	
	60 歳以上	1	－	100.0	－	－	
	リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	50.0	25.0
シスジェンダー・異性愛・女性		51	60.8	37.3	2.0	－	
性的マイノリティ		11	45.5	45.5	9.1	－	
その他		2	100.0	－	－	－	

(2) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方

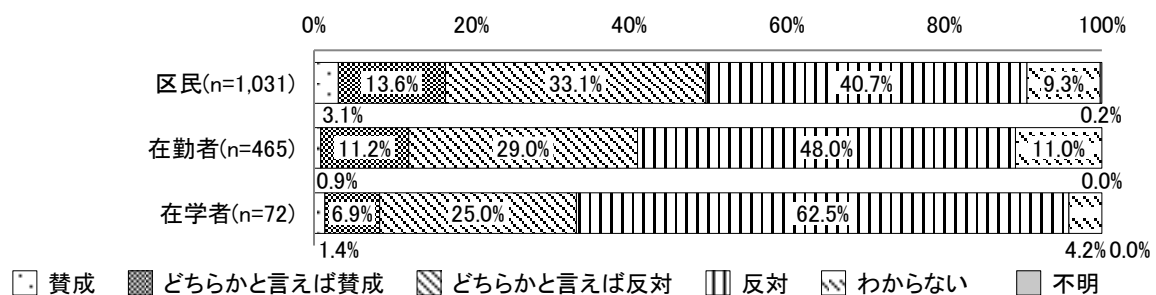
① 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への賛否

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への賛否をみると、賛成の割合（「賛成」「どちらかと言えば賛成」の合計）は、「区民」では16.7%、「在勤者」では12.0%、「在学者」では8.3%となっている。

また、反対の割合（「反対」「どちらかと言えば反対」の合計）は、「区民」では73.8%、「在勤者」では77.0%、「在学者」では87.5%となっている。

したがって、「区民」「在勤者」「在学者」いずれも、男女の固定的性別役割分業に反対する者が多くを占めている。

図表 28 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への賛否：単数回答（問2）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 2.「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への賛否(単数回答)					
			賛成	賛成 どちらかと言えば	反対 どちらかと言えば	反対	わからない	不明
区民・全体		1,031	3.1	13.6	33.1	40.7	9.3	0.2
年代	18～29 歳	109	3.7	11.9	33.9	41.3	9.2	－
	30 代	182	4.4	20.3	26.4	40.7	8.2	－
	40 代	207	4.3	10.1	28.0	45.4	11.6	0.5
	50 代	242	2.1	12.4	34.3	39.3	12.0	－
	60 歳以上	291	2.1	13.4	39.5	38.5	6.2	0.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	346	4.3	15.0	32.4	37.9	10.4	－
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	557	2.3	12.0	35.4	41.3	8.6	0.4
	性的マイノリティ	78	1.3	15.4	23.1	56.4	3.8	－
	その他	50	6.0	18.0	28.0	30.0	18.0	－
在勤者・全体		465	0.9	11.2	29.0	48.0	11.0	－
年代	18～29 歳	60	3.3	15.0	36.7	36.7	8.3	－
	30 代	90	－	8.9	28.9	47.8	14.4	－
	40 代	116	0.9	11.2	25.0	47.4	15.5	－
	50 代	139	0.7	11.5	30.2	49.6	7.9	－
	60 歳以上	60	－	10.0	26.7	56.7	6.7	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	202	1.5	15.8	26.2	42.1	14.4	－
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	219	0.5	6.8	31.1	54.3	7.3	－
	性的マイノリティ	34	－	5.9	38.2	47.1	8.8	－
	その他	11	－	27.3	18.2	27.3	27.3	－
在学者・全体		72	1.4	6.9	25.0	62.5	4.2	－
年代	18～29 歳	51	2.0	5.9	29.4	58.8	3.9	－
	30 代	10	－	20.0	20.0	60.0	－	－
	40 代	4	－	－	25.0	50.0	25.0	－
	50 代	6	－	－	－	100.0	－	－
	60 歳以上	1	－	－	－	100.0	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	8	－	12.5	25.0	50.0	12.5	－
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	51	2.0	5.9	23.5	66.7	2.0	－
	性的マイノリティ	11	－	9.1	27.3	63.6	－	－
	その他	2	－	－	50.0	－	50.0	－

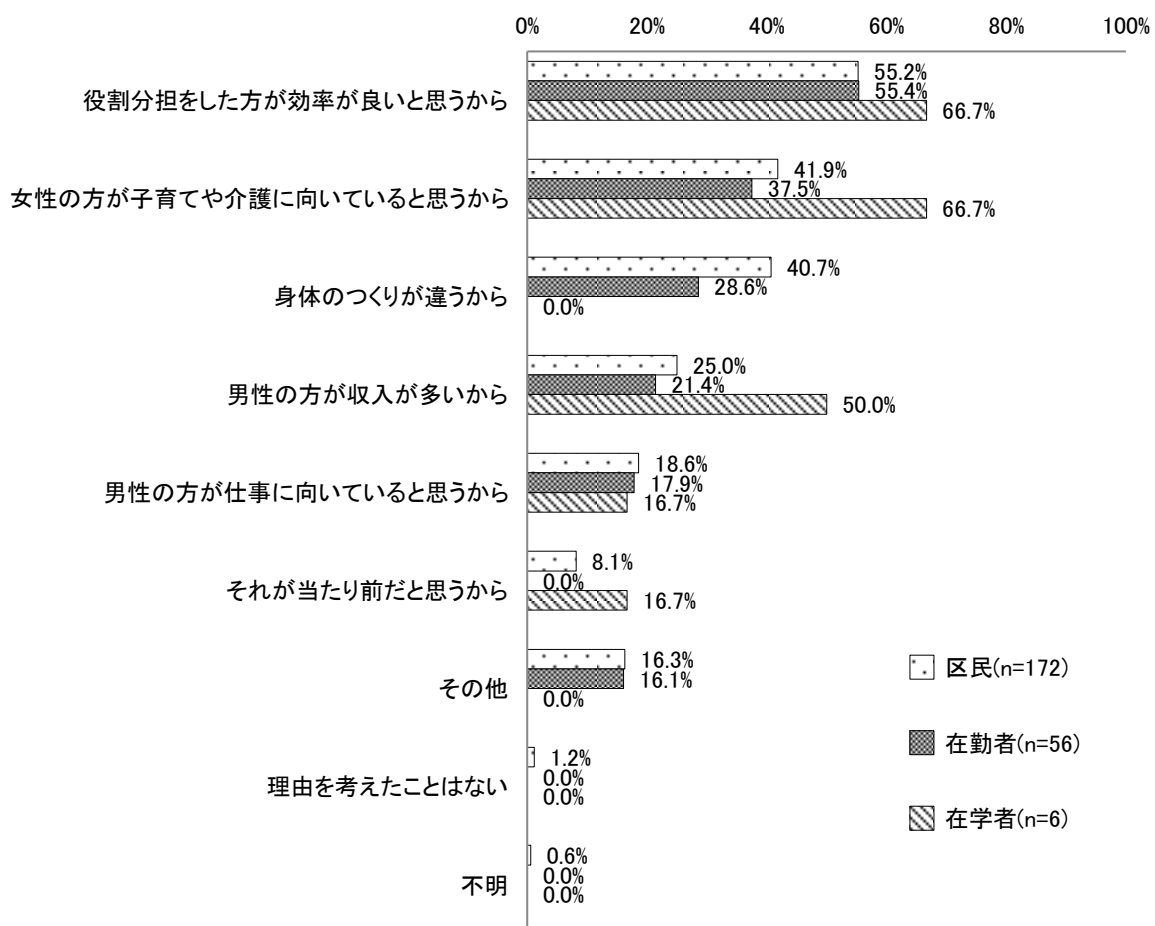
②「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について賛成する理由

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について「賛成」「どちらかと言えば賛成」と回答した者について、賛成する理由をみると、「区民」では、「役割分担をした方が効率が良いと思うから」が55.2%でもっとも割合が高く、次いで「女性の方が子育てや介護に向いていると思うから」が41.9%となっている。

「在勤者」では、「役割分担をした方が効率が良いと思うから」が55.4%でもっとも割合が高く、次いで「女性の方が子育てや介護に向いていると思うから」が37.5%となっている。

「男性の方が仕事に向いていると思うから」に比べると「女性の方が子育てや介護に向いていると思うから」の回答割合が2倍以上と、男性の適性を理由にする者と比べ、女性の適性を理由とする者が多くみられる。

図表 29 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について賛成する理由
：複数回答（問2-2）



注)「在学者」はサンプルサイズが小さいため参考値。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 2-2.「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について賛成する理由(複数回答)								
			効率が良いと思うから	役割分担をした方が女性の方が子育てや介護に向いていると思うから	身体づくりが違うから	男性の方が収入が多いから	男性の方が仕事に向いていると思うから	それが当たり前だと思うから	その他	理由を考えたことはない	不明
区民・全体		172	55.2	41.9	40.7	25.0	18.6	8.1	16.3	1.2	0.6
年代	18～29 歳	17	70.6	29.4	41.2	23.5	17.6	11.8	11.8	-	-
	30 代	45	60.0	37.8	51.1	22.2	24.4	4.4	6.7	2.2	-
	40 代	30	50.0	46.7	43.3	30.0	26.7	6.7	20.0	-	-
	50 代	35	54.3	34.3	42.9	22.9	17.1	5.7	28.6	-	-
	60 歳以上	45	48.9	53.3	26.7	26.7	8.9	13.3	15.6	2.2	2.2
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	67	65.7	41.8	35.8	13.4	19.4	7.5	17.9	1.5	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	80	48.8	45.0	48.8	31.3	16.3	7.5	16.3	-	1.3
	性的マイノリティ	13	53.8	23.1	46.2	38.5	15.4	7.7	7.7	-	-
	その他	12	41.7	41.7	8.3	33.3	33.3	16.7	16.7	8.3	-
在勤者・全体		56	55.4	37.5	28.6	21.4	17.9	-	16.1	-	-
年代	18～29 歳	11	54.5	9.1	45.5	27.3	27.3	-	18.2	-	-
	30 代	8	50.0	50.0	12.5	25.0	50.0	-	25.0	-	-
	40 代	14	57.1	35.7	35.7	7.1	-	-	21.4	-	-
	50 代	17	52.9	52.9	29.4	29.4	17.6	-	11.8	-	-
	60 歳以上	6	66.7	33.3	-	16.7	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	35	54.3	42.9	20.0	17.1	17.1	-	20.0	-	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	16	68.8	25.0	31.3	31.3	18.8	-	12.5	-	-
	性的マイノリティ	2	-	50.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-
	その他	3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	-
在学者・全体		6	66.7	66.7	-	50.0	16.7	16.7	-	-	-
年代	18～29 歳	4	50.0	50.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-
	30 代	2	100.0	100.0	-	100.0	50.0	-	-	-	-
	40 代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50 代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60 歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	4	75.0	75.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	1	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

③「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について反対する理由

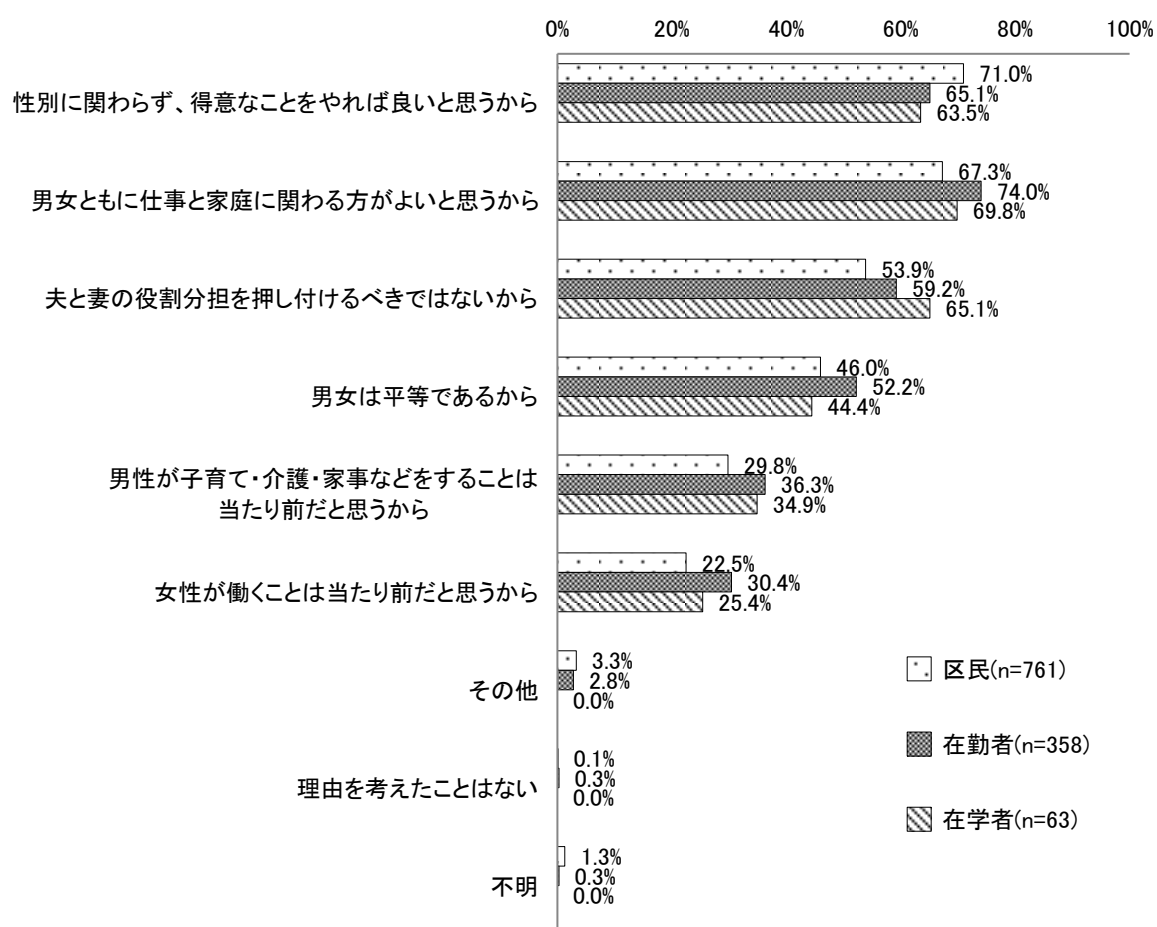
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について「反対」「どちらかと言えば反対」と回答した者について、反対する理由をみると、「区民」では、「性別に関わらず、得意なことをやれば良いと思うから」が71.0%でもっとも割合が高く、次いで「男女ともに仕事と家庭に関わる方がよいと思うから」が67.3%となっている。

「在勤者」では、「男女ともに仕事と家庭に関わる方がよいと思うから」が74.0%でもっとも割合が高く、次いで「性別に関わらず、得意なことをやれば良いと思うから」が65.1%となっている。

「在学者」では、「男女ともに仕事と家庭に関わる方がよいと思うから」が69.8%でもっとも割合が高く、次いで「夫と妻の役割分担を押し付けるべきではないから」が65.1%となっている。

また、他の項目に比べると、「男性が子育て・介護・家事などをするのは当たり前だと思うから」「女性が働くことは当たり前だと思うから」の割合が低い傾向がみられるが、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という固定的性別役割分担意識には反するものであっても、「男性だからこうすべき」「女性だからこうすべき」というように、性別によって役割を決めつけること自体に忌避感が表れているとも解釈できる。

図表 30 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について反対する理由
：複数回答（問2-3）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 2-3.「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について反対する理由（複数回答）								
			性別に関わらず、得意なことをやれば良いと思うから	男女ともに仕事と家庭に関わる方がよいと思うから	夫と妻の役割分担を押し付けるべきではないから	男女は平等であるから	男性が子育て・介護・家事などをすることは当たり前前だと 思うから	女性が働くことは当たり前前だ と思うから	その他	理由を考えたことはない	不明
区民・全体		761	71.0	67.3	53.9	46.0	29.8	22.5	3.3	0.1	1.3
年代	18～29 歳	82	69.5	63.4	56.1	48.8	22.0	17.1	2.4	－	－
	30 代	122	72.1	68.9	52.5	39.3	31.1	21.3	3.3	－	－
	40 代	152	78.9	67.8	61.2	44.7	33.6	26.3	5.3	－	1.3
	50 代	178	72.5	65.7	53.9	48.9	29.8	21.3	2.8	－	2.2
	60 歳以上	227	64.3	68.7	48.9	47.1	29.5	23.3	2.6	0.4	1.8
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	243	68.7	64.6	49.0	48.6	28.0	23.9	1.2	－	1.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	427	71.9	69.8	56.0	45.2	30.7	22.0	4.2	0.2	1.2
	性的マイノリティ	62	79.0	56.5	66.1	43.5	33.9	25.8	6.5	－	1.6
	その他	29	58.6	75.9	37.9	41.4	24.1	10.3	－	－	－
在勤者・全体		358	65.1	74.0	59.2	52.2	36.3	30.4	2.8	0.3	0.3
年代	18～29 歳	44	61.4	72.7	50.0	38.6	27.3	25.0	2.3	－	－
	30 代	69	78.3	68.1	59.4	44.9	40.6	23.2	2.9	－	－
	40 代	84	64.3	76.2	64.3	59.5	35.7	35.7	2.4	－	－
	50 代	111	64.0	75.7	64.0	56.8	38.7	27.9	4.5	0.9	0.9
	60 歳以上	50	54.0	76.0	48.0	52.0	34.0	42.0	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	138	55.8	78.3	52.2	58.7	37.0	30.4	4.3	－	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	187	70.1	77.0	66.3	51.9	38.5	34.2	1.6	－	－
	性的マイノリティ	29	79.3	37.9	44.8	24.1	13.8	10.3	3.4	3.4	－
	その他	5	40.0	40.0	60.0	40.0	80.0	－	－	－	－
在学者・全体		63	63.5	69.8	65.1	44.4	34.9	25.4	－	－	－
年代	18～29 歳	45	64.4	68.9	60.0	40.0	33.3	20.0	－	－	－
	30 代	8	62.5	62.5	75.0	62.5	62.5	50.0	－	－	－
	40 代	3	66.7	100.0	66.7	33.3	66.7	66.7	－	－	－
	50 代	6	66.7	66.7	83.3	50.0	－	16.7	－	－	－
	60 歳以上	1	－	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	6	50.0	66.7	50.0	66.7	33.3	16.7	－	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	46	60.9	71.7	60.9	43.5	30.4	21.7	－	－	－
	性的マイノリティ	10	80.0	60.0	90.0	40.0	50.0	40.0	－	－	－
	その他	1	100.0	100.0	100.0	－	100.0	100.0	－	－	－

（3）男女が平等だと思うか

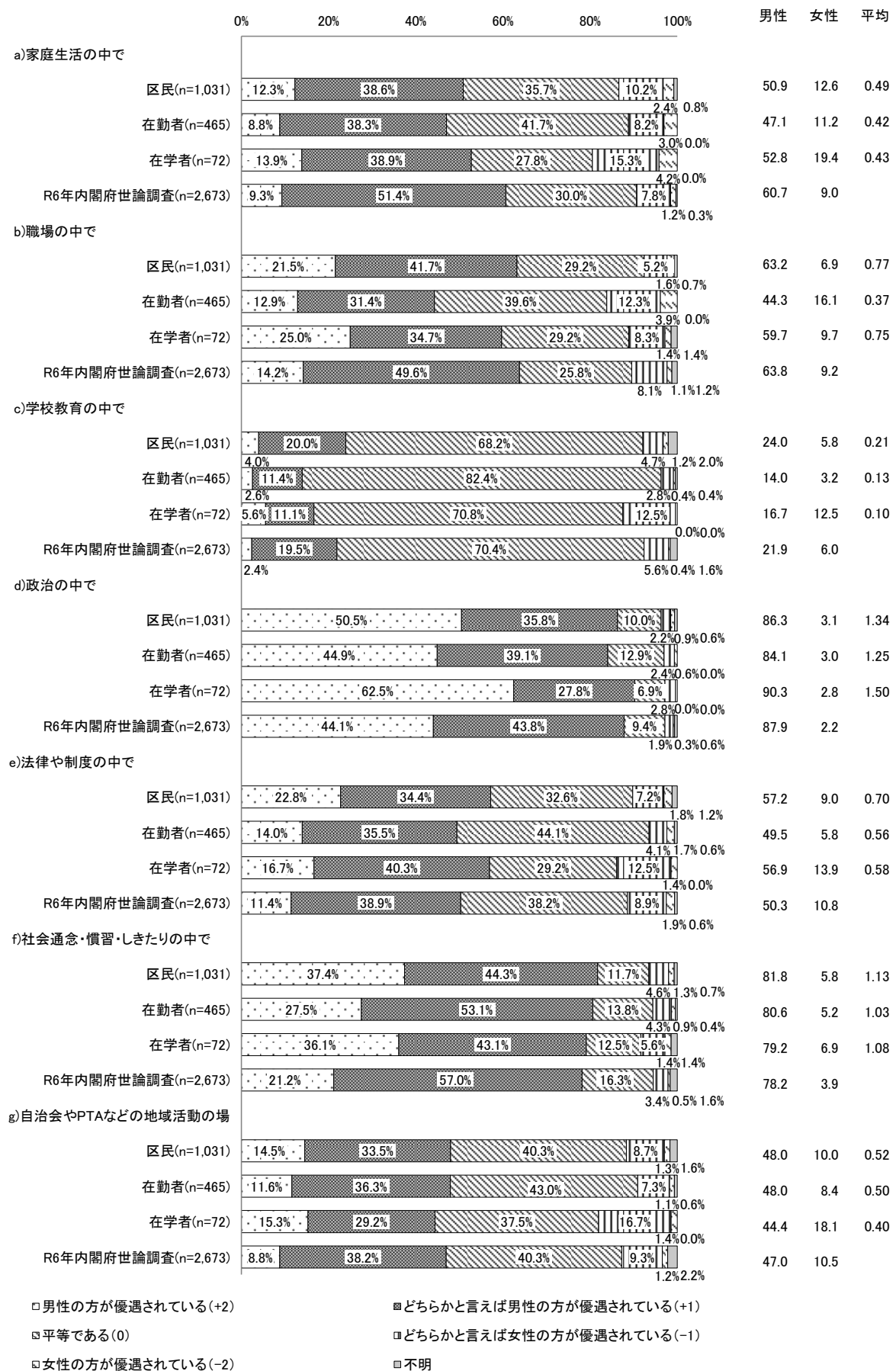
生活の様々な場面において、男女が平等だと思うかを尋ねた。（各項目の集計結果は、次頁以降を参照）

その結果、「区民」「在勤者」「在学者」いずれも、「平等である」の割合がもっとも高かったのは「学校教育の中で」のみであり、それ以外のすべての項目では、男性の方が優遇されていると思う割合がもっとも高かった。

また、特に「政治の中で」「社会通念・慣習・しきたりの中で」は、男性の方が優遇されていると思う割合が高く、これらの領域では男女間の不平等が残っている様子がうかがわれた。

「区民」と男女共同参画に関する世論調査（内閣府、令和6年9月）を比較すると、全体として大きな差は見られなかった。ただし「家庭生活の中で」に関しては、男性が優遇されていると考える割合が、区民の方が低いという違いがみられた。

図表 31 男女が平等だと思うか：単数回答（問3a～g）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 3a.男女が平等だと思うか:家庭生活の中で(単数回答)								
			男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	不明	(計) ※男性の方が優遇されている	(計) ※女性の方が優遇されている	平均
区民・全体		1,031	12.3	38.6	35.7	10.2	2.4	0.8	50.9	12.6	0.49
年代	18～29 歳	109	8.3	36.7	39.4	14.7	0.9	—	45.0	15.6	0.37
	30 代	182	7.1	31.9	40.7	14.8	4.9	0.5	39.0	19.8	0.22
	40 代	207	15.0	42.0	30.0	8.2	3.9	1.0	57.0	12.1	0.57
	50 代	242	16.9	34.3	35.1	11.2	1.2	1.2	51.2	12.4	0.55
	60 歳以上	291	11.3	44.7	35.7	6.2	1.4	0.7	56.0	7.6	0.59
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	4.6	30.1	46.2	15.0	4.0	—	34.7	19.1	0.16
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	16.7	44.5	29.4	7.4	1.1	0.9	61.2	8.4	0.69
	性的マイノリティ	78	17.9	35.9	32.1	10.3	2.6	1.3	53.8	12.8	0.57
	その他	50	8.0	36.0	38.0	8.0	6.0	4.0	44.0	14.0	0.33
在勤者・全体		465	8.8	38.3	41.7	8.2	3.0	—	47.1	11.2	0.42
年代	18～29 歳	60	8.3	28.3	45.0	18.3	—	—	36.7	18.3	0.27
	30 代	90	12.2	38.9	40.0	7.8	1.1	—	51.1	8.9	0.53
	40 代	116	6.9	33.6	43.1	12.1	4.3	—	40.5	16.4	0.27
	50 代	139	9.4	41.7	41.7	2.2	5.0	—	51.1	7.2	0.48
	60 歳以上	60	6.7	48.3	38.3	5.0	1.7	—	55.0	6.7	0.53
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	3.5	26.7	54.0	10.4	5.4	—	30.2	15.8	0.12
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	13.2	48.9	31.5	5.9	0.5	—	62.1	6.4	0.68
	性的マイノリティ	34	11.8	47.1	32.4	5.9	2.9	—	58.8	8.8	0.59
	その他	11	9.1	18.2	45.5	18.2	9.1	—	27.3	27.3	0.00
在学者・全体		72	13.9	38.9	27.8	15.3	4.2	—	52.8	19.4	0.43
年代	18～29 歳	51	5.9	39.2	35.3	13.7	5.9	—	45.1	19.6	0.25
	30 代	10	10.0	30.0	20.0	40.0	—	—	40.0	40.0	0.10
	40 代	4	25.0	75.0	—	—	—	—	100.0	—	1.25
	50 代	6	66.7	33.3	—	—	—	—	100.0	—	1.67
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	2.00
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	—	25.0	25.0	50.0	—	—	25.0	50.0	−0.25
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	17.6	39.2	25.5	11.8	5.9	—	56.9	17.6	0.51
	性的マイノリティ	11	9.1	45.5	36.4	9.1	—	—	54.5	9.1	0.55
	その他	2	—	50.0	50.0	—	—	—	50.0	—	0.50

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 3b.男女が平等だと思うか:職場の中で(単数回答)								
			男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	不明	(計) ※男性の方が優遇されている	(計) ※女性の方が優遇されている	平均
区民・全体		1,031	21.5	41.7	29.2	5.2	1.6	0.7	63.2	6.9	0.77
年代	18～29 歳	109	13.8	33.0	39.4	11.0	2.8	—	46.8	13.8	0.44
	30 代	182	17.6	40.1	30.8	8.2	3.3	—	57.7	11.5	0.60
	40 代	207	24.2	40.1	26.6	6.3	2.4	0.5	64.3	8.7	0.78
	50 代	242	26.9	39.3	28.5	3.7	0.8	0.8	66.1	4.5	0.88
	60 歳以上	291	20.6	49.1	26.8	1.7	0.3	1.4	69.8	2.1	0.89
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	12.1	36.1	39.9	7.8	4.0	—	48.3	11.8	0.45
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	27.6	45.6	22.4	3.2	0.4	0.7	73.2	3.6	0.98
	性的マイノリティ	78	23.1	44.9	24.4	7.7	—	—	67.9	7.7	0.83
	その他	50	16.0	32.0	38.0	6.0	2.0	6.0	48.0	8.0	0.57
在勤者・全体		465	12.9	31.4	39.6	12.3	3.9	—	44.3	16.1	0.37
年代	18～29 歳	60	5.0	31.7	48.3	10.0	5.0	—	36.7	15.0	0.22
	30 代	90	17.8	26.7	42.2	11.1	2.2	—	44.4	13.3	0.47
	40 代	116	11.2	29.3	37.9	17.2	4.3	—	40.5	21.6	0.26
	50 代	139	15.1	33.1	35.3	11.5	5.0	—	48.2	16.5	0.42
	60 歳以上	60	11.7	38.3	40.0	8.3	1.7	—	50.0	10.0	0.50
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	5.4	22.8	45.5	17.8	8.4	—	28.2	26.2	-0.01
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	18.3	39.7	36.1	5.9	—	—	58.0	5.9	0.70
	性的マイノリティ	34	26.5	32.4	23.5	17.6	—	—	58.8	17.6	0.68
	その他	11	—	27.3	45.5	18.2	9.1	—	27.3	27.3	-0.09
在学者・全体		72	25.0	34.7	29.2	8.3	1.4	1.4	59.7	9.7	0.75
年代	18～29 歳	51	25.5	37.3	25.5	9.8	—	2.0	62.7	9.8	0.80
	30 代	10	10.0	20.0	50.0	10.0	10.0	—	30.0	20.0	0.10
	40 代	4	25.0	50.0	25.0	—	—	—	75.0	—	1.00
	50 代	6	33.3	33.3	33.3	—	—	—	66.7	—	1.00
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	2.00
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	—	50.0	37.5	—	12.5	—	50.0	12.5	0.25
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	27.5	33.3	31.4	7.8	—	—	60.8	7.8	0.80
	性的マイノリティ	11	27.3	27.3	18.2	18.2	—	9.1	54.5	18.2	0.70
	その他	2	50.0	50.0	—	—	—	—	100.0	—	1.50

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 3c.男女が平等だと思うか:学校教育の中で(単数回答)								平均
			男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	不明	(計) ※男性の方が優遇されている	(計) ※女性の方が優遇されている	
区民・全体		1,031	4.0	20.0	68.2	4.7	1.2	2.0	24.0	5.8	0.21
年代	18～29 歳	109	2.8	20.2	66.1	9.2	1.8	—	22.9	11.0	0.13
	30 代	182	4.9	16.5	69.2	6.0	2.7	0.5	21.4	8.8	0.15
	40 代	207	4.3	19.3	68.6	5.8	1.0	1.0	23.7	6.8	0.20
	50 代	242	4.5	19.4	66.9	4.5	0.8	3.7	24.0	5.4	0.23
	60 歳以上	291	3.1	23.0	69.1	1.4	0.3	3.1	26.1	1.7	0.28
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	1.4	14.2	75.4	6.6	2.0	0.3	15.6	8.7	0.06
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	4.7	23.9	64.6	3.9	0.4	2.5	28.5	4.3	0.29
	性的マイノリティ	78	11.5	20.5	61.5	2.6	1.3	2.6	32.1	3.8	0.39
	その他	50	2.0	16.0	68.0	2.0	4.0	8.0	18.0	6.0	0.11
在勤者・全体		465	2.6	11.4	82.4	2.8	0.4	0.4	14.0	3.2	0.13
年代	18～29 歳	60	3.3	10.0	83.3	3.3	—	—	13.3	3.3	0.13
	30 代	90	2.2	7.8	90.0	—	—	—	10.0	—	0.12
	40 代	116	3.4	7.8	81.0	6.0	1.7	—	11.2	7.8	0.05
	50 代	139	2.2	12.2	82.0	2.2	—	1.4	14.4	2.2	0.15
	60 歳以上	60	1.7	23.3	73.3	1.7	—	—	25.0	1.7	0.25
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	—	8.4	87.1	3.0	1.0	0.5	8.4	4.0	0.03
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	4.1	12.8	80.8	1.8	—	0.5	16.9	1.8	0.19
	性的マイノリティ	34	8.8	20.6	64.7	5.9	—	—	29.4	5.9	0.32
	その他	11	—	18.2	72.7	9.1	—	—	18.2	9.1	0.09
在学者・全体		72	5.6	11.1	70.8	12.5	—	—	16.7	12.5	0.10
年代	18～29 歳	51	5.9	7.8	74.5	11.8	—	—	13.7	11.8	0.08
	30 代	10	—	20.0	50.0	30.0	—	—	20.0	30.0	-0.10
	40 代	4	25.0	—	75.0	—	—	—	25.0	—	0.50
	50 代	6	—	33.3	66.7	—	—	—	33.3	—	0.33
	60 歳以上	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	0.00
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	—	12.5	75.0	12.5	—	—	12.5	12.5	0.00
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	5.9	11.8	76.5	5.9	—	—	17.6	5.9	0.18
	性的マイノリティ	11	9.1	9.1	54.5	27.3	—	—	18.2	27.3	0.00
	その他	2	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	-1.00

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 3d.男女が平等だと思うか:政治の中で(単数回答)								平均
			男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	不明	(計) ※男性の方が優遇されている	(計) ※女性の方が優遇されている	
区民・全体		1,031	50.5	35.8	10.0	2.2	0.9	0.6	86.3	3.1	1.34
年代	18～29 歳	109	41.3	43.1	10.1	3.7	0.9	0.9	84.4	4.6	1.21
	30 代	182	53.3	31.3	12.6	1.6	1.1	—	84.6	2.7	1.34
	40 代	207	57.0	28.0	10.6	1.4	1.9	1.0	85.0	3.4	1.38
	50 代	242	57.0	28.9	9.9	3.7	0.4	—	86.0	4.1	1.38
	60 歳以上	291	42.3	47.1	7.9	1.4	0.3	1.0	89.3	1.7	1.31
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	36.4	38.2	19.4	4.3	1.4	0.3	74.6	5.8	1.04
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	59.2	35.5	3.8	0.7	0.4	0.4	94.8	1.1	1.53
	性的マイノリティ	78	60.3	23.1	12.8	2.6	—	1.3	83.3	2.6	1.43
	その他	50	36.0	42.0	10.0	4.0	4.0	4.0	78.0	8.0	1.06
在勤者・全体		465	44.9	39.1	12.9	2.4	0.6	—	84.1	3.0	1.25
年代	18～29 歳	60	45.0	43.3	11.7	—	—	—	88.3	—	1.33
	30 代	90	47.8	32.2	16.7	2.2	1.1	—	80.0	3.3	1.23
	40 代	116	43.1	37.9	13.8	4.3	0.9	—	81.0	5.2	1.18
	50 代	139	42.4	43.2	10.8	2.9	0.7	—	85.6	3.6	1.24
	60 歳以上	60	50.0	38.3	11.7	—	—	—	88.3	—	1.38
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	28.2	45.0	21.8	4.0	1.0	—	73.3	5.0	0.96
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	58.4	35.2	5.0	1.4	—	—	93.6	1.4	1.51
	性的マイノリティ	34	58.8	32.4	5.9	—	2.9	—	91.2	2.9	1.44
	その他	11	36.4	36.4	27.3	—	—	—	72.7	—	1.09
在学者・全体		72	62.5	27.8	6.9	2.8	—	—	90.3	2.8	1.50
年代	18～29 歳	51	58.8	27.5	9.8	3.9	—	—	86.3	3.9	1.41
	30 代	10	50.0	50.0	—	—	—	—	100.0	—	1.50
	40 代	4	75.0	25.0	—	—	—	—	100.0	—	1.75
	50 代	6	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	2.00
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	2.00
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	37.5	25.0	12.5	25.0	—	—	62.5	25.0	0.75
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	68.6	23.5	7.8	—	—	—	92.2	—	1.61
	性的マイノリティ	11	45.5	54.5	—	—	—	—	100.0	—	1.45
	その他	2	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	2.00

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 3e.男女が平等だと思うか：法律や制度の中で(単数回答)								
			男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	不明	(計) ※男性の方が優遇されている	(計) ※女性の方が優遇されている	平均
区民・全体		1,031	22.8	34.4	32.6	7.2	1.8	1.2	57.2	9.0	0.70
年代	18～29 歳	109	15.6	30.3	40.4	10.1	2.8	0.9	45.9	12.8	0.46
	30 代	182	24.2	25.8	29.7	14.8	4.9	0.5	50.0	19.8	0.50
	40 代	207	25.6	35.3	30.0	6.3	1.4	1.4	60.9	7.7	0.78
	50 代	242	28.5	33.9	30.2	5.8	1.2	0.4	62.4	7.0	0.83
	60 歳以上	291	17.9	41.2	35.4	3.1	0.3	2.1	59.1	3.4	0.75
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	9.8	25.4	48.8	11.8	3.5	0.6	35.3	15.3	0.26
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	28.9	40.9	24.1	4.5	0.5	1.1	69.8	5.0	0.94
	性的マイノリティ	78	34.6	29.5	26.9	7.7	1.3	—	64.1	9.0	0.88
	その他	50	26.0	32.0	24.0	4.0	6.0	8.0	58.0	10.0	0.74
在勤者・全体		465	14.0	35.5	44.1	4.1	1.7	0.6	49.5	5.8	0.56
年代	18～29 歳	60	11.7	31.7	50.0	6.7	—	—	43.3	6.7	0.48
	30 代	90	18.9	28.9	46.7	3.3	2.2	—	47.8	5.6	0.59
	40 代	116	12.9	33.6	42.2	6.9	2.6	1.7	46.6	9.5	0.48
	50 代	139	13.7	36.7	46.0	1.4	1.4	0.7	50.4	2.9	0.60
	60 歳以上	60	11.7	50.0	33.3	3.3	1.7	—	61.7	5.0	0.67
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	5.0	26.2	57.9	5.9	3.5	1.5	31.2	9.4	0.24
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	20.5	44.3	33.8	1.4	—	—	64.8	1.4	0.84
	性的マイノリティ	34	23.5	35.3	26.5	11.8	2.9	—	58.8	14.7	0.65
	その他	11	18.2	36.4	45.5	—	—	—	54.5	—	0.73
在学者・全体		72	16.7	40.3	29.2	12.5	1.4	—	56.9	13.9	0.58
年代	18～29 歳	51	11.8	37.3	39.2	9.8	2.0	—	49.0	11.8	0.47
	30 代	10	20.0	50.0	—	30.0	—	—	70.0	30.0	0.60
	40 代	4	50.0	25.0	—	25.0	—	—	75.0	25.0	1.00
	50 代	6	33.3	50.0	16.7	—	—	—	83.3	—	1.17
	60 歳以上	1	—	100.0	—	—	—	—	100.0	—	1.00
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	—	25.0	37.5	37.5	—	—	25.0	37.5	-0.13
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	19.6	49.0	27.5	3.9	—	—	68.6	3.9	0.84
	性的マイノリティ	11	18.2	9.1	36.4	36.4	—	—	27.3	36.4	0.09
	その他	2	—	50.0	—	—	50.0	—	50.0	50.0	-0.50

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 3f.男女が平等だと思うか：社会通念・慣習・しきたりの中で(単数回答)								
			男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	不明	(計) ※男性の方が優遇されている	(計) ※女性の方が優遇されている	平均
区民・全体		1,031	37.4	44.3	11.7	4.6	1.3	0.7	81.8	5.8	1.13
年代	18～29 歳	109	30.3	41.3	13.8	12.8	0.9	0.9	71.6	13.8	0.88
	30 代	182	33.0	40.7	15.9	6.0	4.4	–	73.6	10.4	0.92
	40 代	207	45.9	39.6	9.2	2.9	1.9	0.5	85.5	4.8	1.25
	50 代	242	42.1	41.7	11.6	4.1	–	0.4	83.9	4.1	1.22
	60 歳以上	291	33.0	53.3	10.3	2.1	–	1.4	86.3	2.1	1.19
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	20.5	51.7	16.2	9.0	2.6	–	72.3	11.6	0.79
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	47.0	41.3	8.3	2.5	0.2	0.7	88.3	2.7	1.33
	性的マイノリティ	78	46.2	35.9	12.8	1.3	2.6	1.3	82.1	3.8	1.23
	その他	50	34.0	40.0	18.0	2.0	2.0	4.0	74.0	4.0	1.06
在勤者・全体		465	27.5	53.1	13.8	4.3	0.9	0.4	80.6	5.2	1.03
年代	18～29 歳	60	21.7	46.7	21.7	6.7	1.7	1.7	68.3	8.3	0.81
	30 代	90	32.2	43.3	17.8	4.4	1.1	1.1	75.6	5.6	1.02
	40 代	116	25.0	56.0	12.9	5.2	0.9	–	81.0	6.0	0.99
	50 代	139	28.1	57.6	10.1	4.3	–	–	85.6	4.3	1.09
	60 歳以上	60	30.0	58.3	10.0	–	1.7	–	88.3	1.7	1.15
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	12.4	58.4	21.3	5.9	1.5	0.5	70.8	7.4	0.75
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	39.3	51.1	7.8	1.4	–	0.5	90.4	1.4	1.29
	性的マイノリティ	34	47.1	35.3	5.9	8.8	2.9	–	82.4	11.8	1.15
	その他	11	9.1	54.5	18.2	18.2	–	–	63.6	18.2	0.55
在学者・全体		72	36.1	43.1	12.5	5.6	1.4	1.4	79.2	6.9	1.08
年代	18～29 歳	51	27.5	45.1	17.6	5.9	2.0	2.0	72.5	7.8	0.92
	30 代	10	50.0	40.0	–	10.0	–	–	90.0	10.0	1.30
	40 代	4	50.0	50.0	–	–	–	–	100.0	0.0	1.50
	50 代	6	66.7	33.3	–	–	–	–	100.0	0.0	1.67
	60 歳以上	1	100.0	–	–	–	–	–	100.0	0.0	2.00
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	25.0	25.0	25.0	–	–	50.0	25.0	0.50
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	41.2	41.2	13.7	2.0	–	2.0	82.4	2.0	1.24
	性的マイノリティ	11	27.3	63.6	–	9.1	–	–	90.9	9.1	1.09
	その他	2	–	50.0	–	–	50.0	–	50.0	50.0	–0.50

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 3g.男女が平等だと思うか: 自治会や PTA などの地域活動の場(単数回答)								
			男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	不明	(計) ※男性の方が優遇されている	(計) ※女性の方が優遇されている	平均
区民・全体		1,031	14.5	33.5	40.3	8.7	1.3	1.6	48.0	10.0	0.52
年代	18～29 歳	109	10.1	24.8	52.3	10.1	2.8	—	34.9	12.8	0.29
	30 代	182	12.1	23.1	46.2	15.9	2.2	0.5	35.2	18.1	0.27
	40 代	207	18.4	34.3	36.2	7.7	1.9	1.4	52.7	9.7	0.60
	50 代	242	21.1	29.8	39.3	7.0	0.4	2.5	50.8	7.4	0.66
	60 歳以上	291	9.6	45.7	36.1	5.8	0.3	2.4	55.3	6.2	0.60
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	6.4	27.7	51.4	11.6	2.0	0.9	34.1	13.6	0.25
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	19.0	39.1	33.4	6.1	0.7	1.6	58.2	6.8	0.71
	性的マイノリティ	78	20.5	25.6	37.2	12.8	1.3	2.6	46.2	14.1	0.53
	その他	50	12.0	22.0	46.0	12.0	2.0	6.0	34.0	14.0	0.32
在勤者・全体		465	11.6	36.3	43.0	7.3	1.1	0.6	48.0	8.4	0.50
年代	18～29 歳	60	13.3	25.0	53.3	6.7	1.7	—	38.3	8.3	0.42
	30 代	90	13.3	34.4	44.4	7.8	—	—	47.8	7.8	0.53
	40 代	116	11.2	31.9	44.0	9.5	3.4	—	43.1	12.9	0.38
	50 代	139	9.4	43.2	39.6	6.5	—	1.4	52.5	6.5	0.56
	60 歳以上	60	13.3	43.3	36.7	5.0	—	1.7	56.7	5.0	0.66
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	3.0	28.2	56.9	9.9	1.5	0.5	31.2	11.4	0.21
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	18.7	42.5	33.3	3.7	0.9	0.9	61.2	4.6	0.75
	性的マイノリティ	34	17.6	44.1	23.5	14.7	—	—	61.8	14.7	0.65
	その他	11	9.1	45.5	36.4	9.1	—	—	54.5	9.1	0.55
在学者・全体		72	15.3	29.2	37.5	16.7	1.4	—	44.4	18.1	0.40
年代	18～29 歳	51	7.8	29.4	43.1	17.6	2.0	—	37.3	19.6	0.24
	30 代	10	30.0	20.0	30.0	20.0	—	—	50.0	20.0	0.60
	40 代	4	25.0	50.0	25.0	—	—	—	75.0	0.0	1.00
	50 代	6	50.0	16.7	16.7	16.7	—	—	66.7	16.7	1.00
	60 歳以上	1	—	100.0	—	—	—	—	100.0	0.0	1.00
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	12.5	62.5	12.5	—	—	25.0	12.5	0.25
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	15.7	33.3	35.3	13.7	2.0	—	49.0	15.7	0.47
	性的マイノリティ	11	18.2	18.2	36.4	27.3	—	—	36.4	27.3	0.27
	その他	2	—	50.0	—	50.0	—	—	50.0	50.0	0.00

(4) 結婚についての考え方

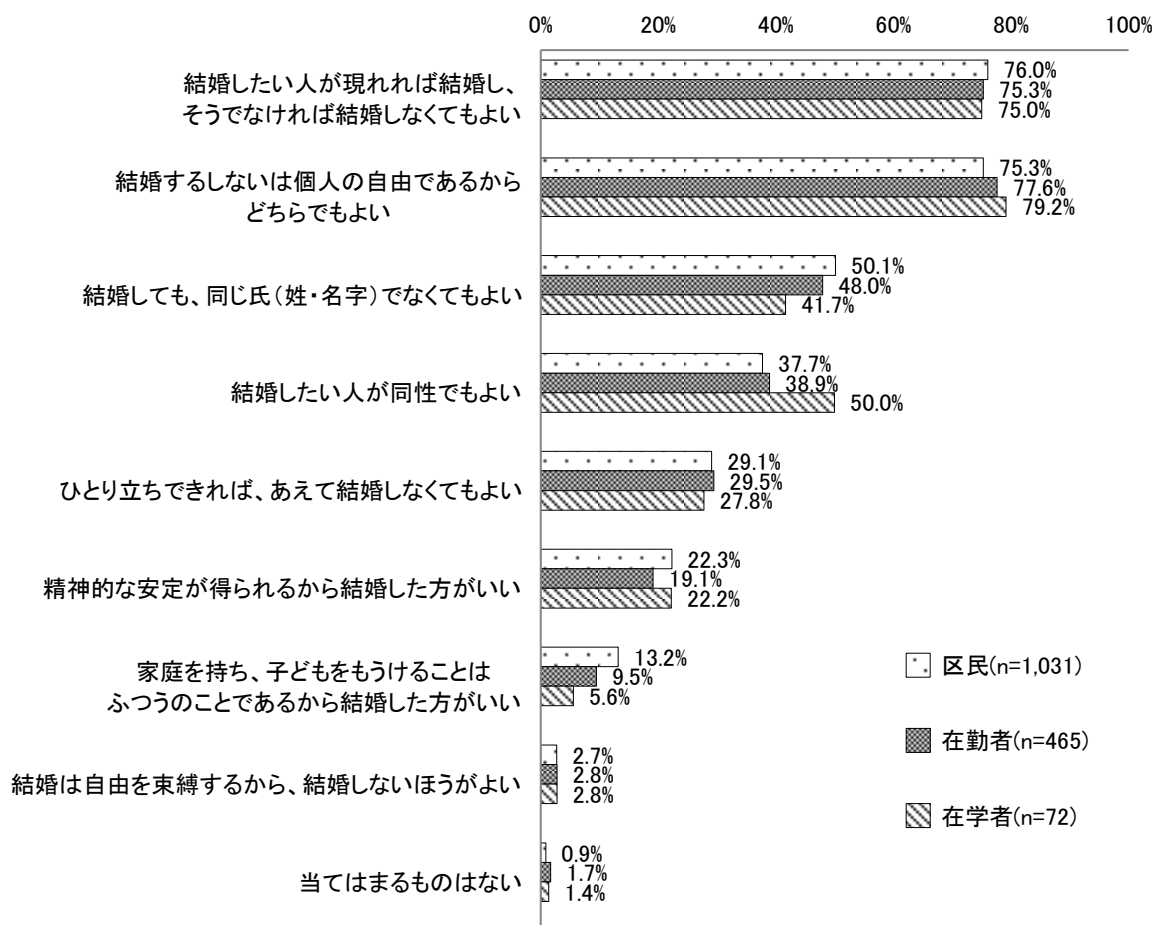
結婚についての考え方をみると、「区民」では、「結婚したい人が現れれば結婚し、そうでなければ結婚しなくてもよい」が76.0%でもっとも割合が高く、次いで「結婚するしないは個人の自由であるからどちらでもよい」が75.3%となっている。令和2年度調査と比較すると、「60歳以上」における「精神的な安定が得られるから結婚した方がいい」「家庭を持ち、子どもをもうけることはふつうのことであるから結婚した方がいい」の割合が減少している一方、「結婚したい人が同性でもよい」の割合は増加傾向である。

「在勤者」では、「結婚するしないは個人の自由であるからどちらでもよい」が77.6%でもっとも割合が高く、次いで「結婚したい人が現れれば結婚し、そうでなければ結婚しなくてもよい」が75.3%となっている。

「在学者」では、「結婚するしないは個人の自由であるからどちらでもよい」が79.2%でもっとも割合が高く、次いで「結婚したい人が現れれば結婚し、そうでなければ結婚しなくてもよい」が75.0%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「性的マイノリティ」では「結婚したい人が同性でもよい」が「区民」で65.4%、「在勤者」「在学者」においても8割強と、他のセクシュアリティ区分と比較して割合が高く、より柔軟な考え方を有している様子がうかがわれる。

図表 32 結婚についての考え方：複数回答（問4）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 4.結婚についての考え方(複数回答)									
			結婚したい人が現れれば結婚しなくてもよい	結婚したい人は個人の自由であるからどちらでもよい	結婚しても、同じ氏(姓・名字)でなくてもよい	結婚したい人が同性でもよい	ひとり立ちできれば、あえて結婚しなくてもよい	精神的な安定が得られるから結婚した方がよい	家庭を持ち、子どもをもつことから結婚した方がよい	結婚は自由を束縛するから、結婚しないほうがよい	当てはまるものはない	不明
区民・全体		1,031	76.0	75.3	50.1	37.7	29.1	22.3	13.2	2.7	0.9	-
年代	18～29 歳	109	78.9	77.1	40.4	35.8	24.8	21.1	9.2	2.8	-	-
	30 代	182	74.7	82.4	50.0	43.4	34.1	21.4	9.9	3.3	0.5	-
	40 代	207	82.6	78.7	55.1	50.7	37.7	24.6	10.6	3.9	0.5	-
	50 代	242	78.9	76.4	55.8	38.4	31.4	23.6	15.3	2.9	0.4	-
	60 歳以上	291	68.7	66.7	45.7	25.1	19.6	20.6	16.8	1.4	2.1	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	70.8	71.1	44.2	26.6	22.8	28.6	18.8	3.8	1.4	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	81.1	77.7	53.1	42.4	33.2	19.0	9.3	1.8	0.7	-
	性的マイノリティ	78	73.1	87.2	62.8	65.4	38.5	14.1	9.0	3.8	-	-
	その他	50	60.0	58.0	38.0	20.0	12.0	28.0	24.0	4.0	-	-
在勤者・全体		465	75.3	77.6	48.0	38.9	29.5	19.1	9.5	2.8	1.7	-
年代	18～29 歳	60	78.3	73.3	35.0	46.7	28.3	16.7	5.0	5.0	-	-
	30 代	90	75.6	83.3	48.9	50.0	37.8	11.1	7.8	5.6	1.1	-
	40 代	116	75.0	80.2	47.4	37.9	25.9	21.6	6.9	2.6	1.7	-
	50 代	139	75.5	79.1	54.7	37.4	28.1	22.3	13.7	-	2.2	-
	60 歳以上	60	71.7	65.0	45.0	20.0	28.3	21.7	11.7	3.3	3.3	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	70.8	73.3	34.7	23.8	17.8	27.7	16.8	2.0	1.0	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	79.0	83.1	58.0	46.1	38.4	13.7	3.7	2.7	1.4	-
	性的マイノリティ	34	82.4	76.5	67.6	85.3	44.1	5.9	2.9	8.8	2.9	-
	その他	11	54.5	54.5	27.3	27.3	18.2	9.1	9.1	-	18.2	-
在学者・全体		72	75.0	79.2	41.7	50.0	27.8	22.2	5.6	2.8	1.4	-
年代	18～29 歳	51	74.5	76.5	35.3	51.0	27.5	23.5	5.9	2.0	2.0	-
	30 代	10	80.0	80.0	40.0	30.0	40.0	30.0	10.0	10.0	-	-
	40 代	4	75.0	75.0	50.0	75.0	25.0	25.0	-	-	-	-
	50 代	6	66.7	100.0	100.0	66.7	16.7	-	-	-	-	-
	60 歳以上	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	62.5	62.5	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	-	-	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	78.4	78.4	45.1	49.0	27.5	19.6	5.9	3.9	-	-
	性的マイノリティ	11	72.7	100.0	36.4	81.8	36.4	36.4	-	-	-	-
	その他	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-

(5) 女性の働き方についての考え方

女性の働き方についての考え方を尋ねた。(各項目の集計結果は、次頁以降を参照)

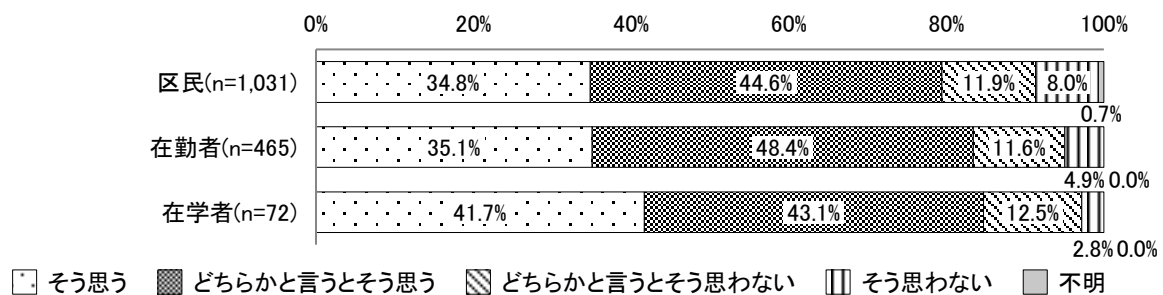
その結果、「区民」「在勤者」「在学者」いずれも、「結婚や出産に関わりなく、一生職業を持つ」についてそう思う割合が高く、「結婚までは職業をもつが、結婚後はもたない」「一生仕事を持たず家事に専念する」などについてはそう思う割合が低い傾向がみられた。したがって、女性が職業を持つものだと考えている様子がうかがわれた。

一方、子育て期の働き方に関する考え方を問う項目(「子育ての時期だけ一時辞めて、その前後は職業をもつ」)については、そう思う割合が約半数程度となっており、他の項目に比べると考え方が分かれる様子がみられた。

①結婚や出産に関わりなく、一生職業を持つ

女性の働き方について、「結婚や出産に関わりなく、一生職業を持つ」と思うかをみると、そう思う割合(「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計)は、「区民」では79.4%、「在勤者」では83.4%、「在学者」では84.7%となっている。

図表 33 女性の働き方についての考え方：結婚や出産に関わりなく、一生職業を持つ
：単数回答(問5a)



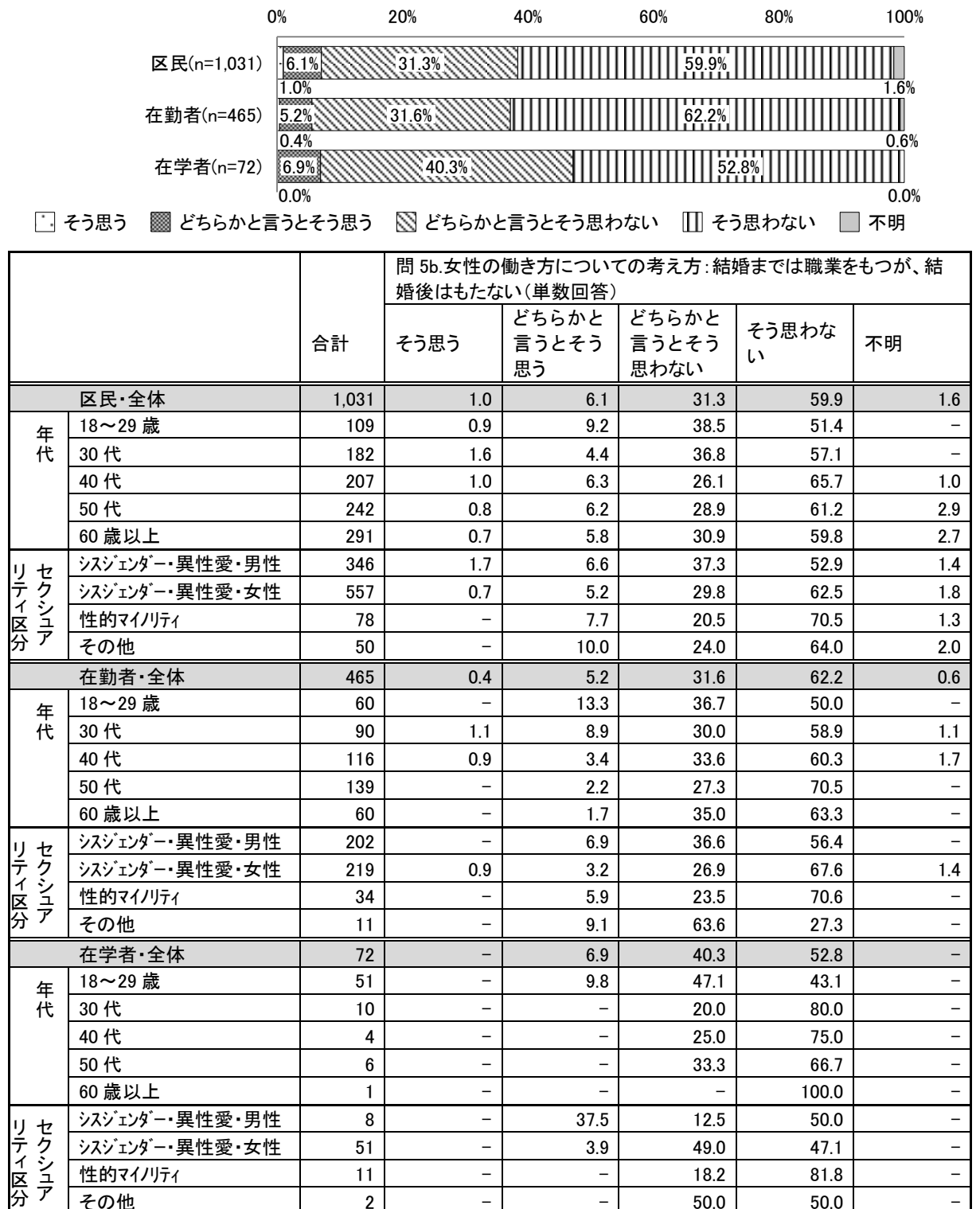
3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 5a.女性の働き方についての考え方:結婚や出産に関わりなく、一生職業を持つ(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
区民・全体		1,031	34.8	44.6	11.9	8.0	0.7
年代	18～29 歳	109	31.2	46.8	12.8	9.2	—
	30 代	182	32.4	41.2	16.5	9.9	—
	40 代	207	42.5	39.6	10.1	7.2	0.5
	50 代	242	38.8	47.1	5.8	7.9	0.4
	60 歳以上	291	28.9	47.4	15.1	6.9	1.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	28.6	48.0	13.9	9.0	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	38.1	43.1	11.7	6.8	0.4
	性的マイノリティ	78	41.0	42.3	7.7	7.7	1.3
	その他	50	32.0	42.0	8.0	14.0	4.0
在勤者・全体		465	35.1	48.4	11.6	4.9	—
年代	18～29 歳	60	31.7	48.3	20.0	—	—
	30 代	90	38.9	44.4	12.2	4.4	—
	40 代	116	27.6	54.3	10.3	7.8	—
	50 代	139	39.6	44.6	10.1	5.8	—
	60 歳以上	60	36.7	51.7	8.3	3.3	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	22.8	52.5	16.3	8.4	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	46.6	43.4	8.2	1.8	—
	性的マイノリティ	34	38.2	50.0	5.9	5.9	—
	その他	11	18.2	72.7	9.1	—	—
在学者・全体		72	41.7	43.1	12.5	2.8	—
年代	18～29 歳	51	33.3	47.1	17.6	2.0	—
	30 代	10	60.0	30.0	—	10.0	—
	40 代	4	75.0	25.0	—	—	—
	50 代	6	66.7	33.3	—	—	—
	60 歳以上	1	—	100.0	—	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	37.5	37.5	12.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	47.1	45.1	7.8	—	—
	性的マイノリティ	11	45.5	36.4	9.1	9.1	—
	その他	2	—	50.0	50.0	—	—

②結婚までは職業をもつが、結婚後はもたない

女性の働き方について、「結婚までは職業をもつが、結婚後はもたない」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では 7.1%、「在勤者」では 5.6%、「在学者」では 6.9%となっている。

図表 34 女性の働き方についての考え方：結婚までは職業をもつが、結婚後はもたない
：単数回答（問5b）



③結婚後、子どもが生まれるまでは職業をもち、その後はもたない

女性の働き方について、「結婚後、子どもが生まれるまでは職業をもち、その後はもたない」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では11.7%、「在勤者」では8.4%、「在学者」では9.7%となっている。

図表 35 女性の働き方についての考え方：結婚後、子どもが生まれるまでは職業をもち、その後はもたない：単数回答（問5c）



④子育ての時期だけ一時辞めて、その前後は職業をもつ

女性の働き方について、「子育ての時期だけ一時辞めて、その前後は職業をもつ」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では56.7%、「在勤者」では50.1%、「在学者」では65.3%となっている。

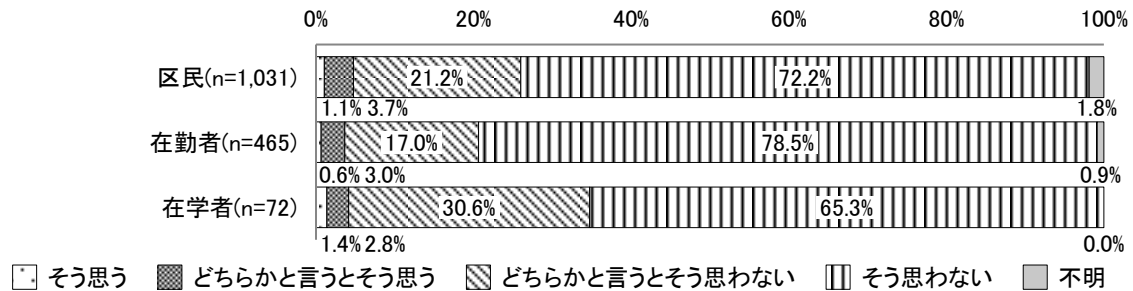
図表 36 女性の働き方についての考え方：子育ての時期だけ一時辞めて、その前後は職業をもつ
：単数回答（問5d）



⑤一生仕事を持たず家事に専念する

女性の働き方について、「一生仕事を持たず家事に専念する」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では4.8%、「在勤者」では3.7%、「在学者」では4.2%となっている。

図表 37 女性の働き方についての考え方：一生仕事を持たず家事に専念する：単数回答（問5e）



		問 5e.女性の働き方についての考え方：一生仕事を持たず家事に専念する(単数回答)				
		合計	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない
区民・全体		1,031	1.1	3.7	21.2	72.2
年代	18～29 歳	109	0.9	3.7	28.4	67.0
	30 代	182	2.2	5.5	25.8	66.5
	40 代	207	0.5	4.8	18.8	75.4
	50 代	242	0.8	4.1	20.2	71.5
	60 歳以上	291	1.0	1.4	18.2	75.9
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	1.7	3.8	25.4	67.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	0.7	3.2	18.9	75.0
	性的マイノリティ	78	1.3	5.1	19.2	73.1
	その他	50	-	6.0	22.0	70.0
在勤者・全体		465	0.6	3.0	17.0	78.5
年代	18～29 歳	60	-	6.7	25.0	68.3
	30 代	90	1.1	4.4	16.7	76.7
	40 代	116	1.7	1.7	20.7	74.1
	50 代	139	-	2.2	12.2	85.6
	60 歳以上	60	-	1.7	13.3	83.3
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	0.5	5.4	22.8	70.8
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	0.9	0.5	12.3	84.9
	性的マイノリティ	34	-	2.9	14.7	82.4
	その他	11	-	9.1	9.1	81.8
在学者・全体		72	1.4	2.8	30.6	65.3
年代	18～29 歳	51	2.0	2.0	35.3	60.8
	30 代	10	-	10.0	20.0	70.0
	40 代	4	-	-	25.0	75.0
	50 代	6	-	-	16.7	83.3
	60 歳以上	1	-	-	-	100.0
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	-	12.5	37.5	50.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	2.0	-	31.4	66.7
	性的マイノリティ	11	-	9.1	18.2	72.7
	その他	2	-	-	50.0	50.0

(6) 子育てについての考え方

子育てについての考え方を尋ねた。(各項目の集計結果は、次頁以降を参照)

その結果、「区民」「在勤者」「在学者」いずれも、「女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい」「男の子にも、家事ができるように育てるのがよい」「性別に関わらず、経済的自立や家事ができるように育てるのがよい」についてそう思う割合が高く、性別に関わらず経済的に自立し、家事ができるように育てるのがよいと考えている様子がうかがわれた。

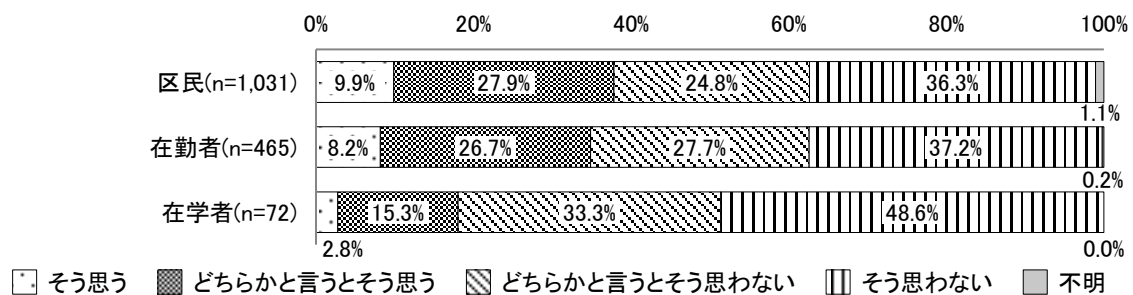
一方、「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい」については、「区民」「在勤者」ではそう思わない割合が6割強、そう思う割合が4割弱となっており、他の項目に比べると考え方が分かれる様子がみられた。

①女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい

子育てについて、「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい」と思うかをみると、そう思う割合(「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計)は、「区民」では37.8%、「在勤者」では34.8%、「在学者」では18.1%となっている。

図表 38 子育てについての考え方：

女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい：単数回答（問6a）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 6a.子育てについての考え方:女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
区民・全体		1,031	9.9	27.9	24.8	36.3	1.1
年代	18～29 歳	109	6.4	25.7	25.7	42.2	—
	30 代	182	11.0	23.1	29.7	35.7	0.5
	40 代	207	7.2	30.9	20.3	41.5	—
	50 代	242	10.3	30.2	24.0	33.9	1.7
	60 歳以上	291	12.0	27.8	25.4	32.6	2.1
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	15.3	40.5	19.7	23.7	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	5.6	22.8	27.6	43.1	0.9
	性的マイノリティ	78	10.3	11.5	26.9	51.3	—
	その他	50	20.0	24.0	26.0	24.0	6.0
在勤者・全体		465	8.2	26.7	27.7	37.2	0.2
年代	18～29 歳	60	6.7	28.3	38.3	26.7	—
	30 代	90	7.8	12.2	35.6	44.4	—
	40 代	116	7.8	29.3	24.1	38.8	—
	50 代	139	10.1	30.9	20.1	38.1	0.7
	60 歳以上	60	6.7	31.7	30.0	31.7	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	15.3	38.1	24.3	22.3	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	2.7	17.4	32.9	46.6	0.5
	性的マイノリティ	34	—	17.6	17.6	64.7	—
	その他	11	9.1	27.3	18.2	45.5	—
在学者・全体		72	2.8	15.3	33.3	48.6	—
年代	18～29 歳	51	2.0	17.6	35.3	45.1	—
	30 代	10	10.0	10.0	30.0	50.0	—
	40 代	4	—	25.0	—	75.0	—
	50 代	6	—	—	33.3	66.7	—
	60 歳以上	1	—	—	100.0	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	37.5	25.0	25.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	—	11.8	39.2	49.0	—
	性的マイノリティ	11	9.1	18.2	9.1	63.6	—
	その他	2	—	—	50.0	50.0	—

②女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい

子育てについて、「女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では96.1%、「在勤者」では97.8%、「在学者」では98.6%となっている。

図表 39 子育てについての考え方：女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい
：単数回答（問6b）



③男の子にも、家事ができるように育てるのがよい

子育てについて、「男の子にも、家事ができるように育てるのがよい」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では96.5%、「在勤者」では97.2%、「在学者」では95.8%となっている。

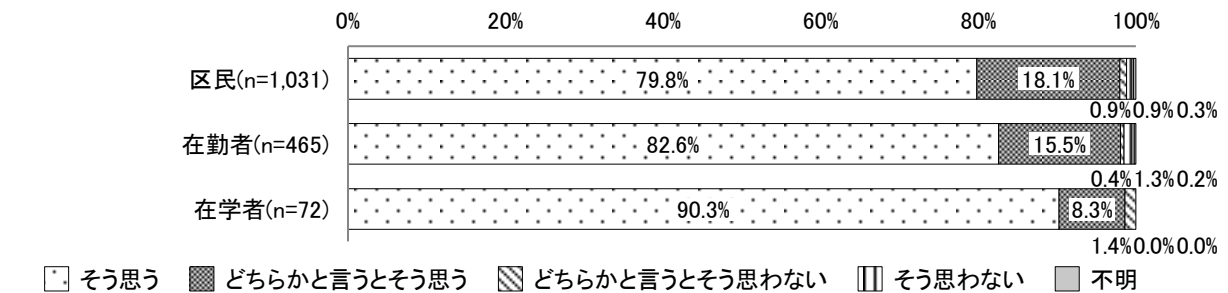
図表 40 子育てについての考え方：男の子にも、家事ができるように育てるのがよい
：単数回答（問6c）



④性別に関わらず、経済的自立や家事ができるように育てるのがよい

子育てについて、「性別に関わらず、経済的自立や家事ができるように育てるのがよい」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では98.0%、「在勤者」では98.1%、「在学者」では98.6%となっている。

図表 41 子育てについての考え方：性別に関わらず、
経済的自立や家事ができるように育てるのがよい：単数回答（問6d）



		合計	問 6d.子育てについての考え方：性別に関わらず、経済的自立や家事ができるように育てるのがよい(単数回答)					
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明	
区民・全体		1,031	79.8	18.1	0.9	0.9	0.3	
年代	18～29 歳	109	85.3	12.8	0.9	0.9	－	
	30 代	182	83.5	14.8	0.5	1.1	－	
	40 代	207	84.1	14.0	0.5	1.4	－	
	50 代	242	83.5	15.7	0.8	－	－	
	60 歳以上	291	69.4	27.1	1.4	1.0	1.0	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	72.8	24.3	1.7	0.9	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	84.9	14.0	0.4	0.5	0.2	
	性的マイノリティ	78	84.6	12.8	－	2.6	－	
	その他	50	64.0	30.0	2.0	2.0	2.0	
在勤者・全体		465	82.6	15.5	0.4	1.3	0.2	
年代	18～29 歳	60	88.3	11.7	－	－	－	
	30 代	90	87.8	10.0	2.2	－	－	
	40 代	116	81.9	15.5	－	2.6	－	
	50 代	139	83.5	14.4	－	1.4	0.7	
	60 歳以上	60	68.3	30.0	－	1.7	－	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	73.8	23.3	0.5	2.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	89.5	9.1	0.5	0.5	0.5	
	性的マイノリティ	34	91.2	8.8	－	－	－	
	その他	11	72.7	27.3	－	－	－	
在学者・全体		72	90.3	8.3	1.4	－	－	
年代	18～29 歳	51	86.3	11.8	2.0	－	－	
	30 代	10	100.0	－	－	－	－	
	40 代	4	100.0	－	－	－	－	
	50 代	6	100.0	－	－	－	－	
	60 歳以上	1	100.0	－	－	－	－	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	87.5	12.5	－	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	88.2	9.8	2.0	－	－	
	性的マイノリティ	11	100.0	－	－	－	－	
	その他	2	100.0	－	－	－	－	

⑤父親は現在よりももっと子育てにかかわるほうがよい

子育てについて、「父親は現在よりももっと子育てにかかわるほうがよい」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では92.3%、「在勤者」では95.3%、「在学者」では90.3%となっている。

図表 42 子育てについての考え方：父親は現在よりももっと子育てにかかわるほうがよい
：単数回答（問6e）



(7) 性別による服装や身だしなみの考え方

職場や学校における、性別による服装や身だしなみの考え方を尋ねた。(各項目の集計結果は、次頁以降を参照)

その結果、「区民」「在勤者」「在学者」いずれも、服装や身だしなみに関する規範意識は弱い傾向がうかがわれた。

「シスジェンダー・異性愛・女性」に関しては、服装（パンプス(ハイヒール)、スラックス(ズボン)の着用)に関する規範意識は弱かったものの、身だしなみ（メイク）に関しては、服装に比べると規範意識が強かった。

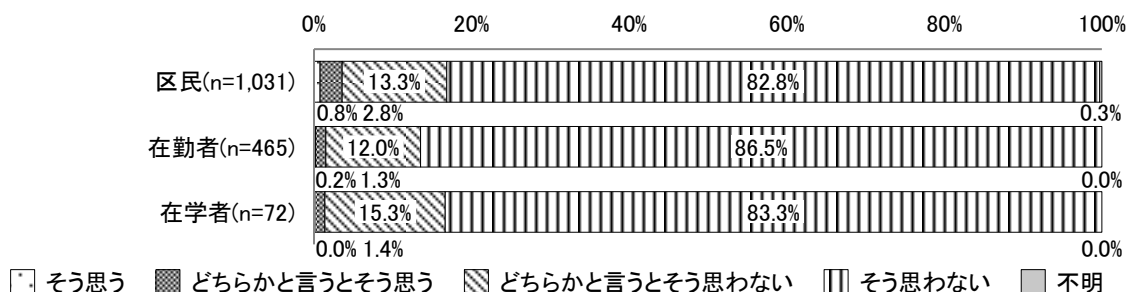
さらに、「シスジェンダー・異性愛・男性」については、「シスジェンダー・異性愛・女性」に比べると服装（パンプス(ハイヒール)、スラックス(ズボン)の着用)に関する規範意識が強い傾向がみられた。問7の各項目を総じてみると、服装や身だしなみに関して、男性に向けられる規範の方が強い傾向があることとあわせて、男性はより規範に従うことが求められ、かつそうした規範を内在化している様子がうかがえる。

①職場では女性はパンプス（ハイヒール）を履くべきだ

性別による服装や身だしなみの考え方について、「職場では女性はパンプス（ハイヒール）を履くべきだ」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では3.6%、「在勤者」では1.5%、「在学者」では1.4%となっている。

図表 43 性別による服装や身だしなみの考え方

：職場では女性はパンプス（ハイヒール）を履くべきだ：単数回答（問7a）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

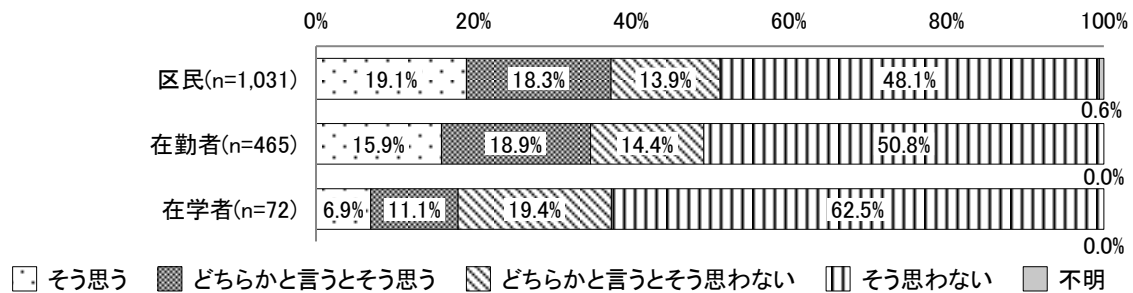
		合計	問 7a.性別による服装や身だしなみの考え方:職場では女性はパンプス(ハイヒール)を履くべきだ(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
区民・全体		1,031	0.8	2.8	13.3	82.8	0.3
年代	18～29 歳	109	1.8	0.9	15.6	81.7	—
	30 代	182	1.6	4.4	9.9	84.1	—
	40 代	207	0.5	1.9	10.1	87.0	0.5
	50 代	242	0.8	3.7	16.5	78.9	—
	60 歳以上	291	—	2.4	14.1	82.8	0.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	1.4	2.0	17.6	78.9	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	0.5	3.1	10.4	85.6	0.4
	性的マイノリティ	78	—	—	14.1	85.9	—
	その他	50	—	10.0	14.0	74.0	2.0
在勤者・全体		465	0.2	1.3	12.0	86.5	—
年代	18～29 歳	60	—	—	11.7	88.3	—
	30 代	90	1.1	2.2	12.2	84.4	—
	40 代	116	—	1.7	12.9	85.3	—
	50 代	139	—	1.4	10.1	88.5	—
	60 歳以上	60	—	—	15.0	85.0	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	—	2.0	17.3	80.7	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	0.5	0.5	8.7	90.4	—
	性的マイノリティ	34	—	—	2.9	97.1	—
	その他	11	—	9.1	9.1	81.8	—
在学者・全体		72	—	1.4	15.3	83.3	—
年代	18～29 歳	51	—	—	19.6	80.4	—
	30 代	10	—	10.0	—	90.0	—
	40 代	4	—	—	—	100.0	—
	50 代	6	—	—	16.7	83.3	—
	60 歳以上	1	—	—	—	100.0	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	—	—	37.5	62.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	—	—	13.7	86.3	—
	性的マイノリティ	11	—	9.1	—	90.9	—
	その他	2	—	—	50.0	50.0	—

②職場では男性はパンプス（ハイヒール）を履くべきでない

性別による服装や身だしなみの考え方について、「職場では男性はパンプス（ハイヒール）を履くべきでない」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では37.4%、「在勤者」では34.8%、「在学者」では18.1%となっている。

図表 44 性別による服装や身だしなみの考え方

：職場では男性はパンプス（ハイヒール）を履くべきでない：単数回答（問7b）



		合計	問 7b.性別による服装や身だしなみの考え方:職場では男性はパンプス(ハイヒール)を履くべきでない(単数回答)					
			そう思う	どちらかと言う と思う	どちらか 言うと思う 思わない	そう思わ ない	不明	
区民・全体		1,031	19.1	18.3	13.9	48.1	0.6	
年代	18～29 歳	109	12.8	14.7	14.7	57.8	-	
	30 代	182	19.8	13.7	13.2	53.3	-	
	40 代	207	15.9	14.0	13.0	56.5	0.5	
	50 代	242	21.9	18.2	15.7	43.8	0.4	
	60 歳以上	291	21.0	25.8	13.1	38.8	1.4	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	25.7	23.7	11.8	38.4	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	15.6	16.5	14.2	53.1	0.5	
	性的マイノリティ	78	15.4	10.3	15.4	59.0	-	
	その他	50	18.0	14.0	22.0	42.0	4.0	
在勤者・全体		465	15.9	18.9	14.4	50.8	-	
年代	18～29 歳	60	13.3	11.7	21.7	53.3	-	
	30 代	90	7.8	18.9	15.6	57.8	-	
	40 代	116	17.2	23.3	8.6	50.9	-	
	50 代	139	19.4	18.7	12.9	48.9	-	
	60 歳以上	60	20.0	18.3	20.0	41.7	-	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	27.2	26.2	12.4	34.2	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	7.3	15.1	15.5	62.1	-	
	性的マイノリティ	34	2.9	2.9	20.6	73.5	-	
	その他	11	18.2	9.1	18.2	54.5	-	
在学者・全体		72	6.9	11.1	19.4	62.5	-	
年代	18～29 歳	51	5.9	13.7	19.6	60.8	-	
	30 代	10	-	-	30.0	70.0	-	
	40 代	4	25.0	-	-	75.0	-	
	50 代	6	16.7	-	16.7	66.7	-	
	60 歳以上	1	-	100.0	-	-	-	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	-	37.5	25.0	37.5	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	5.9	9.8	23.5	60.8	-	
	性的マイノリティ	11	9.1	-	-	90.9	-	
	その他	2	50.0	-	-	50.0	-	

③職場では女性はメイク（化粧）をするべきだ

性別による服装や身だしなみの考え方について、「職場では女性はメイク（化粧）をするべきだ」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では 32.0%、「在勤者」では 29.9%、「在学者」では 26.4%となっている。

図表 45 性別による服装や身だしなみの考え方
：職場では女性はメイク（化粧）をするべきだ：単数回答（問 7c）

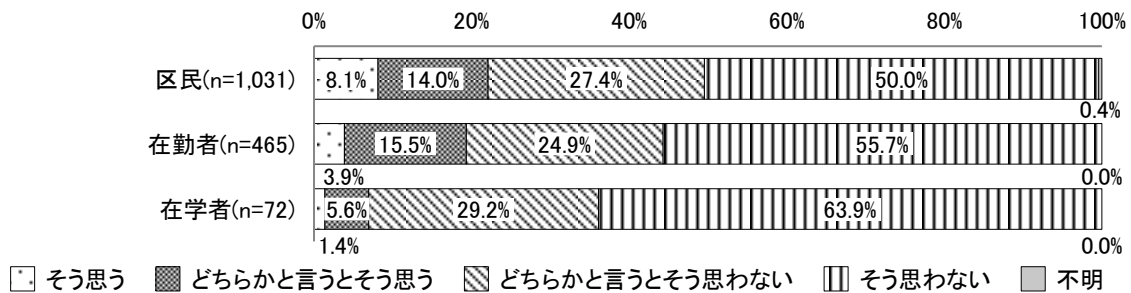


④職場では男性はメイク（化粧）をすべきでない

性別による服装や身だしなみの考え方について、「職場では男性はメイク（化粧）をすべきでない」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では22.1%、「在勤者」では19.4%、「在学者」では6.9%となっている。

図表 46 性別による服装や身だしなみの考え方

：職場では男性はメイク（化粧）をすべきでない：単数回答（問7d）



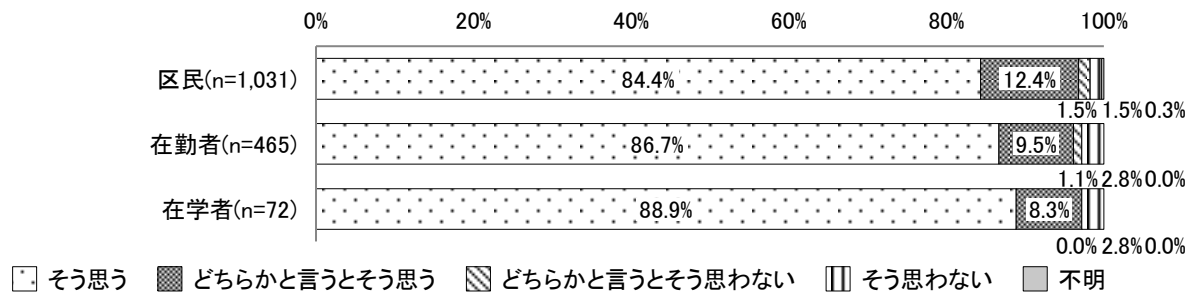
		合計	問 7d.性別による服装や身だしなみの考え方:職場では男性はメイク(化粧)をすべきでない(単数回答)					
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明	
区民・全体		1,031	8.1	14.0	27.4	50.0	0.4	
年代	18～29 歳	109	0.9	9.2	28.4	61.5	－	
	30 代	182	4.4	10.4	26.4	58.8	－	
	40 代	207	7.2	10.6	25.6	56.0	0.5	
	50 代	242	12.8	13.2	26.4	47.1	0.4	
	60 歳以上	291	10.0	21.0	29.9	38.5	0.7	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	11.0	19.4	26.9	42.5	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	6.6	11.1	27.8	54.0	0.4	
	性的マイノリティ	78	5.1	9.0	24.4	61.5	－	
	その他	50	10.0	16.0	32.0	40.0	2.0	
在勤者・全体		465	3.9	15.5	24.9	55.7	－	
年代	18～29 歳	60	3.3	10.0	20.0	66.7	－	
	30 代	90	1.1	10.0	31.1	57.8	－	
	40 代	116	6.0	22.4	12.9	58.6	－	
	50 代	139	4.3	13.7	30.9	51.1	－	
	60 歳以上	60	3.3	20.0	30.0	46.7	－	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	6.4	25.2	22.8	45.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	1.8	9.1	27.9	61.2	－	
	性的マイノリティ	34	－	－	17.6	82.4	－	
	その他	11	9.1	9.1	36.4	45.5	－	
在学者・全体		72	1.4	5.6	29.2	63.9	－	
年代	18～29 歳	51	2.0	7.8	33.3	56.9	－	
	30 代	10	－	－	10.0	90.0	－	
	40 代	4	－	－	25.0	75.0	－	
	50 代	6	－	－	33.3	66.7	－	
	60 歳以上	1	－	－	－	100.0	－	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	－	12.5	50.0	37.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	－	3.9	31.4	64.7	－	
	性的マイノリティ	11	－	9.1	9.1	81.8	－	
	その他	2	50.0	－	－	50.0	－	

⑤学校では女性がスラックス（ズボン）をはいてもよい

性別による服装や身だしなみの考え方について、「学校では女性がスラックス（ズボン）をはいてもよい」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では96.8%、「在勤者」では96.1%、「在学者」では97.2%となっている。

図表 47 性別による服装や身だしなみの考え方

：学校では女性がスラックス（ズボン）をはいてもよい：単数回答（問7e）



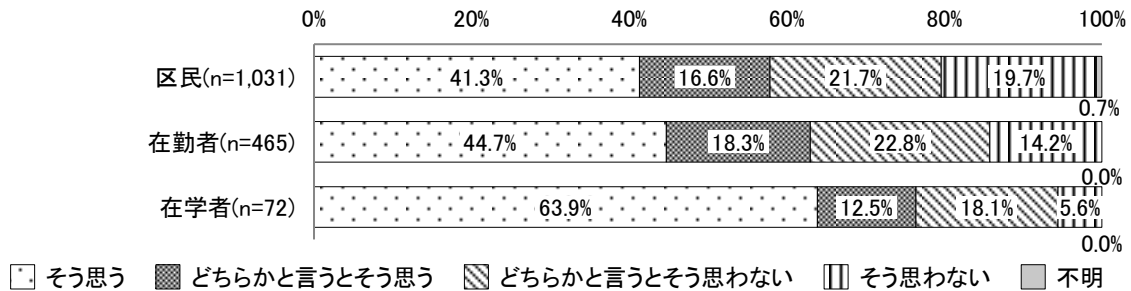
		合計	問 7e.性別による服装や身だしなみの考え方:学校では女性がスラックス(ズボン)をはいてもよい(単数回答)					
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明	
区民・全体		1,031	84.4	12.4	1.5	1.5	0.3	
年代	18～29 歳	109	82.6	11.9	5.5	—	—	
	30 代	182	83.0	14.3	0.5	2.2	—	
	40 代	207	87.0	10.6	1.4	0.5	0.5	
	50 代	242	85.5	10.7	1.2	2.1	0.4	
	60 歳以上	291	83.2	14.1	0.7	1.7	0.3	
リ テ ィ 区 分	セクシユア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	76.3	18.8	2.3	2.3	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	88.2	10.1	0.4	1.3	0.2	
	性的マイノリティ	78	89.7	7.7	2.6	—	—	
	その他	50	90.0	2.0	6.0	—	2.0	
在勤者・全体		465	86.7	9.5	1.1	2.8	—	
年代	18～29 歳	60	91.7	1.7	3.3	3.3	—	
	30 代	90	84.4	14.4	—	1.1	—	
	40 代	116	85.3	10.3	0.9	3.4	—	
	50 代	139	87.1	7.2	1.4	4.3	—	
	60 歳以上	60	86.7	13.3	—	—	—	
	リ テ ィ 区 分	セクシユア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	80.2	13.4	1.5	5.0
シスジェンダー・異性愛・女性		219	92.2	6.8	0.5	0.5	—	
性的マイノリティ		34	94.1	—	2.9	2.9	—	
その他		11	63.6	18.2	9.1	9.1	—	
在学者・全体		72	88.9	8.3	—	2.8	—	
年代	18～29 歳	51	88.2	9.8	—	2.0	—	
	30 代	10	80.0	10.0	—	10.0	—	
	40 代	4	100.0	—	—	—	—	
	50 代	6	100.0	—	—	—	—	
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—	
	リ テ ィ 区 分	セクシユア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	87.5	—	—	12.5
シスジェンダー・異性愛・女性		51	88.2	9.8	—	2.0	—	
性的マイノリティ		11	90.9	9.1	—	—	—	
その他		2	100.0	—	—	—	—	

⑥学校では男性がスカートをはいてもよい

性別による服装や身だしなみの考え方について、「学校では男性がスカートをはいてもよい」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では57.9%、「在勤者」では63.0%、「在学者」では76.4%となっている。

図表 48 性別による服装や身だしなみの考え方

：学校では男性がスカートをはいてもよい：単数回答（問7f）



		合計	問 7f.性別による服装や身だしなみの考え方:学校では男性がスカートをはいてもよい(単数回答)					
			そう思う	どちらかと言う と思う	どちらか 言うと思う 思わない	そう思わ ない	不明	
区民・全体		1,031	41.3	16.6	21.7	19.7	0.7	
年代	18～29 歳	109	47.7	21.1	20.2	11.0	—	
	30 代	182	47.8	17.6	18.7	15.4	0.5	
	40 代	207	54.1	15.0	15.0	14.5	1.4	
	50 代	242	38.8	16.9	22.3	21.1	0.8	
	60 歳以上	291	27.8	15.1	28.5	28.2	0.3	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	32.4	15.0	23.1	28.6	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	45.6	18.9	21.4	14.0	0.2	
	性的マイノリティ	78	53.8	15.4	19.2	10.3	1.3	
	その他	50	36.0	4.0	20.0	36.0	4.0	
在勤者・全体		465	44.7	18.3	22.8	14.2	—	
年代	18～29 歳	60	55.0	16.7	18.3	10.0	—	
	30 代	90	50.0	23.3	20.0	6.7	—	
	40 代	116	45.7	14.7	24.1	15.5	—	
	50 代	139	43.2	18.7	19.4	18.7	—	
	60 歳以上	60	28.3	18.3	36.7	16.7	—	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	25.2	16.8	33.2	24.8	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	58.4	19.6	16.0	5.9	—	
	性的マイノリティ	34	79.4	17.6	—	2.9	—	
	その他	11	18.2	27.3	36.4	18.2	—	
在学者・全体		72	63.9	12.5	18.1	5.6	—	
年代	18～29 歳	51	60.8	15.7	17.6	5.9	—	
	30 代	10	60.0	—	30.0	10.0	—	
	40 代	4	100.0	—	—	—	—	
	50 代	6	83.3	16.7	—	—	—	
	60 歳以上	1	—	—	100.0	—	—	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	37.5	12.5	25.0	25.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	60.8	15.7	21.6	2.0	—	
	性的マイノリティ	11	100.0	—	—	—	—	
	その他	2	50.0	—	—	50.0	—	

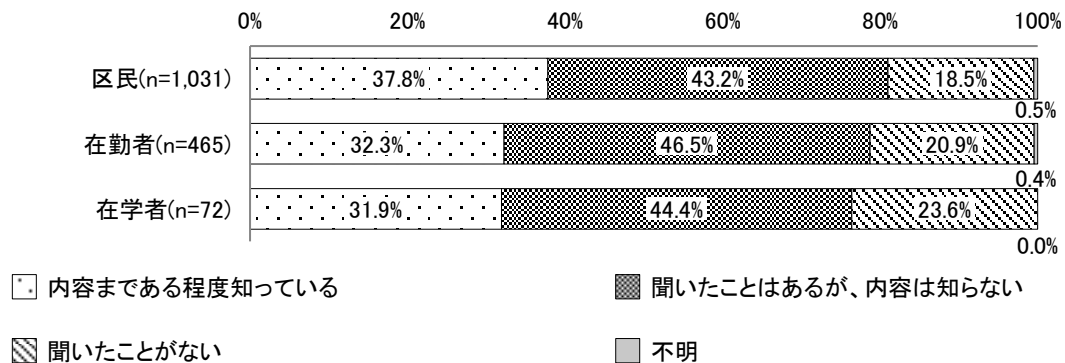
3-3. DV・IPVについて

(1) 配偶者暴力防止法の認知状況

配偶者暴力防止法の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」の割合は「区民」では37.8%、「在勤者」では32.3%、「在学者」では31.9%となっている。

「聞いたことはあるが、内容は知らない」とあわせると、「区民」「在勤者」「在学者」いずれも7割以上が配偶者暴力防止法を認知している。

図表 49 配偶者暴力防止法の認知状況：単数回答（問8）



		合計	問 8.配偶者暴力防止法の認知状況(単数回答)			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
区民・全体		1,031	37.8	43.2	18.5	0.5
年代	18～29 歳	109	32.1	38.5	28.4	0.9
	30 代	182	29.7	38.5	31.3	0.5
	40 代	207	34.3	45.4	19.3	1.0
	50 代	242	43.0	43.0	14.0	－
	60 歳以上	291	43.3	46.4	10.0	0.3
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	37.3	43.4	18.8	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	39.0	43.4	17.4	0.2
	性的マイノリティ	78	30.8	41.0	25.6	2.6
	その他	50	40.0	42.0	18.0	－
在勤者・全体		465	32.3	46.5	20.9	0.4
年代	18～29 歳	60	15.0	46.7	38.3	－
	30 代	90	25.6	51.1	23.3	－
	40 代	116	31.0	44.0	25.0	－
	50 代	139	37.4	49.6	11.5	1.4
	60 歳以上	60	50.0	36.7	13.3	－
ア リ テ ィ セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	35.6	45.0	19.3	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	29.2	51.6	18.3	0.9
	性的マイノリティ	34	29.4	32.4	38.2	－
	その他	11	45.5	9.1	45.5	－
在学者・全体		72	31.9	44.4	23.6	－
年代	18～29 歳	51	23.5	49.0	27.5	－
	30 代	10	30.0	50.0	20.0	－
	40 代	4	75.0	－	25.0	－
	50 代	6	83.3	16.7	－	－
	60 歳以上	1	－	100.0	－	－
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	37.5	25.0	37.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	35.3	43.1	21.6	－
	性的マイノリティ	11	9.1	63.6	27.3	－
	その他	2	50.0	50.0	－	－

(2) DV 等に関する用語の認知状況

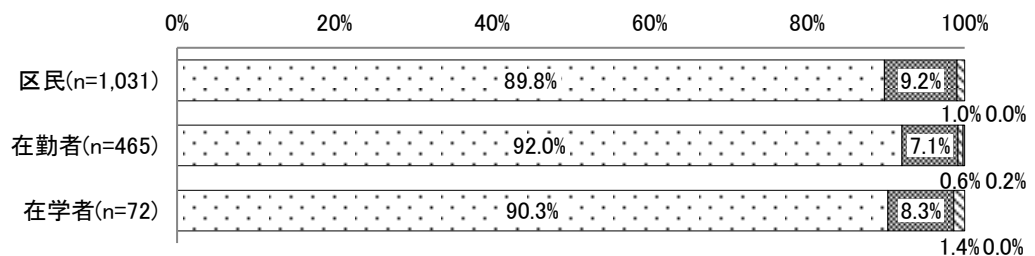
「DV」「IPV」「セクシュアル・ハラスメント」という用語について、認知状況を尋ねた。

その結果、「区民」「在勤者」「在学者」いずれも、「DV」「セクシュアル・ハラスメント」は、「内容まである程度知っている」の割合が9割程度に達している。一方、「IPV」は、「聞いたことがない」の割合がもっとも高く、5割を超えている。したがって IPV は、まだ認知が進んでいない様子うかがわれた。

①DV

DV という用語の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」の割合は「区民」では 89.8%、「在勤者」では 92.0%、「在学者」では 90.3%となっている。

図表 50 DV 等に関する用語の認知状況：DV：単数回答（問9a）



□ 内容まである程度知っている ■ 聞いたことはあるが、内容は知らない ▨ 聞いたことがない ■ 不明

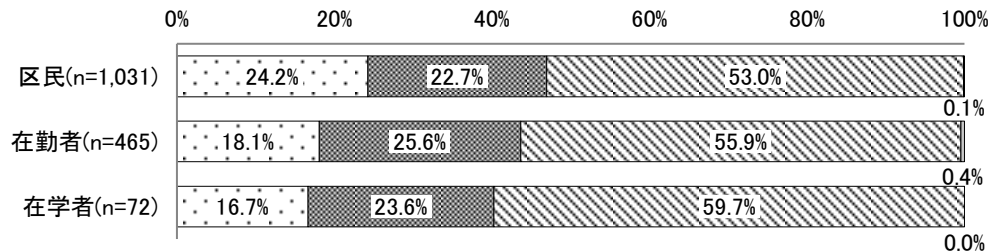
3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 9a.DV 等に関する用語の認知状況:DV(単数回答)			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
区民・全体		1,031	89.8	9.2	1.0	－
年代	18～29 歳	109	95.4	1.8	2.8	－
	30 代	182	94.5	5.5	－	－
	40 代	207	95.2	4.3	0.5	－
	50 代	242	90.1	9.1	0.8	－
	60 歳以上	291	80.8	17.9	1.4	－
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	88.7	10.1	1.2	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	93.0	6.8	0.2	－
	性的マイノリティ	78	89.7	9.0	1.3	－
	その他	50	62.0	30.0	8.0	－
在勤者・全体		465	92.0	7.1	0.6	0.2
年代	18～29 歳	60	91.7	6.7	1.7	－
	30 代	90	92.2	5.6	2.2	－
	40 代	116	94.8	4.3	－	0.9
	50 代	139	92.1	7.9	－	－
	60 歳以上	60	86.7	13.3	－	－
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	92.1	6.9	1.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	92.7	7.3	－	－
	性的マイノリティ	34	91.2	5.9	－	2.9
	その他	11	81.8	9.1	9.1	－
在学者・全体		72	90.3	8.3	1.4	－
年代	18～29 歳	51	90.2	7.8	2.0	－
	30 代	10	80.0	20.0	－	－
	40 代	4	100.0	－	－	－
	50 代	6	100.0	－	－	－
	60 歳以上	1	100.0	－	－	－
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	62.5	25.0	12.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	98.0	2.0	－	－
	性的マイノリティ	11	81.8	18.2	－	－
	その他	2	50.0	50.0	－	－

②IPV

IPV という用語の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」の割合は「区民」では 24.2%、「在勤者」では 18.1%、「在学者」では 16.7%となっている。

図表 51 DV 等に関する用語の認知状況：IPV：単数回答（問 9b）



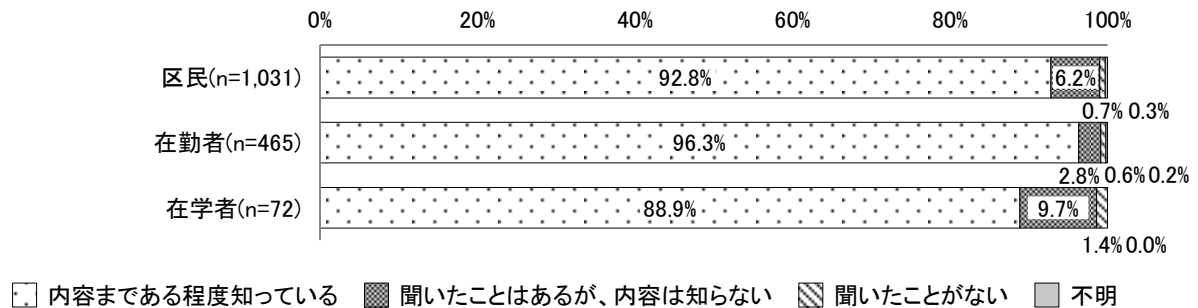
□ 内容まである程度知っている ■ 聞いたことはあるが、内容は知らない ▨ 聞いたことがない ■ 不明

		合計	問 9b.DV 等に関する用語の認知状況：IPV（単数回答）			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
区民・全体		1,031	24.2	22.7	53.0	0.1
年代	18～29 歳	109	13.8	12.8	72.5	0.9
	30 代	182	12.6	17.6	69.8	—
	40 代	207	26.1	16.9	57.0	—
	50 代	242	30.6	26.4	43.0	—
	60 歳以上	291	28.9	30.6	40.5	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	23.4	24.9	51.7	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	24.1	20.6	55.3	—
	性的マイノリティ	78	30.8	21.8	47.4	—
	その他	50	22.0	32.0	44.0	2.0
在勤者・全体		465	18.1	25.6	55.9	0.4
年代	18～29 歳	60	11.7	16.7	71.7	—
	30 代	90	11.1	18.9	68.9	1.1
	40 代	116	16.4	22.4	61.2	—
	50 代	139	23.7	32.4	43.9	—
	60 歳以上	60	25.0	35.0	38.3	1.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	16.8	24.3	58.4	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	17.4	27.9	54.3	0.5
	性的マイノリティ	34	32.4	11.8	55.9	—
	その他	11	18.2	45.5	36.4	—
在学者・全体		72	16.7	23.6	59.7	—
年代	18～29 歳	51	7.8	23.5	68.6	—
	30 代	10	30.0	20.0	50.0	—
	40 代	4	75.0	—	25.0	—
	50 代	6	33.3	33.3	33.3	—
	60 歳以上	1	—	100.0	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	12.5	75.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	19.6	23.5	56.9	—
	性的マイノリティ	11	9.1	27.3	63.6	—
	その他	2	—	50.0	50.0	—

③セクシュアル・ハラスメント

セクシュアル・ハラスメントという用語の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」の割合は「区民」では92.8%、「在勤者」では96.3%、「在学者」では88.9%となっている。

図表 52 DV等に関する用語の認知状況：セクシュアル・ハラスメント：単数回答（問9c）



		合計	問 9c.DV 等に関する用語の認知状況：セクシュアル・ハラスメント(単数回答)			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
区民・全体		1,031	92.8	6.2	0.7	0.3
年代	18～29 歳	109	96.3	2.8	0.9	－
	30 代	182	97.3	2.2	－	0.5
	40 代	207	96.6	2.9	0.5	－
	50 代	242	94.6	4.5	0.4	0.4
	60 歳以上	291	84.5	13.7	1.4	0.3
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	93.6	5.5	0.9	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	93.9	5.6	－	0.5
	性的マイノリティ	78	92.3	6.4	1.3	－
	その他	50	76.0	18.0	6.0	－
在勤者・全体		465	96.3	2.8	0.6	0.2
年代	18～29 歳	60	96.7	1.7	1.7	－
	30 代	90	93.3	4.4	2.2	－
	40 代	116	98.3	1.7	－	－
	50 代	139	97.8	2.2	－	－
	60 歳以上	60	93.3	5.0	－	1.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	95.5	3.5	1.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	97.7	1.8	－	0.5
	性的マイノリティ	34	97.1	2.9	－	－
	その他	11	81.8	9.1	9.1	－
在学者・全体		72	88.9	9.7	1.4	－
年代	18～29 歳	51	90.2	7.8	2.0	－
	30 代	10	80.0	20.0	－	－
	40 代	4	100.0	－	－	－
	50 代	6	83.3	16.7	－	－
	60 歳以上	1	100.0	－	－	－
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	62.5	25.0	12.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	94.1	5.9	－	－
	性的マイノリティ	11	90.9	9.1	－	－
	その他	2	50.0	50.0	－	－

(3) IPV に該当すると思う行為

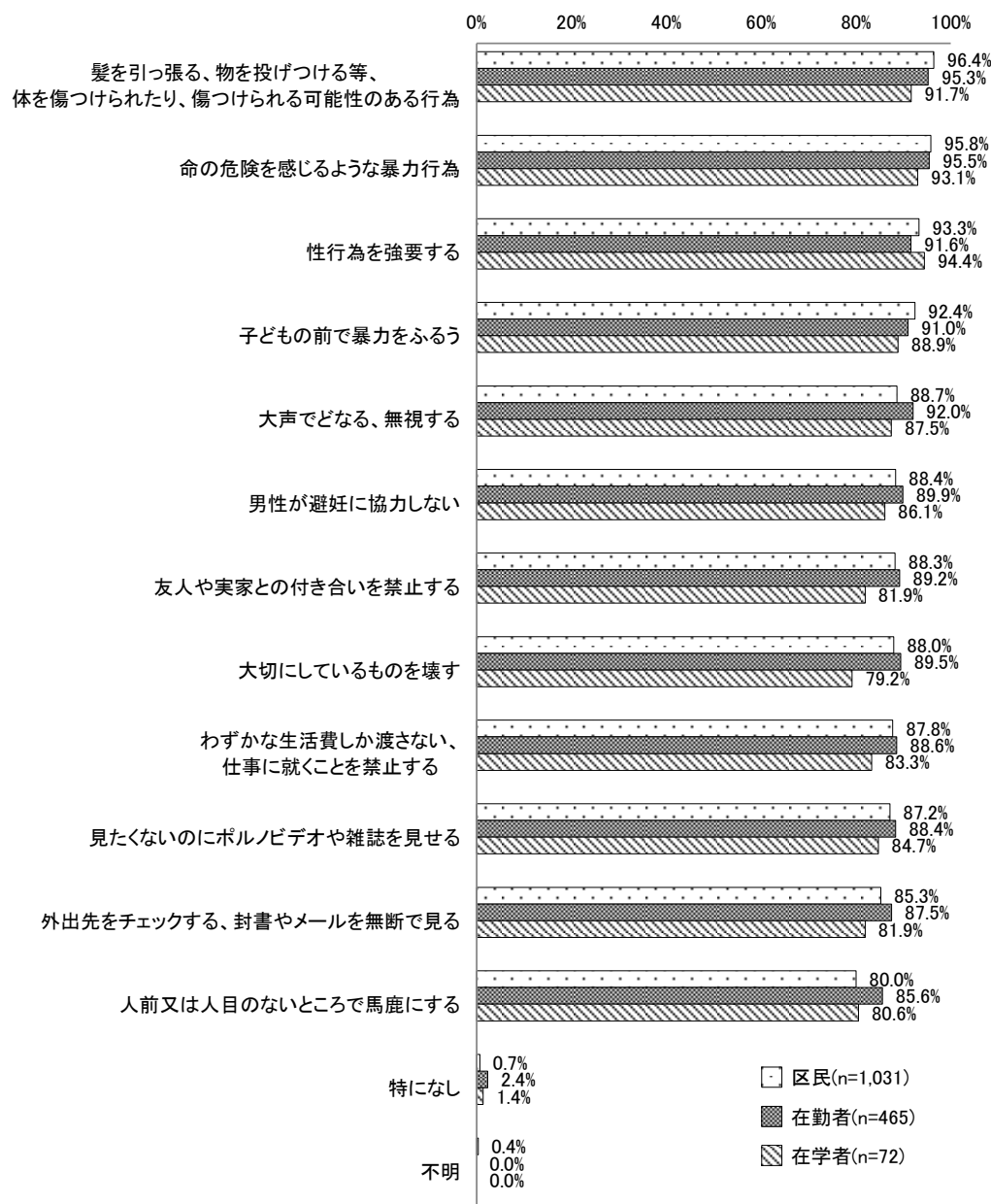
IPV に該当すると思う行為をみると、「区民」では、「髪を引っ張る、物を投げつける等、体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為」が 96.4%でもっとも割合が高く、次いで「命の危険を感じるような暴力行為」が 95.8%となっている。

「在勤者」では、「命の危険を感じるような暴力行為」が 95.5%でもっとも割合が高く、次いで「髪を引っ張る、物を投げつける等、体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為」が 95.3%となっている。

「在学者」では、「性行為を強要する」が 94.4%でもっとも割合が高く、次いで「命の危険を感じるような暴力行為」が 93.1%となっている。

ほぼすべての項目で IPV に該当すると思う割合が 8 割を超えており、IPV という用語の認知状況の低さにもかかわらず、何が IPV に該当するかは理解されやすい様子がうかがわれる。

図表 53 IPV に該当すると思う行為：複数回答（問 10）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 10.IPV に該当すると思う行為(複数回答)						
			能性のある行為	髪を引っ張る、物を投げつける等、体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為	命の危険を感じるような暴力行為	性行為を強要する	子どもの前で暴力をふるう	大声でどなる、無視する	男性が避妊に協力しない
区民・全体		1,031	96.4	95.8	93.3	92.4	88.7	88.4	88.3
年代	18～29 歳	109	97.2	95.4	94.5	95.4	87.2	93.6	89.0
	30 代	182	95.1	95.1	91.8	89.6	89.0	89.0	86.3
	40 代	207	97.6	98.1	94.7	94.7	91.3	92.3	90.8
	50 代	242	97.9	96.7	97.1	94.6	87.6	90.5	90.5
	60 歳以上	291	94.8	94.2	89.7	89.7	88.0	81.4	85.6
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	95.1	93.9	91.6	90.8	85.0	87.0	85.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	98.2	97.5	95.7	94.4	91.2	90.7	91.2
	性的マイノリティ	78	93.6	97.4	91.0	91.0	88.5	87.2	85.9
	その他	50	90.0	88.0	82.0	84.0	86.0	74.0	78.0
在勤者・全体		465	95.3	95.5	91.6	91.0	92.0	89.9	89.2
年代	18～29 歳	60	90.0	90.0	83.3	81.7	86.7	85.0	80.0
	30 代	90	92.2	94.4	88.9	87.8	91.1	90.0	87.8
	40 代	116	97.4	97.4	96.6	96.6	93.1	95.7	96.6
	50 代	139	96.4	95.7	91.4	91.4	92.1	87.8	89.2
	60 歳以上	60	98.3	98.3	95.0	93.3	96.7	88.3	86.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	94.1	94.6	87.1	87.1	91.1	86.1	85.1
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	97.3	97.3	96.3	94.5	93.6	93.2	93.2
	性的マイノリティ	34	97.1	97.1	94.1	97.1	97.1	97.1	94.1
	その他	11	72.7	72.7	72.7	72.7	63.6	72.7	72.7
在学者・全体		72	91.7	93.1	94.4	88.9	87.5	86.1	81.9
年代	18～29 歳	51	90.2	92.2	92.2	88.2	84.3	80.4	78.4
	30 代	10	90.0	90.0	100.0	80.0	90.0	100.0	80.0
	40 代	4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	50 代	6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	60 歳以上	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	75.0	87.5	100.0	100.0	87.5	62.5	75.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	96.1	96.1	94.1	90.2	88.2	90.2	84.3
	性的マイノリティ	11	90.9	90.9	100.0	81.8	90.9	90.9	81.8
	その他	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

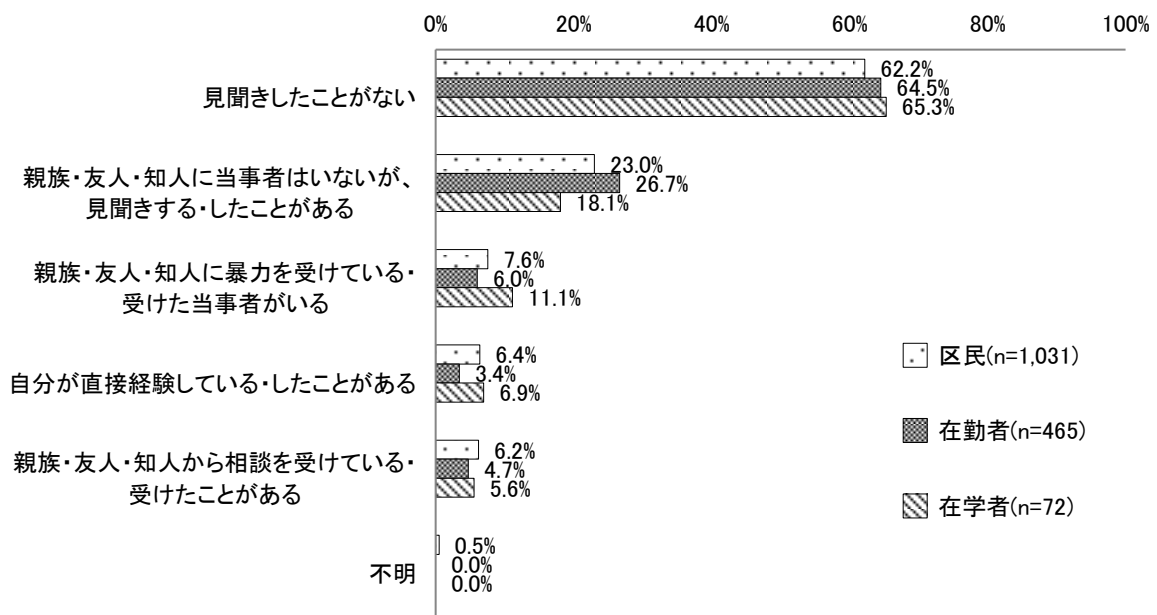
		合計	問 10.IPV に該当すると思う行為(複数回答)						
			壊す 大切にしているものを	わずかな生活費しか渡さない、仕事に就くことを禁止する	見たくないのにポルノビデオや雑誌を見せる	外出先をチェックする、封書やメールを無断で見る	人前又は人目のないところで馬鹿にする	特になし	不明
区民・全体		1,031	88.0	87.8	87.2	85.3	80.0	0.7	0.4
年代	18～29 歳	109	89.9	91.7	86.2	81.7	77.1	－	－
	30 代	182	86.8	87.4	84.6	81.9	74.2	0.5	1.1
	40 代	207	91.3	90.3	90.3	88.4	83.1	0.5	－
	50 代	242	89.3	89.3	89.3	87.6	83.5	0.4	－
	60 歳以上	291	84.5	83.5	85.2	84.5	79.7	1.4	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	88.4	83.2	83.2	83.2	76.6	0.6	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	88.7	91.2	90.5	87.8	82.2	0.4	0.2
	性的マイノリティ	78	87.2	88.5	88.5	82.1	82.1	－	－
	その他	50	78.0	80.0	76.0	76.0	76.0	6.0	4.0
在勤者・全体		465	89.5	88.6	88.4	87.5	85.6	2.4	－
年代	18～29 歳	60	85.0	85.0	83.3	76.7	73.3	3.3	－
	30 代	90	83.3	85.6	86.7	83.3	82.2	4.4	－
	40 代	116	94.0	94.0	93.1	93.1	92.2	1.7	－
	50 代	139	89.9	88.5	86.3	89.9	85.6	2.2	－
	60 歳以上	60	93.3	86.7	91.7	88.3	90.0	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	88.6	84.7	83.7	83.2	84.7	3.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	90.9	92.7	92.7	90.9	86.8	0.9	－
	性的マイノリティ	34	91.2	91.2	94.1	94.1	91.2	2.9	－
	その他	11	72.7	72.7	72.7	81.8	63.6	18.2	－
在学者・全体		72	79.2	83.3	84.7	81.9	80.6	1.4	－
年代	18～29 歳	51	74.5	80.4	78.4	76.5	76.5	2.0	－
	30 代	10	90.0	80.0	100.0	90.0	90.0	－	－
	40 代	4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－
	50 代	6	83.3	100.0	100.0	100.0	83.3	－	－
	60 歳以上	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	62.5	62.5	62.5	50.0	62.5	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	82.4	86.3	88.2	88.2	84.3	－	－
	性的マイノリティ	11	81.8	90.9	90.9	81.8	81.8	－	－
	その他	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	－

(4) IPV について見聞きした経験

IPV について見聞きした経験をみると、「見聞きしたことがない」の割合がもっとも高く、「区民」では 62.2%、「在勤者」では 64.5%、「在学者」では 65.3%となっている。

また、次いで「親族・友人・知人に当事者はいないが、見聞きする・したことがある」の割合が高く、「区民」では 23.0%、「在勤者」では 26.7%、「在学者」では 18.1%となっている。

図表 54 IPV について見聞きした経験：複数回答（問 11）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

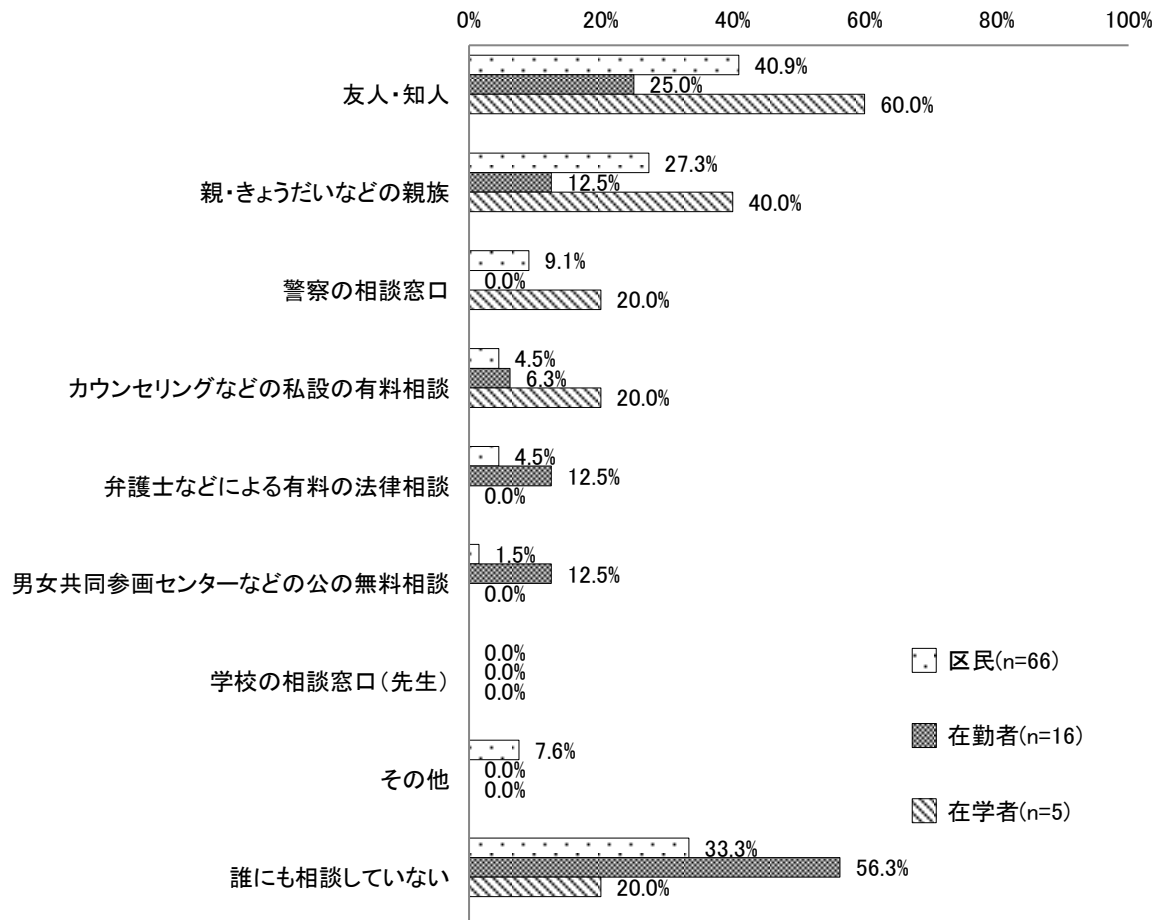
		合計	問 11.IPV について見聞きした経験(複数回答)					
			見聞きしたことがない	親族・友人・知人に当事者はいないが、見聞きすることがある	親族・友人・知人に暴力を受けている・受けた当事者がいる	自分が直接経験している・したことがある	親族・友人・知人から相談を受けている・受けたことがある	不明
区民・全体		1,031	62.2	23.0	7.6	6.4	6.2	0.5
年代	18～29 歳	109	66.1	13.8	10.1	9.2	5.5	—
	30 代	182	57.7	25.8	9.3	4.4	8.8	0.5
	40 代	207	57.0	23.7	9.7	10.1	7.7	0.5
	50 代	242	59.1	27.7	7.4	7.9	6.6	0.4
	60 歳以上	291	69.8	20.3	4.1	2.7	3.4	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	65.3	23.1	7.5	2.3	5.5	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	60.0	23.2	7.4	8.1	6.8	0.5
	性的マイノリティ	78	53.8	24.4	12.8	14.1	6.4	—
	その他	50	78.0	18.0	2.0	4.0	4.0	—
在勤者・全体		465	64.5	26.7	6.0	3.4	4.7	—
年代	18～29 歳	60	75.0	18.3	1.7	5.0	5.0	—
	30 代	90	68.9	18.9	7.8	1.1	10.0	—
	40 代	116	53.4	32.8	7.8	7.8	4.3	—
	50 代	139	64.7	28.8	6.5	1.4	2.9	—
	60 歳以上	60	68.3	30.0	3.3	1.7	1.7	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	69.8	23.3	3.5	3.5	2.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	61.6	28.8	7.3	3.7	5.5	—
	性的マイノリティ	34	47.1	35.3	11.8	2.9	14.7	—
	その他	11	72.7	18.2	18.2	—	9.1	—
在学者・全体		72	65.3	18.1	11.1	6.9	5.6	—
年代	18～29 歳	51	70.6	15.7	9.8	3.9	7.8	—
	30 代	10	60.0	20.0	20.0	10.0	—	—
	40 代	4	25.0	25.0	—	50.0	—	—
	50 代	6	50.0	33.3	16.7	—	—	—
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	75.0	—	25.0	12.5	—	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	68.6	17.6	5.9	5.9	3.9	—
	性的マイノリティ	11	45.5	36.4	18.2	9.1	9.1	—
	その他	2	50.0	—	50.0	—	50.0	—

(5) IPV を経験したときの相談先

IPV を「自分が直接経験している・したことがある」者について、経験したときの相談先をみると、「区民」では、「友人・知人」が 40.9%でもっとも割合が高く、次いで「誰にも相談していない」が 33.3%となっている。

公的機関や専門の相談窓口よりも身近な人に相談するケースが多いほか、誰にも相談できない人も相当数存在することがうかがわれる。

図表 55 IPV を経験したときの相談先：複数回答（問 11-2）



注)「在勤者」「在学者」はサンプルサイズが小さいため参考値。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

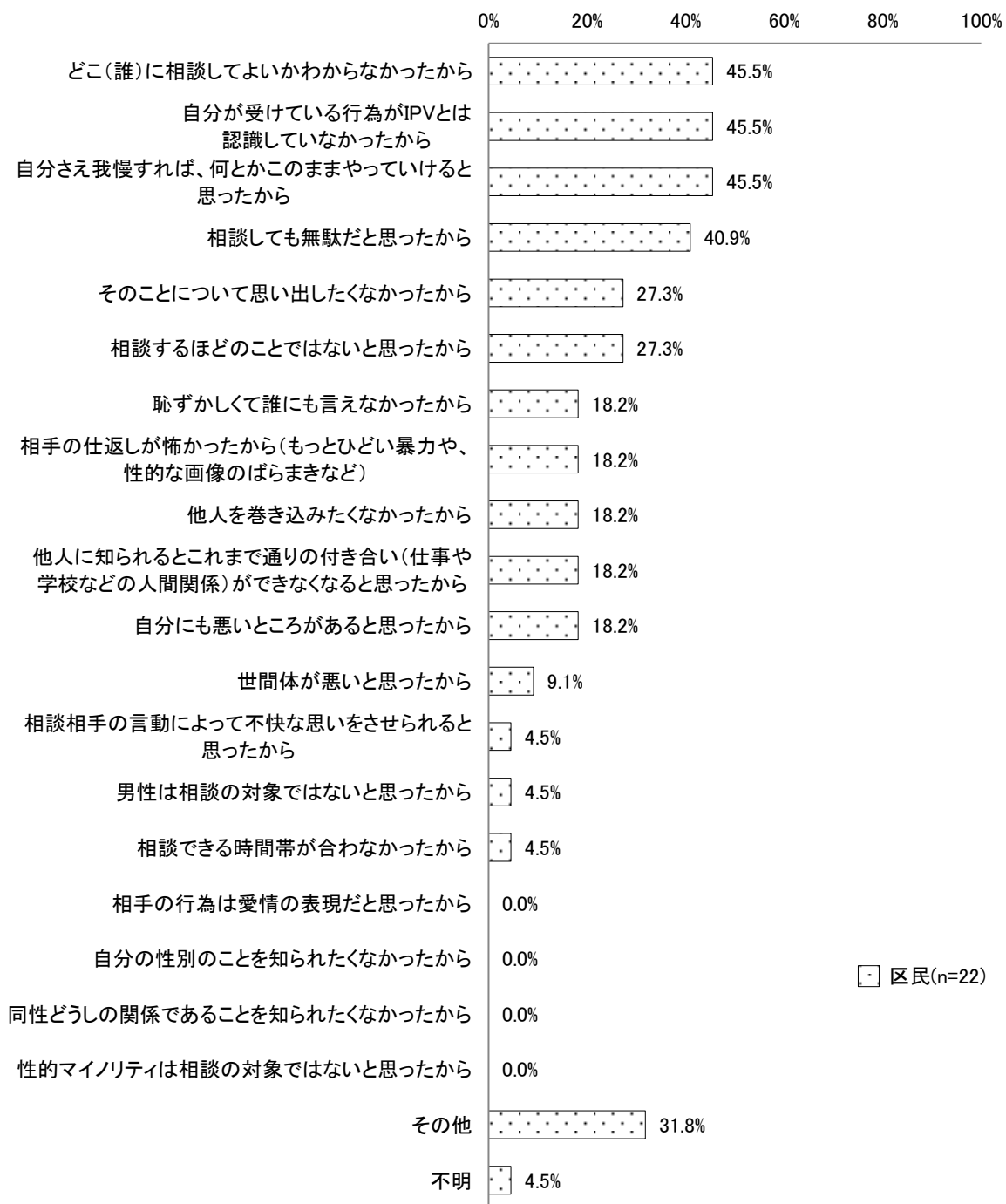
		合計	問 11-2.IPV を経験したときの相談先(複数回答)									
			友人・知人	親・きょうだいなどの親族	警察の相談窓口	私設の有料相談 カウンセリングなどの	弁護士などによる有料の 法律相談	男女共同参画センター などの公の無料相談	学校の相談窓口(先生)	その他	誰にも相談していない	不明
区民・全体		66	40.9	27.3	9.1	4.5	4.5	1.5	-	7.6	33.3	-
年代	18～29 歳	10	70.0	20.0	-	10.0	-	-	-	10.0	10.0	-
	30 代	8	62.5	37.5	37.5	12.5	-	-	-	-	25.0	-
	40 代	21	33.3	33.3	9.5	-	9.5	4.8	-	4.8	33.3	-
	50 代	19	42.1	26.3	5.3	5.3	5.3	-	-	5.3	36.8	-
	60 歳以上	8	-	12.5	-	-	-	-	-	25.0	62.5	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	8	25.0	25.0	12.5	-	-	-	-	12.5	37.5	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	45	48.9	26.7	8.9	6.7	2.2	-	-	4.4	33.3	-
	性的マイリティ	11	18.2	27.3	9.1	-	18.2	9.1	-	18.2	36.4	-
	その他	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
在勤者・全体		16	25.0	12.5	-	6.3	12.5	12.5	-	-	56.3	-
年代	18～29 歳	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	30 代	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	40 代	9	11.1	-	-	11.1	22.2	22.2	-	-	66.7	-
	50 代	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	60 歳以上	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	7	14.3	14.3	-	-	14.3	-	-	-	57.1	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	8	25.0	-	-	12.5	12.5	25.0	-	-	62.5	-
	性的マイリティ	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在学者・全体		5	60.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-
年代	18～29 歳	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	30 代	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	40 代	2	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
	50 代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60 歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-
	性的マイリティ	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) IPV を経験したときに相談しなかった理由

IPV を経験したときに「誰にも相談していない」者について、相談しなかった理由をみると、「区民」では、「どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから」「自分が受けている行為が IPV とは認識していなかったから」「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」が 45.5% でもっとも割合が高く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」が 40.9% となっている。

ただし、サンプルサイズが小さいため参考値である。

図表 56 IPV を経験したときに相談しなかった理由：複数回答（問 11-3）



注) サンプルサイズが小さいため参考値。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 11-3.IPV を経験したときに相談しなかった理由(複数回答)						
			どこ(誰)に相談してよ いかわからなかったから	自分が受けている行為 が可くとは認識していな かったから	自分さえ我慢すれば、 何とかこのままやってい けると思ったから	相談しても無駄だと思 ったから	そのことについて思い出 したくなかったから	相談するほどのことでは ないと思ったから	恥ずかしくて誰にも言 えなかったから
区民・全体		22	45.5	45.5	45.5	40.9	27.3	27.3	18.2
年代	18～29 歳	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	30 代	2	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	-	50.0
	40 代	7	28.6	57.1	57.1	42.9	14.3	42.9	14.3
	50 代	7	28.6	14.3	42.9	57.1	42.9	14.3	-
	60 歳以上	5	80.0	60.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	3	33.3	33.3	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	15	53.3	53.3	46.7	33.3	20.0	20.0	20.0
	性的マイノリティ	4	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
在勤者・全体		9	11.1	22.2	33.3	55.6	-	22.2	11.1
年代	18～29 歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	30 代	-	-	-	-	-	-	-	-
	40 代	6	16.7	-	16.7	66.7	-	16.7	16.7
	50 代	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	60 歳以上	1	-	-	100.0	-	-	100.0	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	4	-	25.0	25.0	50.0	-	25.0	25.0
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	5	20.0	20.0	40.0	60.0	-	20.0	-
	性的マイノリティ	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
在学者・全体		1	-	100.0	-	100.0	-	-	-
年代	18～29 歳	1	-	100.0	-	100.0	-	-	-
	30 代	-	-	-	-	-	-	-	-
	40 代	-	-	-	-	-	-	-	-
	50 代	-	-	-	-	-	-	-	-
	60 歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	1	-	100.0	-	100.0	-	-	-
	性的マイノリティ	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 11-3.IPV を経験したときに相談しなかった理由(複数回答)						
			相手の仕返しが怖かったから (もつとひどい暴力や、性的な 画像のばらまきなど)	他人を巻き込みたくなかった から	他人に知られるとこれまで通 りの付き合い(仕事や学校な どの人間関係)ができなくな ると思ったから	自分にも悪いところがあると 思ったから	世間体が悪いと思ったから	相談相手の言動によって不快 な思いをさせられると思った から	男性は相談の対象ではないと 思ったから
区民・全体		22	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	4.5	4.5
年代	18～29 歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	30 代	2	-	-	50.0	50.0	50.0	-	-
	40 代	7	-	14.3	14.3	28.6	-	14.3	14.3
	50 代	7	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	-	-
	60 歳以上	5	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	3	-	-	66.7	66.7	33.3	-	33.3
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	15	20.0	20.0	13.3	13.3	6.7	6.7	-
	性的マイノリティ	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
在勤者・全体		9	11.1	11.1	11.1	44.4	33.3	11.1	-
年代	18～29 歳	1	-	-	-	-	-	-	-
	30 代	-	-	-	-	-	-	-	-
	40 代	6	16.7	16.7	-	33.3	33.3	-	-
	50 代	1	-	-	100.0	100.0	-	100.0	-
	60 歳以上	1	-	-	-	100.0	100.0	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	4	-	-	25.0	75.0	-	25.0	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	5	20.0	20.0	-	20.0	60.0	-	-
	性的マイノリティ	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
在学者・全体		1	-	-	-	-	-	-	-
年代	18～29 歳	1	-	-	-	-	-	-	-
	30 代	-	-	-	-	-	-	-	-
	40 代	-	-	-	-	-	-	-	-
	50 代	-	-	-	-	-	-	-	-
	60 歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	1	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

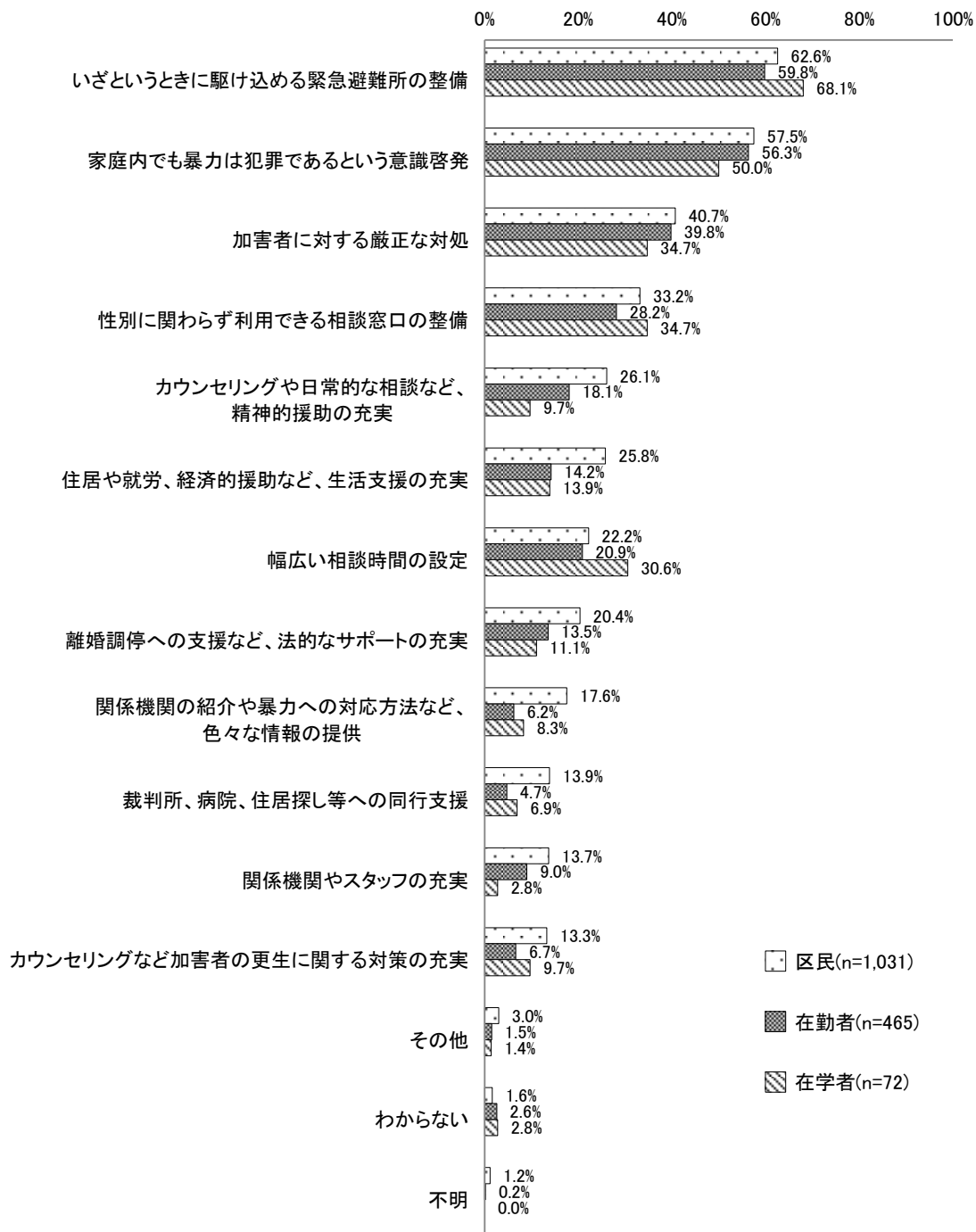
		合計	問 11-3.IPV を経験したときに相談しなかった理由(複数回答)						
			相談できる時間帯が 合わなかったから	相手の行為は愛情の 表現だと思ったから	自分の性別のことを 知られなくなかった から	同性どうしの関係で あることを知られた くなかったから	性的マイノリティは 相談の対象ではない と思ったから	その他	不明
区民・全体		22	4.5	-	-	-	-	31.8	4.5
年代	18～29 歳	1	-	-	-	-	-	-	-
	30 代	2	-	-	-	-	-	50.0	-
	40 代	7	14.3	-	-	-	-	28.6	-
	50 代	7	-	-	-	-	-	42.9	-
	60 歳以上	5	-	-	-	-	-	20.0	20.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	3	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	15	6.7	-	-	-	-	26.7	6.7
	性的マイノリティ	4	-	-	-	-	-	75.0	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
在勤者・全体		9	-	-	-	-	-	-	-
年代	18～29 歳	1	-	-	-	-	-	-	-
	30 代	-	-	-	-	-	-	-	-
	40 代	6	-	-	-	-	-	-	-
	50 代	1	-	-	-	-	-	-	-
	60 歳以上	1	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	4	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	5	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
在学者・全体		1	-	-	-	-	-	-	-
年代	18～29 歳	1	-	-	-	-	-	-	-
	30 代	-	-	-	-	-	-	-	-
	40 代	-	-	-	-	-	-	-	-
	50 代	-	-	-	-	-	-	-	-
	60 歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	1	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-

(7) IPV に対する対策や支援として充実すべきだと思うこと

IPV に対する対策や支援として充実すべきだと思うことをみると、「いざというときに駆け込める緊急避難所の整備」の割合がもっとも高く、「区民」では 62.6%、「在勤者」では 59.8%、「在学者」では 68.1%となっている。

また、次いで「家庭内でも暴力は犯罪であるという意識啓発」の割合が高く、「区民」では 57.5%、「在勤者」では 56.3%、「在学者」では 50.0%となっている。

図表 57 IPV に対する対策や支援として充実すべきだと思うこと：複数回答（問 12）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 12. IPV に対する対策や支援として充実すべきだと思うこと(複数回答)							
			いざというときに駆け込める緊急避難所の整備	家庭内でも暴力は犯罪であるという意識啓発	加害者に対する厳正な対処	性別に関わらず利用できる相談窓口の整備	カウンセリングや日常的な相談など、精神的援助の充実	住居や就労、経済的援助など、生活支援の充実	幅広い相談時間の設定	離婚調停への支援など、法的なサポートの充実
区民・全体		1,031	62.6	57.5	40.7	33.2	26.1	25.8	22.2	20.4
年代	18～29 歳	109	62.4	44.0	45.9	25.7	22.0	26.6	12.8	22.0
	30 代	182	53.8	52.7	46.2	29.7	22.0	24.2	20.3	27.5
	40 代	207	60.9	60.4	42.0	29.0	26.6	20.8	27.1	23.7
	50 代	242	71.9	63.2	41.3	33.9	28.1	26.9	24.0	18.2
	60 歳以上	291	61.5	58.8	34.0	40.5	28.2	29.2	22.0	14.8
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	58.7	56.6	41.6	31.8	28.9	22.3	20.8	16.2
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	65.7	58.5	41.3	33.0	25.7	28.9	23.3	23.3
	性的マイノリティ	78	62.8	57.7	43.6	37.2	16.7	24.4	17.9	19.2
	その他	50	54.0	52.0	24.0	38.0	26.0	18.0	26.0	18.0
在勤者・全体		465	59.8	56.3	39.8	28.2	18.1	14.2	20.9	13.5
年代	18～29 歳	60	41.7	50.0	43.3	25.0	23.3	13.3	16.7	20.0
	30 代	90	57.8	50.0	48.9	27.8	11.1	12.2	22.2	16.7
	40 代	116	63.8	58.6	39.7	26.7	13.8	17.2	21.6	9.5
	50 代	139	66.2	59.0	35.3	30.2	20.9	12.9	23.0	10.1
	60 歳以上	60	58.3	61.7	33.3	30.0	25.0	15.0	16.7	18.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	57.9	62.4	35.6	31.2	20.3	13.9	22.3	9.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	61.6	52.5	42.9	24.2	17.8	13.2	19.6	16.9
	性的マイノリティ	34	64.7	52.9	44.1	26.5	8.8	26.5	17.6	14.7
	その他	11	45.5	36.4	36.4	63.6	9.1	—	27.3	9.1
在学者・全体		72	68.1	50.0	34.7	34.7	9.7	13.9	30.6	11.1
年代	18～29 歳	51	62.7	49.0	41.2	37.3	9.8	11.8	27.5	9.8
	30 代	10	80.0	50.0	20.0	40.0	10.0	20.0	40.0	10.0
	40 代	4	75.0	50.0	25.0	25.0	—	—	75.0	—
	50 代	6	83.3	66.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—	100.0	—	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	62.5	37.5	25.0	37.5	37.5	12.5	12.5	12.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	70.6	52.9	35.3	31.4	5.9	13.7	31.4	13.7
	性的マイノリティ	11	72.7	45.5	45.5	45.5	9.1	18.2	45.5	—
	その他	2	—	50.0	—	50.0	—	—	—	—

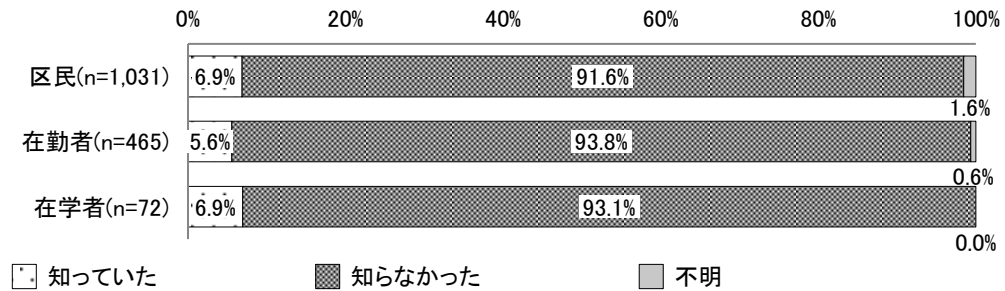
3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 12. IPV に対する対策や支援として充実すべきだと思うこと(複数回答)						
			関係機関の紹介や暴力への対応方法など、色々な情報の提供	裁判所、病院、住居探し等への同行支援	関係機関やスタッフの充実	カウンセリングなど加害者の更生に関する対策の充実	その他	わからない	不明
区民・全体		1,031	17.6	13.9	13.7	13.3	3.0	1.6	1.2
年代	18～29 歳	109	15.6	11.0	14.7	11.9	5.5	－	－
	30 代	182	13.7	15.4	9.9	9.3	2.7	2.2	1.1
	40 代	207	16.9	10.1	12.1	13.0	3.4	1.4	1.0
	50 代	242	17.4	16.1	14.9	14.9	2.1	0.4	0.8
	60 歳以上	291	21.3	14.8	15.8	15.1	2.7	3.1	2.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	15.6	12.4	15.9	10.1	4.3	2.3	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	18.9	14.5	12.6	16.0	1.8	0.7	1.4
	性的マイノリティ	78	20.5	16.7	11.5	7.7	2.6	－	－
	その他	50	12.0	12.0	14.0	14.0	8.0	10.0	6.0
在勤者・全体		465	6.2	4.7	9.0	6.7	1.5	2.6	0.2
年代	18～29 歳	60	6.7	8.3	11.7	10.0	1.7	1.7	－
	30 代	90	6.7	4.4	6.7	4.4	－	4.4	－
	40 代	116	5.2	5.2	8.6	7.8	2.6	1.7	0.9
	50 代	139	4.3	4.3	7.9	5.0	2.2	3.6	－
	60 歳以上	60	11.7	1.7	13.3	8.3	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	3.0	4.0	9.9	5.9	1.0	2.5	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	9.1	5.5	8.7	7.3	1.8	2.3	－
	性的マイノリティ	34	5.9	5.9	8.8	8.8	－	－	－
	その他	11	9.1	－	－	－	9.1	18.2	－
在学者・全体		72	8.3	6.9	2.8	9.7	1.4	2.8	－
年代	18～29 歳	51	7.8	5.9	2.0	11.8	－	3.9	－
	30 代	10	10.0	－	10.0	10.0	－	－	－
	40 代	4	－	－	－	－	25.0	－	－
	50 代	6	16.7	16.7	－	－	－	－	－
	60 歳以上	1	－	100.0	－	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	－	－	37.5	－	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	7.8	9.8	3.9	5.9	2.0	2.0	－
	性的マイノリティ	11	9.1	－	－	－	－	－	－
	その他	2	－	－	－	50.0	－	50.0	－

(8) 渋谷区 IPV 相談支援センターの認知状況

渋谷区 IPV 相談支援センターの認知状況をみると、「知らなかった」の割合が「区民」では 91.6%、「在勤者」では 93.8%、「在学者」では 93.1%となっており、認知が進んでいない様子が見られる。

図表 58 渋谷区 IPV 相談支援センターの認知状況：単数回答（問 13）



		合計	問 13.渋谷区 IPV 相談支援センターの認知状況(単数回答)		
			知っている	知らなかった	不明
区民・全体		1,031	6.9	91.6	1.6
年代	18～29 歳	109	5.5	94.5	—
	30 代	182	3.8	95.1	1.1
	40 代	207	5.3	94.2	0.5
	50 代	242	7.0	91.3	1.7
	60 歳以上	291	10.3	86.6	3.1
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	6.6	92.2	1.2
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	5.7	92.6	1.6
	性的マイノリティ	78	12.8	85.9	1.3
	その他	50	12.0	84.0	4.0
在勤者・全体		465	5.6	93.8	0.6
年代	18～29 歳	60	5.0	95.0	—
	30 代	90	3.3	96.7	—
	40 代	116	6.9	92.2	0.9
	50 代	139	2.9	96.4	0.7
	60 歳以上	60	13.3	85.0	1.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	5.4	94.1	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	6.4	93.6	—
	性的マイノリティ	34	2.9	91.2	5.9
	その他	11	—	100.0	—
在学者・全体		72	6.9	93.1	—
年代	18～29 歳	51	9.8	90.2	—
	30 代	10	—	100.0	—
	40 代	4	—	100.0	—
	50 代	6	—	100.0	—
	60 歳以上	1	—	100.0	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	—	100.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	5.9	94.1	—
	性的マイノリティ	11	9.1	90.9	—
	その他	2	50.0	50.0	—

3-4. ワーク・ライフ・バランスについて

(1) 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度

①希望

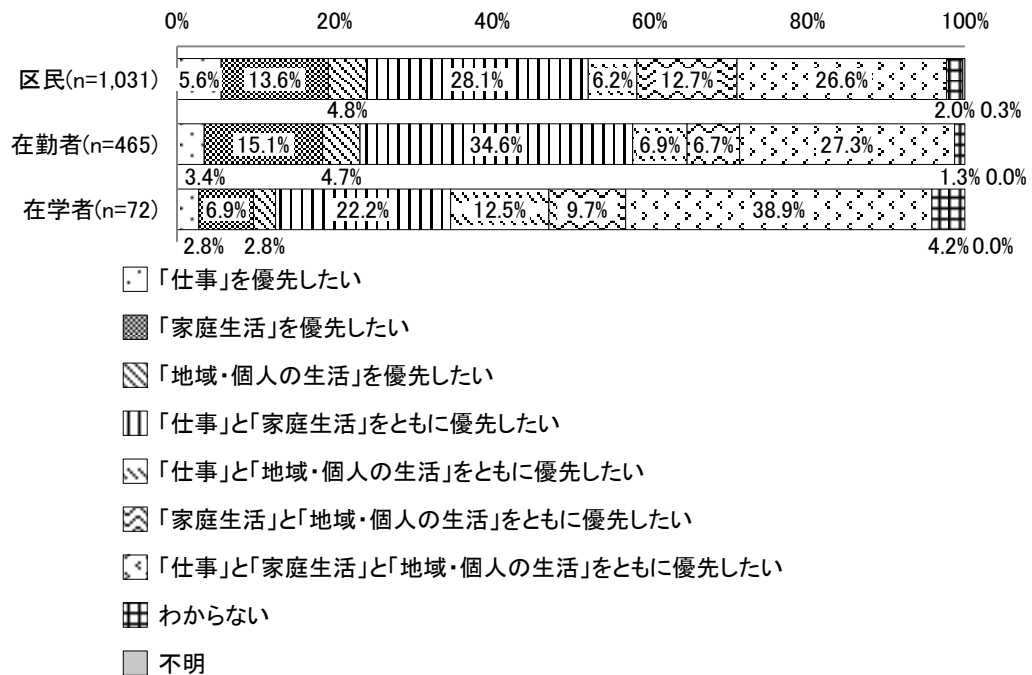
「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、希望をみると、「区民」では、「仕事と家庭生活をともに優先したい」が 28.1%でもっとも割合が高く、次いで「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先したい」が 26.6%となっている。

「在勤者」では、「仕事と家庭生活をともに優先したい」が 34.6%でもっとも割合が高く、次いで「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先したい」が 27.3%となっている。

「在学者」では、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先したい」が 38.9%でもっとも割合が高く、次いで「仕事と家庭生活をともに優先したい」が 22.2%となっている。

総じてみると、「仕事」や「地域・個人の生活」のみを優先するのではなく、「家庭生活」とのバランスをとることを希望する人が多いことがうかがわれる。

図表 59 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の希望：単数回答（問 14）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 14.「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の希望(単数回答)								
			「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	わからない	不明
区民・全体		1,031	5.6	13.6	4.8	28.1	6.2	12.7	26.6	2.0	0.3
年代	18～29 歳	109	11.9	6.4	9.2	28.4	8.3	10.1	23.9	1.8	－
	30 代	182	6.6	15.9	3.8	29.1	8.2	12.1	23.1	1.1	－
	40 代	207	2.9	14.5	4.3	33.8	5.3	9.7	27.5	1.9	－
	50 代	242	7.0	10.7	2.9	29.3	6.2	9.5	32.2	2.1	－
	60 歳以上	291	3.4	16.5	5.8	22.3	4.8	18.9	24.4	2.7	1.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	8.7	12.7	3.2	33.5	5.5	9.8	24.3	2.0	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	3.2	14.4	5.6	26.4	6.5	13.5	28.7	1.4	0.4
	性的マイノリティ	78	6.4	7.7	9.0	20.5	9.0	16.7	25.6	5.1	－
	その他	50	10.0	20.0	2.0	22.0	4.0	18.0	20.0	4.0	－
在勤者・全体		465	3.4	15.1	4.7	34.6	6.9	6.7	27.3	1.3	－
年代	18～29 歳	60	1.7	30.0	10.0	18.3	15.0	10.0	13.3	1.7	－
	30 代	90	2.2	20.0	3.3	31.1	10.0	6.7	24.4	2.2	－
	40 代	116	3.4	8.6	2.6	41.4	2.6	10.3	30.2	0.9	－
	50 代	139	5.8	12.2	5.0	36.0	5.8	2.2	31.7	1.4	－
	60 歳以上	60	1.7	11.7	5.0	40.0	5.0	6.7	30.0	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	4.5	16.3	2.5	39.6	3.0	6.9	26.7	0.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	2.7	13.7	4.6	32.0	9.1	7.3	29.7	0.9	－
	性的マイノリティ	34	－	14.7	14.7	29.4	17.6	2.9	17.6	2.9	－
	その他	11	9.1	18.2	27.3	9.1	－	－	18.2	18.2	－
在学者・全体		72	2.8	6.9	2.8	22.2	12.5	9.7	38.9	4.2	－
年代	18～29 歳	51	2.0	7.8	3.9	19.6	15.7	9.8	35.3	5.9	－
	30 代	10	10.0	－	－	30.0	10.0	10.0	40.0	－	－
	40 代	4	－	25.0	－	50.0	－	－	25.0	－	－
	50 代	6	－	－	－	16.7	－	16.7	66.7	－	－
	60 歳以上	1	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	－	25.0	－	37.5	12.5	12.5	12.5	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	3.9	5.9	2.0	25.5	7.8	9.8	39.2	5.9	－
	性的マイノリティ	11	－	－	9.1	－	27.3	9.1	54.5	－	－
	その他	2	－	－	－	－	50.0	－	50.0	－	－

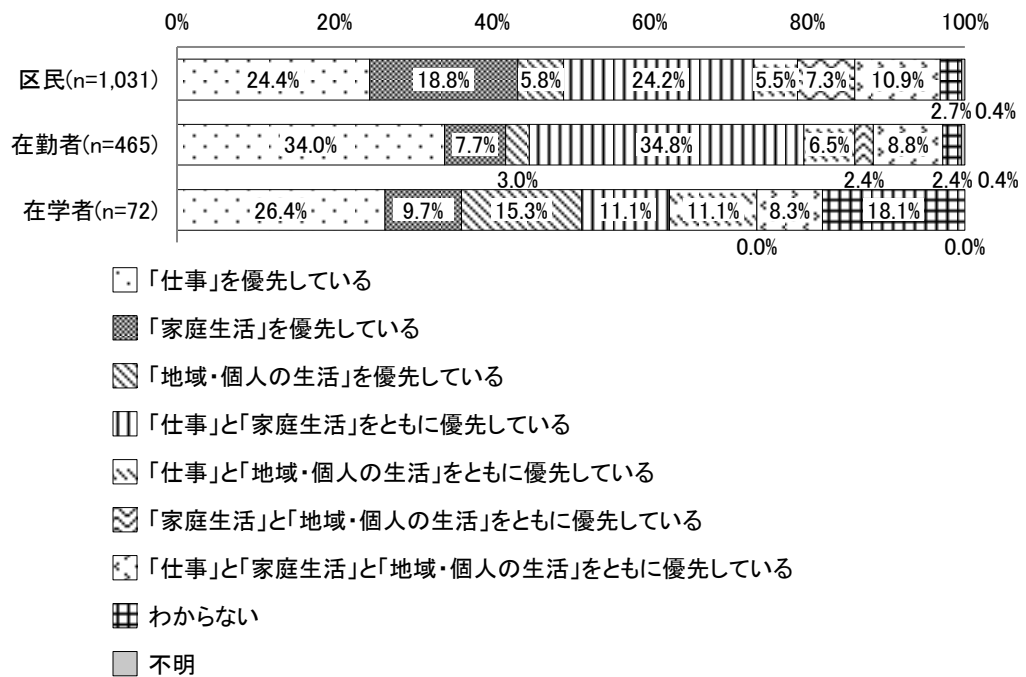
②実態

「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、実態をみると、「区民」では、「仕事を優先している」が24.4%でもっとも割合が高く、次いで「仕事と家庭生活をともに優先している」が24.2%となっている。

「在勤者」では、「仕事と家庭生活をともに優先している」が34.8%でもっとも割合が高く、次いで「仕事を優先している」が34.0%となっている。

「在学者」では、「仕事を優先している」が26.4%でもっとも割合が高く、次いで「わからない」が18.1%となっている。

図表 60 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の活動」の優先度の実態：単数回答（問14-2）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

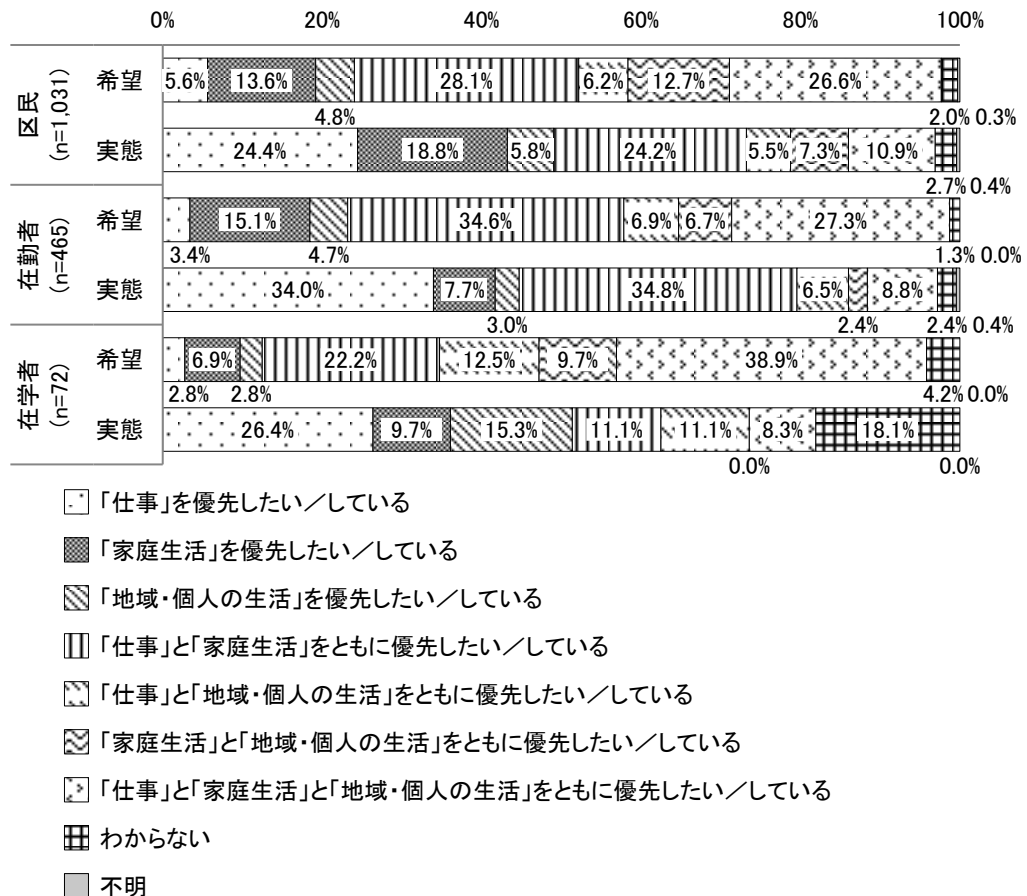
		合計	問 14-2.「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の活動」の優先度の実態(単数回答)								
			「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	わからない	不明
区民・全体		1,031	24.4	18.8	5.8	24.2	5.5	7.3	10.9	2.7	0.4
年代	18～29 歳	109	31.2	9.2	11.9	13.8	15.6	3.7	8.3	6.4	－
	30 代	182	27.5	21.4	4.4	24.2	6.6	4.9	9.9	1.1	－
	40 代	207	29.0	15.5	4.3	30.4	2.9	7.2	8.7	1.9	－
	50 代	242	31.0	14.5	2.9	28.5	5.0	4.5	11.2	2.5	－
	60 歳以上	291	11.3	26.8	7.9	19.9	3.4	12.4	13.7	3.1	1.4
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	28.3	12.4	5.2	30.9	5.5	4.6	10.7	1.7	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	21.7	23.2	5.9	21.7	5.2	8.4	11.1	2.3	0.4
	性的マイノリティ	78	26.9	9.0	11.5	15.4	11.5	9.0	11.5	5.1	－
	その他	50	24.0	30.0	－	18.0	－	10.0	8.0	10.0	－
在勤者・全体		465	34.0	7.7	3.0	34.8	6.5	2.4	8.8	2.4	0.4
年代	18～29 歳	60	36.7	10.0	10.0	16.7	15.0	1.7	3.3	5.0	1.7
	30 代	90	33.3	10.0	2.2	32.2	8.9	2.2	7.8	3.3	－
	40 代	116	34.5	5.2	1.7	37.1	3.4	3.4	12.9	1.7	－
	50 代	139	40.3	5.8	2.2	37.4	3.6	－	8.6	2.2	－
	60 歳以上	60	16.7	11.7	1.7	46.7	6.7	6.7	8.3	－	1.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	31.7	9.4	2.0	40.1	3.0	2.5	10.4	0.5	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	36.1	6.8	3.2	32.0	8.7	1.8	8.2	2.7	0.5
	性的マイノリティ	34	38.2	5.9	2.9	26.5	14.7	2.9	2.9	5.9	－
	その他	11	27.3	－	18.2	18.2	－	9.1	9.1	18.2	－
在学者・全体		72	26.4	9.7	15.3	11.1	11.1	－	8.3	18.1	－
年代	18～29 歳	51	15.7	13.7	21.6	7.8	7.8	－	7.8	25.5	－
	30 代	10	50.0	－	－	20.0	20.0	－	10.0	－	－
	40 代	4	50.0	－	－	25.0	－	－	25.0	－	－
	50 代	6	50.0	－	－	16.7	33.3	－	－	－	－
	60 歳以上	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	－	12.5	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	27.5	7.8	13.7	13.7	11.8	－	3.9	21.6	－
	性的マイノリティ	11	9.1	18.2	27.3	－	9.1	－	18.2	18.2	－
	その他	2	50.0	－	－	－	－	－	50.0	－	－

③希望と実態の比較

「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、希望と実態を比較すると、「区民」「在勤者」「在学者」のいずれにおいても、仕事（のみ）を優先することを希望する割合は1割を下回るが、実態では2割以上となっている。また、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をとくに優先」を希望する割合は2割～4割であるが、実態では1割程度となっている。

総じてみると、仕事を優先せざるを得ない様子がうかがわれる。

図表 61 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の希望と実態
：単数回答（問 14、問 14-2）



(2) 「仕事と生活の調和」のために必要だと思うこと

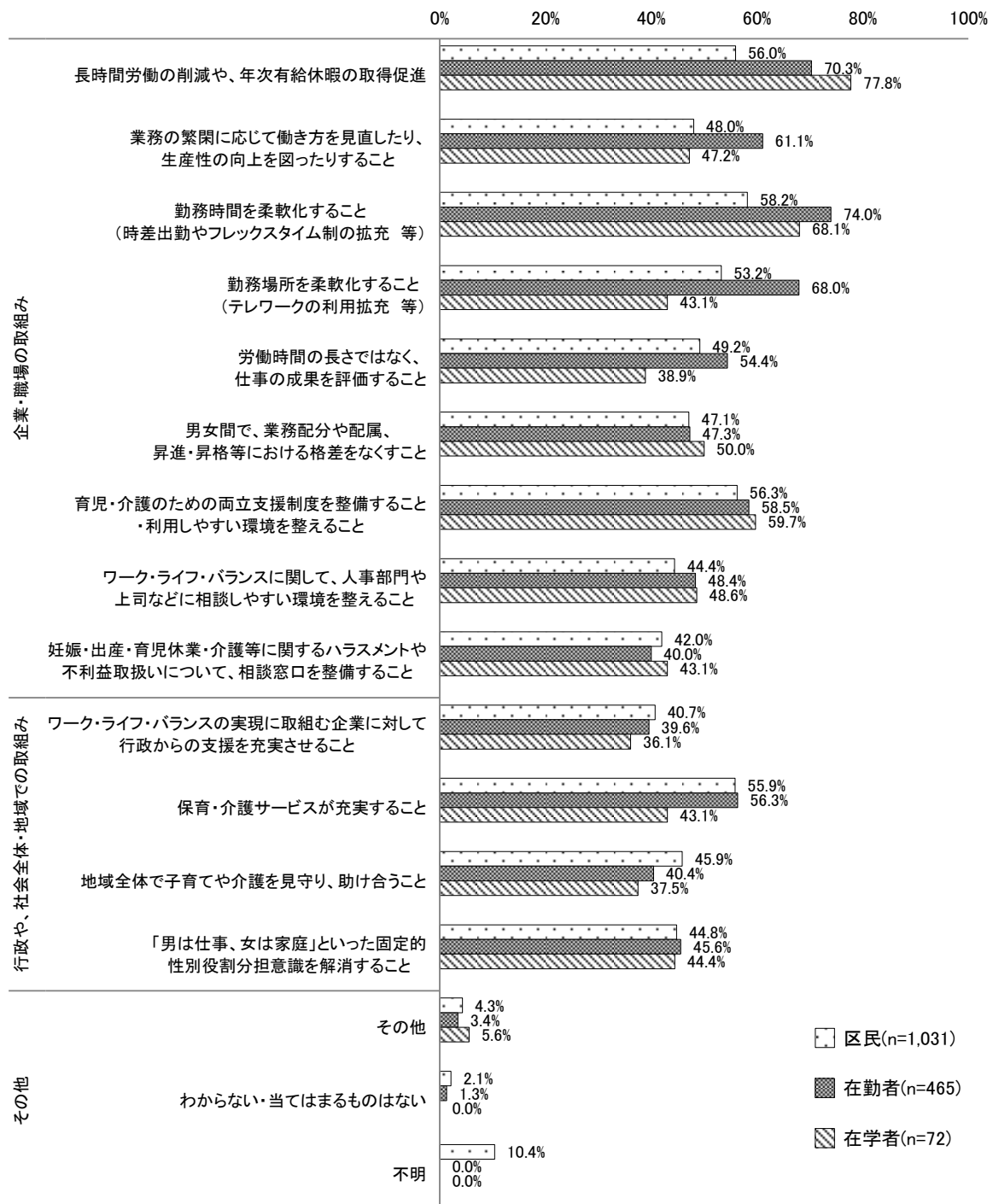
「仕事と生活の調和」のために必要だと思うことをみると、「区民」では、「勤務時間を柔軟化すること（時差出勤やフレックスタイム制の拡充 等）」が 58.2%でもっとも割合が高く、次いで「育児・介護のための両立支援制度を整備すること・利用しやすい環境を整えること」が 56.3%となっている。

「在勤者」では、「勤務時間を柔軟化すること（時差出勤やフレックスタイム制の拡充 等）」が 74.0%でもっとも割合が高く、次いで「長時間労働の削減や、年次有給休暇の取得促進」が 70.3%となっている。

「在学者」では、「長時間労働の削減や、年次有給休暇の取得促進」が 77.8%でもっとも割合が高く、次いで「勤務時間を柔軟化すること（時差出勤やフレックスタイム制の拡充 等）」が 68.1%となっている。

特に「在勤者」の結果から、さらなる勤務時間や勤務場所の柔軟化が求められている様子が見える。

図表 62 「仕事と生活の調和」のために必要だと思うこと：複数回答（問 15①）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 15①「仕事と生活の調和」のために必要だと思うこと(複数回答)								
			企業・職場の取組み								
			有給休暇の取得促進	長時間労働の削減や、年次上を回つたりすること	業務の繁閑に応じて働き方を見直したり、生産性の向上を図つたりすること	勤務時間を柔軟化すること(時差出勤やフレックスタイム制の拡充等)	勤務場所を柔軟化すること(テレワークの利用拡充等)	勤務時間の長さではなく、仕事の成果を評価すること	労働時間の長さではなく、昇進・昇格等における格差をなくすこと	育児・介護のための両立支援制度を整備すること・利用しやすい環境を整えること	妊娠・出産・育児休業・介護等に関するハラスメントや不利益取扱いについて、相談窓口を整備すること
区民・全体		1,031	56.0	48.0	58.2	53.2	49.2	47.1	56.3	44.4	42.0
年代	18～29 歳	109	70.6	45.9	65.1	61.5	52.3	45.0	64.2	47.7	43.1
	30 代	182	61.0	53.8	68.1	68.1	52.2	47.3	61.0	42.9	43.4
	40 代	207	59.4	52.2	58.9	57.0	56.0	49.3	57.0	48.3	41.5
	50 代	242	50.8	51.7	57.9	51.2	53.7	46.7	55.0	47.1	42.1
	60 歳以上	291	49.1	39.2	49.1	39.9	37.5	46.7	50.9	39.2	40.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	59.0	48.8	56.6	51.2	54.0	43.4	53.8	42.2	36.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	56.7	49.6	61.9	57.3	49.0	50.4	60.1	48.5	45.4
	性的マイノリティ	78	51.3	41.0	53.8	48.7	35.9	47.4	53.8	29.5	43.6
	その他	50	34.0	36.0	34.0	30.0	38.0	36.0	34.0	38.0	38.0
在勤者・全体		465	70.3	61.1	74.0	68.0	54.4	47.3	58.5	48.4	40.0
年代	18～29 歳	60	85.0	56.7	58.3	71.7	41.7	41.7	51.7	40.0	36.7
	30 代	90	71.1	63.3	80.0	70.0	57.8	45.6	61.1	41.1	38.9
	40 代	116	73.3	62.9	73.3	70.7	61.2	44.0	59.5	52.6	38.8
	50 代	139	60.4	64.0	77.7	61.9	52.5	50.4	59.0	53.2	41.7
	60 歳以上	60	71.7	51.7	73.3	70.0	53.3	55.0	58.3	48.3	43.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	73.8	63.9	76.2	72.3	56.4	45.5	54.5	51.5	42.1
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	68.5	59.4	75.8	64.8	53.9	50.2	63.5	46.1	39.3
	性的マイノリティ	34	73.5	61.8	58.8	67.6	44.1	44.1	55.9	50.0	41.2
	その他	11	36.4	45.5	36.4	45.5	63.6	36.4	36.4	27.3	9.1
在学者・全体		72	77.8	47.2	68.1	43.1	38.9	50.0	59.7	48.6	43.1
年代	18～29 歳	51	80.4	37.3	68.6	39.2	27.5	51.0	56.9	45.1	37.3
	30 代	10	80.0	90.0	60.0	60.0	70.0	50.0	80.0	60.0	60.0
	40 代	4	100.0	75.0	100.0	75.0	50.0	25.0	50.0	25.0	50.0
	50 代	6	50.0	33.3	66.7	33.3	66.7	50.0	50.0	66.7	50.0
	60 歳以上	1	-	100.0	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	62.5	25.0	62.5	37.5	25.0	37.5	50.0	50.0	37.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	80.4	47.1	72.5	41.2	45.1	51.0	60.8	41.2	39.2
	性的マイノリティ	11	81.8	63.6	63.6	63.6	27.3	63.6	63.6	81.8	63.6
	その他	2	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	50.0	50.0

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 15①「仕事と生活の調和」のために必要だと思うこと(複数回答)						
			行政や、社会全体・地域での取組み					その他	
			ワークライフ・バランスの実現に取組む企業に対して行政からの支援を充実させること	保育・介護サービスが充実すること	地域全体で子育てや介護を見守り、助け合うこと	「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識を解消すること	その他	わからない・当てはまるものはない	不明
区民・全体		1,031	40.7	55.9	45.9	44.8	4.3	2.1	10.4
年代	18～29 歳	109	44.0	55.0	50.5	46.8	3.7	0.9	3.7
	30 代	182	42.3	54.4	38.5	35.7	3.8	1.6	5.5
	40 代	207	45.4	60.9	50.7	51.7	5.8	2.4	6.3
	50 代	242	39.7	58.3	50.8	47.9	4.5	1.7	7.0
	60 歳以上	291	36.1	51.5	41.2	42.3	3.4	3.1	21.6
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	38.2	51.7	43.1	36.4	3.8	2.6	6.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	43.8	59.4	49.6	50.3	4.3	1.8	11.0
	性的マイノリティ	78	39.7	61.5	41.0	48.7	3.8	—	10.3
	その他	50	26.0	36.0	32.0	36.0	8.0	6.0	28.0
在勤者・全体		465	39.6	56.3	40.4	45.6	3.4	1.3	—
年代	18～29 歳	60	33.3	50.0	25.0	38.3	1.7	—	—
	30 代	90	38.9	53.3	38.9	47.8	—	1.1	—
	40 代	116	42.2	56.9	44.0	47.4	6.0	0.9	—
	50 代	139	41.7	57.6	43.9	46.0	4.3	2.2	—
	60 歳以上	60	36.7	63.3	43.3	45.0	3.3	1.7	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	43.6	55.4	44.1	41.1	5.9	—	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	35.6	58.0	38.8	51.1	1.4	0.9	—
	性的マイノリティ	34	44.1	61.8	38.2	47.1	2.9	2.9	—
	その他	11	27.3	18.2	9.1	9.1	—	27.3	—
在学者・全体		72	36.1	43.1	37.5	44.4	5.6	—	—
年代	18～29 歳	51	31.4	39.2	33.3	37.3	2.0	—	—
	30 代	10	50.0	70.0	60.0	70.0	20.0	—	—
	40 代	4	25.0	25.0	—	50.0	—	—	—
	50 代	6	50.0	33.3	50.0	50.0	16.7	—	—
	60 歳以上	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	50.0	37.5	25.0	25.0	25.0	—	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	29.4	43.1	37.3	41.2	3.9	—	—
	性的マイノリティ	11	54.5	54.5	54.5	63.6	—	—	—
	その他	2	50.0	—	—	100.0	—	—	—

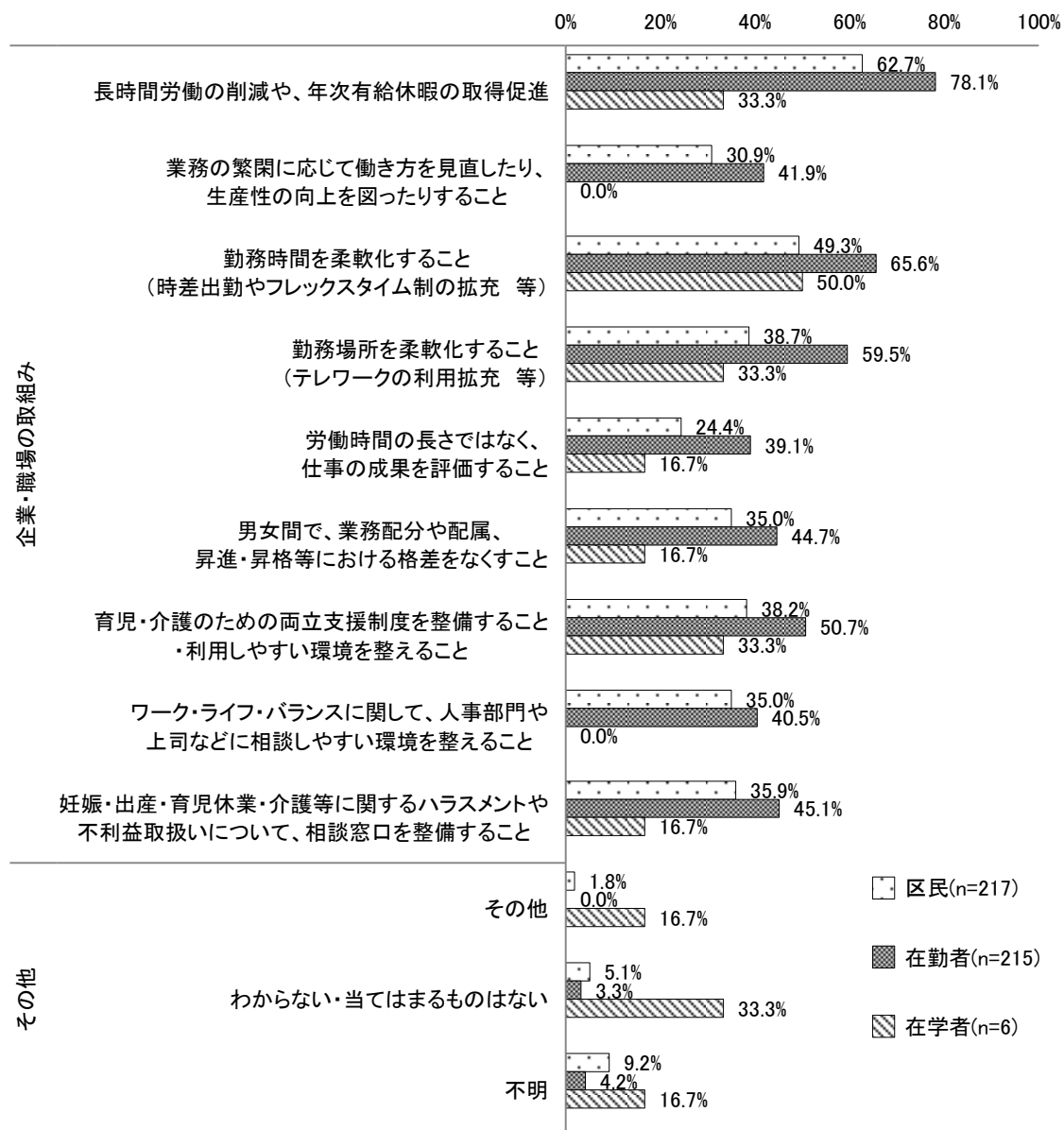
(3) 「仕事と生活の調和」のために勤務先で取組まれていること

自身と配偶者・パートナーのいずれも就業している者について、「仕事と生活の調和」のために勤務先で取組まれていることをみると、「区民」では、「長時間労働の削減や、年次有給休暇の取得促進」が62.7%でもっとも割合が高く、次いで「勤務時間を柔軟化すること（時差出勤やフレックスタイム制の拡充 等）」が49.3%となっている。

「在勤者」では、「長時間労働の削減や、年次有給休暇の取得促進」が78.1%でもっとも割合が高く、次いで「勤務時間を柔軟化すること（時差出勤やフレックスタイム制の拡充 等）」が65.6%となっている。

前問と比較すると、「業務の繁閑に応じて働き方を見直したり、生産性の向上を図ったりすること」「労働時間の長さではなく、仕事の成果を評価すること」は、ニーズに対して取組が進んでいない様子がうかがえる。

図表 63 「仕事と生活の調和」のために勤務先で取組まれていること：複数回答（問15②）



注)「在学者」はサンプルサイズが小さいため参考値。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 15②.「仕事と生活の調和」のために勤務先で取組まれていること(複数回答)					
			企業・職場の取組み					
			長時間労働の削減や、年次有給休暇の取得促進	業務の繁閑に応じて働き方を見直したり、生産性の向上を図ったりすること	勤務時間を柔軟化すること(時差出勤やフレックスタイム制の拡充等)	勤務場所を柔軟化すること(テレワークの利用拡充等)	労働時間の長さではなく、仕事の成果を評価すること	男女間で、業務配分や配属、昇進・昇格等における格差をなくすこと
区民・全体		217	62.7	30.9	49.3	38.7	24.4	35.0
年代	18～29 歳	16	68.8	43.8	43.8	37.5	31.3	43.8
	30 代	52	55.8	26.9	50.0	36.5	15.4	32.7
	40 代	62	72.6	35.5	58.1	51.6	25.8	25.8
	50 代	60	53.3	25.0	43.3	28.3	25.0	38.3
	60 歳以上	27	70.4	33.3	44.4	37.0	33.3	48.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	79	65.8	36.7	54.4	46.8	38.0	45.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	115	61.7	26.1	44.3	36.5	14.8	27.8
	性的マイノリティ	15	46.7	26.7	53.3	20.0	26.7	33.3
	その他	8	75.0	50.0	62.5	25.0	25.0	37.5
在勤者・全体		215	78.1	41.9	65.6	59.5	39.1	44.7
年代	18～29 歳	7	42.9	57.1	42.9	28.6	14.3	42.9
	30 代	46	69.6	41.3	71.7	69.6	45.7	34.8
	40 代	71	87.3	45.1	71.8	63.4	40.8	53.5
	50 代	68	80.9	39.7	60.3	55.9	35.3	45.6
	60 歳以上	23	69.6	34.8	56.5	47.8	39.1	34.8
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	113	81.4	53.1	75.2	73.5	47.8	54.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	86	77.9	27.9	55.8	45.3	26.7	34.9
	性的マイノリティ	12	58.3	33.3	50.0	41.7	50.0	33.3
	その他	4	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0
在学者・全体		6	33.3	—	50.0	33.3	16.7	16.7
年代	18～29 歳	—	—	—	—	—	—	—
	30 代	2	—	—	—	—	—	—
	40 代	2	100.0	—	100.0	50.0	50.0	50.0
	50 代	2	—	—	50.0	50.0	—	—
	60 歳以上	—	—	—	—	—	—	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	2	—	—	—	—	—	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	3	33.3	—	66.7	66.7	33.3	—
	性的マイノリティ	1	100.0	—	100.0	—	—	100.0
	その他	—	—	—	—	—	—	—

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 15②.「仕事と生活の調和」のために勤務先で取組まれていること(複数回答)					
			企業・職場の取組み				その他	
			育児・介護のための両 立支援制度を整備す ること・利用しやすい 環境を整えること	ワーク・ライフ・ balan スに関して、人事部門 や上司などに相談し やすい環境を整える こと	口を整備すること	妊娠・出産・育児休 業・介護等に関するハ ラスメントや不利益取 扱いについて、相談窓 口を整備すること	その他	不明
区民・全体		217	38.2	35.0	35.9	1.8	5.1	9.2
年代	18～29 歳	16	31.3	43.8	37.5	6.3	12.5	－
	30 代	52	34.6	36.5	32.7	－	3.8	7.7
	40 代	62	46.8	35.5	38.7	－	3.2	6.5
	50 代	60	35.0	26.7	33.3	5.0	6.7	16.7
	60 歳以上	27	37.0	44.4	40.7	－	3.7	7.4
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	79	40.5	36.7	40.5	1.3	2.5	6.3
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	115	37.4	32.2	32.2	2.6	5.2	13.0
	性的マイノリティ	15	40.0	46.7	46.7	－	13.3	－
	その他	8	25.0	37.5	25.0	－	12.5	－
在勤者・全体		215	50.7	40.5	45.1	－	3.3	4.2
年代	18～29 歳	7	57.1	28.6	42.9	－	－	14.3
	30 代	46	45.7	47.8	43.5	－	6.5	2.2
	40 代	71	56.3	46.5	52.1	－	2.8	2.8
	50 代	68	50.0	35.3	44.1	－	2.9	5.9
	60 歳以上	23	43.5	26.1	30.4	－	－	4.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	113	63.7	55.8	55.8	－	1.8	2.7
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	86	38.4	20.9	32.6	－	3.5	4.7
	性的マイノリティ	12	25.0	33.3	33.3	－	8.3	8.3
	その他	4	25.0	50.0	50.0	－	25.0	25.0
在学者・全体		6	33.3	－	16.7	16.7	33.3	16.7
年代	18～29 歳	－	－	－	－	－	－	－
	30 代	2	－	－	－	－	100.0	－
	40 代	2	50.0	－	50.0	50.0	－	－
	50 代	2	50.0	－	－	－	－	50.0
	60 歳以上	－	－	－	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	2	－	－	－	－	100.0	－
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	3	33.3	－	－	33.3	－	33.3
	性的マイノリティ	1	100.0	－	100.0	－	－	－
	その他	－	－	－	－	－	－	－

3-5. 人権に対する意識・関心

(1) 人権にかかわる問題への関心度合い

人権にかかわる問題への関心度合いを尋ねた。

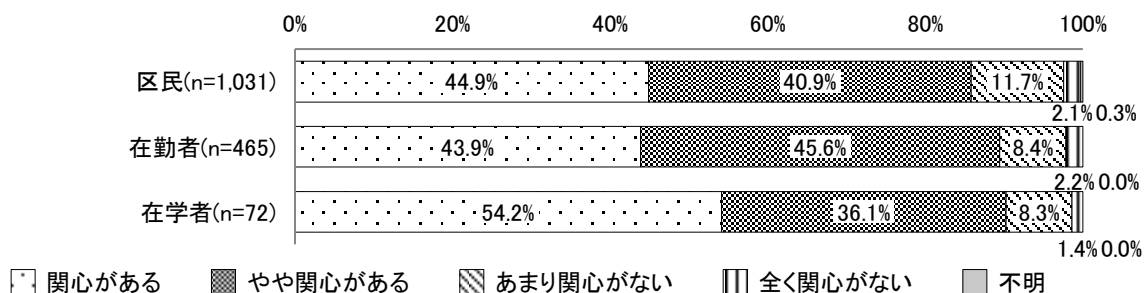
その結果、「区民」「在勤者」「在学者」のいずれにおいても、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）が各項目でおおよそ5割以上であり、「女性の人権」「子どもの人権」「障害を理由とする偏見や差別の問題」「インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題」においては、関心がある割合が8割を超えていた。また、「性的マイノリティに対する偏見や差別の問題」について関心がある割合は約6割であった。

なお、相対的に関心が低い項目も、区の取組により課題が一部解消され、関心度合いが低下している可能性も想定されるため、解釈には留意が必要である。

①女性の人権

「女性の人権」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では85.8%、「在勤者」では89.5%、「在学者」では90.3%となっている。

図表 64 人権にかかわる問題への関心度合い：女性の人権：単数回答（問16a）



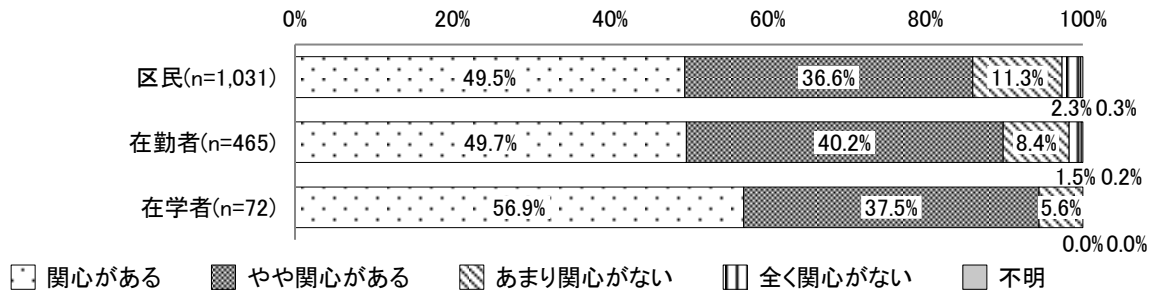
3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 16a.人権にかかわる問題への関心度合い: 女性の人権(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
区民・全体		1,031	44.9	40.9	11.7	2.1	0.3
年代	18～29 歳	109	40.4	43.1	14.7	1.8	—
	30 代	182	38.5	45.6	12.6	3.3	—
	40 代	207	38.6	42.5	15.5	3.4	—
	50 代	242	47.1	39.3	12.0	1.2	0.4
	60 歳以上	291	53.3	37.5	7.2	1.4	0.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	34.7	45.4	16.2	3.8	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	51.0	39.9	8.1	0.7	0.4
	性的マイノリティ	78	46.2	35.9	12.8	5.1	—
	その他	50	46.0	30.0	20.0	2.0	2.0
在勤者・全体		465	43.9	45.6	8.4	2.2	—
年代	18～29 歳	60	46.7	40.0	8.3	5.0	—
	30 代	90	47.8	38.9	12.2	1.1	—
	40 代	116	35.3	54.3	6.9	3.4	—
	50 代	139	48.9	45.3	4.3	1.4	—
	60 歳以上	60	40.0	45.0	15.0	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	34.2	51.5	11.4	3.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	50.2	43.4	5.0	1.4	—
	性的マイノリティ	34	61.8	26.5	8.8	2.9	—
	その他	11	45.5	36.4	18.2	—	—
在学者・全体		72	54.2	36.1	8.3	1.4	—
年代	18～29 歳	51	49.0	43.1	5.9	2.0	—
	30 代	10	60.0	30.0	10.0	—	—
	40 代	4	50.0	—	50.0	—	—
	50 代	6	83.3	16.7	—	—	—
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	50.0	25.0	—	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	62.7	33.3	3.9	—	—
	性的マイノリティ	11	36.4	45.5	9.1	9.1	—
	その他	2	50.0	—	50.0	—	—

②子どもの人権

「子どもの人権」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では86.0%、「在勤者」では89.9%、「在学者」では94.4%となっている。

図表 65 人権にかかわる問題への関心度合い：子どもの人権：単数回答（問 16b）

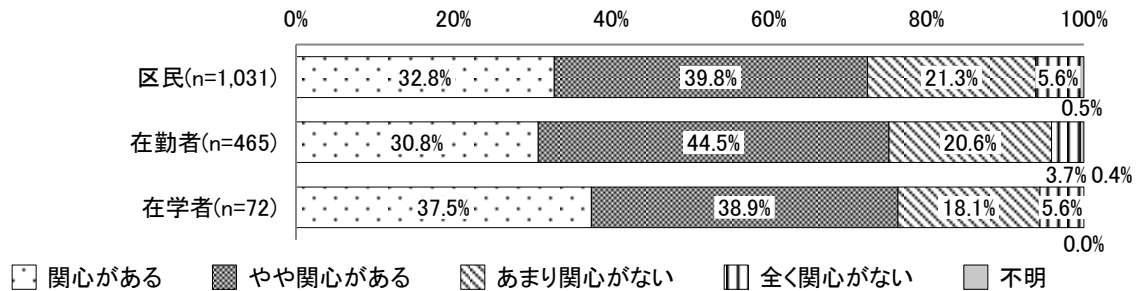


		合計	問 16 b.人権にかかわる問題への関心度合い：子どもの人権（単数回答）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
区民・全体		1,031	49.5	36.6	11.3	2.3	0.3
年代	18～29 歳	109	39.4	43.1	14.7	2.8	—
	30 代	182	48.9	38.5	10.4	2.2	—
	40 代	207	47.8	34.3	14.5	3.4	—
	50 代	242	51.2	33.5	13.6	1.2	0.4
	60 歳以上	291	53.3	37.1	6.5	2.4	0.7
リセクティン区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	43.6	42.8	11.3	2.3	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	52.4	35.0	10.6	1.4	0.5
	性的マイノリティ	78	52.6	24.4	15.4	7.7	—
	その他	50	52.0	30.0	14.0	4.0	—
在勤者・全体		465	49.7	40.2	8.4	1.5	0.2
年代	18～29 歳	60	43.3	35.0	16.7	5.0	—
	30 代	90	50.0	38.9	8.9	2.2	—
	40 代	116	52.6	39.7	6.0	1.7	—
	50 代	139	51.1	42.4	5.8	—	0.7
	60 歳以上	60	46.7	43.3	10.0	—	—
リセクティン区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	49.5	41.6	7.4	1.0	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	48.4	42.5	7.8	1.4	—
	性的マイノリティ	34	64.7	17.6	11.8	5.9	—
	その他	11	36.4	36.4	27.3	—	—
在学者・全体		72	56.9	37.5	5.6	—	—
年代	18～29 歳	51	51.0	43.1	5.9	—	—
	30 代	10	70.0	30.0	—	—	—
	40 代	4	75.0	—	25.0	—	—
	50 代	6	66.7	33.3	—	—	—
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—
リセクティン区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	62.5	12.5	—	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	68.6	31.4	—	—	—
	性的マイノリティ	11	36.4	45.5	18.2	—	—
	その他	2	—	50.0	50.0	—	—

③高齢者の人権

「高齢者の人権」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では72.6%、「在勤者」では75.3%、「在学者」では76.4%となっている。

図表 66 人権にかかわる問題への関心度合い：高齢者の人権：単数回答（問 16c）



		合計	問 16c.人権にかかわる問題への関心度合い:高齢者の人権(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
区民・全体		1,031	32.8	39.8	21.3	5.6	0.5
年代	18～29 歳	109	11.0	41.3	35.8	11.0	0.9
	30 代	182	15.4	40.1	31.3	13.2	－
	40 代	207	26.6	40.6	26.1	6.8	－
	50 代	242	37.2	40.1	19.8	2.1	0.8
	60 歳以上	291	52.6	38.1	7.6	1.0	0.7
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	346	28.9	39.6	22.5	8.4	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	34.3	42.5	19.6	3.1	0.5
	性的マイノリティ	78	30.8	29.5	26.9	12.8	－
	その他	50	46.0	26.0	24.0	4.0	－
在勤者・全体		465	30.8	44.5	20.6	3.7	0.4
年代	18～29 歳	60	25.0	30.0	36.7	8.3	－
	30 代	90	23.3	41.1	28.9	5.6	1.1
	40 代	116	23.3	55.2	18.1	3.4	－
	50 代	139	41.7	43.9	12.9	1.4	－
	60 歳以上	60	36.7	45.0	15.0	1.7	1.7
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	202	29.7	48.0	17.8	4.0	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	30.6	44.7	21.5	2.7	0.5
	性的マイノリティ	34	41.2	23.5	26.5	8.8	－
	その他	11	27.3	36.4	36.4	－	－
在学者・全体		72	37.5	38.9	18.1	5.6	－
年代	18～29 歳	51	25.5	41.2	25.5	7.8	－
	30 代	10	70.0	30.0	－	－	－
	40 代	4	50.0	50.0	－	－	－
	50 代	6	66.7	33.3	－	－	－
	60 歳以上	1	100.0	－	－	－	－
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	8	25.0	37.5	25.0	12.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	41.2	41.2	15.7	2.0	－
	性的マイノリティ	11	36.4	27.3	18.2	18.2	－
	その他	2	－	50.0	50.0	－	－

④障害を理由とする偏見や差別の問題

「障害を理由とする偏見や差別の問題」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では 82.5%、「在勤者」では 88.0%、「在学者」では 95.8%となっている。

図表 67 人権にかかわる問題への関心度合い：障害を理由とする偏見や差別の問題
：単数回答（問 16d）



⑤部落差別（同和問題）

「部落差別（同和問題）」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では54.0%、「在勤者」では64.7%、「在学者」では69.4%となっている。

図表 68 人権にかかわる問題への関心度合い：部落差別（同和問題）：単数回答（問16e）



⑥アイヌの人々に対する偏見や差別の問題

「アイヌの人々に対する偏見や差別の問題」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では52.2%、「在勤者」では63.4%、「在学者」では63.9%となっている。

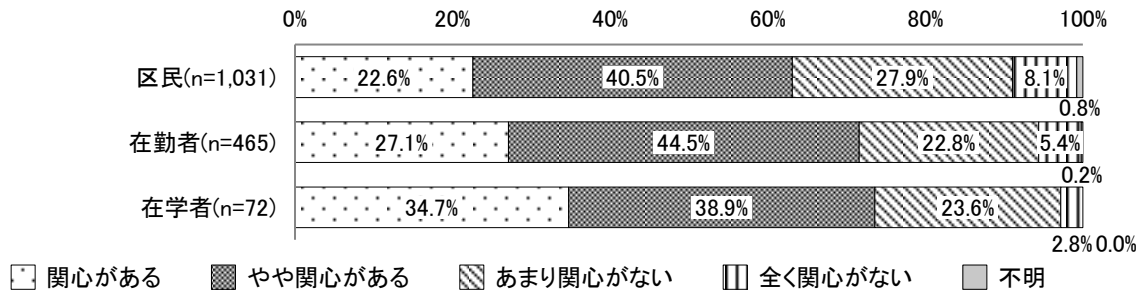
図表 69 人権にかかわる問題への関心度合い：アイヌの人々に対する偏見や差別の問題
：単数回答（問 16f）



⑦外国人の人権

「外国人の人権」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では63.1%、「在勤者」では71.6%、「在学者」では73.6%となっている。

図表 70 人権にかかわる問題への関心度合い：外国人の人権：単数回答（問16g）



		合計	問 16 g.人権にかかわる問題への関心度合い：外国人の人権(単数回答)					
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明	
区民・全体		1,031	22.6	40.5	27.9	8.1	0.8	
年代	18～29 歳	109	19.3	43.1	24.8	12.8	－	
	30 代	182	18.7	42.3	26.4	12.1	0.5	
	40 代	207	22.7	39.1	28.5	9.2	0.5	
	50 代	242	24.0	37.2	31.4	6.6	0.8	
	60 歳以上	291	25.1	42.3	26.8	4.5	1.4	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	25.1	38.4	28.6	7.2	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	21.2	43.6	26.6	7.7	0.9	
	性的マイノリティ	78	21.8	34.6	30.8	12.8	－	
	その他	50	22.0	30.0	34.0	12.0	2.0	
在勤者・全体		465	27.1	44.5	22.8	5.4	0.2	
年代	18～29 歳	60	23.3	36.7	33.3	5.0	1.7	
	30 代	90	32.2	37.8	25.6	4.4	－	
	40 代	116	25.0	47.4	19.0	8.6	－	
	50 代	139	26.6	50.4	20.9	2.2	－	
	60 歳以上	60	28.3	43.3	20.0	8.3	－	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	26.7	46.5	20.8	5.9	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	26.5	43.8	24.7	4.6	0.5	
	性的マイノリティ	34	38.2	41.2	14.7	5.9	－	
	その他	11	9.1	36.4	45.5	9.1	－	
在学者・全体		72	34.7	38.9	23.6	2.8	－	
年代	18～29 歳	51	31.4	41.2	23.5	3.9	－	
	30 代	10	40.0	40.0	20.0	－	－	
	40 代	4	75.0	－	25.0	－	－	
	50 代	6	33.3	33.3	33.3	－	－	
	60 歳以上	1	－	100.0	－	－	－	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	37.5	37.5	25.0	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	33.3	37.3	27.5	2.0	－	
	性的マイノリティ	11	45.5	45.5	－	9.1	－	
	その他	2	－	50.0	50.0	－	－	

⑧感染症に関連する偏見や差別の問題

「感染症に関連する偏見や差別の問題」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では 68.9%、「在勤者」では 74.8%、「在学者」では 87.5%となっている。

図表 71 人権にかかわる問題への関心度合い：感染症に関連する偏見や差別の問題
：単数回答（問 16h）



⑨ハンセン病患者・元患者及びその家族に対する偏見や差別の問題

「ハンセン病患者・元患者及びその家族に対する偏見や差別の問題」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では 53.5%、「在勤者」では 59.1%、「在学者」では 76.4%となっている。

図表 72 人権にかかわる問題への関心度合い：ハンセン病患者
・元患者及びその家族に対する偏見や差別の問題：単数回答（問 16i）

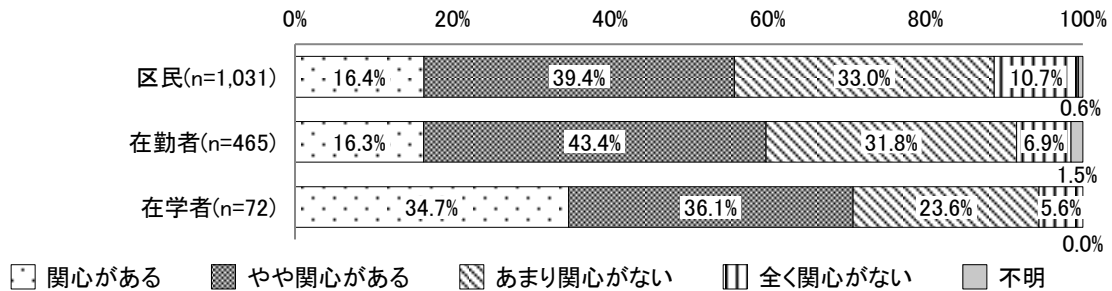


⑩刑を終えて出所した人及びその家族に対する偏見や差別の問題

「刑を終えて出所した人及びその家族に対する偏見や差別の問題」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では 55.8%、「在勤者」では 59.8%、「在学者」では 70.8%となっている。

図表 73 人権にかかわる問題への関心度合い

：刑を終えて出所した人及びその家族に対する偏見や差別の問題：単数回答（問 16j）



		合計	問 16 j.人権にかかわる問題への関心度合い：刑を終えて出所した人及びその家族に対する偏見や差別の問題（単数回答）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
区民・全体		1,031	16.4	39.4	33.0	10.7	0.6
年代	18～29 歳	109	11.0	33.9	33.9	21.1	－
	30 代	182	14.3	36.8	30.8	18.1	－
	40 代	207	16.4	40.6	31.9	11.1	－
	50 代	242	19.0	37.6	36.0	7.0	0.4
	60 歳以上	291	17.5	43.6	32.3	4.8	1.7
リ テ ィ 区 分	セクシュア	346	15.9	37.3	32.7	13.6	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	15.6	41.8	33.6	8.3	0.7
	性的マイノリティ	78	19.2	35.9	28.2	16.7	－
	その他	50	24.0	32.0	36.0	8.0	－
在勤者・全体		465	16.3	43.4	31.8	6.9	1.5
年代	18～29 歳	60	15.0	38.3	31.7	11.7	3.3
	30 代	90	20.0	37.8	34.4	7.8	－
	40 代	116	12.9	47.4	31.0	8.6	－
	50 代	139	17.3	47.5	28.8	4.3	2.2
	60 歳以上	60	16.7	40.0	36.7	3.3	3.3
リ テ ィ 区 分	セクシュア	202	19.3	44.1	28.2	6.4	2.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	11.4	44.3	35.6	7.3	1.4
	性的マイノリティ	34	29.4	41.2	23.5	5.9	－
	その他	11	18.2	27.3	45.5	9.1	－
在学者・全体		72	34.7	36.1	23.6	5.6	－
年代	18～29 歳	51	37.3	31.4	25.5	5.9	－
	30 代	10	20.0	60.0	10.0	10.0	－
	40 代	4	50.0	－	50.0	－	－
	50 代	6	33.3	50.0	16.7	－	－
	60 歳以上	1	－	100.0	－	－	－
リ テ ィ 区 分	セクシュア	8	12.5	50.0	25.0	12.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	33.3	35.3	27.5	3.9	－
	性的マイノリティ	11	45.5	36.4	9.1	9.1	－
	その他	2	100.0	－	－	－	－

⑪犯罪被害者及びその家族の人権

「犯罪被害者及びその家族の人権」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では69.4%、「在勤者」では72.7%、「在学者」では77.8%となっている。

図表 74 人権にかかわる問題への関心度合い
：犯罪被害者及びその家族の人権：単数回答（問 16k）

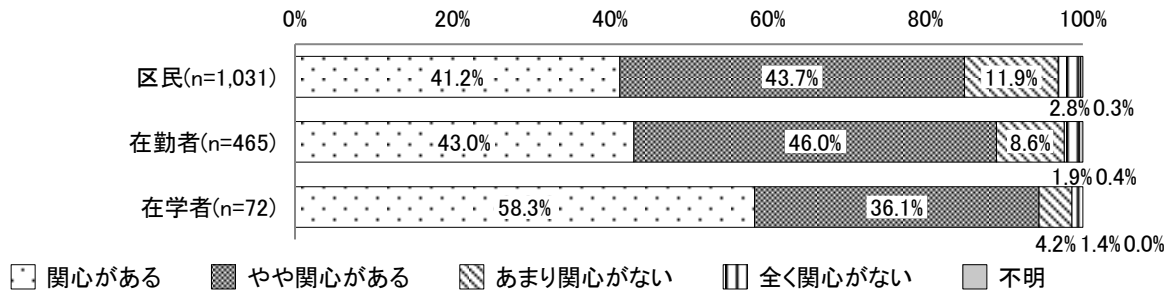


⑫インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題

「インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では85.0%、「在勤者」では89.0%、「在学者」では94.4%となっている。

図表 75 人権にかかわる問題への関心度合い

：インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題：単数回答（問16I）



		合計	問 16 I.人権にかかわる問題への関心度合い: インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題(単数回答)					
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明	
区民・全体		1,031	41.2	43.7	11.9	2.8	0.3	
年代	18～29 歳	109	33.0	48.6	13.8	4.6	－	
	30 代	182	35.2	50.0	11.0	3.8	－	
	40 代	207	36.2	44.4	15.5	3.9	－	
	50 代	242	45.0	42.1	11.2	1.7	－	
	60 歳以上	291	48.5	38.8	10.0	1.7	1.0	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	42.2	43.4	10.7	3.5	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	41.7	44.5	11.8	1.8	0.2	
	性的マイノリティ	78	37.2	44.9	10.3	7.7	－	
	その他	50	36.0	36.0	24.0	2.0	2.0	
在勤者・全体		465	43.0	46.0	8.6	1.9	0.4	
年代	18～29 歳	60	31.7	51.7	10.0	5.0	1.7	
	30 代	90	35.6	44.4	18.9	－	1.1	
	40 代	116	36.2	53.4	6.0	4.3	－	
	50 代	139	57.6	38.1	3.6	0.7	－	
	60 歳以上	60	45.0	46.7	8.3	－	－	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	43.6	46.5	7.4	2.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	41.6	46.1	10.0	1.4	0.9	
	性的マイノリティ	34	55.9	38.2	2.9	2.9	－	
	その他	11	27.3	54.5	18.2	－	－	
在学者・全体		72	58.3	36.1	4.2	1.4	－	
年代	18～29 歳	51	54.9	39.2	3.9	2.0	－	
	30 代	10	60.0	40.0	－	－	－	
	40 代	4	50.0	25.0	25.0	－	－	
	50 代	6	100.0	－	－	－	－	
	60 歳以上	1	－	100.0	－	－	－	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	50.0	37.5	12.5	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	60.8	37.3	2.0	－	－	
	性的マイノリティ	11	54.5	36.4	－	9.1	－	
	その他	2	50.0	－	50.0	－	－	

⑬北朝鮮当局による人権侵害の問題

「北朝鮮当局による人権侵害の問題」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では61.1%、「在勤者」では67.7%、「在学者」では65.3%となっている。

図表 76 人権にかかわる問題への関心度合い
：北朝鮮当局による人権侵害の問題：単数回答（問16m）



⑭ホームレスに対する偏見や差別の問題

「ホームレスに対する偏見や差別の問題」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では49.5%、「在勤者」では56.1%、「在学者」では66.7%となっている。

図表 77 人権にかかわる問題への関心度合い
：ホームレスに対する偏見や差別の問題：単数回答（問16n）

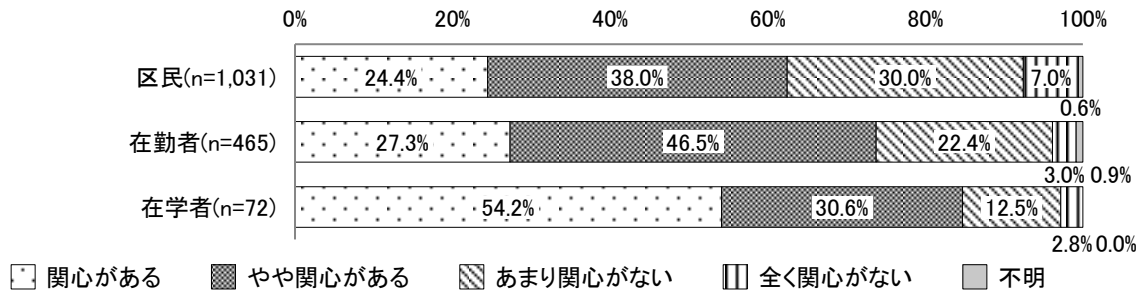


⑮性的マイノリティに関する偏見や差別の問題

「性的マイノリティに関する偏見や差別の問題」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では62.5%、「在勤者」では73.8%、「在学者」では84.7%となっている。

図表 78 人権にかかわる問題への関心度合い

：性的マイノリティに関する偏見や差別の問題：単数回答（問 16o）

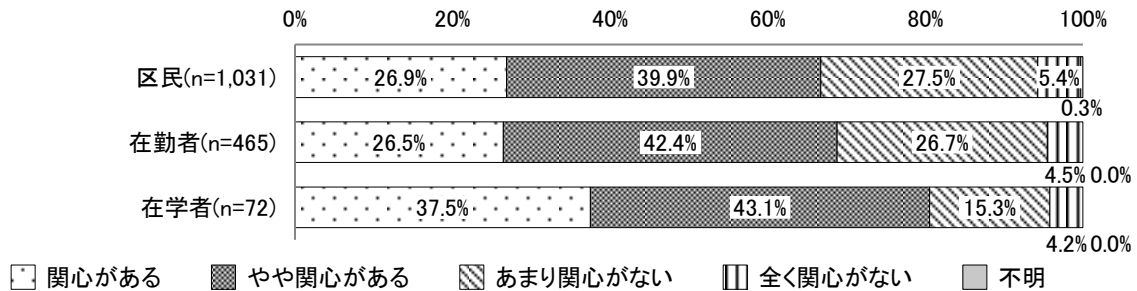


		合計	問 16 o.人権にかかわる問題への関心度合い：性的マイノリティに関する偏見や差別の問題(単数回答)					
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明	
区民・全体		1,031	24.4	38.0	30.0	7.0	0.6	
年代	18～29 歳	109	30.3	33.9	22.0	13.8	－	
	30 代	182	20.3	43.4	26.4	9.9	－	
	40 代	207	25.6	38.2	29.5	6.3	0.5	
	50 代	242	24.8	32.6	36.0	5.8	0.8	
	60 歳以上	291	23.7	40.5	30.6	4.1	1.0	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	22.5	33.8	34.1	9.0	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	24.1	42.2	28.5	4.7	0.5	
	性的マイノリティ	78	39.7	33.3	17.9	9.0	－	
	その他	50	18.0	28.0	36.0	16.0	2.0	
在勤者・全体		465	27.3	46.5	22.4	3.0	0.9	
年代	18～29 歳	60	26.7	48.3	18.3	6.7	－	
	30 代	90	33.3	41.1	23.3	1.1	1.1	
	40 代	116	19.8	54.3	20.7	5.2	－	
	50 代	139	29.5	43.9	25.9	0.7	－	
	60 歳以上	60	28.3	43.3	20.0	3.3	5.0	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	23.8	46.5	24.3	4.0	1.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	26.5	48.9	21.9	2.3	0.5	
	性的マイノリティ	34	55.9	32.4	8.8	2.9	－	
	その他	11	27.3	36.4	36.4	－	－	
在学者・全体		72	54.2	30.6	12.5	2.8	－	
年代	18～29 歳	51	47.1	37.3	11.8	3.9	－	
	30 代	10	60.0	10.0	30.0	－	－	
	40 代	4	100.0	－	－	－	－	
	50 代	6	66.7	33.3	－	－	－	
	60 歳以上	1	100.0	－	－	－	－	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	37.5	50.0	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	60.8	27.5	9.8	2.0	－	
	性的マイノリティ	11	63.6	36.4	－	－	－	
	その他	2	－	50.0	－	50.0	－	

⑩人身取引の問題

「人身取引の問題」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では66.7%、「在勤者」では68.8%、「在学者」では80.6%となっている。

図表 79 人権にかかわる問題への関心度合い：人身取引の問題：単数回答（問 16p）



		合計	問 16p.人権にかかわる問題への関心度合い:人身取引の問題(単数回答)					
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明	
区民・全体		1,031	26.9	39.9	27.5	5.4	0.3	
年代	18～29 歳	109	20.2	41.3	30.3	8.3	—	
	30 代	182	23.1	41.8	25.3	9.9	—	
	40 代	207	20.8	43.0	30.9	5.3	—	
	50 代	242	31.0	40.5	24.4	3.7	0.4	
	60 歳以上	291	32.6	35.4	28.2	3.1	0.7	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	31.5	37.9	24.0	6.6	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	24.6	40.2	30.3	4.3	0.5	
	性的マイノリティ	78	24.4	50.0	17.9	7.7	—	
	その他	50	24.0	34.0	36.0	6.0	—	
在勤者・全体		465	26.5	42.4	26.7	4.5	—	
年代	18～29 歳	60	26.7	40.0	28.3	5.0	—	
	30 代	90	25.6	43.3	24.4	6.7	—	
	40 代	116	23.3	37.9	33.6	5.2	—	
	50 代	139	27.3	48.2	22.3	2.2	—	
	60 歳以上	60	31.7	38.3	25.0	5.0	—	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	25.7	45.0	24.8	4.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	24.7	40.6	30.1	4.6	—	
	性的マイノリティ	34	44.1	38.2	11.8	5.9	—	
	その他	11	27.3	36.4	36.4	—	—	
在学者・全体		72	37.5	43.1	15.3	4.2	—	
年代	18～29 歳	51	33.3	51.0	11.8	3.9	—	
	30 代	10	50.0	30.0	10.0	10.0	—	
	40 代	4	50.0	—	50.0	—	—	
	50 代	6	50.0	33.3	16.7	—	—	
	60 歳以上	1	—	—	100.0	—	—	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	50.0	25.0	12.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	39.2	43.1	15.7	2.0	—	
	性的マイノリティ	11	45.5	36.4	9.1	9.1	—	
	その他	2	50.0	50.0	—	—	—	

⑪震災等の災害に起因する偏見や差別の問題

「震災等の災害に起因する偏見や差別の問題」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では74.4%、「在勤者」では77.0%、「在学者」では84.7%となっている。

図表 80 人権にかかわる問題への関心度合い
：震災等の災害に起因する偏見や差別の問題：単数回答（問 16q）

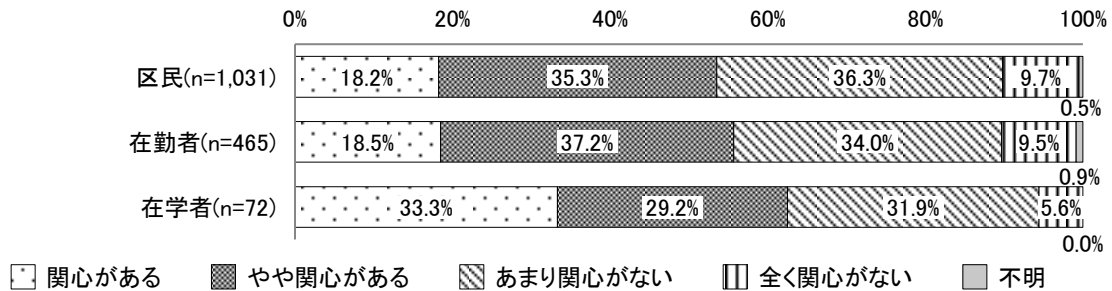


⑩ゲノム情報（遺伝情報）に関する偏見や差別の問題

「ゲノム情報（遺伝情報）に関する偏見や差別の問題」への関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「区民」では53.5%、「在勤者」では55.7%、「在学者」では62.5%となっている。

図表 81 人権にかかわる問題への関心度合い

：ゲノム情報（遺伝情報）に関する偏見や差別の問題：単数回答（問16r）



		合計	問 16 r.人権にかかわる問題への関心度合い:ゲノム情報(遺伝情報)に関する偏見や差別の問題(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
区民・全体		1,031	18.2	35.3	36.3	9.7	0.5
年代	18～29 歳	109	16.5	36.7	33.0	13.8	－
	30 代	182	15.4	34.6	33.0	17.0	－
	40 代	207	14.5	32.4	42.5	10.6	－
	50 代	242	19.0	32.2	39.3	8.3	1.2
	60 歳以上	291	22.7	39.9	32.6	4.1	0.7
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	346	19.4	35.5	35.8	9.0	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	16.5	35.0	38.4	9.3	0.7
	性的マイノリティ	78	20.5	42.3	20.5	16.7	－
	その他	50	26.0	26.0	40.0	8.0	－
在勤者・全体		465	18.5	37.2	34.0	9.5	0.9
年代	18～29 歳	60	21.7	28.3	35.0	13.3	1.7
	30 代	90	18.9	31.1	38.9	8.9	2.2
	40 代	116	14.7	41.4	32.8	11.2	－
	50 代	139	13.7	46.0	31.7	7.9	0.7
	60 歳以上	60	33.3	26.7	33.3	6.7	－
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	202	21.3	38.6	31.7	7.9	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	14.6	36.5	37.4	10.5	0.9
	性的マイノリティ	34	29.4	35.3	23.5	11.8	－
	その他	11	18.2	27.3	36.4	9.1	9.1
在学者・全体		72	33.3	29.2	31.9	5.6	－
年代	18～29 歳	51	27.5	29.4	35.3	7.8	－
	30 代	10	40.0	30.0	30.0	－	－
	40 代	4	50.0	25.0	25.0	－	－
	50 代	6	50.0	33.3	16.7	－	－
	60 歳以上	1	100.0	－	－	－	－
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	50.0	25.0	12.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	35.3	25.5	35.3	3.9	－
	性的マイノリティ	11	36.4	27.3	27.3	9.1	－
	その他	2	50.0	50.0	－	－	－

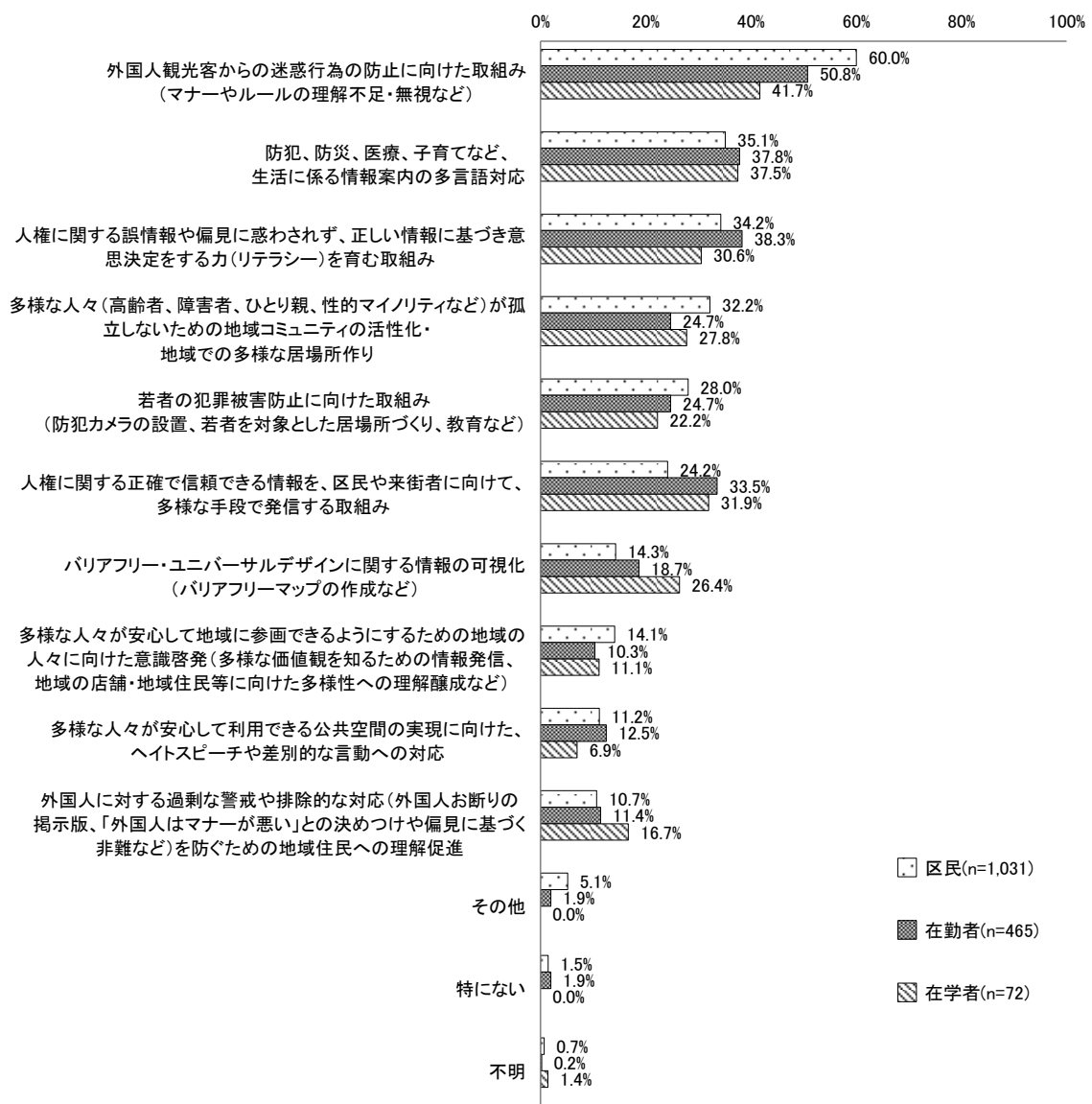
(2) 多様な人々が誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために充実すべき取組み

多様な人々が誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために充実すべき取組みをみると、「区民」では、「外国人観光客からの迷惑行為の防止に向けた取組み（マナーやルールの理解不足・無視など）」が60.0%でもっとも割合が高く、次いで「防犯、防災、医療、子育てなど、生活に係る情報案内の多言語対応」が35.1%となっている。

「在勤者」では、「外国人観光客からの迷惑行為の防止に向けた取組み（マナーやルールの理解不足・無視など）」が50.8%でもっとも割合が高く、次いで「人権に関する誤情報や偏見に惑わされず、正しい情報に基づき意思決定をする力（リテラシー）を育む取組み」が38.3%となっている。

「在学者」では、「外国人観光客からの迷惑行為の防止に向けた取組み（マナーやルールの理解不足・無視など）」が41.7%でもっとも割合が高く、次いで「防犯、防災、医療、子育てなど、生活に係る情報案内の多言語対応」が37.5%となっている。

図表 82 多様な人々が誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために充実すべき取組み
：複数回答（問17）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 17.多様な人々が誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために充実すべき取り組み(複数回答)						
			外国人観光客からの迷惑行為の防止に向けた取り組み(マナーやルールの理解不足・無視など)	言語対応	防犯、防災、医療、子育てなど、生活に係る情報案内の多	人権に関する誤情報や偏見に惑わされず、正しい情報に基づき意思決定をする力(リテラシー)を育む取り組み	地域コミュニティの活性化・地域での多様な居場所作り	多様な人々(高齢者、障害者、ひとり親、性的マイノリティなど)が孤立しないための	多様な人々(高齢者、障害者、ひとり親、性的マイノリティなど)が孤立しないための
区民・全体		1,031	60.0	35.1	34.2	32.2	28.0	24.2	14.3
年代	18～29 歳	109	62.4	33.0	30.3	28.4	31.2	17.4	13.8
	30 代	182	67.0	36.8	34.6	22.5	30.8	23.1	16.5
	40 代	207	63.3	29.5	38.6	30.0	28.5	23.7	12.6
	50 代	242	63.6	33.5	32.6	38.0	26.4	23.1	15.7
	60 歳以上	291	49.5	40.2	33.7	36.4	26.1	28.5	13.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	59.8	33.5	34.7	25.1	27.7	27.5	14.2
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	61.2	37.0	33.6	36.1	28.2	23.5	14.4
	性的マイノリティ	78	61.5	29.5	43.6	34.6	29.5	20.5	17.9
	その他	50	46.0	34.0	24.0	34.0	26.0	14.0	8.0
在勤者・全体		465	50.8	37.8	38.3	24.7	24.7	33.5	18.7
年代	18～29 歳	60	61.7	25.0	26.7	16.7	26.7	36.7	8.3
	30 代	90	54.4	30.0	34.4	17.8	24.4	40.0	16.7
	40 代	116	50.9	45.7	40.5	25.9	21.6	36.2	15.5
	50 代	139	49.6	43.9	42.4	28.1	28.1	23.0	26.6
	60 歳以上	60	36.7	33.3	41.7	33.3	21.7	40.0	20.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	47.0	36.1	43.6	18.3	20.8	40.1	19.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	53.9	41.1	35.2	32.9	28.8	26.9	18.7
	性的マイノリティ	34	55.9	26.5	35.3	11.8	20.6	35.3	17.6
	その他	11	45.5	36.4	9.1	18.2	36.4	45.5	9.1
在学者・全体		72	41.7	37.5	30.6	27.8	22.2	31.9	26.4
年代	18～29 歳	51	39.2	31.4	25.5	23.5	21.6	33.3	27.5
	30 代	10	50.0	50.0	30.0	50.0	20.0	20.0	40.0
	40 代	4	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-
	50 代	6	33.3	50.0	66.7	16.7	50.0	33.3	16.7
	60 歳以上	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	37.5	50.0	25.0	37.5	12.5	25.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	41.2	43.1	31.4	25.5	17.6	33.3	23.5
	性的マイノリティ	11	54.5	18.2	9.1	45.5	18.2	36.4	45.5
	その他	2	100.0	-	50.0	-	100.0	50.0	-

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 17.多様な人々が誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために充実すべき取り組み(複数回答)					
			多様な人々が安心して暮らすための地域の人々に向けた意識啓発(多様な価値観を知るための情報発信、地域の店舗・地域住民等に向けた多様性への理解醸成など)	多様な人々が安心して利用できる公共空間の実現に向けた、ヘイトスピーチや差別的な言動への対応	多様な人々が安心して利用できる公共空間の実現に向けた、ヘイトスピーチや差別的な言動への対応	外国人に対する過剰な警戒や排除的な対応(外国人はマナーが悪いとの決めつけや偏見に基づく非難など)を防ぐための地域住民への理解促進	その他	特 に ない
区民・全体		1,031	14.1	11.2	10.7	5.1	1.5	0.7
年代	18～29 歳	109	9.2	9.2	13.8	4.6	2.8	0.9
	30 代	182	9.9	8.8	8.2	6.6	1.6	－
	40 代	207	16.4	10.6	9.2	6.3	1.0	－
	50 代	242	15.3	8.3	10.3	5.0	0.4	0.8
	60 歳以上	291	15.8	16.2	12.4	3.8	2.1	1.4
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	9.5	11.6	15.3	5.2	1.7	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	16.3	10.6	8.4	4.7	0.7	0.5
	性的マイノリティ	78	17.9	11.5	9.0	5.1	－	－
	その他	50	14.0	14.0	6.0	10.0	10.0	2.0
在勤者・全体		465	10.3	12.5	11.4	1.9	1.9	0.2
年代	18～29 歳	60	13.3	5.0	6.7	－	5.0	－
	30 代	90	11.1	8.9	14.4	－	2.2	－
	40 代	116	9.5	13.8	7.8	4.3	2.6	－
	50 代	139	10.1	12.2	12.9	2.2	0.7	－
	60 歳以上	60	8.3	23.3	15.0	1.7	－	1.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	8.9	13.9	12.9	2.0	2.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	11.4	11.4	6.4	1.8	1.4	0.5
	性的マイノリティ	34	8.8	14.7	35.3	－	－	－
	その他	11	18.2	－	9.1	9.1	9.1	－
在学者・全体		72	11.1	6.9	16.7	－	－	1.4
年代	18～29 歳	51	9.8	7.8	15.7	－	－	2.0
	30 代	10	20.0	－	10.0	－	－	－
	40 代	4	－	25.0	25.0	－	－	－
	50 代	6	－	－	33.3	－	－	－
	60 歳以上	1	100.0	－	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	－	－	25.0	－	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	9.8	7.8	13.7	－	－	2.0
	性的マイノリティ	11	27.3	9.1	27.3	－	－	－
	その他	2	－	－	－	－	－	－

3-6. 性の多様性について

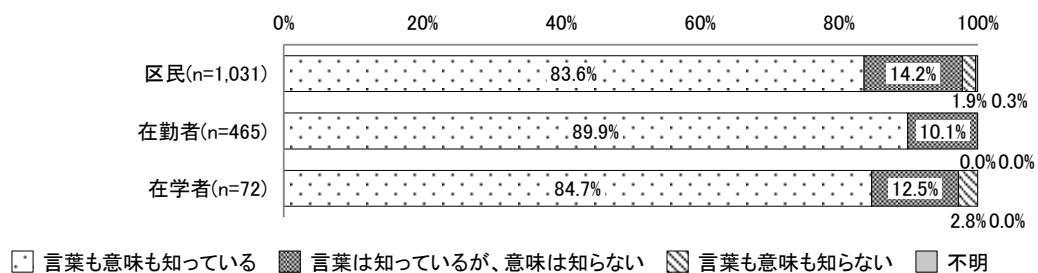
(1) 性的マイノリティという用語の認知状況

性的マイノリティという用語の認知状況をみると、「言葉も意味も知っている」の割合は「区民」では83.6%、「在勤者」では89.9%、「在学者」では84.7%となっている。

「言葉は知っているが、意味は知らない」もあわせると、「区民」「在勤者」「在学者」いずれも95%以上が認知しており、「在勤者」においては100%となっている。

また、「区民」の「60歳以上」について、前回調査で「内容まである程度知っている」の割合が63.1%であったところ、本調査では「言葉も意味も知っている」の割合が76.6%であり、認知度が向上している。ただし、表現が異なるため、解釈には留意が必要である。

図表 83 性的マイノリティという用語の認知状況：単数回答（問 18）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 18.性的マイノリティという用語の認知状況(単数回答)			
			言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味は知らない	言葉も意味も知らない	不明
区民・全体		1,031	83.6	14.2	1.9	0.3
年代	18～29 歳	109	88.1	8.3	2.8	0.9
	30 代	182	86.8	12.1	1.1	—
	40 代	207	83.6	14.5	1.9	—
	50 代	242	87.6	12.0	0.4	—
	60 歳以上	291	76.6	19.2	3.4	0.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	85.3	13.6	0.9	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	84.4	14.5	0.9	0.2
	性的マイノリティ	78	89.7	6.4	3.8	—
	その他	50	54.0	26.0	18.0	2.0
在勤者・全体		465	89.9	10.1	—	—
年代	18～29 歳	60	81.7	18.3	—	—
	30 代	90	94.4	5.6	—	—
	40 代	116	91.4	8.6	—	—
	50 代	139	88.5	11.5	—	—
	60 歳以上	60	91.7	8.3	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	90.1	9.9	—	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	90.4	9.6	—	—
	性的マイノリティ	34	94.1	5.9	—	—
	その他	11	54.5	45.5	—	—
在学者・全体		72	84.7	12.5	2.8	—
年代	18～29 歳	51	84.3	11.8	3.9	—
	30 代	10	70.0	30.0	—	—
	40 代	4	100.0	—	—	—
	50 代	6	100.0	—	—	—
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	37.5	50.0	12.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	90.2	7.8	2.0	—
	性的マイノリティ	11	100.0	—	—	—
	その他	2	50.0	50.0	—	—

(2) 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律の認知状況

性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」の割合は、「区民」では31.7%、「在勤者」では42.8%、「在学者」では41.7%となっている。「聞いたことはあるが、内容は知らない」もあわせると、「区民」「在勤者」「在学者」のいずれも8割以上が認知している。

図表 84 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律の認知状況：単数回答（問 19）

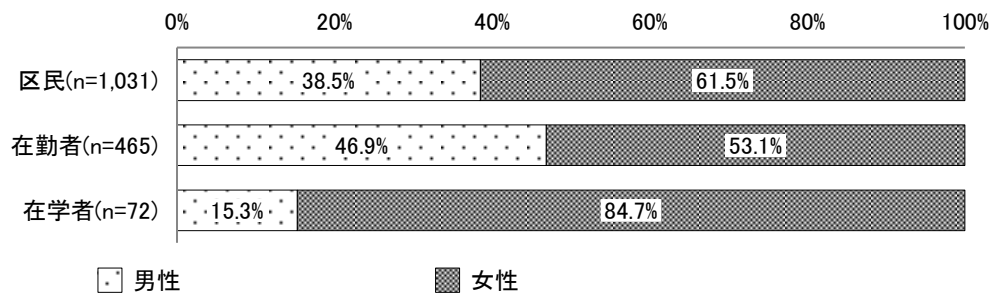


(3) 出生時の戸籍・出生届に記載された性別

出生時の戸籍・出生届に記載された性別をみると、「区民」では「男性」が38.5%、「女性」が61.5%となっている。

また、「在勤者」では「男性」が46.9%、「女性」が53.1%、「在学者」では「男性」が15.3%、「女性」が84.7%となっている。

図表 85 出生時の戸籍・出生届に記載された性別：単数回答（問20）

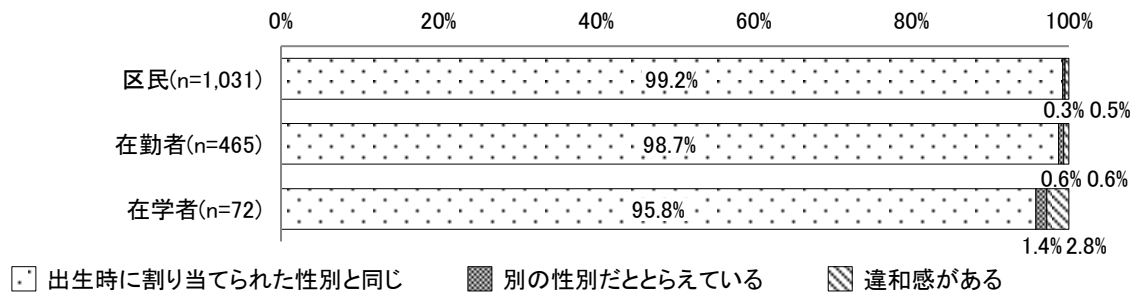


		合計	問 20.出生時の戸籍・出生届に記載された性別(単数回答)		
			男性	女性	不明
区民・全体		1,031	38.5	61.5	—
年代	18～29 歳	109	36.7	63.3	—
	30 代	182	42.3	57.7	—
	40 代	207	36.7	63.3	—
	50 代	242	31.8	68.2	—
	60 歳以上	291	43.6	56.4	—
	リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	100.0	—
シスジェンダー・異性愛・女性		557	—	100.0	—
性的マイノリティ		78	38.5	61.5	—
その他		50	42.0	58.0	—
在勤者・全体		465	46.9	53.1	—
年代	18～29 歳	60	30.0	70.0	—
	30 代	90	35.6	64.4	—
	40 代	116	57.8	42.2	—
	50 代	139	46.8	53.2	—
	60 歳以上	60	60.0	40.0	—
	リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	100.0	—
シスジェンダー・異性愛・女性		219	—	100.0	—
性的マイノリティ		34	32.4	67.6	—
その他		11	45.5	54.5	—
在学者・全体		72	15.3	84.7	—
年代	18～29 歳	51	11.8	88.2	—
	30 代	10	50.0	50.0	—
	40 代	4	—	100.0	—
	50 代	6	—	100.0	—
	60 歳以上	1	—	100.0	—
	リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	100.0	—
シスジェンダー・異性愛・女性		51	—	100.0	—
性的マイノリティ		11	18.2	81.8	—
その他		2	50.0	50.0	—

(4) 今の性別に関する認識

今の性別に関する認識をみると、「別の性別だととらえている」「違和感がある」をあわせた割合は、「区民」では0.8%、「在勤者」では1.3%、「在学者」では4.2%となっている。

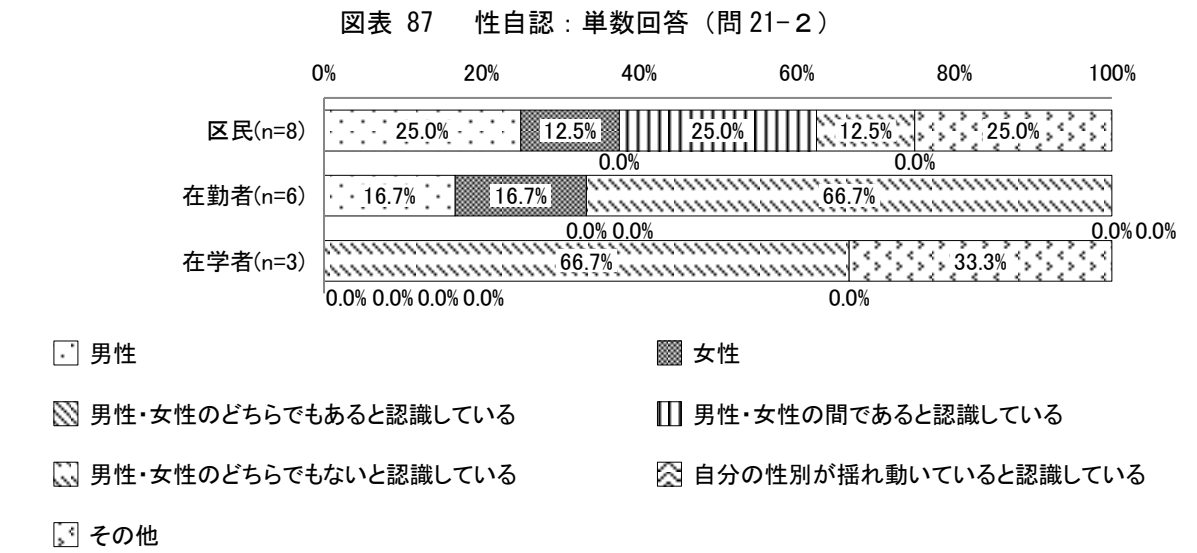
図表 86 今の性別に関する認識：単数回答（問 21）



		合計	問 21.今の性別に関する認識(単数回答)			
			出生時に割り当てられた性別と同じ	別の性別だととらえている	違和感がある	不明
区民・全体		1,031	99.2	0.3	0.5	-
年代	18～29 歳	109	98.2	-	1.8	-
	30 代	182	100.0	-	-	-
	40 代	207	99.0	0.5	0.5	-
	50 代	242	98.3	0.8	0.8	-
	60 歳以上	291	100.0	-	-	-
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	346	100.0	-	-	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	100.0	-	-	-
	性的マイノリティ	78	92.3	1.3	6.4	-
	その他	50	96.0	4.0	-	-
在勤者・全体		465	98.7	0.6	0.6	-
年代	18～29 歳	60	98.3	1.7	-	-
	30 代	90	97.8	1.1	1.1	-
	40 代	116	100.0	-	-	-
	50 代	139	99.3	0.7	-	-
	60 歳以上	60	96.7	-	3.3	-
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	202	100.0	-	-	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	99.5	-	0.5	-
	性的マイノリティ	34	85.3	8.8	5.9	-
	その他	11	90.9	9.1	-	-
在学者・全体		72	95.8	1.4	2.8	-
年代	18～29 歳	51	94.1	2.0	3.9	-
	30 代	10	100.0	-	-	-
	40 代	4	100.0	-	-	-
	50 代	6	100.0	-	-	-
	60 歳以上	1	100.0	-	-	-
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	8	100.0	-	-	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	100.0	-	-	-
	性的マイノリティ	11	72.7	9.1	18.2	-
	その他	2	100.0	-	-	-

(5) 性自認

今の自身の性別が出生時に割り当てられた性別とは「別の性別だととらえている」「違和感がある」者について、性自認をみたところ、以下のグラフのとおり結果となっていた。「区民」「在勤者」「在学者」いずれも、サンプルサイズが小さいため参考値である。



注) サンプルサイズが小さいため参考値。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 21-2. 性自認(単数回答)							
			男性	女性	男性・女性 のどちらでも あると認識 している	男性・女性 の間であると 認識している	男性・女性 のどちらでも ないと認識 している	自分の性別 が揺れ動い てると認識 している	その他	不明
区民・全体		8	25.0	12.5	-	25.0	12.5	-	25.0	-
年代	18～29 歳	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-
	30 代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40 代	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
	50 代	4	25.0	25.0	-	-	25.0	-	25.0	-
	60 歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	6	16.7	-	-	33.3	16.7	-	33.3	-
	その他	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
在勤者・全体		6	16.7	16.7	-	-	66.7	-	-	-
年代	18～29 歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	30 代	2	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	40 代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50 代	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	60 歳以上	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	5	20.0	-	-	-	80.0	-	-	-
	その他	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-
在学者・全体		3	-	-	-	-	66.7	-	33.3	-
年代	18～29 歳	3	-	-	-	-	66.7	-	33.3	-
	30 代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40 代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50 代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60 歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	3	-	-	-	-	66.7	-	33.3	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-

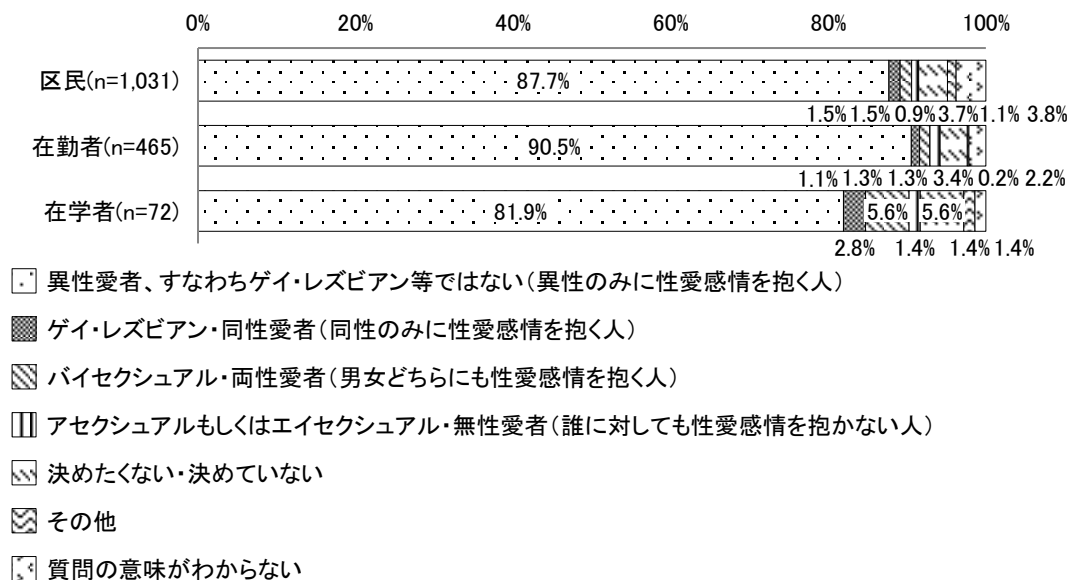
(6) 性的指向

性的指向をみると、「区民」では、「異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない（異性のみに性愛感情を抱く人）」が 87.7%でもっとも割合が高く、次いで「質問の意味がわからない」が 3.8%となっている。

「在勤者」では、「異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない（異性のみに性愛感情を抱く人）」が 90.5%でもっとも割合が高く、次いで「決めたくない・決めていない」が 3.4%となっている。

「在学者」では、「異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない（異性のみに性愛感情を抱く人）」が 81.9%でもっとも割合が高く、次いで「バイセクシュアル・両性愛者（男女どちらにも性愛感情を抱く人）」「決めたくない・決めていない」が 5.6%となっている。

図表 88 性的指向：単数回答（問 22）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 22.性的指向(単数回答)							
			愛感情を抱く人) 異性愛者、すなわちゲイ・レズ ビアン等ではない(異性のみに性	ゲイ・レズビアン・同性愛者 (同性のみに性愛感情を抱く人)	バイセクシュアル・両性愛者 (男女どちらにも性愛感情を抱 く人)	アセクシュアルもしくはエイセク シュアル・無性愛者(誰に対して も性愛感情を抱かない人)	決めたくない・決めていない	その他	質問の意味がわからない	不明
区民・全体		1,031	87.7	1.5	1.5	0.9	3.7	1.1	3.8	-
年代	18～29 歳	109	85.3	2.8	1.8	2.8	2.8	-	4.6	-
	30 代	182	89.6	0.5	3.3	1.1	3.8	1.1	0.5	-
	40 代	207	87.0	3.4	1.4	0.5	4.8	1.4	1.4	-
	50 代	242	90.9	0.8	0.8	1.2	3.7	1.2	1.2	-
	60 歳以上	291	85.2	0.7	0.7	-	3.1	1.0	9.3	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	346	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	557	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	78	1.3	19.2	19.2	11.5	48.7	-	-	-
	その他	50	-	-	-	-	-	22.0	78.0	-
在勤者・全体		465	90.5	1.1	1.3	1.3	3.4	0.2	2.2	-
年代	18～29 歳	60	85.0	1.7	6.7	1.7	3.3	-	1.7	-
	30 代	90	86.7	1.1	1.1	3.3	5.6	-	2.2	-
	40 代	116	94.0	1.7	-	-	2.6	-	1.7	-
	50 代	139	91.4	0.7	0.7	0.7	2.9	-	3.6	-
	60 歳以上	60	93.3	-	-	1.7	3.3	1.7	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	202	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	219	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	34	-	14.7	17.6	17.6	47.1	-	2.9	-
	その他	11	-	-	-	-	-	9.1	90.9	-
在学者・全体		72	81.9	2.8	5.6	1.4	5.6	1.4	1.4	-
年代	18～29 歳	51	82.4	2.0	3.9	2.0	5.9	2.0	2.0	-
	30 代	10	70.0	10.0	10.0	-	10.0	-	-	-
	40 代	4	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-
	50 代	6	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	60 歳以上	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	8	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	51	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	11	-	18.2	36.4	9.1	36.4	-	-	-
	その他	2	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-

(7) カミングアウトした相手

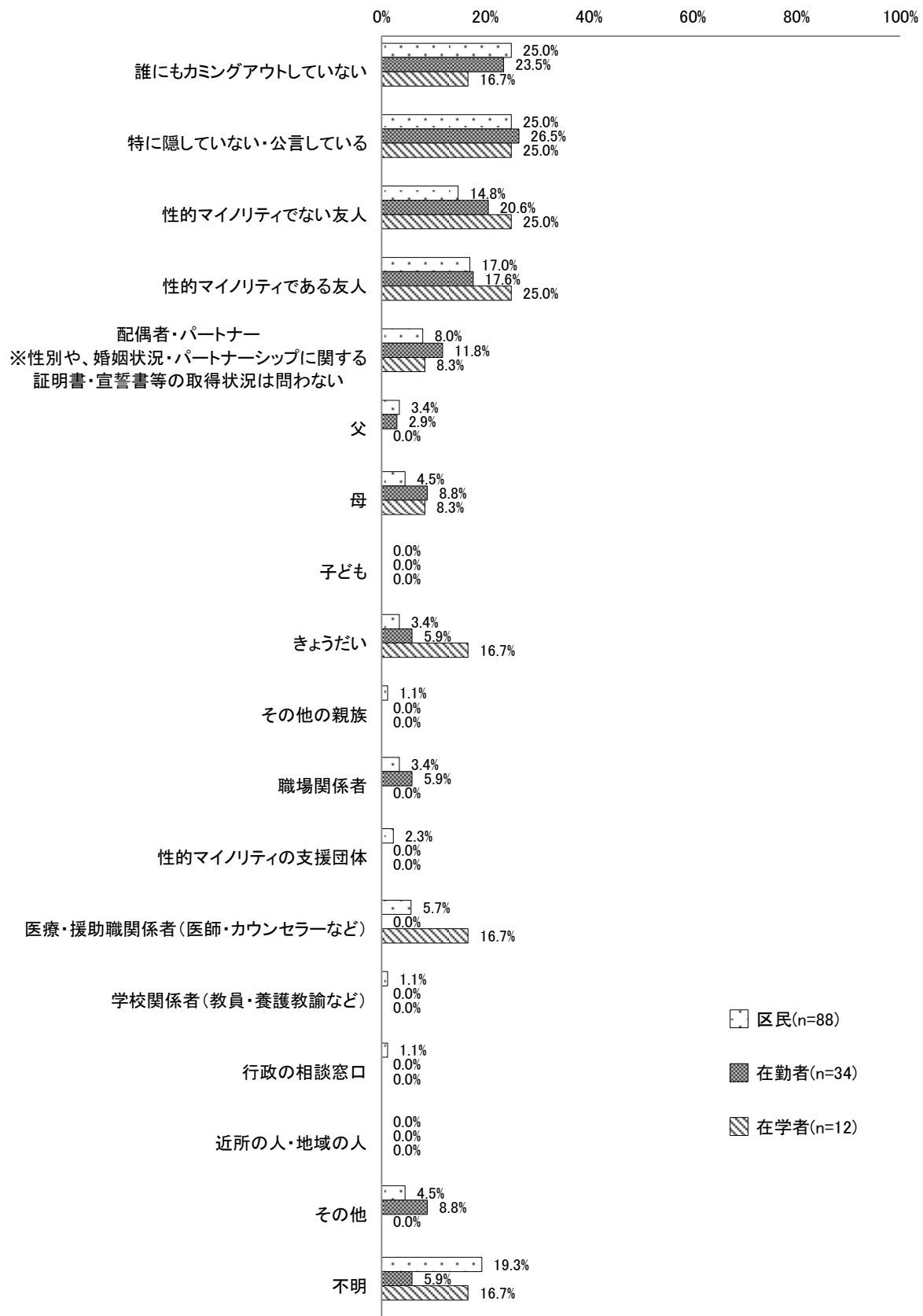
性的指向が「ゲイ・レズビアン・同性愛者」「バイセクシュアル・両性愛者」「アセクシュアルもしくはエイセクシュアル・無性愛者」「決めたくない・決めていない」「その他」である者について、カミングアウトした相手をみると、「区民」では、「誰にもカミングアウトしていない」「特に隠していない・公言している」が25.0%でもっとも割合が高くなっている。

また、「在勤者」では、「特に隠していない・公言している」が26.5%でもっとも割合が高くなっている。

サンプルサイズが小さいため参考値だが、「50代」「60歳以上」では「誰にもカミングアウトしていない」の割合が高く、これまでの社会環境等に起因して、カミングアウトしたくてもできない状況にあった可能性が考えられる。将来的に、こうした世代が介護・医療サービスなどを必要とした際、性的指向・性自認に起因してサービスの利用を控えるといった事態が生じないよう、カミングアウトしていない当事者がいることも念頭に置いたサービス提供が求められる。

(図表は次頁に掲載)

図表 89 カミングアウトした相手：複数回答（問 23）



注)「在学者」はサンプルサイズが小さいため参考値。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 23.カミングアウトした相手(複数回答)								
			誰にもカミングアウトしていない	特に隠していない・公言している	性的マイノリティでない友人	性的マイノリティである友人	配偶者・パートナー ※性別や、婚姻状況・パートナーシップに関する証明書・宣誓書等の取得状況は問わない	父	母	子ども	きょうだい
区民・全体		88	25.0	25.0	14.8	17.0	8.0	3.4	4.5	－	3.4
年代	18～29 歳	11	27.3	27.3	27.3	36.4	－	－	－	－	9.1
	30 代	18	22.2	38.9	5.6	16.7	16.7	5.6	5.6	－	－
	40 代	24	8.3	29.2	25.0	29.2	16.7	8.3	12.5	－	8.3
	50 代	19	31.6	21.1	10.5	5.3	－	－	－	－	－
	60 歳以上	16	43.8	6.3	6.3	－	－	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	性的マイノリティ	77	28.6	26.0	16.9	19.5	9.1	3.9	5.2	－	3.9
	その他	11	－	18.2	－	－	－	－	－	－	－
在勤者・全体		34	23.5	26.5	20.6	17.6	11.8	2.9	8.8	－	5.9
年代	18～29 歳	8	37.5	25.0	12.5	－	12.5	－	12.5	－	－
	30 代	10	10.0	60.0	10.0	20.0	－	－	10.0	－	－
	40 代	5	－	20.0	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	－	20.0
	50 代	7	28.6	－	28.6	28.6	28.6	－	－	－	14.3
	60 歳以上	4	50.0	－	－	－	－	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	性的マイノリティ	33	24.2	27.3	21.2	18.2	12.1	3.0	9.1	－	6.1
	その他	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
在学者・全体		12	16.7	25.0	25.0	25.0	8.3	－	8.3	－	16.7
年代	18～29 歳	8	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	－	12.5	－	12.5
	30 代	3	－	33.3	66.7	33.3	－	－	－	－	33.3
	40 代	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	50 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60 歳以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	性的マイノリティ	11	18.2	27.3	27.3	27.3	9.1	－	9.1	－	18.2
	その他	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 23.カミングアウトした相手(複数回答)								
			その他の親族	職場関係者	性的マイノリティの支援団体	医療・援助職関係者 (医師・カウンセラーなど)	学校関係者(教員・養護教諭 など)	行政の相談窓口	近所の人・地域の人	その他	不明
区民・全体		88	1.1	3.4	2.3	5.7	1.1	1.1	-	4.5	19.3
年代	18～29 歳	11	-	9.1	-	-	-	-	-	9.1	-
	30 代	18	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7
	40 代	24	-	4.2	8.3	16.7	4.2	4.2	-	4.2	12.5
	50 代	19	5.3	5.3	-	5.3	-	-	-	10.5	21.1
	60 歳以上	16	-	-	-	-	-	-	-	-	43.8
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	77	1.3	3.9	2.6	6.5	1.3	1.3	-	5.2	10.4
	その他	11	-	-	-	-	-	-	-	-	81.8
在勤者・全体		34	-	5.9	-	-	-	-	-	8.8	5.9
年代	18～29 歳	8	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-
	30 代	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40 代	5	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-
	50 代	7	-	14.3	-	-	-	-	-	28.6	-
	60 歳以上	4	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	33	-	6.1	-	-	-	-	-	9.1	3.0
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
在学者・全体		12	-	-	-	16.7	-	-	-	-	16.7
年代	18～29 歳	8	-	-	-	12.5	-	-	-	-	25.0
	30 代	3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-
	40 代	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50 代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60 歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	性的マイノリティ	11	-	-	-	18.2	-	-	-	-	9.1
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

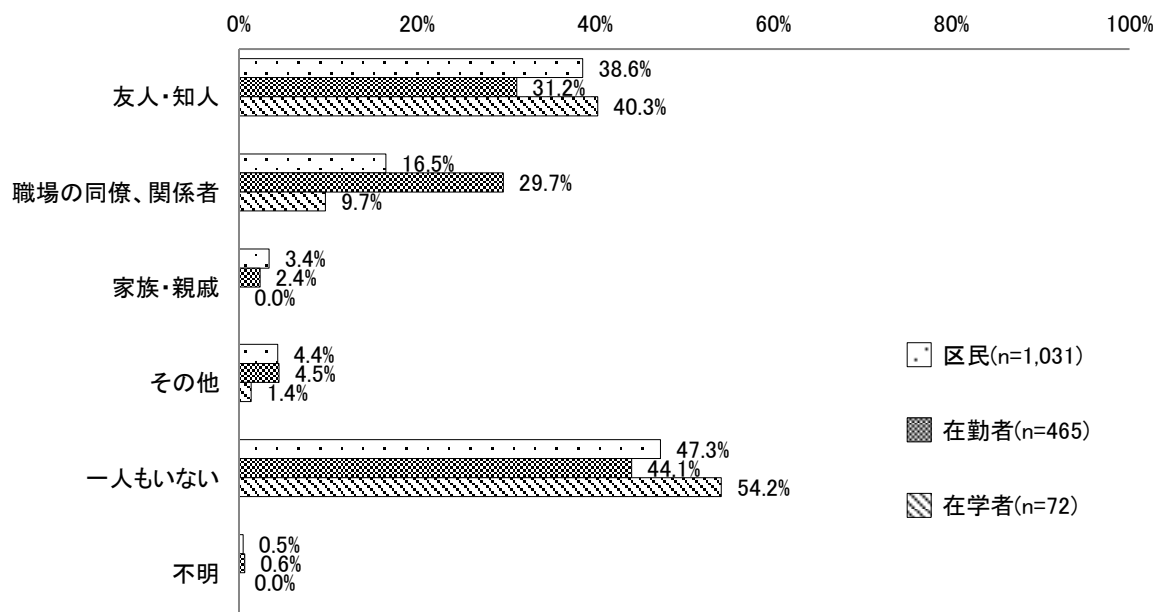
(8) 周囲に性的マイノリティがいるか

周囲に性的マイノリティがいるかをみると、「区民」「在勤者」「在学者」いずれにおいても「一人もいない」の割合がもっとも高く、それぞれ 47.3%、44.1%、54.2%となっている。したがって、半数程度が周囲に性的マイノリティ当事者はいないと考えていることがうかがわれる。

また、次いで「友人・知人」の割合が高く、「区民」では 38.6%、「在勤者」では 31.2%、「在学者」では 40.3%となっている。「在勤者」においては「職場の同僚、関係者」も 29.7%と、相対的に割合が高くなっている。

さらに、区民等における「性的マイノリティ」において、「一人もいない」が 26.9%となっており、性的マイノリティ当事者であっても、当事者同士のつながりを持っていない者が一定数みられる。

図表 90 周囲に性的マイノリティがいるか：複数回答（問 24）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

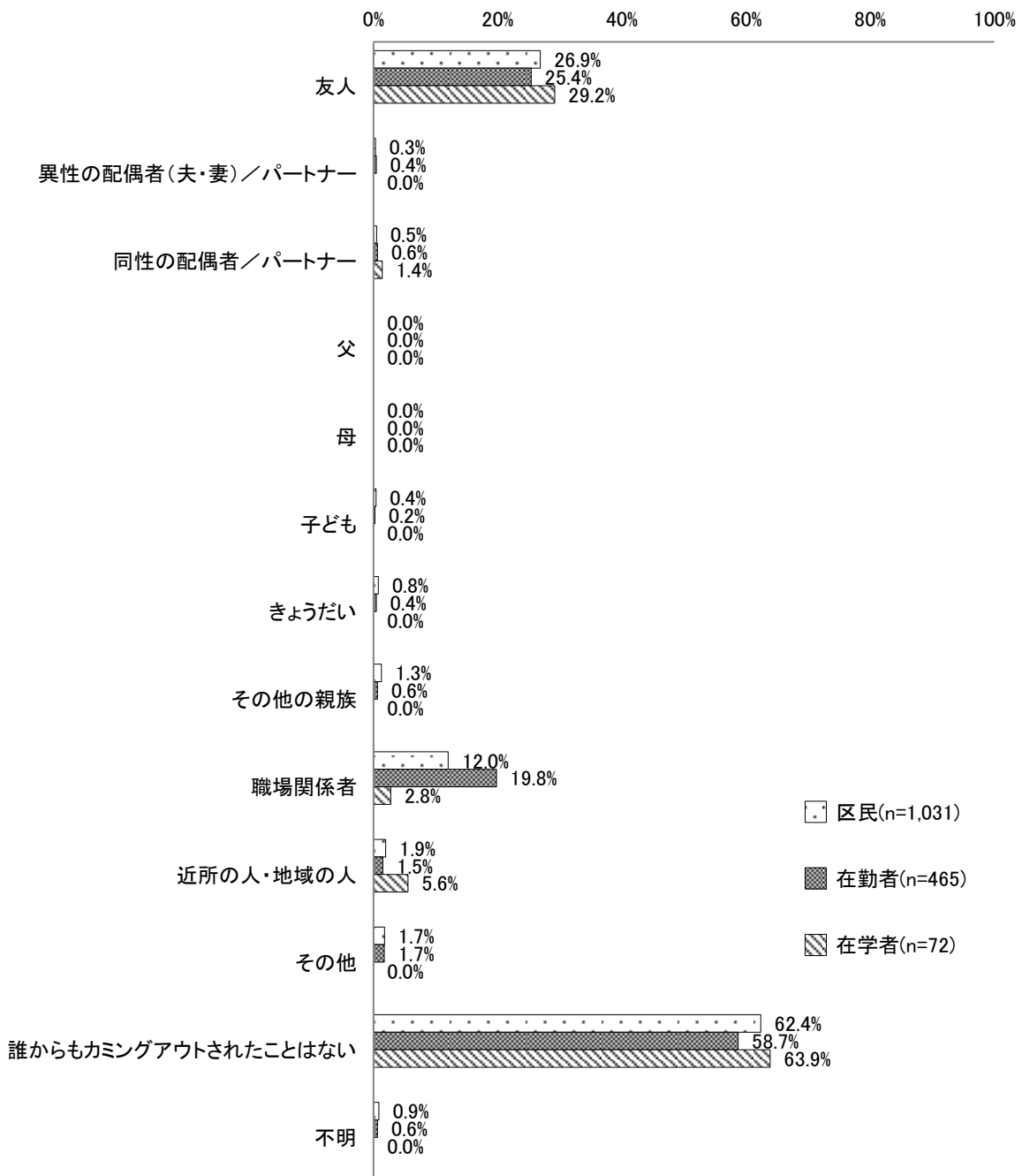
		合計	問 24.周囲に性的マイノリティがいるか(複数回答)					
			友人・知人	職場の同僚、関係者	家族・親戚	その他	一人もいない	不明
区民・全体		1,031	38.6	16.5	3.4	4.4	47.3	0.5
年代	18～29 歳	109	56.9	12.8	4.6	－	36.7	－
	30 代	182	44.0	15.4	3.8	2.2	44.5	0.5
	40 代	207	48.8	26.1	3.9	4.3	37.2	－
	50 代	242	34.7	19.8	3.7	5.4	45.0	0.8
	60 歳以上	291	24.4	8.9	2.1	6.5	62.2	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	31.5	17.1	2.9	2.9	54.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	42.5	16.7	2.9	4.3	43.8	0.9
	性的マイノリティ	78	55.1	21.8	9.0	10.3	26.9	－
	その他	50	18.0	2.0	4.0	6.0	72.0	－
在勤者・全体		465	31.2	29.7	2.4	4.5	44.1	0.6
年代	18～29 歳	60	48.3	15.0	3.3	5.0	36.7	－
	30 代	90	36.7	32.2	3.3	3.3	42.2	1.1
	40 代	116	27.6	29.3	3.4	5.2	45.7	0.9
	50 代	139	28.1	32.4	1.4	5.8	44.6	0.7
	60 歳以上	60	20.0	35.0	－	1.7	50.0	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	17.8	22.3	3.0	4.5	56.9	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	37.9	35.2	1.8	4.1	34.7	0.9
	性的マイノリティ	34	73.5	44.1	2.9	8.8	14.7	－
	その他	11	18.2	9.1	－	－	81.8	－
在学者・全体		72	40.3	9.7	－	1.4	54.2	－
年代	18～29 歳	51	39.2	3.9	－	2.0	54.9	－
	30 代	10	50.0	30.0	－	－	50.0	－
	40 代	4	50.0	－	－	－	50.0	－
	50 代	6	33.3	33.3	－	－	50.0	－
	60 歳以上	1	－	－	－	－	100.0	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	12.5	－	－	75.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	39.2	9.8	－	2.0	52.9	－
	性的マイノリティ	11	63.6	9.1	－	－	36.4	－
	その他	2	－	－	－	－	100.0	－

(9) カミングアウトを受けた相手

カミングアウトを受けた相手をみると、「誰からもカミングアウトされたことはない」の割合がもっとも高く、「区民」では62.4%、「在勤者」では58.7%、「在学者」では63.9%となっている。次いで「友人」の割合が高く、「区民」では26.9%、「在勤者」では25.4%、「在学者」では29.2%となっている。

したがって、家族・親族より、「友人」や「職場関係者」など、家庭外の人からカミングアウトを受けた割合が高くなっている。

図表 91 カミングアウトを受けた相手：複数回答（問 25）



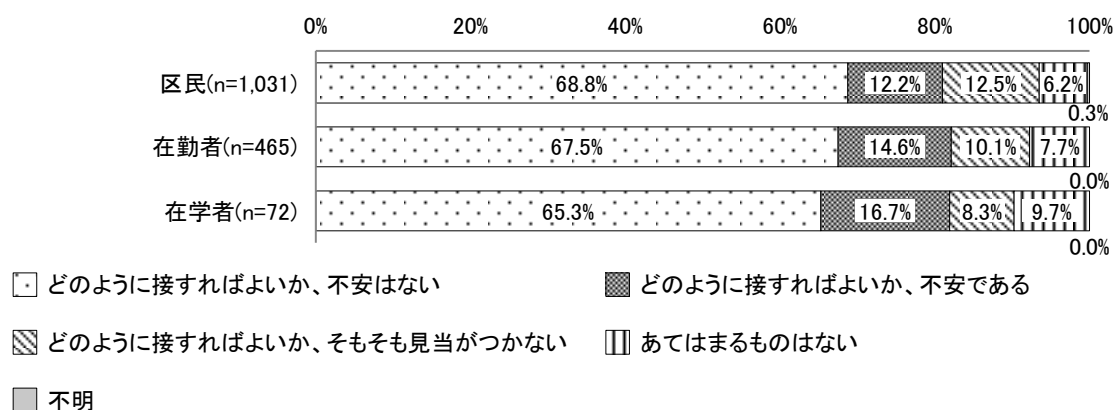
3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 25.カミングアウトを受けた相手(複数回答)												
			友人	異性の配偶者(夫・妻)／パートナー	同性の配偶者／パートナー	父	母	子ども	きょうだい	その他の親族	職場関係者	近所の人・地域の人	その他	誰からもカミングアウトされたことはない	不明
区民・全体		1,031	26.9	0.3	0.5	－	－	0.4	0.8	1.3	12.0	1.9	1.7	62.4	0.9
年代	18～29 歳	109	43.1	1.8	0.9	－	－	－	1.8	2.8	9.2	0.9	0.9	47.7	－
	30 代	182	37.9	－	0.5	－	－	－	1.1	1.1	15.4	1.1	1.6	52.7	－
	40 代	207	36.2	－	1.4	－	－	0.5	1.0	1.0	13.5	2.4	1.4	54.1	－
	50 代	242	21.1	－	－	－	－	0.8	0.4	1.2	16.5	2.5	2.9	63.2	0.8
	60 歳以上	291	12.0	0.3	－	－	－	0.3	0.3	1.0	6.2	2.1	1.4	79.0	2.4
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	23.1	0.3	－	－	－	0.3	0.6	1.4	11.6	4.3	0.3	64.7	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	29.6	－	－	－	－	0.5	0.7	1.1	13.1	0.7	1.6	60.5	0.9
	性的マイノリティ	78	35.9	2.6	6.4	－	－	－	2.6	1.3	12.8	1.3	5.1	52.6	－
	その他	50	8.0	－	－	－	－	－	－	2.0	2.0	－	8.0	82.0	2.0
在勤者・全体		465	25.4	0.4	0.6	－	－	0.2	0.4	0.6	19.8	1.5	1.7	58.7	0.6
年代	18～29 歳	60	35.0	3.3	－	－	－	－	－	－	8.3	－	－	60.0	－
	30 代	90	35.6	－	1.1	－	－	－	1.1	2.2	21.1	6.7	－	50.0	－
	40 代	116	20.7	－	0.9	－	－	－	0.9	0.9	23.3	－	1.7	60.3	－
	50 代	139	24.5	－	0.7	－	－	0.7	－	－	22.3	0.7	2.9	58.3	0.7
	60 歳以上	60	11.7	－	－	－	－	－	－	－	16.7	－	3.3	68.3	3.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	15.3	1.0	－	－	－	0.5	－	－	11.9	1.0	1.5	72.8	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	31.1	－	－	－	－	－	0.5	0.9	26.0	0.5	1.8	48.4	0.9
	性的マイノリティ	34	52.9	－	8.8	－	－	－	2.9	2.9	29.4	11.8	2.9	32.4	－
	その他	11	18.2	－	－	－	－	－	－	－	9.1	－	－	81.8	－
在学者・全体		72	29.2	－	1.4	－	－	－	－	－	2.8	5.6	－	63.9	－
年代	18～29 歳	51	29.4	－	2.0	－	－	－	－	－	2.0	－	－	68.6	－
	30 代	10	50.0	－	－	－	－	－	－	－	－	10.0	－	40.0	－
	40 代	4	25.0	－	－	－	－	－	－	－	25.0	25.0	－	50.0	－
	50 代	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	33.3	－	66.7	－
	60 歳以上	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	－	－	－	－	－	－	－	－	12.5	－	62.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	25.5	－	－	－	－	－	－	－	3.9	5.9	－	66.7	－
	性的マイノリティ	11	54.5	－	9.1	－	－	－	－	－	－	－	－	45.5	－
	その他	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－

(10) カミングアウトを受けたら不安に思うか

カミングアウトを受けたら不安に思うかをみると、「どのように接すればよいか、不安はない」の割合は、「区民」では 68.8%、「在勤者」では 67.5%、「在学者」では 65.3%となっており、いずれも 6 割を超えている。

図表 92 カミングアウトを受けたら不安に思うか：単数回答（問 26）

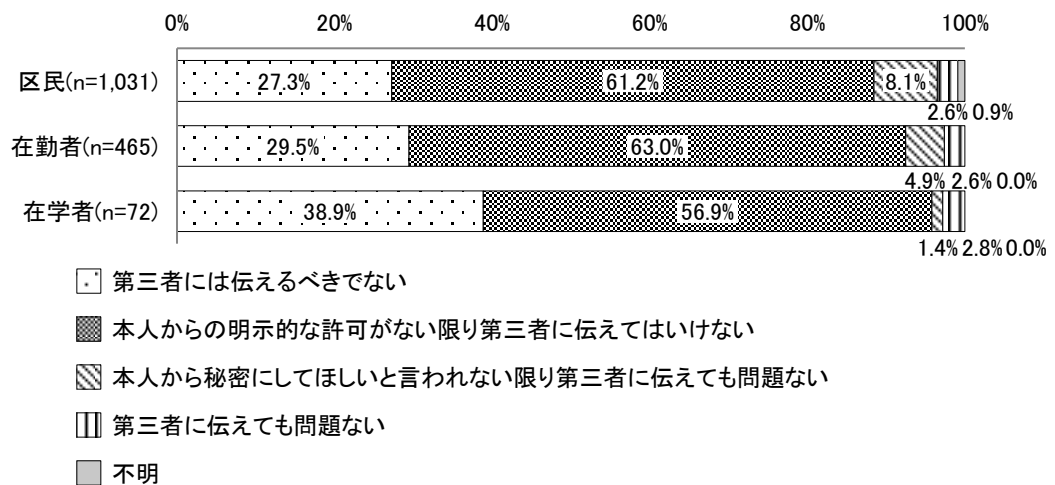


		合計	問 26.カミングアウトを受けたら不安に思うか(単数回答)				
			どのように 接すればよ いか、不安 はない	どのように 接すればよ いか、不安 である	どのように 接すればよ いか、そも そも見当が つかない	あてはまる ものはない	不明
区民・全体		1,031	68.8	12.2	12.5	6.2	0.3
年代	18～29 歳	109	69.7	12.8	9.2	8.3	—
	30 代	182	76.4	13.2	7.1	3.3	—
	40 代	207	75.8	11.6	6.8	5.8	—
	50 代	242	73.6	10.3	10.7	5.4	—
	60 歳以上	291	54.6	13.4	22.7	8.2	1.0
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	346	67.9	13.9	14.2	3.8	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	71.5	12.4	11.5	4.7	—
	性的マイノリティ	78	82.1	5.1	5.1	7.7	—
	その他	50	24.0	10.0	24.0	38.0	4.0
在勤者・全体		465	67.5	14.6	10.1	7.7	—
年代	18～29 歳	60	66.7	13.3	8.3	11.7	—
	30 代	90	66.7	18.9	7.8	6.7	—
	40 代	116	66.4	13.8	10.3	9.5	—
	50 代	139	64.0	15.1	15.1	5.8	—
	60 歳以上	60	80.0	10.0	3.3	6.7	—
ア リ セ ク シ ュ ア リ テ ィ 区 分	セクシュ シスジェンダー・異性愛・男性	202	57.9	19.8	13.9	8.4	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	75.3	12.3	7.3	5.0	—
	性的マイノリティ	34	85.3	2.9	2.9	8.8	—
	その他	11	27.3	9.1	18.2	45.5	—
在学者・全体		72	65.3	16.7	8.3	9.7	—
年代	18～29 歳	51	56.9	21.6	9.8	11.8	—
	30 代	10	70.0	10.0	10.0	10.0	—
	40 代	4	100.0	—	—	—	—
	50 代	6	100.0	—	—	—	—
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	8	37.5	25.0	12.5	25.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	68.6	17.6	9.8	3.9	—
	性的マイノリティ	11	72.7	9.1	—	18.2	—
	その他	2	50.0	—	—	50.0	—

(11) カミングアウトを受けたとき、その事実や内容を第三者に伝えることについてどう考えるか

カミングアウトを受けたとき、その事実や内容を第三者に伝えることについてどう考えるかをみると、「第三者には伝えるべきでない」「本人からの明示的な許可がない限り第三者に伝えてはいけない」をあわせた割合は、「区民」では88.5%、「在勤者」では92.5%、「在学者」では95.8%となっており、9割程度がアウティングはすべきでないと認識していることがうかがえる。

図表 93 カミングアウトを受けたとき、その事実や内容を第三者に伝えることについて
どう考えるか：単数回答（問 27）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 27.カミングアウトを受けたとき、その事実や内容を第三者に伝えることについてどう考えるか(単数回答)				
			第三者には伝えるべきでない	本人からの明示的な許可がない限り第三者に伝えてはいい	本人から秘密にしてほしいと言わない限り第三者に伝えても問題ない	第三者に伝えても問題ない	不明
区民・全体		1,031	27.3	61.2	8.1	2.6	0.9
年代	18～29 歳	109	22.9	63.3	7.3	6.4	—
	30 代	182	24.7	63.2	8.8	3.3	—
	40 代	207	27.1	63.3	7.2	1.9	0.5
	50 代	242	25.2	63.2	8.7	1.7	1.2
	60 歳以上	291	32.3	56.0	7.9	2.1	1.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	27.7	61.6	7.2	2.9	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	26.2	64.1	7.7	1.1	0.9
	性的マイノリティ	78	35.9	48.7	14.1	1.3	—
	その他	50	22.0	46.0	8.0	20.0	4.0
在勤者・全体		465	29.5	63.0	4.9	2.6	—
年代	18～29 歳	60	30.0	61.7	1.7	6.7	—
	30 代	90	36.7	57.8	3.3	2.2	—
	40 代	116	31.0	66.4	1.7	0.9	—
	50 代	139	25.9	61.9	9.4	2.9	—
	60 歳以上	60	23.3	68.3	6.7	1.7	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	30.2	60.9	5.9	3.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	26.0	68.0	4.6	1.4	—
	性的マイノリティ	34	47.1	47.1	2.9	2.9	—
	その他	11	27.3	45.5	9.1	18.2	—
在学者・全体		72	38.9	56.9	1.4	2.8	—
年代	18～29 歳	51	37.3	60.8	—	2.0	—
	30 代	10	40.0	50.0	10.0	—	—
	40 代	4	50.0	25.0	—	25.0	—
	50 代	6	50.0	50.0	—	—	—
	60 歳以上	1	—	100.0	—	—	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	62.5	—	12.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	41.2	54.9	2.0	2.0	—
	性的マイノリティ	11	45.5	54.5	—	—	—
	その他	2	—	100.0	—	—	—

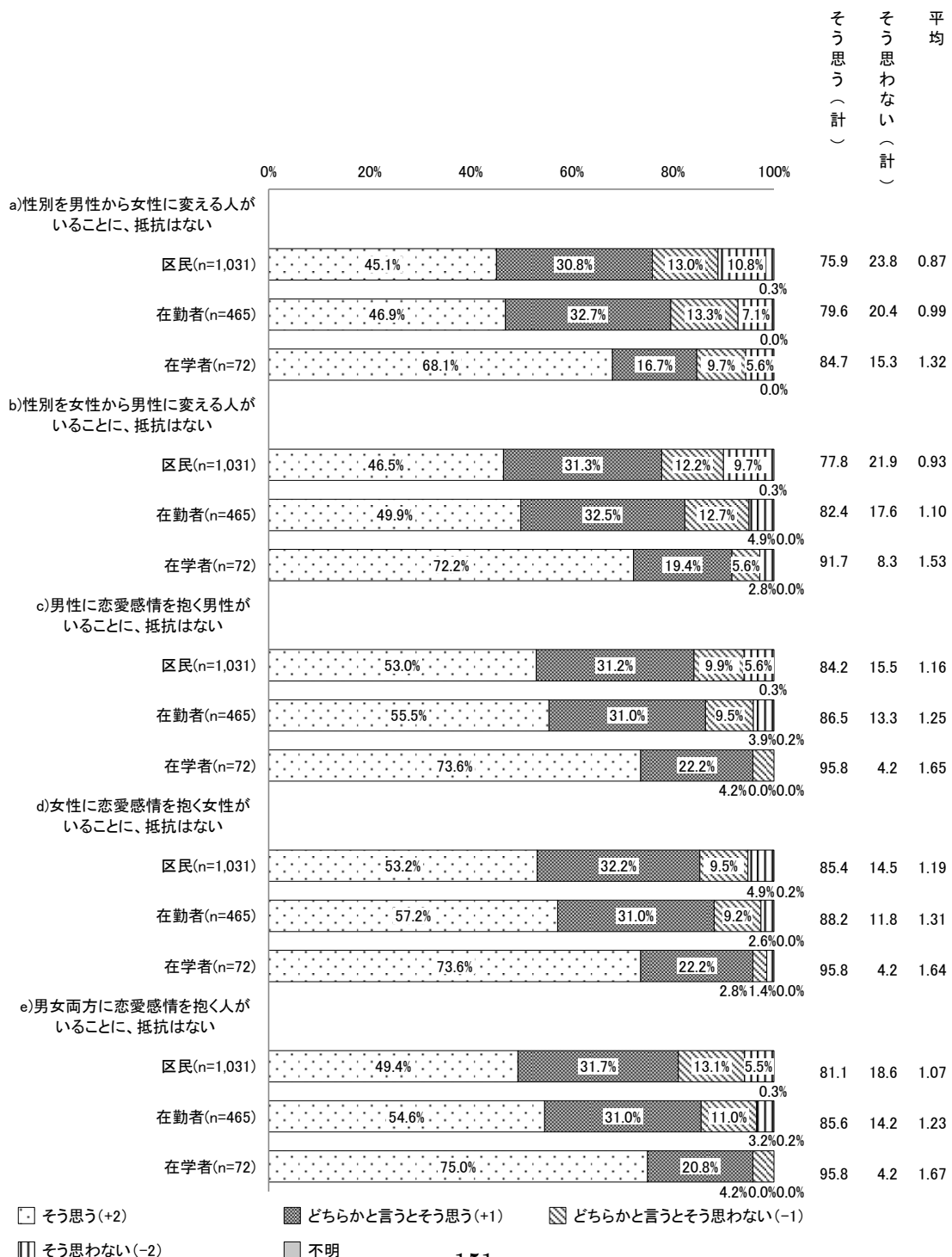
(12) 性の多様性についての考え方

性自認や性的指向に関する多様性についての考え方を尋ねた。(各項目の集計結果は、次頁以降を参照)

その結果、各項目においてそう思う割合(「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計)が7割を超えており、性自認に関する項目と性的指向に関する項目のいずれにおいても、性の多様性があるという認識が広がっている様子がうかがわれる。

また、いずれの項目においても「シスジェンダー・異性愛・女性」は、「シスジェンダー・異性愛・男性」に比べると抵抗がない割合が高い傾向がみられる。

図表 94 性の多様性についての考え方：単数回答(問28-1a~e)



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 28-1a.性の多様性についての考え方:性別を男性から女性に変える人がいることに、抵抗はない(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
区民・全体		1,031	45.1	30.8	13.0	10.8	0.3
年代	18～29 歳	109	50.5	25.7	10.1	13.8	—
	30 代	182	56.0	26.4	9.3	8.2	—
	40 代	207	52.2	29.0	10.1	8.2	0.5
	50 代	242	43.0	33.1	14.5	9.5	—
	60 歳以上	291	33.0	35.1	17.2	14.1	0.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	37.0	34.1	16.2	12.7	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	49.9	30.2	11.8	7.9	0.2
	性的マイノリティ	78	59.0	28.2	6.4	6.4	—
	その他	50	26.0	20.0	14.0	36.0	4.0
在勤者・全体		465	46.9	32.7	13.3	7.1	—
年代	18～29 歳	60	55.0	30.0	10.0	5.0	—
	30 代	90	56.7	24.4	12.2	6.7	—
	40 代	116	43.1	36.2	11.2	9.5	—
	50 代	139	44.6	34.5	14.4	6.5	—
	60 歳以上	60	36.7	36.7	20.0	6.7	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	38.1	33.7	19.3	8.9	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	54.8	31.5	8.7	5.0	—
	性的マイノリティ	34	52.9	32.4	8.8	5.9	—
	その他	11	27.3	45.5	9.1	18.2	—
在学者・全体		72	68.1	16.7	9.7	5.6	—
年代	18～29 歳	51	68.6	13.7	11.8	5.9	—
	30 代	10	60.0	20.0	10.0	10.0	—
	40 代	4	100.0	—	—	—	—
	50 代	6	50.0	50.0	—	—	—
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	37.5	50.0	—	12.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	68.6	13.7	13.7	3.9	—
	性的マイノリティ	11	90.9	9.1	—	—	—
	その他	2	50.0	—	—	50.0	—

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 28-1b.性の多様性についての考え方:性別を女性から男性に変える人がいることに、抵抗はない(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
区民・全体		1,031	46.5	31.3	12.2	9.7	0.3
年代	18～29 歳	109	53.2	29.4	5.5	11.9	—
	30 代	182	61.0	25.8	7.7	5.5	—
	40 代	207	53.1	29.0	9.7	7.2	1.0
	50 代	242	43.0	33.9	13.6	9.5	—
	60 歳以上	291	33.0	35.1	18.2	13.4	0.3
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	37.6	34.4	14.5	13.6	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	51.3	31.4	11.1	5.9	0.2
	性的マイノリティ	78	64.1	25.6	6.4	3.8	—
	その他	50	26.0	18.0	18.0	34.0	4.0
在勤者・全体		465	49.9	32.5	12.7	4.9	—
年代	18～29 歳	60	65.0	28.3	6.7	—	—
	30 代	90	57.8	22.2	14.4	5.6	—
	40 代	116	48.3	36.2	9.5	6.0	—
	50 代	139	45.3	34.5	15.1	5.0	—
	60 歳以上	60	36.7	40.0	16.7	6.7	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	38.6	35.1	18.8	7.4	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	58.9	30.6	8.2	2.3	—
	性的マイノリティ	34	64.7	26.5	5.9	2.9	—
	その他	11	27.3	45.5	9.1	18.2	—
在学者・全体		72	72.2	19.4	5.6	2.8	—
年代	18～29 歳	51	74.5	17.6	5.9	2.0	—
	30 代	10	60.0	20.0	10.0	10.0	—
	40 代	4	100.0	—	—	—	—
	50 代	6	50.0	50.0	—	—	—
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	37.5	50.0	—	12.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	74.5	15.7	7.8	2.0	—
	性的マイノリティ	11	90.9	9.1	—	—	—
	その他	2	50.0	50.0	—	—	—

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 28-1c.性の多様性についての考え方: 男性に恋愛感情を抱く男性がいることに、抵抗はない(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
区民・全体		1,031	53.0	31.2	9.9	5.6	0.3
年代	18～29 歳	109	61.5	28.4	6.4	3.7	—
	30 代	182	64.8	25.8	6.0	2.7	0.5
	40 代	207	60.9	28.0	8.2	2.4	0.5
	50 代	242	55.8	28.9	9.9	5.4	—
	60 歳以上	291	34.4	39.9	14.8	10.7	0.3
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	40.8	36.1	14.2	9.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	59.1	30.3	8.3	2.2	0.2
	性的マイノリティ	78	78.2	17.9	1.3	2.6	—
	その他	50	30.0	28.0	12.0	26.0	4.0
在勤者・全体		465	55.5	31.0	9.5	3.9	0.2
年代	18～29 歳	60	80.0	16.7	3.3	—	—
	30 代	90	72.2	16.7	6.7	4.4	—
	40 代	116	49.1	36.2	9.5	5.2	—
	50 代	139	48.9	34.5	12.2	4.3	—
	60 歳以上	60	33.3	48.3	13.3	3.3	1.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	38.6	36.1	18.3	6.9	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	68.0	27.4	2.7	1.4	0.5
	性的マイノリティ	34	82.4	17.6	—	—	—
	その他	11	27.3	54.5	9.1	9.1	—
在学者・全体		72	73.6	22.2	4.2	—	—
年代	18～29 歳	51	76.5	19.6	3.9	—	—
	30 代	10	60.0	30.0	10.0	—	—
	40 代	4	100.0	—	—	—	—
	50 代	6	50.0	50.0	—	—	—
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	62.5	12.5	—	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	78.4	17.6	3.9	—	—
	性的マイノリティ	11	90.9	9.1	—	—	—
	その他	2	50.0	50.0	—	—	—

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 28-1d.性の多様性についての考え方:女性に恋愛感情を抱く女性がいることに、抵抗はない(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
区民・全体		1,031	53.2	32.2	9.5	4.9	0.2
年代	18～29 歳	109	64.2	27.5	5.5	2.8	—
	30 代	182	66.5	27.5	4.4	1.6	—
	40 代	207	60.9	28.5	7.7	2.4	0.5
	50 代	242	54.1	30.2	10.7	5.0	—
	60 歳以上	291	34.4	41.2	14.4	9.6	0.3
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	43.6	37.9	11.8	6.6	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	57.3	31.6	9.0	2.2	—
	性的マイノリティ	78	79.5	14.1	2.6	3.8	—
	その他	50	32.0	28.0	10.0	26.0	4.0
在勤者・全体		465	57.2	31.0	9.2	2.6	—
年代	18～29 歳	60	80.0	15.0	5.0	—	—
	30 代	90	72.2	18.9	4.4	4.4	—
	40 代	116	50.9	37.1	9.5	2.6	—
	50 代	139	50.4	33.8	12.9	2.9	—
	60 歳以上	60	40.0	46.7	11.7	1.7	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	42.6	36.1	17.3	4.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	68.0	27.4	3.2	1.4	—
	性的マイノリティ	34	82.4	17.6	—	—	—
	その他	11	27.3	54.5	9.1	9.1	—
在学者・全体		72	73.6	22.2	2.8	1.4	—
年代	18～29 歳	51	76.5	19.6	2.0	2.0	—
	30 代	10	60.0	30.0	10.0	—	—
	40 代	4	100.0	—	—	—	—
	50 代	6	50.0	50.0	—	—	—
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	37.5	62.5	—	—	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	76.5	17.6	3.9	2.0	—
	性的マイノリティ	11	90.9	9.1	—	—	—
	その他	2	50.0	50.0	—	—	—

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 28-1e.性の多様性についての考え方:男女両方に恋愛感情を抱く人がいることに、抵抗はない(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
区民・全体		1,031	49.4	31.7	13.1	5.5	0.3
年代	18～29 歳	109	61.5	25.7	10.1	2.8	—
	30 代	182	63.7	26.4	8.2	1.6	—
	40 代	207	56.5	29.0	11.1	2.9	0.5
	50 代	242	51.7	29.8	11.6	7.0	—
	60 歳以上	291	28.9	40.9	19.9	9.6	0.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	40.2	35.8	15.3	8.4	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	53.9	31.4	12.2	2.5	—
	性的マイノリティ	78	73.1	19.2	5.1	2.6	—
	その他	50	26.0	26.0	20.0	24.0	4.0
在勤者・全体		465	54.6	31.0	11.0	3.2	0.2
年代	18～29 歳	60	76.7	13.3	6.7	1.7	1.7
	30 代	90	70.0	21.1	4.4	4.4	—
	40 代	116	48.3	37.1	10.3	4.3	—
	50 代	139	48.9	33.1	15.1	2.9	—
	60 歳以上	60	35.0	46.7	16.7	1.7	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	39.1	35.1	19.3	5.9	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	65.8	28.3	5.0	0.9	—
	性的マイノリティ	34	82.4	17.6	—	—	—
	その他	11	27.3	54.5	9.1	9.1	—
在学者・全体		72	75.0	20.8	4.2	—	—
年代	18～29 歳	51	80.4	17.6	2.0	—	—
	30 代	10	50.0	30.0	20.0	—	—
	40 代	4	100.0	—	—	—	—
	50 代	6	50.0	50.0	—	—	—
	60 歳以上	1	100.0	—	—	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	37.5	62.5	—	—	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	78.4	15.7	5.9	—	—
	性的マイノリティ	11	90.9	9.1	—	—	—
	その他	2	50.0	50.0	—	—	—

(13) 家族の性のありようについての考え方

家族の性のありようについての考え方を尋ねた。(各項目の集計結果は、次頁以降を参照)

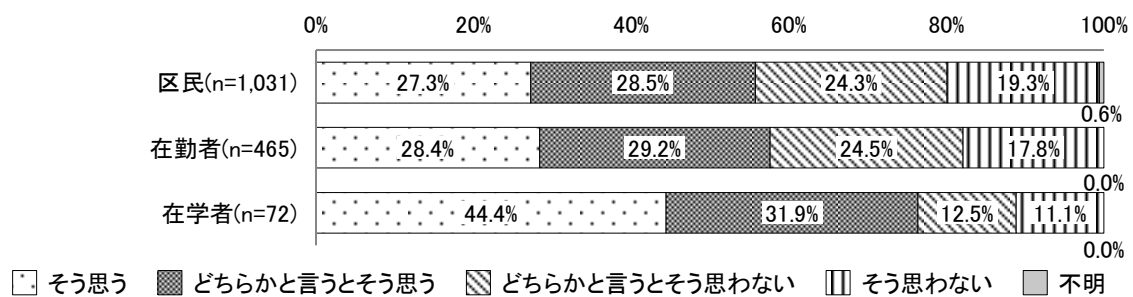
その結果、前問のように一般的な考え方として尋ねた場合には劣後するものの、性自認に関する項目・性的指向に関する項目いずれにおいてもそう思う割合(「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計)が半数以上を占めており、家族の多様な性のあり方を尊重する姿勢が広がっている一方、残りの半数弱は否定的な考え方を有しており、未だ拮抗している様子がうかがわれる。

①家族が性別を男性から女性に変えるとしても、抵抗はない

「家族が性別を男性から女性に変えるとしても、抵抗はない」と思うかをみると、そう思う割合(「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計)は、「区民」では55.8%、「在勤者」では57.6%、「在学者」では76.4%となっている。

図表 95 家族の性のありようについての考え方

: 家族が性別を男性から女性に変えるとしても、抵抗はない: 単数回答(問28-2a)



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

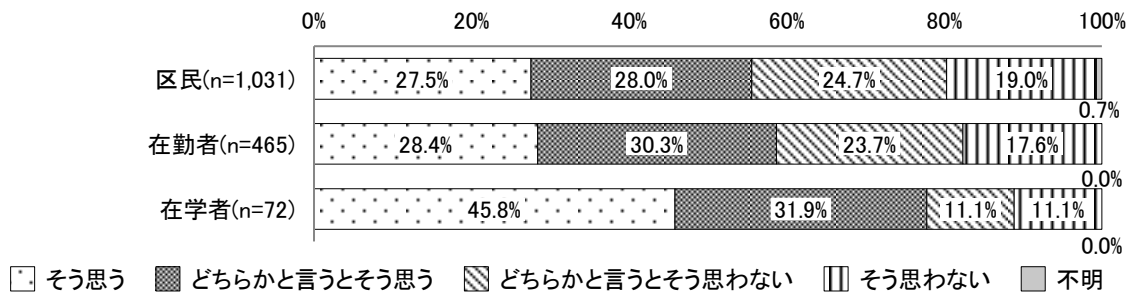
		合計	問 28-2a.家族の性のありようについての考え方: 家族が性別を男性から女性に変えるとしても、抵抗はない(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
区民・全体		1,031	27.3	28.5	24.3	19.3	0.6
年代	18～29 歳	109	30.3	25.7	24.8	19.3	－
	30 代	182	35.7	24.2	22.0	18.1	－
	40 代	207	30.9	29.0	25.1	15.0	－
	50 代	242	28.5	30.2	21.1	19.8	0.4
	60 歳以上	291	17.2	30.6	27.8	22.7	1.7
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	346	22.8	26.3	25.1	25.1	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	28.5	30.7	25.0	15.6	0.2
	性的マイノリティ	78	44.9	25.6	21.8	7.7	－
	その他	50	16.0	24.0	16.0	38.0	6.0
在勤者・全体		465	28.4	29.2	24.5	17.8	－
年代	18～29 歳	60	45.0	23.3	25.0	6.7	－
	30 代	90	33.3	26.7	23.3	16.7	－
	40 代	116	23.3	32.8	25.9	18.1	－
	50 代	139	27.3	30.9	22.3	19.4	－
	60 歳以上	60	16.7	28.3	28.3	26.7	－
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	202	17.8	27.7	28.7	25.7	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	34.7	31.1	21.5	12.8	－
	性的マイノリティ	34	52.9	23.5	20.6	2.9	－
	その他	11	18.2	45.5	18.2	18.2	－
在学者・全体		72	44.4	31.9	12.5	11.1	－
年代	18～29 歳	51	43.1	31.4	13.7	11.8	－
	30 代	10	40.0	20.0	20.0	20.0	－
	40 代	4	100.0	－	－	－	－
	50 代	6	33.3	66.7	－	－	－
	60 歳以上	1	－	100.0	－	－	－
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	8	－	50.0	37.5	12.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	43.1	35.3	9.8	11.8	－
	性的マイノリティ	11	81.8	9.1	9.1	－	－
	その他	2	50.0	－	－	50.0	－

②家族が性別を女性から男性に変えるとしても、抵抗はない

「家族が性別を女性から男性に変えるとしても、抵抗はない」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では55.6%、「在勤者」では58.7%、「在学者」では77.8%となっている。

図表 96 家族の性のあり方についての考え方

：家族が性別を女性から男性に変えるとしても、抵抗はない：単数回答（問 28-2b）



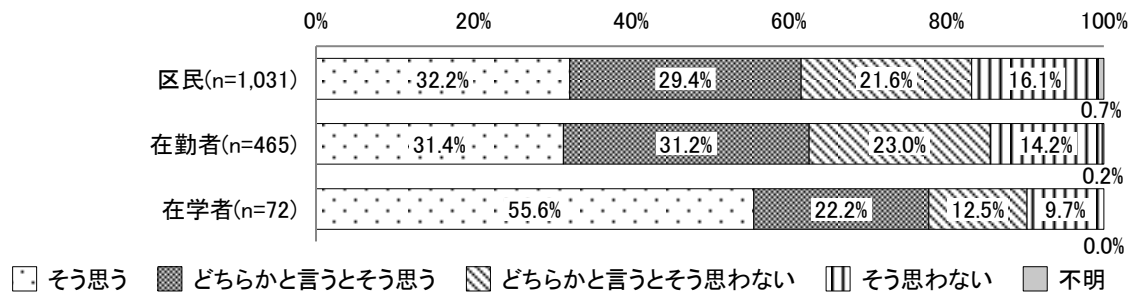
		合計	問 28-2b.家族の性のあり方についての考え方：家族が性別を女性から男性に変えるとしても、抵抗はない(単数回答)					
			そう思う	どちらかと言う と思う	どちらか 言うと思う	そう思わ ない	不明	
区民・全体		1,031	27.5	28.0	24.7	19.0	0.7	
年代	18～29 歳	109	31.2	26.6	23.9	18.3	－	
	30 代	182	37.4	24.7	19.8	18.1	－	
	40 代	207	30.0	28.5	26.1	15.0	0.5	
	50 代	242	28.5	29.3	21.9	19.8	0.4	
	60 歳以上	291	17.5	29.2	29.6	22.0	1.7	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	22.5	25.7	26.0	25.1	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	29.3	30.3	24.8	15.3	0.4	
	性的マイノリティ	78	44.9	25.6	21.8	7.7	－	
	その他	50	16.0	22.0	20.0	36.0	6.0	
在勤者・全体		465	28.4	30.3	23.7	17.6	－	
年代	18～29 歳	60	45.0	30.0	18.3	6.7	－	
	30 代	90	33.3	26.7	24.4	15.6	－	
	40 代	116	23.3	33.6	25.0	18.1	－	
	50 代	139	27.3	30.9	22.3	19.4	－	
	60 歳以上	60	16.7	28.3	28.3	26.7	－	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	17.8	27.7	28.7	25.7	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	34.7	32.4	20.5	12.3	－	
	性的マイノリティ	34	52.9	29.4	14.7	2.9	－	
	その他	11	18.2	45.5	18.2	18.2	－	
在学者・全体		72	45.8	31.9	11.1	11.1	－	
年代	18～29 歳	51	45.1	31.4	11.8	11.8	－	
	30 代	10	40.0	20.0	20.0	20.0	－	
	40 代	4	100.0	－	－	－	－	
	50 代	6	33.3	66.7	－	－	－	
	60 歳以上	1	－	100.0	－	－	－	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	－	50.0	37.5	12.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	45.1	35.3	7.8	11.8	－	
	性的マイノリティ	11	81.8	9.1	9.1	－	－	
	その他	2	50.0	－	－	50.0	－	

③男性の家族が、男性に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない

「男性の家族が、男性に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では61.6%、「在勤者」では62.6%、「在学者」では77.8%となっている。

図表 97 家族の性のあり方についての考え方

：男性の家族が、男性に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない：単数回答（問 28-2c）



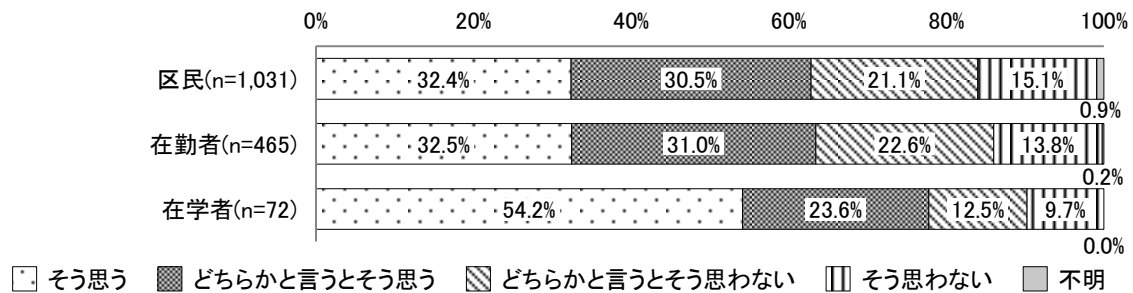
		合計	問 28-2c.家族の性のあり方についての考え方: 男性の家族が、男性に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない(単数回答)					
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明	
区民・全体		1,031	32.2	29.4	21.6	16.1	0.7	
年代	18～29 歳	109	40.4	26.6	18.3	14.7	—	
	30 代	182	43.4	25.8	18.1	12.6	—	
	40 代	207	33.3	30.9	22.7	13.0	—	
	50 代	242	33.5	32.2	15.7	18.2	0.4	
	60 歳以上	291	20.3	29.2	29.2	19.2	2.1	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	26.0	28.0	23.4	22.0	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	32.3	32.5	22.3	12.6	0.4	
	性的マイノリティ	78	65.4	20.5	11.5	2.6	—	
	その他	50	22.0	18.0	18.0	36.0	6.0	
在勤者・全体		465	31.4	31.2	23.0	14.2	0.2	
年代	18～29 歳	60	51.7	31.7	13.3	3.3	—	
	30 代	90	41.1	27.8	20.0	11.1	—	
	40 代	116	25.0	32.8	24.1	18.1	—	
	50 代	139	27.3	34.5	22.3	15.1	0.7	
	60 歳以上	60	18.3	25.0	36.7	20.0	—	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	19.3	27.2	30.2	23.3	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	38.8	34.2	18.3	8.2	0.5	
	性的マイノリティ	34	58.8	32.4	8.8	—	—	
	その他	11	18.2	45.5	27.3	9.1	—	
在学者・全体		72	55.6	22.2	12.5	9.7	—	
年代	18～29 歳	51	56.9	21.6	11.8	9.8	—	
	30 代	10	40.0	20.0	20.0	20.0	—	
	40 代	4	100.0	—	—	—	—	
	50 代	6	50.0	33.3	16.7	—	—	
	60 歳以上	1	—	100.0	—	—	—	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	—	50.0	37.5	12.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	58.8	19.6	11.8	9.8	—	
	性的マイノリティ	11	81.8	18.2	—	—	—	
	その他	2	50.0	—	—	50.0	—	

④女性の家族が、女性に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない

「女性の家族が、女性に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では62.9%、「在勤者」では63.4%、「在学者」では77.8%となっている。

図表 98 家族の性のあり方についての考え方

：女性の家族が、女性に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない：単数回答（問 28-2 d）



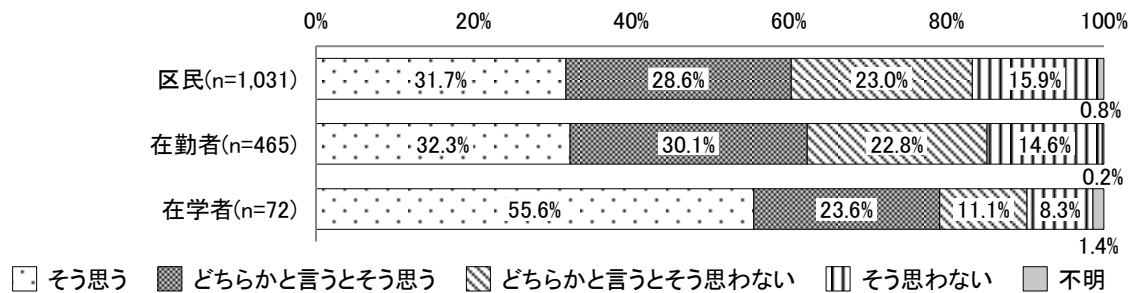
		合計	問 28-2d.家族の性のあり方についての考え方：女性の家族が、女性に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない（単数回答）				
			そう思う	どちらかと言うと思う	どちらかと言うと思わない	そう思わない	不明
区民・全体		1,031	32.4	30.5	21.1	15.1	0.9
年代	18～29 歳	109	41.3	28.4	15.6	13.8	0.9
	30 代	182	44.0	26.9	17.6	11.5	－
	40 代	207	33.8	31.9	21.3	13.0	－
	50 代	242	33.5	32.6	16.1	16.5	1.2
	60 歳以上	291	19.9	30.6	29.6	18.2	1.7
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	346	26.6	29.8	22.3	20.8	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	32.3	33.2	22.3	11.5	0.7
	性的マイノリティ	78	65.4	20.5	11.5	2.6	－
	その他	50	22.0	20.0	16.0	36.0	6.0
在勤者・全体		465	32.5	31.0	22.6	13.8	0.2
年代	18～29 歳	60	55.0	31.7	10.0	3.3	－
	30 代	90	41.1	26.7	21.1	11.1	－
	40 代	116	25.0	32.8	25.0	17.2	－
	50 代	139	28.8	33.8	21.6	15.1	0.7
	60 歳以上	60	20.0	26.7	35.0	18.3	－
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	202	19.8	27.7	30.2	22.3	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	40.6	33.8	17.4	8.2	－
	性的マイノリティ	34	58.8	29.4	8.8	－	2.9
	その他	11	18.2	45.5	27.3	9.1	－
在学者・全体		72	54.2	23.6	12.5	9.7	－
年代	18～29 歳	51	54.9	21.6	13.7	9.8	－
	30 代	10	40.0	20.0	20.0	20.0	－
	40 代	4	100.0	－	－	－	－
	50 代	6	50.0	50.0	－	－	－
	60 歳以上	1	－	100.0	－	－	－
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	8	－	50.0	37.5	12.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	56.9	21.6	11.8	9.8	－
	性的マイノリティ	11	81.8	18.2	－	－	－
	その他	2	50.0	－	－	50.0	－

⑤家族が、男女両方に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない

「女性の家族が、女性に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「区民」では60.3%、「在勤者」では62.4%、「在学者」では79.2%となっている。

図表 99 家族の性のあり方についての考え方

：家族が、男女両方に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない：単数回答（問 28-2 e）



		合計	問 28-2e.家族の性のあり方についての考え方：家族が、男女両方に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない(単数回答)					
			そう思う	どちらかと言う と思う	どちらか と言う と思う	そう思わ ない	不明	
区民・全体		1,031	31.7	28.6	23.0	15.9	0.8	
年代	18～29 歳	109	40.4	26.6	19.3	12.8	0.9	
	30 代	182	46.2	23.1	19.2	11.5	－	
	40 代	207	32.4	31.9	21.7	14.0	－	
	50 代	242	32.6	30.2	18.6	18.2	0.4	
	60 歳以上	291	18.2	29.2	31.3	19.2	2.1	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	27.2	28.3	23.1	20.8	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	31.4	30.7	24.6	12.7	0.5	
	性的マイノリティ	78	59.0	20.5	12.8	7.7	－	
	その他	50	24.0	20.0	20.0	30.0	6.0	
在勤者・全体		465	32.3	30.1	22.8	14.6	0.2	
年代	18～29 歳	60	55.0	26.7	11.7	5.0	1.7	
	30 代	90	41.1	27.8	18.9	12.2	－	
	40 代	116	25.9	31.9	25.0	17.2	－	
	50 代	139	28.1	33.8	23.0	15.1	－	
	60 歳以上	60	18.3	25.0	35.0	21.7	－	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	18.8	26.7	30.7	23.3	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	39.7	33.8	17.4	9.1	－	
	性的マイノリティ	34	67.6	23.5	8.8	－	－	
	その他	11	18.2	45.5	27.3	9.1	－	
在学者・全体		72	55.6	23.6	11.1	8.3	1.4	
年代	18～29 歳	51	56.9	21.6	11.8	7.8	2.0	
	30 代	10	40.0	20.0	20.0	20.0	－	
	40 代	4	100.0	－	－	－	－	
	50 代	6	50.0	50.0	－	－	－	
	60 歳以上	1	－	100.0	－	－	－	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	－	50.0	37.5	12.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	58.8	21.6	9.8	7.8	2.0	
	性的マイノリティ	11	81.8	18.2	－	－	－	
	その他	2	50.0	－	－	50.0	－	

(14) 性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取り組み

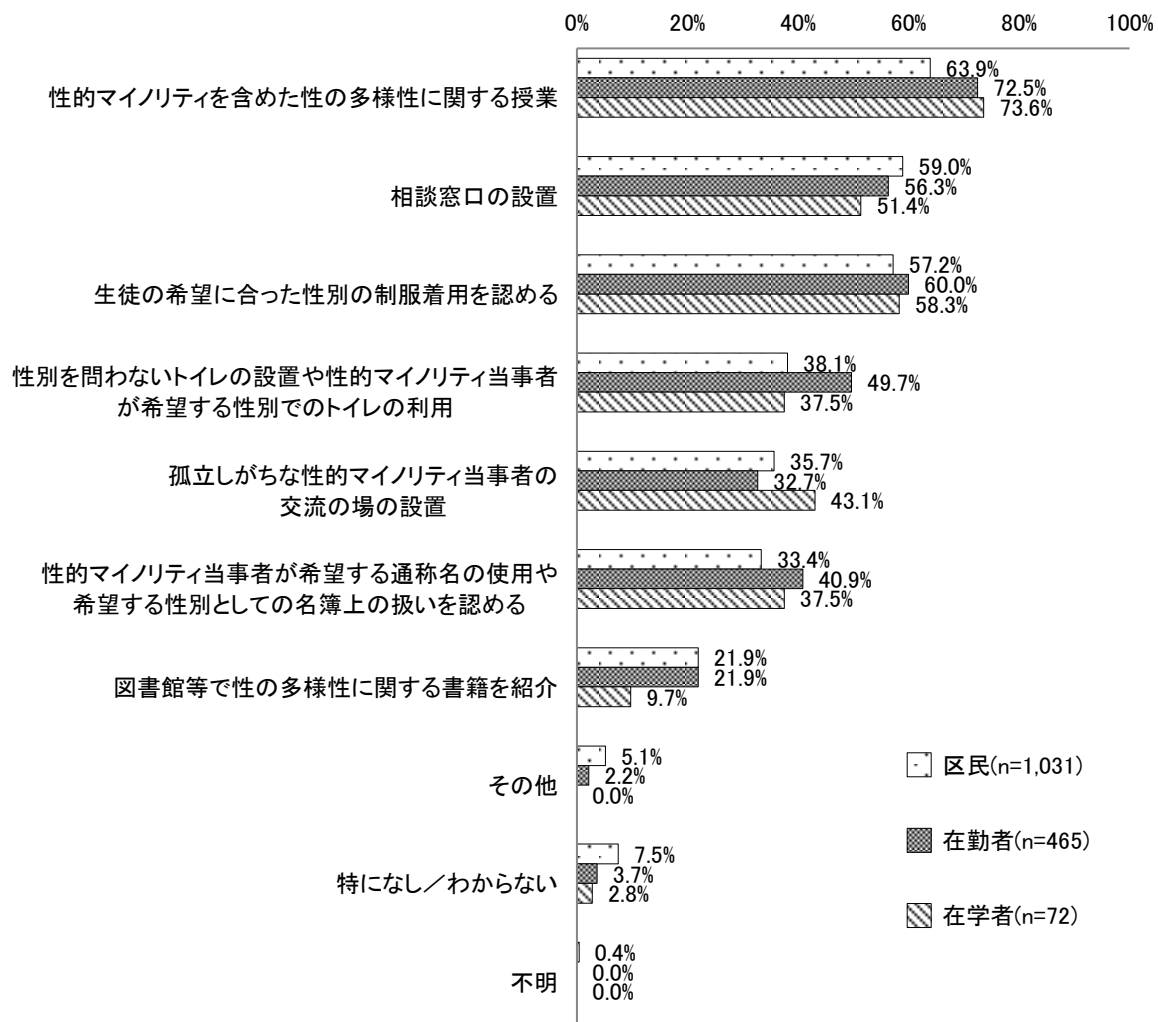
性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取り組みをみると、「区民」では、「性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業」が63.9%でもっとも割合が高く、次いで「相談窓口の設置」が59.0%となっている。「総合窓口の設置」は、前回調査では49.8%であり、ニーズが上昇していることがうかがえる。

「在勤者」では、「性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業」が72.5%でもっとも割合が高く、次いで「生徒の希望に合った性別の制服着用を認める」が60.0%となっている。

「在学者」では、「性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業」が73.6%でもっとも割合が高く、次いで「生徒の希望に合った性別の制服着用を認める」が58.3%となっている。

したがって、性的マイノリティ当事者に向けた支援に限らず、性の多様性に関する理解の促進に取り組むべきと考えられていることがうかがえる。

図表 100 性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取り組み：複数回答（問 29）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 29.性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取り組み(複数回答)				
			性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業	相談窓口の設置	生徒の希望に合った性別の制服着用を認める	性別を問わないトイレの設置や性的マイノリティ当事者が希望する性別でのトイレの利用	孤立しがちな性的マイノリティ当事者の交流の場の設置
区民・全体		1,031	63.9	59.0	57.2	38.1	35.7
年代	18～29 歳	109	59.6	52.3	61.5	22.9	35.8
	30 代	182	61.5	52.2	59.3	30.8	45.1
	40 代	207	67.6	63.8	61.4	37.7	36.2
	50 代	242	67.8	57.4	60.7	45.0	35.1
	60 歳以上	291	61.2	63.6	48.5	43.0	29.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	63.0	63.0	47.1	33.2	37.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	68.2	59.4	65.7	42.5	37.2
	性的マイノリティ	78	59.0	51.3	55.1	34.6	37.2
	その他	50	30.0	38.0	36.0	28.0	8.0
在勤者・全体		465	72.5	56.3	60.0	49.7	32.7
年代	18～29 歳	60	58.3	45.0	58.3	40.0	26.7
	30 代	90	68.9	47.8	70.0	36.7	31.1
	40 代	116	75.9	54.3	55.2	44.8	37.1
	50 代	139	75.5	61.2	59.7	56.1	33.8
	60 歳以上	60	78.3	73.3	56.7	73.3	30.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	80.2	57.4	45.0	40.6	35.1
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	68.9	57.1	71.2	57.5	30.1
	性的マイノリティ	34	58.8	50.0	79.4	55.9	32.4
	その他	11	45.5	36.4	54.5	36.4	36.4
在学者・全体		72	73.6	51.4	58.3	37.5	43.1
年代	18～29 歳	51	74.5	51.0	60.8	33.3	35.3
	30 代	10	50.0	40.0	40.0	20.0	80.0
	40 代	4	75.0	50.0	75.0	75.0	25.0
	50 代	6	100.0	66.7	50.0	83.3	66.7
	60 歳以上	1	100.0	100.0	100.0	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	62.5	75.0	37.5	25.0	37.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	82.4	52.9	58.8	41.2	39.2
	性的マイノリティ	11	54.5	36.4	81.8	36.4	63.6
	その他	2	－	－	－	－	50.0

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 29.性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取り組み(複数回答)				
			性的マイノリティ当事者が希望する通称名としての名簿上の扱いを認める	図書館等で性の多様性に関する書籍を紹介	その他	特になし／わからない	不明
区民・全体		1,031	33.4	21.9	5.1	7.5	0.4
年代	18～29 歳	109	29.4	19.3	2.8	7.3	－
	30 代	182	25.3	18.7	8.2	4.9	－
	40 代	207	35.3	29.5	4.3	6.8	－
	50 代	242	36.4	20.7	6.2	7.0	0.4
	60 歳以上	291	36.1	20.6	3.8	10.0	1.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	29.8	18.5	5.5	9.0	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	36.3	24.1	3.8	4.7	0.2
	性的マイノリティ	78	37.2	29.5	10.3	2.6	－
	その他	50	20.0	10.0	10.0	36.0	4.0
在勤者・全体		465	40.9	21.9	2.2	3.7	－
年代	18～29 歳	60	28.3	5.0	1.7	15.0	－
	30 代	90	34.4	18.9	1.1	2.2	－
	40 代	116	39.7	25.9	4.3	2.6	－
	50 代	139	47.5	24.5	0.7	2.2	－
	60 歳以上	60	50.0	30.0	3.3	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	29.2	23.3	2.5	5.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	49.3	21.5	1.8	1.8	－
	性的マイノリティ	34	55.9	17.6	－	5.9	－
	その他	11	45.5	18.2	9.1	9.1	－
在学者・全体		72	37.5	9.7	－	2.8	－
年代	18～29 歳	51	31.4	5.9	－	3.9	－
	30 代	10	40.0	－	－	－	－
	40 代	4	75.0	25.0	－	－	－
	50 代	6	50.0	33.3	－	－	－
	60 歳以上	1	100.0	100.0	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	－	－	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	35.3	9.8	－	2.0	－
	性的マイノリティ	11	54.5	18.2	－	－	－
	その他	2	50.0	－	－	50.0	－

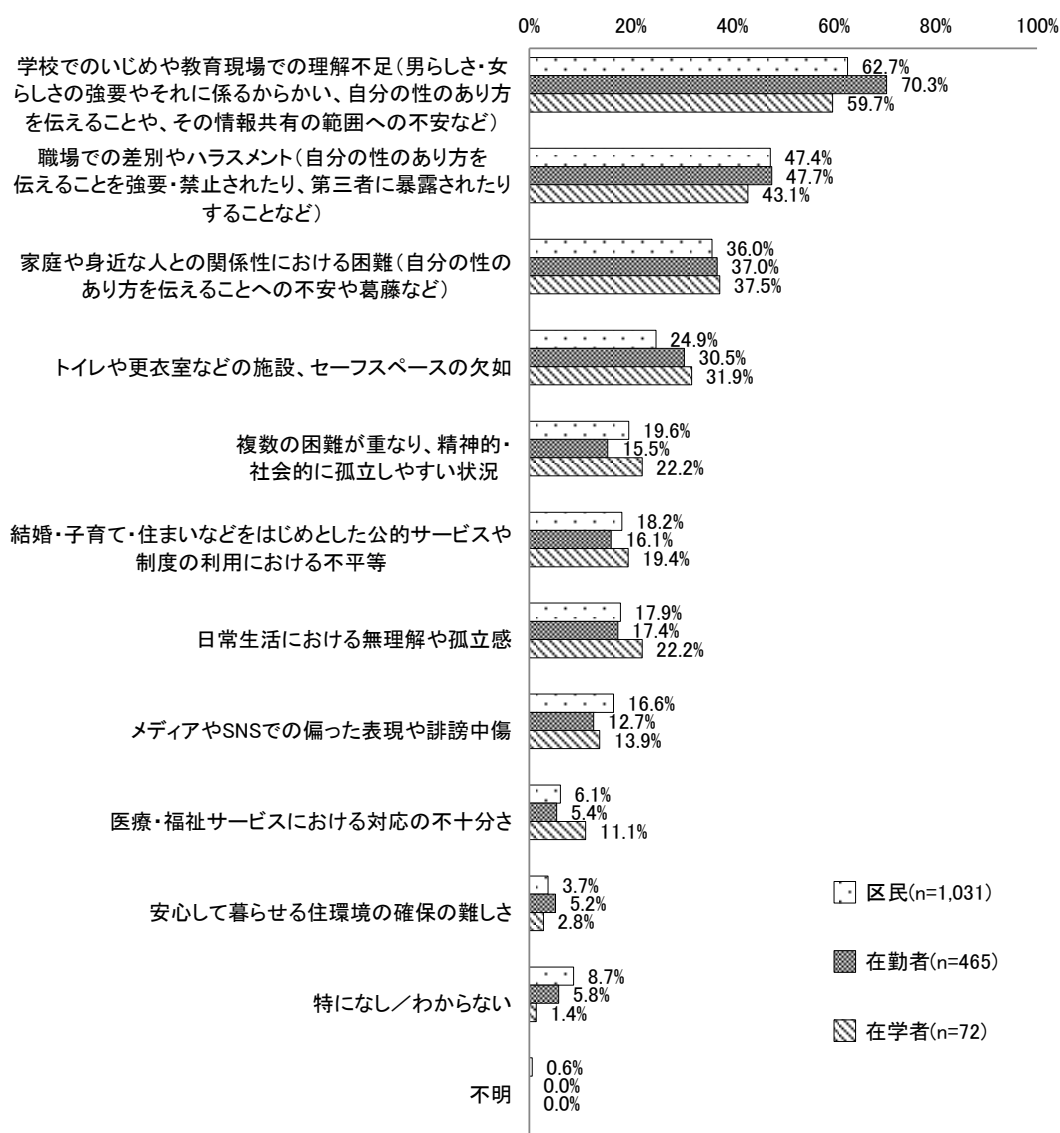
(15) 性的マイノリティ当事者が直面する困難のうち、特に深刻だと思うこと

性的マイノリティ当事者が直面する困難のうち、特に深刻だと思うことをみると、「学校でのいじめや教育現場での理解不足（男らしさ・女らしさの強要やそれに係るからかい、自分の性のあり方を伝えることや、その情報共有の範囲への不安など）」の割合がもっとも高く、「区民」では62.7%、「在勤者」では70.3%、「在学者」では59.7%となっている。

次いで「職場での差別やハラスメント（自分の性のあり方を伝えることを強要・禁止されたり、第三者に暴露されたりすることなど）」の割合が高く、「区民」では47.4%、「在勤者」では47.7%、「在学者」では43.1%となっている。

特に深刻だと思うことを聴取していることから、いじめや差別・ハラスメントなどが上位となっているが、次いで「家族や身近な人との関係性における困難（自分の性のあり方を伝えることへの不安や葛藤など）」「トイレや更衣室などの施設、セーフスペースの欠如」「複数の困難が重なり、精神的・社会的に孤立しやすい状況」など、社会環境・人間関係等に起因する困難も、一定程度認識されている様子がうかがわれる。

図表 101 性的マイノリティ当事者が直面する困難のうち、特に深刻だと思うこと
：複数回答（問 30）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 30.性的マイノリティ当事者が直面する困難のうち、特に深刻だと思うこと(複数回答)				
			学校でのいじめや教育現場での理解不足(男らしさ・女らしさの強要やそれに係るからかい、自分の性のあり方を伝えることや、その情報共有の範囲への不安など)	職場での差別やハラスメント(自分の性のあり方を伝えることを強要・禁止されたり、第三者に暴露されたりすることなど)	家庭や身近な人との関係性における困難(自分の性のあり方を伝えることへの不安や葛藤など)	トイレや更衣室などの施設、セーフスペースの欠如	複数の困難が重なり、精神的・社会的に孤立しやすい状況
区民・全体		1,031	62.7	47.4	36.0	24.9	19.6
年代	18～29 歳	109	62.4	34.9	41.3	23.9	22.9
	30 代	182	64.8	44.5	39.0	23.1	21.4
	40 代	207	62.3	49.8	44.4	25.6	19.3
	50 代	242	62.0	48.3	37.6	29.3	18.6
	60 歳以上	291	62.2	51.5	24.7	22.3	18.2
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	66.2	51.7	30.9	24.6	15.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	63.6	47.4	41.3	26.9	22.8
	性的マイノリティ	78	59.0	44.9	35.9	17.9	25.6
	その他	50	34.0	22.0	12.0	16.0	6.0
在勤者・全体		465	70.3	47.7	37.0	30.5	15.5
年代	18～29 歳	60	61.7	45.0	31.7	23.3	15.0
	30 代	90	66.7	42.2	37.8	27.8	15.6
	40 代	116	69.0	49.1	36.2	31.9	15.5
	50 代	139	71.9	48.2	39.6	33.1	15.8
	60 歳以上	60	83.3	55.0	36.7	33.3	15.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	72.3	51.0	34.2	27.2	16.8
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	66.2	42.9	37.9	35.6	15.5
	性的マイノリティ	34	88.2	55.9	41.2	23.5	8.8
	その他	11	63.6	54.5	63.6	18.2	9.1
在学者・全体		72	59.7	43.1	37.5	31.9	22.2
年代	18～29 歳	51	52.9	31.4	35.3	35.3	17.6
	30 代	10	70.0	70.0	50.0	10.0	30.0
	40 代	4	100.0	100.0	25.0	50.0	－
	50 代	6	66.7	50.0	50.0	33.3	50.0
	60 歳以上	1	100.0	100.0	－	－	100.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	75.0	37.5	12.5	25.0	12.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	56.9	45.1	37.3	37.3	21.6
	性的マイノリティ	11	63.6	45.5	63.6	18.2	27.3
	その他	2	50.0	－	－	－	50.0

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 30.性的マイノリティ当事者が直面する困難のうち、特に深刻だと思うこと(複数回答)						
			制度的利用における不平等	結婚・子育て・住まいなどを はじめとした公的サービスや	孤立感	日常生活における無理解や	現や誹謗中傷	メディアやSNSでの偏った表	医療・福祉サービスにおける 対応の不十分さ
区民・全体		1,031	18.2	17.9	16.6	6.1	3.7	8.7	0.6
年代	18～29 歳	109	26.6	24.8	19.3	7.3	3.7	6.4	－
	30 代	182	23.1	15.9	16.5	6.6	6.0	6.0	－
	40 代	207	17.9	15.0	15.9	6.3	2.9	7.7	0.5
	50 代	242	14.0	19.0	12.8	4.1	2.9	7.9	－
	60 歳以上	291	15.8	17.9	19.2	6.9	3.4	12.7	1.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	346	15.3	19.7	16.5	4.3	3.2	10.7	0.3
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	557	19.2	16.3	16.9	5.9	3.9	5.7	0.4
	性的マイノリティ	78	30.8	17.9	15.4	14.1	3.8	2.6	1.3
	その他	50	8.0	24.0	16.0	8.0	4.0	38.0	4.0
在勤者・全体		465	16.1	17.4	12.7	5.4	5.2	5.8	－
年代	18～29 歳	60	18.3	25.0	13.3	3.3	5.0	6.7	－
	30 代	90	23.3	11.1	7.8	4.4	4.4	8.9	－
	40 代	116	15.5	15.5	11.2	6.0	6.0	5.2	－
	50 代	139	13.7	19.4	17.3	7.2	2.9	5.8	－
	60 歳以上	60	10.0	18.3	11.7	3.3	10.0	1.7	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	202	7.9	19.3	12.9	3.0	6.9	6.9	－
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	219	24.2	16.0	10.0	7.3	4.6	5.5	－
	性的マイノリティ	34	14.7	17.6	29.4	5.9	－	－	－
	その他	11	9.1	9.1	9.1	9.1	－	9.1	－
在学者・全体		72	19.4	22.2	13.9	11.1	2.8	1.4	－
年代	18～29 歳	51	23.5	23.5	17.6	13.7	3.9	2.0	－
	30 代	10	10.0	20.0	－	10.0	－	－	－
	40 代	4	25.0	－	－	－	－	－	－
	50 代	6	－	33.3	16.7	－	－	－	－
	60 歳以上	1	－	－	－	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	8	12.5	37.5	25.0	12.5	－	12.5	－
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	51	15.7	19.6	13.7	7.8	2.0	－	－
	性的マイノリティ	11	36.4	18.2	9.1	18.2	－	－	－
	その他	2	50.0	50.0	－	50.0	50.0	－	－

3-7. 犯罪被害者等の支援について

(1) 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等

各種犯罪について、渋谷区で不安を感じることがあるかを尋ねた。(各項目の集計結果は、次頁以降を参照)

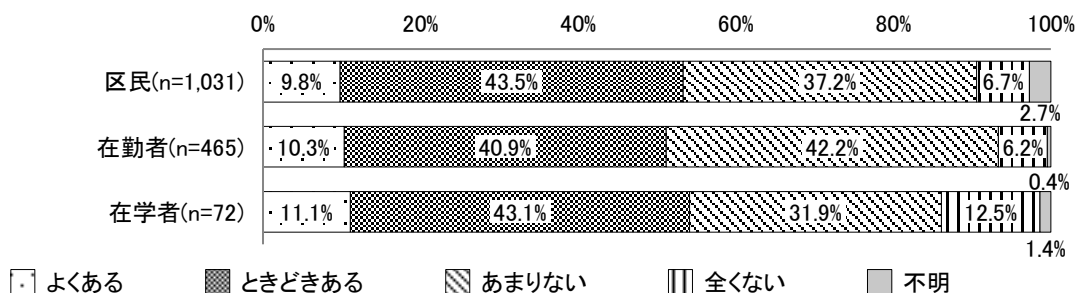
その結果、「区民」「在勤者」「在学者」いずれも、「犯罪全般」において、不安に感じることがある割合が5割以上となっている。

また、「住居等への侵入を伴う窃盗」「恐喝・特殊詐欺」では「区民」、「不同意性交、不同意わいせつ」「盗撮、痴漢行為」「つきまとい行為、ストーカー行為」では「在学者」が、他の調査区分と比較して不安に感じることがある割合が高い傾向にある。

①犯罪全般

「犯罪全般」に不安を感じることがあるかをみると、不安に感じることがある割合(「よくある」と「ときどきある」の合計)は、「区民」では53.3%、「在勤者」では51.2%、「在学者」では54.2%となっている。

図表 102 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：犯罪全般：単数回答（問31a）



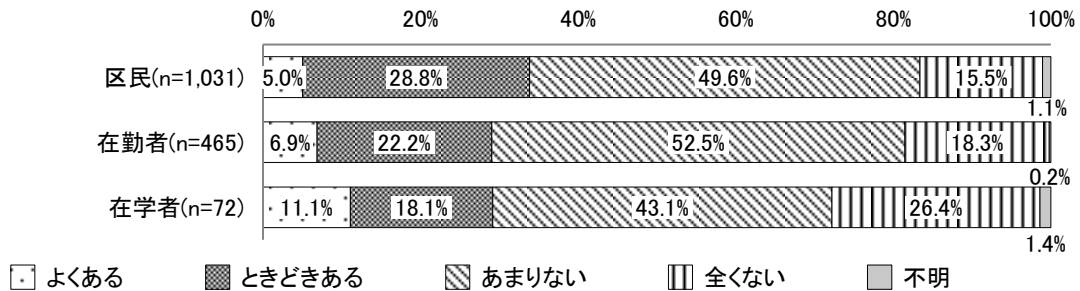
3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 31a.渋谷区で不安を感じることもある犯罪等:犯罪全般(単数回答)				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
区民・全体		1,031	9.8	43.5	37.2	6.7	2.7
年代	18～29 歳	109	8.3	45.9	36.7	7.3	1.8
	30 代	182	13.7	45.6	31.9	7.1	1.6
	40 代	207	14.5	43.5	34.3	6.8	1.0
	50 代	242	7.4	48.8	34.7	6.6	2.5
	60 歳以上	291	6.5	37.1	45.0	6.2	5.2
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	6.6	43.4	40.8	7.8	1.4
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	11.3	45.6	35.7	4.1	3.2
	性的マイノリティ	78	14.1	39.7	32.1	12.8	1.3
	その他	50	8.0	28.0	38.0	18.0	8.0
在勤者・全体		465	10.3	40.9	42.2	6.2	0.4
年代	18～29 歳	60	23.3	43.3	26.7	6.7	—
	30 代	90	14.4	32.2	44.4	7.8	1.1
	40 代	116	5.2	46.6	41.4	6.9	—
	50 代	139	7.2	40.3	46.0	6.5	—
	60 歳以上	60	8.3	41.7	46.7	1.7	1.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	8.4	40.1	45.0	6.4	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	10.0	41.6	41.6	5.9	0.9
	性的マイノリティ	34	23.5	41.2	29.4	5.9	—
	その他	11	9.1	45.5	36.4	9.1	—
在学者・全体		72	11.1	43.1	31.9	12.5	1.4
年代	18～29 歳	51	11.8	43.1	31.4	13.7	—
	30 代	10	20.0	50.0	30.0	—	—
	40 代	4	—	25.0	25.0	50.0	—
	50 代	6	—	50.0	33.3	—	16.7
	60 歳以上	1	—	—	100.0	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	50.0	12.5	25.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	13.7	41.2	33.3	9.8	2.0
	性的マイノリティ	11	—	54.5	36.4	9.1	—
	その他	2	—	—	50.0	50.0	—

②殺人、強盗、放火

「殺人、強盗、放火」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」と「ときどきある」の合計）は、「区民」では 33.9%、「在勤者」では 29.0%、「在学者」では 29.2%となっている。

図表 103 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：殺人、強盗、放火：単数回答（問 31b）

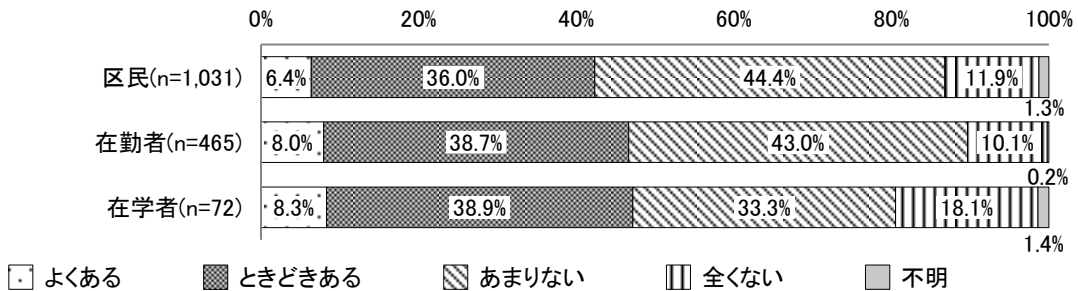


		合計	問 31b.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等:殺人、強盗、放火(単数回答)					
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明	
区民・全体		1,031	5.0	28.8	49.6	15.5	1.1	
年代	18～29 歳	109	3.7	32.1	45.0	19.3	—	
	30 代	182	9.3	31.9	42.9	15.4	0.5	
	40 代	207	4.8	30.4	51.2	12.6	1.0	
	50 代	242	3.7	32.6	50.8	12.8	—	
	60 歳以上	291	4.1	21.3	53.3	18.6	2.7	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	4.0	22.0	53.8	19.4	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	5.6	33.4	49.6	10.6	0.9	
	性的マイノリティ	78	6.4	26.9	43.6	21.8	1.3	
	その他	50	4.0	28.0	30.0	34.0	4.0	
在勤者・全体		465	6.9	22.2	52.5	18.3	0.2	
年代	18～29 歳	60	20.0	23.3	41.7	15.0	—	
	30 代	90	4.4	25.6	46.7	23.3	—	
	40 代	116	2.6	23.3	48.3	25.9	—	
	50 代	139	5.0	20.1	59.7	15.1	—	
	60 歳以上	60	10.0	18.3	63.3	6.7	1.7	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	6.4	17.3	54.0	22.3	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	6.8	25.1	52.5	15.1	0.5	
	性的マイノリティ	34	11.8	29.4	44.1	14.7	—	
	その他	11	—	36.4	45.5	18.2	—	
在学者・全体		72	11.1	18.1	43.1	26.4	1.4	
年代	18～29 歳	51	13.7	17.6	41.2	27.5	—	
	30 代	10	10.0	20.0	60.0	10.0	—	
	40 代	4	—	25.0	—	75.0	—	
	50 代	6	—	16.7	50.0	16.7	16.7	
	60 歳以上	1	—	—	100.0	—	—	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	12.5	50.0	25.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	11.8	17.6	45.1	23.5	2.0	
	性的マイノリティ	11	9.1	18.2	36.4	36.4	—	
	その他	2	—	50.0	—	50.0	—	

③暴行、傷害

「暴行、傷害」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」と「ときどきある」の合計）は、「区民」では42.4%、「在勤者」では46.7%、「在学者」では47.2%となっている。

図表 104 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：暴行、傷害：単数回答（問31c）

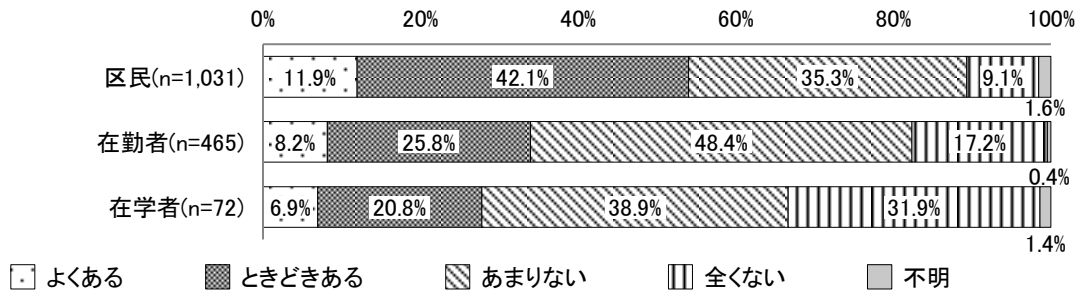


		合計	問 31c.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：暴行、傷害（単数回答）					
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明	
区民・全体		1,031	6.4	36.0	44.4	11.9	1.3	
年代	18～29 歳	109	5.5	44.0	40.4	10.1	－	
	30 代	182	10.4	41.8	36.3	11.0	0.5	
	40 代	207	6.3	35.7	46.9	9.7	1.4	
	50 代	242	7.0	36.4	45.5	10.7	0.4	
	60 歳以上	291	3.8	29.2	48.5	15.8	2.7	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	5.5	36.4	45.1	12.1	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	6.8	36.1	45.6	10.2	1.3	
	性的マイノリティ	78	7.7	38.5	39.7	12.8	1.3	
	その他	50	6.0	28.0	34.0	28.0	4.0	
在勤者・全体		465	8.0	38.7	43.0	10.1	0.2	
年代	18～29 歳	60	18.3	46.7	28.3	6.7	－	
	30 代	90	8.9	36.7	40.0	14.4	－	
	40 代	116	4.3	37.9	44.0	13.8	－	
	50 代	139	5.0	36.7	49.6	8.6	－	
	60 歳以上	60	10.0	40.0	45.0	3.3	1.7	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	7.9	37.6	44.1	10.4	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	7.8	38.8	42.5	10.5	0.5	
	性的マイノリティ	34	11.8	44.1	41.2	2.9	－	
	その他	11	－	45.5	36.4	18.2	－	
在学者・全体		72	8.3	38.9	33.3	18.1	1.4	
年代	18～29 歳	51	9.8	37.3	31.4	21.6	－	
	30 代	10	10.0	60.0	30.0	－	－	
	40 代	4	－	25.0	25.0	50.0	－	
	50 代	6	－	33.3	50.0	－	16.7	
	60 歳以上	1	－	－	100.0	－	－	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	50.0	12.5	25.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	7.8	39.2	33.3	17.6	2.0	
	性的マイノリティ	11	9.1	36.4	45.5	9.1	－	
	その他	2	－	－	50.0	50.0	－	

④住居等への侵入を伴う窃盗

「住居等への侵入を伴う窃盗」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」と「ときどきある」の合計）は、「区民」では54.0%、「在勤者」では34.0%、「在学者」では27.8%となっている。

図表 105 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：住居等への侵入を伴う窃盗
：単数回答（問 31d）

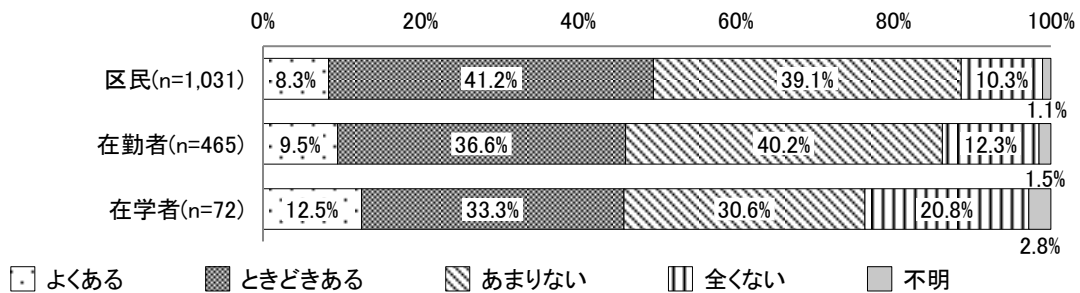


		合計	問 31d.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：住居等への侵入を伴う窃盗(単数回答)				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
区民・全体		1,031	11.9	42.1	35.3	9.1	1.6
年代	18～29 歳	109	10.1	36.7	41.3	11.9	—
	30 代	182	12.6	41.8	32.4	12.6	0.5
	40 代	207	13.5	40.1	39.6	6.3	0.5
	50 代	242	12.4	48.3	31.8	6.2	1.2
	60 歳以上	291	10.7	40.5	34.7	10.3	3.8
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	346	9.2	38.2	40.5	11.3	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	13.1	45.8	33.6	5.7	1.8
	性的マイノリティ	78	12.8	39.7	32.1	15.4	—
	その他	50	16.0	32.0	24.0	22.0	6.0
在勤者・全体		465	8.2	25.8	48.4	17.2	0.4
年代	18～29 歳	60	20.0	18.3	38.3	23.3	—
	30 代	90	4.4	28.9	44.4	21.1	1.1
	40 代	116	3.4	20.7	51.7	24.1	—
	50 代	139	8.6	26.6	54.0	10.8	—
	60 歳以上	60	10.0	36.7	45.0	6.7	1.7
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	202	7.4	22.8	48.0	21.3	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	8.7	25.1	51.1	14.6	0.5
	性的マイノリティ	34	11.8	47.1	32.4	8.8	—
	その他	11	—	36.4	45.5	18.2	—
在学者・全体		72	6.9	20.8	38.9	31.9	1.4
年代	18～29 歳	51	7.8	21.6	35.3	35.3	—
	30 代	10	10.0	—	60.0	30.0	—
	40 代	4	—	25.0	25.0	50.0	—
	50 代	6	—	50.0	33.3	—	16.7
	60 歳以上	1	—	—	100.0	—	—
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	—	37.5	37.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	5.9	25.5	37.3	29.4	2.0
	性的マイノリティ	11	—	9.1	54.5	36.4	—
	その他	2	—	50.0	—	50.0	—

⑤住居等への侵入を伴わない窃盗

「住居等への侵入を伴わない窃盗」に不安を感じることがあるかをみると、不安に感じることがある割合（「よくある」と「ときどきある」の合計）は、「区民」では 49.6%、「在勤者」では 46.0%、「在学者」では 45.8%となっている。

図表 106 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：住居等への侵入を伴わない窃盗
：単数回答（問 31e）

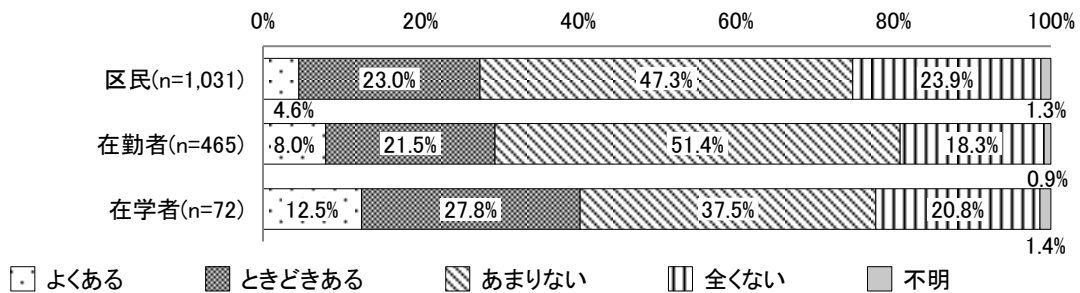


		合計	問 31e.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：住居等への侵入を伴わない窃盗(単数回答)					
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明	
区民・全体		1,031	8.3	41.2	39.1	10.3	1.1	
年代	18～29 歳	109	5.5	34.9	46.8	12.8	—	
	30 代	182	11.0	40.7	37.4	10.4	0.5	
	40 代	207	9.2	37.7	44.4	8.2	0.5	
	50 代	242	8.7	47.9	34.7	8.3	0.4	
	60 歳以上	291	6.9	40.9	37.1	12.4	2.7	
リ テ ィ 区 分	セクシユア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	6.4	38.4	43.4	11.0	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	9.2	44.3	37.3	8.1	1.1	
	性的マイノリティ	78	11.5	34.6	39.7	14.1	—	
	その他	50	8.0	36.0	28.0	24.0	4.0	
在勤者・全体		465	9.5	36.6	40.2	12.3	1.5	
年代	18～29 歳	60	20.0	26.7	31.7	18.3	3.3	
	30 代	90	4.4	38.9	41.1	15.6	—	
	40 代	116	6.0	32.8	45.7	15.5	—	
	50 代	139	10.1	41.0	38.8	7.9	2.2	
	60 歳以上	60	11.7	40.0	40.0	5.0	3.3	
リ テ ィ 区 分	セクシユア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	10.4	33.2	40.6	15.3	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	7.8	38.8	40.6	10.5	2.3	
	性的マイノリティ	34	17.6	44.1	32.4	2.9	2.9	
	その他	11	—	36.4	45.5	18.2	—	
在学者・全体		72	12.5	33.3	30.6	20.8	2.8	
年代	18～29 歳	51	15.7	35.3	25.5	23.5	—	
	30 代	10	10.0	10.0	50.0	20.0	10.0	
	40 代	4	—	25.0	50.0	25.0	—	
	50 代	6	—	66.7	16.7	—	16.7	
	60 歳以上	1	—	—	100.0	—	—	
リ テ ィ 区 分	セクシユア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	12.5	25.0	37.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	11.8	41.2	29.4	15.7	2.0	
	性的マイノリティ	11	9.1	9.1	45.5	27.3	9.1	
	その他	2	—	50.0	—	50.0	—	

⑥不同意性交、不同意わいせつ

「不同意性交、不同意わいせつ」に不安を感じることがあるかをみると、不安に感じることがある割合（「よくある」と「ときどきある」の合計）は、「区民」では27.5%、「在勤者」では29.5%、「在学者」では40.3%となっている。

図表 107 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：不同意性交、不同意わいせつ
：単数回答（問 31f）

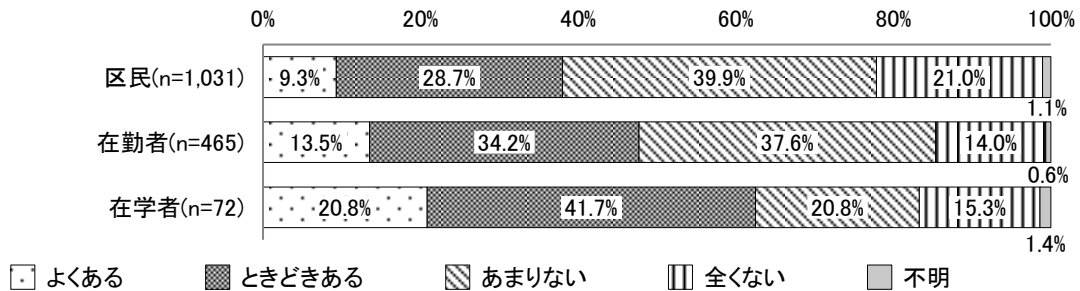


		合計	問 31f.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：不同意性交、不同意わいせつ(単数回答)					
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明	
区民・全体		1,031	4.6	23.0	47.3	23.9	1.3	
年代	18～29 歳	109	7.3	34.9	41.3	16.5	—	
	30 代	182	8.8	36.8	35.7	18.1	0.5	
	40 代	207	3.4	22.7	54.1	19.3	0.5	
	50 代	242	5.4	21.9	52.5	19.8	0.4	
	60 歳以上	291	1.0	11.0	47.8	36.8	3.4	
リ テ ィ 区 分	セクシユア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	2.9	15.9	48.8	30.9	1.4
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	4.7	28.2	47.6	18.7	0.9	
	性的マイノリティ	78	9.0	23.1	43.6	23.1	1.3	
	その他	50	8.0	14.0	40.0	34.0	4.0	
在勤者・全体		465	8.0	21.5	51.4	18.3	0.9	
年代	18～29 歳	60	25.0	26.7	38.3	10.0	—	
	30 代	90	12.2	27.8	40.0	20.0	—	
	40 代	116	2.6	24.1	51.7	20.7	0.9	
	50 代	139	2.2	15.1	61.9	20.1	0.7	
	60 歳以上	60	8.3	16.7	56.7	15.0	3.3	
リ テ ィ 区 分	セクシユア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	5.9	16.3	52.0	25.7	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	8.7	24.2	53.0	12.8	1.4	
	性的マイノリティ	34	17.6	32.4	38.2	8.8	2.9	
	その他	11	—	36.4	45.5	18.2	—	
在学者・全体		72	12.5	27.8	37.5	20.8	1.4	
年代	18～29 歳	51	13.7	31.4	37.3	17.6	—	
	30 代	10	20.0	10.0	30.0	40.0	—	
	40 代	4	—	25.0	50.0	25.0	—	
	50 代	6	—	33.3	33.3	16.7	16.7	
	60 歳以上	1	—	—	100.0	—	—	
リ テ ィ 区 分	セクシユア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	—	37.5	50.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	13.7	31.4	35.3	17.6	2.0	
	性的マイノリティ	11	9.1	36.4	45.5	9.1	—	
	その他	2	—	—	50.0	50.0	—	

⑦盗撮、痴漢行為

「盗撮、痴漢行為」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」と「ときどきある」の合計）は、「区民」では38.0%、「在勤者」では47.7%、「在学者」では62.5%となっている。

図表 108 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：盗撮、痴漢行為：単数回答（問31g）

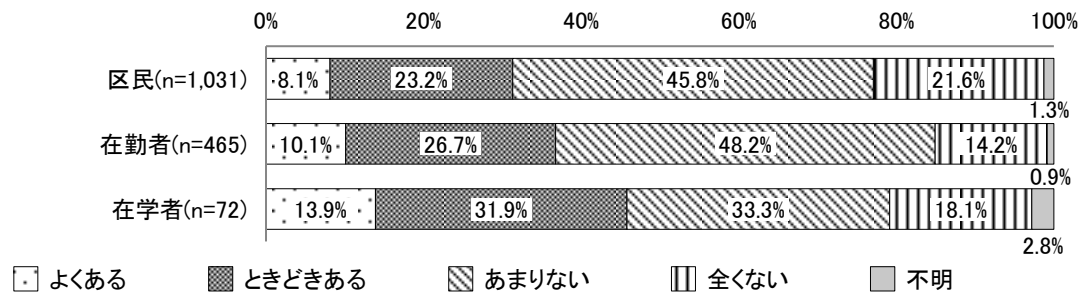


		合計	問 31g.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：盗撮、痴漢行為（単数回答）					
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明	
区民・全体		1,031	9.3	28.7	39.9	21.0	1.1	
年代	18～29 歳	109	13.8	37.6	36.7	11.9	－	
	30 代	182	13.7	37.4	31.9	16.5	0.5	
	40 代	207	11.1	31.4	40.6	16.4	0.5	
	50 代	242	9.1	29.8	43.8	17.4	－	
	60 歳以上	291	3.8	17.2	42.3	33.7	3.1	
	リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	5.2	21.7	43.6	28.6
		シスジェンダー・異性愛・女性	557	10.6	33.8	39.1	15.6	0.9
		性的マイノリティ	78	16.7	32.1	29.5	20.5	1.3
		その他	50	12.0	16.0	38.0	30.0	4.0
在勤者・全体		465	13.5	34.2	37.6	14.0	0.6	
年代	18～29 歳	60	35.0	41.7	18.3	5.0	－	
	30 代	90	22.2	30.0	33.3	14.4	－	
	40 代	116	9.5	34.5	39.7	16.4	－	
	50 代	139	2.9	36.0	43.9	16.5	0.7	
	60 歳以上	60	11.7	28.3	45.0	11.7	3.3	
	リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	9.4	24.3	43.1	22.8
		シスジェンダー・異性愛・女性	219	16.9	39.7	35.2	7.3	0.9
		性的マイノリティ	34	20.6	55.9	17.6	5.9	－
		その他	11	－	45.5	45.5	9.1	－
在学者・全体		72	20.8	41.7	20.8	15.3	1.4	
年代	18～29 歳	51	25.5	47.1	11.8	15.7	－	
	30 代	10	20.0	20.0	40.0	20.0	－	
	40 代	4	－	25.0	50.0	25.0	－	
	50 代	6	－	50.0	33.3	－	16.7	
	60 歳以上	1	－	－	100.0	－	－	
	リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	12.5	25.0	50.0
		シスジェンダー・異性愛・女性	51	23.5	47.1	15.7	11.8	2.0
		性的マイノリティ	11	18.2	36.4	45.5	－	－
		その他	2	－	50.0	－	50.0	－

⑧つきまとい行為、ストーカー行為

「つきまとい行為、ストーカー行為」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」と「ときどきある」の合計）は、「区民」では31.3%、「在勤者」では36.8%、「在学者」では45.8%となっている。

図表 109 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：つきまとい行為、ストーカー行為
：単数回答（問 31h）

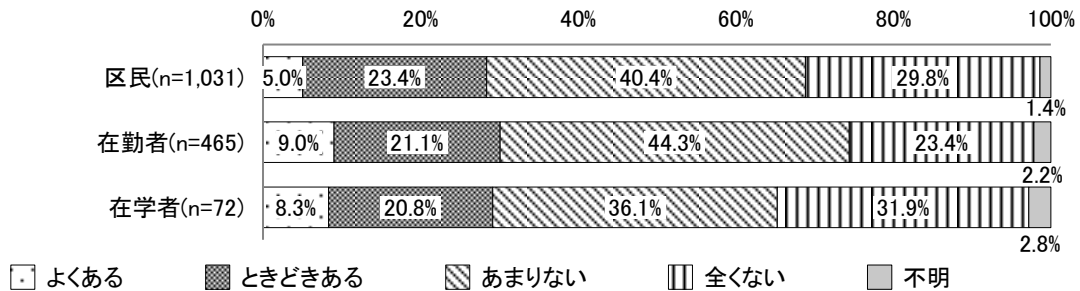


		合計	問 31h.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：つきまとい行為、ストーカー行為(単数回答)					
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明	
区民・全体		1,031	8.1	23.2	45.8	21.6	1.3	
年代	18～29 歳	109	12.8	37.6	33.9	15.6	－	
	30 代	182	14.8	30.2	36.3	17.6	1.1	
	40 代	207	7.7	24.2	49.8	17.9	0.5	
	50 代	242	8.7	25.2	48.3	17.4	0.4	
	60 歳以上	291	2.1	11.0	51.2	32.6	3.1	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	5.5	18.8	46.8	28.0	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	8.1	26.4	47.4	16.9	1.3	
	性的マイノリティ	78	16.7	26.9	35.9	19.2	1.3	
	その他	50	14.0	12.0	36.0	34.0	4.0	
在勤者・全体		465	10.1	26.7	48.2	14.2	0.9	
年代	18～29 歳	60	31.7	30.0	31.7	6.7	－	
	30 代	90	13.3	28.9	43.3	13.3	1.1	
	40 代	116	4.3	28.4	48.3	19.0	－	
	50 代	139	4.3	23.7	57.6	13.7	0.7	
	60 歳以上	60	8.3	23.3	50.0	15.0	3.3	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	7.4	23.3	47.5	21.3	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	11.4	28.3	49.8	9.1	1.4	
	性的マイノリティ	34	20.6	35.3	38.2	5.9	－	
	その他	11	－	36.4	54.5	9.1	－	
在学者・全体		72	13.9	31.9	33.3	18.1	2.8	
年代	18～29 歳	51	15.7	39.2	27.5	15.7	2.0	
	30 代	10	20.0	－	50.0	30.0	－	
	40 代	4	－	25.0	50.0	25.0	－	
	50 代	6	－	33.3	33.3	16.7	16.7	
	60 歳以上	1	－	－	100.0	－	－	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	12.5	25.0	50.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	15.7	37.3	29.4	15.7	2.0	
	性的マイノリティ	11	9.1	27.3	54.5	－	9.1	
	その他	2	－	－	50.0	50.0	－	

⑨覚せい剤などの薬物犯罪

「覚せい剤などの薬物犯罪」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」と「ときどきある」の合計）は、「区民」では28.4%、「在勤者」では30.1%、「在学者」では29.2%となっている。

図表 110 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：覚せい剤などの薬物犯罪：単数回答（問31i）

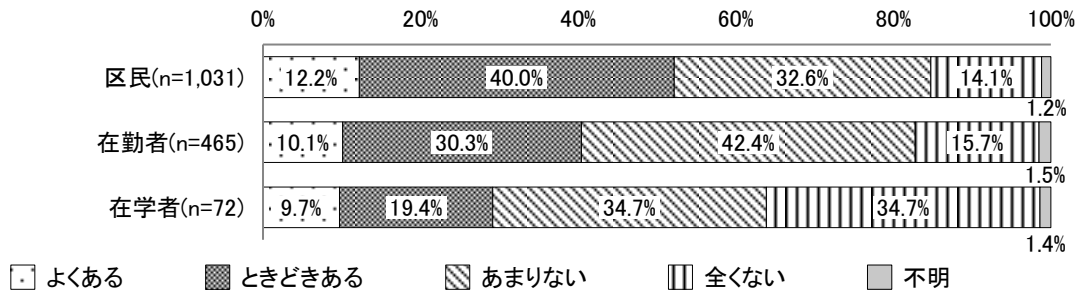


		合計	問 31i.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：覚せい剤などの薬物犯罪(単数回答)					
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明	
区民・全体		1,031	5.0	23.4	40.4	29.8	1.4	
年代	18～29 歳	109	3.7	29.4	33.0	33.9	—	
	30 代	182	7.7	27.5	43.4	20.9	0.5	
	40 代	207	4.8	25.1	44.4	25.1	0.5	
	50 代	242	7.4	26.9	39.3	25.6	0.8	
	60 歳以上	291	2.1	14.4	39.5	40.5	3.4	
リ テ ィ 区 分	セクシ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	5.2	23.1	39.6	30.6	1.4
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	4.3	23.7	41.8	28.9	1.3	
	性的マイノリティ	78	7.7	24.4	39.7	28.2	—	
	その他	50	8.0	20.0	32.0	36.0	4.0	
在勤者・全体		465	9.0	21.1	44.3	23.4	2.2	
年代	18～29 歳	60	16.7	16.7	48.3	18.3	—	
	30 代	90	8.9	16.7	44.4	28.9	1.1	
	40 代	116	8.6	27.6	38.8	22.4	2.6	
	50 代	139	6.5	20.9	46.8	23.7	2.2	
	60 歳以上	60	8.3	20.0	45.0	21.7	5.0	
リ テ ィ 区 分	セクシ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	9.4	22.3	43.1	23.3	2.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	7.3	17.8	47.9	24.2	2.7	
	性的マイノリティ	34	17.6	32.4	29.4	20.6	—	
	その他	11	9.1	36.4	36.4	18.2	—	
在学者・全体		72	8.3	20.8	36.1	31.9	2.8	
年代	18～29 歳	51	9.8	19.6	35.3	33.3	2.0	
	30 代	10	10.0	20.0	40.0	30.0	—	
	40 代	4	—	25.0	25.0	50.0	—	
	50 代	6	—	33.3	33.3	16.7	16.7	
	60 歳以上	1	—	—	100.0	—	—	
リ テ ィ 区 分	セクシ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	37.5	37.5	—	
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	7.8	21.6	37.3	29.4	3.9	
	性的マイノリティ	11	9.1	9.1	45.5	36.4	—	
	その他	2	—	—	50.0	50.0	—	

⑩恐喝・特殊詐欺

「恐喝・特殊詐欺」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」と「ときどきある」の合計）は、「区民」では52.2%、「在勤者」では40.4%、「在学者」では29.2%となっている。

図表 111 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：恐喝・特殊詐欺：単数回答（問31j）

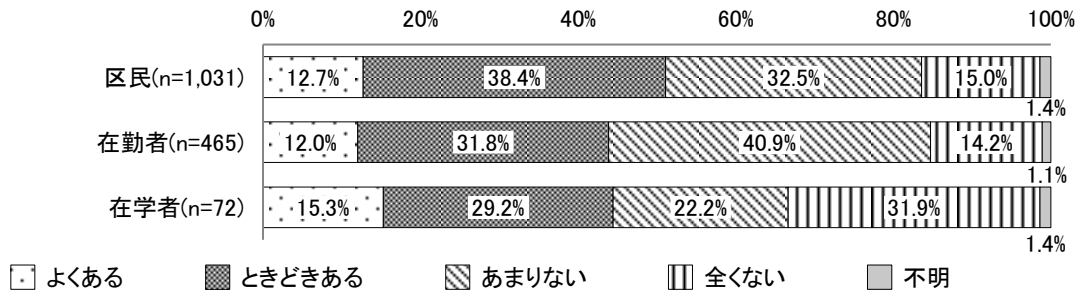


		合計	問31j.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：恐喝・特殊詐欺（単数回答）					
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明	
区民・全体		1,031	12.2	40.0	32.6	14.1	1.2	
年代	18～29 歳	109	6.4	30.3	39.4	23.9	－	
	30 代	182	8.8	35.7	36.3	18.7	0.5	
	40 代	207	12.6	36.2	37.7	12.6	1.0	
	50 代	242	15.7	46.3	30.2	7.9	－	
	60 歳以上	291	13.4	43.6	26.1	13.7	3.1	
	リ テ ィ 区 分	セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	11.0	41.6	30.3	16.2
		シスジェンダー・異性愛・女性	557	12.2	40.8	33.9	11.8	1.3
		性的マイノリティ	78	15.4	30.8	35.9	17.9	－
		その他	50	16.0	34.0	28.0	18.0	4.0
在勤者・全体		465	10.1	30.3	42.4	15.7	1.5	
年代	18～29 歳	60	15.0	28.3	41.7	15.0	－	
	30 代	90	10.0	18.9	45.6	23.3	2.2	
	40 代	116	5.2	31.0	44.0	19.0	0.9	
	50 代	139	11.5	34.5	41.0	11.5	1.4	
	60 歳以上	60	11.7	38.3	38.3	8.3	3.3	
	リ テ ィ 区 分	セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	9.9	31.7	40.1	17.8
		シスジェンダー・異性愛・女性	219	9.6	29.2	42.5	16.0	2.7
		性的マイノリティ	34	17.6	26.5	50.0	5.9	－
		その他	11	－	45.5	54.5	－	－
在学者・全体		72	9.7	19.4	34.7	34.7	1.4	
年代	18～29 歳	51	11.8	15.7	35.3	37.3	－	
	30 代	10	10.0	30.0	30.0	30.0	－	
	40 代	4	－	25.0	25.0	50.0	－	
	50 代	6	－	33.3	33.3	16.7	16.7	
	60 歳以上	1	－	－	100.0	－	－	
	リ テ ィ 区 分	セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	37.5	25.0	25.0
		シスジェンダー・異性愛・女性	51	7.8	19.6	39.2	31.4	2.0
		性的マイノリティ	11	9.1	9.1	27.3	54.5	－
		その他	2	50.0	－	－	50.0	－

⑪悪質商法

「悪質商法」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」と「ときどきある」の合計）は、「区民」では51.1%、「在勤者」では43.9%、「在学者」では44.4%となっている。

図表 112 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：悪質商法：単数回答（問31k）



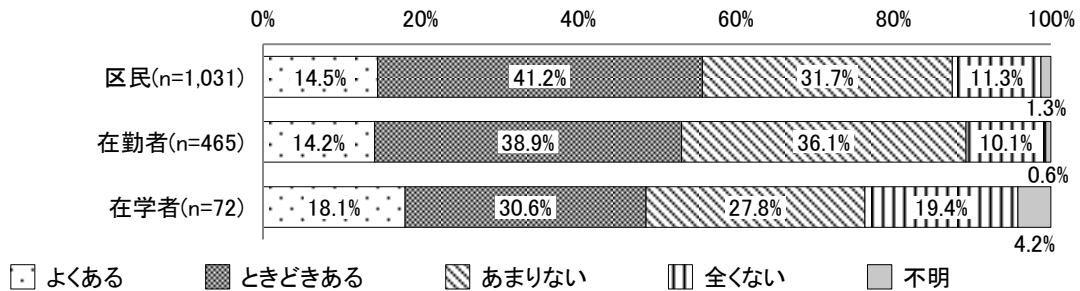
		合計	問 31k.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：悪質商法（単数回答）					
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明	
区民・全体		1,031	12.7	38.4	32.5	15.0	1.4	
年代	18～29 歳	109	8.3	39.4	35.8	16.5	－	
	30 代	182	11.0	39.6	31.9	17.0	0.5	
	40 代	207	14.0	33.3	35.3	15.9	1.4	
	50 代	242	14.9	42.6	30.2	12.0	0.4	
	60 歳以上	291	12.7	37.5	31.6	15.1	3.1	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	11.0	37.9	31.8	17.9	1.4
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	12.7	38.1	34.8	13.1	1.3	
	性的マイノリティ	78	16.7	44.9	24.4	14.1	－	
	その他	50	18.0	36.0	24.0	18.0	4.0	
在勤者・全体		465	12.0	31.8	40.9	14.2	1.1	
年代	18～29 歳	60	18.3	26.7	41.7	11.7	1.7	
	30 代	90	13.3	20.0	48.9	17.8	－	
	40 代	116	7.8	36.2	37.1	18.1	0.9	
	50 代	139	11.5	36.7	38.8	12.2	0.7	
	60 歳以上	60	13.3	35.0	40.0	8.3	3.3	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	10.4	33.7	39.6	16.3	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	12.3	28.8	43.4	14.2	1.4	
	性的マイノリティ	34	23.5	38.2	29.4	2.9	5.9	
	その他	11	－	45.5	45.5	9.1	－	
在学者・全体		72	15.3	29.2	22.2	31.9	1.4	
年代	18～29 歳	51	13.7	27.5	23.5	35.3	－	
	30 代	10	30.0	30.0	20.0	20.0	－	
	40 代	4	－	25.0	25.0	50.0	－	
	50 代	6	16.7	50.0	－	16.7	16.7	
	60 歳以上	1	－	－	100.0	－	－	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	37.5	12.5	37.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	13.7	33.3	23.5	27.5	2.0	
	性的マイノリティ	11	27.3	9.1	27.3	36.4	－	
	その他	2	－	－	－	100.0	－	

⑫危険運転・飲酒運転など悪質な運転行為による交通事故

「危険運転・飲酒運転など悪質な運転行為による交通事故」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」と「ときどきある」の合計）は、「区民」では55.8%、「在勤者」では53.1%、「在学者」では48.6%となっている。

図表 113 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等

：危険運転・飲酒運転など悪質な運転行為による交通事故：単数回答（問 31I）

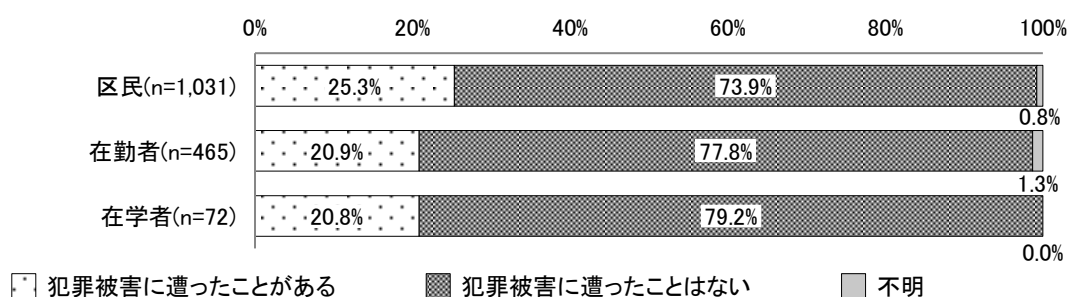


		合計	問 31I.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：危険運転・飲酒運転など悪質な運転行為による交通事故（単数回答）					
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明	
区民・全体		1,031	14.5	41.2	31.7	11.3	1.3	
年代	18～29 歳	109	13.8	41.3	33.9	11.0	－	
	30 代	182	16.5	42.9	29.7	9.9	1.1	
	40 代	207	15.0	43.0	34.3	6.8	1.0	
	50 代	242	16.9	44.2	27.7	10.7	0.4	
	60 歳以上	291	11.3	36.4	33.7	15.8	2.7	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	13.9	37.6	37.3	9.8	1.4
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	14.4	43.4	29.8	11.3	1.1	
	性的マイノリティ	78	21.8	43.6	25.6	9.0	－	
	その他	50	10.0	38.0	24.0	24.0	4.0	
在勤者・全体		465	14.2	38.9	36.1	10.1	0.6	
年代	18～29 歳	60	21.7	36.7	35.0	6.7	－	
	30 代	90	14.4	32.2	40.0	13.3	－	
	40 代	116	12.9	42.2	32.8	12.1	－	
	50 代	139	12.9	41.7	36.0	9.4	－	
	60 歳以上	60	11.7	38.3	38.3	6.7	5.0	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	11.9	41.1	36.1	10.9	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	14.6	34.7	37.9	11.4	1.4	
	性的マイノリティ	34	29.4	47.1	23.5	－	－	
	その他	11	－	63.6	36.4	－	－	
在学者・全体		72	18.1	30.6	27.8	19.4	4.2	
年代	18～29 歳	51	17.6	31.4	27.5	21.6	2.0	
	30 代	10	30.0	20.0	30.0	10.0	10.0	
	40 代	4	－	25.0	50.0	25.0	－	
	50 代	6	16.7	50.0	－	16.7	16.7	
	60 歳以上	1	－	－	100.0	－	－	
リ テ ィ 区 分	セク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	25.0	25.0	25.0	25.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	19.6	33.3	23.5	19.6	3.9	
	性的マイノリティ	11	9.1	27.3	45.5	9.1	9.1	
	その他	2	－	－	50.0	50.0	－	

(2) 自身や家族が犯罪被害に遭った経験

自身や家族が犯罪被害に遭った経験をみると、「犯罪被害に遭ったことがある」割合は、「区民」では 25.3%、「在勤者」では 20.9%、「在学者」では 20.8%となっている。

図表 114 自身や家族が犯罪被害に遭った経験：単数回答（問 32）



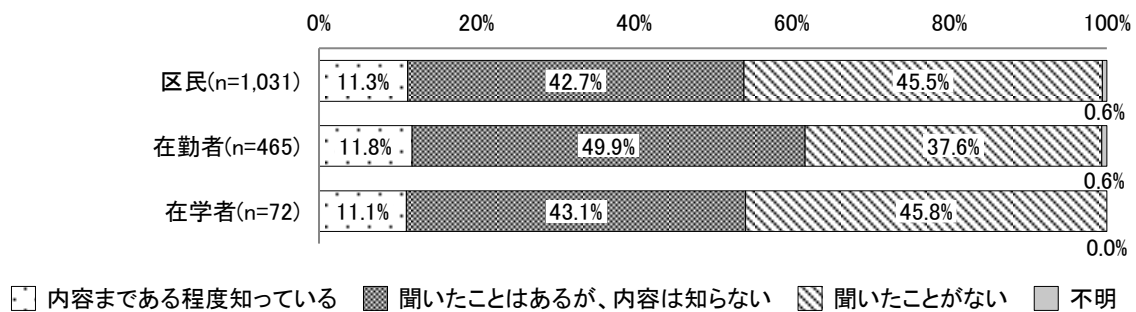
		合計	問 32.自身や家族が犯罪被害に遭った経験(単数回答)		
			犯罪被害に遭ったことがある	犯罪被害に遭ったことはない	不明
区民・全体		1,031	25.3	73.9	0.8
年代	18～29 歳	109	16.5	83.5	—
	30 代	182	33.0	67.0	—
	40 代	207	29.5	70.5	—
	50 代	242	28.1	71.5	0.4
	60 歳以上	291	18.6	79.0	2.4
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	20.2	79.8	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	27.6	71.6	0.7
	性的マイノリティ	78	28.2	71.8	—
	その他	50	30.0	62.0	8.0
在勤者・全体		465	20.9	77.8	1.3
年代	18～29 歳	60	23.3	76.7	—
	30 代	90	24.4	74.4	1.1
	40 代	116	19.8	79.3	0.9
	50 代	139	22.3	76.3	1.4
	60 歳以上	60	11.7	85.0	3.3
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	16.8	82.2	1.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	24.7	73.5	1.8
	性的マイノリティ	34	20.6	79.4	—
	その他	11	18.2	81.8	—
在学者・全体		72	20.8	79.2	—
年代	18～29 歳	51	21.6	78.4	—
	30 代	10	20.0	80.0	—
	40 代	4	25.0	75.0	—
	50 代	6	16.7	83.3	—
	60 歳以上	1	—	100.0	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	—	100.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	23.5	76.5	—
	性的マイノリティ	11	27.3	72.7	—
	その他	2	—	100.0	—

(3) 犯罪被害者等基本法の認知状況

犯罪被害者等基本法の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」の割合は、「区民」では11.3%、「在勤者」では11.8%、「在学者」では11.1%となっている。

「聞いたことはあるが、内容は知らない」とあわせても、犯罪被害者等基本法を認知している割合は5割～6割にとどまっている。

図表 115 犯罪被害者等基本法の認知状況：単数回答（問33）



		合計	問 33.犯罪被害者等基本法の認知状況(単数回答)				
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明	
区民・全体		1,031	11.3	42.7	45.5	0.6	
年代	18～29 歳	109	11.0	26.6	61.5	0.9	
	30 代	182	6.0	36.8	56.6	0.5	
	40 代	207	13.5	37.7	48.8	－	
	50 代	242	14.9	47.1	38.0	－	
	60 歳以上	291	10.0	52.2	36.4	1.4	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	12.7	45.4	41.6	0.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	10.2	41.8	47.8	0.2	
	性的マイノリティ	78	12.8	41.0	44.9	1.3	
	その他	50	10.0	36.0	48.0	6.0	
在勤者・全体		465	11.8	49.9	37.6	0.6	
年代	18～29 歳	60	5.0	36.7	56.7	1.7	
	30 代	90	8.9	38.9	52.2	－	
	40 代	116	13.8	52.6	33.6	－	
	50 代	139	10.8	57.6	30.9	0.7	
	60 歳以上	60	21.7	56.7	20.0	1.7	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	15.8	50.0	33.7	0.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	7.3	52.1	39.7	0.9	
	性的マイノリティ	34	20.6	38.2	41.2	－	
	その他	11	－	45.5	54.5	－	
在学者・全体		72	11.1	43.1	45.8	－	
年代	18～29 歳	51	11.8	39.2	49.0	－	
	30 代	10	－	50.0	50.0	－	
	40 代	4	25.0	25.0	50.0	－	
	50 代	6	16.7	83.3	－	－	
	60 歳以上	1	－	－	100.0	－	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	－	50.0	50.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	11.8	43.1	45.1	－	
	性的マイノリティ	11	9.1	36.4	54.5	－	
	その他	2	50.0	50.0	－	－	

(4) 渋谷区による犯罪被害者等に向けた支援として充実すべきこと

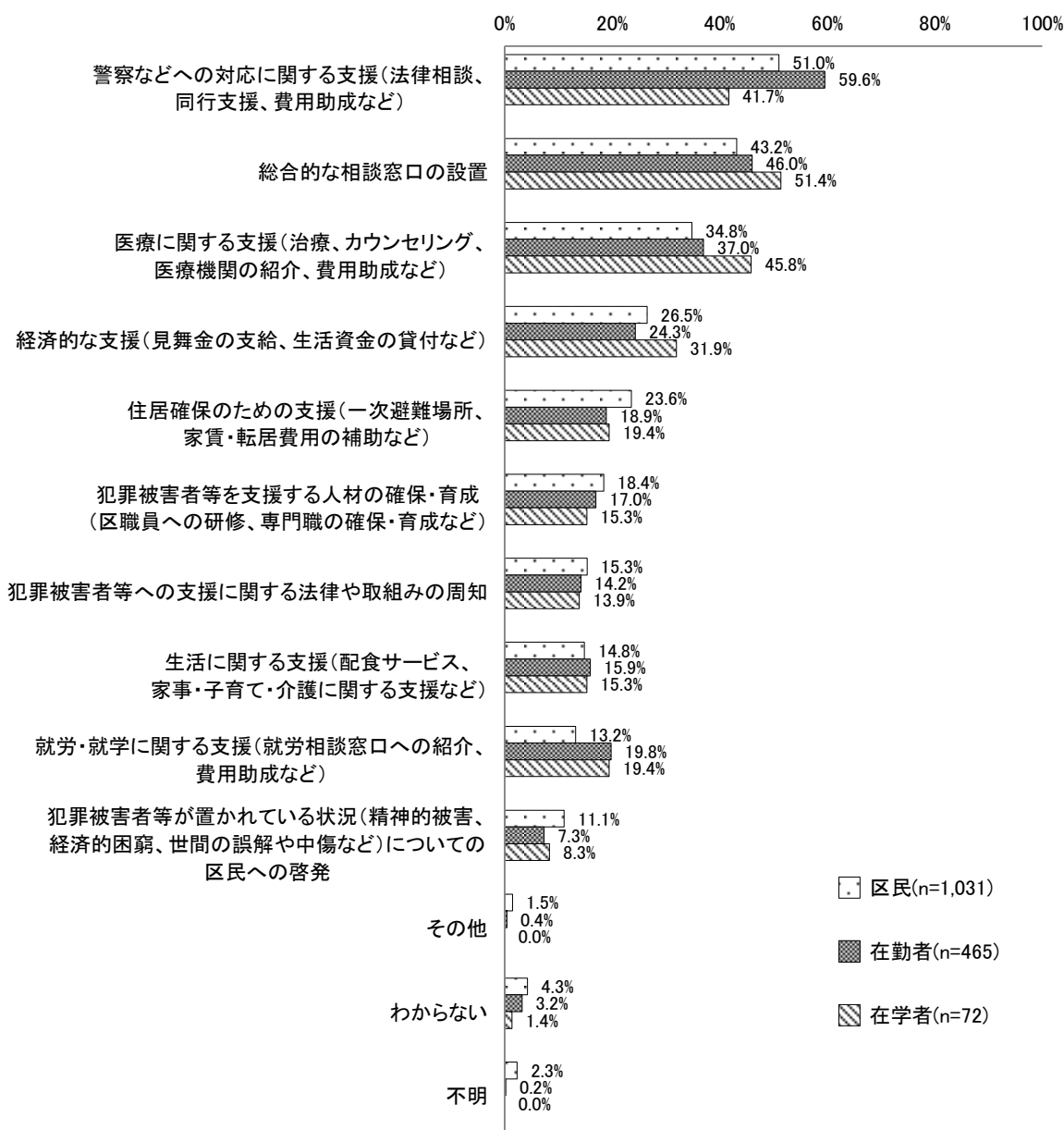
渋谷区による犯罪被害者等に向けた支援として充実すべきことをみると、「区民」では、「警察などへの対応に関する支援（法律相談、同行支援、費用助成など）」が 51.0%でもっとも割合が高く、次いで「総合的な相談窓口の設置」が 43.2%となっている。

「在勤者」では、「警察などへの対応に関する支援（法律相談、同行支援、費用助成など）」が 59.6%でもっとも割合が高く、次いで「総合的な相談窓口の設置」が 46.0%となっている。

「在学者」では、「総合的な相談窓口の設置」が 51.4%でもっとも割合が高く、次いで「医療に関する支援（治療、カウンセリング、医療機関の紹介、費用助成など）」が 45.8%となっている。

「区民」「在勤者」「在学者」のいずれにおいても、被害を受けた際の直接的な支援に関する項目で割合が高くなっている。

図表 116 渋谷区による犯罪被害者等に向けた支援として充実すべきこと：複数回答（問 34）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 34.渋谷区による犯罪被害者等に向けた支援として充実すべきこと(複数回答)						
			警察などへの対応に関する支援(法律相談、同行支援、費用助成など)	総合的な相談窓口の設置	医療に関する支援(治療、カウンセリング、医療機関の紹介、費用助成など)	経済的な支援(見舞金の支給、生活資金の貸付など)	住居確保のための支援(一次避難場所、家賃・転居費用の補助など)	犯罪被害者等を支援する人材の確保・育成(区職員への研修、専門職の確保・育成など)	犯罪被害者等への支援に関する法律や取組みの周知
区民・全体		1,031	51.0	43.2	34.8	26.5	23.6	18.4	15.3
年代	18～29 歳	109	57.8	30.3	34.9	33.9	26.6	17.4	14.7
	30 代	182	54.9	30.8	39.6	25.3	27.5	16.5	14.3
	40 代	207	49.3	44.9	39.6	31.9	29.5	13.5	11.6
	50 代	242	55.0	45.0	33.1	23.6	23.6	19.4	15.3
	60 歳以上	291	44.0	52.9	29.9	23.0	15.8	22.7	18.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	54.9	43.1	31.8	29.8	21.7	17.9	13.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	50.3	45.4	37.5	24.6	24.6	18.5	14.5
	性的マイノリティ	78	47.4	32.1	37.2	32.1	28.2	25.6	25.6
	その他	50	38.0	36.0	22.0	16.0	18.0	10.0	22.0
在勤者・全体		465	59.6	46.0	37.0	24.3	18.9	17.0	14.2
年代	18～29 歳	60	60.0	25.0	35.0	26.7	25.0	11.7	6.7
	30 代	90	50.0	43.3	41.1	25.6	17.8	18.9	8.9
	40 代	116	62.9	50.9	38.8	27.6	14.7	12.9	12.1
	50 代	139	61.9	51.1	38.8	22.3	19.4	21.6	19.4
	60 歳以上	60	61.7	50.0	25.0	18.3	21.7	16.7	21.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	60.9	53.5	35.1	24.8	13.4	14.9	9.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	58.4	39.7	37.9	25.6	24.2	18.3	18.7
	性的マイノリティ	34	61.8	41.2	50.0	17.6	20.6	20.6	8.8
	その他	11	54.5	45.5	9.1	9.1	9.1	18.2	18.2
在学者・全体		72	41.7	51.4	45.8	31.9	19.4	15.3	13.9
年代	18～29 歳	51	37.3	45.1	47.1	37.3	9.8	9.8	15.7
	30 代	10	70.0	80.0	50.0	10.0	30.0	50.0	－
	40 代	4	25.0	75.0	75.0	50.0	25.0	－	25.0
	50 代	6	33.3	50.0	16.7	16.7	66.7	16.7	16.7
	60 歳以上	1	100.0	－	－	－	100.0	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	50.0	75.0	37.5	25.0	12.5	25.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	43.1	47.1	43.1	35.3	23.5	15.7	9.8
	性的マイノリティ	11	36.4	63.6	63.6	18.2	9.1	9.1	36.4
	その他	2	－	－	50.0	50.0	－	－	50.0

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 34.渋谷区による犯罪被害者等に向けた支援として充実すべきこと(複数回答)					
			生活に関する支援(配食サービス、家事・子育て・介護に関する支援など)	就労・就学に関する支援(就労相談窓口への紹介、費用助成など)	犯罪被害者等が置かれている状況(精神的被害、経済的困窮、世間の誤解や中傷など)についての区民への啓発	その他	わからない	不明
区民・全体		1,031	14.8	13.2	11.1	1.5	4.3	2.3
年代	18～29 歳	109	13.8	12.8	11.0	0.9	6.4	0.9
	30 代	182	14.8	16.5	7.7	1.6	5.5	1.6
	40 代	207	15.9	13.0	9.7	1.0	2.9	1.4
	50 代	242	14.9	14.5	12.0	2.5	2.9	0.8
	60 歳以上	291	14.4	10.3	13.4	1.0	4.8	5.2
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	16.8	15.9	11.0	1.4	4.9	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	14.2	10.8	12.4	1.1	3.9	3.1
	性的マイノリティ	78	12.8	17.9	2.6	1.3	1.3	－
	その他	50	12.0	14.0	10.0	6.0	8.0	10.0
在勤者・全体		465	15.9	19.8	7.3	0.4	3.2	0.2
年代	18～29 歳	60	16.7	16.7	6.7	－	10.0	－
	30 代	90	21.1	14.4	8.9	－	2.2	－
	40 代	116	14.7	22.4	6.9	0.9	1.7	－
	50 代	139	10.8	21.6	7.2	0.7	2.2	－
	60 歳以上	60	21.7	21.7	6.7	－	3.3	1.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	20.8	18.3	4.5	0.5	3.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	11.9	20.5	10.5	0.5	2.3	0.5
	性的マイノリティ	34	11.8	23.5	5.9	－	－	－
	その他	11	18.2	27.3	9.1	－	27.3	－
在学者・全体		72	15.3	19.4	8.3	－	1.4	－
年代	18～29 歳	51	19.6	17.6	9.8	－	2.0	－
	30 代	10	－	10.0	－	－	－	－
	40 代	4	－	－	－	－	－	－
	50 代	6	16.7	66.7	－	－	－	－
	60 歳以上	1	－	－	100.0	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	37.5	－	－	－	－	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	9.8	21.6	9.8	－	－	－
	性的マイノリティ	11	27.3	27.3	9.1	－	－	－
	その他	2	－	－	－	－	50.0	－

3-8. 渋谷区の実践について

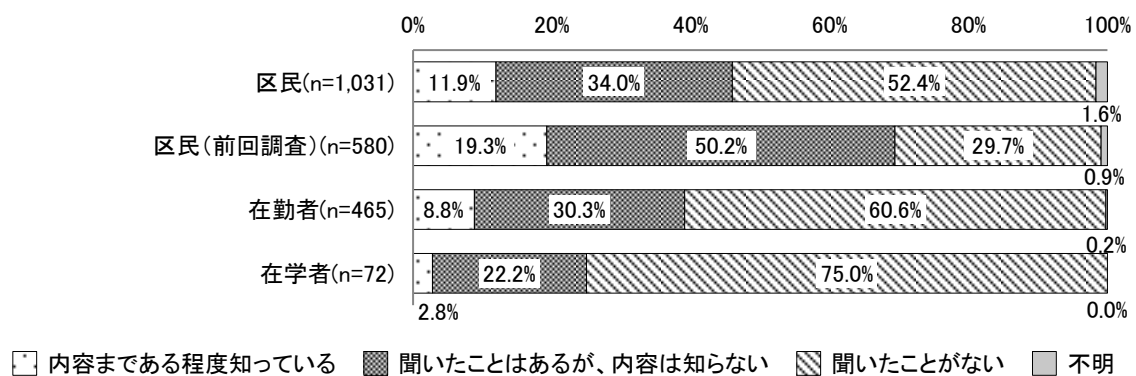
(1) 渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例の認知状況

渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」の割合は、「区民」で11.9%、「在勤者」で8.8%、「在学者」で2.8%となっている。

「在勤者」「在学者」と比較すると「区民」の認知度が高い傾向にあるが、いずれも「聞いたことがない」の割合が半数以上を占め、認知が進んでいない様子がうかがわれる。

「区民」について、前回調査における渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例の認知状況と比較すると、「内容まである程度知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が減少しており、条例の改正が認知されていない可能性がある。

図表 117 渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例の認知状況
：単数回答（問 35）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

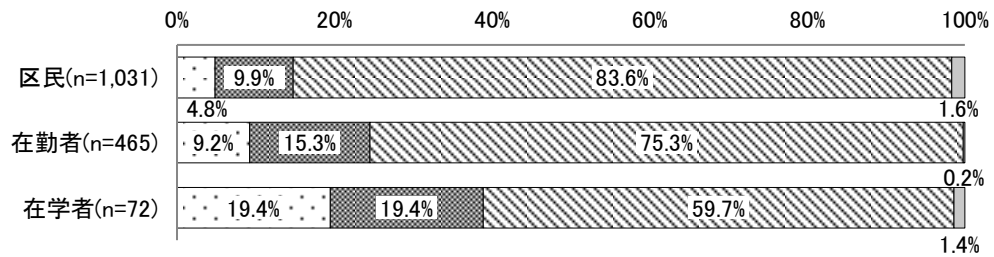
		合計	問 35.渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例の認知状況(単数回答)			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
区民・全体		1,031	11.9	34.0	52.4	1.6
年代	18～29 歳	109	8.3	24.8	67.0	—
	30 代	182	7.1	25.8	67.0	—
	40 代	207	14.0	27.5	57.5	1.0
	50 代	242	14.0	42.1	43.0	0.8
	60 歳以上	291	13.1	40.5	41.9	4.5
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	11.0	32.9	55.5	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	12.2	33.9	52.2	1.6
	性的マイノリティ	78	12.8	39.7	47.4	—
	その他	50	14.0	34.0	40.0	12.0
在勤者・全体		465	8.8	30.3	60.6	0.2
年代	18～29 歳	60	6.7	21.7	71.7	—
	30 代	90	4.4	30.0	65.6	—
	40 代	116	6.9	27.6	65.5	—
	50 代	139	10.1	36.0	54.0	—
	60 歳以上	60	18.3	31.7	48.3	1.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	8.9	28.7	62.4	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	8.2	32.0	59.4	0.5
	性的マイノリティ	34	14.7	35.3	50.0	—
	その他	11	—	18.2	81.8	—
在学者・全体		72	2.8	22.2	75.0	—
年代	18～29 歳	51	2.0	23.5	74.5	—
	30 代	10	—	20.0	80.0	—
	40 代	4	25.0	—	75.0	—
	50 代	6	—	33.3	66.7	—
	60 歳以上	1	—	—	100.0	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	—	12.5	87.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	2.0	23.5	74.5	—
	性的マイノリティ	11	—	27.3	72.7	—
	その他	2	50.0	—	50.0	—

(2) SOGIE という用語の認知状況

SOGIE という用語の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」の割合は、「区民」では 4.8%、「在勤者」では 9.2%、「在学者」では 19.4%となっている。

「区民」「在勤者」と比較すると「在学者」のほうが認知度が高い傾向にあるが、いずれも「聞いたことがない」の割合が半数以上を占め、認知が進んでいない様子が見られる。

図表 118 SOGIE という用語の認知状況：単数回答（問 36）



□ 内容まである程度知っている ▨ 聞いたことはあるが、内容は知らない ▩ 聞いたことがない ■ 不明

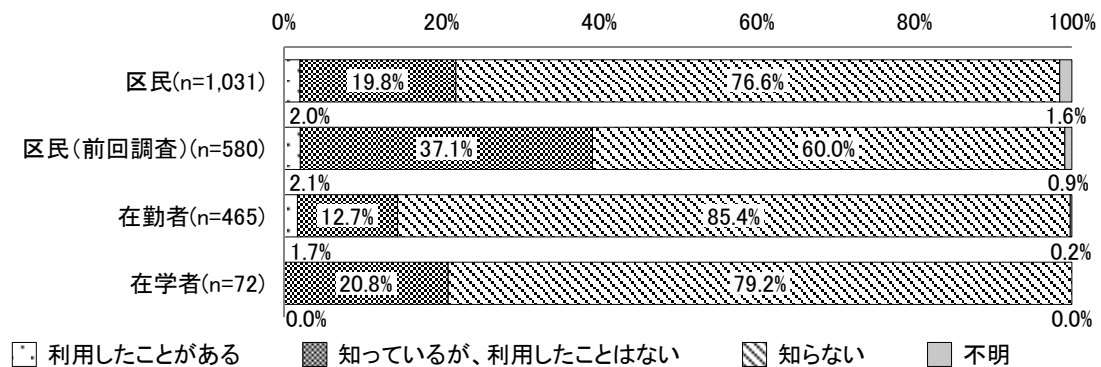
		合計	問 36.SOGIE という用語の認知状況(単数回答)			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
区民・全体		1,031	4.8	9.9	83.6	1.6
年代	18～29 歳	109	5.5	11.9	82.6	－
	30 代	182	3.8	11.0	84.6	0.5
	40 代	207	7.7	6.8	84.5	1.0
	50 代	242	5.4	9.1	85.1	0.4
	60 歳以上	291	2.7	11.3	81.4	4.5
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	346	4.9	11.8	82.7	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	3.9	9.0	85.5	1.6
	性的マイノリティ	78	11.5	9.0	79.5	－
	その他	50	4.0	8.0	76.0	12.0
在勤者・全体		465	9.2	15.3	75.3	0.2
年代	18～29 歳	60	6.7	15.0	78.3	－
	30 代	90	15.6	14.4	70.0	－
	40 代	116	10.3	16.4	73.3	－
	50 代	139	6.5	13.7	79.9	－
	60 歳以上	60	6.7	18.3	73.3	1.7
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	202	8.4	19.3	72.3	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	9.1	13.7	76.7	0.5
	性的マイノリティ	34	14.7	5.9	79.4	－
	その他	11	9.1	9.1	81.8	－
在学者・全体		72	19.4	19.4	59.7	1.4
年代	18～29 歳	51	15.7	23.5	60.8	－
	30 代	10	10.0	20.0	70.0	－
	40 代	4	75.0	－	25.0	－
	50 代	6	33.3	－	50.0	16.7
	60 歳以上	1	－	－	100.0	－
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	12.5	75.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	21.6	21.6	54.9	2.0
	性的マイノリティ	11	9.1	18.2	72.7	－
	その他	2	50.0	－	50.0	－

(3) 渋谷インクルーシブシティセンター<アイリス>の認知状況

渋谷インクルーシブシティセンター<アイリス>の認知状況をみると、知っている割合（「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の合計）は、「区民」では 21.8%、「在勤者」では 14.4%、「在学者」では 20.8%となっている。また、利用したことがある割合はもっとも高い「区民」で 2.0%と、一部にとどまっている。

「区民」について前回調査における渋谷男女平等・ダイバーシティセンター<アイリス>の認知状況と比較すると、知っている割合が減少しており、センターの名称変更について認知されていない可能性がある。

図表 119 渋谷インクルーシブシティセンター<アイリス>の認知状況：単数回答（問 37）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 37.渋谷インクルーシブシティセンター<アイリス>の認知状況 (単数回答)			
			利用したこと がある	知っている が、利用した ことはない	知らない	不明
区民・全体		1,031	2.0	19.8	76.6	1.6
年代	18～29 歳	109	2.8	11.9	85.3	—
	30 代	182	1.6	12.1	86.3	—
	40 代	207	1.0	21.3	76.8	1.0
	50 代	242	3.3	24.0	72.3	0.4
	60 歳以上	291	1.7	23.0	70.8	4.5
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	1.7	12.7	85.0	0.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	1.8	23.9	72.9	1.4
	性的マイノリティ	78	6.4	23.1	70.5	—
	その他	50	—	18.0	70.0	12.0
在勤者・全体		465	1.7	12.7	85.4	0.2
年代	18～29 歳	60	1.7	8.3	90.0	—
	30 代	90	3.3	8.9	87.8	—
	40 代	116	—	15.5	84.5	—
	50 代	139	0.7	13.7	85.6	—
	60 歳以上	60	5.0	15.0	78.3	1.7
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	1.5	15.8	82.7	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	1.8	10.0	87.7	0.5
	性的マイノリティ	34	2.9	14.7	82.4	—
	その他	11	—	9.1	90.9	—
在学者・全体		72	—	20.8	79.2	—
年代	18～29 歳	51	—	19.6	80.4	—
	30 代	10	—	10.0	90.0	—
	40 代	4	—	25.0	75.0	—
	50 代	6	—	33.3	66.7	—
	60 歳以上	1	—	100.0	—	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	—	—	100.0	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	—	21.6	78.4	—
	性的マイノリティ	11	—	27.3	72.7	—
	その他	2	—	50.0	50.0	—

(4) 渋谷区パートナーシップ証明制度について

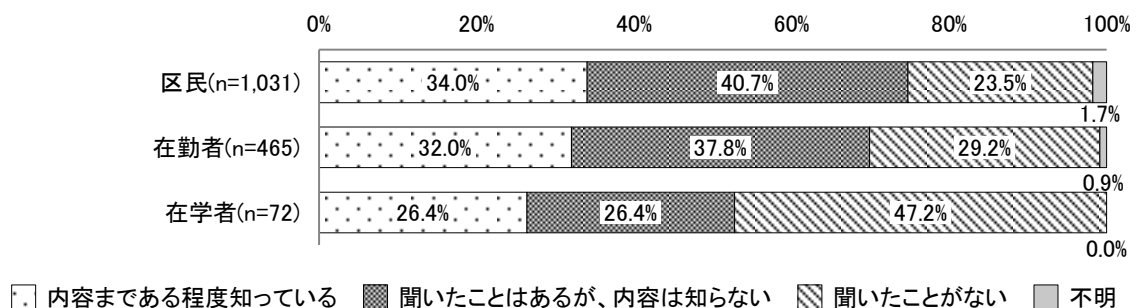
①渋谷区パートナーシップ証明制度の認知状況

渋谷区パートナーシップ証明制度の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」の割合は、「区民」では34.0%、「在勤者」では32.0%、「在学者」では26.4%となっている。

「聞いたことはあるが、内容は知らない」とあわせると、「区民」では7割以上が渋谷区パートナーシップ証明制度を認知している。

「内容まである程度知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない」の合計は、「区民」は前回調査で84.3%、本調査で74.8%、「在勤者」は前回調査で77.0%、本調査で69.9%であり、引き続き高水準ではあるものの、認知度が低下している。性的マイノリティという用語の認知状況は「区民」「在勤者」において向上しているが、具体的な制度への認知までは進んでいない様子がうかがえる。

図表 120 渋谷区パートナーシップ証明制度の認知状況：単数回答（問38）



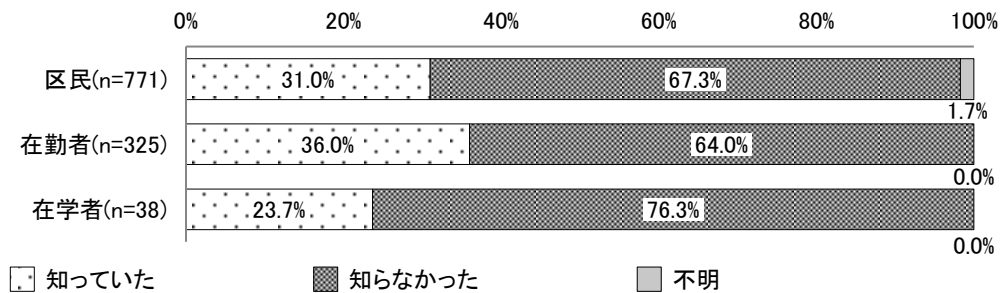
3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 38.渋谷区パートナーシップ証明制度の認知状況(単数回答)			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
区民・全体		1,031	34.0	40.7	23.5	1.7
年代	18～29 歳	109	31.2	29.4	36.7	2.8
	30 代	182	24.2	42.3	33.5	—
	40 代	207	42.5	38.6	17.9	1.0
	50 代	242	38.0	46.3	15.7	—
	60 歳以上	291	32.0	40.9	22.7	4.5
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	30.3	39.9	28.9	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	33.6	44.0	20.6	1.8
	性的マイノリティ	78	61.5	25.6	12.8	—
	その他	50	22.0	34.0	34.0	10.0
在勤者・全体		465	32.0	37.8	29.2	0.9
年代	18～29 歳	60	28.3	20.0	51.7	—
	30 代	90	38.9	35.6	25.6	—
	40 代	116	27.6	42.2	30.2	—
	50 代	139	33.8	43.2	22.3	0.7
	60 歳以上	60	30.0	38.3	26.7	5.0
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	24.8	33.2	42.1	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	36.5	43.4	18.3	1.8
	性的マイノリティ	34	50.0	29.4	20.6	—
	その他	11	18.2	45.5	36.4	—
在学者・全体		72	26.4	26.4	47.2	—
年代	18～29 歳	51	25.5	19.6	54.9	—
	30 代	10	40.0	30.0	30.0	—
	40 代	4	50.0	50.0	—	—
	50 代	6	—	66.7	33.3	—
	60 歳以上	1	—	—	100.0	—
リ テ ィ 区 分 セ ク シ ュ ア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	12.5	25.0	62.5	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	21.6	29.4	49.0	—
	性的マイノリティ	11	54.5	18.2	27.3	—
	その他	2	50.0	—	50.0	—

②渋谷区パートナーシップ証明制度が異性カップルも対象になったことの認知状況

渋谷区パートナーシップ証明制度を「内容まである程度知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない」者について、異性カップルも対象になったことの認知状況をみると、「知っていた」割合は、「区民」では 31.0%、「在勤者」では 36.0%、「在学者」では 23.7%となっている。

図表 121 渋谷区パートナーシップ証明制度が異性カップルも対象になったことの認知状況
：単数回答（問 39）

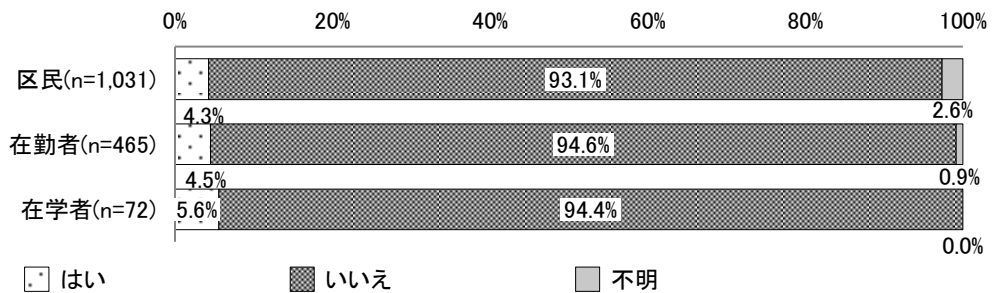


		合計	問 39.渋谷区パートナーシップ証明制度が異性カップルも対象になったことの認知状況(単数回答)		
			知っていた	知らなかった	不明
区民・全体		771	31.0	67.3	1.7
年代	18～29 歳	66	30.3	69.7	－
	30 代	121	24.0	76.0	－
	40 代	168	29.2	69.0	1.8
	50 代	204	36.8	62.3	1.0
	60 歳以上	212	31.1	65.1	3.8
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	243	31.3	68.3	0.4
	シスジェンダー・異性愛・女性	432	29.2	68.3	2.5
	性的マイノリティ	68	33.8	64.7	1.5
	その他	28	50.0	50.0	－
在勤者・全体		325	36.0	64.0	－
年代	18～29 歳	29	10.3	89.7	－
	30 代	67	37.3	62.7	－
	40 代	81	35.8	64.2	－
	50 代	107	40.2	59.8	－
	60 歳以上	41	41.5	58.5	－
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	117	41.0	59.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	175	33.7	66.3	－
	性的マイノリティ	27	37.0	63.0	－
	その他	7	14.3	85.7	－
在学者・全体		38	23.7	76.3	－
年代	18～29 歳	23	26.1	73.9	－
	30 代	7	28.6	71.4	－
	40 代	4	25.0	75.0	－
	50 代	4	－	100.0	－
	60 歳以上	－	－	－	－
リ テ ィ 区 分	セクシュア シスジェンダー・異性愛・男性	3	33.3	66.7	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	26	15.4	84.6	－
	性的マイノリティ	8	37.5	62.5	－
	その他	1	100.0	－	－

(5) 渋谷区役所や区の関連施設・教育機関の利用時に、ジェンダーやセクシュアリティに関する配慮が十分でないと感じた経験

渋谷区役所や区の関連施設・教育機関の利用時に、ジェンダーやセクシュアリティに関する配慮が十分でないと感じた経験をみると、経験がある割合(「はい」の割合)は、「区民」では4.3%、「在勤者」では4.5%、「在学者」では5.6%と、経験がない割合が9割以上となっている。

図表 122 渋谷区役所や区の関連施設・教育機関の利用時に、ジェンダーやセクシュアリティに関する配慮が十分でないと感じた経験：単数回答(問40)



			問 40. 渋谷区役所や区の関連施設・教育機関の利用時に、ジェンダーやセクシュアリティに関する配慮が十分でないと感じた経験（単数回答）			
		合計	はい	いいえ	不明	
区民・全体		1,031	4.3	93.1	2.6	
年代	18～29 歳	109	2.8	96.3	0.9	
	30 代	182	6.0	93.4	0.5	
	40 代	207	4.8	92.3	2.9	
	50 代	242	4.5	94.2	1.2	
	60 歳以上	291	3.1	91.4	5.5	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	346	2.0	97.1	0.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	5.0	92.1	2.9	
	性的マイノリティ	78	9.0	89.7	1.3	
	その他	50	4.0	82.0	14.0	
在勤者・全体		465	4.5	94.6	0.9	
年代	18～29 歳	60	8.3	90.0	1.7	
	30 代	90	2.2	97.8	－	
	40 代	116	6.0	94.0	－	
	50 代	139	3.6	95.7	0.7	
	60 歳以上	60	3.3	93.3	3.3	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	202	3.0	96.0	1.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	5.5	93.6	0.9	
	性的マイノリティ	34	8.8	91.2	－	
	その他	11	－	100.0	－	
在学者・全体		72	5.6	94.4	－	
年代	18～29 歳	51	5.9	94.1	－	
	30 代	10	10.0	90.0	－	
	40 代	4	－	100.0	－	
	50 代	6	－	100.0	－	
	60 歳以上	1	－	100.0	－	
リ テ ィ 区 分	セクシュア	シスジェンダー・異性愛・男性	8	－	100.0	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	3.9	96.1	－	
	性的マイノリティ	11	18.2	81.8	－	
	その他	2	－	100.0	－	

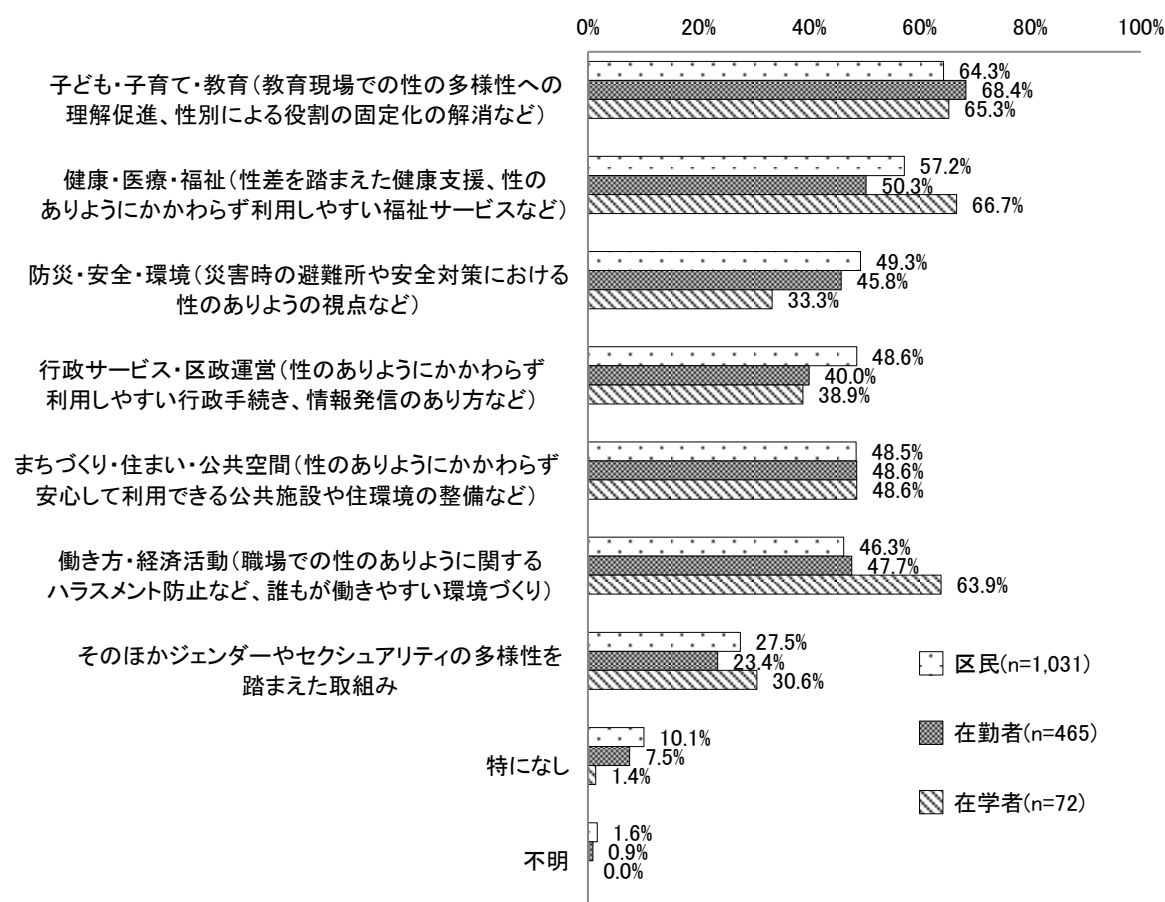
(6) ジェンダーやセクシュアリティの視点において、渋谷区が力を入れて取組むとよいと思うこと

ジェンダーやセクシュアリティの視点において、渋谷区が力を入れて取組むとよいと思うことをみると、「区民」では、「子ども・子育て・教育（教育現場での性の多様性への理解促進、性別による役割の固定化の解消など）」が 64.3%でもっとも割合が高く、次いで「健康・医療・福祉（性差を踏まえた健康支援、性のありようにかかわらず利用しやすい福祉サービスなど）」が 57.2%となっている。

「在勤者」では、「子ども・子育て・教育（教育現場での性の多様性への理解促進、性別による役割の固定化の解消など）」が 68.4%でもっとも割合が高く、次いで「健康・医療・福祉（性差を踏まえた健康支援、性のありようにかかわらず利用しやすい福祉サービスなど）」が 50.3%となっている。

「在学者」では、「健康・医療・福祉（性差を踏まえた健康支援、性のありようにかかわらず利用しやすい福祉サービスなど）」が 66.7%でもっとも割合が高く、次いで「子ども・子育て・教育（教育現場での性の多様性への理解促進、性別による役割の固定化の解消など）」が 65.3%となっている。また、「働き方・経済活動（職場での性のありように関するハラスメント防止など、誰もが働きやすい環境づくり）」も 63.9%と高くなっている。

図表 123 ジェンダーやセクシュアリティの視点において、渋谷区が力を入れて取組むとよいと思うこと：複数回答（問 41-1 ①）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 41-1①. ジェンダーやセクシュアリティの視点において、渋谷区が力を入れて取り組むとよいと思うこと(複数回答)				
			子ども・子育て・教育 (教育現場での性の多様性への理解促進、性別による役割の固定化の解消など)	子ども・子育て・教育 (性差を踏まえた健康支援、性のありようにかかわらず利用しやすい福祉サービスなど)	健康・医療・福祉 (性差を踏まえた健康支援、性のありようにかかわらず利用しやすい福祉サービスなど)	防災・安全・環境 (災害時の避難所や安全対策における性のありようの視点など)	行政サービス・区政運営 (性のありようにかかわらず利用しやすい行政手続き、情報発信のあり方など)
区民・全体		1,031	64.3	57.2	49.3	48.6	48.5
年代	18～29 歳	109	65.1	44.0	40.4	50.5	49.5
	30 代	182	72.0	53.3	46.7	46.2	46.2
	40 代	207	63.8	56.5	47.8	50.2	52.2
	50 代	242	65.7	59.1	53.7	45.5	45.5
	60 歳以上	291	58.4	63.6	51.5	50.9	49.5
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	346	64.7	50.6	43.4	46.5	46.8
	シスジェンダー・異性愛・女性	557	65.9	61.4	54.4	50.4	50.8
	性的マイノリティ	78	62.8	60.3	43.6	55.1	44.9
	その他	50	46.0	52.0	42.0	32.0	40.0
在勤者・全体		465	68.4	50.3	45.8	40.0	48.6
年代	18～29 歳	60	48.3	46.7	30.0	33.3	43.3
	30 代	90	72.2	40.0	47.8	37.8	46.7
	40 代	116	66.4	45.7	37.9	36.2	49.1
	50 代	139	74.1	57.6	51.8	43.2	51.1
	60 歳以上	60	73.3	61.7	60.0	50.0	50.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	202	73.8	51.0	46.0	40.6	52.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	219	65.3	51.6	44.3	40.2	45.7
	性的マイノリティ	34	67.6	44.1	52.9	35.3	55.9
	その他	11	27.3	27.3	45.5	36.4	18.2
在学者・全体		72	65.3	66.7	33.3	38.9	48.6
年代	18～29 歳	51	60.8	62.7	27.5	31.4	37.3
	30 代	10	60.0	70.0	50.0	60.0	70.0
	40 代	4	100.0	75.0	25.0	25.0	50.0
	50 代	6	83.3	83.3	50.0	66.7	100.0
	60 歳以上	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	100.0	62.5	25.0	62.5	50.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	51	60.8	64.7	31.4	31.4	43.1
	性的マイノリティ	11	63.6	81.8	36.4	54.5	72.7
	その他	2	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 41-1①. ジェンダーやセクシュアリティの視点において、渋谷区が力を入れて取り組むとよいと思うこと(複数回答)			
			境づくり) （職場での性のありように 関するハラスメント防止な ど、誰もが働きやすい環	働き方・経済活動	そのほかジェンダーやセク シュアリティの多様性を踏 まえた取組み	特になし
区民・全体		1,031	46.3	27.5	10.1	1.6
年代	18～29 歳	109	44.0	24.8	13.8	1.8
	30 代	182	49.5	22.5	8.8	－
	40 代	207	50.2	30.0	10.1	1.4
	50 代	242	45.0	30.2	11.2	1.7
	60 歳以上	291	43.3	27.8	8.6	2.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	346	44.8	26.0	14.2	1.2
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	557	48.8	29.1	6.3	2.0
	性的マイノリティ	78	46.2	32.1	6.4	1.3
	その他	50	28.0	14.0	30.0	2.0
在勤者・全体		465	47.7	23.4	7.5	0.9
年代	18～29 歳	60	45.0	20.0	13.3	－
	30 代	90	55.6	23.3	6.7	－
	40 代	116	45.7	24.1	10.3	0.9
	50 代	139	44.6	23.7	6.5	0.7
	60 歳以上	60	50.0	25.0	－	3.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	202	44.6	24.3	7.9	1.0
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	219	52.1	22.4	5.9	0.9
	性的マイノリティ	34	50.0	32.4	5.9	－
	その他	11	9.1	－	45.5	－
在学者・全体		72	63.9	30.6	1.4	－
年代	18～29 歳	51	60.8	21.6	2.0	－
	30 代	10	60.0	60.0	－	－
	40 代	4	100.0	50.0	－	－
	50 代	6	66.7	33.3	－	－
	60 歳以上	1	100.0	100.0	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	8	62.5	62.5	－	－
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	51	62.7	25.5	2.0	－
	性的マイノリティ	11	63.6	36.4	－	－
	その他	2	100.0	－	－	－

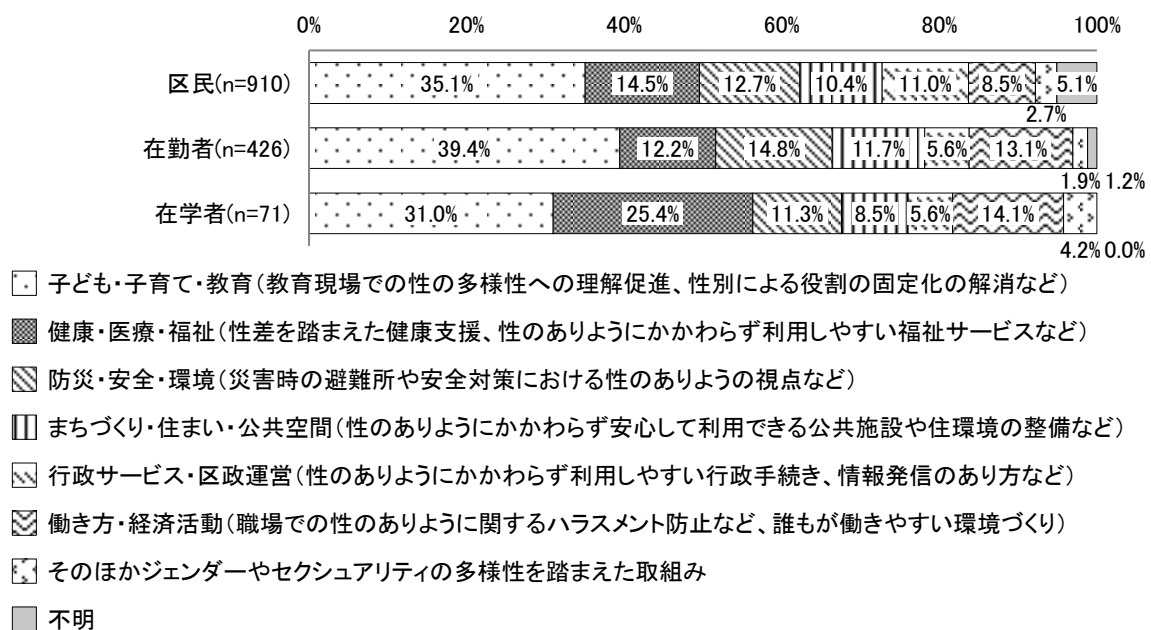
(7) 渋谷区が取組むとよいと思うことのうち、最も重視すること

渋谷区が取組むとよいと思うこととして、何らかの取組みを挙げた者について、そのうちもっとも重視することをみると、「区民」では、「子ども・子育て・教育（教育現場での性の多様性への理解促進、性別による役割の固定化の解消など）」が 35.1%でもっとも割合が高く、次いで「健康・医療・福祉（性差を踏まえた健康支援、性のありようにかかわらず利用しやすい福祉サービスなど）」が 14.5%となっている。

「在勤者」では、「子ども・子育て・教育（教育現場での性の多様性への理解促進、性別による役割の固定化の解消など）」が 39.4%でもっとも割合が高く、次いで「防災・安全・環境（災害時の避難所や安全対策における性のありようの視点など）」が 14.8%となっている。

「在学者」では、「子ども・子育て・教育（教育現場での性の多様性への理解促進、性別による役割の固定化の解消など）」が 31.0%でもっとも割合が高く、次いで「健康・医療・福祉（性差を踏まえた健康支援、性のありようにかかわらず利用しやすい福祉サービスなど）」が 25.4%となっている。

図表 124 渋谷区が取組むとよいと思うことのうち、最も重視すること：単数回答（問 41-1 ②）



3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 41-1②.渋谷区が取組むとよいと思うことのうち、最も重視すること(単数回答)			
			子ども・子育て・教育 (教育現場での性の多様 性への理解促進、性別によ る役割の固定化の解消な ど)	健康・医療・福祉 (性差を踏まえた健康支 援、性のありようにかか らず利用しやすい福祉 サービスなど)	防災・安全・環境 (災害時の避難所や安全 対策における性のありよ うの視点など)	行政サービス・区政運営 (性のありようにかかわら ず利用しやすい行政手続 き、情報発信のあり方な ど)
区民・全体		910	35.1	14.5	12.7	11.0
年代	18～29 歳	92	34.8	7.6	7.6	15.2
	30 代	166	47.0	6.0	10.8	9.6
	40 代	183	42.6	10.9	10.9	12.0
	50 代	211	27.5	19.0	17.5	10.0
	60 歳以上	258	28.3	21.3	13.2	10.5
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	293	36.9	10.9	10.6	10.2
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	511	35.4	16.2	13.7	11.7
	性的マイノリティ	72	31.9	11.1	15.3	12.5
	その他	34	20.6	26.5	11.8	2.9
在勤者・全体		426	39.4	12.2	14.8	5.6
年代	18～29 歳	52	23.1	11.5	13.5	7.7
	30 代	84	50.0	8.3	13.1	4.8
	40 代	103	50.5	9.7	7.8	3.9
	50 代	129	34.9	16.3	15.5	5.4
	60 歳以上	58	29.3	13.8	29.3	8.6
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	184	41.8	12.5	11.4	6.0
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	204	38.7	12.7	18.1	5.4
	性的マイノリティ	32	31.3	6.3	9.4	3.1
	その他	6	33.3	16.7	33.3	16.7
在学者・全体		71	31.0	25.4	11.3	5.6
年代	18～29 歳	50	32.0	28.0	10.0	4.0
	30 代	10	10.0	20.0	10.0	20.0
	40 代	4	50.0	25.0	－	－
	50 代	6	33.3	16.7	33.3	－
	60 歳以上	1	100.0	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・ 異性愛・男性	8	25.0	25.0	－	25.0
	シスジェンダー・ 異性愛・女性	50	36.0	24.0	12.0	4.0
	性的マイノリティ	11	18.2	36.4	9.1	－
	その他	2	－	－	50.0	－

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

		合計	問 41-1②.渋谷区が取組むとよいと思うことのうち、最も重視すること(単数回答)			
			備 な る 公 共 施 設 や 住 環 境 の 整 備 な ど	ま ち づ く り ・ 住 ま い ・ 公 共 空 間 (性 の あ り よ う に か わ ら ず 安 心 し て 利 用 で き る 公 共 施 設 や 住 環 境 の 整 備 な ど)	境 づ く り (職 場 で の 性 の あ り よ う に 関 連 す る ハ ラ ス メ ン ト 防 止 な ど、 誰 も が 働 き や す い 環 境 づ く り)	働 き 方 ・ 経 済 活 動 (職 場 で の 性 の あ り よ う に 関 連 す る ハ ラ ス メ ン ト 防 止 な ど、 誰 も が 働 き や す い 環 境 づ く り)
区民・全体		910	10.4	8.5	2.7	5.1
年代	18～29 歳	92	16.3	12.0	2.2	4.3
	30 代	166	12.7	7.2	3.0	3.6
	40 代	183	9.8	8.7	2.7	2.2
	50 代	211	7.6	8.5	4.3	5.7
	60 歳以上	258	9.7	7.8	1.6	7.8
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	293	14.7	8.5	3.4	4.8
	シスジェンダー・異性愛・女性	511	8.0	8.8	1.8	4.3
	性的マイノリティ	72	8.3	8.3	6.9	5.6
	その他	34	14.7	2.9	2.9	17.6
在勤者・全体		426	11.7	13.1	1.9	1.2
年代	18～29 歳	52	17.3	23.1	3.8	－
	30 代	84	8.3	13.1	2.4	－
	40 代	103	11.7	12.6	1.9	1.9
	50 代	129	13.2	10.9	1.6	2.3
	60 歳以上	58	8.6	10.3	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	184	12.5	12.5	1.1	2.2
	シスジェンダー・異性愛・女性	204	10.8	11.8	2.0	0.5
	性的マイノリティ	32	15.6	28.1	6.3	－
	その他	6	－	－	－	－
在学者・全体		71	8.5	14.1	4.2	－
年代	18～29 歳	50	8.0	14.0	4.0	－
	30 代	10	20.0	10.0	10.0	－
	40 代	4	－	25.0	－	－
	50 代	6	－	16.7	－	－
	60 歳以上	1	－	－	－	－
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	8	－	12.5	12.5	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	50	8.0	16.0	－	－
	性的マイノリティ	11	18.2	－	18.2	－
	その他	2	－	50.0	－	－

3-9. 自由回答記述一覧（一部抜粋）

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	F2.職業(その他)
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	病院長
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	団体職員
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	離職中
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	大学教員
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	大学教員
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	大学教員
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	学校職員
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	教員
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	年金生活者
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	委任契約者
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	教員
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	フリーライター
区民	18～29歳	クエスチョニング／クイア	フリーランス
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	大学教員
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	会社役員
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	社外監査役
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	主婦
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	学校法人顧問
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	地方公務員
区民	60歳以上	質問の意味が分からない	学校法人職員
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	年金
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	臨時職員
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	役員
区民	60歳以上	シスジェンダー・ゲイ男性	調理人
区民	60歳以上	その他	自営業手伝い
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	常勤の嘱託教員
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	専門学校・教職
在勤者	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	教員
在勤者	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	常勤の継続雇用社員
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	団体職員
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	教員

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	F4.配偶者・パートナーの職業(その他)
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	定年退職により無職
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	年金生活者
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	正社員と不動産業
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	大学教員
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	国家公務員
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	医師
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	医療系専門職
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	海外赴任
在勤者	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	取締役

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査方法	年代	セクシュアリティ区分	F5.同居している家族・親族等(その他)
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	猫
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	内縁
区民	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	シェアハウス
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	義息子
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・男性	彼女
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	猫
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	知人
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	犬
区民	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	婚約者
区民	18～29歳	エイセクシュアル	友人
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	配偶者の姉
区民	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	婚約者
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	入院中
在勤者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	友人
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	犬
在学者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	他の学生
在学者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・男性	姪

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 2-2. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について賛成する理由(その他)
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	子供には母親が必要だと思うから。
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・男性	どちらかが働こうが、どちらも働こうが本人達が決まればいいこと。選択肢からえらぶとしたらで、選んだまで
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	向いているかの以前に十分な世帯収入があれば女性は子育てをしたいのではないかなと思う
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・女性	家事や育児など、男性もやるようにはなってきたが、まだまだやらない人も多い
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	出産のために仕事ができない期間があるから。子育てを蔑ろにしてほしくないから。
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子育てのある一定期間は仕事との両立が難しいと思います。会社側の理解があっても同僚に負担がかかるのと手のかかる子供が小さい間は親の愛情や向かい合う時間があつた方が良いと思うので女性、男性に関係なく収入の問題や子育てに向いている方がその間、家庭に比重を置いた方が良いと思うから。
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	仕事は利益を得なければならぬ過酷だから
区民	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・男性	基本的に家庭ごとで決めればよいが、昔のほうが出生率が高かったため、日本国の未来を考えるのであれば一つの考えではないか。
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	どちらか親が家にいて子育てした方が良い。
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	共働きでは子の成長において子どもに躰寄せがいくのでどちらかが家庭に重きをおいた方が良いと思うので。
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	日本の子育てと介護への文化と環境と仕組みが変わらないから。介護は委託した方が良いが、子育てはお金をかけられないなら、母親が責任を持って行う方が今はまだ良いと思う。
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	子供にとって母の愛は何にもかえられない重要なものだから
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	少子化対策
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	考え方は自由だから各自好きにすればよい

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 2-2. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について賛成する理由(その他)
区民	50 代	トランスジェンダー・エイセクシュアル	時と場合による
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	ケースバイケースで自分に一番合った方法を選ぶのがよい
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	幼い頃は特に母親の愛情が子供の成長にとって重要
区民	50 代	質問の意味が分からない	仕事の負担度が男性の方が高いから
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	子育てでは毎日母親が一番必要
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	収入が多い方が働けばいい
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	2 人で話し合い選択した。妊活のため。どちらでも良いと思っている。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	日本の教育だから
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	収入はないが家庭のことは生きていく上で立派な仕事だと思うから
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	共働きより幼い子にとって親子の信頼関係を深く築けるから
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	自身の配偶者は、可能なら仕事をやめて家事、育児に専念することを希望しているから、仕事を押しつけたくない
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	自分が家事が好きだから
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	何事も決めつけて考えない方がよいのでは。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	それで過ごして来たから
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子供にとっては父親よりも母親のほうが、親しみ、相談しやすさ等の距離感が近い印象があるため。
在勤者	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	出産までどちらが何の役割であるべき、というのはないが、出産があれば、その役割分担となってしまうのが現実的では、と考えるため。
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	完全に分けるのではなく、向き・不向きや生活スタイルの中である程度分担したほうが良いと感じる。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	出産、子育ての負担は重く、男性が働きながら、家事を手伝うのが良いと考えられるため。ただし、女性が働きたい場合は、当然、考慮すべき。
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	お互いの価値観と状況次第。最近は女性に働け(働くのが当たり前)という一種の圧力さえ感じる。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	我が家の場合に限るが子供と母親のつながりが強く、子供と少しでも多くの時間を共にして欲しいから。
在勤者	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	それぞれの家庭や考えに違いがあるのは当たり前なので、各々が向いていることをやればよいとは思いますが、圧倒的体力の差を感じる。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子供の育成のために、帰ってくるときに片親は家にいた方がいいと思う。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	正社員で働いているから！という理由で対等を求められ、家事・子育て 50 対 50 で求められる。所得も業務時間も全く違うので、我が家では弊害が出ている。子供が中学生くらいまでは子育てに専念して欲しいのが正直なところ。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 2-3. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について反対する理由(その他)
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	子供を産むのは女性というのは生物的に変えられないが、仕事や家庭は家庭状況や家計的によって変えることができるため。
区民	50 代	クエスチョニング／クイア	考え方自体がおかしい
区民	30 代	クエスチョニング／クイア	自分の好きに生きたら良いと思う
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	お互いに思いやって出来ることがいいと思う
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	性別にかかわることに限らず、自由な考え方で世界を捉えたいから
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	硬直した役割意識は、女性・男性いずれもの生きづらさに直結する考え方であり、これによって社会の自由度が損なわれていると思うから
区民	40 代	トランスジェンダー・クエスチョニング／クイア	今後の世代にも同様の考え方や振る舞いを強いることに繋がるから
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	夫婦ごとに話し合って決めるべきだから
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	今後の日本の経済状況を考えたら男女の区別を云々言っている余地はないと思うから
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	全て好きなようにすれば良い。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	それぞれのパートナーシップにおいて、その時々 の環境、状況に応じた、その時々スタイルでよい
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	身体的な性差はあるが、他の面では同じ人間なので区別するのは違うかなと。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	妊娠出産は女性にしかできないが、子育てや家事、仕事も得意な方、その時場合に余裕がある方が率先して行い、夫婦どちらもが当事者として家庭生活をするべき
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	それぞれ家族内で考えること。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	5.よりは得意というより、お互いに納得して決めればいいと思う
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	生物的な役割の歴史を考えると、男性は外で働き、女性は家庭を守ることが自然な流れかもしれませんが、現代においては個々人の意思を尊重する形で、どちらかだけががまんして生きていくのではなく、両者(男/女)にどちらの選択肢も与えるべきだと考えています。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	離婚時困るから
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子育て・教育・食事・家事・介護、得意・不得意関係なく、日々迫ってくる家事は意識ある方がやっている。最後は母性で行っている所がある。苦しい。パートナーの意識改革が必要の為、中・高から教育すべき。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	なぜ女性が働きたいのに働いてはいけなそう思われるのか分からないから
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	それぞれの家庭の事情なので社会的風潮作りはどちらにせよよろしくない。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	ケースバイケース
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	男の子の育て方にも問題があると考え
区民	40 代	シスジェンダー・レズビアン女性	自分自身が仕事をしているから
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	何でも平等にはいかない
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	女性も働くことが当たり前となっている時代であり、「男は・・・」「女は・・・」という考え方では家庭が成り立たないと思う。そのような考え方を変換できないから、未婚も増え結果的に少子化につながっているのだと思う。
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	女性にも選択の自由はあるはずだから

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 2-3. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について反対する理由(その他)
在勤者	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	大半の人にとって、一人馬力で家庭を支えられる経済状況を作ることが難しいため。ただし、出産は女性のみ可能なため、男は仕事、女は家庭といった言説にも理にかなっている部分はあると考える。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	本人たちの問題だと思うから
在勤者	50 代	クエスチョニング／クイア	それぞれが、自分の夢や挑戦したい事について、チャレンジできる方が良いから。
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	基本は性別関係なく、パートナー同士の取り決め。ただし出産の場合はケア必要。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	男女年齢など問わず各人と関係者が自らの意志で選択すればよいと思うから
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	個別の事情のため好きにすれば良い
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	夫婦間で決めれば良い話で、色々な形があって良いと思うから

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 11-2. IPV を経験したときの相談先(その他)
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	児童相談所に相談
区民	40 代	トランスジェンダー・クエスチョニング／クイア	全問にどう回答すればいいかわかりませんでした。子どもの頃に親族から暴力を受けていました。
区民	18～29 歳	クエスチョニング／クイア	行きつけの神経科の医者

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 12. IPV を経験したときに相談しなかった理由(その他)
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	教育機関で道徳心を培う授業を、もっと設けるべきだと思う。
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	LINE や広報誌、掲示板やメールなど幅広い媒体での情報提供
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	妻から夫に対するものもセクハラや DV、IPV に含まれるという認識が世間にはない。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	事実かどうかきちんと確認する機関又はシステム。実体験として嘘、思い込みの人も相当数居ると思います。
区民	30 代	バイセクシュアル(両性愛)	既存の暴行罪傷害罪などと具体的にどう違うのか、また IPV などという名称をつける意義を説明すべき
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	男性被害者への対策
区民	50 代	その他	ネットや LINE は全て録音と相手の所在地を解るようにし、暴言を吐いた相手に刑罰が出来るようにする。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	犯罪取り締まりのために警察へ協力を依頼する
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	地域の結び付き。個人の社会への参加、参加したいと思う社会の醸成。
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	ここに書いてある質問事項はすべて必要であり、個人により必要なものを適宜選べるようにすべき。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	被害者、加害者、共に、カウンセリングや情報提供などによって、健全な関係性を築くために欠如している自身の精神的または行動などのパターンに気づけるようなサポート
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	対象者だけに絞るのではなく、幼稚園、小学校という幼児時代から肉体、精神的暴力を阻止する教育をする。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	AI を用いた1次アドバイス。必要に応じて専門家に相談できるような仕組み。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 12. IPV を経験したときに相談しなかった理由 (その他)
区民	40 代	クエスチョニング／クイア	幼少期からの教育、啓発
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	警察が介入できるよう法整備する
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	幼い頃からの教育
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	警察との連携
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	警察の権限を強くする
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	何かが起きる前に法でさばけるようになる
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	被害者加害者双方に安定剤の処方
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	全て大切に重要な事、何が一番かはわからないが 全て必要
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	幼い頃からの教育、大人になってルールを強要し ても全ての人間にはあてはまらない、不自由が生 まれることがある。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	各機関の連携が必要
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	被害者の心身の安全を守る対策の充実
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	スタッフの育成
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	暴力を受けて整形外科を受診しようとしたとき、受 付で事情を話すと診療拒否をされた。そういう指導 を病院にしてほしい。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	義務教育段階での教育
在勤者	50 代	質問の意味が分からない	個人情報徹底
在勤者	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	警察に相談しても、ストーカー行為などのみで、実 際に被害がないと動いてくれないという話やニュー スをよく耳にする。相談所などが多くあっても、法 的に未然に防ぐことができれば、被害の縮小 は難しいと思う。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	事件になる前に警察が動けるような社会的な仕組 み、法整備が必要ではないかと日々のニュースを 見て感じます。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	NPO 団体には任せずに警察に任せる。NPO の予 算を警察に回す。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	女性の経済的自立支援
在学者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	養育費の金額の是正と支払い対しての法律化

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 15①.「仕事と生活の調和」のために必要だと思うこと(その他)
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	自分の人生及びキャリアは自分でコントロールできるし、しなければならない。政府や会社や上司や家族のせいせずに、自らオールを持つという意識の醸成。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	無給で良いので、個人の願望の為に数ヶ月休める制度。年単位での更新で働いているので、個人的な理由で休む事ができないでいる。有休や連休を上手く取ったとして、自身の雇用形態から考えると半月休めるか否かなのと、就労するものとして職場を堂々と休める理由と言えるか悩むところ。退職は生活や再就職への不安がつきまとう為、したいことを自分のお金でするにもできないでいる事が多い。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	選択肢には企業と行政がすべきこととあり、個人がやるべきことが抜けている。会社や社会がワークライフバランスを保てる環境を作る努力はしなければならないが、個人は自身のスキルを高め、生産性高く働いて成果を出せる状態を目指し、対等な関係を築かなければ、企業力が低下し、結果的にワークライフバランスすら保てない社会になってしまう。
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	企業も行政も、これらの活動を行っていることを積極的に広報すること(サービスが充実していても、そのサービスを使って欲しい人が認知していないことが多いと感じたため)
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	賃金・俸給の向上。長時間労働からの解放や年休の取得推進をしたところで収入は下がり、ライフもワークも充実されない。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	短時間正社員
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	安心できる空間があること
区民	50 代	クエスチョニング／クイア	すべてのセクハラをなくすよう心がけること。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	賃金の上昇。物価の下落
区民	30 代	その他	妊娠・出産・育児・介護をする人しない人がお互いに理解しあいそれぞれの生き方／仕事の取り組み方を快く尊重しあえる環境を職場が提供すること。たとえば、子どもの発熱や要介護者の体調不良などが理由で欠勤する際、人事部門にのみ理由を報告し、同僚には公にしなくてよいこととし、人事部門は欠席者が安心して休みをとり出席者が安心して仕事を進められるように適切な担当者を自動的に補充するようなシステムを整えること、など。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	行政、職場とも、不要な手続き(会議、書類記入など)の削減に努力する
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	タイマーなど短時間に気軽に働ける環境。昔に比べて仕事の難易度が格段に上がっていると思います。精神的に追いつめられる働き方が求められている。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	賃金水準の向上
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	経済的に日本が豊かになりたいして働かなくても生活できるようになる
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	減税
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	育休手当の上限を撤廃すること。私自身が比較的高収入で、その収入に合わせて生活レベル(固定費、変動費ともに)を設定している。育休手当の上

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 15①.「仕事と生活の調和」のために必要だと思うこと(その他)
			限が低いことで、育休を取ること(出産も含めて)にネガティブになっている。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	幼少期から男女平等な家庭運営のためにどう行動するか考える機会をもつこと
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	ワークシェアの促進
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	意識の変容
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	全てにおいて、もっと住民に届くような施策を尽くすべきです。広報のやり方についてももっと真剣に取り組むべき。行政は末端の 1 人まで絶対に届けるという使命感をもって行動して欲しい。そのための予算がないとは言わせないです、考えることができる人材を雇用しているはずで。
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	実質的な年功序列報酬の廃止。人材の流動化。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	組織の上層部・上司などステークホルダーが自らワークライフバランスを推進することで、全体への普及は加速する。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	仕事はしたければすれば良い。W.L.B.は考える必要はない。
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	全部
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	ワークライフバランスは人生哲学に近いので、個人の考えが表現される。行政、会社と組織に任せすぎているのを心配している。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	起業等のリスクを取った人材に対する、精神面や金銭面のセーフティーネット
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子供を産んで、妊娠期間中、子育て中に感じるのは、子供をもつ親たちの大変さが分かる人が減っている。妊娠前と同じように動く事が当たり前と思われている。通勤電車でも譲られる(譲って欲しいわけではない)事はほぼなかったし、妊婦でも満員電車の中仕事の現場へ行くようにと 33w の時に言われた。個人個人と社会全体で、妊娠する事、子どもを持ちながら働く事の大変さや配慮が薄いと感じる。(持ち上げてほしいとは思っていない。)なんか、つめたい。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	保育や介護の現場環境の改善と保育士や介護士のスキルアップ、優良人材の育成、給料アップをして安心して子供や親を預けられないといつまでも給料が低くなりがちな女性が両方を担当しなくてはならない。せめて子育てや介護を担当する個人に国から報酬があってもいいのでは？無給だからみんな不満に感じるのでは？
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	介護の充実は大事だが、子育てへの支援は職場でも不公平で迷惑 少子化対策も子供のいる家族のマナーが悪くなり、社会で大迷惑です
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	9.について、必要と思うが、現在注目されているので、それを支えている人が逆にしわ寄せがきて大変ということを知るので、行き過ぎたものではなく、その場で起きていることを客観的に捉える人が必要だと思う
区民	60 歳以上	クエスチョニング/クイア	企業・社会共に、レジャーや家庭サービスも重要との認識を深める
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	会社の就業規則に対する国や自治体の介入
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	0 歳 8 か月の子供を持つ経営者(女性)です。仕事を休むなどの概念はなく(自分自身が働き続けたいため)と同時に大切な子供を自分できちんと

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 15①.「仕事と生活の調和」のために必要だと思うこと(その他)
			育てたい、とも思っています。一般的に仕事をしたいのならば「保育園に入れれば」ということになりませんが、子供に対してのうしろめたさと、本当は自分で面倒をみたいのに…という気持ちに押しつぶされそうになります。家で誰かが面倒をみてくれて、そのそばで仕事ができる、というのが理想です。もう定年で引退してるけどまだまだ元気！な 50～60 代の世代の女性をシッターとして渋谷区がアサインし、若い働くママの力になってもらう制度はいかがでしょうか？50～60 代の女性にとっても、イキイキと生きるきっかけとなると思います。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	ワーク・ライフ・バランスという単語を聞くだけでアホくさい。時給で縛る働き方が良くない。(サービス業などは時給だと思いますが)出来高にしないと。それに子育て中の主婦にお金が入る仕組みを考えなければならない。0 歳～12 歳までは、フルタイム出来ないのが現実。(0～10 歳は絶対)
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	就労時間 8h×5 日=40h→6h×5 日=30hに。または 7h×4 日=28h・8h×4 日=32hに。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	大企業ではなく中小企業への行政からの支援
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	経営者・中間管理職の意識改革
区民	50 代	クエスチョニング／クイア	学ぶ時間も労働とする
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	給料が上がる
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	ベビーシッター、お手伝いさんが必要 職場で補助あり
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まだまだ会社による男女の差別は強いと見える
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政の世代交替
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	カウンセリング窓口設置
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	男性の家事能力、やる気の教育を義務教育で行う
区民	50 代	クエスチョニング／クイア	・転職したら有給がなくなるのはおかしい ・入社 1 ヶ月でも有給を付与すべき
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	賃金 up を国・行政から支援。賃金があがれば生活にゆとりも出来る。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	相互理解の啓発
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	民官、共に上のポジション(役員など)に女性の割合が 2～3 割以上必須とする。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	日本人は他人を評価するのが苦手。だから本当の意味では成果を評価することもできない。そういう実態を踏まえて考えていく問題。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	労働基準法の改正により、週 35 時間以上の労働を禁止する。管理監督者(理事や役員レベル)にあたらぬ管理職(部長や課長など)に残業代が支払われないことは違法であることをより広く社会的に啓発する。
在勤者	50 代	クエスチョニング／クイア	社内には様々な職種があるが、内容が多岐に渡り、一つの労働基準を等しく当てはめる事は困難であり、働き方に歪みが生じやすい。労働基準監督署の考え方も、多様性を考えて監督してほしい
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	日本の国力があがり、世帯収入が増える
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	弊社では全国転勤型の形態と地域固定型の勤務スタイルがあるが、給与もほぼ変わらず、不平等が発生しているので早期に改善して欲しい。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 15①.「仕事と生活の調和」のために必要だと思うこと(その他)
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	環境整備すること、権利をしっかり主張できることはもちろんだが、それによってマイナスを被る人がいないような環境も整えることも重要。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	単身赴任制度の見直し(特に男性が多い)
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	家族の理解(現状は仕事をさぼっているように思われてしまう)
在勤者	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	ワーク・ライフ・バランスは家庭生活以外にも当てはまると考えるため勤務日数の柔軟化、長期休暇の取得のための制度整備などを行うこと
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	単なる無動時間の確保ではなく、一人当たりの仕事の総量が減少するような組織的対応が行われること
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	妊娠出産育児休業に対しては手厚いが介護は非常に厳しい現実。見直しをしてほしい
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	男性の家庭進出
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	利益最優先にならずに人員を増やす
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	給料を上げて、生活にゆとりが出るようにする(国民全員が国会議員レベルの平均給与が貰えるレベルに)
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	業務そのものの削減が必要 人員削減が最たる原因 制度をどれだけ充実させても目の前の業務が多いため結果としてワーク・ライフ・バランスが崩れる
在学者	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	同調圧力をなくしていくこと。
在学者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	管理職の業務時間や処遇改善
在学者	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	自己犠牲をして仕事を回している人も中にはいるため、その人たちが正當に評価されるように相談窓口の門戸を広く開ける
在学者	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	仕事と学業が両立できる仕組みを企業、保険、税制を見直す

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 15②.「仕事と生活の調和」のために勤務先で取組まれていること(その他)
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	パートとして、短時間勤務制度があること。
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	産前産後休暇が有給。
在学者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	残業代の支払の停止

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 17. 多様な人々が誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために充実すべき取り組み(その他)
区民	30 代	バイセクシュアル(両性愛)	犯罪防止のための監視カメラの増設や、巡回人員の設置など
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	外国人観光客や移住者などの不法滞在も含めた外国人犯罪の取り締まり、強制送還の実施厳格化
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	日本の文化、伝統を破壊し、犯罪を犯す外国人の排除
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	渋谷駅付近での迷惑行為(道端で座る、お酒を飲む、ポイ捨てなど)をなくすような取り組みをしてほしい。このままだと日本人が渋谷に行かなくなる。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	差別のない渋谷区を
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	外国人への配慮(ヒンドゥ語や韓国語の表記)をやりすぎないでほしい。日本語と英語のみで十分。これは差別ではないと思います。そこに力を入れるのであればエレベーターやスロープの新設のひとつでもすべき
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	発達障害の当事者と家族をサポートするソーシャルワーカー、保健士の数を増やし、また生活全般の困りごとなどを解決に向けて相談できる臨床心理士のカウンセリングを提供する必要がある。
区民	30 代	バイセクシュアル(両性愛)	全ての人間に人権は存在するという前提の流布。属性ごとに「女の」とか「子供の」とかで括るべきではない。一つの人権侵害はすべての人の権利の侵害である。
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子供の人権を守るために、シェルターの設置や 10～20 代の方の児童養護施設出身者や保護されなかった人など、心に傷を抱えている人が集うような場所を設置して欲しいです。世田谷区や豊島区がやっている居場所事業のような取り組みを渋谷区にも取り入れて欲しい。若者が集う場所が欲しいです。孤独感が少しでも和らぎ、若者の支援になるような場所を求めています。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	犯罪防止に見回りを多くする
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	法律の厳格な適用
区民	60 歳以上	クエスチョニング/クイア	外国人の観光客へ、日本で滞在する際のマナーやルール、やってはならないことなどの周知を徹底してほしい。迷惑なことが本当に多い。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	マナーが悪い人への取り締まりの強化
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	日本人以外を優遇する施策は必要はない
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	治安改善のために警察と協力すること
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	完全な再開発ではなく、時間制・時代性を意識した街の景観の維持による伝統の継承とそれを基にした地域近代史の教育普及。ヘリテージの醸成。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	観光客は未だ良いが、積極的な移民は絶対止めて頂きたい。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	こどもテーブルの充実と確実な運営。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	渋谷駅等の繁華街における治安維持のための啓蒙活動及び取締り
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	渋谷区に、日本に、住むのであれば、それは住居を構えた事になるのだから日本国籍の人と同じように税金、社会保険料を納めるべきです。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	外国人を支援するだけでなく、マナーの悪さも考えて欲しい

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 17. 多様な人々が誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために充実すべき取組み(その他)
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	申し訳ないけど、外国人、在日されてる方、地域に住んでる外国人のマナー、ルールが悪すぎる。決めつけではないです。ゴミは分別せずだします。自転車も子供がいてもとばして暴言もひどい。これ以上、税金を使って外国人のために何をしてあげたら良いのですか？日本人はがまんすれば、マイノリティな社会ですか？
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	事業者、インバウンドからの営利を向上させる工夫は感じるが、区民が暮らしやすくなるようなモノは、ここ数年一際感じない
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	犯罪が増えている様な気がするので(マナーも悪い)身元確認とか、もう少し厳しくした方が良いと思う。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	ルールを設定し、多言語で広く発信する。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	外国人犯罪に対しての取り組み強化
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	街がきたない、ゴミがひどい、特にセンター街、道玄坂
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	ハチ公でやりたい放題の外国人を注意して欲しい。ゴーカートも禁止して欲しい。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	①チップをもらって良い。②民泊のルール・法整備。他、観光バスの路駐している取り締まり。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	目新しくないような(施設を作るなどではなく)高齢者・障害者の金銭補助
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	外国人による犯罪に対する厳正な処罰が巡り巡って外国人の人権を守ります。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	外国人・性的マイノリティへ配慮の必要なし。日本人(渋谷区民)が安心に・安全に暮らしやすい地域づくり。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	(警察直下でもいいので)パトロール・立ち警備強化
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	ゴミ箱・喫煙所の設置・公衆トイレの設置など公共インフラの拡充
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	都市の死角の縮小、防犯カメラの増加や公衆トイレ出入の監視体制強化
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	日本人が外国人に求めるマナーなどを外国人に周知してもらう取り組み
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	外国人に対しての、入国しても大丈夫な人々なのかをチェックをきびしくして欲しい。
区民	50 代	質問の意味が分からない	不法者への取組み
区民	40 代	バイセクシュアル(両性愛)	多様な人たちとの交流の場を設けるイベントや場を提供する(同じ公共空間を共有しているという意識を相互に促進する)
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	公園(無料)が少ない
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	そもそも日本である以上、日本人がちゃんと利益を得ないとダメ。差別が良くないのは分かる。だがここが日本である以上国外の人から税金しっかりとるなり、ハードルを上げないとダメ。渋谷区という枠組を離れてますが、区のレベルでもできることはしていただきたい。極端な話、日本人が住みづらくなってきてます。ちゃんと見えてますか？
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	外国の方がポイすてをしたり町を汚しているのをよく見かけるので決めつけや偏見ではなく、注意する必要があると思う。英語でのポスターをふやしたり、意識してもらいたい。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 17. 多様な人々が誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために充実すべき取組み(その他)
区民	60 歳以上	その他	安心・安全な町づくりが第一。偏見には理由があることが多い。偏見の根元をどうにかすべき。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	時間はかかるが、文化教育が必要、清潔であること
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	深夜パトロールの強化
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	外国人観光客が公道をゴーカートに乗って走っているのは、反感を生むので禁止すべき。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	外国人観光客の迷惑行為等から住民である区民を守るための罰則を設ける。特に渋谷駅周辺の治安維持と犯罪(薬物含む)防止の強化をお願いします。 ☆治安の悪化を非常に感じています ☆外国人によるマンションなどの住居購入も限度や条件を整備して頂きたい(マンション内の治安)
在勤者	40 代	質問の意味が分からない	日本国としての尊厳を守り抜くべき。日本人としての誇り・伝統・様式・マナーなどは守られるべきであり、次の世代へと紡いでいかなければならない。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	外国人増え過ぎ。日本なのに海外みたい。基本は日本のルールに外国人観光客は合わせるべき。なぜ日本側が必要以上に配慮、我慢をしなければいけないのか。ルールを守れない外国人は強制退去してほしい。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	四半世紀前には考えられないほど、多様な方々が渋谷を訪れていると感じます。毎朝、清掃をしている方には頭が下がりますが、街をきれいにすることが重要ではないでしょうか。「ごみを街に捨てさせない」「落書きをさせない」取組が必要だと思います。
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	外国人に対し、日本の習慣(郷に入れば郷に従え)を教育させるための取組みの充実
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	女性ひとりでも十分な収入で安心して生活できるためのサポート
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	災害時の多言語対応
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	多様化自体が足かせにならない様、基本に戻る。真の「安心して暮らせる、活動できる」とは、マナーのない外国人観光客や若者に寄り添うのではなく、時には強固な姿勢で「悪い物は悪いと言える都市となる」ことが一番大事。従わない、従えない観光客は無理に来ていただかなくても良い。これは排他的な対応ではない。渋谷区から昔からの日本の良さやマナーを発信し、マナーがお互いが快適に過ごせる近道である。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	当社では街の美化に取り組んでいますが、渋谷駅周辺の美化に取り組んでいただきたい。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	訪日外国人に対する取り締まり強化。法を犯した場合、マナー違反が酷い場合は国外退去を命じ、永久的な日本への入国禁止にする措置など。日本へ訪れる予定の方に向けたマナー講習などをネットで行う。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 21-2.性自認(その他)
区民	40 代	トランスジェンダー・クエスチョニング／クイア	ノンバイナリー
在学者	18～29 歳	トランスジェンダー・バイセクシュアル(両性愛)	わからない

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 22.性的指向(その他)
区民	30 代	その他	現時点で異性のみに性愛感情を抱くが、同性に抱かないという確信は持っていない
区民	30 代	その他	あらためて聞かれると迷う。現在は異性愛者。
区民	50 代	その他	男性としかお付き合いはしてませんが女性を好きになった事はあるし、キスや触れた事もあります。
区民	50 代	その他	どれも無い
区民	60 歳以上	その他	当てはまる項目がない
区民	40 代	その他	過去恋愛対象は男性でしたが、決めつけているわけでもない
区民	50 代	その他	いつでも変わりうるものだと考えている
区民	40 代	その他	わからない
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	ヘテロセクシャルを認識しているが、今後違う感情をもつかもしいとも思う
区民	60 歳以上	その他	環境の中で成長する自然体の姿であれば良いと思う
区民	40 代	その他	性的な行為をしてないだけで目覚めることもあるかもしれない
在勤者	60 歳以上	その他	性差と愛情の持ち方は関係が無いと考える
在学者	18～29 歳	その他	考えたことがない

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 23.カミングアウトした相手(その他)
区民	40 代	クエスチョニング／クイア	性的マイノリティという認識はありません
区民	18～29 歳	クエスチョニング／クイア	自分のことを性的マイノリティだと思ってない
区民	50 代	トランスジェンダー・エイセクシュアル	ただ男性に興味ない。女性の方がきれいとか男性だったらこんな人と付き合いたいと思うだけ。体はムリですよ。
在勤者	18～29 歳	クエスチョニング／クイア	長い付き合いで特に仲が良い友人

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 24.周囲に性的マイノリティがいるか(その他)
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	顧客には、多い
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	行きつけの店舗の従業員
区民	30 代	クエスチョニング／クイア	わからない
区民	50 代	クエスチョニング／クイア	かつて友人だった人にいた。その人とは現在没交渉。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	元取引先の担当者
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	いるかもしれませんが
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	よく来店しているお店のスタッフ
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	高校時代の同級生
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	いるかもしれないが、わからない→「5.一人もいない」に該当?
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	かつて大学にいた
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	友人の子
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	隣の住人
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	日常の話題に上がらないため不明
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	地域の方
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	中学校時代の友人
区民	60 歳以上	クエスチョニング／クイア	わかりません
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子供の友人
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	はっきりとは分らない
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	判断できない状態
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	いないのかもしれないし、いるのかもしれない。確認してないし、本人から聞かされたこともない。誰がどんな性を持っていても良いと思うし、他人が勝手に相手の性を決めつけるのは良くない。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	友人の友人
区民	40 代	クエスチョニング／クイア	いるかもしれないが、知らない
区民	60 歳以上	クエスチョニング／クイア	わかりませんが、いるかもしれません。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	知り合いではないが、ビジネスコミュニティの会合でマイノリティの方がいた
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	知り合いの子供
区民	50 代	クエスチョニング／クイア	わからない
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	いるかいないか判らない
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	わからない。そんな話しないので。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	職業上知った
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	気付いてない・知らないだけでいるかもしれません
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	勤務先の患者さん
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子供の知人
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	お客様
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子供の友人
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	知らないだけかも…
区民	60 歳以上	シスジェンダー・ゲイ男性	いるかもしれないがわからない
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	お客様
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	仕事上の関係者
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	はっきりわからない人は何人か職場にいる
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	そうかも知れないと思う人がいるが、はっきりとは分らない。
在勤者	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	教え子に
在勤者	50 代	クエスチョニング／クイア	聞いたことはない。気にしていない。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	わからない
在勤者	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	親の知人

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 24.周囲に性的マイノリティがいるか(その他)
在勤者	30 代	トランスジェンダー・エイセクシュアル	先生をしています、学生や留学生に多いです。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	その人がそうであるという認識にあてはまる人はいません(事実はわかりません)
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	分からない
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	分からない。
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	お得意先
在勤者	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	わからない
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	家族にいたとしてもわからない
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	学生
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	いると思うがわからない
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	不明 おそらくいるもののカミングアウトされていないため。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	学生
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子の友達
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	個人の自由なので、それを把握する必要もないと思っている。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	親戚の知人
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	わからない。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	わからない
在学者	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	わからない

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 25.カミングアウトを受けた相手(その他)
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	友人の子供
区民	30 代	クエスチョニング／クイア	わからない
区民	50 代	クエスチョニング／クイア	上記に同じ。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子どもキャンプに参加していた子
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	当事者でない自分からはアンケートであっても言えない
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	ビジネス系のコミュニティで
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	知人・友人ではない
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	友人ほど親しくはない知人
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	古い知人数名
区民	40 代	その他	カミングアウトされたことがあるか?の質問に違和感があります。ただ事実や日常会話で聞いたことはあります。
区民	60 歳以上	バイセクシュアル(両性愛)	知人
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	習い事の先生
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	仕事上の関係者
区民	40 代	その他	飲食店なので当たり前にある
在勤者	50 代	クエスチョニング／クイア	道でナンパされた。気持ちを伝えられる事は嬉しいし、嫌悪感はない。
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	学生
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	高校時代の先輩
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	仕事の顧客から
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	学生
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	同僚ではないが、仕事を介した関係者
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	学生

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 29.性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取組み(その他)
区民	30 代	バイセクシュアル(両性愛)	どちらの意味であっても特別扱いしない
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	性的マイノリティだから配慮というより、誰でも配慮して欲しい部分はある。公的な場所では場に合わせるしかないのでは？私的な場所では個性を出せば良い。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	当たり前の世の中に全員がしていくべき
区民	50 代	質問の意味が分からない	昔から日本は差別無いので(芸能人とか)何もなくて良いと思います。若い人には特に対策するのは無意味です
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	何でもかんでも少数派の意見を取り入れれば良いというものではないと思う。そもそもの男女の違いを学校教育でしっかりと示すべきであり、少数派ひ少数派としての生き方を教えるべきと考える。幼少期か何でもありの世界観を教えるから間違った方向に進んでしまうと思う。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	そもそも性別は2つという前提のもとで、辞任する性別にはそれ相応のリスクや責任が伴うということをきちんと教育すべきだと思います。昨今のセクシャルマイノリティ運動が受け入れられていないのは、男性がある日起きて女性として自認します、それ以降は女性として扱いなさいと言うのがまかり通ってしまっているからだと思います。それぞれのせいに身体的な特性はどうやってもあるので、それを否定するような教育は絶対にすべきではないです。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	マイノリティを強調しない。みんなマイノリティというマインドが欲しい。
区民	30 代	クエスチョニング／クイア	制服は必要ないのでは？
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	何もすべきではない
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	性的マイノリティの教育ばかりすることには明確に反対する。特に幼少期においては、伝統的な男女の性別についての教育だけで十分であり、大人の都合で子どもに性的マイノリティのことを刷り込むのはやめたほうが良い。
区民	40 代	トランスジェンダー・クエスチョニング／クイア	性別を問わないトイレの設置には賛成だが「希望する性別でのトイレの利用」には反対。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	なにもしない
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	性別を聞くことをしない
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	マイノリティの意見を尊重しすぎて、マジョリティである大多数が逆に不便を感じるのは、対立や差別を煽るに等しい。双方に公平な目線を養ってほしい
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	何もしない方がよい。自然にまかせる
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	性的マイノリティを利用した性犯罪に対する対策を取った上で対応すべき
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	性別を問わないトイレ設置
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	水着などプール授業の配慮
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	トイレ問題はとてもセンシティブです。性認識が見た目と違う生徒に関しては、希望通りのトイレを使用しているとは単純には言えません。だれでもトイレのような個室トイレを増やすのがよいのでは？と考えます。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 29.性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取組み(その他)
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	生物学的な性別と性自認の一致不一致に関わらず平等に接すること、性的マイノリティを過剰に優遇したり議題にあげないこと
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	思春期の不安定な心身状態を無理やり性的多様性に繋げたりするような活動の抑止
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	男性器が付いている場合は女性用トイレ、更衣室、浴室の使用は認めるべきではないと思う。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	必要なし。むしろ小さいからからこのような事を教えないで欲しい。
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	全部必要でしょ。設問の意図がわからない。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	学校は、生徒だけでなく、親にも指導して欲しい。学校が平等を訴えても、家庭で偏見と中傷する親がいたら、子供は親の考えの影響を受けるから。また、偏見の指導は幼稚園レベルで指導しておかないと、小中学では、既に固定観念ができると思います。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	積極的に取り扱うトピックではない。あくまでマイノリティの話なので攻撃してはいけない程度の教えて良い
区民	18～29 歳	クエスチョニング／クイア	トイレや銭湯などの公共施設においては戸籍上の性別を基準にするほうがよい。男女双方にとって不安要素となる部分が多すぎるため
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	ルールの設定
区民	18～29 歳	シスジェンダー・ゲイ男性	教員の性的マイノリティへの理解度を上げる
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	特別扱いするべきではない
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	“性的マイノリティ”に寄りそうだけではなく、その強要や強制理解を求めることはちがう、と伝える必要はあると感じる
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	誰に対しても差別しない
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	マイノリティは、必要以上に特別扱いしない方がよい。
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	主に生まれた時の性器の有無で判断するべき
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	検討していくべき
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	教育者が正常な意識を持っているとは思えない
区民	50 代	トランスジェンダー・エイセクシュアル	トイレは絶対男性・女性・多目的の 3 つに!!個室から男性が出てくるのはイヤ。子供は危ないよ!!男性はトイレきたなくつかう!!
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	当事者でない人達が意見したり教育をするのはやめてほしい。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	性別を問わないトイレ設置のみ支援すべき。自称マイノリティの性別でのトイレや更衣室利用は良くない。きちんと性転換すべき。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	男性が女性になり、女性としてスポーツの大会参加には意義あります
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	日本は歴史的に性的マイノリティの人達を差別しない国です。テレビで人気者になる人もいます。教育に持ち込んだり、法制化するのはやめて欲しいです。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	性別を問わないトイレの設置や希望する性別での使用には反対。
区民	60 歳以上	その他	6 のトイレのみならず、着替え Room や水着についても配慮があった方がいい。特定の子どものためにとは思いますが、お互い居づらい思いをしないように。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 29.性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取組み(その他)
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	違いを認識する教育をすべきだ。始まりから言いづらい環境がそうさせる。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	やる必要はない。それによってマイノリティを増やす可能性がある。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	トイレ問題は非常に難しい。児童や生徒たちがどうしたいかを考え話し合ってほしい。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	性的マイノリティ以外の人への教育(人としての教え)
区民	30 代	クエスチョニング／クイア	トランス女性よりも女性の人権保護をすべき、安全性の観点から
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	担任の教員にはその傾向を知っておく必要がある
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	トイレは絶対に生物学上で分けるべき
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	男女問わず、選べるデザインの制服(誰がロングのパンツを履いても良い)があること、男女の区別がないあるいは、制服なしの私服でよい。
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	多様性に関する授業をする前に、男性女性の細かい知識の授業を先にした方がよいと思う。妊娠について、とかHPVワクチンについてとか、生理についてとか
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	マイノリティ保護と併せ、ノーマルな男女が生きやすくしなければならない。このままだとおかしい人間ばかり量産することになる。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	性的な側面だけで人間の多様性を語ることは、還元論的な誤解を招く危険性が非常に高いため、学校教育の段階で理解できるような教科書が作れるのか疑問がある。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	必要以上に特別扱いはすべきでないと思う。あまりマイノリティの過剰保護をしておかしくなる。
在勤者	60 歳以上	その他	人権や性における多様性を目指すのであれば『性』を前提にした施設・設備の説設置を止めるべきではないでしょうか。現代において『男女差』を何処まで意識する必要があるか？
在勤者	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	Q43・44 などは、性的マイノリティでない自分が憶測で答えることが良いことなのか、わかりません。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	性的マイノリティの方に問うべきで、そうでない我々が想像して行動すべき問題ではない。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	男女という性別を意識しなければならない授業や行事をやめていく。着替えが発生すること(プールの授業など)、身体測定も外部で個人で受けるなど。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 34. 渋谷区による犯罪被害者等に向けた支援として充実すべきこと(その他)
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	定期的なパトロール
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	警察に対する直接的な支援(ボランティアなどの人的資源や税金など)
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	電動キックボードやモペットの禁止などあるたな危険を生むサービスの禁止警察に通報しても何もしない。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	再発防止、犯罪被害拡大の防止への取り組み。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	AI を用いた相談窓口(渋谷区単独ではなく、全国の自治体の共通のものとして設置)
区民	50 代	トランスジェンダー・エイセクシュアル	学校は性被害を未成年だと無視する!!もっとしっかりして!!
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	統計に出ているように再犯率の高い加害者を放置しない、そこが重要では?
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	関係者に安定剤投与
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	全て
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	ストーキング加害者への指導、カウンセリングが必要だと思う
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	パトロールの強化、街灯の追加設置
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	犯罪者への厳罰
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	防犯体制を強化し、犯罪を抑止すること
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	犯罪者が再犯しない罰則の強化。特に深刻な性被害等は居住地の住民が知る権利を持たせる。更に刑事事件が発生する前の段階で犯罪被害者から一定の証拠や救済の要請があった場合、区の相談窓口と警察が連携をとる仕組み作り。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 40.配慮が充分でなかった時の内容や感じたこと
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	性別が男か女しかない
区民	50 代	クエスチョニング／クイア	20 年以上前のことだが、夫が半年育休をとった際に感じたこととして、子育て支援の遊び場に、個室の授乳室がないから、周りのお母さん方が授乳する時、目のやり場に困ったそうです。また、今はバリアフリーのトイレがあるので、男性でも子供のオムツ替えができるとは思いますが、男性トイレにも普通にオムツ替えスペースがどこにでもあると、より良いと思います。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	性別や家族構成に関する思いこみ
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	昔ですが保育園の先生が、保護者会で保護者に対して「お母さん」と呼ぶこと。お父さんが育児に参加しない前提で話が進んでいたし、何か問題があると保育園から指導されるのは「お母さん」であり、「お父さん」が原因であっても直接的にお父さんには注意しないことが多いと言う声が多かった。
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	トイレの表示(女は赤、男は黒)、学校での男女別整列など、男女で分ける必要はあるのか疑問に思う。
区民	30 代	バイセクシュアル(両性愛)	男性に使われやすい名前のため毎回区役所にて男性だと思われ身分証を提出しても疑われ対応に遅れが生じる
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	このアンケートにも性別を聞かれていますが、答えたくないを入れないのはなぜですか？
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	学校で娘が母の友達がゲイと言ったら、周りの子から「怖い」と言われた。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	住居にバリアフリーの配慮がない
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	性別欄が当然のようにまだあるとき。
区民	40 代	トランスジェンダー・クエスチョニング／クイア	結婚していた際、夫のことを「旦那様」、自分のことを「奥様」と呼ばれることがあり、悲しかった。また、当時別居婚をしていたが、「結婚＝同居」という意識も強かったように思う。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	学校の宿泊行事に毎年参加できないお子さんがいる。ジェンダーの問題から入浴に不安があるが、先生にも相談できなかったのではないかと感じた。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	仕事の時は個人的な考えを排除して対応した方が良いのではと思いました
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	区民プールの更衣室。異性の親子で着替えられるスペースがない
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	息子はトイレの個室で用を足したいし、伝えているのに、男の子だからと男性用便器で立ってするように何度も指導を受けた。あり得ないと思った。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	保育園にて、男の子は相撲、女の子はその周りでチアで応援と性別で役割を分けていたため、違和感に思いました。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	結婚の時に、姓を変え、離婚の時に姓を変える作業のもの、マイナンバー等は線を引き姓を書きかえただけで、傷ついたという知人がいました。
区民	40 代	クエスチョニング／クイア	学校教育の場では、服装を始め配慮が無いと感じられる事が多い。
区民	18～29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	幼稚園のプールの時間に、性別関係なく水着を脱いでシャワーをしていた。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	あまりそのような機関に行くことがないので体験なし。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 40.配慮が充分でなかった時の内容や感じたこと
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	保育園で息子が「男の子なんだから〇〇しなさい」というような注意のされ方をしたことがあり、違和感を感じた。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	区の保養所で食事の時、ごはんのおひつを妻の方に置かれたこと。
区民	30 代	クエスチョニング／クイア	母子手帳などの育児項目が基本的に母親のみへ向けて書かれている(ある程度成長してからも)
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	制服の多様化がニュースになること
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	支援センターでお父さんですか?お母さんですか?と聞かれるが、女性のお父さんだったらどうするのだろうと、このアンケートを解答していて思いました。
区民	30 代	クエスチョニング／クイア	「男の子だから～」「女の子だから～」などの言い方は教育機関を利用しているとよく耳にする。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	高齢男性に対する偏見
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	今はどうかよくわからないけれど、子育て中は教育機関で性別差を感じたことがある
在勤者	18～29 歳	クエスチョニング／クイア	区役所で届出を提出する際に聞かれる性別を記入する欄
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	個々の理解不足・受け入れの違いによる言動(
在勤者	50 代	クエスチョニング／クイア	会社であれば、社内よりも社外のクライアント、保護者などの考え方、とらえ方が影響すると思う
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	父兄という表現がいまだに使われている
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	勤務している大学で、セクシャルマイノリティに該当する学生がいたが、個室トイレがなく、本人の困り感があった為
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	個人の考え方が偏っているので、思い込みで対応する人などもある
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	トイレの利用区分、服装に対する偏見
在学者	18～29 歳	トランスジェンダー・バイセクシュアル	一人称を制限された

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	60 歳以上	クエスチョニング／クイア	子ども・子育て・教育	性の多様性は見た目や気持ちを優先しても、結局は男女の基本的な考えは超えていないと思う。体格や遺伝子の男女差を認めて、生活の有り様や恋愛感情とは切り離して考えた方がいいと思う。生物としての人間の染色体は変えようがない。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	学校での啓発学習
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	懐妊出産に関する支援や出産後の助成金。働きながら子育てをできるようにするための保育園の拡大。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	性別によって教育内容等を区別しないような取組。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	当事者の話を聞く機会を設ける等、文字や映像だけでなく、実際に体験して考えること、感じることで理解を促進していくことが大事だと思います
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	少子高齢化により、どうしても高齢者優遇な社会になる可用性があり、その状況をドラスティックに変革させない限り、この国に未来はないと感じるため。多様性は大切な議論であるが、若者支援、特に学習環境の整備拡充は喫緊の課題である。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	親世代が学校教育で学んだことや当たり前だったことと、現在子供が受けている教育内容とにギャップがある。そのため、親に対しても、家庭でどう子供達と接すれば良いかアナウンスする機会が重要だと思う。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育現場でのこれらの視点についての人権擁護の教育
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	学校でも性教育の充実
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	現在、日本の教育機関では英語の授業に最も力を入れているように思います。けれども、最も力を入れるべきなのは道德の授業だと私は考えています。多感な時期に安定した道德力を身に付けさせることが、あらゆる問題の改善に繋がると思います。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	授業で取り入れる
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	多様性への理解促進と周知
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	北欧の教育をドキュメンタリーで視聴し教育の重要性を感じた
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	未就学児から性別の固定概念を持たせない教育を行う。保健所などでの育児教室で保護者に対して性の多様性の教え方を学ぶ機会を提供する
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子供たちに多様性を理解してもらう上でそれを教える先生方が果たして必ずしも理解されているのかと思うこともやはりあるので、まずは先生方の理解が 1 番大きいのではないかと思います。子供たちはとても柔軟なので大人がこう言うから先生が言うからそ

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				うなんだと思ってしまいます。なのであなたはあなたでいい、という当たり前のことをまず先生方が十分に理解をして子供たちに広めるのが正しいのではないかと考えます。
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	多様性への理解を促進する教育
区民	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	学校教育において、大人になる前の段階で、性のあり方について学ぶことが大切。性の多様性を選択した方から実際の意見を聞く会(講演会)など。
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	あらゆる偏見や中傷を防ぐには、幼少時から教育が必要と思うから。
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	性別による役割の固定化の解消
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	考え方が固定する前、幼い頃から学校において教育する。
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	自立を促す教育を子ども達に
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	バリアフリートイレの増設、制服男女共用など
区民	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	幼い頃から性の多様性への理解促進を高めておき、普通のことだと思わせる
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	露骨すぎず、小学生でも理解できる説明、およびその説明を子供を持つ家庭にも冊子などで共有する
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	次世代を担う子供達には、違いを認めた上で助け合い、安心して生活できるようにしていきたい。具体的には、自己と利己が両立できるように、自分も周りも尊重しあえる空間を提供してほしい。例えば、SNSやリアルな場所で繰り返し威圧的でネガティブ発言する人(いじめをする側の人)の名前を区のデータベースで公表してほしい。オープンな場では決してやらない(言わない)ような事象は、隠れて行われるケースが多いため、いじめられた人を保護するだけでは根本的な問題解決にはならないと考える。
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	動画等を活用し、イメージしやすい授業を行う。
区民	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	学校内の表示を変えること、本当に男女で分ける必要があるのかを検討すること
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	実際に性的マイノリティの方からお話を聞く、性的マイノリティかもしれないと思っている子供が相談できる環境の整備・窓口の設置
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	平等な人権
区民	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	児童が他の児童とコミュニケーションを取っていくなかで、自他の認識の違い、他人を尊重するマインドを習得できるようなカリキュラムの設定。孤立を防ぐサポート体制の構築。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	性の多様性に関する現状や課題について親子で学ぶ機会の創出
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	違いがあることが大切であり、社会の強さの源泉であることを子どもたちから当たり前にしていくしかないと思います。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	学校の教育が不十分だと感じる。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	男女問わずリーダーシップを発揮できる場を沢山経験させたり、下支えの仕事もたくさん経験したさせる
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	身体の仕組みや心のあり方など色々な人がいることを子供の頃から授業などで教えるべき
区民	30 代	その他	子ども・子育て・教育	国語の教科書などに引用する作家を多様化するなど、各教科書で言及される人物が必ずしも異性愛者ではないことを(もちろんセクシュアリティがその人物のアイデンティティではないので、それだけを強調するのではなく)自然なかたちで伝えるような教科書作り／見直し。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	当たり前の多様性を自然に身につけられるような教育
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	学校での啓発活動の促進
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	学校と家庭、地域の連携
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	小学校から高校まで、継続的に授業で取り上げ、子供達に考え、理解する機会を与えるのがいいと思います。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	性差に伴わない、男女の役割分担という考え方をなくす
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	学校の授業の中で、性別に関係なく個人を大切にすることを教えてほしい。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	根強く残る固定観念や差別意識を払拭する一番の方法は、家庭や学校での教育ではないかと思います。学校教育の担い手である教員の不足は切実な問題であり、子供達にダイレクトに影響しています。教員の待遇を改善し、教員数を増やしていただきたいと切に願います。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	教育現場でのいじめを防止する取り組み
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	今後変化していく時代に、しっかり考えて適応し行動していく力を付けてほしいので。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	やはり小さい時からの教育という息の長い取り組みが大切ではないかと思います
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	だれでもトイレを増やす。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子供への学校教育の中で性の多様性、国籍の多様性、障害の多様性など個性の違いを尊重し、それぞれの個性があるからこそ各々の得意分野を活かして協力してより

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				良い世界を作っていくというダイバーシティのメリットを伝えていく必要があると感じる。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	保育園から学校生活の中で見た目の男と女の二極化だけでなく自然に自分の感じる性でいる事、生きることへの偏見や固定観念のない状態で学校生活を送れば、段々と社会も変わっていくと思うから。男だから青色、女だから赤みたいな考えも変えた方がよいと思います。時間はかかるかもしれないが性教育も一緒にやっていくべきだと思います。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	子どもの時代から啓蒙が必要と考える
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	道徳教育の中での象徴的な実例エピソードの発信
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	性差別によるいじめの防止
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	直接話をしていただく
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	世界の中心東京、またその中心であり多様性のある渋谷で育つ子どもたちが、多様性に対する理解に富んでいることこそが、これからの日本を作る上で重要だと考えるため。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	小さい頃から偏見がないよう教育が大切
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教員による指導
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	性教育の拡充
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	セクシャルマイノリティの方を講師に招いて当事者の声を聞く
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	ちがいが当たり前であるということを本当の意味で理解できるような教育
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	学校での多様性理解促進の授業の実施
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	多感な時期の教育により区民の理解は深まると考えているため、教育現場における授業や課題による取り組みは有用と考えています。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	正しく知識をつけた教育者が授業を行い、マイノリティの子どもが相談しやすい場や差別されにくい場を作る
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	幼児期からのジェンダー教育に力を入れ、性別による差別や偏見をなくしていくこと
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	行政、関連機関と連携しながら、カリキュラムの中にジェンダーやセクシュアリティについての授業(理解教育)を推進する。
区民	18 ～ 29 歳	トランスジェンダー・エイセクシュアル	子ども・子育て・教育	幼少期から女の子だから、男の子だからと行動を制限することのない環境を整えてほしい。教師などの大人側に対する教育を行い、学校現場等で(社会に出る前に)、セクシャルマイノリティを含め多様な人がい

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				ることを肌で感じられる環境を身を置き、社会の複雑さを知ってほしい。
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	偏見やバイアスに気づく授業など
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育現場での多様性の教え。
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	渋谷区は他の行政区に比べてもこの分野の理解促進は進んでいると思うが、教育に携わる関係者の理解は昔と変わっていない気がする。保護者の目の届かない場所だからこそ指導者へ継続的に理解を深めさせてほしい。
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	具体的に案があるわけではないのですが、これからの社会を担う世代に、差別や固定観念を与えず、かつ埋められない性差についても正しい理解や配慮ができるような考え方を醸成する教育をしていくことができれば、今後の社会に資するものになるかと考えますので、教育の観点を重視しました。
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	寛容であること。
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	個人の価値観や自我が形成される12歳までの教育が特にその後の健全な成長には欠かせない。そして成人してからの行動に影響を及ぼすので、教育現場の充実を期待しています。
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	マイノリティの人々がいることを、学校の授業などで教育すること。
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	差別しない
区民	40代	シスジェンダー・ゲイ男性	子ども・子育て・教育	自ら性自認を表現できる自立心と、それを理解できる環境や人を育てる教育が必要だと思う。
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	誤解や偏見などしない様にあらかじめ学校等で話したりした方がよいと思います 閉鎖されてる社会は寂しいですので、全ての人が正しく開かれた社会になるのがよいと思います
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	多様性の勉強、ジェンダーの勉強。
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	小さな頃から多様性を受け入れることが当たり前感覚となるような教育・機会を設けること
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	具体的には良く分かりませんが、子供が早いうちから、多様性の理解を深める教育を行うべきだと思います。
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	ひと事では無い意識、当事者意識、社会性を持たせるための教育を小学校から実施すべきと思う。
区民	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	子どものうちから、道徳などで、多様な人間がいることを学ぶと良いと思う。国語数学なんかよりもよっぽど大事だと思う

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	多様性促進に関して、学校での授業で取り扱うだけでなく、地域での講演会なども積極的に行う。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	ジェンダーやセクシャリティに特化したものでなく、そういったことも含んで、今の社会の中で育まれるべき意識(シングルマザーの家庭、親が日本人でない家庭、発達障害など)まずは、子どもたちを取り巻く環境(家庭、子ども同士、学校、社会など)での理解を深めること
区民	18 ～ 29 歳	クエスチョニング／クイア	子ども・子育て・教育	子供達への教育。当たり前前にみんなが知識と理解のある街にできる。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育は大切だと考えているので、家庭でも学校でも小さなうちからジェンダーやセクシャリティを教え、今回のアンケートを取る必要のない区になって欲しい。ジェンダーやセクシャリティに嫌悪感のある先生もいると思います。プライベートではどのような考えでも良いですが、先生という職業を選んだのであれば、学校という教育の現場では広い視野で柔軟に対応出来るようになって欲しい。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育が変われば将来の社会が変わると思うから。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	大人は、頭でわかっているけど、多様化を実は許容していない社会で育っているため、実際にわかるのに時間がかかったりわからないことがあるので、新しい世代に教育し理解を深めてもらったり、固定観念で捉えないで知ってもらうことで今後の社会を考えて欲しい。また、教育現場で苦労している若者が、小さい頃から学生時代、辛い思いをして自殺に走ったりすることがないように取り組む必要があると思う。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	性教育への時間をもう少し多く取り、第三者のプロの方の話を聞いてもらうなど、親とも先生とも違うボイスチェンジも必要と思う。もちろん親からも先生からもちろんと子供と向き合って話していくことが基本にて。
区民	60 歳以上	クエスチョニング／クイア	子ども・子育て・教育	ずっと前ですが、アイリスさんの学習会で「人間は分類して名前をつけると安心する。犬とか猫とか…」との講師の方の話を聞いて、「まさにそのとおりだ」と妙に納得してしまったのを覚えています。自分としてもいつも「性はグラデーションなのだ」という気持ちでいたいし、子どもたちが小さいうちからそのような意識になるような環境を作ってほしいと思っています(具体的になくてすみません)。
区民	60 歳以上	クエスチョニング／クイア	子ども・子育て・教育	性の多様性の正しい理解のために、分かりやすい冊子を用意したり、学校の授業で教育の時間を設ける。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育現場で年齢に合わせた動画(物語)で、1 の理解促進をはかる取組みをするとよいと思いました。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	多様性を活かした授業をすでに対応されているように思えますので、引き続きお願いしたいです。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	思いつきませんが、時代なので、子供のうちから理解を深めるのが良いかと思います。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	出産、子育てに関しては、金銭的な援助と、子供が過ごしやすい環境がもっとたくさん増えないと、渋谷区で家族は住めない。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	全ては教育が基本と考えるため、公立教育機関の職員・教員の質を上げるべく、待遇改善に取り組んで欲しい。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	校則の緩和。固定概念でなく、清潔さが保持されていれば、相手や周囲が不快でなければ、それで良いと考えます。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	ジェンダーや他の属性で、人の価値が変わらない、という事の教育の促進。
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	子ども・子育て・教育	未来を担う子どもたちに、子育て・教育に力を入れて頂きたい。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	未来に向けて、子ども達の教育現場から生活の一部として自然に学べる場が大切だと思う
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	とにかく、子供たちの将来が一番大事です。「人権」を必須項目として、教育すること。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	学校ごとにカウンセラーを配置するなど、教育現場に「真剣に取り組んでいる」という姿勢をもっと示すべき。口先や広報だけでは限界がある。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	性別により役割が固定化する事の問題を日々感じている。子供のときの教育が大切。授業に取り入れる。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	LGBTQ の方の自身の性別に対する違和感は、低年齢の時から感じていると思うので、早い段階でのカウンセリング等の対応が必要だと思います。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育現場で、あらゆる人の人権が守られるべきとの考えを促進してほしい。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子どもに性の多様性を理解してもらうように教えること。また教師も生徒の多様性を認めた上で接すること。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子供達が住みやすい街にして欲しい
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	大人になってからの意識改革は難儀である為、小中高(特に小学生の)道徳の授業と合わせて取り組むべきと考えます。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	性にフォーカスしすぎなくとも「わたしはわたしらしく。」や「自分の“No”には価値があること」を幼少より伝えていくことが大事。自分を大事にすることは、基本的人権の話であり、そこに性もかならずついてくるので。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育や子育ての中で、多様性を認め合うことを自然とあたり前に思えるような取組を、家庭内や学校で学ばせる時間を設けること。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	共働き世帯が直面するいわゆる「小 1 のカベ」問題等、幼児だけでなく、児童が安心して過ごせる放課後施設の充実。民間企業等と協力し、そう言った制度を充実すべき。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	小・中・高それぞれの教育現場に即応した情報提供。グループディスカッションなどの実施。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	仲良くすること。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	小さい時からジェンダーやセクシュアリティのことを教えてあげて、今までの価値観を変えていくのがいいと思います。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	就学年齢になると急に色やもちもの・あそびについて、“男”“女”という概念が出てくる。学校という集団の場で、男女別の行動をとらせるのが効率的だからなのか?そこで芽生えた意識は、なかなか変わらないと思うので、6～7 歳からの教育の場のあり方が大事だと思う。(自身の兄弟の子を見ていて、幼稚園まではなかった色への意識の変化・一人称の変化を見ていて、やはりそうってしまったのかと少し寂しく思った。)
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	子どもがいることによって、親のどちらかがキャリアをあきらめなくていいような支援。保育・地域社会との連携。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	女性というだけで生きづらさを感じるので、教育が大切だと思う。
区民	30 代	クエスチョニング／クイア	子ども・子育て・教育	教育者が男女の思い込みで子どもへ教育しないよう、教育者側にも理解を促進できるような働きかけが必要だと思う。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	これからの未来を担う子どもを渋谷区で育てたいと思えるようにするのが、渋谷区の発展・人口増につながるから、ジェンダーやセクシュアリティの理解を深め、新しいことをどんどんしていってほしい。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子育て支援
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	ラグビーでも、今回の世界陸上でも、他スポーツでも、人種の MIX 化が進んでいる。教育の場でも“おおらかな”それが進むと良い。但し、受け入れる外国人の基準は、厳しくあるべきだと思います。
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	子ども・子育て・教育	やはり 99%以上の人が男性か女性。トイレやお風呂は別々であってほしい。小中学生の頃から教育現場で、LGBT の事や障害者の事を教えて、偏見をなくしていく。公共のトイレも多目的トイレを増やしたりする。世の中の人々は多種多様であることを教えていく。男か女かは仕事に関係ない。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	幼児レベルからの教育(幼稚園・保育園等で)
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	ジェンダーやセクシュアリティにおける偏見や理解不足、知識不足を解消すべく、その分野で進んでいるとされる国々(北欧諸国など)から人を招き、自国の取り組みや、日本の遅れている理由等を指摘してもらい授業や研修を取り入れる。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	学校での教育
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	少子化への取組み
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子どもの頃から、多様性を学ぶことにより、差別を少なくできると考えるから
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子どものうちに男女平等を教えることが大事
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	多様性を重視した教育が必要
区民	40 代	バイセクシュアル(両性愛)	子ども・子育て・教育	子どもが戸籍上の性と異なる服装や言葉をしていても、いじめられないように他の子への指導をしっかり行う。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	〇〇だからと決めつけない。「ちがいをちがいに」はとてもすてきな事だと思う。
区民	30 代	クエスチョニング/クイア	子ども・子育て・教育	教育、教養でこれからの人間(社会)が決まると思うので、「ちがいを」を小さい頃から教えることはこれからのとって一番大切だと思います。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	啓蒙活動が必要と感じた
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	「性は多様であるのが当たり前」という認識の共有
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子どもだけではなく親も含めて色々なジェンダーの方とのワークショップなど交流が出来る場をつくる
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	性教育や性の違いについて学校でもきちんと取り扱う
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	ジェンダーやセクシュアリティによるイジメなどの問題解決に力を入れてほしい。またボランティアなどでもお手伝いができる事があれば、多くの人が周知できるようにしてほしい。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	親子で性の多様性について話をきく場を設けたり、性的マイノリティといわれる当事者の方との交流の場を設け、偏見をなくするようにするとよい。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	人と違うことが、いじめに結びつかないように、教職員の目配りが必要。
区民	50 代	クエスチョニング/クイア	子ども・子育て・教育	悩んでいる子どもが相談できる環境づくり。当事者もそれ以外も他者を尊重することを大切にさせる教育。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子どものうちから男女は平等、性にとらわれない…等の教育を育むと良いと思う。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	テクノロジーの利用ではなく、教育内容そのものを時代に合ったものとすべき(区だけ

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				で実施できるものではないかもしれませんが)
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	個々がのびのびと生きていけるために、相互にリスペクトできる、考え方、環境を作ることが大切と思っています。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子供達が差別なくのびのびと生活できる世界であって欲しいと願います。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育現場で多様性について学べる機会が増えるといいなと思いました。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	学校で無記名アンケート
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	ちがいを認めることは大切です。でも、マイノリティを優遇するようなことは、ないようにしてほしいです。マジョリティが不安になったり、不都合を受けることはあってはいけません。何卒よろしく願います。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	義務教育で、ジェンダー、セクシュアリティの多様性、いじめは犯罪等、しっかりと子どもに教育することが大切と思う。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	当事者や弁護士などによる学校での講演やワーク
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	海外事例紹介
区民	40 代	その他	子ども・子育て・教育	育てると養うの違いを合わせて教えられる環境があるといいですね。教育したものを教養に繋げられればいつも考えています。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	他を知る為にはまず自分の事をよく考えて知っていくことが大切だと思うので、人文的な教育を重視するのが大切だと思います。本を読む時間を増やす取り組みで、いろんな人がいることを知って、それがおかしいことじゃないと当たり前に見える大人になってほしいです。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	生徒が先生の方を向いて一方的に教育を受ける形をやめ、サークルになって常に生徒主導の考え方を広め、先生はアドバイザー的な立場となり指導していく教育を一部でも良いので取り入れてほしいです。全員が同じ方向を目指す教育体制をそろそろ変えてほしいと思います。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	義務教育課程でマイノリティとの交流があると良い。知識だけではいけない。存在を実感し関わり方を身に付けなければいけない。「性」だけではなく「障害のある同世代の子」とももっと関われるような機会を作って欲しい。障害のある子達は特定の学校に集められ、普通校の子はそうした子達との交流がほとんどない。これでは「ちがいが」が拡大して行くばかりです。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	実際にあった多様性が認められず困った体験から、現実の課題や問題の原因や解決策を考える機会を作る。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育現場の人達の意識改革
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	偏見をなくすような教育
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育現場で子どもたちと直接関わりあう、教職員先生方への安心・負担軽減できる環境や制度、そもそもの教育のあり方を知る機会
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	犯罪被害者だけでなく、犯罪を犯してしまった家族支援も必要
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	誰でも傷病時は心身ともに弱っており、回復したくて病院にかかる。その時に守秘義務があるとはいえ、性的マイノリティであることを伝えたり、配慮を依頼するのはストレスだと思われるから。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	まずは、ジェンダー問題で不安を抱えた人のための相談窓口の拡充
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	なんでも相談できる窓口の設置と相談員増等
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	性別、婚姻形態に影響をうけない福祉
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	ジェンダーの対策は他区よりも進んでいると思いますが、相談窓口を増やすことも必要かと思います。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	渋谷区のジェンダーやセクシュアリティへの取り組みをもっと他の地域、日本全国に発信するべきだと思います。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	病院などでもセクシャルマイノリティが嫌な思いをせず受信や入院など治療を受けることができるようにする
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	予防医療の充実
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	サービスの内容や手続きなどの紹介と案内
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	男女別公共トイレの見直し
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	これからどんどん性別が色々な高齢者が増えていく中で、どのように対策していくかを重視して取り組んで欲しいと思います。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	マジョリティ、マイノリティ関係なく、医療等に関しては必要である。多様性は確かに大事だが、社会を回していくうえでマイノリティだけを考えていくことは不可能である。よく例に挙げられるが、「魚を与えるだけでなく、魚を捕る方法を教えるべき」行政が何でもかんでも与えるだけでなく、自分たちで考える機会、またそれを成し遂げた人と交流する機会などを設けるべきではないだろうか。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	いざという時に不便のないように
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	キレイで誰でも使いやすい公衆トイレの設置と管理

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	性別だけでなく、シニアだからといったの社会から孤立するような対応ではなく、孤立させないコミュニティが必要だと思う。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	金銭的な補助
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	誰もが「生きにくい」と感じる事がない様にして欲しい。まずはそこからだと思うので、性に関わらず、全ての人が同等の支援を受けられる様にしたら良いと思う。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	病院や福祉施設ではまだまだ根強くない。だがここで働いているスタッフから配慮が出来る、そこに通う子どもや高齢者へ認識が広まるのではないかと考える。入居者間の関係性をスタッフが見守る、そうした事例がある事を現場から区にあげる事も大事なような気がする。なかなか、病院に来る人皆が公言するわけではない。やはり、教育の場で今の子供達に教えていく事も大事と思うし、各家庭で子供から高齢者まで幅広くリーフレット(予算が費やせるのなら渋谷区独自のものを)を配布するのも良いのではないかと考える。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	病院の充実
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	行政サービスの多様性とその広報
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	定期健康診断の配慮
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	福祉サービスはいざという時、誰にでも大切。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	検診
区民	40 代	クエスチョニング／クイア	健康・医療・福祉	子供から高齢者迄、その人らしく安心して生活出来るサポート体制・相談窓口の整備。
区民	50 代	クエスチョニング／クイア	健康・医療・福祉	男だから・女だから・母だから・父だから「・・・だから」ではなく「その人だから」という目線のとりくみをしていただきたいです。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	具体的にはわからない。当事者に聞く事が大事だと思う。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	夜間パトロール・犯罪防止をもう少し強化して欲しい。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	利用しやすい病院の拡充。病院が減ると困るので。
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	健康・医療・福祉	医療
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	健康検診等、年一回行われていますが、血液検査項目は、男性社会のままだと思われる。女性特有の病気に対しての血液検査項目がありません。このアンケートで様々な悩みを抱えた人がいると知った。当事者にならないと理解できないことが多いことに、区民として共感力を持ち続けたいと思いました。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	カウンセリング
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	24h体制・休日も通える病院。病院巡回バス。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	どれも重要だと思う。一度に出来ないのであれば、2 か 3 と思う。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	役所や病院等で、抵抗なく利用できる部署を設ける。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	相談できる医療機関・カウンセリング等の充実、紹介等
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	健康・医療・福祉	健康診察等
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	ジェンダーやセクシュアリティの多様性を主張しても、国に認められていない以上、区が取り組むとか関係なく、当事者たちが自由にすれば良い。ただ、中には不快に思う人もいるので一般の人達のことも考えて欲しい。
区民	50 代	質問の意味が分からない	健康・医療・福祉	時間はかかるかもしれないが、意識を変えるような教育・講演などの頻度を増やすこと。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	誰もが利用できる福祉サービスを望む。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	医療と介護の連携が求められているかと思います
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	相談窓口の充実
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	高令者対策の充実を希む。憲法上の事ではあるが、夫婦別姓を応援している。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	性、障害者などマイノリティへの理解、支援。また、きょうだい児なども含めて、コミュニティの場を作る。(ヤングケアラー)←孤立、不安などを共有できる場がほしい。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	医療現場では、なかなか命が最優先のため、ジェンダーやセクシュアリティの視点は、重要視されていない。男女の部屋でわかれているため、そういった部屋の設置も必要だと思うが、病院はどれも赤字のため予算がない。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	医療機関の充実と利用のしやすさ、それらの情報配信の確保
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	高齢者への健康、医療、福祉
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	誰でも平等に福祉サービスが受けられる
区民	50 代	エイセクシュアル	健康・医療・福祉	パートナーシップ証明制度の周知
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	健康・医療・福祉	誰もが健やかに過ごせる、認め合える社会の実現のためのコミュニティ作りなどイベントやセミナー開催など
区民	30 代	バイセクシュアル(両性愛)	防災・安全・環境	すべての施設に男女を問わない設備と、男女が明確に分かれている設備のどちらも完備すること。(誰でもトイレも設置するが、誰でもトイレだけにしない、等)
区民	40 代	クエスチョニング/クイア	防災・安全・環境	避難所における配慮

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	歩道を歩いている時に、電動自転車のバイク仕様の違法運転が(宅配業者)危ない! 取り締まりが必要
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	近年増加する災害の際に、ジェンダー面での壁を感じる人もいるのではないかと思う。ただの男女でも被災した時は普段の生活ができずストレスも溜まるが、ジェンダーやセクシュアリティの違いは目に見て分かりづらいから尚更表面化しづらいので、どのような時も相談できる手段を用意しておくといいと思う。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害時の丁寧な指導、犯罪率低下への環境づくり
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	交番のような見張りを行う場所の設置や街をパトロールすること
区民	50 代	クエスチョニング／クイア	防災・安全・環境	災害時の避難所でマイノリティの人々がつらい思いをしないよう、スペースやトイレに工夫するといったと思う。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	避難所などで生理用ナプキンが十分に配布されないなど、基本的な問題が頻発していると聞くと、まずは各性別での違いと要件を十分に理解し、災害や犯罪などの緊急時に安心できる体制を作るべき。そのような考え方を、医療や福祉全体に波及させる必要がある。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	ジェンダーレス等を逆手に取った性被害が起こらないでほしい。柔軟な部分を作るいっぽうで、今までどおりの区画はあいまいにせずしっかり設けてほしい。
区民	40 代	クエスチョニング／クイア	防災・安全・環境	災害時にある程度の不便や不満が生じるような状況が生じるのは、ジェンダーやセクシュアリティの問題に限らず、一般的なことかと思っています。従って、安心して生活できる日常に一刻も早く戻れるように、災害からの復旧体制の整備、その為の都市計画、道路計画、産業の育成といった一般的な施策の充実・発展を望みます。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	生理の時の環境整備
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	有事の時にこそ出てくる男女格差等をなくすべく、色々なシュミレーションを行ってほしい。(被災地への視察・いろいろなジェンダーの方の意見交換等)
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	被災した際のシュミレーションが具体的にできるように、過去の被災地(避難所)の状況(実際に起きた犯罪、揉め事など)をまとめて情報提供する。性マイノリティでも、そうでない人も自分が被災した時にストレスがなるべくかからないよう、防災グッズを予め用意できるようにする。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	災害時の対策 食糧、飲料水、トイレ、医療

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	生活の安心安全が一番、災害時の避難所の情報などもっとわかりやすい状態にして欲しい
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	当事者の意見を聞いて取り入れられそうなものを取り入れて、区民にも理解してもらうために周知する。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	避難所に、性的マイノリティの為のトイレを設置する。
区民	40 代	エイセクシュアル	防災・安全・環境	治安を良くするための取り組み
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	災害時の避難場所とネットワーク回線の確保
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害時の蓄え
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	SNS を利用した防災イベントなどの発信
区民	60 歳以上	その他	防災・安全・環境	災害時の協力体制
区民	18 ～ 29 歳	クエスチョニング／クイア	防災・安全・環境	普段の生活や学生の制服などは自由でもいいと思うが公共施設では必ず戸籍上の性別を基準にするべきだと思う。双方の不安(強姦、不適切な公共施設、サービスの利用)が多すぎる為。いくら周りにジェンダーレスが居ようとも、まともな人は公共施設やトイレ、銭湯などを別の性別で入ろうとする人はいない
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	昼間の人口が多く、また外国人観光客も多い渋谷区では、災害時の対策に関する先進的な取り組みをなして他の手本となるべきではないか。もちろん災害対策はジェンダー問題に限ったことではないが…。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害時にジェンダー等の問題は優先順位が低く扱われやすいと思うので、そうならないように前もって準備しておく
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	いかなる人も困ることがないような配慮・工夫を。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	避難所で個が守られるようにする。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	避難所でのマナーなど守る様に伝えておかないと、後でトラブルになる。自宅避難などの時、配給などの情報伝達方法。災害時には住人だけでなく、観光客・外国人も来るかもしれないので、その対策。ちゃんと並ばずに沢山取る人とか絶対いると思うので。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	やりすぎでマイノリティを重視するあまり、他の人の迷惑も考えてほしい。例えば女性トイレに男性の格好をした人が入ってきたら、さすがに怖いと思う。やりすぎは良くない。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	多様性を気にしなくても済む避難所の設置と運営
区民	50 代	トランスジェンダー・エイセクシュアル	防災・安全・環境	災害が起こって避難所等の話で、男が性暴力をするというニュースをみたことがある。こんなバカがたくさんいるので、やはり

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				男・女別にするようなくみと、都会なのでペットと避難できるところをしっかりとつけてほしい。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	監視カメラの設置を増やす。せまい路地でも電灯をつける。
区民	50 代	クエスチョニング／クイア	防災・安全・環境	直感で分かるデザインの充実
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	トイレに長時間こもったり、たむろしたりできないよう、可能なかぎり個室をせまく、電源をとれないようにした上で個室数を増加して欲しい。性別どちらでも使えるだれでもトイレは良いものだが、全てのトイレをだれでもトイレもどきにする必要はない。回転率上昇、犯罪抑制が必要。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	誰もが安心して過ごせる避難所の整備(現状では誰も安心して過ごせないと感じる)。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	避難所での異性の視線を考慮した対策
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	防災・安全・環境	災害時の避難場所の充実度が不安
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害時の避難所のトイレの数を、女性用の方を多めにすること。身体的の性に合わせたトイレやお風呂の他に、性を問わないものを用意すること。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	あまりジェンダーとかきかたえず、違いではなく、一人の人間としての対応が良いのではと。すこしナイーブになりすぎているように思うのでした。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	男女で平等な態度を取ってほしい
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	避難所でのトイレ・入浴などの利用方法(ジェンダーの方が平等になるように)
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害が起きたとき(直後の避難先はむずかしいと思うが)性被害が起きないように性別で就寝する場所を分けてほしい。中学生以下の子は除く。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	ジェンダーやセクシュアリティを差別や偏見なくと言うが、女性は女性、男性は男性、性に悩んでいたり性的マイノリティのある人の3種類で考えてほしい。トイレを同じにしたりなど考えないでほしい。怖くて外出できなくなる。3種類トイレを作ったり、しっかりと分けて考えてほしい。すべて同じには無理だと思うし、犯罪を考える人もいると思う！すべての人が差別なく平等なのではなく、すべての人が安心して暮らせる渋谷区になってほしい。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	公共のトイレや入浴施設などは出生時の性別でのみでしか使用できないようにした方がよい(心での自認については、そのようなことはあるであろうという前提で)
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	外国人や多様性のある人々の多い渋谷区なので、災害時という極端な状況の中でも誰もが自分で自分の安全を確保できるしくみがあると多少安心です。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害時のような緊急時では誰もが不安になると思うので、窓口が必要。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	アンケートとかの「多数派意見」でルール方向性決定したことをおしつけないこと。全て人による、時と場合によるから。担当職員の方は 1 人 1 人でも考えて勉強して備えていてください。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害への備え
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	平常時には心に余裕があつて、ジェンダー等に対して理解を示していても災害等で非日常の期間が長ければ長いほど、余裕がなくなり、異質な事になってしまうかもしれない。その時、トイレやプライベート空間は、やはり神経質になる場所でもあるので、男、女の 2 種類だけでなく、ジェンダー用にも男、女を分けて準備をしてくれるとみんながストレスなく使用できると思います。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	地震等の災害が心配
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	木造住宅が密集している地区の為火災が常に不安。防災に関する情報、避難支援を充実願いたい。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	地震・火災等の大災害時の行政の支援
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害への注意喚起や備え
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	全ての区民が安全安心な生活を営むことができる、という視点で相手の立場に立って考えることを行政が積極的に取り組んで頂きたいです。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	そつとして置いて欲しい LGBTQ の人はいると思うので、過剰にしないこと
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害時でも避難所等で区民が人間らしく過ごせるように対策していただけるとありがたいです。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	自身が子育てをする中で、仕事や家庭の役割分担は家庭によって多様になりつつあると感じています。その一方で、男性が主体の子育て環境はまだ公的にも民間施設としても充実してないと感じることが多いです。男性が外に出かけるときに躊躇なく入れる子育て施設の整備やベビーケア施設の充実などが課題だと感じています。渋谷区からそのような取り組みがあれば、他の自治体にも広がりがあるように感じています。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	公衆トイレ等のデザインを先進的なものにする
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	性別で分けることのない公共施設(トイレ等) レディースデイ等のサービスの撤廃ないしはメンズデイの設立

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	ソフト面ハード面どちらの取り組みもあると良いと思います。啓発のための講座やシンポジウムが、働いている人も参加できるような時間帯に開催されると嬉しいです。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	誰でも使いやすい環境を、公共空間から徐々に整えていく
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	女子トイレだけが混んで並んでしまうことが多いので困る。都心部でイベントなどがあると、中で着替える人がいるからか女子トイレが大行列で本当に困る。混むエリアで男女共用のトイレを増やしてほしい。子連れや LGBT 的にも男女分けない方が利用しやすいのではないかと思います。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	公共施設のトイレ、更衣室、浴用施設は日常生活に密着しているので、それらをどう設計・デザインするかは、市民に対するメッセージ発信に有効だと思う。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	公共施設で整備するとよい
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	きれいな街
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	コミュニティスペースの創出
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	公共施設など普段目に留まる場所に、多様性を意識する図やメッセージを表示する。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	男女共用トイレの安全性の向上 悪質な性犯罪の温床にならないような対策
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	誰でも利用出来るトイレなど増やす
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	最近は何れでもトイレだけの設置をするパターンをよく目にしますが、私の考えは男性用、女性用、だれでも用(車いす使用可)を併設すべきと思います。また、男性器の付いたままのジェンダーの方は女性用への入室は出来ないようにすべきです。LGBTQ への考えも大事ですが、本来の女性の方が安心して公共トイレを使用できる環境を維持することも重要です。
区民	40 代	シスジェンダー・ゲイ男性	まちづくり・住まい・公共空間	実生活における物理的な大きなハードルとして申し掛かるのが、同性パートナーと同居する際に 2 人分の収入での入居審査が難しいこと。(そもそも夫婦以外の 2 人入居が可能な物件からして多くないが、2 人入居が可能であっても上記問題にぶち当たる) 婚姻証明書 Like なものの配布はそれ自体はありがたいのだが、現場での入居審査においては実効性がないので、ここがもう少し制度による後押しで実効性が担保されるようになってほしい。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	平和で穏やかに過ごせること

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	現状の取り組みを整理し、定量的・定性的な効果測定を行い、真に効果がある施策のみを実施する
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	男子トイレ、女子トイレ、誰でもトイレは分けてほしいです。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・ゲイ男性	まちづくり・住まい・公共空間	住まいに関して、パートナーがいた時、渋谷区のマンションで同棲する際審査が通らなかったことがあります。全ての市に平等になると良いなと思いました。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	渋谷区は街自体のメディア露出が多い市町村です。その意味で、どちらかというと視界的にアピールしやすい取組のほうが、好事例として取り上げてもらいやすく、その好事例が日本中に伝播していきやすいのではと感じます。たとえすばらしくても、誰も知らない取組は効果が出にくいのではと思います。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	男性/女性トイレが別れていることで、トイレは誰でもが性別に関係なく共有に使用できるように増して欲しい。
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	まちづくり・住まい・公共空間	子どもたちの遊び場が少ないと思います。公園等で禁止事項が多く、子どもたちの群れて遊ぶ姿が見られません。トイレより子どもの自由にとびまわれる場・人づくりに力を注いで欲しい。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	どちらの性であっても、特別視は良くない。性的マイノリティを認めすぎれば、おかしい奴らも認めなくてはならなくなる。(幼児性愛者・変質者等)
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	若者・外国人に加えて、カラスが町をキタナクしている。街をキレイに・清潔にしたい。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	まちや公共施設で多様性を尊重していることを区の方針として分かるよう、より PR
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	そもそもみんな同じ人間なのだから、渋谷区に住んでいる人はジェンダーもセクシュアリティも障害も何も関係なく、誰でも困っていれば助けてあげる事をすればいいと思います。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	安心して子育て、学習、仕事、地域活動できる区であるよう見守られていると実感できる町づくり。
区民	60 歳以上	クエスチョニング／クイア	まちづくり・住まい・公共空間	具体的なまちづくり、公共空間というのが思い浮かばないので、渋谷区ニュース等で周知すべき。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	「男・女」で分かれているような場所に、必ずもう1種類の場所があることが当たり前になれば、それが目につくようになり、教育にも、職場のあり方にも少なからずは影響があるのではと思いました。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	まちのいたる所に「ちがいがい…渋谷区」を見える様に工夫して区民全てに認知される迄継続してスローガン(←※途中で中止しない)を定着させる。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	性的マイノリティに対する差別をなくすことは良いことだと思うが、そうでない人達も安心して(例えばトイレに見た目と性別の違う人がいるとやはり怖いと感じるから)利用できるように施設を整えてほしい。
区民	60 歳以上	その他	まちづくり・住まい・公共空間	トイレなど男女分かれている公共施設(←おふろはムリ。例えば、1 個室のシャワールーム利用という選択があるといい)、犯罪防止ができる仕組みを取った住居の賃貸がだれでもできるように。例えば後見人制度のようにきびしい審査を設けて(LGBTQ をよそおった犯罪や危険の防止のためには必要に感じる)、LGBTQ の方々でも病院で家族同様の扱いをうけられるようにする。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	教育が差別や犯罪を減らす根本的な部分だとした場合に、あらゆる住まいの環境が整っていると自然と差別や犯罪はなくなる、文化を作ることです。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	トイレの充実
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	自分が思った事、考えた事をきちんと話せる窓口が必要だと思う。実際、いざとなると偏見、認識不足などがあるから、何らかのとうか、あるように思う。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	・男性用/女性用と分けられている設備(ex.トイレ)をジェンダーレスにアップデート *ただし性別で分けている既存の設備も残す形で ・LGBTQ に関する区イベントの実施* TLP よりももっと身近で、子どもに対する教育にもなっているとベター
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	男女のトイレが共通になることは避けてほしい。体が男性、心が女性であっても生物学的に男性なので、女湯に入って来たりがないようにしてほしい。それは逆も同様。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	公的に多様性を発信することにより、特別ではなく当たり前！という感覚に誰もがなる世の中だと良い。人として様々な個性を皆が尊重し合える社会作りを公的に発信していつてほしい。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	トイレ等の公共施設やスポーツイベント等、生物学上の性差で結果に差がついたり、嘘によって犯罪が起こりかねないような物は男性・女性の身体によって分けても問題ないし、そうするべきで、そのような教育や指導をするべきと思う。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	トイレの利便性 ※まだ、整備がおいっていない公共トイレがある為
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	現在の取り組みを継続・強化していくこと。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	同性パートナー同士のお子さんに関する手続き→両親として子供の手続きや親の同意が出来るようにする
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	利用しやすくすることに反対はない ただ、何も言わなくても日本は差別的考えはそも

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				そも激しくない 特に力を入れる必要性は感じないが、手続等でやりづらいところがあるなら、やりやすい用にするのはそう
区民	30 代	バイセクシュアル(両性愛)	行政サービス・区政運営	同性愛者の結婚制度の充実
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	法律で男女が明確になっていることに縛られずに柔軟な行政対応ができると当事者の方達は住みやすくなるのではと思いました
区民	30 代	バイセクシュアル(両性愛)	行政サービス・区政運営	戸籍にふりがなが追加されるようになりましたが様々な名前の方が増えている時代ですので、名前で性別を判断するのはやめていただきたい。又ジェンダートイレなど偏った意見の反映は無駄だと感じます。LGBTQの方々とそういった話も出ますが必要と感ずると言った話になったことがなく、当事者たちは今まで通り平穩に暮らしたいだけです。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	同性婚、夫婦別姓の実現を国に働きかけること
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	住民の声を受け付けること、受け付けた声を個人が特定されないよう配慮したうえですべて公開すること、そのひとつひとつの声に対する可否の公表すること。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	すでに取り組みのある行政サービスについて周知する
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	書類から性別の欄を廃止すること。性別を前提としたサービスの在り方を見直すこと。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	性差が特別なことではなく、普通であると認識が広まるためには、行政で認められ公に資格が付与されている根拠と自信が必要なのかと思います。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	同性のパートナーシップを認め、推進する上で起こりうるあらゆるハードル、日々の生活の障壁を解消することだと思います。身近にいるわけではないので、何が一番ボトルネックなのかはわかりかねるのですが。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	余裕のない生活をされている場合が多いとの前提において、どのようにする事が最も効率よく支援できるか？を基準に据えて取り組むべきだと思う。大前提として、平日の日中に窓口に行ける人は少ない。ヒカリエのような夜最低でも 7 時まで行ける窓口をもっと増やすべき。開始時間を夜にずらせば可能では？働きながら平日 9 時 5 時で赴ける人は少数である。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	マイノリティの意見を尊重する
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	認知している性での各種行政手続きが遂行できる体制づくり
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	各種行政サービスの一般周知に力を入れて欲しい

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	1 国民として性のあり方により手続きや人権が損なわれることのないよう、個々が自身の性に自信を持って日本で暮らせるようにあって欲しい
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	事実婚差別をなくしてほしい
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	行政のサービスの在り方は、住民の暮らしや子ども達の未来、高齢者の幸福に一番に結びついていると思います。住民の暮らしを 1 番に考える姿勢を示す行政・区政を行うところには志を同じくする良い人材も集まりさらに良いサービスにつながって来て、住民の暮らしや意識の向上につながると思います。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	性差のないサービスの提供
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	各種手続きの合理化
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	性のありようや障害をもつたない、独身か家庭を持つか、外国籍か難民かなどに関わらず、一人一人の人間を大切に、区別なく扱う行政であってほしい。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	保育園の充実。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	正確な情報に簡単に誰もがアクセスできるようにする工夫
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	違いを許容できる余裕を国民に持たせて欲しいです。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	性のありようという観点でなく、1 人の人間として対応するという観点に立って対応する取組が必要と思う。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	行政の手続き等知らずに損をすることが多いので、区報などにもう少しわかりやすく記載して頂けたらと思う。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	性的マイノリティの人が地域から受け入れられていると感じられるように、当たり前のように選択肢を用意すること。過剰にアピールや受入れを強化するのではなく、男性・女性と同じように公平に扱うこと。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	区役所や出張所の時間延長（土日にあける→月 1 日でも・営業時間の延長→週 1 日）
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	SNS 等による発信を増やす
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	HP のさらなる充実
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	行政サービス、区政運営の中で働く人々への意識啓発。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	「性」という事を特別扱いしない、問題点的ではない、とりくみができる事を願っています。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	第三者に迷惑、トラブル起こさない限り、それぞれの生き方を尊重し、同じ時代を共有出来れば、今回のようなアンケートも不必

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				要になるでしょう。但し法の整備は不可欠。
区民	18 ～ 29 歳	エイセクシュアル	行政サービス・区政運営	行政の手続きにおいて、性やジェンダー、セクシュアリティを感じる事が多くあると思う。例えば、何かの申請書など、簡易なものでも性別を問う記入が必要。その選択肢を男・女・それ以外と増やすだけでも受け取り方が違うと思います。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	友人が渋谷区が一番進んでいると言っていたので、情報発信いいと思います。取組み方はわかりませんが。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	制度で不自由を感じる印象があるから
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	行政サービス・区政運営	わかり易い行政・行政サービス・区政運営
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	情報発信のあり方、解り易くイラスト、動画なども工夫して
区民	30 代	シスジェンダー・ゲイ男性	行政サービス・区政運営	性別により区別することに合理的な理由がつかない手続、制度については、性別を考慮しないものとする(簡易なものとしては、手続書類における性別欄の削除など)
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	男女平等の本当のありかた。男でも女でもなく人間というくくり。好きなように生きる。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	役所に LGBTQ の方達をやとうのはどうでしょうか？
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	マイノリティ、マイノリティと特別扱いされているのを見ると、息苦しくなります。常識的な範囲で冷静に対応して欲しい。他国の真似をする必要はないと思います。マイノリティを特別扱いしすぎると逆差別になると思います。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	こうした多様性を伴う社会の中で、より深い理解を促進させるための施策及びわかりやすく利用しやすい行政と町づくり。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	誰もがどのジャンルの性でも受け入れる社会作り
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	具体的なリテラシー教育の普及
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	企業などにおける性の平等に関する啓蒙
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	男女関係なく勤労形態や給与の差別をなくす
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	職場でのハラスメントの防止
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	女性は出産や育児があるからと言って、重要なポストに就けないなどといったことが無いようにする。夫婦別姓とし、結婚によって姓名を変える必要が無いようにする。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	男性の方が残業を強制されていて可哀想
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	日本企業、特に中小企業はジェンダーセクシュアリティについての環境づくりができてにくい環境だと考えるので、区としてサポ

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				ートし、みんなが平等に気持ちよく働ける環境をつくってほしい。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	ジェンダーやセクシュアリティを気にすることなく、安心して働ける職場環境の確立
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	誰もがバイアスがあることを理解し、つねにメンバー全員が互いに気づき合い、自分を変えていける環境づくり
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	職場ではまだまだ男の子だから料理できないのは仕方ないというおかしな発言が飛び交っていたりします。もしそれが女性だったら、できて当たり前なのか？違和感を感じてしまいます。特に 40 代以降にこういった傾向が見れるので、社会として男女差別をなくすべきです。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	性別などの条件によらずに同一労働同一賃金が確保され、誰もが働きやすい職場への啓発や相談窓口の設置
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	過剰に意識しない 日本人独特な考え方からかえなければ問題解決はないとおもう
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	法整備
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	男女による昇進スピード、賃金格差を是正する。性差にまつわる発言をしない。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	渋谷区にある企業に、ハラスメント防止の教育を社員にするよう指導する
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	生活保障がなされないと、理不尽な職場環境に耐えなくてはならず、問題が広がります。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	男女間の格差是正(どちらが利する場合でも)
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	セクハラは加害者が全く罪の意識がないことが多い。意識のない(特に男性)に自分もあてはまるかも？と思ってもらうには、男性が主張することが大事だと思う。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	直接の回答ではありませんが、外観が明らかに男性である人が、女性と同じトイレを使用したりするのはやめてほしい。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	LGBTQ や女性の起業支援。融資や補助金で多様なキャリアを後押しする等。
区民	50 代	エイセクシュアル	働き方・経済活動	体の違い以外のことはフラットに働ける環境作り。→女性は生理・出産等、身体的負担が大きいと思います。
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	職場では、不平等でない成果報酬が与えられるべきだと思う。
区民	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	SOGI ハラに対する研修を行う。LGBTQ 等への配慮をしている企業を認証する。女性や性的マイノリティの人を対象に経済的支援をする。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	性差がどうしても必要なものがあるのかを明確にすべきかと…
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	ポスター等若い方が目につくような所へはる、年寄りには頭が堅いので時間をかけて啓蒙する

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	日本の職場は女性幹部の割合が少なく、男性優位と感じる。(政治も同じ)法が割合を決めれば良い、と思うが区から取組むと良い。
区民	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	性的マイノリティを持った人の採用。←職場の人の理解。
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	特段ジェンダーやセクシュアリティに力を入れる必要がない。それこそが平等。
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	言葉の重要性
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	官庁、企業へ差別防止の取り組みを促す、または義務化。
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・男性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	イベント企画
区民	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	どうあればいいかの議論の活発化と情報発信を頻繁にするのがいい。
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	マイノリティや外国人などに対する一切の差別の撤廃。ジャパニーズファーストなんてやめましょう。
区民	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	現在、どの程度の人を対象なのか不明だが、大ごとにしらないのも対象者への配慮と考えます。対象者が望む内容を模索していくべきです。
区民	40代	トランスジェンダー・クエスチョニング/クイア	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	性別含め、人権に関する啓蒙活動と、幅広い教育の不足を感じる。関連するテーマの読書会やコンテンツの鑑賞会の開催、また広報「しぶや区ニュース」でもマイノリティが登場する機会を増やして欲しい。特集や、特別版の発行などを実施して欲しいし、区民センターなどでも、もっと人権意識に関する標榜などを行って欲しい。「ちがいが力に変わる」という話を増やして欲しい。多様な文化や価値観の交わりに、互いの尊重と、新しい価値が生まれることについて、とにかく、まずは啓蒙と、次に受け入れる側の教育が必要だ。
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・男性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	多様性ありきの社会を作るのであればマイノリティがきもちわるいという意見も許容する雰囲気作りが重要。マイノリティをすべての人が受け入れるべきではない
区民	30代	シスジェンダー・異性愛・男性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	学校教育において、あるいは幼少期からジェンダー・セクシュアリティの多様性、男らしく・女らしくといった線引きを一切しない環境で、学びの場を作るべきだと思う。
区民	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	同性同士の結婚ができるようになってほしい。
区民	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	差別意識をなくす啓発活動(TVCM、ポスター、講演 特にシニアに向けて)

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	渋谷区に関してはグローバル化もあり、成人における認識や差別は他の地区より理解は高いと思います。公的にトイレや共同施設等の取り組みは外からの人の流れもあり、当事者を晒しかねないと思っています。
区民	40 代	バイセクシュアル(両性愛)	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	ジェンダーやセクシュアリティの多様性を、「そういう人もいるよね」と他人事のように考える意識からもっと身近に感じてもらえるような取組みをするとよい。例えば、市民講座を開催したり、ワークショップを開く(サイエンスカフェのような感じ)で意見交換やディスカッションをするイベントや企画を設ける。→LARP とかいいかも(ロールプレイングを通して自分以外の視点を体感することができるかもしれない)
区民	40 代	シスジェンダー・レズビアン女性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	同性婚が実現するように区の実績を国に提示して下さい。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	当事者ではなく、周辺の人々の差別や偏見をなくするための取組みや発信
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	女性専用美容サロンへ、トランスジェンダーの方の受け入れ
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	女装、特に一部の過激でセクシーな女装には生理的に不快感を感じます。どんな服装をするかは個人の自由ですが、公共空間では、ある程度の規制が必要かと思っています。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	無回答	・サービスの情報発信 ・行政の親切な対応
区民	50 代	シスジェンダー・ゲイ男性	無回答	自分で決めることが大事で、環境も自分で決めたのなら自分でいるか離れるか自分で決めるべき。
区民	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	無回答	学校教育の中で性の多様性があることを少しずつ学ぶように。実際にそういった人の体験談や自分がもしそういった立場だった場合、どのように思うかということを考える機会があってもいいのでは。
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	無回答	差別をなくす!
区民	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	無回答	我が家にはトランスジェンダー当事者がいるので、おトイレや学校でのあり方(着替えの場所など)を考え、その都度先生や同級生の親御さんと話せる機会があり、幸いなことに理解を得ることができました。ですが、家庭で本当の事が言えずに苦しい思いをしている子供は、今も昔も少なからずいると思います。そういった子供達への相談の窓口がもう少しあればと思います。我が家は渋谷区の公立小学校・中学校だったのですが、渋谷区の相談員の方がつねに相談室にいてくださいました。ですが、

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				その教室へ入る事が恥ずかしく、悩みがあってもあまり利用されていなかったと聞きました。なので、悩みがあってもなくても、気軽に立ち寄れる環境があれば、と思います。
区民	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	無回答	誰もが福祉に差別なく受けられる制度
区民	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	無回答	積極的に「お祭り」に参加するようにしています。みこしをかつがないまでも、盛り上がっているのを見たりするだけ(多様な人が沢山みていると思います、まちづくり・職場に通じていくように思います)でも十分に参加していると思います。今だにお祭りを通すと地元が、近隣が見えてきます。
区民	60 歳以上	質問の意味が分からない	無回答	自分自身に自信をもつこと
区民	40 代	トランスジェンダー・バイセクシュアル	無回答	健康・福祉・医療についての区としての取り組み
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	どのような人でも分け隔てなく、いのちを尊重するべき、という理念を伝えていく教育
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	どのようなことでも、教育がとても大切だと思うから。時間はかかるが、人の価値観を変化させていくには教育に力を入れていくことが近道となると思う
在勤者	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	男性が育休を取得することへの制度は少しずつ推進されているが、会社内ではまだ認められにくい現状がある。実際に男性でも育休をとること、育児を当たり前に行う事例が増えるとういことを考える。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	低年齢の子供の時から性別にこだわらない自由な雰囲気醸成が必要
在勤者	30 代	バイセクシュアル(両性愛)	子ども・子育て・教育	何十年もかけて積みあがった固定観念を覆すのは容易なことではないと思いますので、未来に向けて小さな頃から多様化に触れ、それが「当たり前」だと思える環境を作ることが今は一番大事なのかと思います。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	古来より現在までの「偏った」役割の固定化について、その必要性和不要性について改めて認識すると共に、必要な場合はどのようにしたらよいか、不要な場合はどのようにしたらよいかを判断できるような知識、方法、法律などを学べる環境
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	この世に生を受けた全ての人が、自分らしく幸せに生きる権利を持っていることを、幼い頃より子供たちが学び成長してほしいです。多様性を前提とした教育現場であることが大切だと思います。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子供たちへ向けた性の考え方について学ぶ時間を作ってはどうか
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	性の多様性の理解を促進するための教育を実践する
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育現場での性別の扱いをしない取り組み

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	①教育現場における包括的な性教育においては、小学生から性自認や性的指向の多様性について学ぶ機会を設ける。子どもたちが早い段階から多様な性を自然なものとして受け入れ、いじめや差別を少しでも減少させていく。並行して教職員への研修も強化し、当事者の子どもたちが安心して過ごせる環境を整備する。
在勤者	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教材を配布する際に「男は青、女はピンク」と決めつけるのではなく、様々な色から子どもに選ばせる自由があるとよい。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	セミナーのように、聞いて理解するものではなく、体感できるワークショップのようなものを教育現場や、行政が行うイベントなどで実施できるとよい。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	教育環境の整備。先生及び教育委員会自体の人的な質向上。教育内容の質向上。可能な限りの無償化(誰でも教育が受けられる権利の実現)。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	子供のころから違いを尊重する価値観を養えると思う
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	割と小さい頃から性への違和感を感じている子供たちがいると聞く。学校や家庭で、性の多様性に対してのプチ講座や対話などで対応していくのはどうであろうか。
在勤者	30 代	トランスジェンダー・エイセクシュアル	子ども・子育て・教育	制服の自由選択や性別分けを前提としない部活動参加の仕組み、健康診断などで「男女」に限らない選択しを設ける、性別欄の任意化など。カウンセラーなどがある学校でそういう相談もできるといい。保健室や医療関連のことも。教師への研修は相談窓口を設置し、家庭内で孤立している学生への対処がもっと必要。渋谷区が発信しているもの(オンライン・オフライン)でもっと多様な家族や性の在り方を反映し、「いろんな人がいるのは当たり前」と学生の頃から認知できると大人になっても差別的な考えが減る。図書館や図書室に多様な本だけでなく関係資料コーナーなどを設ける。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	保育園や学童の待機児童の解消
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	多様な方々と接することができるイベントを開催する。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	お互いに偏見や罪悪感を持たないで生きてゆければと願う
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	従前の「男らしさ」「女らしさ」といった型にはめた考え方をやめるように子どもたちに促す取り組み
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	レインボーパレードへの参加や当事者の方との交流など
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	教育現場での性の多様性への理解促進

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
在勤者	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	あらゆる年代に対して性の多様性への理解を促進する機会(授業や講座)があると良いと思います。
在勤者	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育現場で多様性への理解を促進する授業を行うのがよいと思う。理解者が増えれば、自然といろいろなことが整備されてくると考えるため。
在勤者	30代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	啓蒙活動
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教師に対する教育
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子どもの前に大人の意識改革が必要
在勤者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	偏見などを植え付けないような教育をした方が良いと思います。但し、ノーマルな者が思い込みで教育をするのも良くないと思うため、しっかりと当事者に意見を聞いたうえで制度充実化を願います。
在勤者	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	学校の授業で取り扱う
在勤者	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	幼いうちからの教育の充実が、将来の多様性豊かな社会の創成に、効果があると思うから。
在勤者	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	教育、子育てに現在起きている問題を教え伝えて行く。
在勤者	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	当事者の方との対話 自分事として捉えられるような企画
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	性の多様性について学校教育を行う
在勤者	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	マイノリティも大切だが、マジョリティに悪い影響がでないように配慮いただきたい
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	授業をひらく
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	子育て支援
在勤者	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育現場で、心と体の変化や状態には様々なことがあると知識として理解する時間を設ける。
在勤者	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	個性があって良いということをお子様のうちから伝えていくことが重要。
在勤者	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	日常の教育の中で、短期的対策と長期的対策を加味し、特別視せずに性の多様化と事実をタブー視せずに真面目にディスカッションできる力を養うこと。
在勤者	40代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	授業による取り組み。LGBTQ など用語の理解から、同性愛者差別の歴史、これからの同性愛者への理解について考えさせるような授業をのぞみます。
在勤者	18～29歳	バイセクシュアル(両性愛)	子ども・子育て・教育	年配が優遇されすぎている、といった方が自分の考えに近いです。
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	小学校、中学校、高校、大学で多様性、役割固定化の解消について、その社会的、経済的メリットについて座学や講演会を行う。自分の周りでは、特に男性の無理解が

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				目立つので、「メリット」を話していくと受け入れやすいのではと思う。
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	少子化への対応となる、生まれた子供をいかに大切に大人にするのか、まずは孤立している子供を他人でも暖かく育てることに協力することができる場所や環境作り
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	性別による役割の固定化を解消することやそれらが当たり前と思える雰囲気づくり
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	学校教育
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育現場において、バイアスを解消する取り組みや固定的な性別役割分担を植えつけることのない「隠れたカリキュラム」を実施する。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	教育
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	多様性が当たり前になるような教育。ただLGBTQ などの教育分量を増やすのではなく、男女の性差役割の思い込みや男性も当たり前家庭活動に従事することの大切さの啓蒙。男子校などで偏った権利意識を高めるような教育を行わない。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	授業、教職員の側の理解、保護者に対する啓発。後者二つについては、教職員・保護者向け研修(事例の紹介を含む)の実施。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	具体的な教育
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	多感な時期を迎えた子供たちが、安全に自分をオープンにできる機会をもてるような取り組みを目指してほしい。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	性に限らず、他者を尊重できる人を育てるようにしたい
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	子ども・子育て・教育	今後多様性は活性化していくと思うので、子供たちに強制ではない理解促進が必要だと思います。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子供の頃から実際に触れ合って、理解をできるような取組みをするといいと思う。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	医療機関との提携や対象者への紹介、新たな福祉サービスの開発など。
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	医療で、ジェンダー、セクシュアリティの何が問題となるのかは理解できていないが、生活していくうえで、医療そのものは重要な要素だと思うから。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	ジェンダーが自任と一致している人はまだいいと思うが、トランスジェンダーの人は医療などにおいて困ることがあると聞いている。医療は誰でも受けられるべきなので、トランスジェンダーであっても当然のように対応するような環境が大事だと思う
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	健康診断の際の配慮

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	医療の場などで、同性・異性パートナーでも戸籍上の夫婦関係に準ずる権利を行使できる
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	担当窓口スタッフに、希望者を配置する。AI 対応とする。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	実効性のある相談窓口の開設。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	医療者への教育
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	就学前から世代にふさわしい性教育を段階的に行い、ジェンダーやセクシュアリティという言葉すら無くなるほど当たり前の社会を構築する。子孫を残すという人間の根本的なことをバランス良く刷り込む教育が必要。
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害時は避難所などで性的犯罪が起きやすいため、希望者は女性専用の避難所に入ることができるようにしてほしいです。またLGBTQの方に配慮した避難所のあり方を構築していただくなどがあるととても良いと思います。
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害時の避難所が男女同じ部屋である場合が多く、若い女性を隔離しないと危険。東日本大震災の時、施錠したビル内に入ろうとして、入口付近に集まった見知らぬ男性たちが「入れろ、入れろ」と騒いでいたのを思い出すと今でも恐怖を覚える。
在勤者	50 代	質問の意味が分からない	防災・安全・環境	避難所で性被害にあうこともあると聞いたので、心が休まる場所の確保
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	防災訓練の実施など
在勤者	60 歳以上	その他	防災・安全・環境	外国人や多様な思考を持った人が増える中で地域社会を支えていた共通認識(アイデンティティー)が見えづらくなっている。多様性を活かすことがアイデンティティーを壊すとは考えていないが世界の様々な場所で分断を招いている要因でもある。曖昧な言い方ではあるが多様性を活かす為にも『共感』を醸成する機会・努力を社会は進めて行く必要がある。政治や行政、会社、地域コミュニティ、家族、個人全てのレベルで『共感』を育む機会を作ることが大事である。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	弱者を守るよう、避難滞在場所の区別(仕切り・別室等)を明確にしていきたい。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	マイノリティもそうじゃない人もどちらも安心できる環境。具体的には思いつきません。
在勤者	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	LGBTQ が理解されつつある世の中で、それが良いことだと思うことも多いが、それを利用して幼児虐待や性犯罪が増えているように感じる。そのような犯罪があることをないがしろにせず、しっかり取り締まり、被

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				被害者、被害者家族へのアフターケア、加害者への償いをしっかりと行うべきだと思う。
在勤者	30代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	平常時は問題なくとも、災害時などの緊急時は特に余裕のなくなる人が多いので、避難所においてあらゆる人が安全に過ごせる環境にすべきだと考える。
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	安全が全てに優先する。
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害関連死を防ぐ身体的、精神的ケア
在勤者	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	過去の災害における避難所において女性が性被害を受けた話をいくつも聞いている。同じ被災者同士でも男女別に分けるなどの対策をしてほしい。
在勤者	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	防災・安全・環境	渋谷区外からの来訪者(特に外国人)に対して、大規模災害発生時にどう対応するのか、日頃から渋谷区在住・在勤者や来訪者にしっかりと周知・浸透を図っておく必要があると思う。
在勤者	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	事前にわかるようなリーフレットが欲しい
在勤者	30代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	マイノリティ側に偏りすぎないことも意識してほしい。
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	日本の中で治安が良くないというイメージの街は少ないと思うが、渋谷は当てはまると思うので、安全な街になるための取組みを増やしてほしい。
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害時の渋谷区内の避難場所の紹介やその避難場所との連携がきちんととれるのかどうか気になる 場所だけあってもその先の区としてのサポートはどうなっているのか、場所を提供している企業との連携を一層深め再確認してほしい。企業任せではなく区も寄付などして備蓄するものを企業内に置かせてもらうなどしてしかるべき日に備えるべきだと思う。
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	自然災害への対策 避難所、物資の充実等
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害が発生した時、避難所等での対応や過ごし方は、女性が特に不利益を被ることが多いです。3.11 や能登の震災でも、女性はとてもイヤな思い、怖い思いをしてきたと聞きます。それを踏まえると、様々な人が関わる渋谷区で災害が起こった時、安全に過ごせる避難所や、精神的に傷つけない環境の確保はとても重要なテーマだと思います。
在勤者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	個人がどう対応するべきか基礎知識が入るように、企業やメディアが中心となって啓発する
在勤者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害時の対応や緊急避難場所や相談窓口等が明確になっていると良いと思います。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	気兼ねなく利用できるトイレは大事と思いました。
在勤者	30 代	クエスチョニング／クイア	まちづくり・住まい・公共空間	性的マイノリティに配慮した設備の充実はもちろん大切だと思うが、それを優先しすぎてマイノリティ以外にしわ寄せがいく例が見られた（男女共用トイレの設置により女性がトイレを使用できなくなるなど）。そうすると本末転倒なため、なるべく全ての性に平等に設備を整えるべき。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	公共の場の防犯カメラの設置増により犯罪を助長する死角をなくす「ジェンダー上の男性」が女性用トイレや女性用浴場に入らずにすむ施策、確認手法の確立（その逆も必要）
在勤者	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	LGBTQ など性的マイノリティの方が利用しやすいトイレや銭湯の設置
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	プライバシーが守られ安心して利用できる環境の確立と、そのための方策を幅広い層から募る。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	街灯の整備や、道路などのインフラを安全に保つなど、住民が安心して暮らせる街にすること。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	性のありよう、宗教の多様性などに配慮したトイレの設置
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	賃貸物件を借りる際の審査
在勤者	50 代	バイセクシュアル（両性愛）	まちづくり・住まい・公共空間	まず、本来の生物学的「性」による、安全性に配慮した公共施設（特にトイレなど）を充実させて欲しい
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	トイレの充実。行列にならない女性トイレの設置、清潔で誰もが安心して使用できるトイレの設置の取組みをするとよいと思います。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	トイレ設置などは行政の支援が重要。
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	ジェンダーに悩みを抱える人に寄り添うことは当然必要だと思うが、出生時の性別と自認の性別が同じ人への配慮も同様に必要だと思う。性別を問わず使用できるトイレ等は必要だと思う反面、性犯罪が起こるリスクも従来よりは高まると思うため、セキュリティと併せて検討する等必要だと思う。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	差別なく住居を借りられる
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	強くない方々と理解し物理的にも寄り添う環境が必要
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	性的意識をせずに利用できる施設や環境整備
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	トイレの問題は当事者も周りも何かしら問題視することがあるのかなと察するので、男女だけでなく「だれでもトイレ」のような場所の数をもっと増やして欲しいと思う。（子供のトイレで使おうと思った際に、埋まっている事も多いため。）

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	パブリックスペースにおける交流の促進など
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	①国や性別などを回答させることからやめる。こういったアンケート調査、渋谷区に所在する企業の履歴書など。②男性限定や女性専用などの文言について公共の場での使用を禁止にする。女性専用車両など。①②ともに条例で制定して、罰則をしっかりと設ける。個人努力に任せない。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	英字表記、点字表記、ジェンダーに配慮した表記、目に見える些細な部分から変えていくことが必要だと考えます。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	まちづくり・住まい・公共空間	多目的公衆トイレの増設
在勤者	40 代	質問の意味が分からない	行政サービス・区政運営	多様化(少数)へ目を向けることは良いが、そもそもの規定部分(多数・固定)が社会の大部分であるが故、既定の内容を疎かにするのであれば、掲げる大義があるかは不明である。少数へ割く予算や人員・育成などに掛けるのであれば、現時点での問題や改善を推進することの方が重要である。インフラ・公共施設・防災・犯罪・外国人対策など。
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	性のありようにかかわらず平等にサービスが受けられる事
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	様々な取り組みへの認知度を上げるための工夫が必要だと思います。制度を知ることによって、人の考え方や接し方も変わってくると思います。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	夫婦別姓、事実婚でも行政サービスを平等に受けられる様にする
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	対面でない行政サービス利用等の充実
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	個人情報の秘密保持
在勤者	60 歳以上	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	性別にかかわらず利用しやすい行政手続き
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	ルールやマニュアルに縛られず柔軟な対応を希望します
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	自然な対応をする。男だから女だからマイノリティだからと区別しない
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・女性	行政サービス・区政運営	このようなアンケートと事態、行政サービスでの差別があるようにも感じる。渋谷区以外日本全体(政治家がもっと個々の生きづらさがあるのを認識した方がよい)
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	ノーマルが生きやすい世の中を確保してください。大体行政や権利団体のやることは、ノーマルへの啓蒙ばかり。マイノリティへの啓蒙はしていますか？マジョリティ中心の社会で、どうやったら生きやすいかをしっかり教えないから、余計に生きにくい。そして生きにくさをノーマルな人間のせいにしてしまうのです。

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
在勤者	50 代	クエスチョニング／クイア	働き方・経済活動	社会制度に対して、厳格と思われる公務員が率先して、服装や容姿、立ち振る舞い等を、自由にする事が1番の社会への啓発になると思う
在勤者	60 歳以上	トランスジェンダー・エイセクシュアル	働き方・経済活動	性別で料金が違うことの禁止。たとえば「レディースデー」のような。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	行政主導による勉強会の実施
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	行政からの働きかけの促進
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	ジェンダーやセクシュアリティの外部セミナー等
在勤者	40 代	シスジェンダー・ゲイ男性	働き方・経済活動	ジェンダーもそうだが、そうでない方も独身というだけで昇進止まりなイメージがあります
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	働き方の多様性
在勤者	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	職場内で性の多様性について理解を深められるようなセミナーを定期的で開催する
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	周りの人の意識
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	性別にかかわらずフラットに評価し、だれでも活用できる制度をつくること。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	其々の人々が利用しやすい制度の整備（フレックスタイム制、リモートワークなど）
在勤者	40 代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	周りの理解を深める活動
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	大小に関わらず、すべての職場でのハラスメント防止等の啓発活動の徹底。
在勤者	50 代	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	ジェンダーセクシュアリティでも普通に働ける環境を作る。簡単には行かないと思いますが、男女同等に 3 つ目、4 つ目として位置づけしていく働きかけ（学校教育から）を実施していく。
在勤者	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・男性	働き方・経済活動	職場の理解促進。ハラスメントに対する罰則強化。
在勤者	50 代	シスジェンダー・ゲイ男性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	多様性の理解と周知の促進
在勤者	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	性自認を認めつつ、身体特徴で区別すべき施設まで変更しない・区別をすること。
在勤者	30 代	シスジェンダー・異性愛・男性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	多様性の理解促進。
在学者	40 代	バイセクシュアル（両性愛）	子ども・子育て・教育	教育現場で性差別やジェンダー差別防止のために授業や、人権を尊重するための授業を行い、自身も、他者も思いやれる思考過程を抵抗なく持てるような教育を早期から実施していく
在学者	18 ～ 29 歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子供が小さい頃から、ジェンダーを気にしない教育ができること。そのためには教育者と子供が平等に意見を言うことのできる環境整備、主体的な学び、自分で意見を

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				言える力を身につけられる環境が必要だと思う。海外の教育を取り入れる。
在学者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	子どもの学校以外での居場所作り
在学者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	学校教育においてセクシュアリティについて学び、知ることが出来る環境を整える。また、セクシュアリティについて教員に対しても勉強会などで理解を深める必要があると思う。
在学者	60歳以上	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	親子で参加させる取り組みが必要と考える。
在学者	18～29歳	トランスジェンダー・性的指向問わず	子ども・子育て・教育	企業が従業員を雇用する際には、性別に対する偏見を減らす取り組みを進めるべきである。例えば、女性の服装に対する過度な要求や、「女性は化粧をして出勤すべき」という考え方などが挙げられる。このような性別に基づく偏見は職場に限ったものではなく、より深いところでは、社会全体において人々が幼い頃から受けてきた教育の中に、女性に対する偏見や規範意識が当たり前のものとして根付いていることが問題である。
在学者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	学校教育者(教師など)の認識を変えることです。
在学者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	教育現場での性の多様性に関する授業・講義を、年齢に合わせて実施していく。その際に専門職が行うのか、教員が行うのか。また、その内容について、どのようなものになるかをしっかりと教育機関で審議していく必要があると思う。
在学者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	子ども・子育て・教育	幼い頃から性の多様性について理解をしていたら大人になっても自然とその多様性を理解できると思うから
在学者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	社会サービスの施設で働く人々へのジェンダー理解を進める
在学者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・男性	健康・医療・福祉	健康など医療制度の強化
在学者	40代	シスジェンダー・異性愛・女性	健康・医療・福祉	性別に対する偏見を持たれず、当たり前のように受診や相談ができる社会が必要だと思います
在学者	18～29歳	トランスジェンダー・バイセクシュアル	健康・医療・福祉	医療職側の理解促進
在学者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	普段は、何とか本人たちで対応できることも多いと思うが、非常時は、皆、心に余裕がなく、気持ちが殺伐として、トラブルが多くなると思うから。
在学者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	防災・安全・環境	災害時の本部などで、男女両方の意見を聞くこと。
在学者	30代	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	トイレを誰でも利用できるような配慮
在学者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	まちづくり・住まい・公共空間	性を理由にされない生活 偏見・固定概念がなく 当事者の声を取り入れる
在学者	30代	シスジェンダー・異性愛・男性	行政サービス・区政運営	生物学的な性に基づくサービスは、もはや時代に沿わない状況となっており、早急な

3. 区民意識調査・在勤者意識調査・在学者意識調査 調査結果

調査区分	年代	セクシュアリティ区分	問 41-1②.渋谷区が取り組むとよいと思うことのうち、最も重視すること	問 41-2.最も重視することについて、具体的に取組むとよいと思うこと
				対応が必要である。その中心にあるのは行政サービスであり、行政が中心となり取り組むという強い思いと姿勢が重要だと思っているため。まずは行政職員の意識改革からはじめるべきだと思います。
在学者	50代	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	全管理者に性のありように関する教育を実施する
在学者	18～29歳	質問の意味が分からない	働き方・経済活動	働く時間の削減や、職場の立ち方での上下関係でのいざこざの防止など
在学者	18～29歳	シスジェンダー・異性愛・女性	働き方・経済活動	社会人向けの啓蒙活動など
在学者	18～29歳	クエスチョニング／クイア	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	学校等でジェンダーに関する授業をやる
在学者	18～29歳	クエスチョニング／クイア	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	教育などでジェンダーなどについて教えるのはいいことだが、区別するような教育は良くないと思う。過剰に取り組みをしすぎることで逆に普通じゃないというイメージが植え付けられ浮いてしまうと思う。
在学者	30代	シスジェンダー・異性愛・男性	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	多様性を受け入れることができないことも、また多様性の一つだと考えます。多様性を受け入れることを強要するようなことは避けるべきだと思います。

4. 中学生意識調査 調査結果

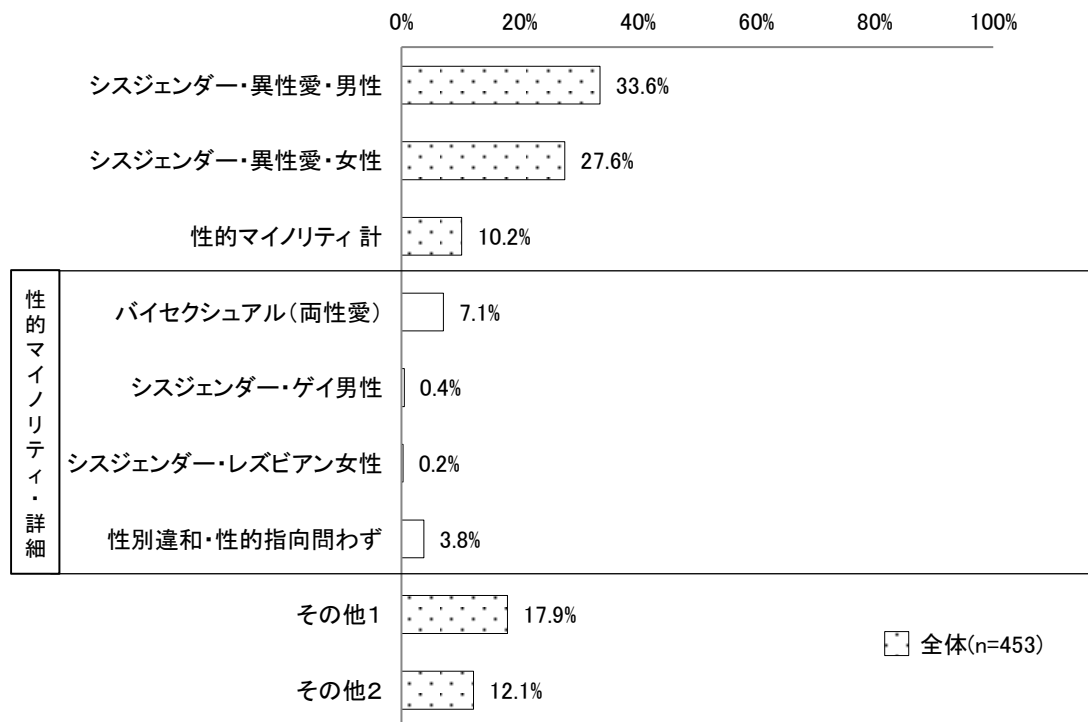
4-1. 回答者の基本属性

(1) セクシュアリティ

回答者全体のうち、「性的マイノリティ 計」は 10.2%となっている（前回調査では 7.9%）。

詳細をみると、「バイセクシュアル（両性愛）」が 7.1%（前回調査では 4.1%）、「性別違和・性的指向問わず」が 3.8%（前回調査では 4.5%）などとなっている。

図表 125 セクシュアリティ：単数回答（問 13～問 15）



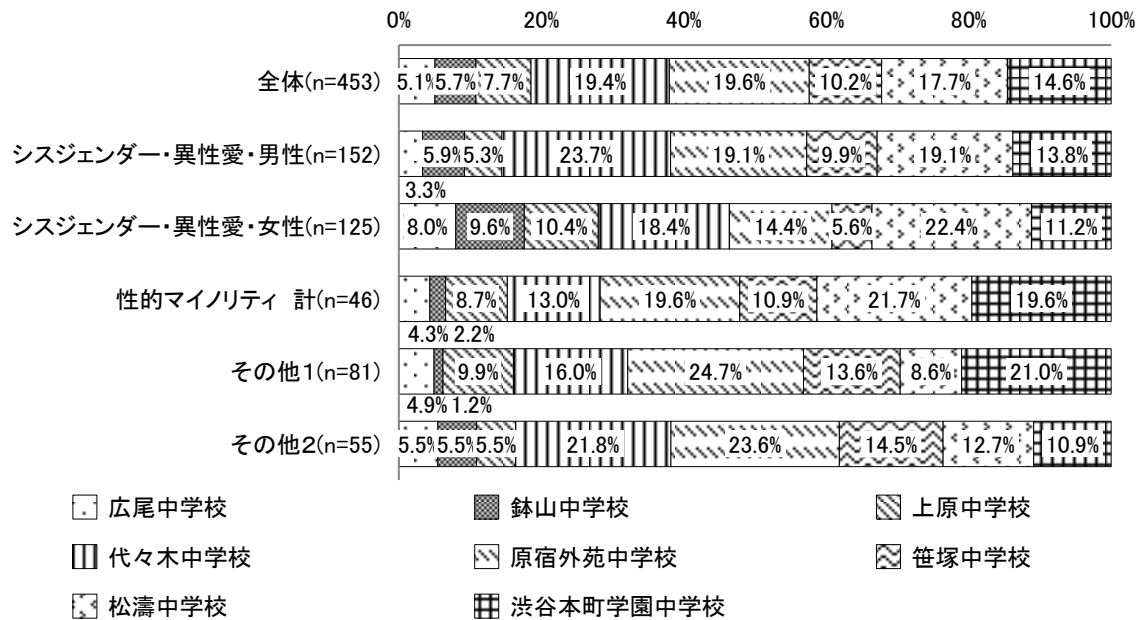
注) 中学生のセクシュアリティ区分は、問 13、問 14、問 14-2、問 15 の回答により区分しており、前述の区民／在勤者、在学者調査とは区分方法に相違がある（詳細は、「1. 調査概要」参照）。

注) なお、「性別違和・性的指向問わず」の中で「バイセクシュアル（両性愛）」との両方に区分された回答者が 6 名、「その他 1」との両方に区分された回答者が 6 名存在する。

(2) 学校名

回答者の学校名をみると「全体」では、「原宿外苑中学校」が 19.6%でもっとも割合が高く、次いで「代々木中学校」が 19.4%となっている。

図表 126 学校名：単数回答（F1）



注) セクシュアリティ別の集計は、「性的マイノリティ 計」と「その他」に重複する回答者が含まれるため、「シスジェンダー・異性愛・男性」「シスジェンダー・異性愛・女性」「性的マイノリティ 計」「その他1」「その他2」の合計は「全体」の数値と一致しない。以下同様。

		合計	F1.学校名(単数回答)							
			広尾中学校	鉢山中学校	上原中学校	代々木中学校	原宿外苑中学校	笹塚中学校	松濤中学校	渋谷本町学園中学校
中学生・全体		453	5.1	5.7	7.7	19.4	19.6	10.2	17.7	14.6
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	3.3	5.9	5.3	23.7	19.1	9.9	19.1	13.8
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	8.0	9.6	10.4	18.4	14.4	5.6	22.4	11.2
	※性的マイノリティ 計	46	4.3	2.2	8.7	13.0	19.6	10.9	21.7	19.6
	バイセクシュアル(両性愛)	32	3.1	3.1	9.4	9.4	15.6	12.5	21.9	25.0
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	—	—	50.0	—	50.0	—	—
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	5.9	—	5.9	11.8	23.5	11.8	29.4	11.8
	その他1	81	4.9	1.2	9.9	16.0	24.7	13.6	8.6	21.0
	その他2	55	5.5	5.5	5.5	21.8	23.6	14.5	12.7	10.9

注) サンプルサイズが 30 未満のものについては、参考値。以降同様。

4-2. 男女共同参画について

(1) 「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われた経験

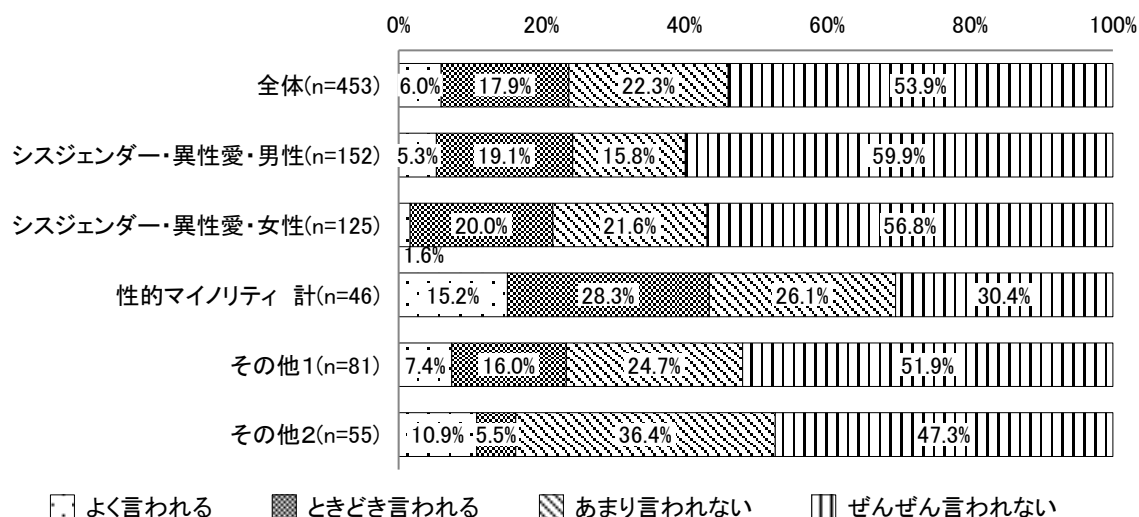
① 「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われた経験の有無

「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われた経験の有無をみると、言われたことがある割合（「よく言われる」「ときどき言われる」「あまり言われない」の合計）は、「全体」では 46.2%となっている。

セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 40.1%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 43.2%、「性的マイノリティ 計」では 69.6%、「その他 1」では 48.1%、「その他 2」では 52.7%となっている。

したがって性的マイノリティでは、他に比べて 20 ポイント程度、言われたことがある割合が高く、性別に応じたふるまいを求められた経験が多い様子が見られる。

図表 127 「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われた経験の有無：
単数回答（問 1）



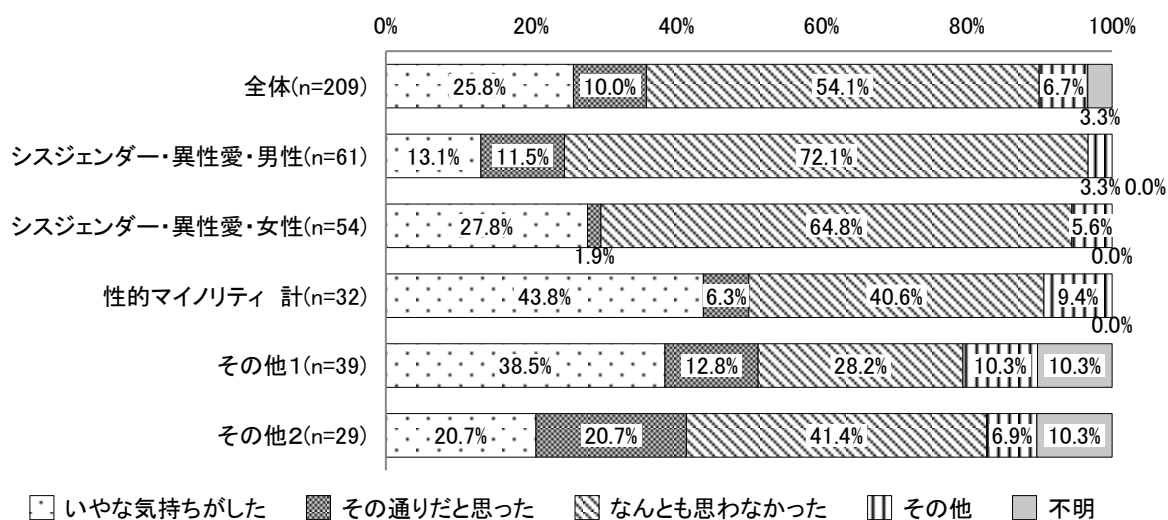
		合計	問 1.「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われた経験の有無(単数回答)				
			よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	ぜんぜん言われない	不明
中学生・全体		453	6.0	17.9	22.3	53.9	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	5.3	19.1	15.8	59.9	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	1.6	20.0	21.6	56.8	-
	※性的マイノリティ 計	46	15.2	28.3	26.1	30.4	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	12.5	21.9	28.1	37.5	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	-	-	100.0	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	-	100.0	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	47.1	17.6	5.9	-
	その他1	81	7.4	16.0	24.7	51.9	-
	その他2	55	10.9	5.5	36.4	47.3	-

②「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われたときの気持ち

「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と「よく言われる」「ときどき言われる」「あまり言われなさい」と回答した者について、そのときの気持ちをみると、「全体」では、「なんとも思わなかった」が54.1%でもっとも割合が高く、次いで「いやな気持ちがした」が25.8%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「いやな気持ちがした」の割合は、「シスジェンダー・異性愛・男性」(13.1%)に比べて、「シスジェンダー・異性愛・女性」(27.8%)では2倍以上となっている。

図表 128 「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われたときの気持ち：
単数回答（問1-2）



注)「その他2」はサンプルサイズが小さいため参考値。

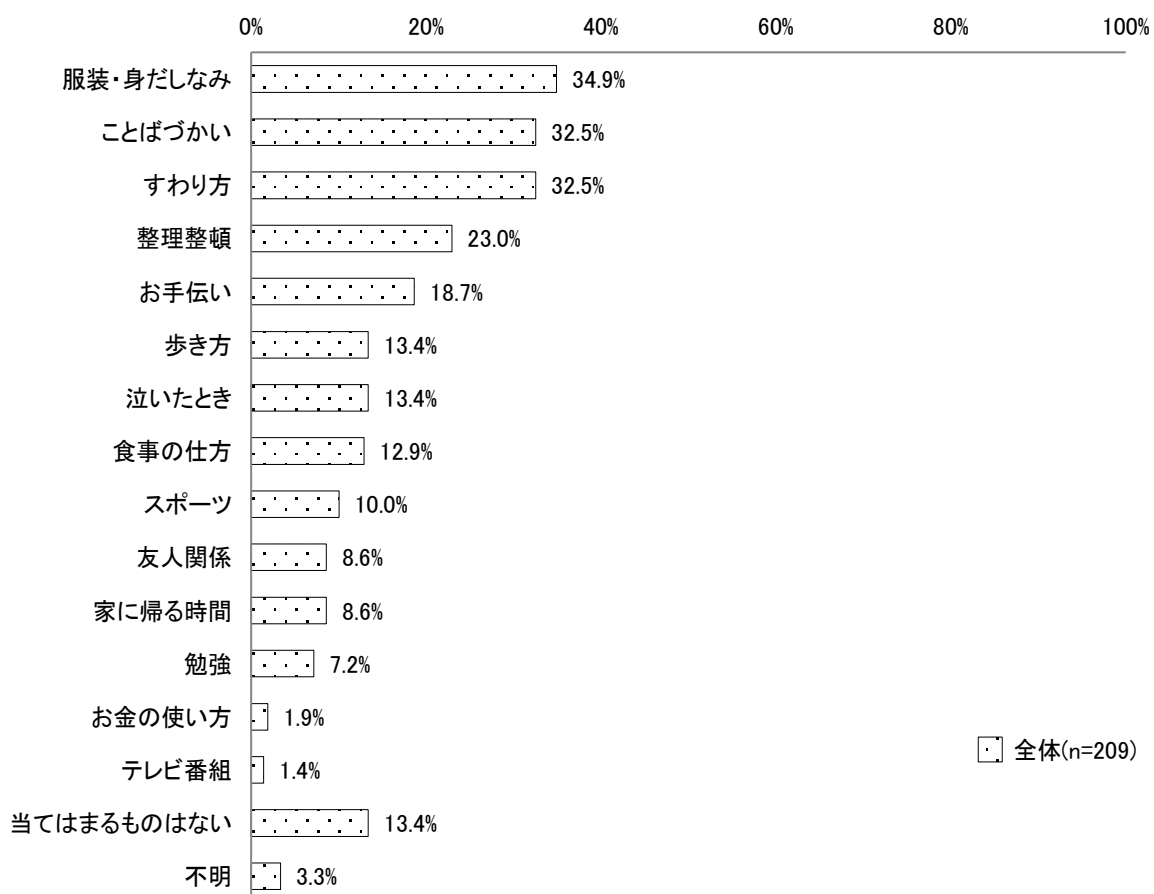
		合計	問1-2「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われたときの気持ち(単数回答)				
			いやな気持ちがした	その通りだと思った	なんとも思わなかった	その他	不明
中学生・全体		209	25.8	10.0	54.1	6.7	3.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	61	13.1	11.5	72.1	3.3	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	54	27.8	1.9	64.8	5.6	-
	※性的マイノリティ 計	32	43.8	6.3	40.6	9.4	-
	バイセクシュアル(両性愛)	20	30.0	5.0	50.0	15.0	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	0	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	-	100.0	-	-
	性別違和・性的指向問わず	16	56.3	12.5	25.0	6.3	-
	その他1	39	38.5	12.8	28.2	10.3	10.3
	その他2	29	20.7	20.7	41.4	6.9	10.3

③「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われた内容

「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と「よく言われる」「ときどき言われる」「あまり言われない」と回答した者について、言われた内容をみると、「全体」では、「服装・身だしなみ」が34.9%でもっとも割合が高く、次いで「ことばづかい」「すわり方」が32.5%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「すわり方」、「服装・身だしなみ」、「ことばづかい」、「整理整頓」などの項目において、「シスジェンダー・異性愛・女性」は「シスジェンダー・異性愛・男性」より2倍以上「女だから〇〇しなさい」と言われた経験があり、シスジェンダー・異性愛者内で比較しても、女性のほうが性別に応じたふるまいを求められた経験が多い様子がうかがわれる。

図表 129 「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われた内容
：複数回答（問1-3）



4. 中学生意識調査 調査結果

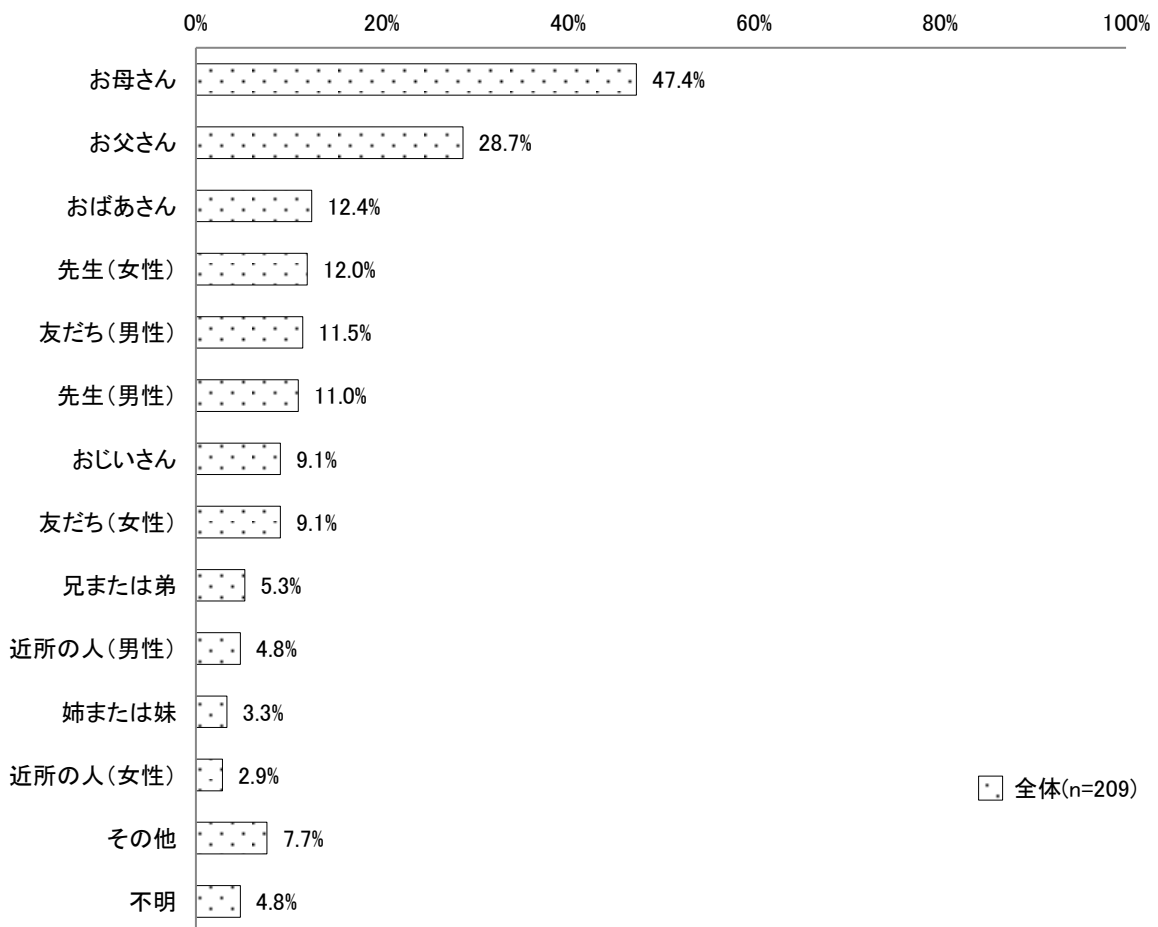
		合計	問 1-3.「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われた内容(複数回答)							
			服装・身だしなみ	ことばづかい	すわり方	整理整頓	お手伝い	歩き方	泣いたとき	食事の仕方
中学生・全体		209	34.9	32.5	32.5	23.0	18.7	13.4	13.4	12.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	61	18.0	13.1	9.8	9.8	19.7	8.2	24.6	4.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	54	55.6	44.4	51.9	38.9	22.2	25.9	1.9	22.2
	※性的マイノリティ計	32	37.5	43.8	40.6	28.1	15.6	9.4	15.6	15.6
	バイセクシュアル(両性愛)	20	35.0	30.0	50.0	25.0	20.0	5.0	10.0	15.0
	シスジェンダー・ゲイ男性	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	16	43.8	75.0	37.5	31.3	12.5	18.8	31.3	18.8
	その他1	39	38.5	38.5	25.6	25.6	15.4	7.7	12.8	12.8
	その他2	29	27.6	34.5	44.8	13.8	13.8	13.8	6.9	10.3
		合計	問 1-3.「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われた内容(複数回答)							
			スポーツ	友人関係	家に帰る時間	勉強	お金の使い方	テレビ番組	ない 当てはまるものは	不明
中学生・全体		209	10.0	8.6	8.6	7.2	1.9	1.4	13.4	3.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	61	14.8	6.6	1.6	8.2	-	-	23.0	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	54	5.6	11.1	20.4	9.3	-	1.9	3.7	-
	※性的マイノリティ計	32	12.5	9.4	9.4	6.3	3.1	-	12.5	3.1
	バイセクシュアル(両性愛)	20	15.0	5.0	5.0	5.0	5.0	-	20.0	5.0
	シスジェンダー・ゲイ男性	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	16	18.8	18.8	12.5	6.3	6.3	-	-	-
	その他1	39	10.3	15.4	5.1	-	5.1	5.1	12.8	5.1
	その他2	29	3.4	3.4	6.9	10.3	3.4	-	10.3	13.8

④「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言った人

「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と「よく言われる」「ときどき言われる」「あまり言われない」と回答した者について、言った人を見ると、「全体」では、「お母さん」が47.4%でもっとも割合が高く、次いで「お父さん」が28.7%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・女性」や「性的マイノリティ 計」では約6割の回答者が「お母さん」から「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われた経験があるのに対し、「シスジェンダー・異性愛・男性」は3割程度となっており、相対的にシスジェンダー・異性愛・男性のほうが性別に応じたふるまいを求められた経験が少ない様子が見えてきた。

図表 130 「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言った人：複数回答（問1-4）



4. 中学生意識調査 調査結果

		合計	問 1-4.「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言った人(複数回答)							
			お母さん	お父さん	おばあさん	先生(女性)	友だち(男性)	先生(男性)	おじいさん	友だち(女性)
中学生・全体		209	47.4	28.7	12.4	12.0	11.5	11.0	9.1	9.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	61	27.9	24.6	3.3	14.8	16.4	18.0	4.9	9.8
	シスジェンダー・異性愛・女性	54	63.0	42.6	25.9	5.6	5.6	7.4	13.0	5.6
	※性的マイノリティ計	32	59.4	25.0	12.5	21.9	15.6	15.6	12.5	15.6
	バイセクシュアル(両性愛)	20	65.0	20.0	15.0	25.0	15.0	15.0	10.0	15.0
	シスジェンダー・ゲイ男性	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	16	56.3	43.8	12.5	31.3	25.0	25.0	18.8	31.3
	その他1	39	48.7	17.9	10.3	7.7	12.8	10.3	5.1	10.3
	その他2	29	37.9	27.6	6.9	13.8	10.3	-	13.8	10.3
		合計	問 1-4.「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言った人(複数回答)							
			兄または弟	近所の人(男性)	姉または妹	近所の人(女性)	その他	不明		
中学生・全体		209	5.3	4.8	3.3	2.9	7.7	4.8		
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	61	3.3	8.2	4.9	1.6	14.8	3.3		
	シスジェンダー・異性愛・女性	54	1.9	1.9	-	1.9	1.9	1.9		
	※性的マイノリティ計	32	9.4	9.4	6.3	9.4	6.3	3.1		
	バイセクシュアル(両性愛)	20	15.0	10.0	5.0	10.0	10.0	5.0		
	シスジェンダー・ゲイ男性	0	-	-	-	-	-	-		
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	-	-	-	-	-		
	性別違和・性的指向問わず	16	18.8	18.8	12.5	18.8	-	-		
	その他1	39	10.3	5.1	5.1	-	10.3	5.1		
	その他2	29	3.4	-	3.4	3.4	-	13.8		

(2) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

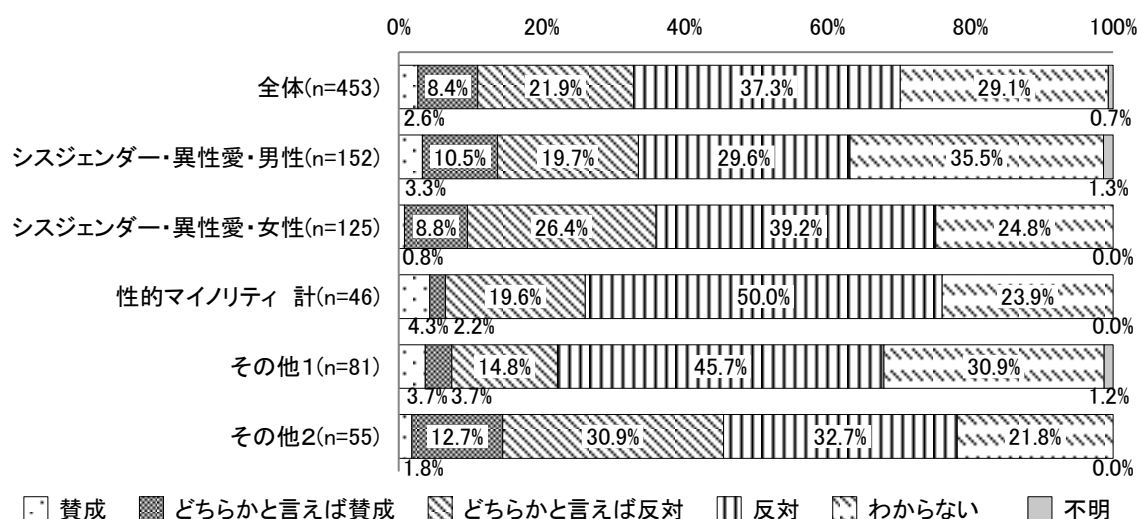
① 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への賛否

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への賛否をみると、賛成の割合（「賛成」「どちらかと言えば賛成」の合計）は、「全体」では 11.0%となっている。また、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 13.8%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 9.6%、「性的マイノリティ 計」では 6.5%、「その他 1」では 7.4%、「その他 2」では 14.5%となっている。

反対の割合（「反対」「どちらかと言えば反対」の合計）は、「全体」では 59.2%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 49.3%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 65.6%、「性的マイノリティ 計」では 69.6%、「その他 1」では 60.5%、「その他 2」では 63.6%となっており、「シスジェンダー・異性愛・男性」において他の区分より反対の割合が低くなっている。

なお「わからない」の割合は 2～3 割程度となっており、一定数、仕事や家庭生活について具体的なイメージが形成されていない層がいることがうかがわれる。

図表 131 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への賛否：単数回答（問 2）



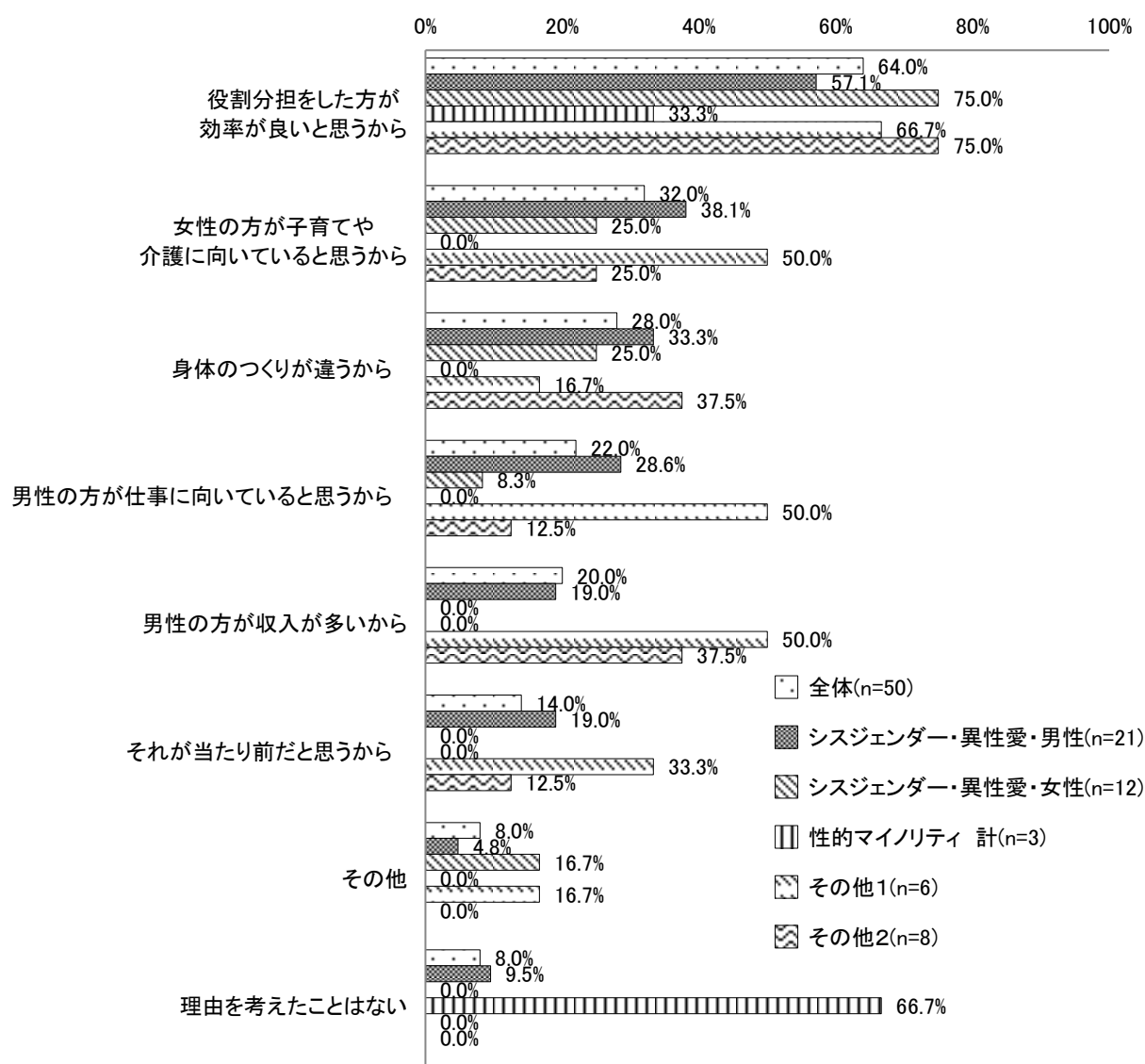
		合計	問 2. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への賛否(単数回答)				
			賛成	どちらか と言えば 賛成	どちらか と言えば 反対	反対	わから ない
中学生・全体		453	2.6	8.4	21.9	37.3	29.1
セク シュ ア リ テ ィ 区 分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	3.3	10.5	19.7	29.6	35.5
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	0.8	8.8	26.4	39.2	24.8
	※性的マイノリティ 計	46	4.3	2.2	19.6	50.0	23.9
	バイセクシュアル(両性愛)	32	6.3	—	21.9	46.9	25.0
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	—	—	100.0	—
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	—	—	—	—	100.0
	性別違和・性的指向問わず	17	5.9	5.9	17.6	52.9	17.6
	その他1	81	3.7	3.7	14.8	45.7	30.9
その他2		55	1.8	12.7	30.9	32.7	21.8

②「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について賛成する理由

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について「賛成」「どちらかと言えば賛成」と回答した者について、賛成する理由をみると、「全体」では、「役割分担をした方が効率が良いと思うから」が64.0%でもっとも割合が高く、次いで「女性の方が子育てや介護に向いていると思うから」が32.0%となっている。

「女性の方が子育てや介護に向いていると思うから」「身体づくりが違うから」「男性の方が仕事に向いているから」など、性別による適性や身体を理由とする回答に対し、役割分担による効率性を理由とする回答のほうが多くみられる。

図表 132 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について賛成する理由
：複数回答（問2-2）



注) サンプルサイズが小さいためセクシュアリティ区分別の数値は参考値。

4. 中学生意識調査 調査結果

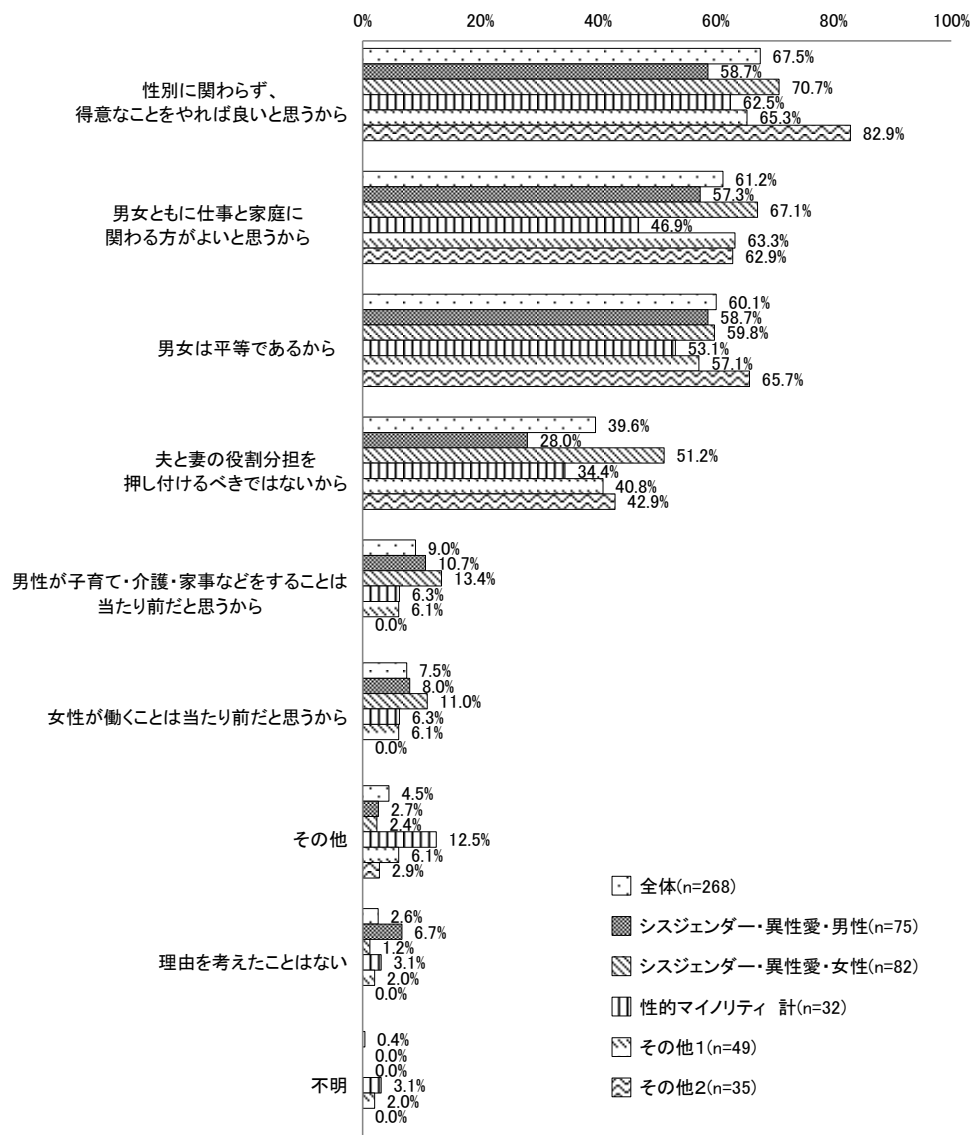
		合計	問 2-2. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について賛成する理由（複数回答）								
			役割分担をした方が効率が良いと思うから	女性の方が子育てや介護に向いていると思うから	身体づくりが違うから	男性の方が仕事に向いていると思うから	男性の方が収入が多いから	それが当たり前だと思うから	その他	理由を考えたことはない	不明
中学生・全体		50	64.0	32.0	28.0	22.0	20.0	14.0	8.0	8.0	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	21	57.1	38.1	33.3	28.6	19.0	19.0	4.8	9.5	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	12	75.0	25.0	25.0	8.3	-	-	16.7	-	-
	※性的マイノリティ計	3	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7	-
	ハィセクシュアル（両性愛）	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	その他1	6	66.7	50.0	16.7	50.0	50.0	33.3	16.7	-	-
	その他2	8	75.0	25.0	37.5	12.5	37.5	12.5	-	-	-

③「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について反対する理由

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について「反対」「どちらかと言えば反対」と回答した者について、反対する理由をみると、「全体」では、「性別に関わらず、得意なことをやれば良いと思うから」が67.5%でもっとも割合が高く、次いで「男女ともに仕事と家庭に関わる方がよいと思うから」が61.2%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「夫と妻の役割分担を押し付けるべきではないから」の割合は、「シスジェンダー・異性愛・男性」(28.0%)に比べて、「シスジェンダー・異性愛・女性」(51.2%)では20ポイント以上高くなっている。また、他の項目に比べると、「男性が子育て・介護・家事などをするのは当たり前だと思うから」「女性が働くことは当たり前だと思うから」の割合が低い傾向がみられるが、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という固定的性別役割分担意識には反するものであっても、性別となんらかの社会的役割を結び付けることへの忌避感があらわれていると解釈できる。

図表 133 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について反対する理由
：複数回答（問2-3）



		合計	問 2-3.「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について反対する理由（複数回答）								
			性別に関わらず、得意なことをやれば良いと思うから	男女ともに仕事と家庭に関わる方がよいと思うから	男女は平等であるから	夫と妻の役割分担を押し付けるべきではないから	男性が子育て・介護・家事などをすることは当たり前だと思うから	女性が働くことは当たり前だと思うから	その他	理由を考えたことはない	不明
中学生・全体		268	67.5	61.2	60.1	39.6	9.0	7.5	4.5	2.6	0.4
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	75	58.7	57.3	58.7	28.0	10.7	8.0	2.7	6.7	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	82	70.7	67.1	59.8	51.2	13.4	11.0	2.4	1.2	－
	※性的マイノリティ計	32	62.5	46.9	53.1	34.4	6.3	6.3	12.5	3.1	3.1
	バイセクシュアル（両性愛）	22	72.7	54.5	59.1	27.3	9.1	9.1	18.2	－	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	－	50.0	50.0	－	－	－	－	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	12	58.3	50.0	58.3	50.0	－	－	－	8.3	8.3
	その他1	49	65.3	63.3	57.1	40.8	6.1	6.1	6.1	2.0	2.0
	その他2	35	82.9	62.9	65.7	42.9	－	－	2.9	－	－

（３）男女が平等だと思うか

「家庭生活」「学校」「社会全体」の３つの場面において、男女が平等だと思うかを尋ねた。（各項目の集計結果は、次頁以降を参照）

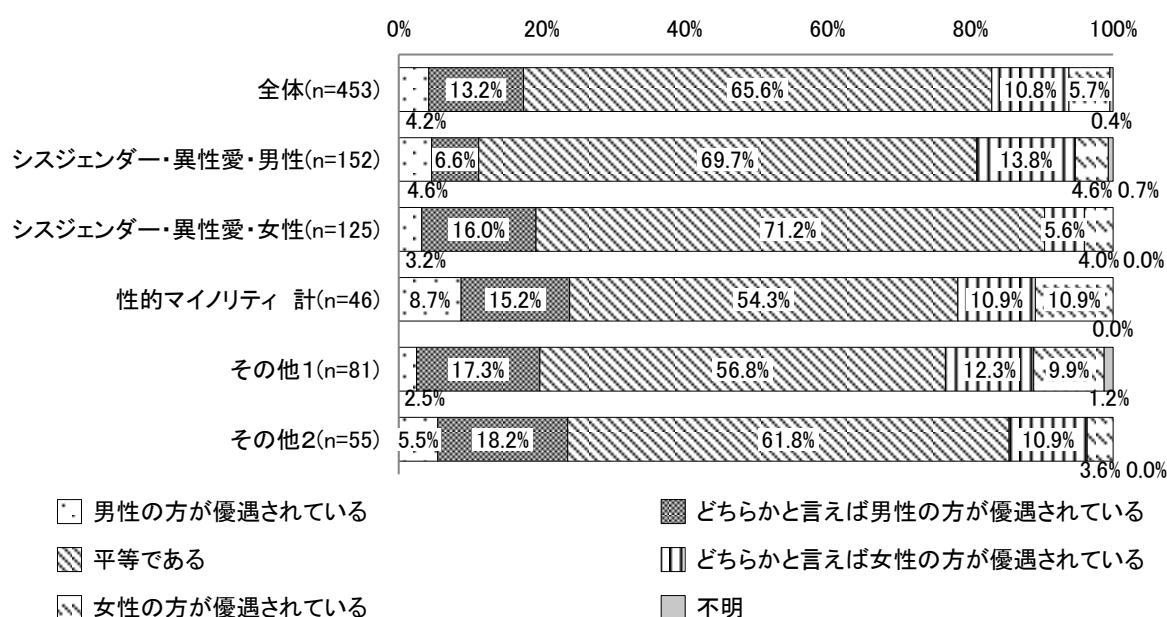
その結果、いずれの場面においても「全体」では、「平等である」の割合がもっとも高く、特に「学校の中で」においては、回答者の７割が「平等である」と回答している。他方で、「社会全体の中で」では、「平等である」の割合が４割弱となっており、家庭生活や学校と比べると男女間の不平等が残っていると考えられる回答者が多いことがうかがわれた。

①家庭生活の中で

家庭生活の中で男女が平等だと思うかをみると、「全体」では、「平等である」が65.6%でもっとも割合が高く、次いで「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」が13.2%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では、女性の方が優遇されていると思う割合（「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」の合計）が、男性の方が優遇されていると思う割合（「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」の合計）を上回っているのに対し、「シスジェンダー・異性愛・女性」や「性的マイノリティ 計」では逆の傾向が示されている。すなわち、シスジェンダー・異性愛者においては、自身とは逆の性別が優遇されていると考えている様子が見える。

図表 134 男女が平等だと思うか：家庭生活の中で：単数回答（問 3a）



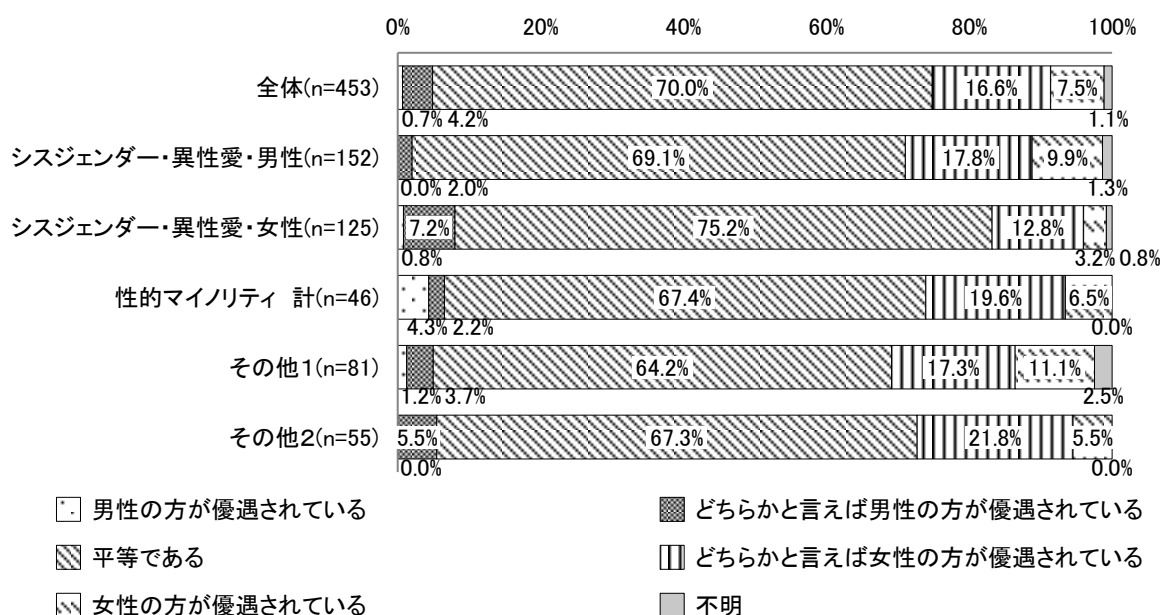
		合計	問 3a.男女が平等だと思うか：家庭生活の中で(単数回答)					
			男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	不明
中学生・全体		453	4.2	13.2	65.6	10.8	5.7	0.4
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	4.6	6.6	69.7	13.8	4.6	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	3.2	16.0	71.2	5.6	4.0	－
	※性的マイノリティ 計	46	8.7	15.2	54.3	10.9	10.9	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	9.4	18.8	56.3	9.4	6.3	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	－	50.0	50.0	－	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	11.8	11.8	47.1	5.9	23.5	－
	その他1	81	2.5	17.3	56.8	12.3	9.9	1.2
	その他2	55	5.5	18.2	61.8	10.9	3.6	－

②学校の中で

学校の中で男女が平等だと思うかをみると、「全体」では、「平等である」が70.0%でもっとも割合が高く、次いで「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」が16.6%となっている。

セクシュアリティ区分別にみると、いずれの区分においても女性の方が優遇されていると思う割合（「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」の合計）が、男性の方が優遇されていると思う割合（「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」の合計）を上回っている。特に「シスジェンダー・異性愛・男性」で大きな差がみられる（女性の方が優遇されていると思う割合：27.6%、男性の方が優遇されていると思う割合：2.0%）。

図表 135 男女が平等だと思うか：学校の中で：単数回答（問 3b）



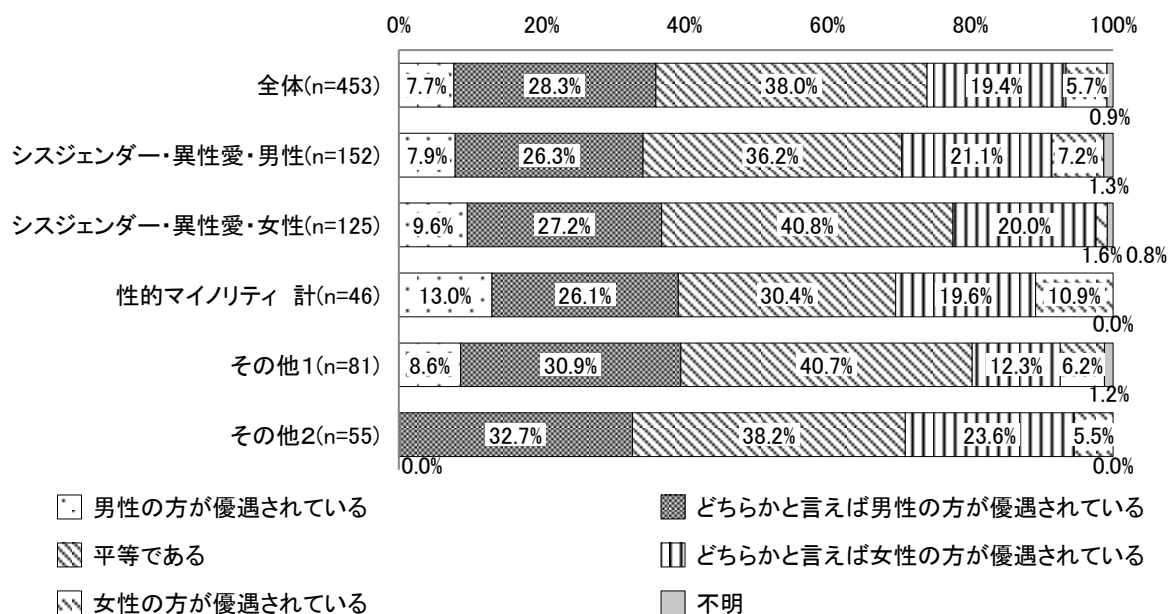
		合計	問 3b.男女が平等だと思うか:学校の中で(単数回答)					
			男性の方が優遇されている	どちらか と言えば 男性の方が優遇されている	平等である	どちらか と言えば 女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	不明
中学生・全体		453	0.7	4.2	70.0	16.6	7.5	1.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	－	2.0	69.1	17.8	9.9	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	0.8	7.2	75.2	12.8	3.2	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	4.3	2.2	67.4	19.6	6.5	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	3.1	3.1	75.0	9.4	9.4	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	－	100.0	－	－	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	11.8	5.9	41.2	35.3	5.9	－
	その他1	81	1.2	3.7	64.2	17.3	11.1	2.5
	その他2	55	－	5.5	67.3	21.8	5.5	－

③社会全体の中で

社会全体の中で男女が平等だと思うかをみると、「全体」では、「平等である」が38.0%でもっとも割合が高く、次いで「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」が28.3%となっている。

セクシュアリティ区分別にみると、いずれの区分においても、男性の方が優遇されていると思う割合（「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」の合計）が、女性の方が優遇されていると思う割合（「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」の合計）を上回っている。

図表 136 男女が平等だと思うか：社会全体の中で：単数回答（問3c）



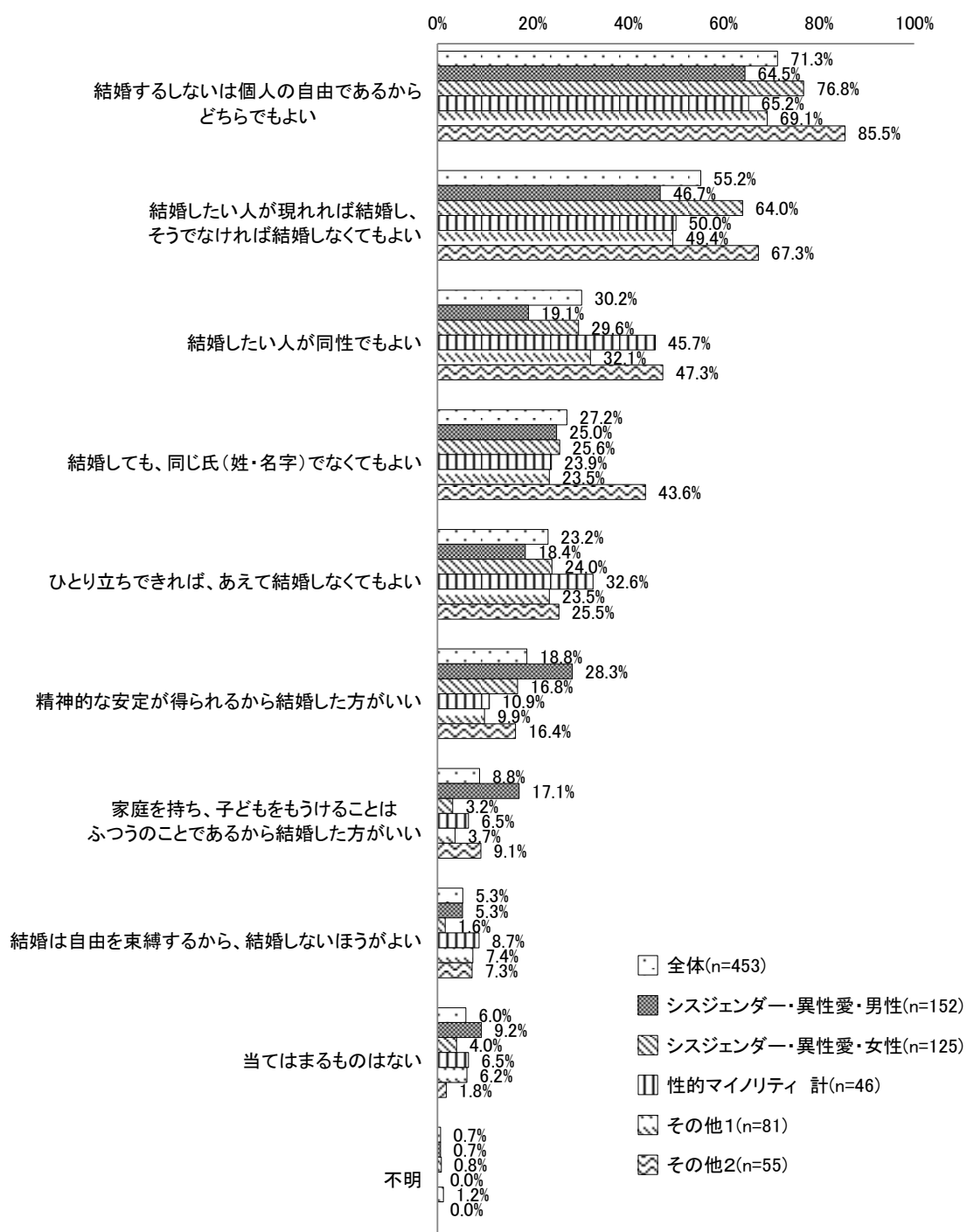
		合計	問 3c.男女が平等だと思うか:社会全体の中で(単数回答)					
			男性の方が優遇されている	どちらか と言えば 男性の方が優遇されている	平等である	どちらか と言えば 女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	不明
中学生・全体		453	7.7	28.3	38.0	19.4	5.7	0.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	7.9	26.3	36.2	21.1	7.2	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	9.6	27.2	40.8	20.0	1.6	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	13.0	26.1	30.4	19.6	10.9	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	12.5	28.1	28.1	18.8	12.5	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	50.0	50.0	－	－	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	17.6	23.5	29.4	17.6	11.8	－
	その他1	81	8.6	30.9	40.7	12.3	6.2	1.2
	その他2	55	－	32.7	38.2	23.6	5.5	－

(4) 結婚についての考え方

結婚についての考え方をみると、「全体」では、「結婚するしないは個人の自由であるからどちらでもよい」が71.3%でもっとも割合が高く、次いで「結婚したい人が現れれば結婚し、そうでなければ結婚しなくてもよい」が55.2%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「性的マイノリティ 計」では他に比べて、「結婚したい人が同性でもよい」(45.7%)、「ひとり立ちできれば、あえて結婚しなくてもよい」(32.6%)の割合が高く、結婚について柔軟な考え方を有している様子がうかがわれる。

図表 137 結婚についての考え方：複数回答（問4）



		合計	問 4.結婚についての考え方(複数回答)							
			精神的な安定が得られるから結婚した方がいい	家庭を持ち、子どもをもつことはふつうのことであるから結婚した方	結婚するしないは個人の自由であるからどちらでもよい	結婚したい人が現れれば結婚し、そうでなければ結婚しなくてもよい	結婚したい人が同性でもよい	結婚しても、同じ氏(姓・名字)でなくてもよい	ひとり立ちできれば、あえて結婚しなくてもよい	結婚は自由を束縛するから、結婚しないほうがよい
中学生・全体		453	18.8	8.8	71.3	55.2	30.2	27.2	23.2	5.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	28.3	17.1	64.5	46.7	19.1	25.0	18.4	5.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	16.8	3.2	76.8	64.0	29.6	25.6	24.0	1.6
	※性的マイノリティ計	46	10.9	6.5	65.2	50.0	45.7	23.9	32.6	8.7
	バイセクシュアル(両性愛)	32	6.3	3.1	68.8	53.1	50.0	28.1	43.8	12.5
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	17.6	11.8	64.7	52.9	52.9	29.4	29.4	5.9
	その他1	81	9.9	3.7	69.1	49.4	32.1	23.5	23.5	7.4
	その他2	55	16.4	9.1	85.5	67.3	47.3	43.6	25.5	7.3
		合計	問 4.結婚についての考え方(複数回答)							
			ない	当てはまるものは						
中学生・全体		453	6.0	0.7						
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	9.2	0.7						
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	4.0	0.8						
	※性的マイノリティ計	46	6.5	-						
	バイセクシュアル(両性愛)	32	-	-						
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	-						
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	100.0	-						
	性別違和・性的指向問わず	17	5.9	-						
	その他1	81	6.2	1.2						
	その他2	55	1.8	-						

(5) 女性の働き方についての考え方

女性の働き方についての考え方を尋ねた。(各項目の集計結果は、次頁以降を参照)

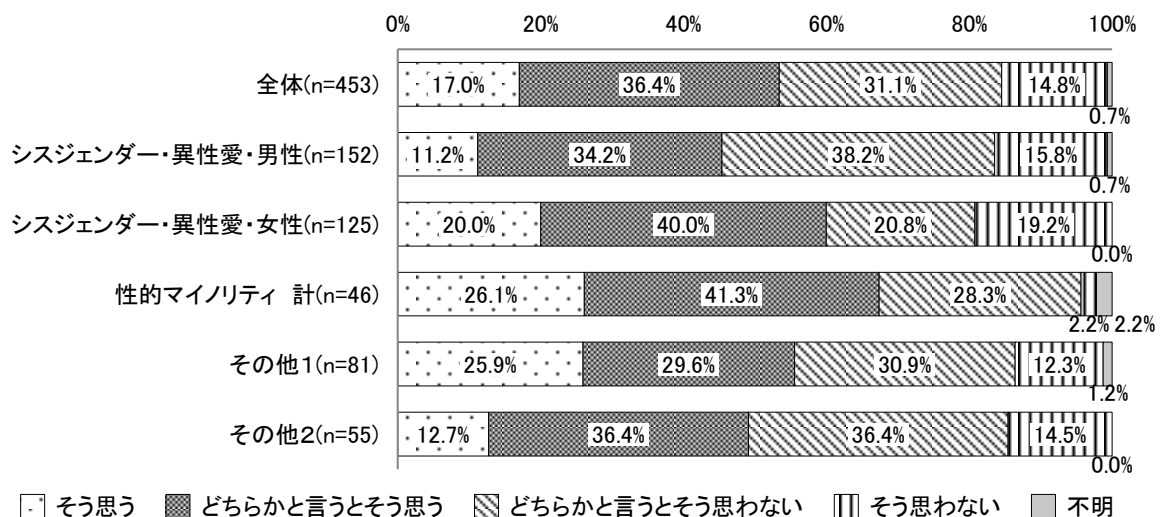
その結果、「全体」では、「子育ての時期だけ一時辞めて、その前後は職業をもつ」についてそう思う割合(「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計)が、他の項目と比べても高い傾向がみられた。一方で、「結婚までは職業をもつが、結婚後はもたない」、「結婚後、子どもが生まれるまでは職業をもち、その後はもたない」、「一生仕事を持たず家事に専念する」などについては、そう思う割合が2割程度にとどまっていた。したがって、女性が職業を持つものだと考えている様子がうかがわれた。

①結婚や出産に関わりなく、一生職業を持つ

女性の働き方について、「結婚や出産に関わりなく、一生職業を持つ」と思うかをみると、そう思う割合(「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計)は、「全体」では 53.4%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 45.4%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 60.0%、「性的マイノリティ 計」では 67.4%、「その他1」では 55.6%、「その他2」では 49.1%となっており、「シスジェンダー・異性愛・男性」と「シスジェンダー・異性愛・女性」では 10 ポイント以上差がみられる。

図表 138 女性の働き方についての考え方：結婚や出産に関わりなく、一生職業を持つ：
単数回答(問 5a)



4. 中学生意識調査 調査結果

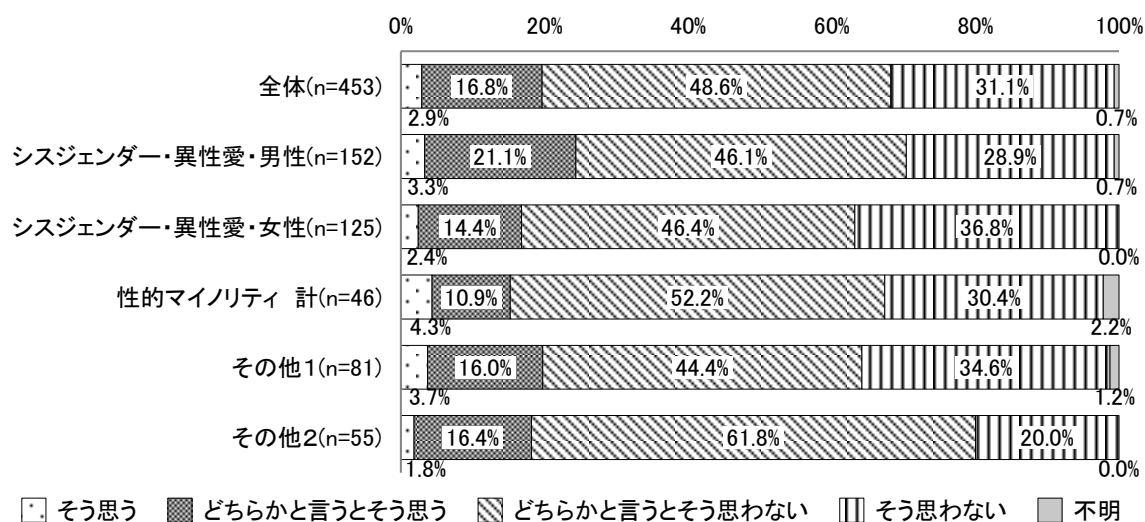
		合計	問 5a.女性の働き方についての考え方:結婚や出産に関わりなく、一生職業を持つ(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	17.0	36.4	31.1	14.8	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	11.2	34.2	38.2	15.8	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	20.0	40.0	20.8	19.2	－
	※性的マイノリティ 計	46	26.1	41.3	28.3	2.2	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	15.6	50.0	31.3	3.1	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	－	50.0	－	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	29.4	23.5	5.9	5.9
	その他1	81	25.9	29.6	30.9	12.3	1.2
	その他2	55	12.7	36.4	36.4	14.5	－

②結婚までは職業をもつが、結婚後はもたない

女性の働き方について、「結婚までは職業をもつが、結婚後はもたない」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では 19.6%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 24.3%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 16.8%、「性的マイノリティ 計」では 15.2%、「その他 1」では 19.8%、「その他 2」では 18.2%となっている。

図表 139 女性の働き方についての考え方：結婚までは職業をもつが、結婚後はもたない：

単数回答（問 5b）



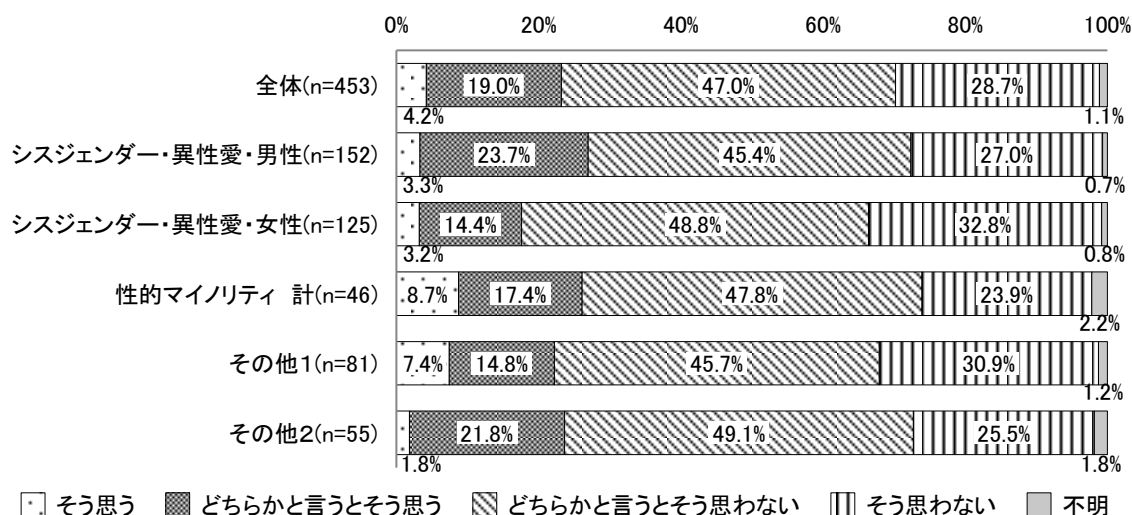
		合計	問 5b.女性の働き方についての考え方：結婚までは職業をもつが、結婚後はもたない(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	2.9	16.8	48.6	31.1	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	3.3	21.1	46.1	28.9	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	2.4	14.4	46.4	36.8	－
	※性的マイノリティ 計	46	4.3	10.9	52.2	30.4	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	3.1	9.4	56.3	31.3	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	－	50.0	50.0	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	5.9	5.9	58.8	23.5	5.9
	その他1	81	3.7	16.0	44.4	34.6	1.2
	その他2	55	1.8	16.4	61.8	20.0	－

③結婚後、子どもが生まれるまでは職業をもち、その後はもたない

女性の働き方について、「結婚後、子どもが生まれるまでは職業をもち、その後はもたない」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では23.2%となっている。セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では27.0%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では17.6%、「性的マイノリティ 計」では26.1%、「その他1」では22.2%、「その他2」では23.6%となっている。

図表 140 女性の働き方についての考え方：

結婚後、子どもが生まれるまでは職業をもち、その後はもたない：単数回答（問5c）

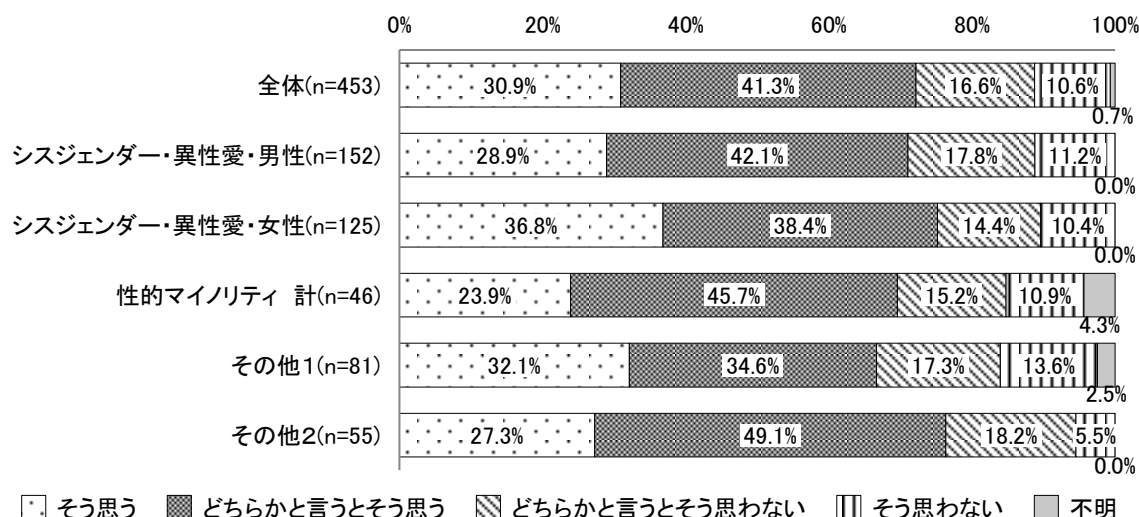


		合計	問 5c.女性の働き方についての考え方：結婚後、子どもが生まれるまでは職業をもち、その後はもたない(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	4.2	19.0	47.0	28.7	1.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	3.3	23.7	45.4	27.0	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	3.2	14.4	48.8	32.8	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	8.7	17.4	47.8	23.9	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	9.4	18.8	50.0	21.9	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	－	50.0	50.0	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	5.9	5.9	58.8	23.5	5.9
	その他1	81	7.4	14.8	45.7	30.9	1.2
	その他2	55	1.8	21.8	49.1	25.5	1.8

④子育ての時期だけ一時辞めて、その前後は職業をもつ

女性の働き方について、「子育ての時期だけ一時辞めて、その前後は職業をもつ」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では72.2%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では71.1%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では75.2%、「性的マイノリティ 計」では69.6%、「その他1」では66.7%、「その他2」では76.4%となっている。

図表 141 女性の働き方についての考え方：子育ての時期だけ一時辞めて、その前後は職業をもつ：単数回答（問5d）

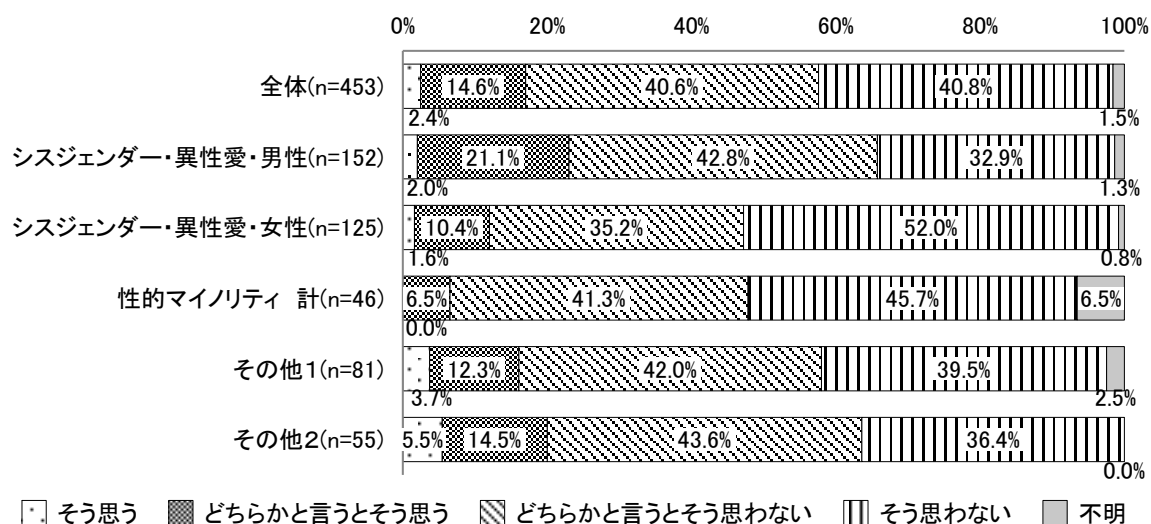


		合計	問 5d.女性の働き方についての考え方：子育ての時期だけ一時辞めて、その前後は職業をもつ(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	30.9	41.3	16.6	10.6	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	28.9	42.1	17.8	11.2	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	36.8	38.4	14.4	10.4	-
	※性的マイノリティ 計	46	23.9	45.7	15.2	10.9	4.3
	バイセクシュアル(両性愛)	32	25.0	46.9	18.8	9.4	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	50.0	-	50.0	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	17.6	47.1	11.8	11.8	11.8
	その他1	81	32.1	34.6	17.3	13.6	2.5
	その他2	55	27.3	49.1	18.2	5.5	-

⑤一生仕事を持たず家事に専念する

女性の働き方について、「一生仕事を持たず家事に専念する」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では 17.0%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 23.0%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 12.0%、「性的マイノリティ 計」では 6.5%、「その他 1」では 16.0%、「その他 2」では 20.0%となっており、「シスジェンダー・異性愛・男性」と「シスジェンダー・異性愛・女性」では 10 ポイント以上差がみられた。

図表 142 女性の働き方についての考え方：一生仕事を持たず家事に専念する：単数回答（問 5e）



		合計	問 5e.女性の働き方についての考え方：一生仕事を持たず家事に専念する(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	2.4	14.6	40.6	40.8	1.5
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	2.0	21.1	42.8	32.9	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	1.6	10.4	35.2	52.0	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	－	6.5	41.3	45.7	6.5
	バイセクシュアル(両性愛)	32	－	6.3	43.8	46.9	3.1
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	－	50.0	50.0	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	－	－	41.2	47.1	11.8
	その他1	81	3.7	12.3	42.0	39.5	2.5
	その他2	55	5.5	14.5	43.6	36.4	－

(6) 子育てについての考え方

子育てについての考え方を尋ねた。(各項目の集計結果は、次頁以降を参照)

「全体」では、「性別に関わらず、経済的自立や家事ができるように育てるのがよい」について、そう思う割合(「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計)が約9割と高くなっている。一方で、「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい」については、そう思う割合が約3割と、他の項目に比べて低い傾向がみられる。

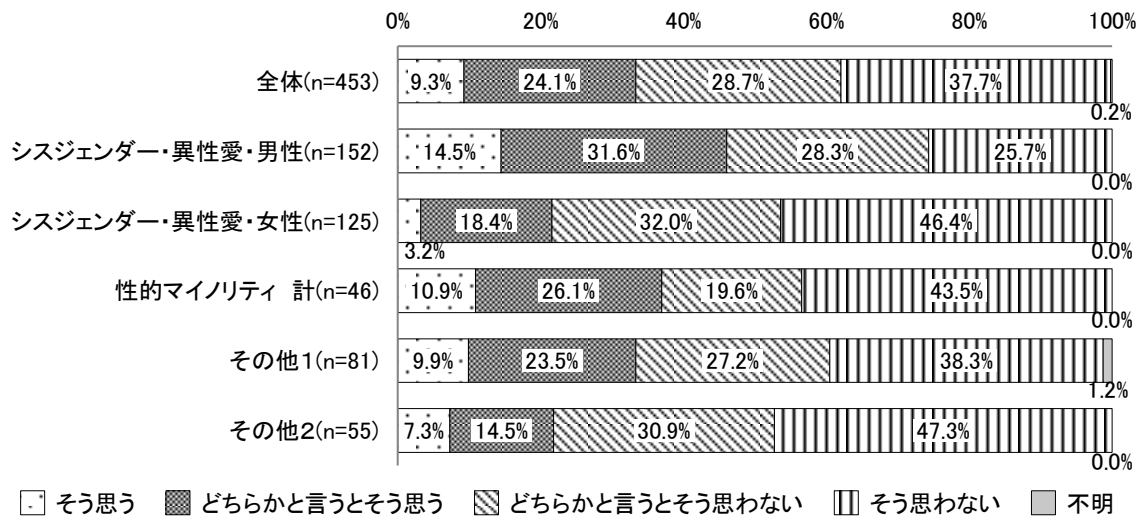
①女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい

子育てについての考え方について、「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい」と思うかをみると、そう思う割合(「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計)は、「全体」では33.3%となっている。

セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では46.1%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では21.6%、「性的マイノリティ 計」では37.0%、「その他1」では33.3%、「その他2」では21.8%となっており、「シスジェンダー・異性愛・男性」と「シスジェンダー・異性愛・女性」では20ポイント以上差がみられる。

図表 143 子育てについての考え方：

女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい：単数回答(問6a)



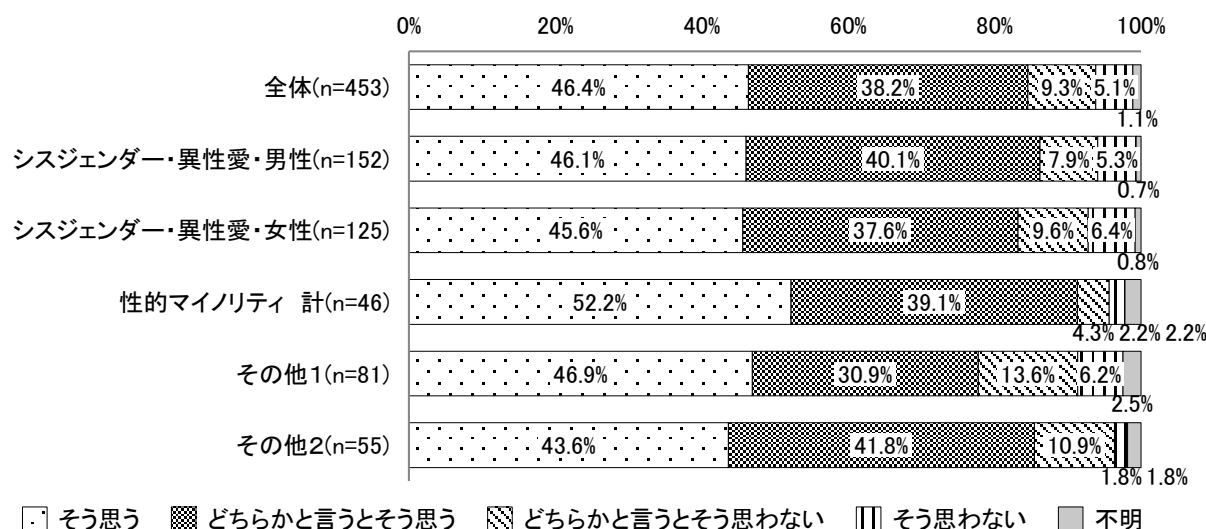
4. 中学生意識調査 調査結果

		合計	問 6a.子育てについての考え方:女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	9.3	24.1	28.7	37.7	0.2
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	14.5	31.6	28.3	25.7	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	3.2	18.4	32.0	46.4	-
	※性的マイノリティ 計	46	10.9	26.1	19.6	43.5	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	12.5	21.9	21.9	43.8	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	50.0	50.0	-	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	11.8	23.5	11.8	52.9	-
	その他1	81	9.9	23.5	27.2	38.3	1.2
	その他2	55	7.3	14.5	30.9	47.3	-

②女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい

子育てについての考え方について、「女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では84.5%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では86.2%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では83.2%、「性的マイノリティ 計」では91.3%、「その他1」では77.8%、「その他2」では85.5%となっている。

図表 144 子育てについての考え方：女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい：
単数回答（問6b）



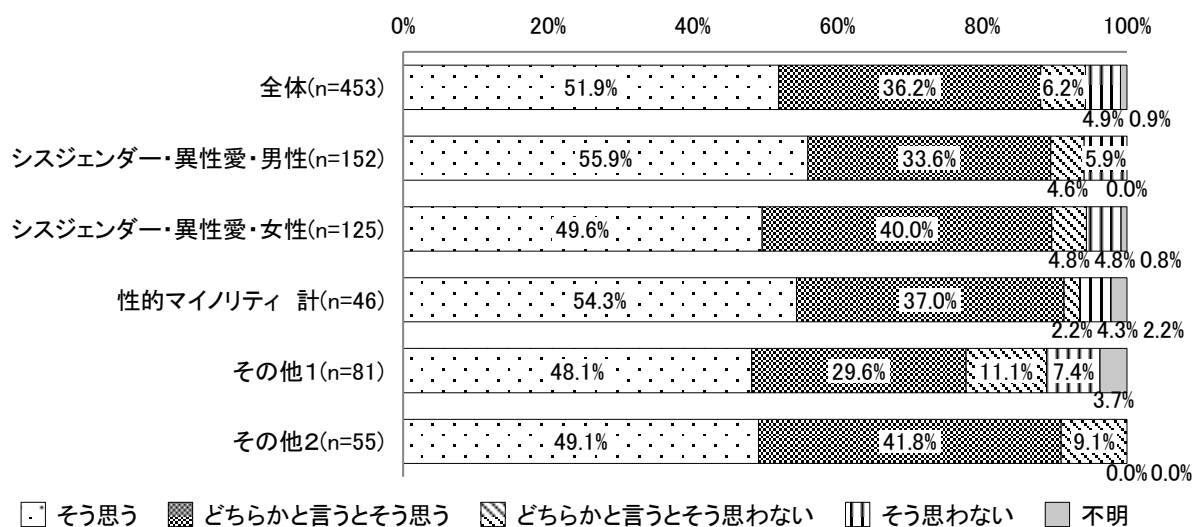
		合計	問 6b.子育てについての考え方：女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	46.4	38.2	9.3	5.1	1.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	46.1	40.1	7.9	5.3	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	45.6	37.6	9.6	6.4	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	52.2	39.1	4.3	2.2	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	56.3	37.5	3.1	3.1	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	100.0	-	-	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	47.1	35.3	5.9	5.9	5.9
	その他1	81	46.9	30.9	13.6	6.2	2.5
	その他2	55	43.6	41.8	10.9	1.8	1.8

③男の子にも、家事ができるように育てるのがよい

子育てについての考え方について、「男の子にも、家事ができるように育てるのがよい」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では88.1%となっている。セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では89.5%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では89.6%、「性的マイノリティ 計」では91.3%、「その他1」では77.8%、「その他2」では90.9%となっている。

図表 145 子育てについての考え方：男の子にも、家事ができるように育てるのがよい：

単数回答（問 6c）



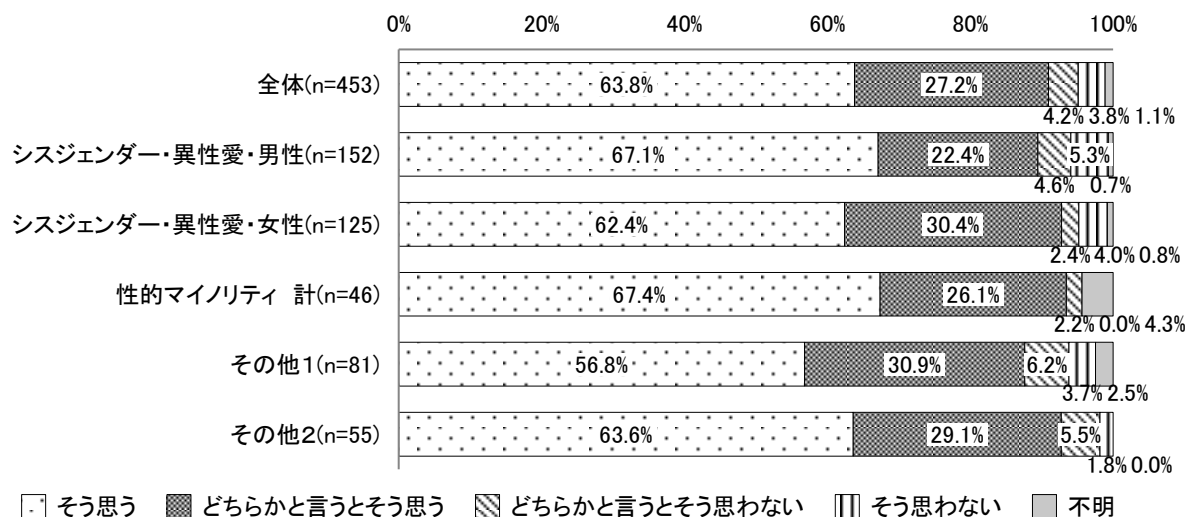
		合計	問 6c. 子育てについての考え方：男の子にも、家事ができるように育てるのがよい（単数回答）				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	51.9	36.2	6.2	4.9	0.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	55.9	33.6	4.6	5.9	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	49.6	40.0	4.8	4.8	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	54.3	37.0	2.2	4.3	2.2
	バイセクシュアル（両性愛）	32	56.3	37.5	3.1	3.1	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	50.0	—	—	—
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	—	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	41.2	41.2	—	11.8	5.9
	その他1	81	48.1	29.6	11.1	7.4	3.7
その他2		55	49.1	41.8	9.1	—	—

④性別に関わらず、経済的自立や家事ができるように育てるのがよい

子育てについての考え方について、「性別に関わらず、経済的自立や家事ができるように育てるのがよい」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では90.9%となっている。セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では89.5%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では92.8%、「性的マイノリティ計」では93.5%、「その他1」では87.7%、「その他2」では92.7%となっている。

図表 146 子育てについての考え方：

性別に関わらず、経済的自立や家事ができるように育てるのがよい：単数回答（問6d）

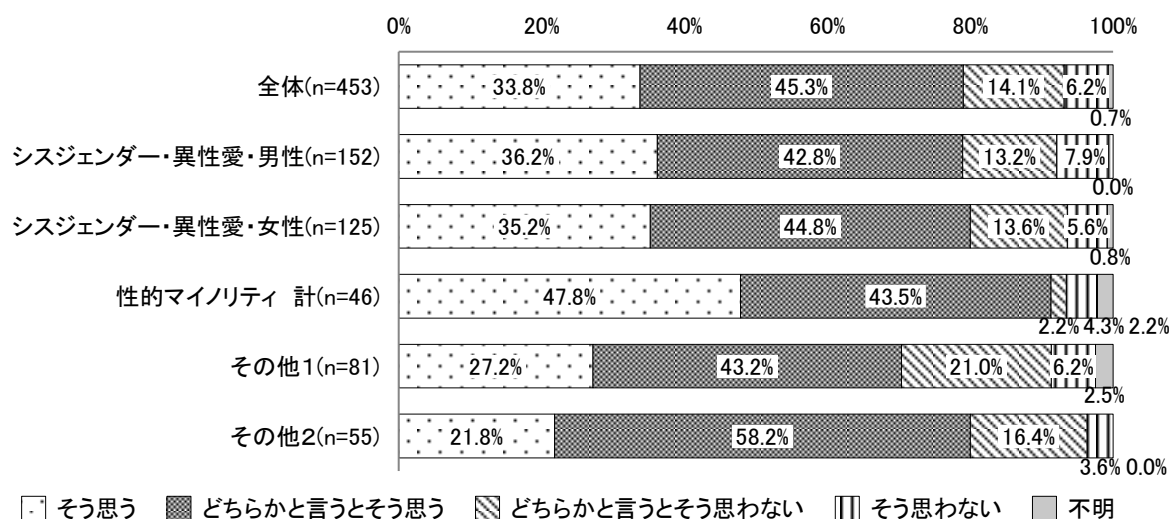


		合計	問 6d.子育てについての考え方:性別に関わらず、経済的自立や家事ができるように育てるのがよい(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	63.8	27.2	4.2	3.8	1.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	67.1	22.4	4.6	5.3	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	62.4	30.4	2.4	4.0	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	67.4	26.1	2.2	－	4.3
	バイセクシュアル(両性愛)	32	71.9	21.9	3.1	－	3.1
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	50.0	－	－	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	58.8	35.3	－	－	5.9
	その他1	81	56.8	30.9	6.2	3.7	2.5
	その他2	55	63.6	29.1	5.5	1.8	－

⑤父親は現在よりももっと子育てにかかわるほうがよい

子育てについての考え方について、「父親は現在よりももっと子育てにかかわるほうがよい」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では79.0%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では78.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では80.0%、「性的マイノリティ 計」では91.3%、「その他1」では70.4%、「その他2」では80.0%となっている。

図表 147 子育てについての考え方：父親は現在よりももっと子育てにかかわるほうがよい：
単数回答（問 6e）



		合計	問 6e.子育てについての考え方：父親は現在よりももっと子育てにかかわるほうがよい(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	33.8	45.3	14.1	6.2	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	36.2	42.8	13.2	7.9	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	35.2	44.8	13.6	5.6	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	47.8	43.5	2.2	4.3	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	53.1	37.5	3.1	6.3	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	100.0	－	－	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	52.9	－	5.9	5.9
	その他1	81	27.2	43.2	21.0	6.2	2.5
	その他2	55	21.8	58.2	16.4	3.6	－

(7) 性別による服装や身だしなみの考え方

職場や学校における、性別による服装や身だしなみの考え方を尋ねた。(各項目の集計結果は、次頁以降を参照)

「全体」では、職場に関する項目(問 7a~7d)では、そう思わない割合(「どちらかというと思わない」「そう思わない」の合計)が7割以上となっている。

また、学区に関する項目(問 7e~7f)では、「学校では女性がスラックス(ズボン)をはいてもよい」についてそう思う割合が86.8%であるのに対して、「学校では男性がスカートをはいてもよい」については、そう思う割合が70.0%となっており、15ポイント以上の差がみられた。

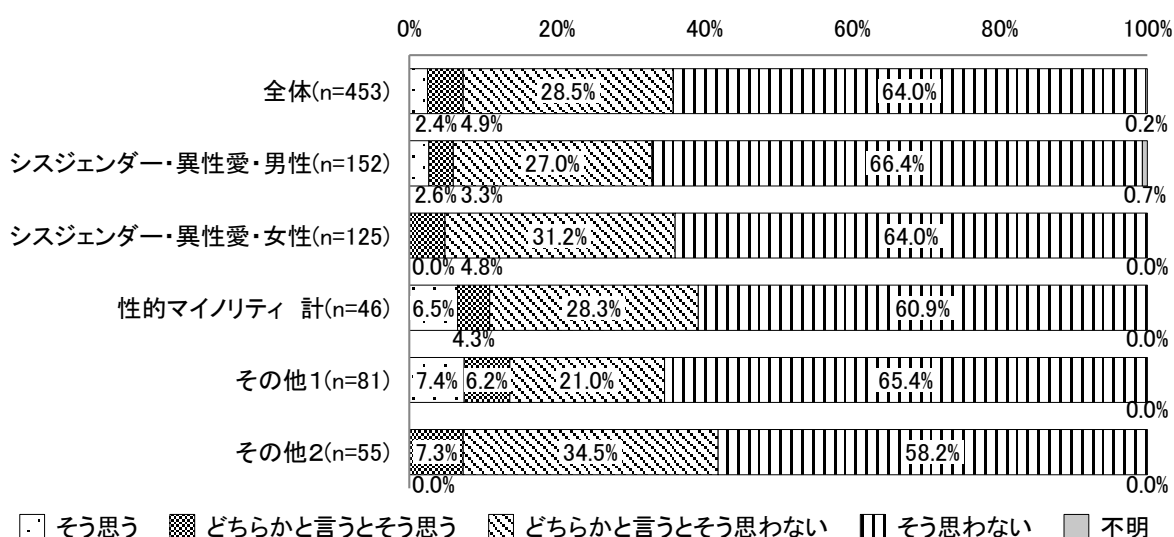
全体の傾向として、いずれの項目でも服装や身だしなみに関する規範意識は弱い傾向がみられたが、男女で求められる規範の強さには違いがあることがうかがわれる。

①職場では女性はパンプス(ハイヒール)を履くべきだ

性別による服装や身だしなみの考え方について、「職場では女性はパンプス(ハイヒール)を履くべきだ」と思うかをみると、そう思う割合(「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計)は、「全体」では7.3%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では5.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では4.8%、「性的マイノリティ 計」では10.9%、「その他1」では13.6%、「その他2」では7.3%となっている。

図表 148 性別による服装や身だしなみの考え方：
職場では女性はパンプス(ハイヒール)を履くべきだ：単数回答(問 7a)



4. 中学生意識調査 調査結果

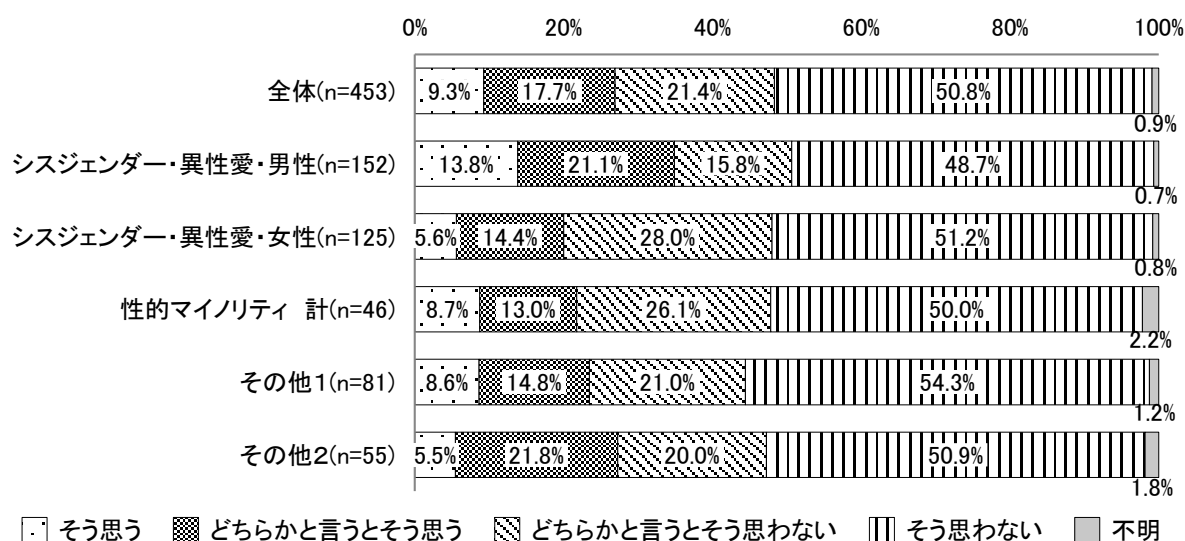
		合計	問 7a.性別による服装や身だしなみの考え方:職場では女性はパンプス(ハイヒール)を履くべきだ(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	2.4	4.9	28.5	64.0	0.2
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	2.6	3.3	27.0	66.4	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	-	4.8	31.2	64.0	-
	※性的マイノリティ 計	46	6.5	4.3	28.3	60.9	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	3.1	3.1	31.3	62.5	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	-	50.0	50.0	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	11.8	-	29.4	58.8	-
	その他1	81	7.4	6.2	21.0	65.4	-
	その他2	55	-	7.3	34.5	58.2	-

②職場では男性はパンプス（ハイヒール）を履くべきでない

性別による服装や身だしなみの考え方について、「職場では男性はパンプス（ハイヒール）を履くべきでない」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では26.9%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では34.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では20.0%、「性的マイノリティ 計」では21.7%、「その他1」では23.5%、「その他2」では27.3%となっている。

図表 149 性別による服装や身だしなみの考え方：
職場では男性はパンプス（ハイヒール）を履くべきでない：単数回答（問 7b）



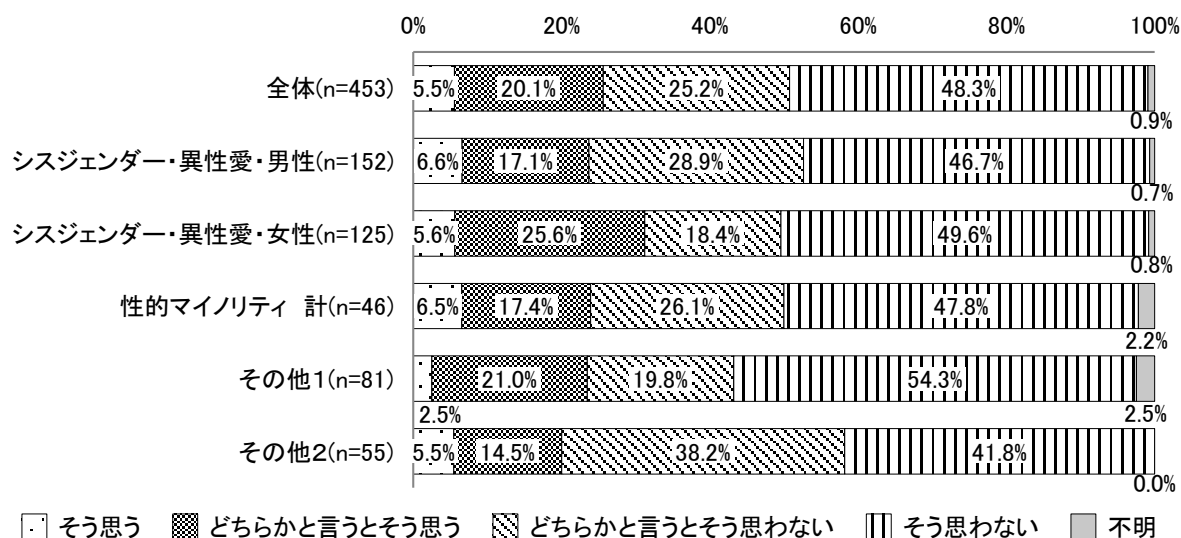
		合計	問 7b.性別による服装や身だしなみの考え方:職場では男性はパンプス(ハイヒール)を履くべきでない(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	9.3	17.7	21.4	50.8	0.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	13.8	21.1	15.8	48.7	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	5.6	14.4	28.0	51.2	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	8.7	13.0	26.1	50.0	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	9.4	15.6	25.0	50.0	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	－	50.0	50.0	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	5.9	11.8	23.5	52.9	5.9
	その他1	81	8.6	14.8	21.0	54.3	1.2
	その他2	55	5.5	21.8	20.0	50.9	1.8

③職場では女性はメイク（化粧）をするべきだ

性別による服装や身だしなみの考え方について、「職場では女性はメイク（化粧）をするべきだ」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では25.6%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では23.7%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では31.2%、「性的マイノリティ 計」では23.9%、「その他1」では23.5%、「その他2」では20.0%となっている。

図表 150 性別による服装や身だしなみの考え方：職場では女性はメイク（化粧）をするべきだ：単数回答（問7c）



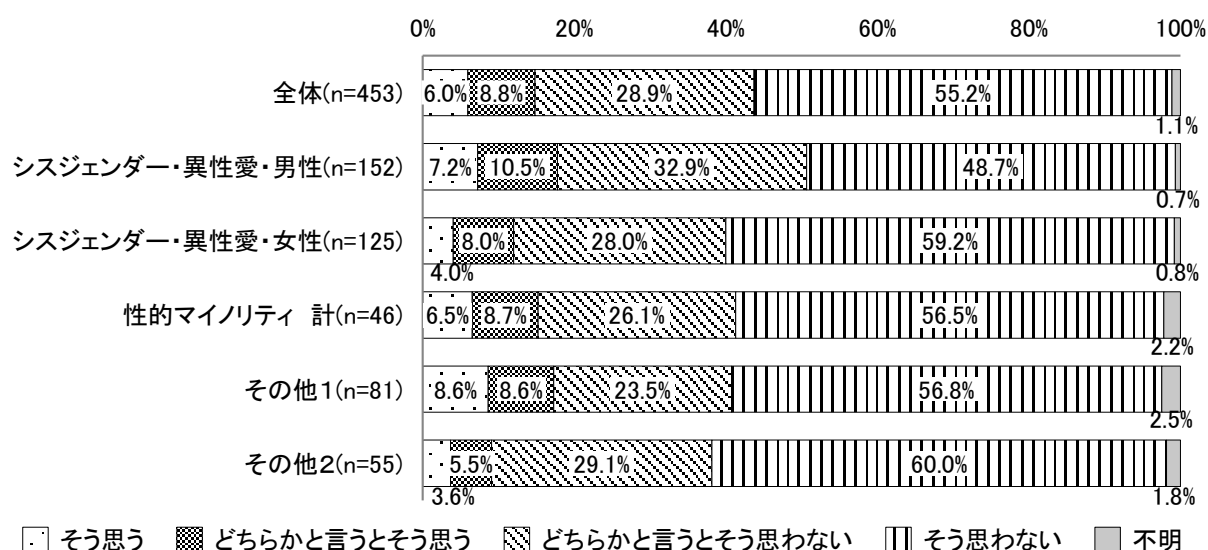
		合計	問7c.性別による服装や身だしなみの考え方:職場では女性はメイク(化粧)をするべきだ(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	5.5	20.1	25.2	48.3	0.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	6.6	17.1	28.9	46.7	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	5.6	25.6	18.4	49.6	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	6.5	17.4	26.1	47.8	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	6.3	21.9	28.1	43.8	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	-	50.0	50.0	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	5.9	5.9	29.4	52.9	5.9
	その他1	81	2.5	21.0	19.8	54.3	2.5
	その他2	55	5.5	14.5	38.2	41.8	-

④職場では男性はメイク（化粧）をすべきでない

性別による服装や身だしなみの考え方について、「職場では男性はメイク（化粧）をすべきでない」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では14.8%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では17.8%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では12.0%、「性的マイノリティ 計」では15.2%、「その他1」では17.3%、「その他2」では9.1%となっている。

図表 151 性別による服装や身だしなみの考え方：職場では男性はメイク（化粧）をすべきでない：単数回答（問7d）



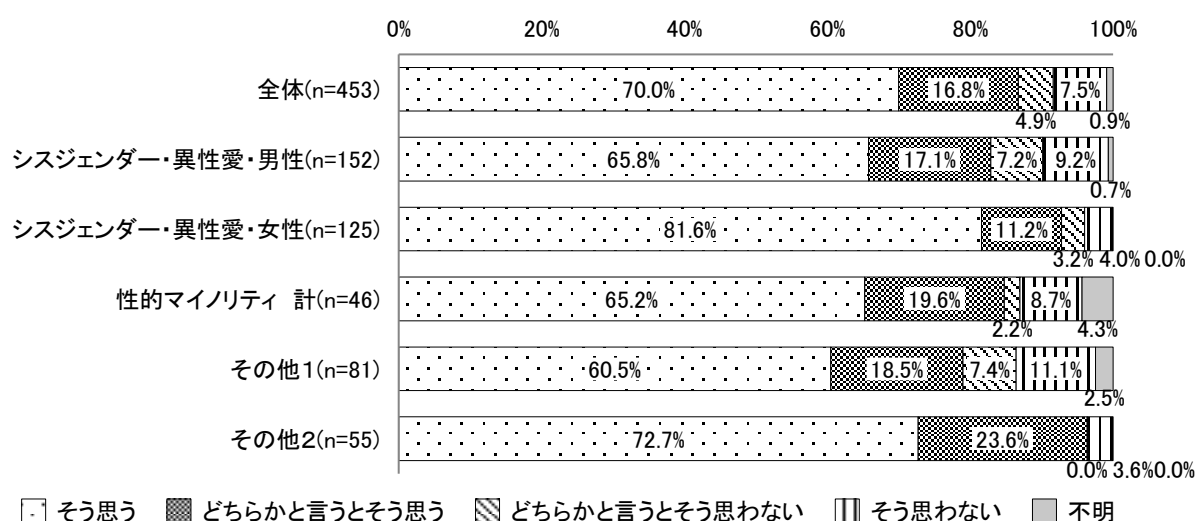
		合計	問 7d.性別による服装や身だしなみの考え方：職場では男性はメイク（化粧）をすべきでない(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	6.0	8.8	28.9	55.2	1.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	7.2	10.5	32.9	48.7	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	4.0	8.0	28.0	59.2	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	6.5	8.7	26.1	56.5	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	3.1	9.4	28.1	59.4	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	－	50.0	50.0	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	11.8	5.9	23.5	52.9	5.9
	その他1	81	8.6	8.6	23.5	56.8	2.5
	その他2	55	3.6	5.5	29.1	60.0	1.8

⑤学校では女性がスラックス（ズボン）をはいてもよい

性別による服装や身だしなみの考え方について、「学校では女性がスラックス（ズボン）をはいてもよい」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では86.8%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では82.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では92.8%、「性的マイノリティ 計」では84.8%、「その他1」では79.0%、「その他2」では96.4%となっている。

図表 152 性別による服装や身だしなみの考え方：
学校では女性がスラックス（ズボン）をはいてもよい：単数回答（問 7e）



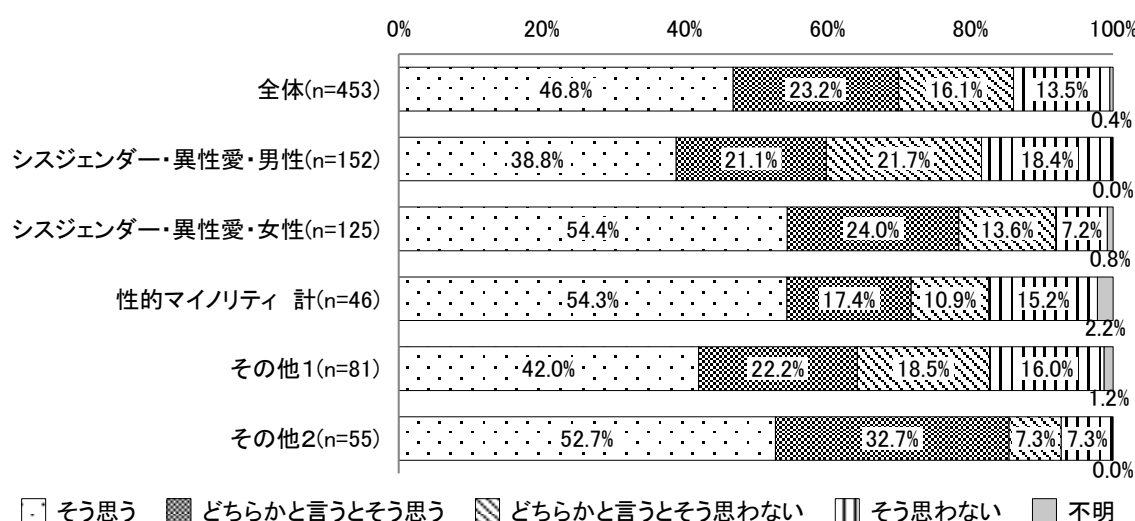
		合計	問 7e.性別による服装や身だしなみの考え方:学校では女性がスラックス(ズボン)をはいてもよい(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	70.0	16.8	4.9	7.5	0.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	65.8	17.1	7.2	9.2	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	81.6	11.2	3.2	4.0	-
	※性的マイノリティ 計	46	65.2	19.6	2.2	8.7	4.3
	バイセクシュアル(両性愛)	32	71.9	15.6	-	12.5	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	50.0	-	-	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	58.8	23.5	5.9	-	11.8
	その他1	81	60.5	18.5	7.4	11.1	2.5
	その他2	55	72.7	23.6	-	3.6	-

⑥学校では男性がスカートをはいてもよい

性別による服装や身だしなみの考え方について、「学校では男性がスカートをはいてもよい」と思うかをみると、そう思う割合（「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計）は、「全体」では70.0%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では59.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では78.4%、「性的マイノリティ 計」では71.7%、「その他1」では64.2%、「その他2」では85.5%となっており、「全体」に比べて「シスジェンダー・異性愛・男性」では10ポイント以上そう思う割合が低くなっている。

図表 153 性別による服装や身だしなみの考え方：学校では男性がスカートをはいてもよい：単数回答（問7f）



		合計	問 7f.性別による服装や身だしなみの考え方:学校では男性がスカートをはいてもよい(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	46.8	23.2	16.1	13.5	0.4
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	38.8	21.1	21.7	18.4	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	54.4	24.0	13.6	7.2	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	54.3	17.4	10.9	15.2	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	56.3	15.6	9.4	18.8	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	50.0	－	－	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	58.8	11.8	17.6	5.9	5.9
	その他1	81	42.0	22.2	18.5	16.0	1.2
	その他2	55	52.7	32.7	7.3	7.3	－

4-3. DV・IPVについて

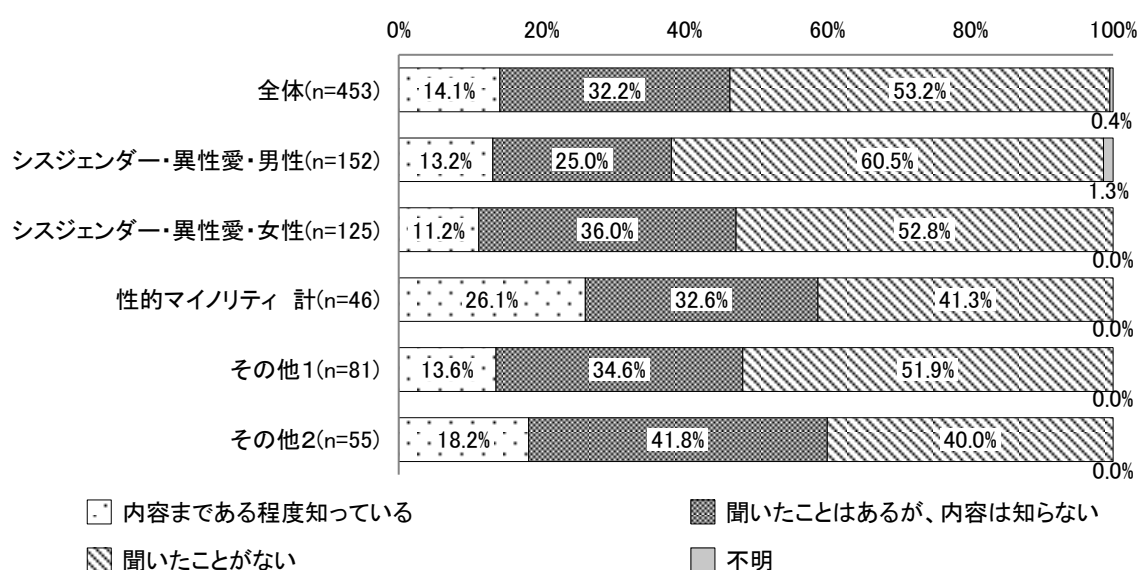
(1) 「配偶者暴力防止法」の認知状況

「配偶者暴力防止法」の認知状況（「内容まである程度知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない」の合計）をみると、「全体」では46.4%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では38.2%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では47.2%、「性的マイノリティ 計」では58.7%、「その他1」では48.1%、「その他2」では60.0%となっている。

「性的マイノリティ 計」では他に比べて、「内容まである程度知っている」の割合が高い傾向がみられる。

図表 154 「配偶者暴力防止法」の認知状況：単数回答（問8）



		合計	問8.「配偶者暴力防止法」の認知状況（単数回答）			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
中学生・全体		453	14.1	32.2	53.2	0.4
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	13.2	25.0	60.5	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	11.2	36.0	52.8	-
	※性的マイノリティ 計	46	26.1	32.6	41.3	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	21.9	28.1	50.0	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	-	50.0	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	100.0	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	23.5	41.2	35.3	-
	その他1	81	13.6	34.6	51.9	-
	その他2	55	18.2	41.8	40.0	-

(2) DV 等に関する用語の認知状況

「DV」「IPV」「セクシュアル・ハラスメント」という用語について、認知状況を尋ねた。(各項目の集計結果は、次頁以降を参照)

「全体」では、「DV」「セクシュアル・ハラスメント」は、「内容まである程度知っている」の割合が6割程度に達している一方、「IPV」は、1割程度にとどまっている。したがって IPV は、まだ認知が進んでいない様子がうかがわれた。

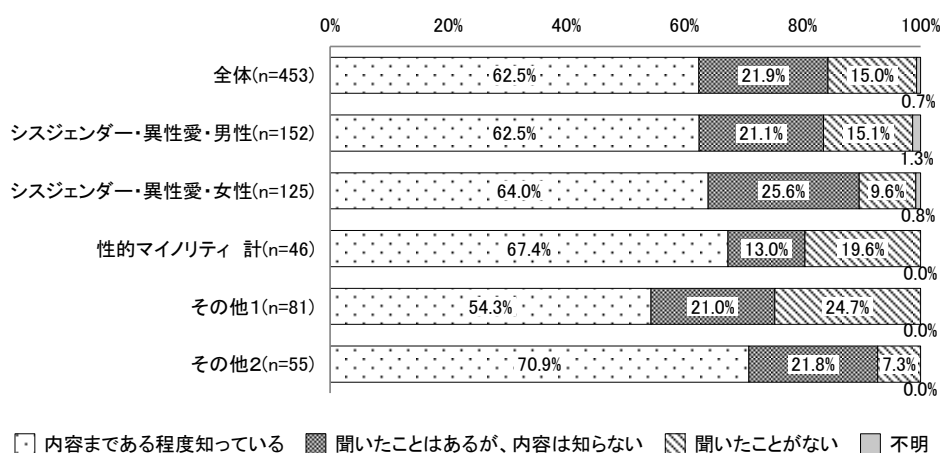
セクシュアリティ別にみると、「性的マイノリティ 計」では「IPV」の認知状況（「内容まである程度知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない」の合計）が5割を超えており、他の調査区分よりも認知が進んでいる傾向がみられた。

①DV

「DV」という用語の認知状況（「内容まである程度知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない」の合計）をみると、「全体」では84.3%となっている。

セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では83.6%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では89.6%、「性的マイノリティ 計」では80.4%、「その他1」では75.3%、「その他2」では92.7%となっている。

図表 155 DV 等に関する用語の認知状況：DV：単数回答（問 9a）



		合計	問 9a.DV 等に関する用語の認知状況：DV(単数回答)			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
中学生・全体		453	62.5	21.9	15.0	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	62.5	21.1	15.1	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	64.0	25.6	9.6	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	67.4	13.0	19.6	—
	バイセクシュアル(両性愛)	32	59.4	15.6	25.0	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	—	50.0	—
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	—	100.0	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	76.5	11.8	11.8	—
	その他1	81	54.3	21.0	24.7	—
	その他2	55	70.9	21.8	7.3	—

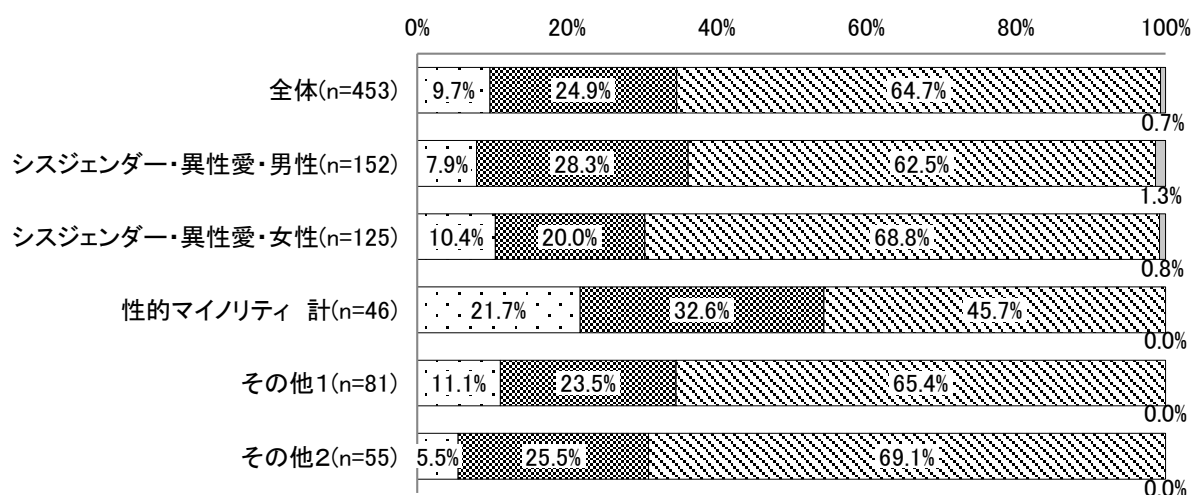
②IPV

「IPV」という用語の認知状況（「内容まである程度知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない」の合計）をみると、「全体」では34.7%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では36.2%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では30.4%、「性的マイノリティ 計」では54.3%、「その他1」では34.6%、「その他2」では30.9%となっている。

「性的マイノリティ 計」では他に比べ、「内容まである程度知っている」の割合が高い傾向がみられる。

図表 156 DV等に関する用語の認知状況：IPV：単数回答（問9b）



□ 内容まである程度知っている ▨ 聞いたことはあるが、内容は知らない ▤ 聞いたことがない ■ 不明

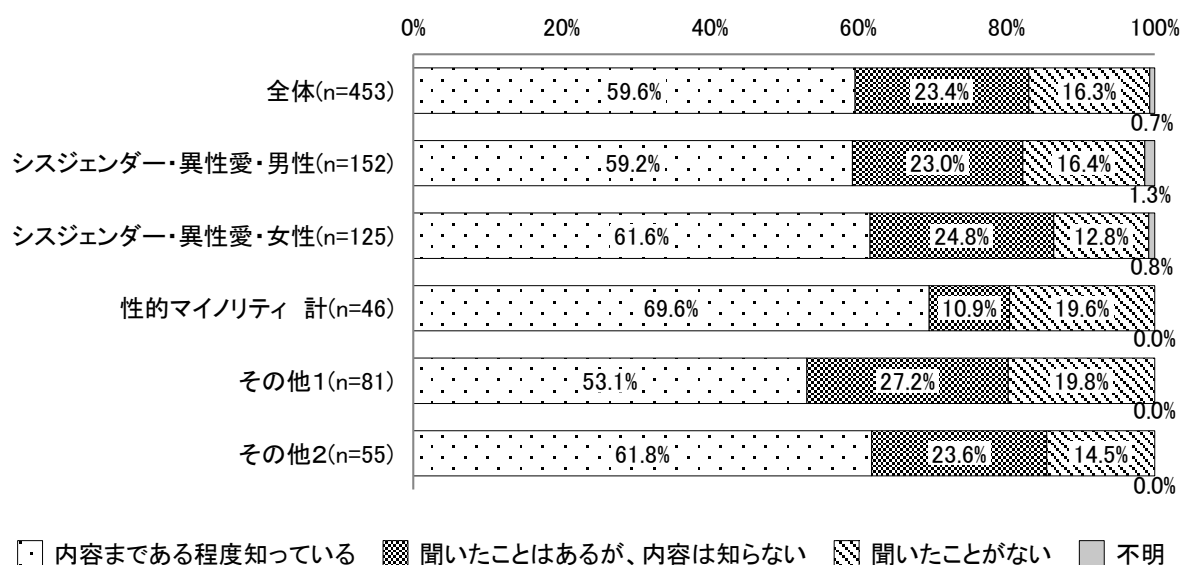
		合計	問 9b.DV 等に関する用語の認知状況：IPV(単数回答)			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
中学生・全体		453	9.7	24.9	64.7	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	7.9	28.3	62.5	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	10.4	20.0	68.8	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	21.7	32.6	45.7	—
	バイセクシュアル(両性愛)	32	15.6	25.0	59.4	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	—	50.0	—
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	—	100.0	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	41.2	29.4	—
	その他1	81	11.1	23.5	65.4	—
	その他2	55	5.5	25.5	69.1	—

③セクシュアル・ハラスメント

「セクシュアル・ハラスメント」という用語の認知状況（「内容まである程度知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない」の合計）をみると、「全体」では83.0%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では82.2%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では86.4%、「性的マイノリティ 計」では80.4%、「その他1」では80.2%、「その他2」では85.5%となっている。

図表 157 DV等に関する用語の認知状況：セクシュアル・ハラスメント：単数回答（問9c）



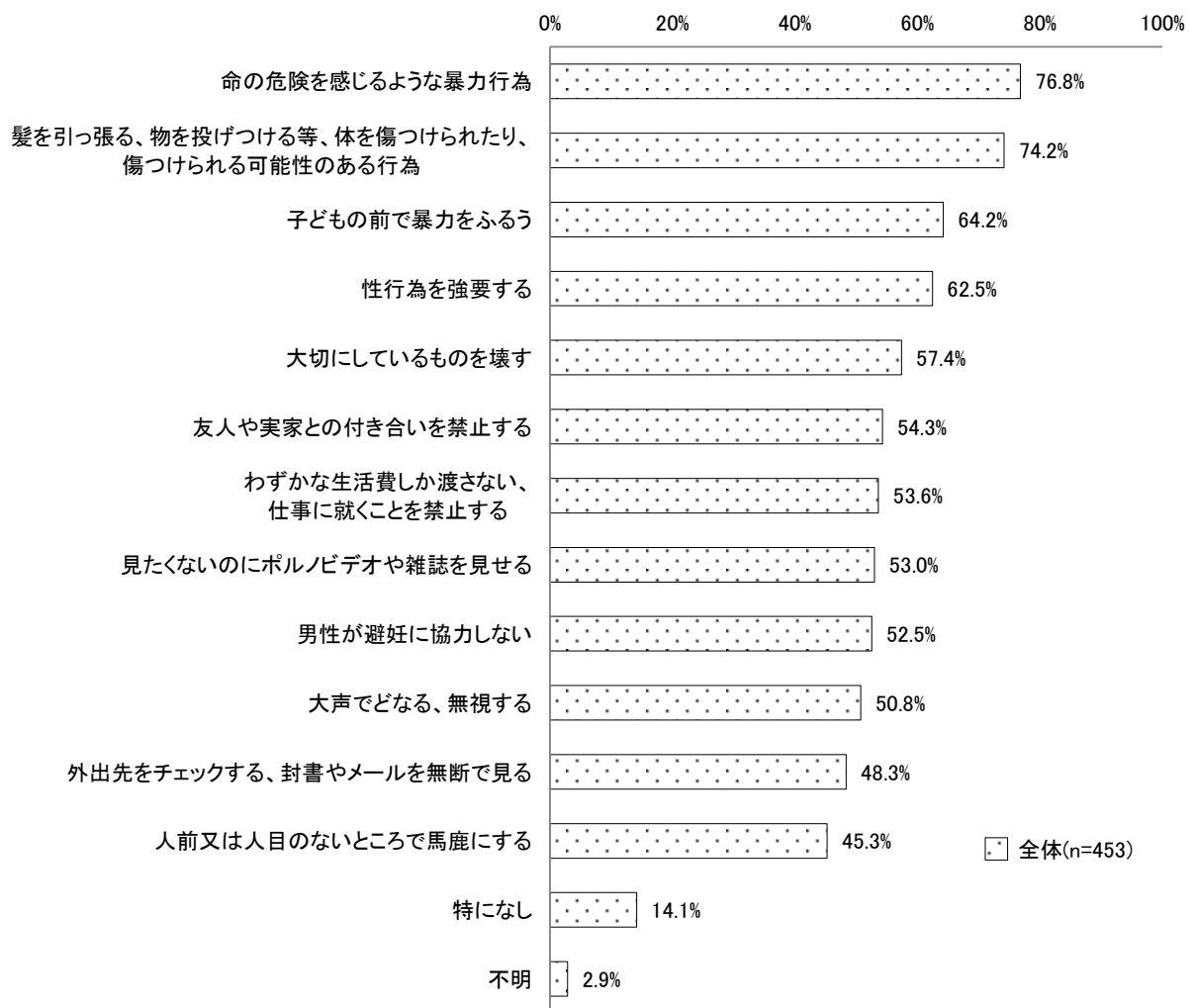
		合計	問 9c.DV 等に関する用語の認知状況：セクシュアル・ハラスメント(単数回答)			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
中学生・全体		453	59.6	23.4	16.3	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	59.2	23.0	16.4	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	61.6	24.8	12.8	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	69.6	10.9	19.6	—
	バイセクシュアル(両性愛)	32	62.5	12.5	25.0	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	—	50.0	—
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	—	100.0	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	82.4	5.9	11.8	—
	その他1	81	53.1	27.2	19.8	—
	その他2	55	61.8	23.6	14.5	—

(3) IPVに該当すると思う行為

IPVに該当すると思う行為について、「全体」では、「命の危険を感じるような暴力行為」が76.8%でもっとも割合が高く、次いで「髪を引っ張る、物を投げつける等、体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為」が74.2%となっている。

セクシュアリティ区分別にみると、「性的マイノリティ 計」において、「大切にしているものを壊す」(67.4%)、「男性が避妊に協力しない」(69.6%)、「子どもの前で暴力をふるう」(73.9%)の項目において、他の調査区分よりも回答割合が高い傾向がみられる。

図表 158 IPVに該当すると思う行為：複数回答（問10）



図表 159 IPVに該当すると思う行為：複数回答（問10）

		合計	問 10.IPV に該当すると思う行為（複数回答）							
			命の危険を感じるような暴力行為	髪を引っ張る、物を投げつける等、体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為	子どもの前で暴力をふるう	性行為を強要する	大切にしているものを壊す	友人や実家との付き合いを禁止する	わずかな生活費しか渡さない、仕事に就くことを禁止する	見たくないのにポルノビデオや雑誌を見せる
中学生・全体		453	76.8	74.2	64.2	62.5	57.4	54.3	53.6	53.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	74.3	71.1	60.5	63.2	54.6	47.4	52.0	54.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	83.2	75.2	66.4	66.4	55.2	61.6	53.6	54.4
	※性的マイノリティ 計	46	80.4	76.1	73.9	67.4	67.4	60.9	58.7	56.5
	バイセクシュアル（両性愛）	32	81.3	78.1	75.0	68.8	65.6	56.3	56.3	56.3
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	50.0	50.0	50.0	－	50.0	－	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	性別違和・性的指向問わず	17	88.2	82.4	82.4	64.7	88.2	70.6	76.5	58.8
	その他1	81	69.1	70.4	60.5	56.8	59.3	54.3	54.3	50.6
	その他2	55	76.4	81.8	65.5	54.5	60.0	52.7	52.7	45.5
		合計	問 10.IPV に該当すると思う行為（複数回答）							
			男性が避妊に協力しない	大声でどなる、無視する	外出先をチェックする、封書やメールを無断で見る	人前又は人目のないところで馬鹿にする	特になし			不明
中学生・全体		453	52.5	50.8	48.3	45.3	14.1	2.9		
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	50.7	48.7	47.4	46.1	15.8	3.9		
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	54.4	54.4	49.6	45.6	10.4	2.4		
	※性的マイノリティ 計	46	69.6	52.2	52.2	52.2	8.7	4.3		
	バイセクシュアル（両性愛）	32	71.9	56.3	46.9	50.0	9.4	6.3		
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	－	50.0	50.0	50.0	－		
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－		
	性別違和・性的指向問わず	17	64.7	58.8	70.6	64.7	－	－		
	その他1	81	48.1	48.1	50.6	43.2	17.3	2.5		
	その他2	55	45.5	49.1	41.8	40.0	16.4	－		

4-4. 人権にかかわる問題への関心・意識

(1) 人権にかかわる問題への関心度合い

様々な人権にかかわる問題への関心度合いを尋ねた。(各項目の集計結果は、次頁以降を参照)

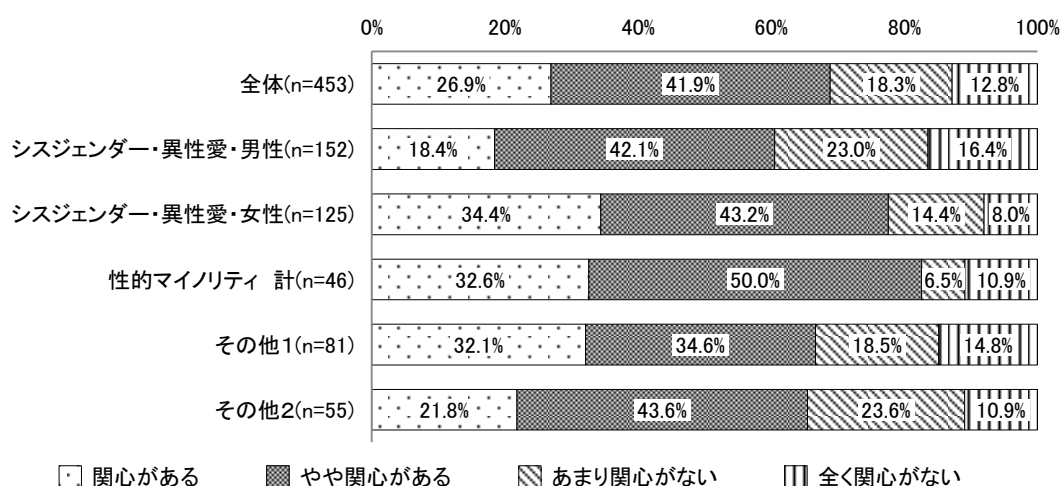
「全体」では、関心がある割合(「関心がある」「やや関心がある」の合計)はいずれの項目でも5割以上となっており、その中でも「子どもの人権」、「インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題」、「障害を理由とする偏見や差別の問題」の割合が7割以上と高くなっている。

セクシュアリティ区別にみると、関心がある割合が、「性的マイノリティ 計」のほうが「全体」よりも10ポイント以上高い項目が全18項目中11項目に上り、性的マイノリティにおいて、様々な人権問題に対する関心度が高いことがうかがわれた。

①女性の人権

女性の人権についての関心度合いをみると、関心がある割合(「関心がある」「やや関心がある」の合計)は、「全体」では68.9%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では60.5%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では77.6%、「性的マイノリティ 計」では82.6%、「その他1」では66.7%、「その他2」では65.5%となっている。

図表 160 人権にかかわる問題への関心度合い：女性の人権：単数回答（問11a）

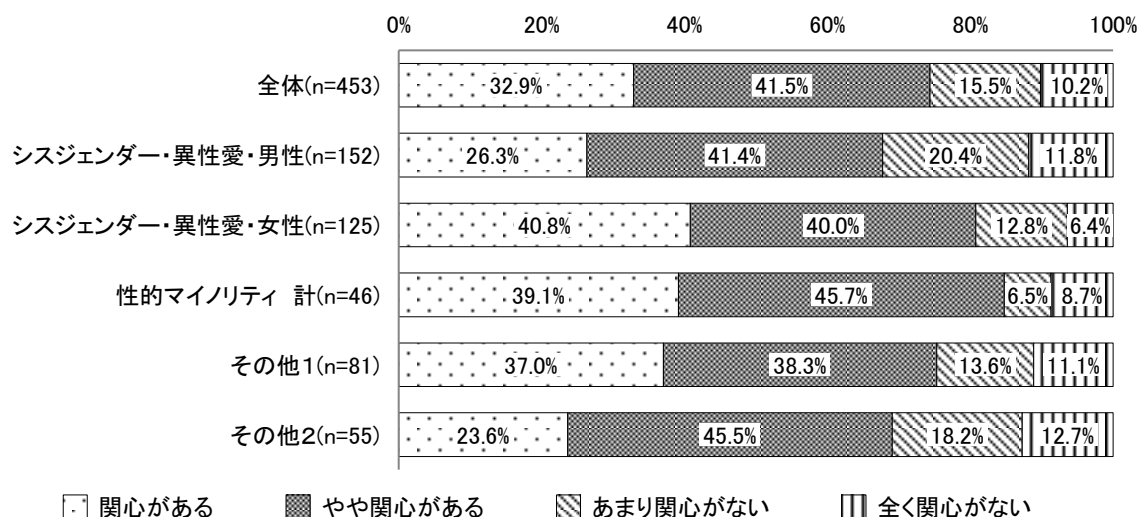


		合計	問 11a.人権にかかわる問題への関心度合い：女性の人権(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	26.9	41.9	18.3	12.8	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	18.4	42.1	23.0	16.4	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	34.4	43.2	14.4	8.0	-
	※性的マイノリティ 計	46	32.6	50.0	6.5	10.9	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	31.3	50.0	6.3	12.5	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	100.0	-	-	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	41.2	17.6	5.9	-
	その他1	81	32.1	34.6	18.5	14.8	-
	その他2	55	21.8	43.6	23.6	10.9	-

②子どもの人権

子どもの人権についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では74.4%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では67.8%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では80.8%、「性的マイノリティ 計」では84.8%、「その他1」では75.3%、「その他2」では69.1%となっている。

図表 161 人権にかかわる問題への関心度合い：子どもの人権：単数回答（問 11b）

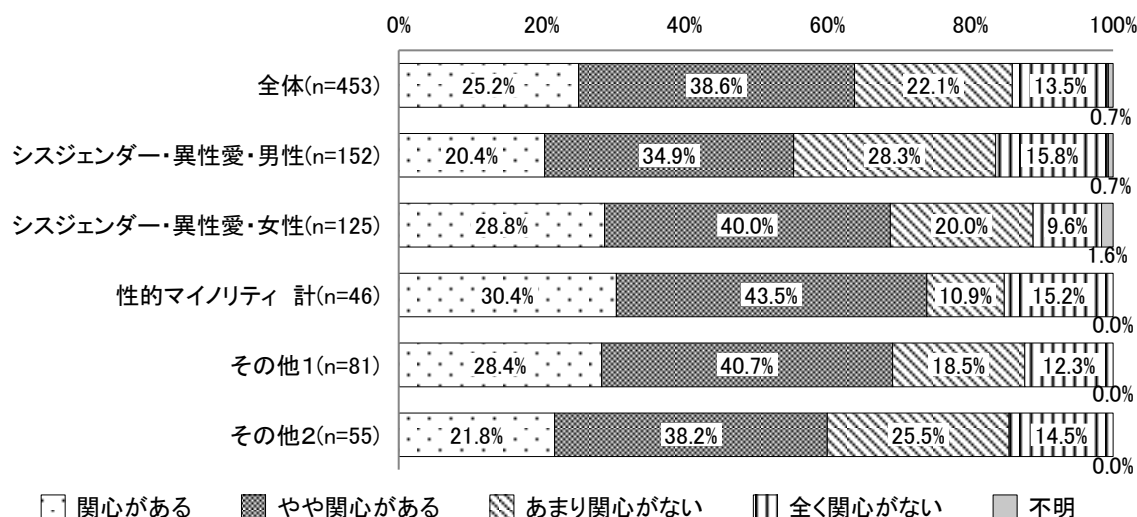


		合計	問 11b.人権にかかわる問題への関心度合い：子どもの人権（単数回答）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	32.9	41.5	15.5	10.2	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	26.3	41.4	20.4	11.8	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	40.8	40.0	12.8	6.4	—
	※性的マイノリティ 計	46	39.1	45.7	6.5	8.7	—
	バイセクシュアル(両性愛)	32	37.5	46.9	3.1	12.5	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	100.0	—	—	—
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	—	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	41.2	41.2	17.6	—	—
	その他1	81	37.0	38.3	13.6	11.1	—
	その他2	55	23.6	45.5	18.2	12.7	—

③高齢者の人権

高齢者の人権についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では63.8%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では55.3%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では68.8%、「性的マイノリティ 計」では73.9%、「その他1」では69.1%、「その他2」では60.0%となっている。

図表 162 人権にかかわる問題への関心度合い：高齢者の人権：単数回答（問11c）



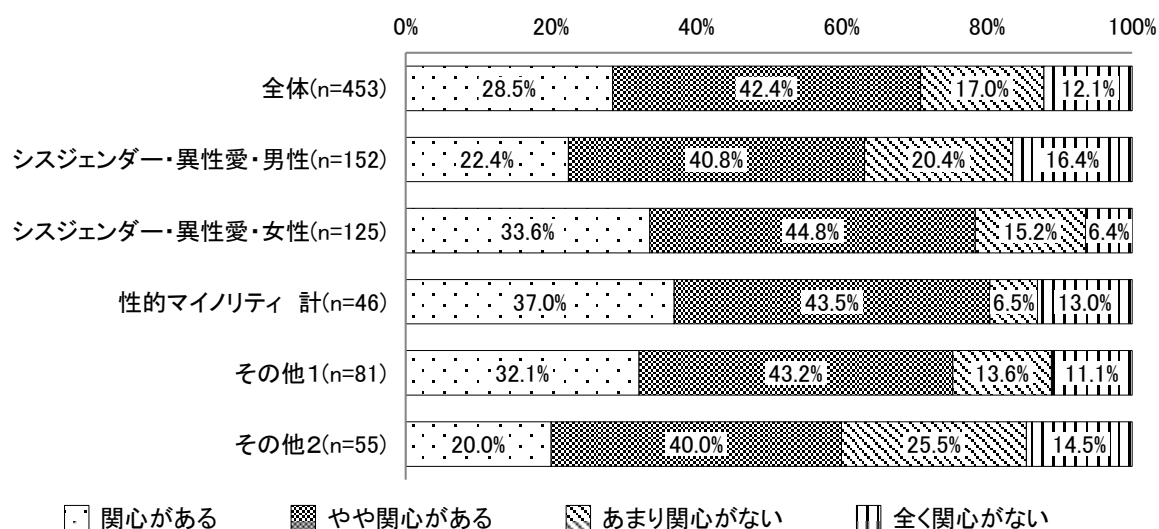
		合計	問 11c.人権にかかわる問題への関心度合い：高齢者の人権（単数回答）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	25.2	38.6	22.1	13.5	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	20.4	34.9	28.3	15.8	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	28.8	40.0	20.0	9.6	1.6
	※性的マイノリティ 計	46	30.4	43.5	10.9	15.2	－
	バイセクシュアル（両性愛）	32	25.0	46.9	6.3	21.9	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	50.0	－	－	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	35.3	29.4	－	－
	その他1	81	28.4	40.7	18.5	12.3	－
	その他2	55	21.8	38.2	25.5	14.5	－

④障害を理由とする偏見や差別の問題

障害を理由とする偏見や差別の問題についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では70.9%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では63.2%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では78.4%、「性的マイノリティ 計」では80.4%、「その他1」では75.3%、「その他2」では60.0%となっている。

図表 163 人権にかかわる問題への関心度合い：障害を理由とする偏見や差別の問題：

単数回答（問 11d）

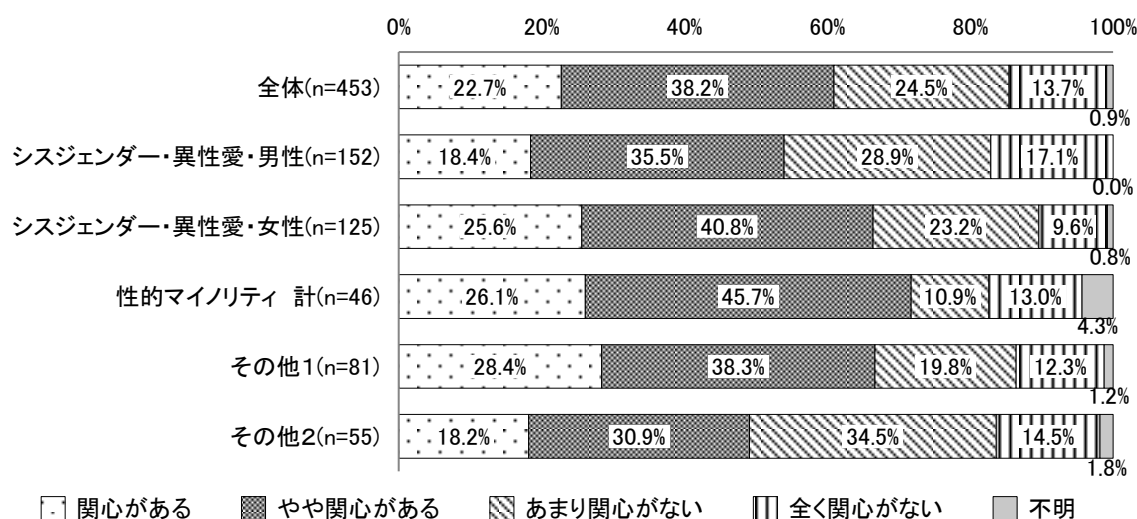


		合計	問 11d.人権にかかわる問題への関心度合い：障害を理由とする偏見や差別の問題(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	28.5	42.4	17.0	12.1	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	22.4	40.8	20.4	16.4	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	33.6	44.8	15.2	6.4	-
	※性的マイノリティ 計	46	37.0	43.5	6.5	13.0	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	34.4	43.8	6.3	15.6	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	100.0	-	-	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	41.2	35.3	17.6	5.9	-
	その他1	81	32.1	43.2	13.6	11.1	-
その他2		55	20.0	40.0	25.5	14.5	-

⑤部落差別（同和問題）

部落差別（同和問題）についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では60.9%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では53.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では66.4%、「性的マイノリティ 計」では71.7%、「その他1」では66.7%、「その他2」では49.1%となっている。

図表 164 人権にかかわる問題への関心度合い：部落差別（同和問題）：単数回答（問 11e）

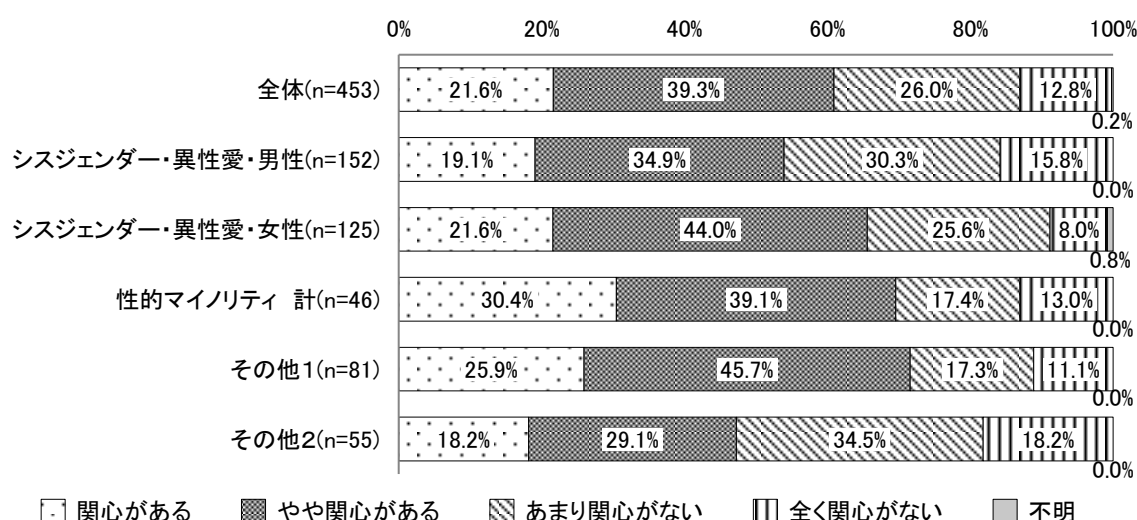


		合計	問 11e.人権にかかわる問題への関心度合い：部落差別（同和問題） （単数回答）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	22.7	38.2	24.5	13.7	0.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	18.4	35.5	28.9	17.1	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	25.6	40.8	23.2	9.6	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	26.1	45.7	10.9	13.0	4.3
	バイセクシュアル(両性愛)	32	25.0	43.8	9.4	18.8	3.1
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	100.0	—	—	—
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	—	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	41.2	23.5	—	5.9
	その他1	81	28.4	38.3	19.8	12.3	1.2
その他2		55	18.2	30.9	34.5	14.5	1.8

⑥アイヌの人々の偏見や差別の問題

アイヌの人々の偏見や差別の問題についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では60.9%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では53.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では65.6%、「性的マイノリティ 計」では69.6%、「その他1」では71.6%、「その他2」では47.3%となっている。

図表 165 人権にかかわる問題への関心度合い：アイヌの人々の偏見や差別の問題：単数回答（問 11f）

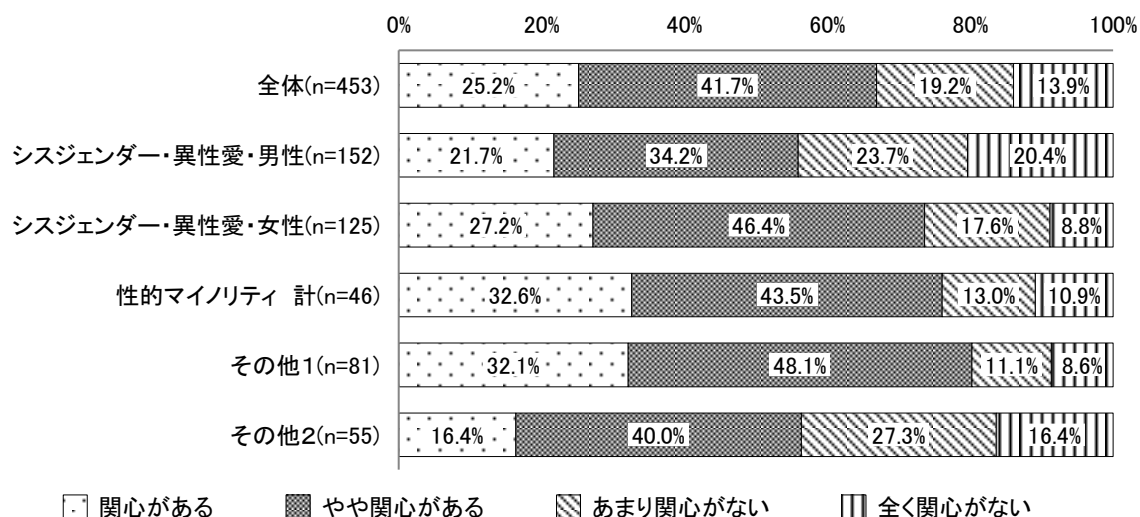


		合計	問 11f.人権にかかわる問題への関心度合い:アイヌの人々の偏見や差別の問題(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	21.6	39.3	26.0	12.8	0.2
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	19.1	34.9	30.3	15.8	－
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	21.6	44.0	25.6	8.0	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	30.4	39.1	17.4	13.0	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	28.1	37.5	18.8	15.6	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	100.0	－	－	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	35.3	23.5	5.9	－
	その他1	81	25.9	45.7	17.3	11.1	－
	その他2	55	18.2	29.1	34.5	18.2	－

⑦外国人の人権

外国人の人権についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では66.9%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では55.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では73.6%、「性的マイノリティ 計」では76.1%、「その他1」では80.2%、「その他2」では56.4%となっている。

図表 166 人権にかかわる問題への関心度合い：外国人の人権：単数回答（問 11g）

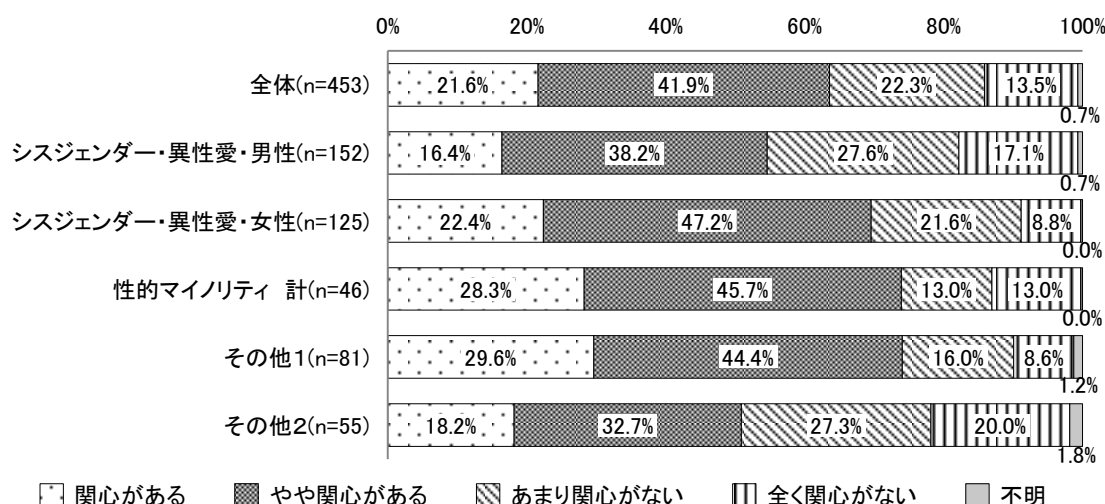


		合計	問 11g.人権にかかわる問題への関心度合い：外国人の人権(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	25.2	41.7	19.2	13.9	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	21.7	34.2	23.7	20.4	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	27.2	46.4	17.6	8.8	—
	※性的マイノリティ 計	46	32.6	43.5	13.0	10.9	—
	バイセクシュアル(両性愛)	32	28.1	43.8	12.5	15.6	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	100.0	—	—	—
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	—	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	41.2	35.3	23.5	—	—
	その他1	81	32.1	48.1	11.1	8.6	—
	その他2	55	16.4	40.0	27.3	16.4	—

⑧感染症に関連する偏見や差別の問題

感染症に関連する偏見や差別の問題についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では63.6%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では54.6%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では69.6%、「性的マイノリティ 計」では73.9%、「その他1」では74.1%、「その他2」では50.9%となっている。

図表 167 人権にかかわる問題への関心度合い：
感染症に関連する偏見や差別の問題：単数回答（問11h）



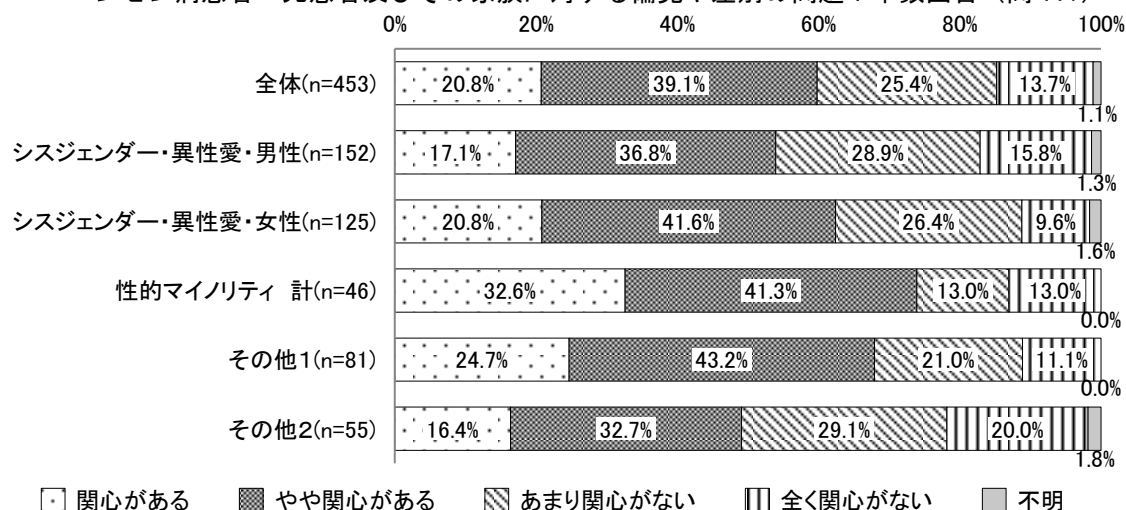
		合計	問11h.人権にかかわる問題への関心度合い: 感染症に関連する偏見や差別の問題(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	21.6	41.9	22.3	13.5	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	16.4	38.2	27.6	17.1	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	22.4	47.2	21.6	8.8	-
	※性的マイノリティ 計	46	28.3	45.7	13.0	13.0	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	25.0	46.9	9.4	18.8	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	100.0	-	-	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	35.3	29.4	-	-
	その他1	81	29.6	44.4	16.0	8.6	1.2
	その他2	55	18.2	32.7	27.3	20.0	1.8

⑨ハンセン病患者・元患者及びその家族に対する偏見や差別の問題

ハンセン病患者・元患者及びその家族に対する偏見や差別の問題についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では 59.8%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 53.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 62.4%、「性的マイノリティ 計」では 73.9%、「その他 1」では 67.9%、「その他 2」では 49.1%となっている。

図表 168 人権にかかわる問題への関心度合い：

ハンセン病患者・元患者及びその家族に対する偏見や差別の問題：単数回答（問 11i）



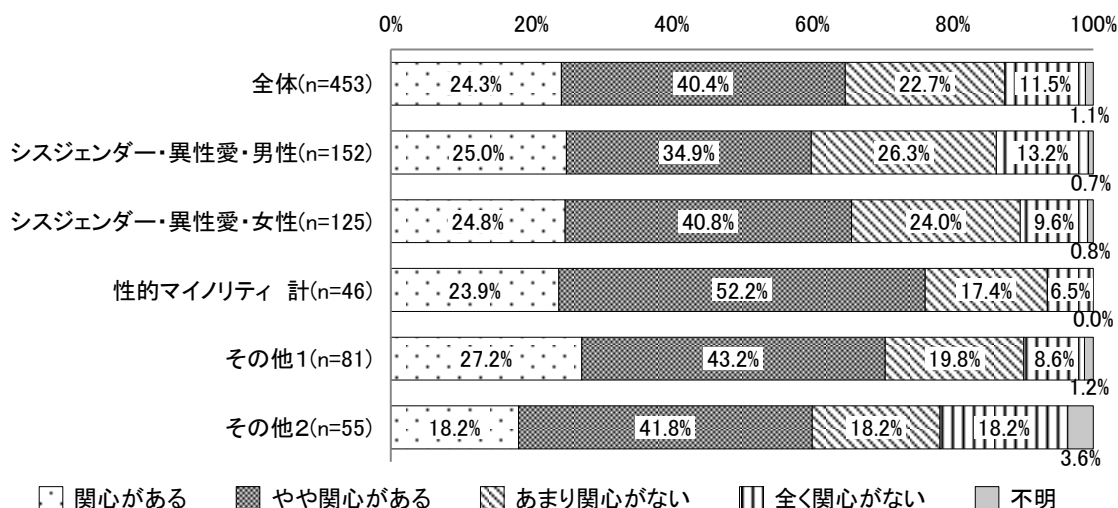
		合計	問 11i.人権にかかわる問題への関心度合い：ハンセン病患者・元患者及びその家族に対する偏見や差別の問題（単数回答）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	20.8	39.1	25.4	13.7	1.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	17.1	36.8	28.9	15.8	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	20.8	41.6	26.4	9.6	1.6
	※性的マイノリティ 計	46	32.6	41.3	13.0	13.0	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	28.1	40.6	12.5	18.8	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	100.0	－	－	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	41.2	35.3	23.5	－	－
	その他1	81	24.7	43.2	21.0	11.1	－
	その他2	55	16.4	32.7	29.1	20.0	1.8

⑩刑を終えて出所した人及びその家族に対する偏見や差別の問題

刑を終えて出所した人及びその家族に対する偏見や差別の問題についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では 64.7%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 59.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 65.6%、「性的マイノリティ 計」では 76.1%、「その他 1」では 70.4%、「その他 2」では 60.0%となっている。

図表 169 人権にかかわる問題への関心度合い：

刑を終えて出所した人及びその家族に対する偏見や差別の問題：単数回答（問 11j）

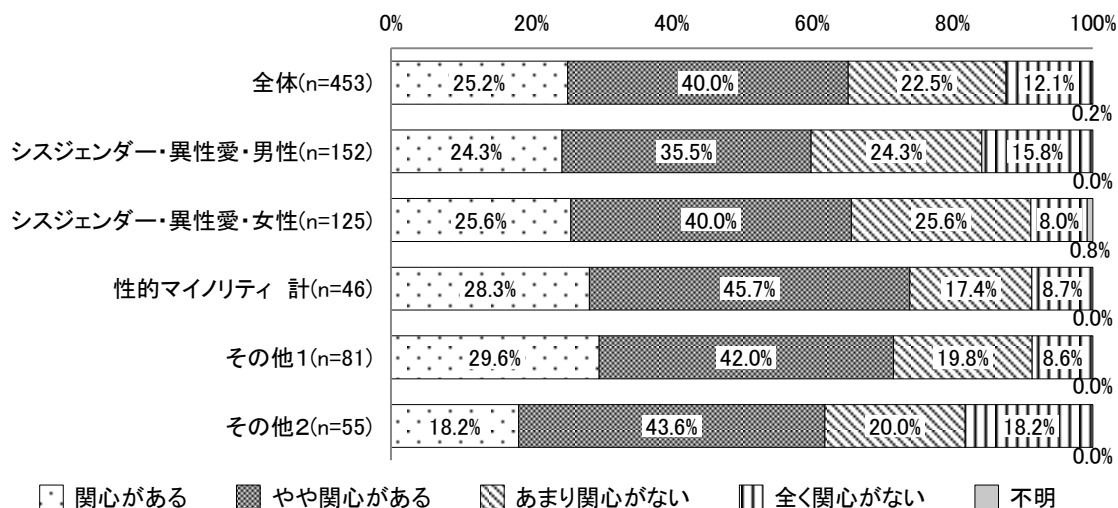


		合計	問 11j.人権にかかわる問題への関心度合い:刑を終えて出所した人及びその家族に対する偏見や差別の問題(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	24.3	40.4	22.7	11.5	1.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	25.0	34.9	26.3	13.2	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	24.8	40.8	24.0	9.6	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	23.9	52.2	17.4	6.5	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	21.9	50.0	18.8	9.4	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	100.0	-	-	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	47.1	23.5	-	-
	その他1	81	27.2	43.2	19.8	8.6	1.2
	その他2	55	18.2	41.8	18.2	18.2	3.6

⑪犯罪被害者及びその家族の人権

犯罪被害者及びその家族の人権についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では65.1%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では59.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では65.6%、「性的マイノリティ 計」では73.9%、「その他1」では71.6%、「その他2」では61.8%となっている。

図表 170 人権にかかわる問題への関心度合い：
犯罪被害者及びその家族の人権：単数回答（問 11k）



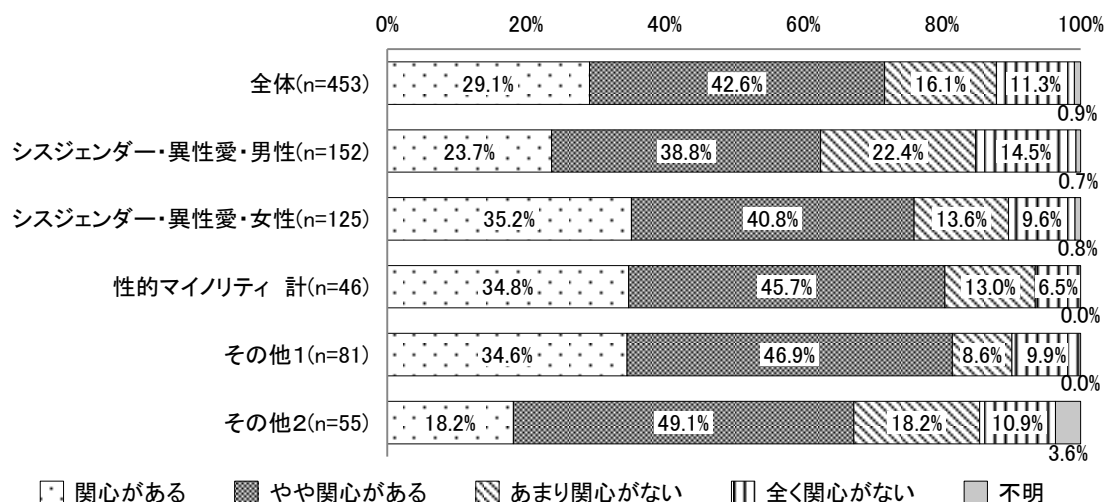
		合計	問 11k.人権にかかわる問題への関心度合い:犯罪被害者及びその家族の人権(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	25.2	40.0	22.5	12.1	0.2
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	24.3	35.5	24.3	15.8	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	25.6	40.0	25.6	8.0	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	28.3	45.7	17.4	8.7	—
	バイセクシュアル(両性愛)	32	28.1	40.6	18.8	12.5	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	100.0	—	—	—
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	—	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	47.1	23.5	—	—
	その他1	81	29.6	42.0	19.8	8.6	—
	その他2	55	18.2	43.6	20.0	18.2	—

⑫インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題

インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では 71.7%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 62.5%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 76.0%、「性的マイノリティ 計」では 80.4%、「その他 1」では 81.5%、「その他 2」では 67.3%となっている。

図表 171 人権にかかわる問題への関心度合い：

インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題：単数回答（問 11I）

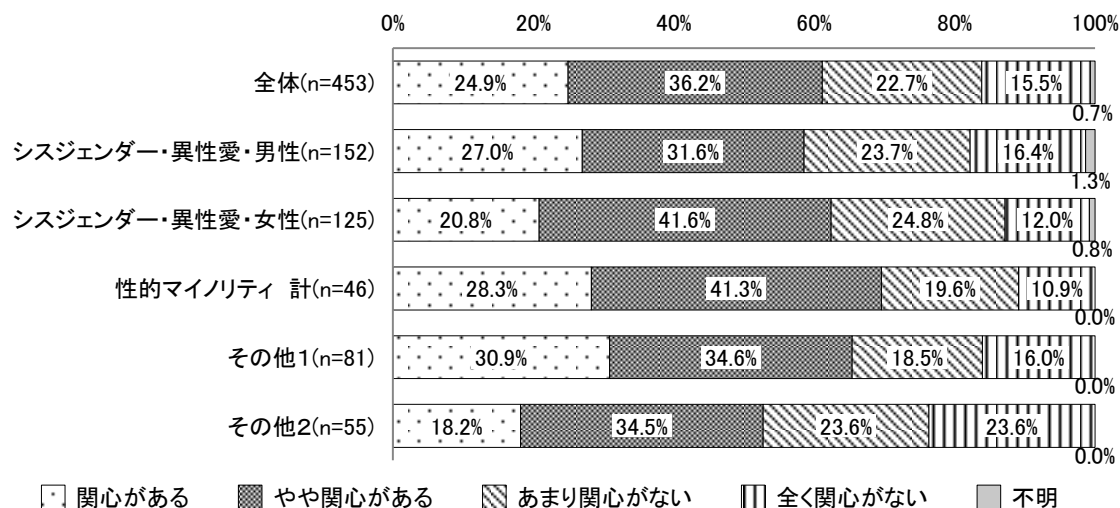


		合計	問 11I.人権にかかわる問題への関心度合い：インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題（単数回答）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	29.1	42.6	16.1	11.3	0.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	23.7	38.8	22.4	14.5	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	35.2	40.8	13.6	9.6	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	34.8	45.7	13.0	6.5	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	31.3	43.8	15.6	9.4	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	100.0	－	－	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	47.1	41.2	11.8	－	－
	その他1	81	34.6	46.9	8.6	9.9	－
	その他2	55	18.2	49.1	18.2	10.9	3.6

⑬北朝鮮当局による人権侵害の問題

北朝鮮当局による人権侵害の問題についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では61.1%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では58.6%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では62.4%、「性的マイノリティ 計」では69.6%、「その他1」では65.4%、「その他2」では52.7%となっている。

図表 172 人権にかかわる問題への関心度合い：
北朝鮮当局による人権侵害の問題：単数回答（問 11m）

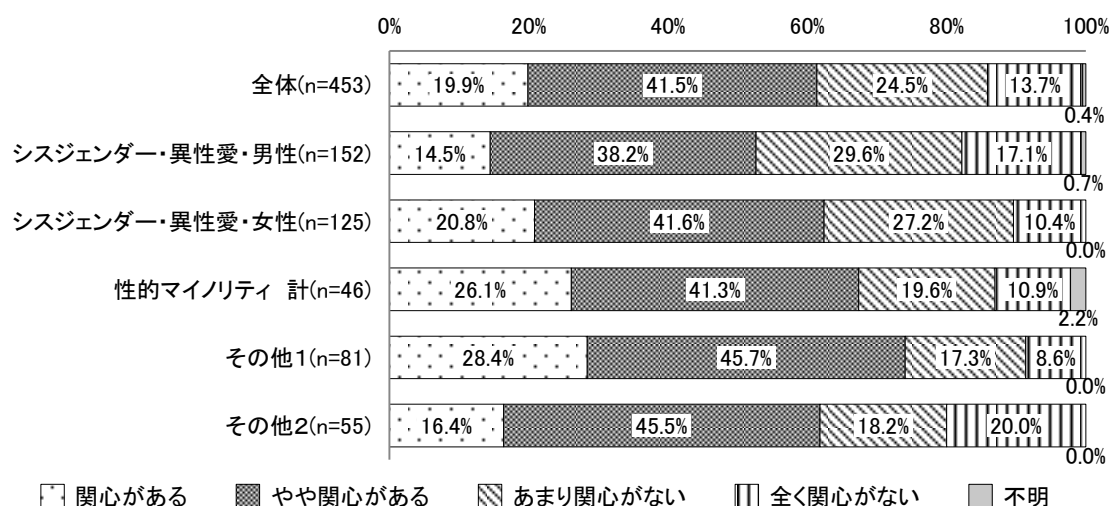


		合計	問 11m.人権にかかわる問題への関心度合い：北朝鮮当局による人権侵害の問題(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	24.9	36.2	22.7	15.5	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	27.0	31.6	23.7	16.4	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	20.8	41.6	24.8	12.0	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	28.3	41.3	19.6	10.9	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	31.3	37.5	21.9	9.4	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	100.0	－	－	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	23.5	35.3	29.4	11.8	－
	その他1	81	30.9	34.6	18.5	16.0	－
	その他2	55	18.2	34.5	23.6	23.6	－

⑭ホームレスに対する偏見や差別の問題

ホームレスに対する偏見や差別の問題についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では61.4%となっている。セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では52.6%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では62.4%、「性的マイノリティ 計」では67.4%、「その他1」では74.1%、「その他2」では61.8%となっている。

図表 173 人権にかかわる問題への関心度合い：
ホームレスに対する偏見や差別の問題：単数回答（問11n）



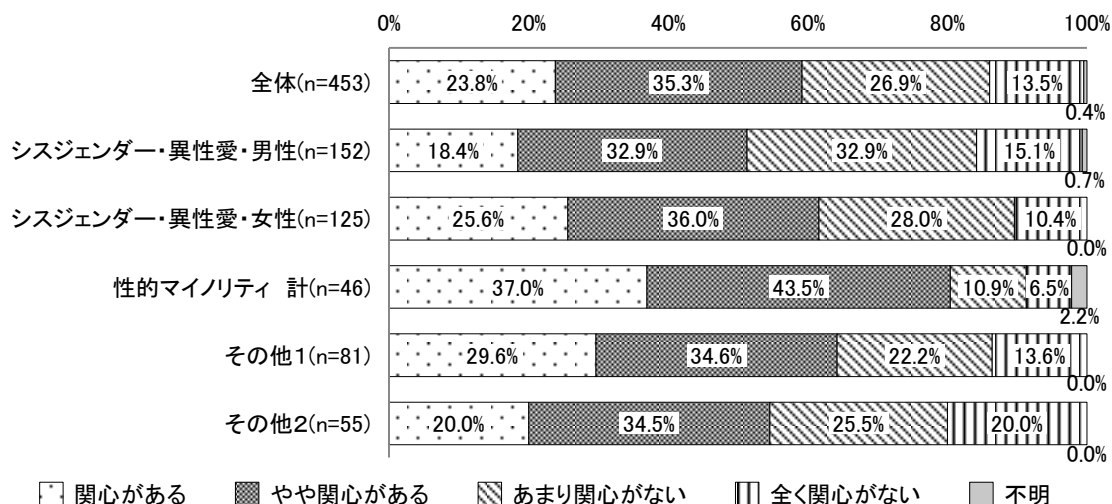
		合計	問 11n.人権にかかわる問題への関心度合い:ホームレスに対する偏見 や差別の問題(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	19.9	41.5	24.5	13.7	0.4
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	14.5	38.2	29.6	17.1	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	20.8	41.6	27.2	10.4	—
	※性的マイノリティ 計	46	26.1	41.3	19.6	10.9	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	25.0	34.4	25.0	12.5	3.1
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	100.0	—	—	—
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	—	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	41.2	23.5	5.9	—
	その他1	81	28.4	45.7	17.3	8.6	—
	その他2	55	16.4	45.5	18.2	20.0	—

⑮性的マイノリティに関する偏見や差別の問題

性的マイノリティに関する偏見や差別の問題についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では 59.2%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 51.3%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 61.6%、「性的マイノリティ 計」では 80.4%、「その他 1」では 64.2%、「その他 2」では 54.5%となっている。

図表 174 人権にかかわる問題への関心度合い：

性的マイノリティに関する偏見や差別の問題：単数回答（問 11o）

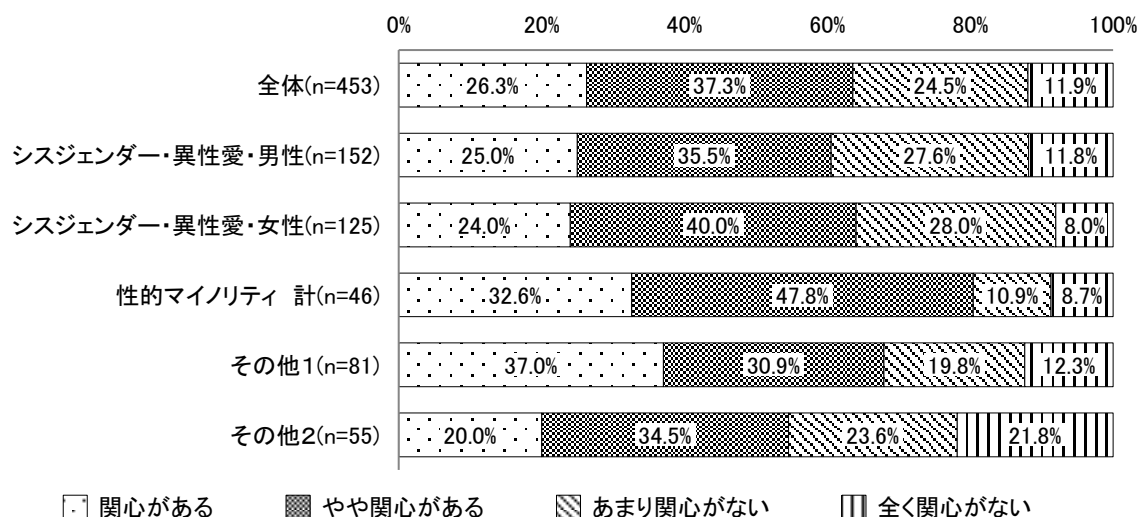


		合計	問 11o.人権にかかわる問題への関心度合い：性的マイノリティに関する 偏見や差別の問題(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	23.8	35.3	26.9	13.5	0.4
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	18.4	32.9	32.9	15.1	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	25.6	36.0	28.0	10.4	－
	※性的マイノリティ 計	46	37.0	43.5	10.9	6.5	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	31.3	43.8	15.6	6.3	3.1
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	50.0	－	－	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	41.2	41.2	11.8	5.9	－
	その他1	81	29.6	34.6	22.2	13.6	－
	その他2	55	20.0	34.5	25.5	20.0	－

⑩人身取引の問題

人身取引の問題についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では63.6%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では60.5%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では64.0%、「性的マイノリティ 計」では80.4%、「その他1」では67.9%、「その他2」では54.5%となっている。

図表 175 人権にかかわる問題への関心度合い：人身取引の問題：単数回答（問11p）

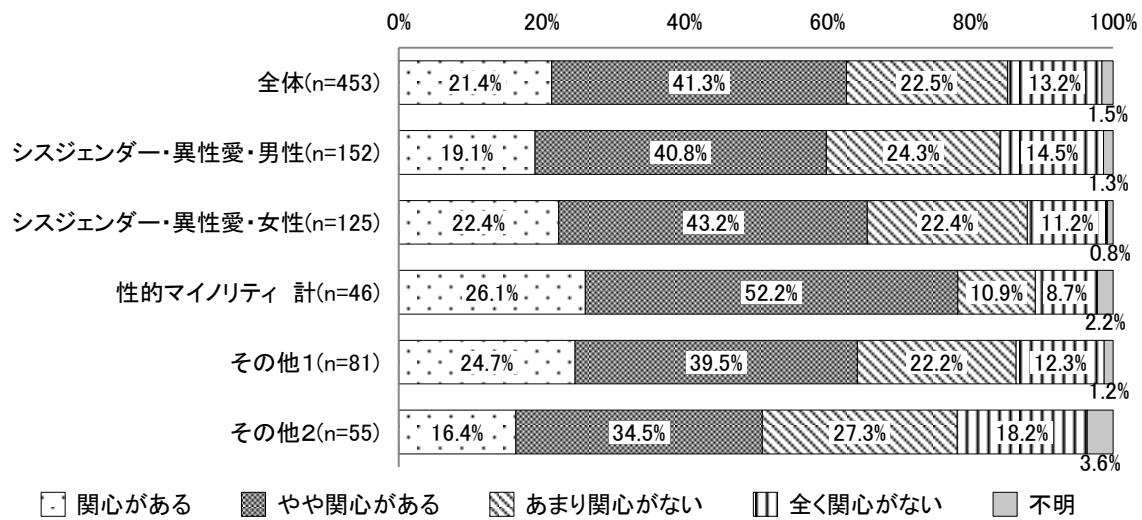


		合計	問 11p.人権にかかわる問題への関心度合い：人身取引の問題(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	26.3	37.3	24.5	11.9	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	25.0	35.5	27.6	11.8	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	24.0	40.0	28.0	8.0	-
	※性的マイノリティ 計	46	32.6	47.8	10.9	8.7	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	18.8	53.1	15.6	12.5	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	100.0	-	-	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	58.8	23.5	17.6	-	-
	その他1	81	37.0	30.9	19.8	12.3	-
	その他2	55	20.0	34.5	23.6	21.8	-

⑰震災等の災害に起因する偏見や差別の問題

震災等の災害に起因する偏見や差別の問題についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では 62.7%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 59.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 65.6%、「性的マイノリティ 計」では 78.3%、「その他 1」では 64.2%、「その他 2」では 50.9%となっている。

図表 176 人権にかかわる問題への関心度合い：
震災等の災害に起因する偏見や差別の問題：単数回答（問 11q）



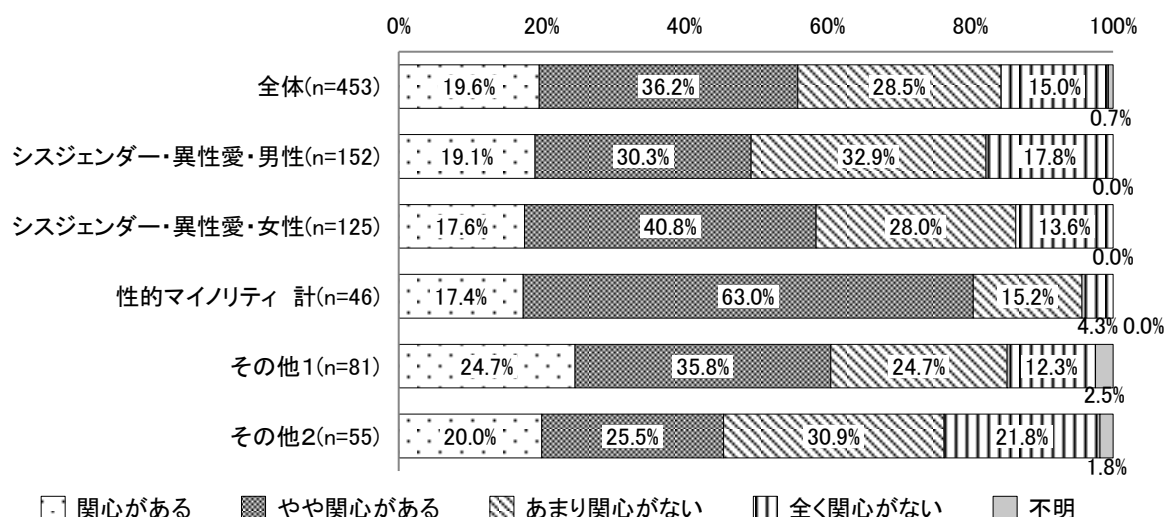
		合計	問 11q.人権にかかわる問題への関心度合い:震災等の災害に起因する偏見や差別の問題(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	21.4	41.3	22.5	13.2	1.5
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	19.1	40.8	24.3	14.5	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	22.4	43.2	22.4	11.2	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	26.1	52.2	10.9	8.7	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	25.0	46.9	12.5	12.5	3.1
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	100.0	-	-	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	47.1	23.5	-	-
	その他1	81	24.7	39.5	22.2	12.3	1.2
	その他2	55	16.4	34.5	27.3	18.2	3.6

⑩ゲノム情報（遺伝情報）に関する偏見や差別の問題

ゲノム情報（遺伝情報）に関する偏見や差別の問題についての関心度合いをみると、関心がある割合（「関心がある」「やや関心がある」の合計）は、「全体」では 55.8%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 49.3%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 58.4%、「性的マイノリティ 計」では 80.4%、「その他 1」では 60.5%、「その他 2」では 45.5%となっている。

図表 177 人権にかかわる問題への関心度合い：

ゲノム情報（遺伝情報）に関する偏見や差別の問題：単数回答（問 11r）



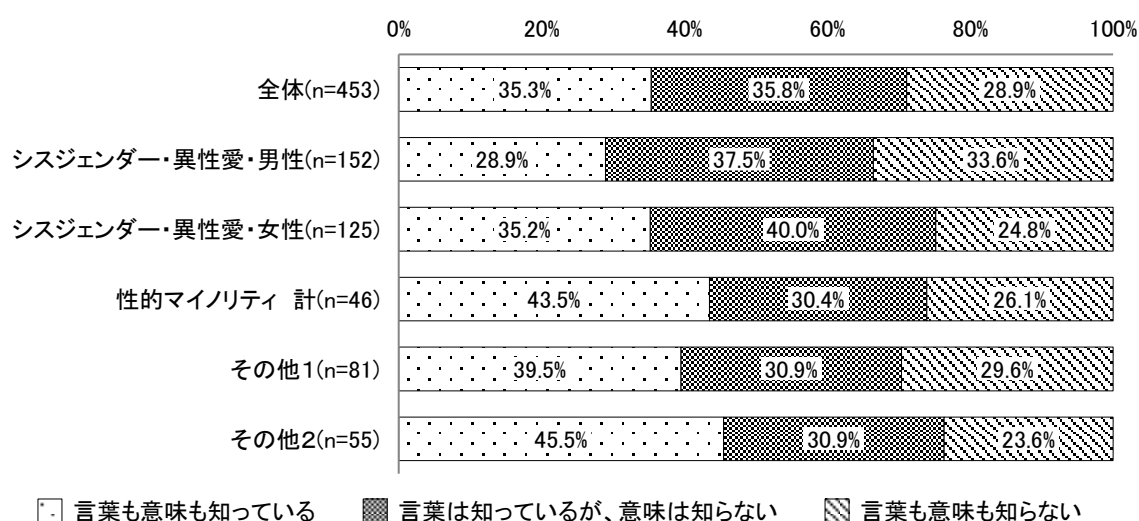
		合計	問 11r.人権にかかわる問題への関心度合い:ゲノム情報(遺伝情報)に関する偏見や差別の問題(単数回答)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明
中学生・全体		453	19.6	36.2	28.5	15.0	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	19.1	30.3	32.9	17.8	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	17.6	40.8	28.0	13.6	—
	※性的マイノリティ 計	46	17.4	63.0	15.2	4.3	—
	バイセクシュアル(両性愛)	32	15.6	56.3	21.9	6.3	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	100.0	—	—	—
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	—	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	23.5	58.8	17.6	—	—
	その他1	81	24.7	35.8	24.7	12.3	2.5
	その他2	55	20.0	25.5	30.9	21.8	1.8

4-5. 性の多様性について

(1) 性的マイノリティという用語の認知状況

「性的マイノリティ」という用語の認知状況（「言葉も意味も知っている」「言葉は知っているが、意味は知らない」の合計）をみると、「全体」では 71.1%となっている。セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 66.4%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 75.2%、「性的マイノリティ 計」では 73.9%、「その他 1」では 70.4%、「その他 2」では 76.4%となっている。

図表 178 性的マイノリティという用語の認知状況：単数回答（問 12）

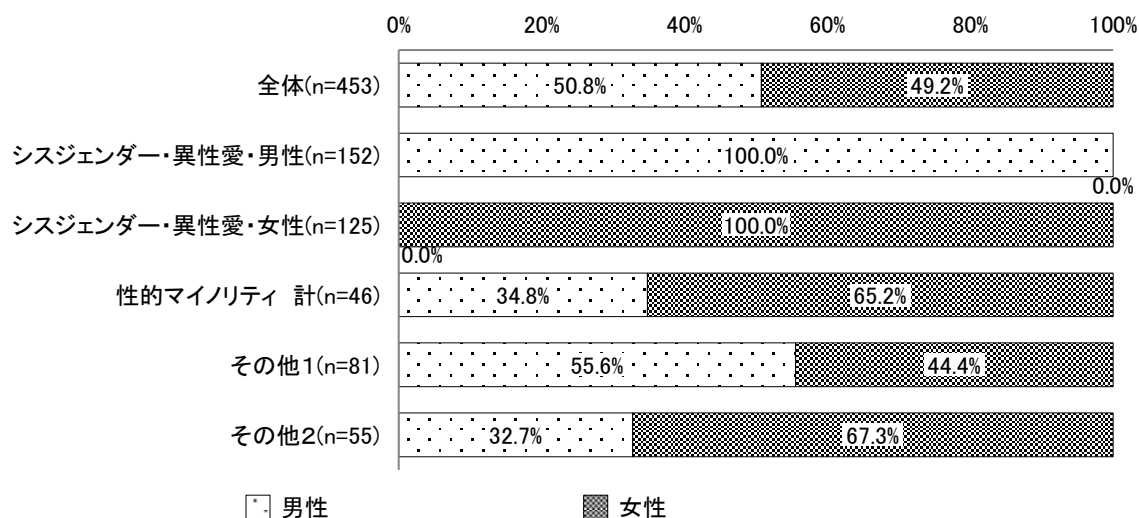


		合計	問 12.性的マイノリティという用語の認知状況(単数回答)			
			言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味は知らない	言葉も意味も知らない	不明
中学生・全体		453	35.3	35.8	28.9	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	28.9	37.5	33.6	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	35.2	40.0	24.8	—
	※性的マイノリティ 計	46	43.5	30.4	26.1	—
	バイセクシュアル(両性愛)	32	37.5	31.3	31.3	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	—	50.0	—
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	—	100.0	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	41.2	35.3	23.5	—
	その他1	81	39.5	30.9	29.6	—
	その他2	55	45.5	30.9	23.6	—

(2) 出生時の戸籍・出生届の性別

出生時の戸籍・出生届の性別をみると、「全体」では、「男性」が50.8%、「女性」が49.2%となっている。

図表 179 出生時の戸籍・出生届の性別：単数回答（問13）

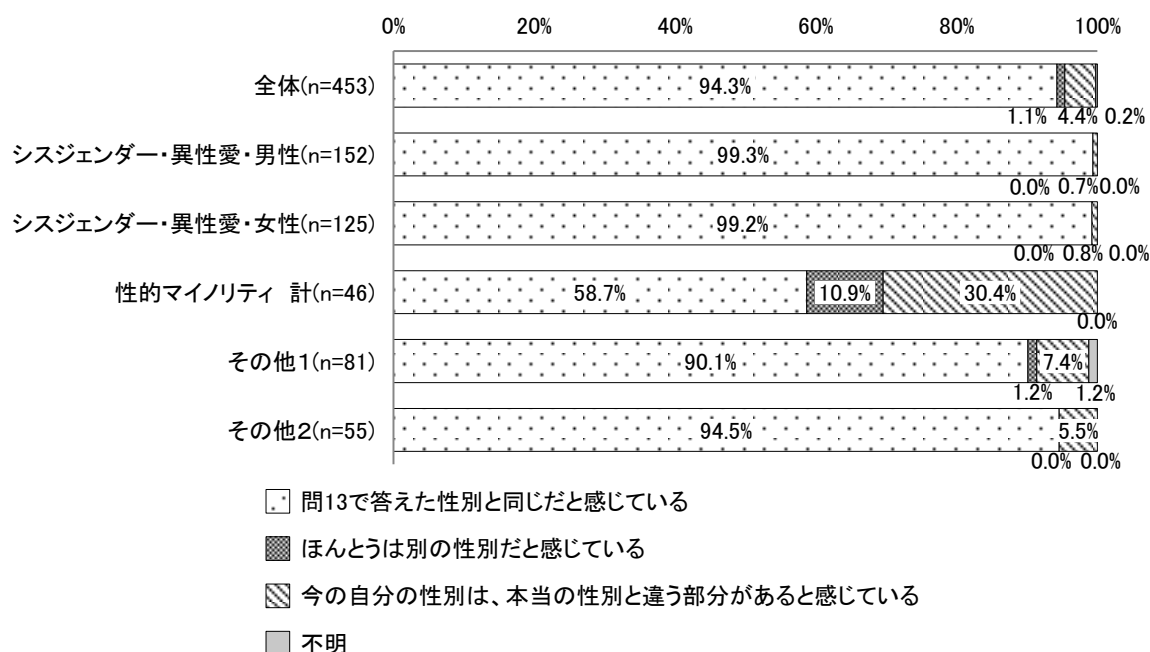


		合計	問13.出生時の戸籍・出生届の性別(単数回答)		
			男性	女性	不明
中学生・全体		453	50.8	49.2	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	100.0	—	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	—	100.0	—
	※性的マイノリティ 計	46	34.8	65.2	—
	バイセクシュアル(両性愛)	32	34.4	65.6	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	100.0	—	—
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	—	100.0	—
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	70.6	—
	その他1	81	55.6	44.4	—
	その他2	55	32.7	67.3	—

(3) 今の性別に関する認識

今の性別に関する認識をみると、「全体」では、「問 13 で答えた性別と同じだと感じている」が 94.3%でもっとも割合が高く、次いで「今の自分の性別は、本当の性別と違う部分があると感じている」が 4.4%となっている。

図表 180 今の性別に関する認識：単数回答（問 14）

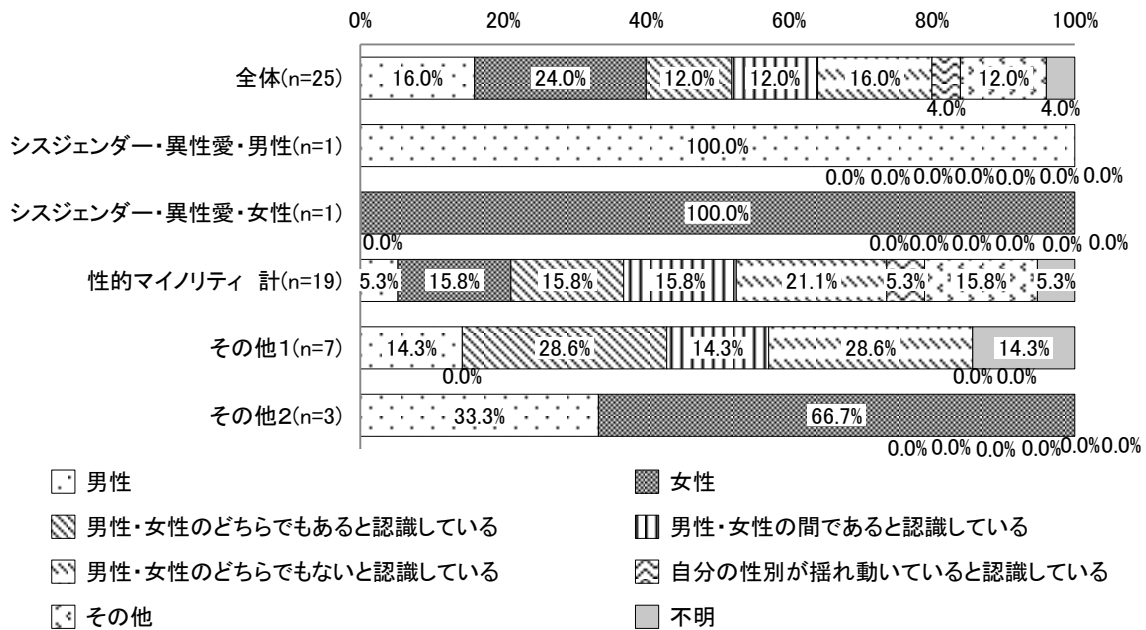


		合計	問 14.今の性別に関する認識(単数回答)			
			問 13 で答え た性別と同じ だと感じている	ほんとは別の 性別だと感 じている	今の自分の 性別は、本当 の性別と違う 部分があると 感じている	不明
中学生・全体		453	94.3	1.1	4.4	0.2
セク シュ アリ ティ 区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	99.3	—	0.7	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	99.2	—	0.8	—
	※性的マイノリティ 計	46	58.7	10.9	30.4	—
	バイセクシュアル(両性愛)	32	75.0	6.3	18.8	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	100.0	—	—	—
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	—	29.4	70.6	—
	その他1	81	90.1	1.2	7.4	1.2
	その他2	55	94.5	—	5.5	—

(4) 性自認

今の自分の性別について「ほんとは別の性別だと感じている」「今の自分の性別は、本当の自分の性別と違う部分があると感じている」と回答した者について、性自認をみると、「全体」では、「女性」が 24.0%でもっとも割合が高く、次いで「男性」「男性・女性のどちらでもない」と認識している」が 16.0%となっている。ただし、サンプルサイズが小さいため参考値。

図表 181 性自認：単数回答（問 14-2）



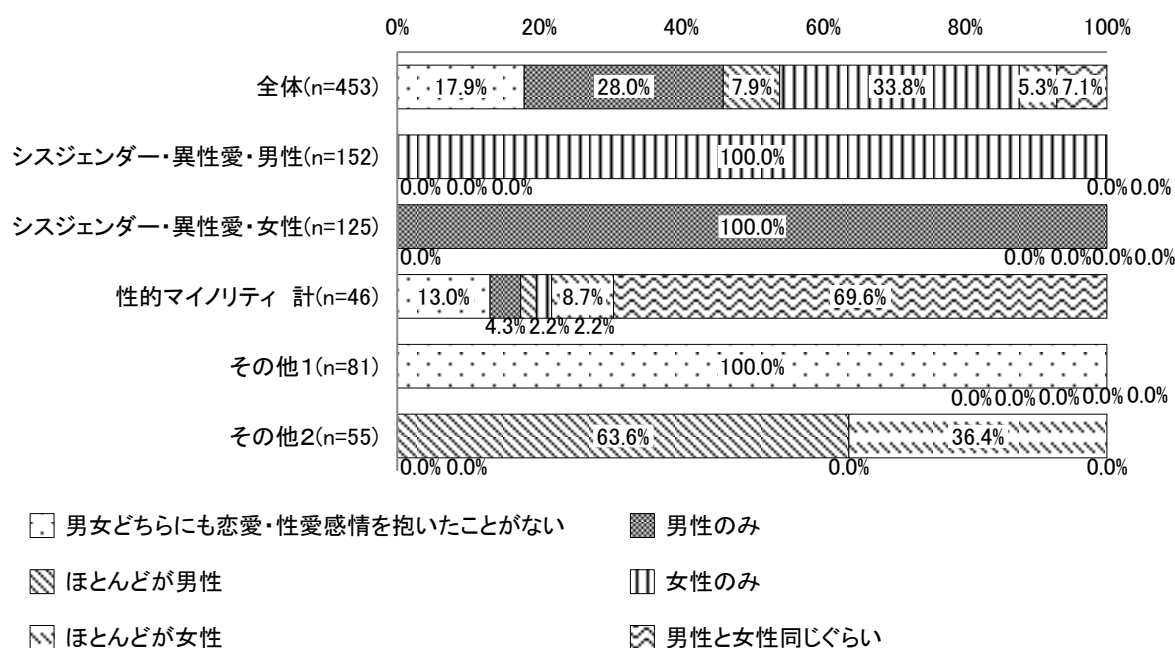
注) サンプルサイズが小さいため参考値。

		合計	問 14-2. 性自認(単数回答)						
			男性	女性	男性・女性のどちらでもあると認識している	男性・女性のどちらでもないと認識している	自分の性別が揺れ動いていると認識している	その他	不明
中学生・全体		25	16.0	24.0	12.0	12.0	16.0	4.0	12.0
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	※性的マイノリティ 計	19	5.3	15.8	15.8	15.8	21.1	5.3	15.8
	バイセクシュアル(両性愛)	8	-	37.5	12.5	12.5	12.5	-	25.0
	シスジェンダー・ゲイ男性	0	-	-	-	-	-	-	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	0	-	-	-	-	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	5.9	5.9	17.6	17.6	23.5	5.9	17.6
	その他1	7	14.3	-	28.6	14.3	28.6	-	14.3
	その他2	3	33.3	66.7	-	-	-	-	-

(5) 恋愛・性愛感情を抱く相手

恋愛・性愛感情を抱く相手をみると、「全体」では、「女性のみ」が33.8%でもっとも割合が高く、次いで「男性のみ」が28.0%となっている。

図表 182 恋愛・性愛感情を抱く相手：単数回答（問15）



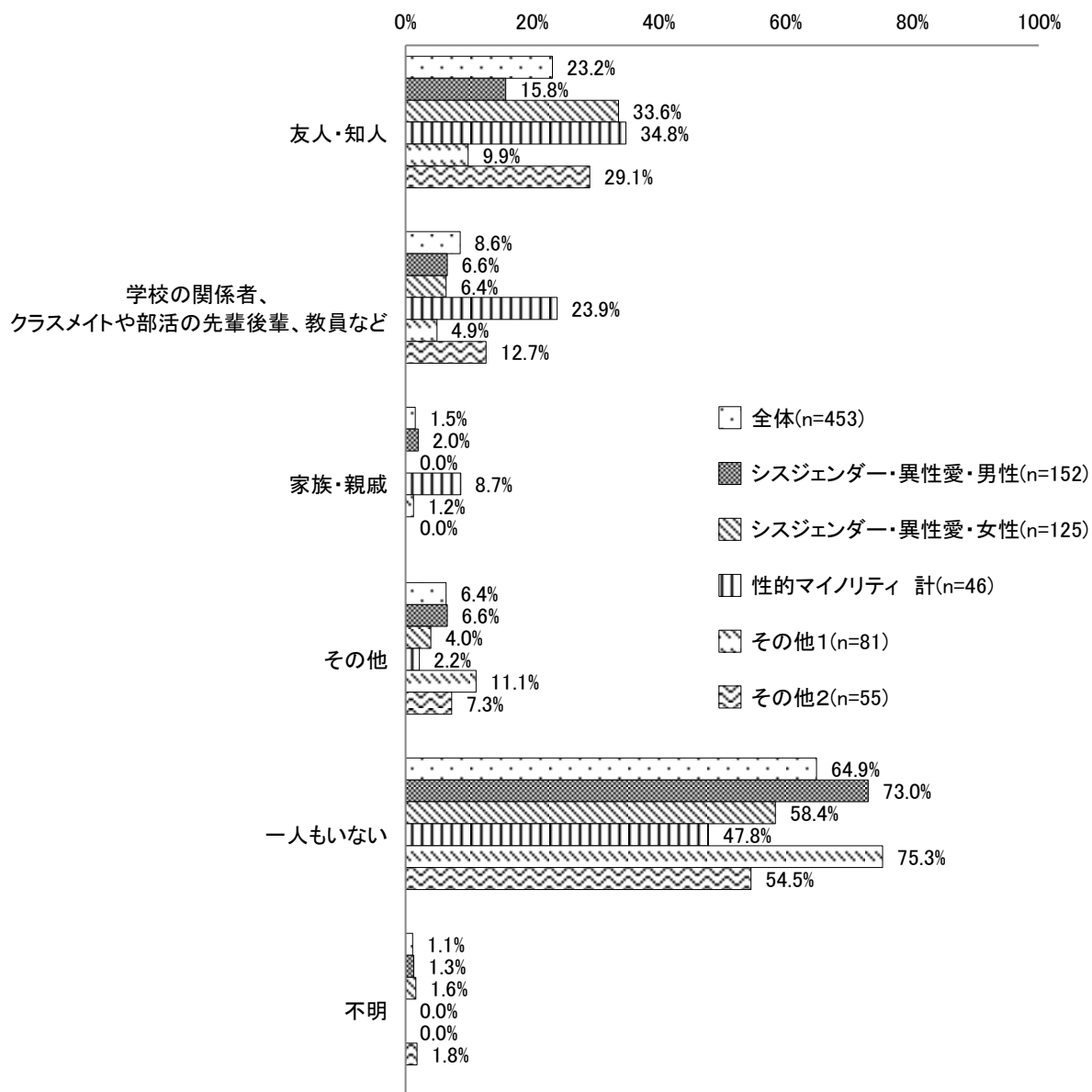
		合計	問 15.恋愛・性愛感情を抱く相手(単数回答)						
			男女どちらにも恋愛・性愛感情を抱いたことがない	男性のみ	ほとんどが男性	女性のみ	ほとんどが女性	男性と女性同じくらい	不明
中学生・全体		453	17.9	28.0	7.9	33.8	5.3	7.1	—
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	—	—	—	100.0	—	—	—
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	—	100.0	—	—	—	—	—
	※性的マイノリティ 計	46	13.0	4.3	2.2	2.2	8.7	69.6	—
	バイセクシュアル(両性愛)	32	—	—	—	—	—	100.0	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	100.0	—	—	—	—	—
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	—	—	—	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	—	5.9	—	23.5	35.3	—
	その他1	81	100.0	—	—	—	—	—	—
	その他2	55	—	—	63.6	—	36.4	—	—

(6) 周囲に性的マイノリティがいるか

周囲に性的マイノリティがいるかをみると、「全体」では、「一人もいない」が64.9%でもっとも割合が高く、次いで「友人・知人」が23.2%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「性的マイノリティ 計」では他に比べて、「友人・知人」(34.8%)、「学校の関係者、クラスメイトや部活の先輩後輩、教員など」(23.9%)の回答割合が高くなっている。

図表 183 周囲に性的マイノリティがいるか：複数回答（問 16）



4. 中学生意識調査 調査結果

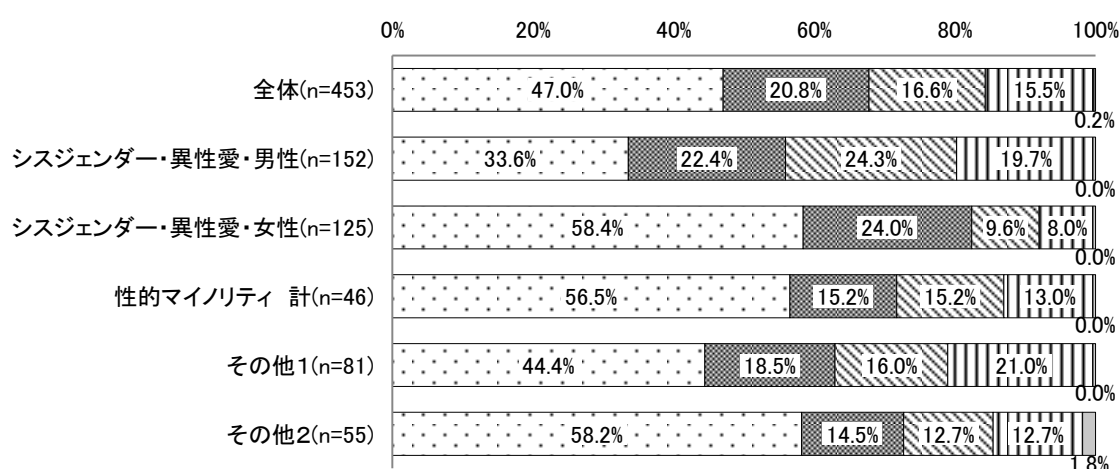
		合計	問 16. 周囲に性的マイノリティがいるか(複数回答)					
			友人・知人	学校の関係者、クラスメイトや部活の先輩後輩、教員など	家族・親戚	その他	一人もない	不明
中学生・全体		453	23.2	8.6	1.5	6.4	64.9	1.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	15.8	6.6	2.0	6.6	73.0	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	33.6	6.4	—	4.0	58.4	1.6
	※性的マイノリティ 計	46	34.8	23.9	8.7	2.2	47.8	—
	バイセクシュアル(両性愛)	32	40.6	25.0	9.4	3.1	43.8	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	50.0	—	—	50.0	—
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	—	—	—	—	100.0	—
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	23.5	11.8	—	52.9	—
	その他1	81	9.9	4.9	1.2	11.1	75.3	—
	その他2	55	29.1	12.7	—	7.3	54.5	1.8

(7) カミングアウトを受けたら不安に思うか

カミングアウトを受けたら不安に思うかをみると、「全体」では、「どのように接すればよいか、不安はない」が47.0%でもっとも割合が高く、次いで「どのように接すればよいか、不安である」が20.8%となっている。

セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では他に比べて、「どのように接すればよいか、不安はない」の回答割合が低く、「どのように接すればよいか、そもそも見当がつかない」の割合が高い傾向がみられた。「シスジェンダー・異性愛・男性」では、他に比べてカミングアウトを受けた場合のことを想像しづらく、それゆえに対応方法についても検討がしていない様子が見える。

図表 184 カミングアウトを受けたら不安に思うか：単数回答（問17）



□□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□

□□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□

□□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□

□□□□□ □□□□□

		合計	問 17.カミングアウトを受けたら不安に思うか(単数回答)				
			どのように接すればよいか、不安はない	どのように接すればよいか、不安である	どのように接すればよいか、そもそも見当がつかない	あてはまるものはない	不明
中学生・全体		453	47.0	20.8	16.6	15.5	0.2
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	33.6	22.4	24.3	19.7	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	58.4	24.0	9.6	8.0	-
	※性的マイノリティ 計	46	56.5	15.2	15.2	13.0	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	50.0	18.8	15.6	15.6	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	-	-	50.0	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	-	100.0	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	70.6	5.9	11.8	11.8	-
	その他1	81	44.4	18.5	16.0	21.0	-
	その他2	55	58.2	14.5	12.7	12.7	1.8

(8) カミングアウトを受けたとき、その事実や内容を第三者に伝えることについてどう考えるか

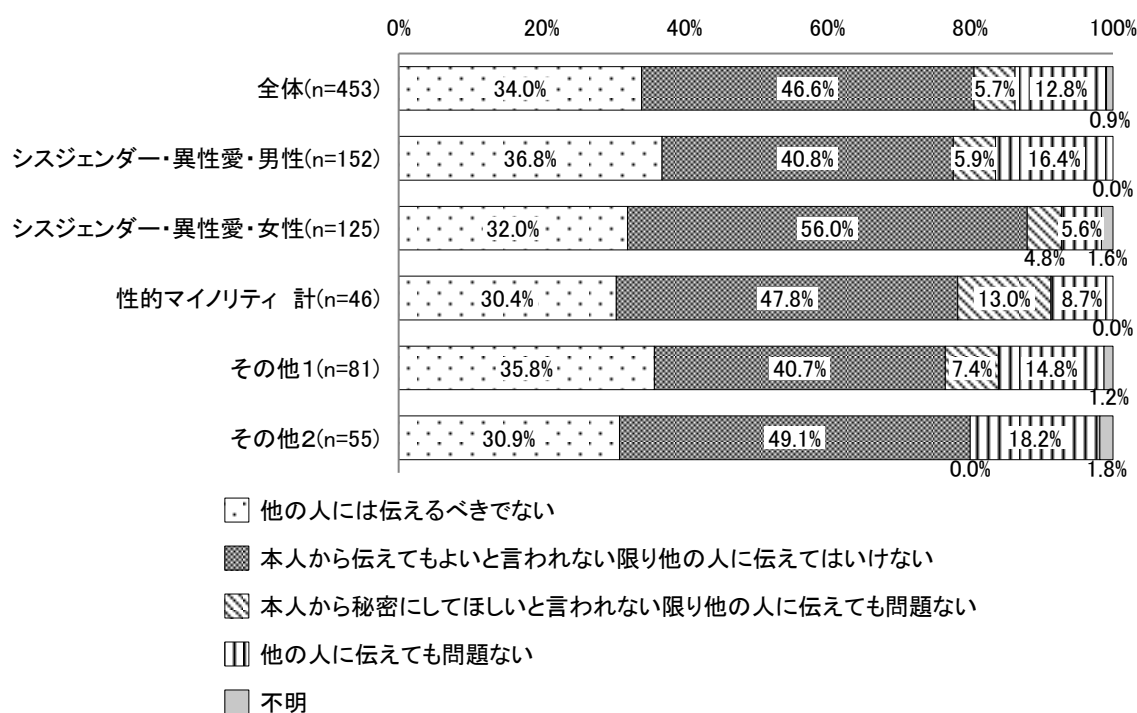
カミングアウトを受けたとき、その事実や内容を第三者に伝えることについてどう考えるかをみると、「全体」では、「本人から伝えてもよいと言われない限り他の人に伝えてはいけない」が46.6%でもっとも割合が高く、「次いで他の人には伝えるべきでない」が34.0%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・女性」では他に比べ、「本人から伝えてもよいと言われない限り他の人に伝えてはいけない」の割合がやや高い傾向がみられ、特に「シスジェンダー・異性愛・男性」(40.8%)とは15.2ポイントの差がある。

なお、「他の人に伝えても問題ない」の回答割合についても「シスジェンダー・異性愛・女性」(5.6%)と「シスジェンダー・異性愛・男性」(16.4%)で10ポイント以上の差がある。

また、「本人から秘密にしてほしいと言われない限り他の人に伝えても問題ない」の回答割合は「性的マイノリティ 計」で13.0%と、他に比べ高い傾向がみられる。

図表 185 カミングアウトを受けたとき、その事実や内容を第三者に伝えることについてどう考えるか：単数回答（問 18）



4. 中学生意識調査 調査結果

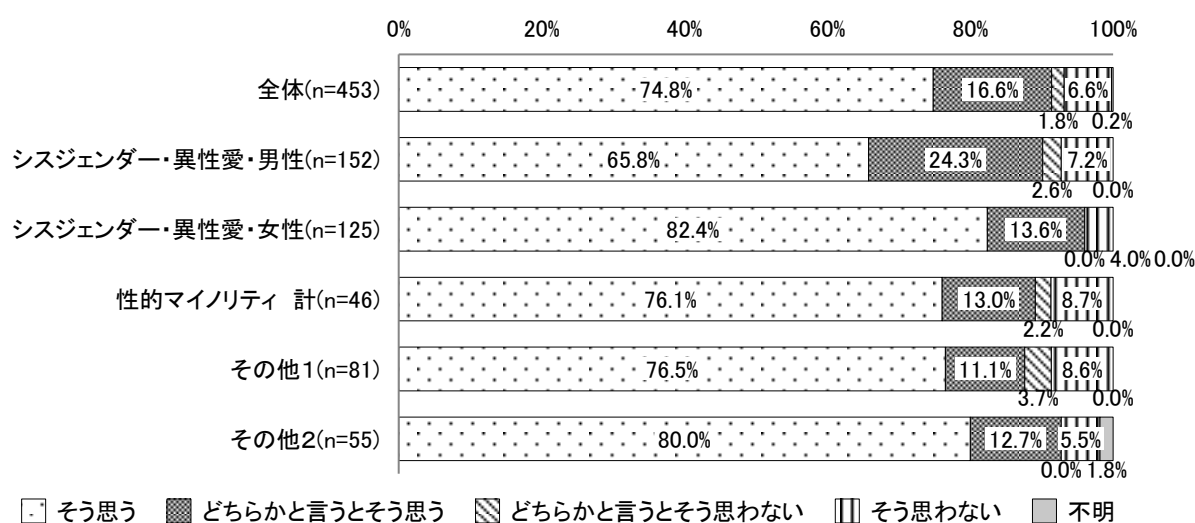
		合計	問 18.カミングアウトを受けたとき、その事実や内容を第三者に伝えることについてどう考えるか(単数回答)				
			他の人には伝えるべきでない	本人から伝えてもよいと言われない限り他の人に伝えるべきでない	本人から秘密にしたいと言われない限り他の人に伝えても問題ない	他の人に伝えても問題ない	不明
中学生・全体		453	34.0	46.6	5.7	12.8	0.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	36.8	40.8	5.9	16.4	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	32.0	56.0	4.8	5.6	1.6
	※性的マイノリティ 計	46	30.4	47.8	13.0	8.7	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	31.3	46.9	9.4	12.5	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	50.0	-	-	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	-	100.0	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	17.6	58.8	17.6	5.9	-
	その他1	81	35.8	40.7	7.4	14.8	1.2
	その他2	55	30.9	49.1	-	18.2	1.8

(9) 自分の性別に関する認識や恋愛・性愛感情を抱く性別は、人それぞれであってよいと思うか

自分の性別に関する認識や恋愛・性愛感情を抱く性別は、人それぞれであってよいと思うかをみると、そう思う割合(「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計)は、「全体」では91.4%となっている。

セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では90.1%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では96.0%、「性的マイノリティ 計」では89.1%、「その他1」では87.7%、「その他2」では92.7%となっている。

図表 186 自分の性別に関する認識や恋愛・性愛感情を抱く性別は、人それぞれであってよいと思うか：単数回答(問19)



		合計	問 19.自分の性別に関する認識や恋愛・性愛感情を抱く性別は、人それぞれであってよいと思うか(単数回答)				
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	不明
中学生・全体		453	74.8	16.6	1.8	6.6	0.2
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	65.8	24.3	2.6	7.2	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	82.4	13.6	-	4.0	-
	※性的マイノリティ 計	46	76.1	13.0	2.2	8.7	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	71.9	15.6	-	12.5	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	100.0	-	-	-	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	-	100.0	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	88.2	11.8	-	-	-
	その他1	81	76.5	11.1	3.7	8.6	-
	その他2	55	80.0	12.7	-	5.5	1.8

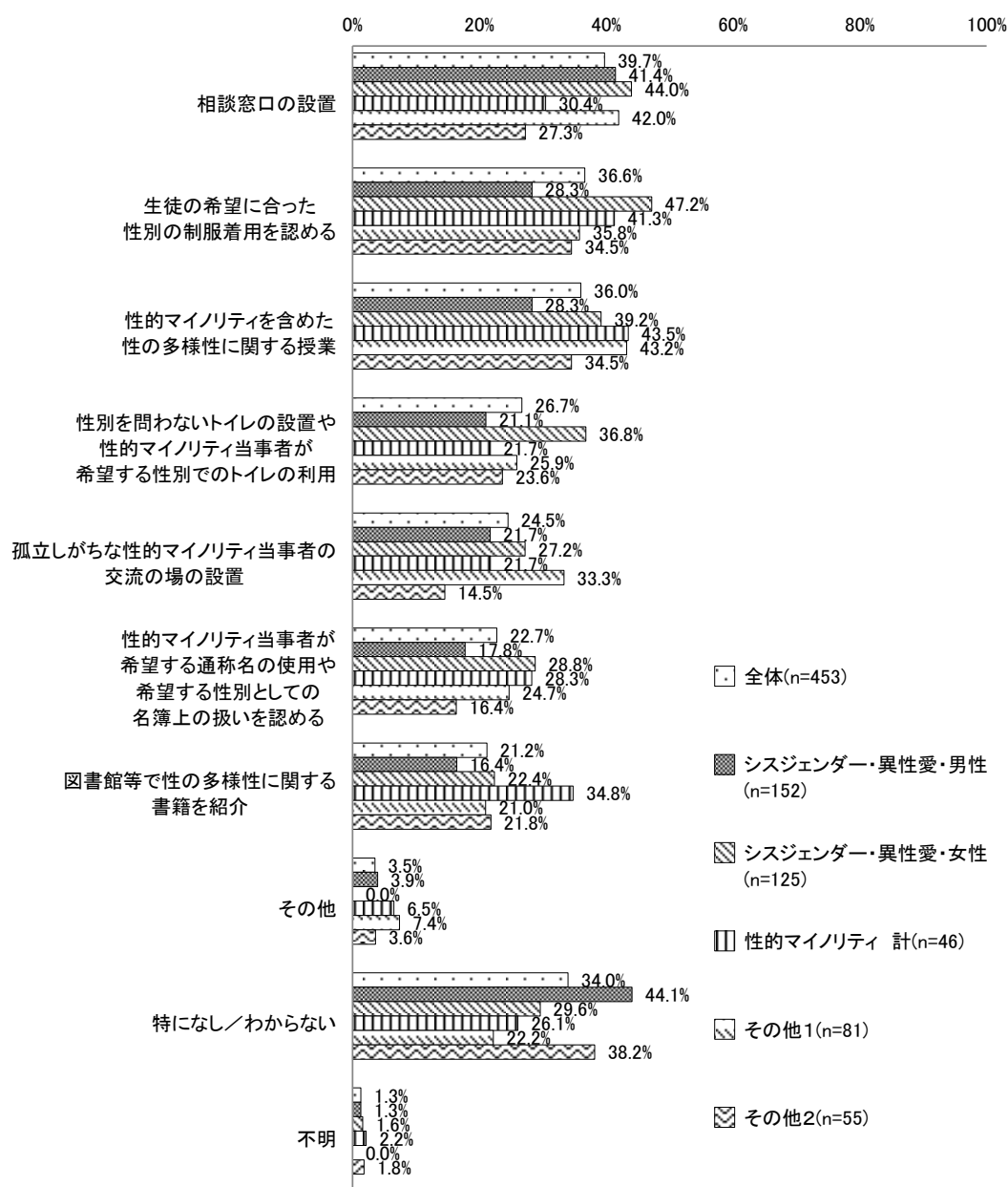
(10) 性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取り組み

性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取り組みをみると、「全体」では、「相談窓口の設置」が39.7%でもっとも割合が高く、次いで「生徒の希望に合った性別の制服着用を認める」が36.6%となっている。

セクシュアリティ区分別にみると、「性的マイノリティ 計」では、「性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業」が43.5%でもっとも割合が高く、次いで「生徒の希望に合った性別の制服着用を認める」が41.3%となっている。

また、「性的マイノリティ 計」における「図書館等で性の多様性に関する書籍を紹介」の割合をみると、前回調査では23.1%であったが、本調査では34.8%に上昇しており、もっとも割合が高い「性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業」(43.5%)とあわせて、適切な知識を学ぶ場が必要とされていることがうかがえる。

図表 187 性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取り組み：複数回答（問 20）



		合計	問 20.性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取り組み(複数回答)							
			相談窓口の設置	生徒の希望に合った性別の制服着用を認める	性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業	性的マイノリティ当事者が希望する性別でのトイレの利用	性別を問わないトイレの設置や性的マイノリティ当事者が希望する性別でのトイレの利用	孤立しがちな性的マイノリティ当事者の交流の場の設置	性的マイノリティ当事者が希望する通称名の使用や希望する性別としての名簿上の扱いを認める	図書館等で性の多様性に関する書籍を紹介
中学生・全体		453	39.7	36.6	36.0	26.7	24.5	22.7	21.2	3.5
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	41.4	28.3	28.3	21.1	21.7	17.8	16.4	3.9
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	44.0	47.2	39.2	36.8	27.2	28.8	22.4	－
	※性的マイノリティ計	46	30.4	41.3	43.5	21.7	21.7	28.3	34.8	6.5
	バイセクシュアル(両性愛)	32	34.4	40.6	46.9	15.6	25.0	28.1	34.4	3.1
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	－	－	－	－	－	50.0	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	－	－	－	－	－	100.0	－
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	47.1	47.1	35.3	23.5	29.4	35.3	11.8
	その他1	81	42.0	35.8	43.2	25.9	33.3	24.7	21.0	7.4
	その他2	55	27.3	34.5	34.5	23.6	14.5	16.4	21.8	3.6
			合計	問 20.性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取り組み(複数回答)						
わからない				特になし	不明					
中学生・全体		453	34.0	1.3						
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	44.1	1.3						
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	29.6	1.6						
	※性的マイノリティ計	46	26.1	2.2						
	バイセクシュアル(両性愛)	32	31.3	3.1						
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	－						
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	－						
	性別違和・性的指向問わず	17	11.8	5.9						
	その他1	81	22.2	－						
	その他2	55	38.2	1.8						

4-6. 犯罪被害者等の支援について

(1) 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等

各種犯罪について、渋谷区で不安を感じることがあるかを尋ねた。

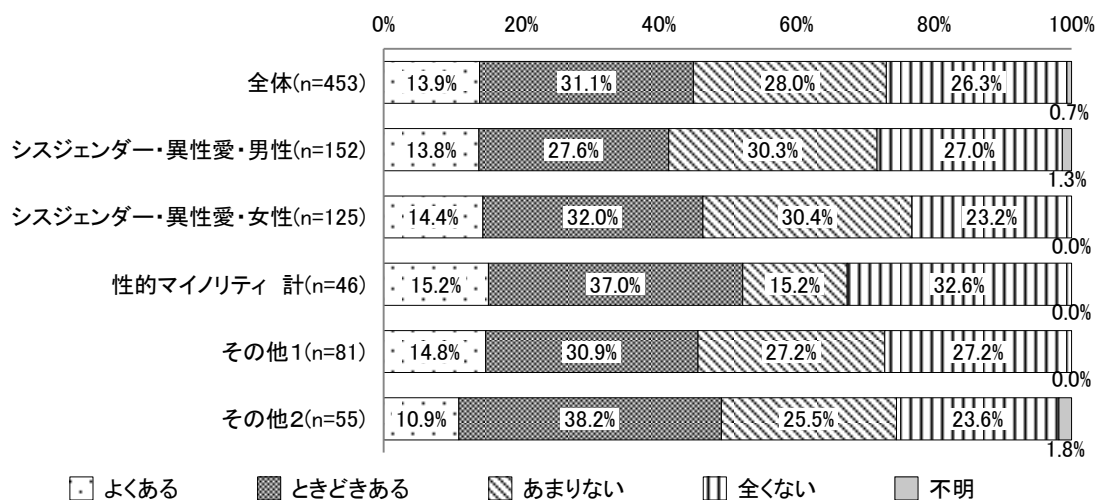
「全体」では、「犯罪全般」において、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）が4割強となっている。また、「シスジェンダー・異性愛・女性」では他に比べて、「盗撮、痴漢行為」「つきまとい行為、ストーカー行為」について不安を感じる割合がやや高い傾向にある。

全12項目中6項目において、「性的マイノリティ 計」の不安を感じることがある割合が「全体」よりも10ポイント以上高くなっており、不安感が強い傾向がみられた。

①犯罪全般

「犯罪全般」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、「全体」では45.0%となっている。セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では41.4%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では46.4%、「性的マイノリティ 計」では52.2%、「その他1」では45.7%、「その他2」では49.1%となっている。

図表 188 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：犯罪全般：単数回答（問21a）

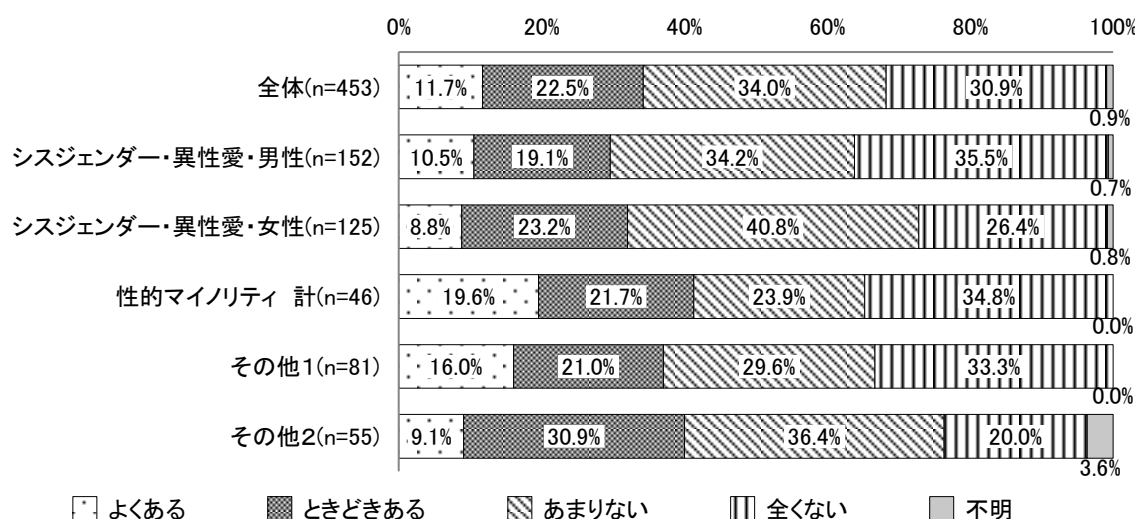


		合計	問 21a.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：犯罪全般（単数回答）				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
中学生・全体		453	13.9	31.1	28.0	26.3	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	13.8	27.6	30.3	27.0	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	14.4	32.0	30.4	23.2	－
	※性的マイノリティ 計	46	15.2	37.0	15.2	32.6	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	9.4	34.4	18.8	37.5	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	50.0	－	50.0	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	29.4	11.8	29.4	－
	その他1	81	14.8	30.9	27.2	27.2	－
	その他2	55	10.9	38.2	25.5	23.6	1.8

②殺人、強盗、放火

「殺人、強盗、放火」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、「全体」では34.2%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では29.6%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では32.0%、「性的マイノリティ 計」では41.3%、「その他1」では37.0%、「その他2」では40.0%となっている。

図表 189 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：殺人、強盗、放火：単数回答（問 21b）

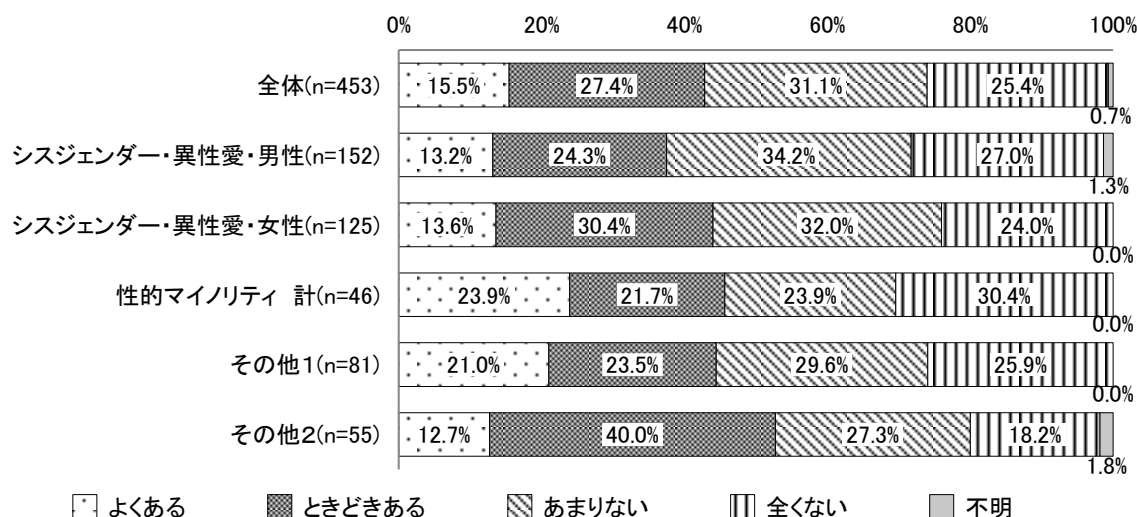


		合計	問 21b.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：殺人、強盗、放火（単数回答）				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
中学生・全体		453	11.7	22.5	34.0	30.9	0.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	10.5	19.1	34.2	35.5	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	8.8	23.2	40.8	26.4	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	19.6	21.7	23.9	34.8	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	12.5	28.1	18.8	40.6	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	－	－	50.0	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	5.9	35.3	29.4	－
	その他1	81	16.0	21.0	29.6	33.3	－
	その他2	55	9.1	30.9	36.4	20.0	3.6

③暴行、傷害

「暴行、傷害」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、「全体」では42.8%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では37.5%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では44.0%、「性的マイノリティ 計」では45.7%、「その他1」では44.4%、「その他2」では52.7%となっている。

図表 190 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：暴行、傷害：単数回答（問 21c）



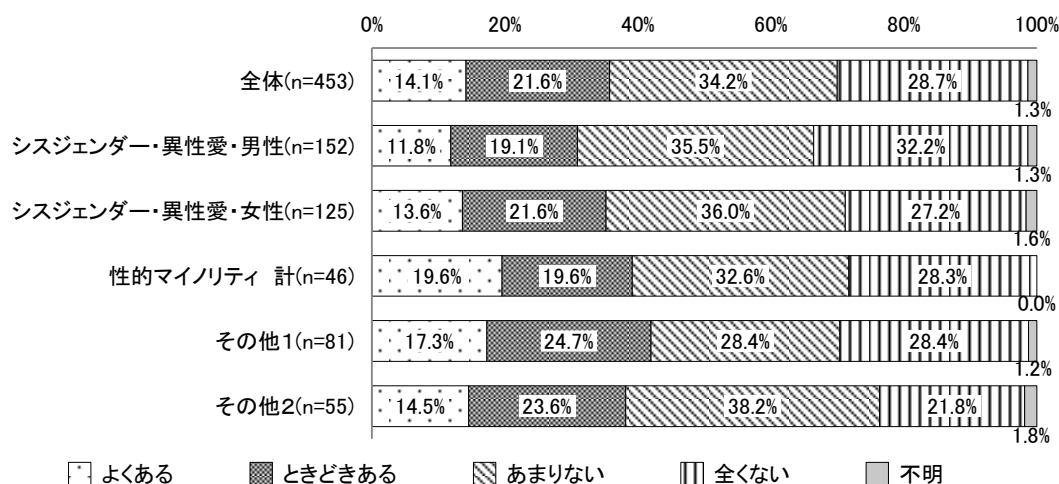
		合計	問 21c.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：暴行、傷害（単数回答）				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
中学生・全体		453	15.5	27.4	31.1	25.4	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	13.2	24.3	34.2	27.0	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	13.6	30.4	32.0	24.0	-
	※性的マイノリティ 計	46	23.9	21.7	23.9	30.4	-
	バイセクシュアル(両性愛)	32	18.8	18.8	28.1	34.4	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	50.0	-	50.0	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	17.6	17.6	29.4	-
	その他1	81	21.0	23.5	29.6	25.9	-
	その他2	55	12.7	40.0	27.3	18.2	1.8

④住居等への侵入を伴う窃盗

「住居等への侵入を伴う窃盗」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、「全体」では 35.8%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 30.9%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 35.2%、「性的マイノリティ 計」では 39.1%、「その他 1」では 42.0%、「その他 2」では 38.2%となっている。

図表 191 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：

住居等への侵入を伴う窃盗：単数回答（問 21d）

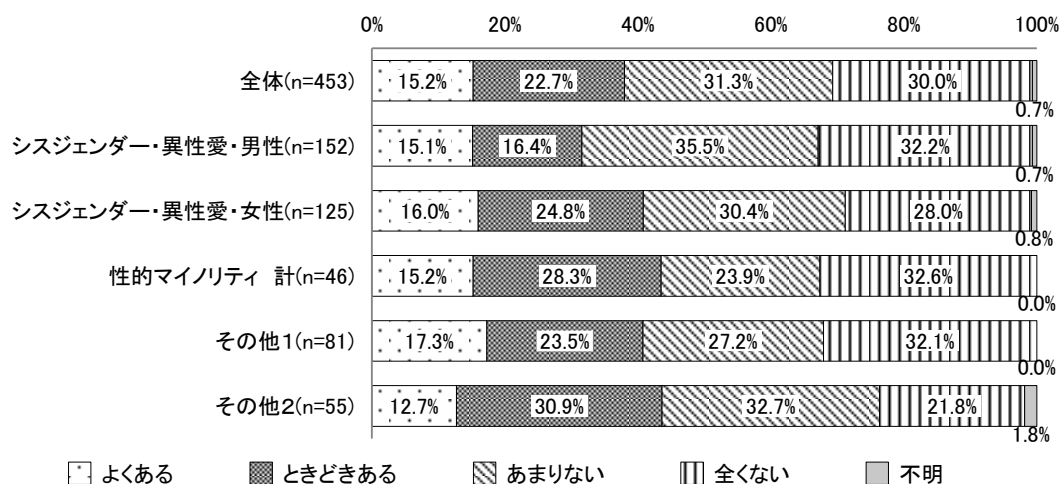


		合計	問 21d.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：住居等への侵入を伴う窃盗（単数回答）				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
中学生・全体		453	14.1	21.6	34.2	28.7	1.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	11.8	19.1	35.5	32.2	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	13.6	21.6	36.0	27.2	1.6
	※性的マイノリティ 計	46	19.6	19.6	32.6	28.3	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	12.5	21.9	34.4	31.3	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	－	－	50.0	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	5.9	29.4	29.4	－
	その他1	81	17.3	24.7	28.4	28.4	1.2
	その他2	55	14.5	23.6	38.2	21.8	1.8

⑤住居等への侵入を伴わない窃盗

「住居等への侵入を伴わない窃盗」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、「全体」では 38.0%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 31.6%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 40.8%、「性的マイノリティ 計」では 43.5%、「その他 1」では 40.7%、「その他 2」では 43.6%となっている。

図表 192 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：
住居等への侵入を伴わない窃盗：単数回答（問 21e）



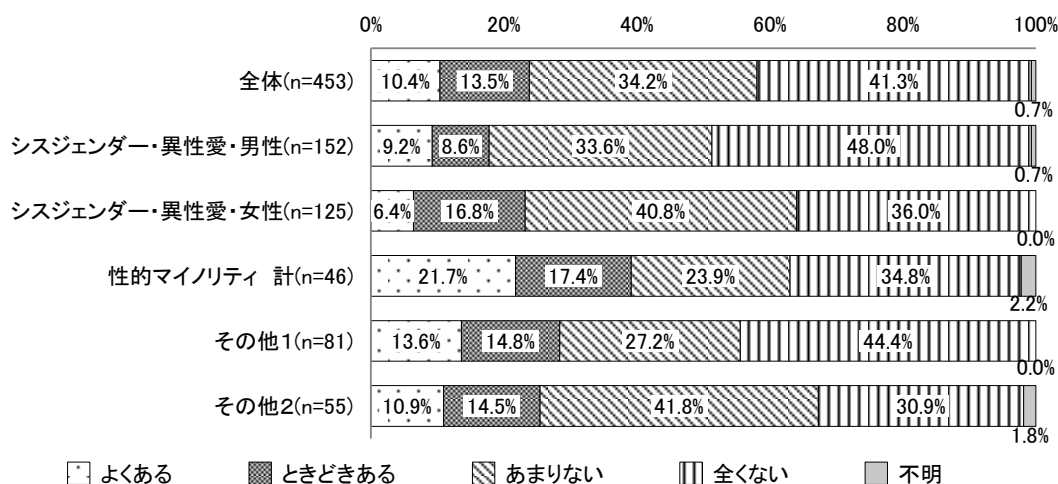
		合計	問 21e.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等:住居等への侵入を伴わない窃盗(単数回答)				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
中学生・全体		453	15.2	22.7	31.3	30.0	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	15.1	16.4	35.5	32.2	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	16.0	24.8	30.4	28.0	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	15.2	28.3	23.9	32.6	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	9.4	25.0	28.1	37.5	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	50.0	－	50.0	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	23.5	17.6	29.4	－
	その他1	81	17.3	23.5	27.2	32.1	－
	その他2	55	12.7	30.9	32.7	21.8	1.8

⑥不同意性交、不同意わいせつ

「不同意性交、不同意わいせつ」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、「全体」では 23.8%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 17.8%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 23.2%、「性的マイノリティ 計」では 39.1%、「その他 1」では 28.4%、「その他 2」では 25.5%となっている。

図表 193 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：

不同意性交、不同意わいせつ：単数回答（問 21f）

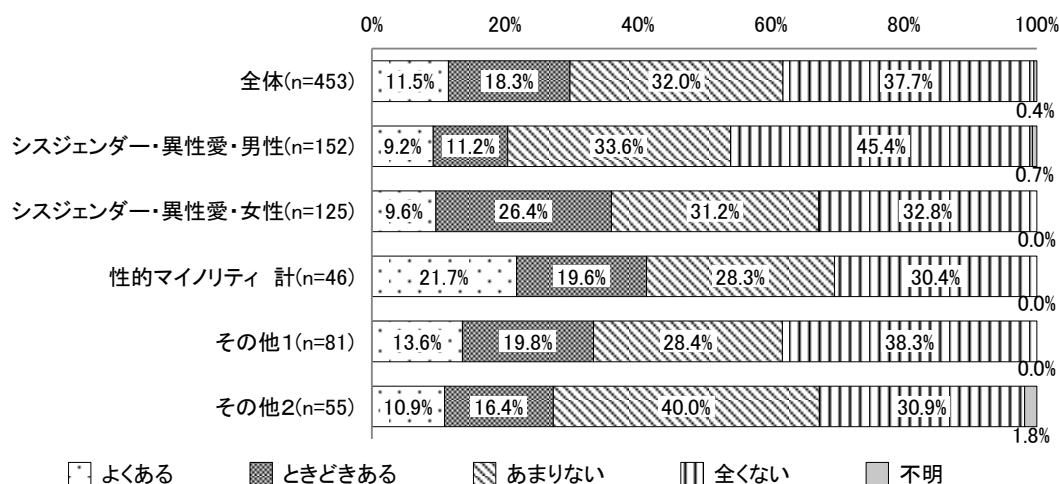


		合計	問 21f.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：不同意性交、不同意わいせつ（単数回答）				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
中学生・全体		453	10.4	13.5	34.2	41.3	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	9.2	8.6	33.6	48.0	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	6.4	16.8	40.8	36.0	—
	※性的マイノリティ 計	46	21.7	17.4	23.9	34.8	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	15.6	15.6	21.9	43.8	3.1
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	50.0	—	50.0	—
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	—	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	11.8	29.4	23.5	—
	その他1	81	13.6	14.8	27.2	44.4	—
	その他2	55	10.9	14.5	41.8	30.9	1.8

⑦盗撮、痴漢行為

「盗撮、痴漢行為」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、「全体」では29.8%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では20.4%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では36.0%、「性的マイノリティ 計」では41.3%、「その他1」では33.3%、「その他2」では27.3%となっている。

図表 194 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：盗撮、痴漢行為：単数回答（問 21g）

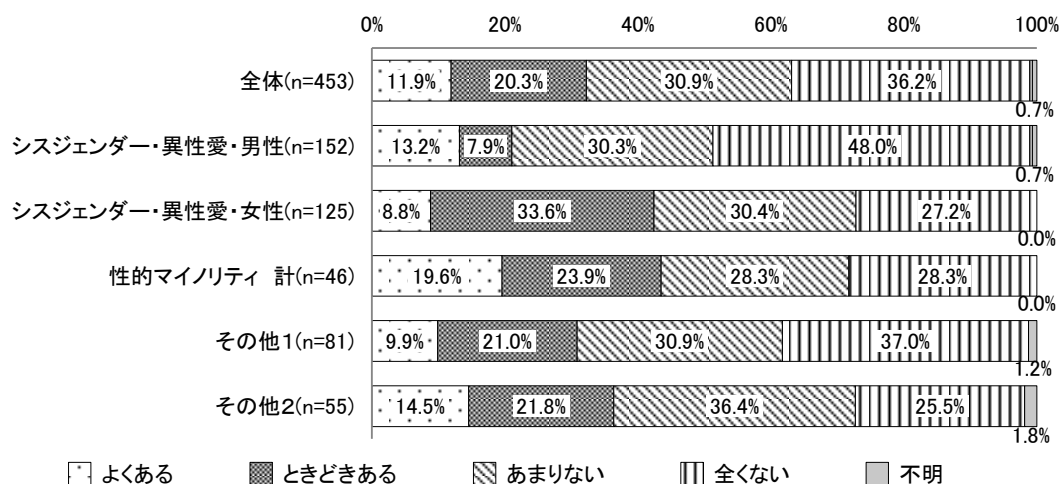


		合計	問 21g.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：盗撮、痴漢行為（単数回答）				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
中学生・全体		453	11.5	18.3	32.0	37.7	0.4
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	9.2	11.2	33.6	45.4	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	9.6	26.4	31.2	32.8	－
	※性的マイノリティ 計	46	21.7	19.6	28.3	30.4	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	18.8	18.8	28.1	34.4	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	50.0	－	50.0	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	11.8	29.4	29.4	－
	その他1	81	13.6	19.8	28.4	38.3	－
	その他2	55	10.9	16.4	40.0	30.9	1.8

⑧つきまとい行為、ストーカー行為

「つきまとい行為、ストーカー行為」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、「全体」では 32.2%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 21.1%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 42.4%、「性的マイノリティ 計」では 43.5%、「その他 1」では 30.9%、「その他 2」では 36.4%となっている。

図表 195 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：
つきまとい行為、ストーカー行為：単数回答（問 21h）

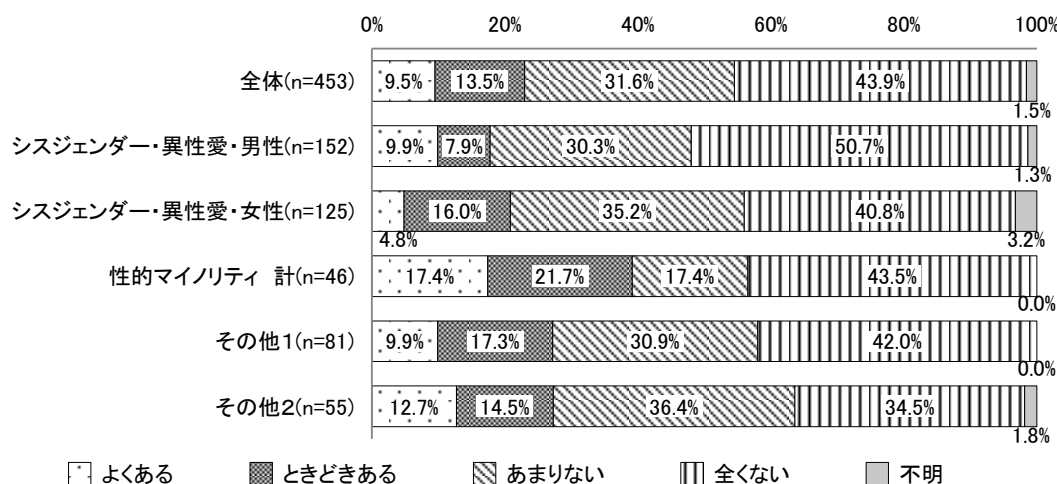


		合計	問 21h.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：つきまとい行為、ストーカー行為(単数回答)				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
中学生・全体		453	11.9	20.3	30.9	36.2	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	13.2	7.9	30.3	48.0	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	8.8	33.6	30.4	27.2	－
	※性的マイノリティ 計	46	19.6	23.9	28.3	28.3	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	15.6	18.8	31.3	34.4	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	50.0	－	50.0	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	17.6	29.4	17.6	－
	その他1	81	9.9	21.0	30.9	37.0	1.2
	その他2	55	14.5	21.8	36.4	25.5	1.8

⑨覚せい剤などの薬物犯罪

「覚せい剤などの薬物犯罪」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、「全体」では 23.0%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 17.8%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 20.8%、「性的マイノリティ 計」では 39.1%、「その他 1」では 27.2%、「その他 2」では 27.3%となっている。

図表 196 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：覚せい剤などの薬物犯罪：単数回答（問 21i）

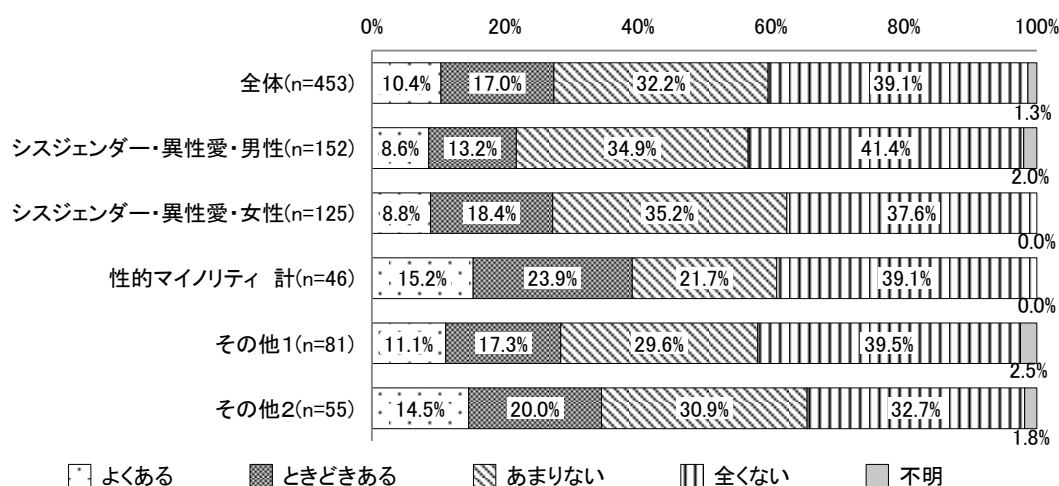


		合計	問 21i.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：覚せい剤などの薬物犯罪（単数回答）				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
中学生・全体		453	9.5	13.5	31.6	43.9	1.5
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	9.9	7.9	30.3	50.7	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	4.8	16.0	35.2	40.8	3.2
	※性的マイノリティ 計	46	17.4	21.7	17.4	43.5	－
	バイセクシュアル（両性愛）	32	12.5	15.6	21.9	50.0	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	50.0	－	50.0	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	23.5	11.8	35.3	－
	その他1	81	9.9	17.3	30.9	42.0	－
	その他2	55	12.7	14.5	36.4	34.5	1.8

⑩ 恐喝・特殊詐欺

「恐喝・特殊詐欺」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、「全体」では27.4%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では21.7%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では27.2%、「性的マイノリティ 計」では39.1%、「その他1」では28.4%、「その他2」では34.5%となっている。

図表 197 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：恐喝・特殊詐欺：単数回答（問 21j）

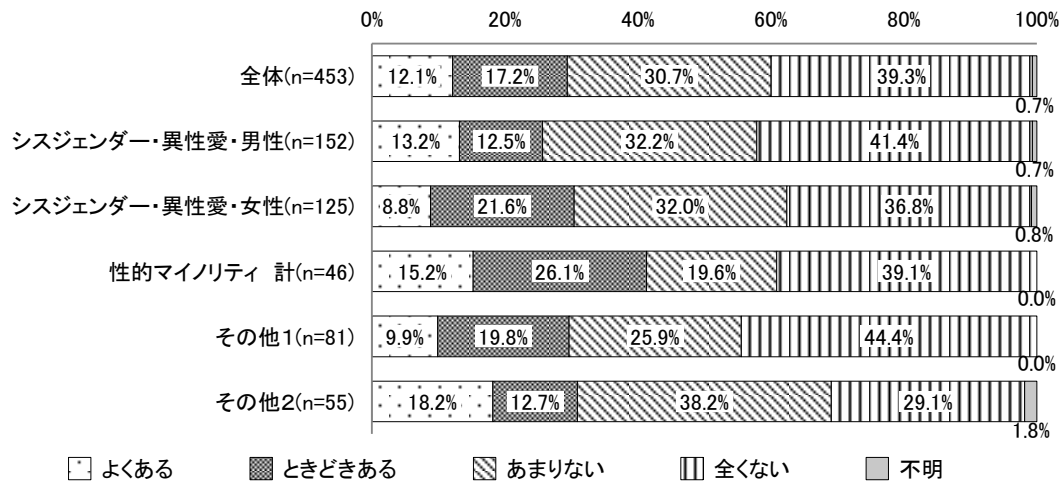


		合計	問 21j.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：恐喝・特殊詐欺（単数回答）				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
中学生・全体		453	10.4	17.0	32.2	39.1	1.3
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	8.6	13.2	34.9	41.4	2.0
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	8.8	18.4	35.2	37.6	－
	※性的マイノリティ 計	46	15.2	23.9	21.7	39.1	－
	バイセクシュアル（両性愛）	32	9.4	21.9	21.9	46.9	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	－	50.0	－	50.0	－
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	11.8	23.5	29.4	－
	その他1	81	11.1	17.3	29.6	39.5	2.5
	その他2	55	14.5	20.0	30.9	32.7	1.8

⑪悪質商法

「悪質商法」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、「全体」では 29.4%となっている。セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 25.7%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 30.4%、「性的マイノリティ 計」では 41.3%、「その他 1」では 29.6%、「その他 2」では 30.9%となっている。

図表 198 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：悪質商法：単数回答（問 21k）



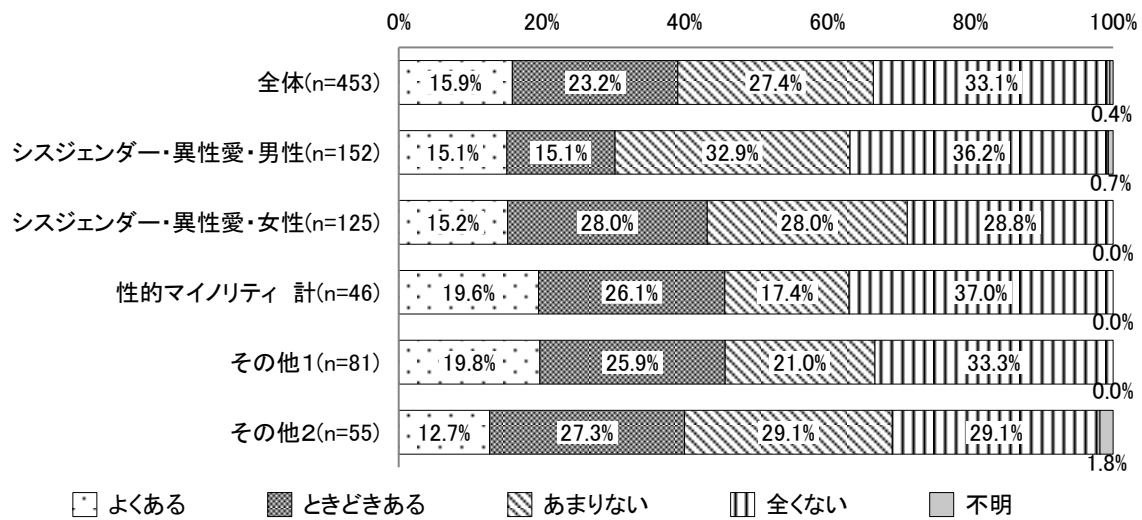
		合計	問 21k.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：悪質商法（単数回答）				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
中学生・全体		453	12.1	17.2	30.7	39.3	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	13.2	12.5	32.2	41.4	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	8.8	21.6	32.0	36.8	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	15.2	26.1	19.6	39.1	-
	バイセクシュアル（両性愛）	32	12.5	18.8	21.9	46.9	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	50.0	-	50.0	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	100.0	-	-	-
	性別違和・性的指向問わず	17	23.5	23.5	23.5	29.4	-
	その他1	81	9.9	19.8	25.9	44.4	-
	その他2	55	18.2	12.7	38.2	29.1	1.8

⑫危険運転・飲酒運転など悪質な運転行為による交通事故

「危険運転・飲酒運転など悪質な運転行為による交通事故」に不安を感じることがあるかをみると、不安を感じることがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、「全体」では39.1%となっている。セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では30.3%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では43.2%、「性的マイノリティ 計」では45.7%、「その他1」では45.7%、「その他2」では40.0%となっている。

図表 199 渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：

危険運転・飲酒運転など悪質な運転行為による交通事故：単数回答（問211）

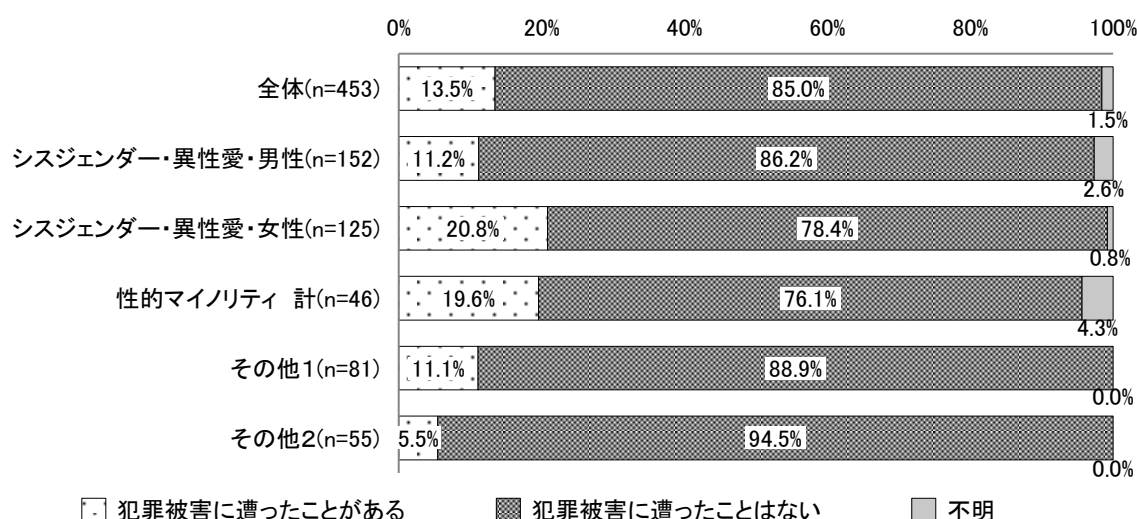


		合計	問 211.渋谷区で不安を感じることがある犯罪等：危険運転・飲酒運転など悪質な運転行為による交通事故(単数回答)				
			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	不明
中学生・全体		453	15.9	23.2	27.4	33.1	0.4
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	15.1	15.1	32.9	36.2	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	15.2	28.0	28.0	28.8	－
	※性的マイノリティ 計	46	19.6	26.1	17.4	37.0	－
	バイセクシュアル(両性愛)	32	12.5	25.0	18.8	43.8	－
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	50.0	－	－	50.0	－
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	－	100.0	－	－	－
	性別違和・性的指向問わず	17	35.3	23.5	17.6	23.5	－
	その他1	81	19.8	25.9	21.0	33.3	－
	その他2	55	12.7	27.3	29.1	29.1	1.8

(2) 自身や家族が犯罪被害に遭った経験

自身や家族が犯罪被害に遭った経験をみると、「全体」では、「犯罪被害に遭ったことがある」が 13.5%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 11.2%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 20.8%、「性的マイノリティ 計」では 19.6%、「その他 1」では 11.1%、「その他 2」では 5.5%となっている。

図表 200 自身や家族が犯罪被害に遭った経験：単数回答（問 22）



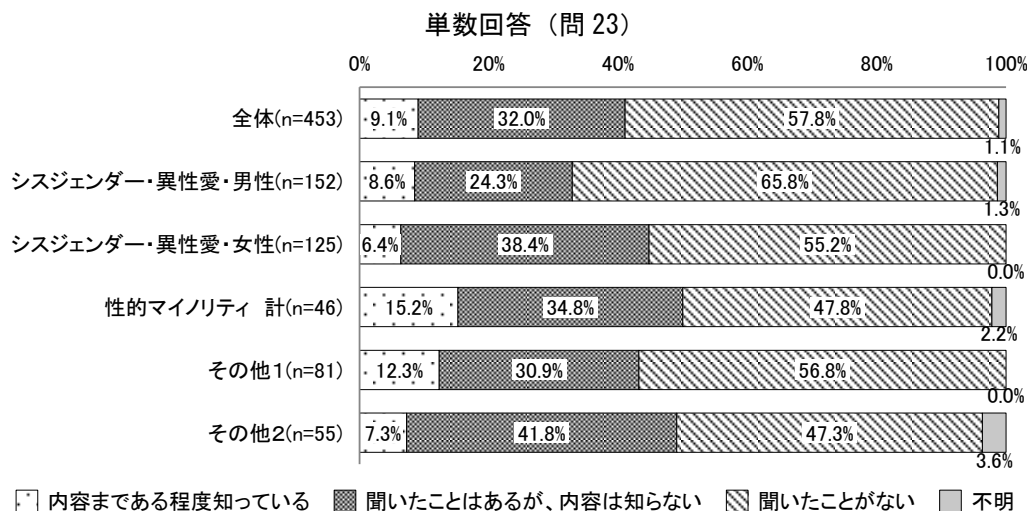
		合計	問 22.自身や家族が犯罪被害に遭った経験(単数回答)		
			犯罪被害に遭ったことがある	犯罪被害に遭ったことはない	不明
中学生・全体		453	13.5	85.0	1.5
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	11.2	86.2	2.6
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	20.8	78.4	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	19.6	76.1	4.3
	バイセクシュアル(両性愛)	32	15.6	81.3	3.1
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	100.0	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	100.0	-
	性別違和・性的指向問わず	17	23.5	64.7	11.8
	その他1	81	11.1	88.9	-
	その他2	55	5.5	94.5	-

4-7. 渋谷区の実践について

(1) 「渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例」の認知状況

渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」割合は、「全体」で 9.1%となっている。セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 8.6%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 6.4%、「性的マイノリティ 計」では 15.2%、「その他 1」では 12.3%、「その他 2」では 7.3%となっている。

図表 201 「渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例」の認知状況：

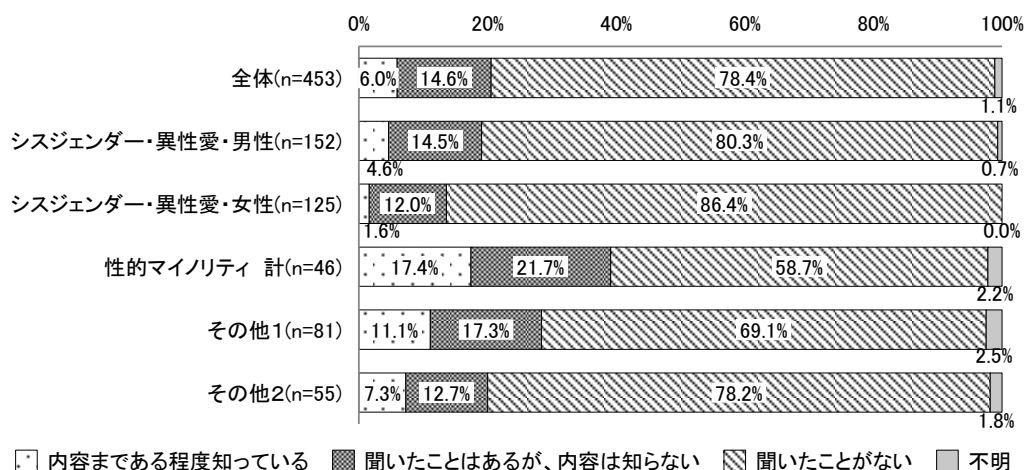


		合計	問 23.「渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例」の認知状況(単数回答)			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
中学生・全体		453	9.1	32.0	57.8	1.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	8.6	24.3	65.8	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	6.4	38.4	55.2	—
	※性的マイノリティ 計	46	15.2	34.8	47.8	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	12.5	31.3	56.3	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	—	100.0	—
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	11.8	52.9	29.4	5.9
	その他1	81	12.3	30.9	56.8	—
	その他2	55	7.3	41.8	47.3	3.6

(2) SOGIE という用語の認知状況

SOGIE という用語の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」割合は、「全体」で 6.0% となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 4.6%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 1.6%、「性的マイノリティ 計」では 17.4%、「その他 1」では 11.1%、「その他 2」では 7.3%となっている。にみると、「性的マイノリティ 計」で認知度が高い。

図表 202 SOGIE という用語の認知状況：単数回答（問 24）



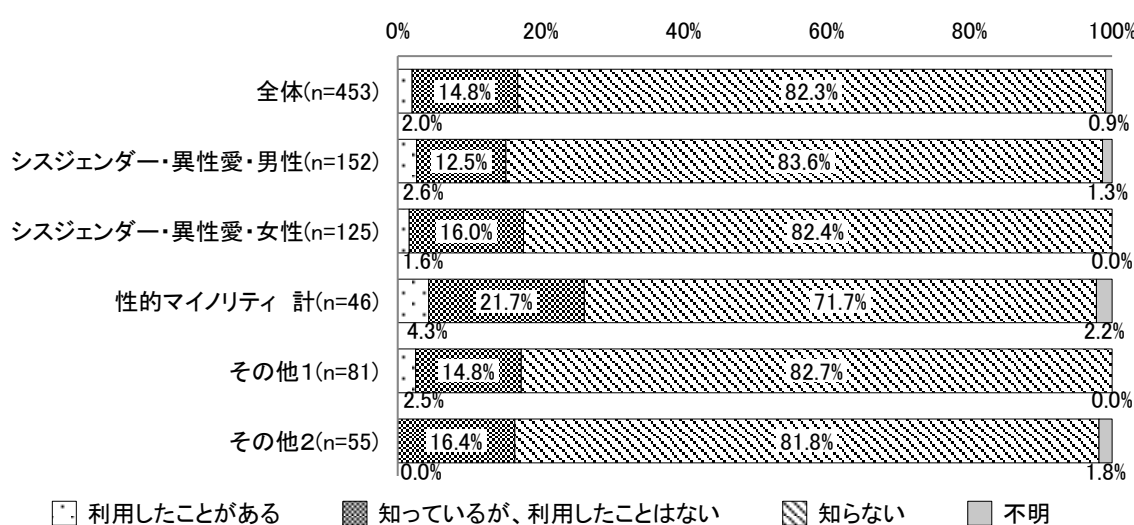
		合計	問 24.SOGIE という用語の認知状況(単数回答)			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
中学生・全体		453	6.0	14.6	78.4	1.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	4.6	14.5	80.3	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	1.6	12.0	86.4	—
	※性的マイノリティ 計	46	17.4	21.7	58.7	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	9.4	25.0	65.6	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	—	100.0	—
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	23.5	23.5	47.1	5.9
	その他1	81	11.1	17.3	69.1	2.5
	その他2	55	7.3	12.7	78.2	1.8

(3) 「渋谷インクルーシブシティセンター<アイリス>」の認知状況

渋谷インクルーシブシティセンター<アイリス>の認知状況をみると、知っている割合（「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の合計）は、「全体」で16.8%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では15.1%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では17.6%、「性的マイノリティ 計」では26.1%、「その他1」では17.3%、「その他2」では16.4%となっている。

いずれの区分でも「知らない」の割合が7割を超えていることから、性の多様性や性的マイノリティに関する不安や悩みを抱えた生徒が、必要なときに適切な相談先や支援につながれるよう、周知を進めていく必要がある。

図表 203 「渋谷インクルーシブシティセンター<アイリス>」の認知状況：単数回答（問 25）



		合計	問 25.「渋谷インクルーシブシティセンター<アイリス>」の認知状況(単数回答)			
			利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない	不明
中学生・全体		453	2.0	14.8	82.3	0.9
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	2.6	12.5	83.6	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	1.6	16.0	82.4	—
	※性的マイノリティ 計	46	4.3	21.7	71.7	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	—	21.9	78.1	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	—	100.0	—
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	5.9	17.6	70.6	5.9
	その他1	81	2.5	14.8	82.7	—
	その他2	55	—	16.4	81.8	1.8

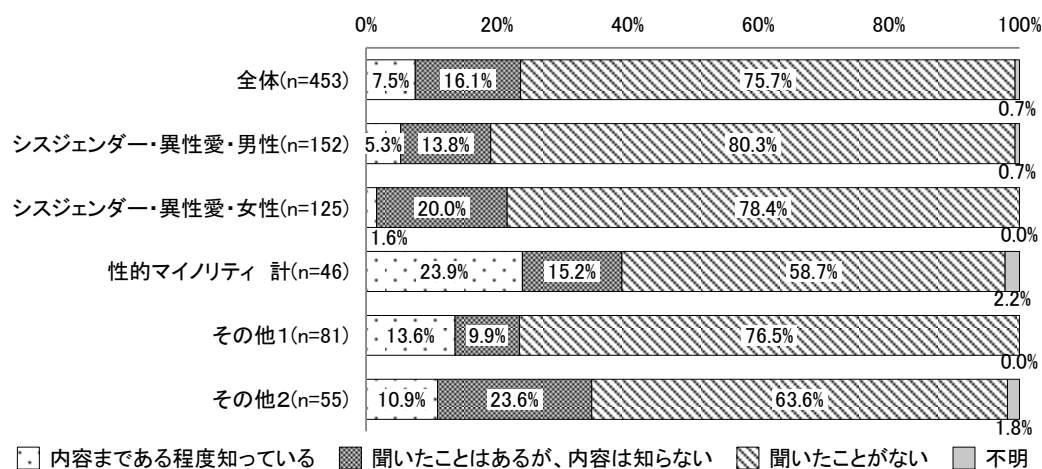
(4) 「渋谷区パートナーシップ証明制度」について

①「渋谷区パートナーシップ証明制度」の認知状況

渋谷区パートナーシップ証明制度の認知状況をみると、「内容まである程度知っている」割合は、「全体」で 7.5%となっている。セクシュアリティ区分別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では 5.3%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では 1.6%、「性的マイノリティ 計」では 23.9%、「その他 1」では 13.6%、「その他 2」では 10.9%となっている。「聞いたことはあるが、内容は知らない」とあわせると、いずれの区分でも認知している割合は4割以下となっている。

「性的マイノリティ 計」では他に比べて、認知している割合が高い傾向がみられる。

図表 204 「渋谷区パートナーシップ証明制度」の認知状況：単数回答（問 26）

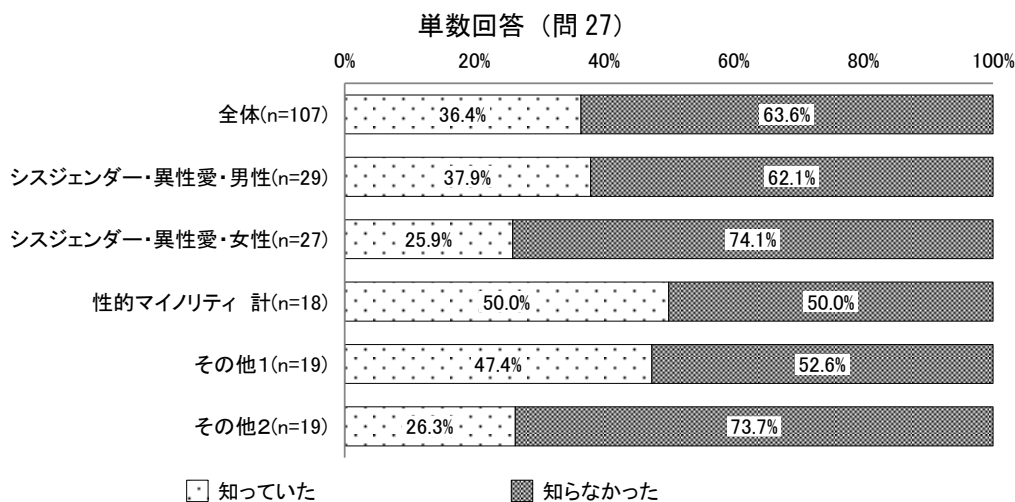


		合計	問 26「渋谷区パートナーシップ証明制度」の認知状況(単数回答)			
			内容まである程度知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことがない	不明
中学生・全体		453	7.5	16.1	75.7	0.7
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	5.3	13.8	80.3	0.7
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	1.6	20.0	78.4	—
	※性的マイノリティ 計	46	23.9	15.2	58.7	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	18.8	15.6	65.6	—
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	—	—	100.0	—
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	100.0	—	—	—
	性別違和・性的指向問わず	17	23.5	11.8	58.8	5.9
	その他1	81	13.6	9.9	76.5	—
その他2		55	10.9	23.6	63.6	1.8

②渋谷区パートナーシップ証明制度が異性カップルも対象になったことの認知状況

渋谷区パートナーシップ証明制度を「内容まである程度知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した者について、渋谷区パートナーシップ証明制度が異性カップルも対象になったことの認知状況をみると、「全体」では、「知っていた」が36.4%となっている。

図表 205 渋谷区パートナーシップ証明制度が異性カップルも対象になったことの認知状況：



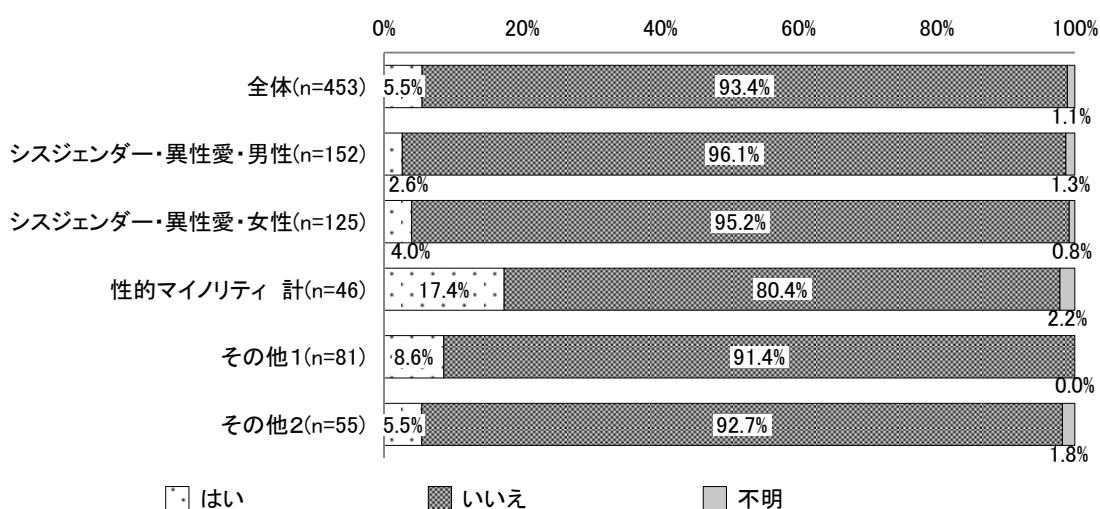
注) サンプルサイズが小さいため参考値。

		合計	問 27.渋谷区パートナーシップ証明制度が異性カップルも対象になったことの認知状況(単数回答)		
			知っていた	知らなかった	不明
中学生・全体		107	36.4	63.6	-
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	29	37.9	62.1	-
	シスジェンダー・異性愛・女性	27	25.9	74.1	-
	※性的マイノリティ 計	18	50.0	50.0	-
	バイセクシュアル(両性愛)	11	63.6	36.4	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	0	-	-	-
	シスジェンダー・レズビアン女性	1	-	100.0	-
	性別違和・性的指向問わず	6	33.3	66.7	-
	その他1	19	47.4	52.6	-
	その他2	19	26.3	73.7	-

(5) 学校において、先生や職員の対応について、ジェンダーやセクシュアリティに関する配慮が十分でないと感じた経験があるか

学校において、先生や職員の対応について、ジェンダーやセクシュアリティに関する配慮が十分でないと感じた経験があるかをみると、経験がある割合（「はい」の割合）は、「全体」で5.5%となっている。セクシュアリティ区別にみると、「シスジェンダー・異性愛・男性」では2.6%、「シスジェンダー・異性愛・女性」では4.0%、「性的マイノリティ 計」では17.4%、「その他1」では8.6%、「その他2」では5.5%となっている。性的マイノリティにおいて、経験がある割合が特に高くなっており、学校現場におけるジェンダーやセクシュアリティへの配慮不足をより実感しやすい状況にあることがうかがえる。

図表 206 学校において、先生や職員の対応について、ジェンダーやセクシュアリティに関する配慮が十分でないと感じた経験があるか：単数回答（問 28）



		合計	問 28.学校において、先生や職員の対応について、ジェンダーやセクシュアリティに関する配慮が十分でないと感じた経験があるか(単数回答)		
			はい	いいえ	不明
中学生・全体		453	5.5	93.4	1.1
セクシュアリティ区分	シスジェンダー・異性愛・男性	152	2.6	96.1	1.3
	シスジェンダー・異性愛・女性	125	4.0	95.2	0.8
	※性的マイノリティ 計	46	17.4	80.4	2.2
	バイセクシュアル(両性愛)	32	12.5	87.5	-
	シスジェンダー・ゲイ男性	2	-	100.0	-
	シスジェンダー・レスビアン女性	1	-	100.0	-
	性別違和・性的指向問わず	17	29.4	64.7	5.9
	その他1	81	8.6	91.4	-
	その他2	55	5.5	92.7	1.8

4-8. 自由回答記述一覧（一部抜粋）

セクシュアリティ区分	問 1-2.「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われたときの気持ち
バイセクシュアル(両性愛)	なんで性別に合わせて何かをやらないといけないのか疑問に思った。
その他1	人の好きにさせてほしいと思った
バイセクシュアル(両性愛)、性別違和・性的指向問わず	なんでそのように決められないといけないのか不思議に思った
その他1	なんでそういうこと言うんだろう
シスジェンダー・異性愛・女性	女だからと言って「こう」と決まっているわけじゃないしべつにそれに合わせなくてもいいのではないかと思った
シスジェンダー・異性愛・女性	そんな気もしたしいやな気持もした
シスジェンダー・異性愛・男性	あたりまえだとおもった
その他2	時代遅れだなと思った
シスジェンダー・異性愛・男性	殺意が沸いた
その他1	いろいろ
バイセクシュアル(両性愛)	2, 3 の質問がどちらももいえないです。
その他1	古いなと思った
シスジェンダー・異性愛・女性	この時代によくはないのではと思うこともあるが、男女関係なく、仕事をして、家事をしなきゃいけないから、女だからというのはよくないけど、生きていくためにはごもつともなことを言ってるなと思った。

セクシュアリティ区分	問 1-4.「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言った人
シスジェンダー・異性愛・男性	どこかの爺さん
シスジェンダー・異性愛・男性	野球チームの監督、コーチ
シスジェンダー・異性愛・男性	友達でもない同学年の人
シスジェンダー・異性愛・男性	知らない人(お店のひと)
シスジェンダー・異性愛・男性	コーチ
その他1	自分自身で思った
シスジェンダー・異性愛・男性	外部の人
バイセクシュアル(両性愛)	叔父
その他1	施設の職員

セクシュアリティ区分	問 2-2.「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について賛成する理由
シスジェンダー・異性愛・男性	そのほうが仕組み的にいいとおもうから
シスジェンダー・異性愛・女性	個人的だけど仕事より家事したい
その他1	男性のほうが物理的に体力が多いからある程度過酷な仕事でも過労死ににくいから
シスジェンダー・異性愛・女性	今までの歴史を考えてみて、それで成り立ってきたわけだし、逆に、男の人が仕事できないといけないと思う。私はどちらでも自立して、犯罪を犯さなければなんでもいいと思う。そして、女性が仕事をしたいと思ってるのに、それを馬鹿にするのはよくないと思うし、とにかくやりたいことを否定するようなそんなつめたいひとがあふれないでほしい

4. 中生意識調査 調査結果

セクシュアリティ区分	問 2-3. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について反対する理由
シスジェンダー・異性愛・男性	得意なことをやればいい
バイセクシュアル(両性愛)	男性にも女性にも決められた仕事はないと思うから。
その他2	女性の労働力というのは大変力になるから
シスジェンダー・異性愛・男性	共働きなども経済的理由でしなければならない方々もたくさんいるから。
その他1	やりたいほうをやればいい得意なものや両立
その他1	働かないものが家庭だということは当たり前だと思う。もし女性が働かないで男性が働いているのであれば女性は家庭。どちらも働いているのであれば分ける必要はない
シスジェンダー・異性愛・女性	平和であるべきだから
バイセクシュアル(両性愛)	親がそうだから
その他1	自分が働きたいから
バイセクシュアル(両性愛)	今のインフレで二人とも働いていないと生活に必要なお金が少なくなってしまうから。
バイセクシュアル(両性愛)	世帯収入は多い方が自由度が多いから

セクシュアリティ区分	問 14-2. 性自認
性別違和・性的指向問わず	女性だけど男性に近いと思う
バイセクシュアル(両性愛)、性別違和・性的指向問わず	たいてい女性で時々男性っぽくなる時がある(?)

セクシュアリティ区分	問 16. その他
その他1	分からない
シスジェンダー・異性愛・男性	もしかしたらいるかもでもしらないそもそも性的マイノリティだよっていう人いないだろ
その他2	わからない
シスジェンダー・異性愛・女性	わからない
その他1	わからない
シスジェンダー・異性愛・男性	わからない
その他1	わからない
その他1	知らない
その他1	わからない
その他2	ネット友
その他2	知らん
シスジェンダー・異性愛・男性	わからない
シスジェンダー・異性愛・男性	わからん
シスジェンダー・異性愛・男性	性的マイノリティが何かわからない
シスジェンダー・異性愛・男性	知らない
シスジェンダー・異性愛・女性	そんなこと知らない
その他1	性的マイノリティの意味が分からない
シスジェンダー・異性愛・女性	姉の友人
シスジェンダー・異性愛・男性	わからない
その他1	知らん
その他1	知らない
シスジェンダー・異性愛・男性	わからない
その他1	意味が分からない
シスジェンダー・異性愛・女性	姉の友人
シスジェンダー・異性愛・女性	知らない

4. 中生意識調査 調査結果

セクシュアリティ区分	問 20.性的マイノリティへの対応・支援に関して学校がすべき取り組み
その他1	生物学上の性別で判断する内容と自己認識の性別が適応される範疇の線引きを行う。
性別違和・性的指向問わず	人権作文を書く時間がある
シスジェンダー・異性愛・男性	授業にとどまらず、それをあえて腫物として扱わないようそれは普通であることを明確に教え、優遇したり過度に配慮しすぎたルールを作らないこと。
その他2	特に何もしくなくも良いと思うし、そちらの方が性的マイノリティの人も過ごしやすい気がする。
シスジェンダー・異性愛・男性	偏ったことはしないほうが良いと思う
シスジェンダー・異性愛・男性	少数派の意見を全体に反映すべきでない
その他2	制服などは認めるべきだが、それ以外は普通のことなので大々的にその話題について採り上げるべきではないと思う。
その他1	どうでもいいめんどくさいのはしたくない
その他1	学校が余計なことをしないほうが良い
性別違和・性的指向問わず、その他1	学校側にあまりかかわってほしくない
バイセクシュアル(両性愛)	同性愛同士でも結婚届を出せるようにしたほうが良い

セクシュアリティ区分	問 28.その他
その他1	学校教師の、性別、身体的特徴等の偏見によって苦しんでいたことがあった。
バイセクシュアル(両性愛)	なぜそうしなくてはいけないのか疑問に思ったり、不快に思った。
シスジェンダー・異性愛・女性	みんな好きなことをするとトラブルも多いと思うけど、好きなことをすればいいと思う。
性別違和・性的指向問わず	女の子はこういう色が好きだよとかそういう決めつけをされた
その他1	制服のスカートは自分には似合わないからズボンにしたいと言ったら、親に「性同一性障害ならいいよ」と言われて少しいやな気持ちになった。
その他2	自分ではないけど他人が女の子だから、男の子だからと言われてるのを見てどうなんだろうと不快になった
シスジェンダー・異性愛・女性	偏見やばいなーと思った
その他1	差別と区別をわかっていない人が多い。どちらかを優遇することはよくない
シスジェンダー・異性愛・男性	吹奏楽部で音楽のテストができなかったら恥ずかしいやね、と先生に言われた
シスジェンダー・異性愛・女性	教師に言われたことがある。
性別違和・性的指向問わず	制服のストラックスをいつも履いてるけどなんでズボンなんか履いてるのかと言われた
シスジェンダー・異性愛・男性	教員が「男だから女を引っ張れ」や質問しても「男だから自分でやれ」などと複数回によって発言していたことがある。
バイセクシュアル(両性愛)	なんで性別によって対応が違うのか
シスジェンダー・異性愛・女性	学校にいる先生に「男の子は女の子を支えなさい」など「男の子はこう、女の子はこう」という先生の思っていることを押し付けられたときにいやな気持ちになった。
その他2	女の子はこうあるべきと言われ、確かになと思うこともいやだなと思うこともあった。が、あまり自由にすぎても犯罪まで行ってしまうこともあるので緩いくらいに制限をかけた方がいいと思う。
バイセクシュアル(両性愛)、性別違和・性的指向問わず	世界は腐ってる
シスジェンダー・異性愛・男性	男だからと言っておしゃれにならないといけないわけじゃないと思う
性別違和・性的指向問わず、その他1	女の子だから男の子を好きになるとかをやめてほしい
バイセクシュアル(両性愛)	男だから重い荷物を持たせたりしていることについていやな気持ちになった。
シスジェンダー・異性愛・女性	不快でした

5. 調査票

人権尊重社会推進に関する意識調査 ご協力をお願い

日頃より、渋谷区政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

渋谷区では、基本構想の未来像「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」を実現していくため、ジェンダーやセクシュアリティをはじめとした様々な人権尊重施策の推進に取り組んでいます。その一環として標記の調査を実施いたします。

本調査では、住民基本台帳から無作為に18歳以上の区民4,000人を選ばせていただきました。記入につきましては無記名式です。個人のお名前やご住所が特定されることはありませんので、安心してお答えください。結果は、今後のジェンダー平等に関する計画の策定や犯罪被害者等支援のための基礎資料として活用させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、渋谷区のより良い発展のために、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2025年9月

渋谷区長 長谷部 健

※本調査に関するお問い合わせがございましたら、下記までご連絡ください。

渋谷インクルーシブシティセンター<アイリス>

〒150-0031 渋谷区桜丘町23番21号 渋谷区文化総合センター大和田8階

電話:03-3464-3395 FAX:03-3464-3398

ご回答にあたってのお願い

回答は「郵送」または「インターネット」のいずれかの方法で行うことができます。

郵送で回答する方へ

- 1 この用紙の2ページ目より回答をお願いいたします。
- 2 回答は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いいたします。
- 3 回答は、あてはまる“番号”に○印をつけてください。
「その他()」を選ばれた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 回答していただく方が限られる質問がありますので、【 】内の指示に従ってお答えください。
- 5 質問によって、答えの数を(1つだけ)(2つまで)(当てはまるもの全て)等と指定しております。
その範囲内でお答えください。
- 6 調査票の回収につきましては、区が委託した下記事業者により適切に管理されます。
調査票回収担当:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

インターネットで回答する方へ

- 1 パソコン、スマートフォン、携帯電話から回答できます。
(※携帯電話の機種によっては回答できない場合がありますのでご了承ください。)
- 2 右の二次元バーコードを読み取るか、下のURLを入力してください。
- 3 アンケート画面が表示されますので、画面の指示に従ってご回答ください。
(※紙面と表示方法・設問番号等が異なる場合がありますのでご了承ください。)

二次元バーコード

URL : https://●●

パスワード : ●●

2025年10月10日(金)までにご回答ください。

あなた自身について

F1 年齢は、おいくつですか。(1つだけ)

1 18・19歳	4 30-34歳	7 45-49歳	10 60-64歳
2 20-24歳	5 35-39歳	8 50-54歳	11 65-69歳
3 25-29歳	6 40-44歳	9 55-59歳	12 70歳以上

F2 職業は、次のうちどれですか。(1つだけ)

1 自営業・自由業・経営者	5 学 生
2 常勤の正規社員	6 無 職
3 非常勤(パート、内職、アルバイト・派遣・契約社員など)	7 その他
4 家事・育児・介護に専念(専業主婦・主夫)	(具体的に)

F3 配偶者・パートナーはいますか。(1つだけ)

1 異性の配偶者・パートナー	※法律婚・婚姻届けを提出
2 異性の配偶者・パートナー	※事実婚またはパートナーシップ証明を取得している
3 同性の配偶者・パートナー	※パートナーシップに関する証明書・宣誓書等を取得している
4 同性の配偶者・パートナー	※パートナーシップに関する証明書・宣誓書等は 取得していないが、事実婚状態にある
5 離 別	6 死 別
	7 未 婚

【F3で1～4を回答した方に】

F4 あなたの配偶者・パートナーの職業は、次のうちどれですか。(1つだけ)

1 自営業・自由業・経営者	5 学 生
2 常勤の正規社員	6 無 職
3 非常勤(パート、内職、アルバイト・派遣・契約社員など)	7 その他
4 家事・育児・介護に専念(専業主婦・主夫)	(具体的に)

【以降、全ての方に】

F5 現在あなたと同居している方について教えてください。(当てはまるもの全て)

1 配偶者・パートナー	※性別や、婚姻状況・パートナーシップに関する証明書・宣誓書等の取得状況は問いません。		
2 子ども	5 きょうだい	8 その他(具体的に)	
3 別居の子どもあり	6 祖父母	9 同居人はいない(单身)	
4 親(実親・義親)	7 孫		

F6 あなたのお住まい(町名)を教えてください。(1つだけ)

代官山・恵比寿・ 広尾周辺	1 恵比寿	2 広尾	3 東	4 恵比寿南
	5 恵比寿西	6 代官山町	7 猿楽町	
渋谷駅周辺	8 鉢山町	9 鶯谷町	10 渋谷	11 桜丘町
	12 南平台町	13 道玄坂	14 円山町	15 神泉町
	16 松濤	17 神山町	18 宇田川町	19 神南
代々木上原・ 代々木八幡周辺	20 代々木神園町	21 上原	22 富ヶ谷	23 西原
	24 元代々木町	25 大山町		
笹塚・幡ヶ谷・ 初台・本町周辺	26 初台	27 本町	28 笹塚	29 幡ヶ谷
千駄ヶ谷・原宿・ 神宮前周辺	30 代々木	31 千駄ヶ谷	32 神宮前	
渋谷区外に在住	33 渋谷区外に住んでいる			

男女共同参画について

男女共同参画社会とは、男女が性別に関わらず社会の対等な構成員として、政治的、経済的、社会的、文化的利益を享受し、責任を担う社会のことです。

男女共同参画社会基本法は1999年に施行された、男女共同参画社会を実現するための法律です。同法では、「男女の人権の尊重」「家庭生活における活動と他の活動の両立」「社会における制度又は慣行についての配慮」など5つの基本理念を掲げ、行政や国民が果たすべき役割をそれぞれ定めています。

問1 「男女共同参画社会基本法」について、どの程度ご存知でしたか。(1つだけ)

1 内容まである程度知っている	3 聞いたことがない
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	

問2 あなたは「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどのように思いますか。(1つだけ)

1 賛成	3 どちらかと言えば反対	→ 問2-3へ
2 どちらかと言えば賛成	4 反対	
5 分からない → 問3へ		

【問2で1か2を回答した方に】

問2-2 賛成する理由を教えてください。(当てはまるもの全て)

1 役割分担をした方が効率が良いと思うから	5 それが当たり前だと思うから
2 男性の方が収入が多いから	6 身体づくりが違うから
3 女性の方が子育てや介護に向いていると思うから	7 その他(具体的に)
4 男性の方が仕事に向いていると思うから	8 理由を考えたことはない

【問2で3か4を回答した方に】

問2-3 反対する理由を教えてください。(当てはまるもの全て)

1 男女ともに仕事と家庭に関わる方がよいと思うから	5 性別に関わらず、得意なことをやれば良いと思うから
2 女性が働くことは当たり前だと思うから	6 夫と妻の役割分担を押し付けるべきではないから
3 男性が子育て・介護・家事などをすることは当たり前だと思うから	7 その他(具体的に)
4 男女は平等であるから	8 理由を考えたことはない

【以降、全ての方に】

問3 以下a～gの場面で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(各々1つずつ)

	優男 遇性 さの方 が いる	優男 遇性 さの方 が いる	ど ち ら か と 言 え ば	平 等 で あ る	優女 遇性 さの方 が いる	ど ち ら か と 言 え ば	優女 遇性 さの方 が いる
a 家庭生活の中で	1	2	3	4	5		
b 職場の中で	1	2	3	4	5		
c 学校教育の中で	1	2	3	4	5		
d 政治の中で	1	2	3	4	5		
e 法律や制度の中で	1	2	3	4	5		
f 社会通念・慣習・しきたりの中で	1	2	3	4	5		
g 自治会やPTAなどの地域活動の場	1	2	3	4	5		

問4 結婚について、あなたの考えに近いものを教えてください。(当てはまるもの全て)

1 精神的な安定が得られるから結婚した方がいい
2 家庭を持ち、子どもをもうけることはふつうのことであるから結婚した方がいい
3 結婚するしないは個人の自由であるからどちらでもよい
4 結婚したい人が現れれば結婚し、そうでなければ結婚しなくてもよい
5 結婚したい人が同性でもよい
6 結婚しても、同じ氏(姓・名字)でなくてもよい
7 ひとり立ちできれば、あえて結婚しなくてもよい
8 結婚は自由を束縛するから、結婚しないほうがよい
9 当てはまるものはない

問5 女性の働き方について、以下a～eのような意見があります。

女性の働き方に関するあなたの考えに最も近いものを教えてください。(各々1つずつ)

	そ う 思 う	そ ど ち ら か と 言 う と	そ ど ち ら か と 言 う と	そ う 思 わ な い
a 結婚や出産に関わりなく、一生職業を持つ	1	2	3	4
b 結婚までは職業をもつが、結婚後はもたない	1	2	3	4
c 結婚後、子どもが生まれるまでは職業をもち、 その後はもたない	1	2	3	4
d 子育ての時期だけ一時辞めて、その前後は職業をもつ	1	2	3	4
e 一生仕事を持たず家事に専念する	1	2	3	4

問6 子育てについて、以下a～eのような意見があります。

あなたの考えに最も近いものを教えてください。(各々1つずつ)

	そう 思う	どちら かと言 うと	どちら かと言 うと	そう 思わ ない
a 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい	1	2	3	4
b 女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい	1	2	3	4
c 男の子にも、家事ができるように育てるのがよい	1	2	3	4
d 性別に関わらず、経済的自立や家事ができるように育てるのがよい	1	2	3	4
e 父親は現在よりももっと子育てにかかわるほうがよい	1	2	3	4

問7 職場や学校などにおける性別による服装や身だしなみのあり方について、以下a～fのような意見があります。あなたの考えに最も近いものを教えてください。(各々1つずつ)

	そう 思う	どちら かと言 うと	どちら かと言 うと	そう 思わ ない
職場では…				
a 女性はパンプス(ハイヒール)を履くべきだ	1	2	3	4
b 男性はパンプス(ハイヒール)を履くべきでない	1	2	3	4
c 女性はメイク(化粧)をするべきだ	1	2	3	4
d 男性はメイク(化粧)をすべきでない	1	2	3	4
学校では…				
e 女性がスラックス(ズボン)をはいてもよい	1	2	3	4
f 男性がスカートをはいてもよい	1	2	3	4

DV・IPVについて

DV(ドメスティック・バイオレンス)やIPV(インティメイト・パートナー・バイオレンス)とは、配偶者やパートナー、恋人など、親密なパートナー間での暴力のことを指す言葉で、身体的・精神的・性的・経済的など様々な暴力が含まれます。

このうちDVは、直訳すると「Domestic=家庭内の」「Violence=暴力」で、近年では「配偶者・パートナーからの暴力」という捉え方が一般的になってきています。

一方IPVは、「Intimate=親密な」「Partner=パートナー間の」「Violence=暴力」で、DVの一般的な認識に加えて、結婚していない恋人や元恋人、同居していない交際相手、同性のパートナー間など、親密な関係にある人からの暴力が幅広く含まれます。

問8 配偶者暴力防止法(配偶者等からの暴力防止、被害者保護を図る法律)について、どの程度ご存知でしたか。(1つだけ)

1 内容まである程度知っている	3 聞いたことがない
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	

問9 以下a～cの言葉について、どの程度ご存知でしたか。(各々1つずつ)

	知 内容 まで ある 程度	内 容は 知ら ない は ある が、	聞 いた こと が ない
a DV(ドメスティック・バイオレンス) ※ 現在、配偶関係にある配偶者・パートナー間での暴力	1	2	3
b IPV(インティメイト・パートナー・バイオレンス) ※ 上記に加え、結婚していない恋人や元恋人、同性のパートナー間など、配偶関係・パートナー関係にない間柄も含む関係で起きる暴力	1	2	3
c セクシュアル・ハラスメント ※ 性的いやがらせやおどし	1	2	3

問10 あなたがIPVだと思うものはどれですか。(当てはまるもの全て)

- 1 命の危険を感じるような暴力行為
- 2 髪を引っ張る、物を投げつける等、体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為
- 3 大声でどなる、無視する
- 4 人前又は人目のないところで馬鹿にする
- 5 大切にしているものを壊す
- 6 見たくないのにポルノビデオや雑誌を見せる
- 7 性行為を強要する
- 8 男性が避妊に協力しない
- 9 わずかな生活費しか渡さない、仕事に就くことを禁止する
- 10 友人や実家との付き合いを禁止する
- 11 外出先をチェックする、封書やメールを無断で見る
- 12 子どもの前で暴力をふるう
- 13 特になし

問11 あなたは直近5年間で、IPVについて見聞きしたことがありますか。(当てはまるもの全て)

- 1 自分が直接経験している・したことがある
- 2 親族・友人・知人から相談を受けている・受けたことがある
- 3 親族・友人・知人に暴力を受けている・受けた当事者がいる
- 4 親族・友人・知人に当事者はいないが、見聞きする・したことがある
- 5 見聞きしたことがない

問12へ

【問11で1を回答した方に】

問11-2 そのとき、どこ(誰)に相談しましたか。(当てはまるもの全て)

1 親・きょうだいなどの親族	6 弁護士などによる有料の法律相談
2 友人・知人	7 警察の相談窓口
3 男女共同参画センターなどの公の無料相談	8 その他(具体的に)
4 カウンセリングなどの私設の有料相談	9 誰にも相談していない → 問11-3へ
5 学校の相談窓口(先生)	

【問11-2で9を回答した方に】

問11-3 どこ(誰)にも相談しなかったのは、なぜですか。(当てはまるもの全て)

- 1 どこ(誰)に相談してよいかわからなかったから
- 2 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- 3 相談しても無駄だと思ったから
- 4 自分が受けている行為がIPVとは認識していなかったから
- 5 相手の仕返しが怖かったから(もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど)
- 6 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
- 7 自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから
- 8 世間体が悪いと思ったから
- 9 他人を巻き込みたくなかったから
- 10 他人に知られるとこれまで通りの付き合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから
- 11 そのことについて思い出したくなかったから
- 12 自分にも悪いところがあると思ったから
- 13 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
- 14 相談するほどのことではないと思ったから
- 15 自分の性別のことを知られたくなかったから
- 16 同性どうしの関係であることを知られたくなかったから
- 17 男性は相談の対象ではないと思ったから
- 18 性的マイノリティは相談の対象ではないと思ったから
- 19 相談できる時間帯が合わなかったから
- 20 その他(具体的に)

【以降、全ての方に】

問12 IPVに対する対策や支援として、特にどのようなものを充実すべきだと思いますか。(3つまで)

- 1 家庭内でも暴力は犯罪であるという意識啓発
- 2 いざというときに駆け込める緊急避難所の整備
- 3 幅広い相談時間の設定
- 4 性別に関わらず利用できる相談窓口の整備
- 5 住居や就労、経済的援助など、生活支援の充実
- 6 カウンセリングや日常的な相談など、精神的援助の充実
- 7 関係機関やスタッフの充実
- 8 関係機関の紹介や暴力への対応方法など、色々な情報の提供
- 9 離婚調停への支援など、法的なサポートの充実
- 10 加害者に対する厳正な対処
- 11 カウンセリングなど加害者の更生に関する対策の充実
- 12 裁判所、病院、住居探し等への同行支援
- 13 その他(具体的に)
- 14 わからない

問13 渋谷区では、配偶者やパートナーから受けている様々な暴力についての電話相談窓口(渋谷区IPV相談支援センター)を設置しています。
渋谷区IPV相談支援センターをご存知でしたか。(1つだけ)

1 知っていた	2 知らなかった

ワーク・ライフ・バランスについて

問14 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度についてお伺いします。

以下の中で、あなたの気持ちに最も近いものはどれですか。(1つだけ)

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 8 わからない

問14-2 では、あなたの現実・現状に最も近いものはどれですか。(1つだけ)

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 8 わからない

- 問15 「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」のために必要なものは何だと思いますか。
 現在、企業にお勤めの方(【F4で2、3と回答した方】)は、
 勤務先で取組まれているものもお答えください。(各々当てはまるもの全て)

この設問はタテに回答してください。 ↓	必要だ と思う もの	勤務先 で 取組 ま れ て い る も の
【企業・職場の取組み】		
1 長時間労働の削減や、年次有給休暇の取得促進	1	1
2 業務の繁忙に応じて働き方を見直したり、生産性の向上を図ったりすること	2	2
3 勤務時間を柔軟化すること(時差出勤やフレックスタイム制の拡充 等)	3	3
4 勤務場所を柔軟化すること(テレワークの利用拡充 等)	4	4
5 労働時間の長さではなく、仕事の成果を評価すること	5	5
6 男女間で、業務配分や配属、昇進・昇格等における格差をなくすこと	6	6
7 育児・介護のための両立支援制度を整備すること・利用しやすい環境を整えること	7	7
8 ワーク・ライフ・バランスに関して、 人事部門や上司などに相談しやすい環境を整えること	8	8
9 妊娠・出産・育児休業・介護等に関するハラスメントや不利益取扱いについて、 相談窓口を整備すること	9	9
【行政や、社会全体・地域での取組み】		
10 ワーク・ライフ・バランスの実現に取組む企業に対して行政からの支援を充実させること	10	-
11 保育・介護サービスが充実すること	11	-
12 地域全体で子育てや介護を見守り、助け合うこと	12	-
13 「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識を解消すること	13	-
【その他】		
14 その他(具体的に)	14	14
15 わからない・当てはまるものはない	15	15

人権に対する意識・関心

問16 以下のような人権にかかわる問題について、あなたの関心度合いをお答えください。
(各々1つずつ)

	関 心 が あ る	やや 関 心 が あ る	あ ま り 関 心 が あ り ま す	全 く 関 心 が あ り ま す
a 女性の人権	1	2	3	4
b 子どもの人権	1	2	3	4
c 高齢者の人権	1	2	3	4
d 障害を理由とする偏見や差別の問題	1	2	3	4
e 部落差別(同和問題)	1	2	3	4
f アイヌの人々の偏見や差別の問題	1	2	3	4
g 外国人の人権	1	2	3	4
h 感染症に関連する偏見や差別の問題	1	2	3	4
i ハンセン病患者・元患者 及びその家族に対する偏見や差別の問題	1	2	3	4
j 刑を終えて出所した人 及びその家族に対する偏見や差別の問題	1	2	3	4
k 犯罪被害者及びその家族の人権	1	2	3	4
l インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題	1	2	3	4
m 北朝鮮当局による人権侵害の問題	1	2	3	4
n ホームレスに対する偏見や差別の問題	1	2	3	4
o 性的マイノリティに関する偏見や差別の問題	1	2	3	4
p 人身取引の問題	1	2	3	4
q 震災等の災害に起因する偏見や差別の問題	1	2	3	4
r ゲノム情報(遺伝情報)に関する偏見や差別の問題	1	2	3	4

問17 若者や高齢者、子育て世代、障害者、外国人、性的マイノリティなど、渋谷区には様々な人々が暮らしています。また、訪都外国人の約6割が渋谷を訪れるという調査結果もあり、国籍や文化的背景をはじめ、渋谷区に集まる人々の属性も多様化しています。

こうした背景の中で、住民だけでなく、渋谷区を訪れる人々も含めて、誰もが安心して暮らし、活動できるまちづくりのために必要な取組みとして、特にどのようなことを充実すべきだと思いますか。(3つまで)

- 1 人権に関する正確で信頼できる情報を、区民や来街者に向けて、多様な手段で発信する取組み
- 2 人権に関する誤情報や偏見に惑わされず、
正しい情報に基づき意思決定をする力(リテラシー)を育む取組み
- 3 防犯、防災、医療、子育てなど、生活に係る情報案内の多言語対応
- 4 バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する情報の可視化(バリアフリーマップの作成など)
- 5 外国人に対する過剰な警戒や排除的な対応(外国人お断りの掲示版、
「外国人はマナーが悪い」との決めつけや偏見に基づく非難など)を防ぐための地域住民への理解促進
- 6 外国人観光客からの迷惑行為の防止に向けた取組み(マナーやルールを理解不足・無視など)
- 7 多様な人々が安心して利用できる公共空間の実現に向けた、ヘイトスピーチや差別的な言動への対応
- 8 若者の犯罪被害防止に向けた取組み(防犯カメラの設置、若者を対象とした居場所づくり、教育など)
- 9 多様な人々(高齢者、障害者、ひとり親、性的マイノリティなど)が孤立しないための
地域コミュニティの活性化・地域での多様な居場所作り
- 10 多様な人々が安心して地域に参画できるようにするための地域の人々に向けた意識啓発
(多様な価値観を知るための情報発信、地域の店舗・地域住民等に向けた多様性への理解醸成など)
- 11 その他(具体的に:)
- 12 特にない

性の多様性について

以降の設問では、性の多様性についてのお考えを伺います。

出生時の戸籍・出生届の性別や性自認、カミングアウトなど回答しづらい設問もありますが、これらは個人を特定するものではなく、集計・分析は匿名で行われます。皆さまの率直なご意見が、より包括的で安心できる支援体制の構築につながりますので、安心してご回答いただければ幸いです。

性的マイノリティ(性的少数者、LGBT、LGBTQ)とは、

L:レズビアン(女性として女性が好きな人)

G:ゲイ(男性として男性が好きな人)

B:バイセクシュアル(同性にひかれる場合も異性にひかれる場合もある人)

T:トランスジェンダー(自認する性とからだの性の不一致や違和感を感じる人、
出生時に割り当てられた性別とは異なる性別として生きる人)

Q:クエスチョニング(自分の性のありようについて迷っている人、決めていない人)

など、多様な性自認や性的指向を持つ人たちを指します。

問18 性的マイノリティについて、どの程度ご存知でしたか。(1つだけ)

1 言葉も意味も知っている	3 言葉も意味も知らない
2 言葉は知っているが、意味は知らない	

問19 2023年6月、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に寛容な社会の実現に資することを目的として、「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律(通称「LGBT理解増進法」)」が、施行されました。
この法律について、どの程度ご存知でしたか。(1つだけ)

1 内容まである程度知っている	3 聞いたことがない
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	

問20 あなたの性別(出生時の戸籍・出生届の性別)をお答えください。(1つだけ)

1 男性	2 女性

問21 あなたは今のご自身の性別を、
出生時に割り当てられた性別と同じだと認識していますか。(1つだけ)

1 出生時に割り当てられた性別と同じ	2 別の性別だととらえている 3 違和感がある

↓
【問21で2か3を回答した方に】

問21-2 今の認識に最も近い性別を教えてください。(1つだけ)

1 男性	6 自分の性別が揺れ動いていると認識している
2 女性	7 その他(具体的に:)
3 男性・女性のどちらでもあると認識している	
4 男性・女性の間であると認識している	
5 男性・女性のどちらでもないとして認識している	

【以降、全ての方に】

問22 今のあなたに最も近いと思うものを教えてください。(1つだけ)

- | |
|--|
| 1 異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない(異性のみに性愛感情を抱く人) |
| 2 ゲイ・レズビアン・同性愛者(同性のみに性愛感情を抱く人) |
| 3 バイセクシュアル・両性愛者(男女どちらにも性愛感情を抱く人) |
| 4 アセクシュアルもしくはエイセクシュアル・無性愛者(誰に対しても性愛感情を抱かない人) |
| 5 決めたくない・決めていない |
| 6 その他(具体的に) |
| 7 質問の意味がわからない |

【問22で2～6を回答した方に】

問23 あなたが性的マイノリティだとカミングアウトをした人はいらっしゃいますか。
(当てはまるもの全て)

1 誰にもカミングアウトしていない	※ 以下、項目3～17への回答は不要です。
2 特に隠していない・公言している	
3 性的マイノリティでない友人	
4 性的マイノリティである友人	
5 配偶者・パートナー	
※性別や、婚姻状況・パートナーシップに関する証明書・宣誓書等の取得状況は問いません。	
6 父	12 性的マイノリティの支援団体
7 母	13 医療・援助職関係者(医師・カウンセラーなど)
8 子ども	14 学校関係者(教員・養護教諭など)
9 きょうだい	15 行政の相談窓口
10 その他の親族	16 近所の人・地域の人
11 職場関係者	17 その他(具体的に)

【以降、全ての方に】

問24 あなたの周りに性的マイノリティの人がいますか。(当てはまるもの全て)

1 家族・親戚	4 その他(具体的に)
2 友人・知人	5 一人もいない
3 職場の同僚、関係者	

問25 あなたは性的マイノリティの人からカミングアウト(※)をされたことがありますか。

※ カミングアウトとは、自分が性的マイノリティである／あるいはそうかもしれないことを打ち明けること
(当てはまるもの全て)

1 友人	7 きょうだい
2 異性の配偶者(夫・妻)／パートナー	8 その他の親族
3 同性の配偶者／パートナー	9 職場関係者
4 父	10 近所の人・地域の人
5 母	11 その他(具体的に)
6 子ども	12 誰からもカミングアウトされたことはない

問26 あなたは、ある人から「性的マイノリティである」ことを伝えられたとしたら、その人とどのように接すればよいか不安に思いますか。(1つだけ)

1 どのように接すればよいか、不安はない	3 どのように接すればよいか、そもそも見当がつかない
2 どのように接すればよいか、不安である	4 あてはまるものはない

問27 あなたは、ある人から「性的マイノリティである」ことを伝えられたときに、その事実や内容を第三者に伝えることについてどう考えますか。(1つだけ)

1 第三者には伝えるべきでない
2 本人からの明示的な許可がない限り第三者に伝えてはいけない
3 本人から秘密にしてほしいと言われたい限り第三者に伝えても問題ない
4 第三者に伝えても問題ない

問28-1 多様な性のありようについて、以下a～eのような意見があります。
あなたの考えに最も近いものを教えてください。(各々1つずつ)

	そう 思う	そう 思う か と 言 う と	そう 思 わ な い と 言 う と	そう 思 わ な い
a 性別を男性から女性に変える人がいることに、抵抗はない	1	2	3	4
b 性別を女性から男性に変える人がいることに、抵抗はない	1	2	3	4
c 男性に恋愛感情を抱く男性がいることに、抵抗はない	1	2	3	4
d 女性に恋愛感情を抱く女性がいることに、抵抗はない	1	2	3	4
e 男女両方に恋愛感情を抱く人がいることに、抵抗はない	1	2	3	4

問28-2 あなたの家族(親、子ども、きょうだい)の性のありようについて、
あなたの考えに最も近いものを教えてください。(各々1つずつ)

	そう 思う	そう 思う か と 言 う と	そう 思 わ な い か と 言 う と	そう 思 わ な い
a 家族が性別を男性から女性に変えるとしても、抵抗はない	1	2	3	4
b 家族が性別を女性から男性に変えるとしても、抵抗はない	1	2	3	4
c 男性の家族が、男性に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない	1	2	3	4
d 女性の家族が、女性に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない	1	2	3	4
e 家族が、男女両方に恋愛感情を抱くとしても、抵抗はない	1	2	3	4

問29 性的マイノリティへの対応・支援に関し「学校がすべき取組み」について、
あなたの考えを教えてください。(当てはまるもの全て)

1 性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業 2 図書館等で性の多様性に関する書籍を紹介 3 相談窓口の設置 4 孤立しがちな性的マイノリティ当事者の交流の場の設置 5 生徒の希望に合った性別の制服着用を認める 6 性別を問わないトイレの設置や性的マイノリティ当事者が希望する性別でのトイレの利用 7 性的マイノリティ当事者が希望する通称名の使用や 希望する性別としての名簿上の扱いを認める 8 その他(具体的に 9 特になし／わからない	)

問30 性的マイノリティの人が社会の中で直面する困難のうち、
当事者が特に深刻だと感じていると思われるものをお答えください。(3つまで)

1 学校でのいじめや教育現場での理解不足(男らしさ・女らしさの強要やそれに係るからかい、 自分の性のあり方を伝えることや、その情報共有の範囲への不安など) 2 職場での差別やハラスメント(自分の性のあり方を伝えることを強要・禁止されたり、 第三者に暴露されたりすることなど) 3 家庭や身近な人との関係性における困難 (自分の性のあり方を伝えることへの不安や葛藤など) 4 日常生活における無理解や孤立感 5 トイレや更衣室などの施設、セーフスペースの欠如 6 メディアやSNSでの偏った表現や誹謗中傷 7 安心して暮らせる住環境の確保の難しさ 8 結婚・子育て・住まいなどをはじめとした公的サービスや制度の利用における不平等 9 医療・福祉サービスにおける対応の不十分さ 10 複数の困難が重なり、精神的・社会的に孤立しやすい状況 11 特になし／わからない

犯罪被害者等の支援について

設問では、制度の認知状況などを中心にお尋ねしますが、ご自身やご家族が犯罪被害に遭われた場合など、ご回答により辛い思いをされる可能性がある場合には、回答せず次の設問に進んでいただいても構いません。ご負担をおかけして恐れ入りますが、可能な範囲でご協力ください。

犯罪被害者等(犯罪被害に遭われたご本人やそのご家族・ご遺族)は、犯罪による直接的な被害だけではなく、心身の不調や経済的困窮、捜査・裁判等に伴う精神的・時間的負担、他者の心ない言葉や対応などによる精神的被害など、二次被害を受けることも少なくありません。そのため、政府や地方公共団体、民間団体等による様々な支援が行われています。

問31 あなたは、ご自身が、渋谷区で暮らす中で(通勤・通学される場合などを含む)、
以下のような犯罪等の被害に遭うかもしれないという不安を感じることはありますか。
犯罪全般、個別の犯罪等それぞれについてお答えください。(各々1つずつ)

	よくある	ときどきある	あまりない	全くない
a 犯罪全般	1	2	3	4
b 殺人、強盗、放火	1	2	3	4
c 暴行、傷害	1	2	3	4
d 住居等への侵入を伴う窃盗(空き巣、事務所荒らしなど)	1	2	3	4
e 住居等への侵入を伴わない窃盗(すり、ひったくり、車上荒らしなど)	1	2	3	4
f 不同意性交、不同意わいせつ	1	2	3	4
g 盗撮、痴漢行為	1	2	3	4
h つきまとい行為、ストーカー行為	1	2	3	4
i 覚せい剤などの薬物犯罪	1	2	3	4
j 恐喝・特殊詐欺(オレオレ詐欺、還付金詐欺、ロマンス詐欺など)	1	2	3	4
k 悪質商法(訪問販売、スカウト詐欺、闇バイトなど)	1	2	3	4
l 危険運転・飲酒運転など悪質な運転行為による交通事故	1	2	3	4

問32 これまでに、あなたやご家族が上記のような犯罪被害に遭われたことはありますか。(1つだけ)

- 1 犯罪被害に遭ったことがある 2 犯罪被害に遭ったことはない

問33 あなたは犯罪被害者やその家族の尊厳を守り、平穏な生活の回復を支援する(孤立や二次被害の防止など)ための法律である「犯罪被害者等基本法」をご存知ですか。(1つだけ)

1 内容まである程度知っている	3 聞いたことがない
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	

問34 渋谷区による犯罪被害者等に向けた支援として、特にどのようなものを充実すべきだと思いますか。
(3つまで)

- 1 総合的な相談窓口の設置
- 2 警察などへの対応に関する支援(法律相談、同行支援、費用助成など)
- 3 医療に関する支援(治療、カウンセリング、医療機関の紹介、費用助成など)
- 4 就労・就学に関する支援(就労相談窓口への紹介、費用助成など)
- 5 経済的な支援(見舞金の支給、生活資金の貸付など)
- 6 生活に関する支援(配食サービス、家事・子育て・介護に関する支援など)
- 7 住居確保のための支援(一次避難場所、家賃・転居費用の補助など)
- 8 犯罪被害者等を支援する人材の確保・育成(区職員への研修、専門職の確保・育成など)
- 9 犯罪被害者等が置かれている状況(精神的被害、経済的困窮、世間の誤解や中傷など)
についての区民への啓発
- 10 犯罪被害者等への支援に関する法律や取組みの周知
- 11 その他(具体的に:)
- 12 わからない

渋谷区の取組みについて

渋谷区では、男女の人権の尊重、性的少数者の人権の尊重を基本理念とする「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」を2015年に施行しました。

同条例を「渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例」に改正し、2024年4月より施行しています。

条例では、ジェンダーやセクシュアリティだけでなく、すべての人権を尊重し合い、差別や偏見がなく自分らしく生きられる社会を推進していくことを規定しています。

※条例とは、地方公共団体が制定する法の一種です。

問35 「渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例」について、どの程度ご存知でしたか。
(1つだけ)

1 内容まである程度知っている	3 聞いたことがない
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	

問36 渋谷区では、すべての人が持っている性のありようを示す概念として、「SOGIE(ソジー)」という言葉を用いることがあります。あなたはSOGIEという言葉についてご存知でしたか。(1つだけ)
※SOGIEとは以下の頭文字を取った略語です。

SO:Sexual Orientation(性的指向) GI:Gender Identity(性自認)
GE:Gender Expression(ジェンダー表現)

1 内容まである程度知っている	3 聞いたことがない
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	

問37 渋谷区には、人権を尊重し差別をなくす社会を推進するための拠点施設として、
「渋谷インクルーシブシティセンター<アイリス>」(旧称:渋谷男女平等・ダイバーシティセンター
<アイリス>)があります。あなたはこのセンターについてご存知でしたか。(1つだけ)

1 利用したことがある	3 知らない
2 知っているが、利用したことはない	

問38 「渋谷区パートナーシップ証明制度(法律上の婚姻関係にない二人を、婚姻関係と異ならない
程度の実質を備えたパートナー関係であるとして渋谷区が証明する制度)」について、
どの程度ご存知でしたか。(1つだけ)

1 内容まである程度知っている	3 聞いたことがない
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	

【問38で1または2を回答した方に】

問39 渋谷区パートナーシップ証明制度は2024年4月より、同性カップルだけではなく異性カップルも
制度の対象になりました。このことについてご存知でしたか。(1つだけ)

1 知っていた	2 知らなかった

【以降、全ての方に】

問40 渋谷区役所や区の関連施設・教育機関(保育園、幼稚園、小学校、中学校など)を利用した際に、
ジェンダーやセクシュアリティに関する配慮が十分でない(職員等の対応や言葉遣いに、性別や
家族構成に関する思い込みが感じられたなど)と感じたことはありますか。(1つだけ)

- | |
|---------------------------------|
| 1 はい(その時に内容や感じたことをご記入ください:
) |
| 2 いいえ |

問41-1 渋谷区は「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」を基本構想に掲げ、あらゆる人々の様々な多様性を認め合い、誰もが自分らしく過ごせる街を目指しています。

ジェンダーやセクシュアリティの視点において、

これから区がどのようなことに力を入れて取組むとよいと思いますか。

(「区が力を入れて取組むとよいと思うこと」は当てはまるもの全て、「そのうち、あなたが最も重視すること」は1つだけ)

この設問はタテに回答してください。↓		区が力を入れていること	最も重視すること、あなたが
1	子ども・子育て・教育 (教育現場での性の多様性への理解促進、性別による役割の固定化の解消など)	1	1
2	健康・医療・福祉 (性差を踏まえた健康支援、性のありようにかかわらず利用しやすい福祉サービスなど)	2	2
3	防災・安全・環境(災害時の避難所や安全対策における性のありようの視点など)	3	3
4	まちづくり・住まい・公共空間 (性のありようにかかわらず安心して利用できる公共施設や住環境の整備など)	4	4
5	行政サービス・区政運営 (性のありようにかかわらず利用しやすい行政手続き、情報発信のあり方など)	5	5
6	働き方・経済活動 (職場での性のありように関するハラスメント防止など、誰もが働きやすい環境づくり)	6	6
7	そのほかジェンダーやセクシュアリティの多様性を踏まえた取組み	7	7
8	特になし	8	-

【問41-1の「そのうち、最もあなたが重視すること」で1～7を回答した方に】

問41-2 前問でお答えいただいた「あなたが最も重視すること」について、
具体的にどのような取組みをするとよいと思うかをお答えください。

ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただいた調査用紙は同封の返信用封筒に封入のうえ、
10月10日(金)までにご投函ください。

人権尊重社会推進に関する意識調査 ご協力をお願い

このアンケート調査は中学生の皆さんが、男女平等や性の多様性をはじめとした様々な人権について感じていることや、どのような考えを持っているかを知るためのものです。

皆さんの回答を集計した結果は「渋谷区男女平等・多様性社会推進行動計画」をつくるための基礎資料として使わせていただきます。皆さんの回答は個人が特定される形で使われることはありません。

また、保護者や学校の先生、クラスメイトなどにあなたの回答が知られることはありません。

普段思っていることや周りで起こっていることなどについて、答えられる範囲で、ありのままにお答えください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2025年9月

渋谷区長 **長谷部 健**

※本調査に関するお問い合わせがございましたら、下記までご連絡ください。

渋谷インクルーシブシティセンター＜アイリス＞

〒150-0031 渋谷区桜丘町23番21号 渋谷区文化総合センター大和田8階

電話：03-3464-3395 FAX：03-3464-3398

2025年10月10日(金)までにご回答ください。

あなた自身について

F1 あなたの通っている学校名を教えてください。(1つだけ)

1 広尾中学校	5 原宿外苑中学校
2 鉢山中学校	6 笹塚中学校
3 上原中学校	7 松濤中学校
4 代々木中学校	8 渋谷本町学園中学校

男女共同参画について

男女共同参画社会とは、男女が性別に関わらず社会の対等な構成員として、政治的、経済的、社会的、文化的利益を享受し、責任を担う社会のことです。

男女共同参画社会基本法は1999年に施行された、性別にかかわらず、自分らしく過ごせる社会の実現を目指すための基本的なルールを定めたものです。同法では、「男女の人権の尊重」「家庭生活における活動と他の活動の両立」「社会における制度又は慣行についての配慮」など5つの基本理念を掲げ、行政や国民が果たすべき役割をそれぞれ定めています。

問1 あなたは、これまでに「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(1つだけ)

1 よく言われる	3 あまり言われない
2 ときどき言われる	4 ぜんぜん言われない

【問1で1～3を回答した方に】

問1-2 あなたは言われたとき、どんな気持ちになりましたか。(1つだけ)

1 いやな気持ちでした	3 なんて思わなかった
2 その通りだと思った	4 その他(具体的に:)

【問1で1～3を回答した方に】

問1-3 どんなことについて言われましたか。(当てはまるもの全て)

1 ことばづかい	9 テレビ番組
2 服装・身だしなみ	10 友人関係
3 整理整頓	11 家に帰る時間
4 お手伝い	12 スポーツ
5 食事の仕方	13 お金の使い方
6 すわり方	14 泣いたとき
7 歩き方	15 当てはまるものはない
8 勉強	

【問1で1～3を回答した方に】

問1-4 誰に言われましたか。(当てはまるもの全て)

1 お父さん	7 近所の人(男性)
2 お母さん	8 近所の人(女性)
3 おじいさん	9 友だち(男性)
4 おばあさん	10 友だち(女性)
5 兄または弟	11 先生(男性)
6 姉または妹	12 先生(女性)
	13 その他(具体的に:)

問2 あなたは「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどのように思いますか。(1つだけ)

1 賛成	3 どちらかと言えば反対	→ 問2-3へ
2 どちらかと言えば賛成	4 反対	
5 わからない → 問3へ		

【問2で1か2を回答した方に】

問2-2 賛成する理由を教えてください。(当てはまるもの全て)

1 役割分担をした方が効率が良いと思うから	5 それが当たり前だと思うから
2 男性の方が収入が多いから	6 身体づくりが違うから
3 女性の方が子育てや介護に向いていると思うから	7 その他(具体的に:)
4 男性の方が仕事に向いていると思うから	8 理由を考えたことはない

【問2で3か4を回答した方に】

問2-3 反対する理由を教えてください。(当てはまるもの全て)

1 男女ともに仕事と家庭に関わる方がよいと思うから	5 性別に関わらず、得意なことをやれば良いと思うから
2 女性が働くことは当たり前だと思うから	6 夫と妻の役割分担を押し付けるべきではないから
3 男性が子育て・介護・家事などをするのは当たり前だと思うから	7 その他(具体的に)
4 男女は平等であるから	8 理由を考えたことはない

【以降、全ての方に】

問3 以下a～cの場面で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(各々1つずつ)

	優男 遇性 さの れ方 が い る	優男 遇性 さの れ方 が い る	ど ち ら か と 言 え ば	平 等 で あ る	優女 遇性 さの れ方 が い る	ど ち ら か と 言 え ば	優女 遇性 さの れ方 が い る
a 家庭生活の中で	1	2		3	4		5
b 学校の中で	1	2		3	4		5
c 社会全体の中で	1	2		3	4		5

問4 結婚について、あなたの考えに近いものを教えてください。(当てはまるもの全て)

1 精神的な安定が得られるから結婚した方がいい
2 家庭を持ち、子どもをもうけることはふつうのことであるから結婚した方がいい
3 結婚するしないは個人の自由であるからどちらでもよい
4 結婚したい人が現れれば結婚し、そうでなければ結婚しなくてもよい
5 結婚したい人が同性でもよい
6 結婚しても、同じ氏(姓・名字)でなくてもよい
7 ひとり立ちできれば、あえて結婚しなくてもよい
8 結婚は自由を束縛するから、結婚しないほうがよい
9 当てはまるものはない

問5 女性の働き方について、以下a～eのような意見があります。

女性の働き方に関するあなたの考えに最も近いものを教えてください。(各々1つずつ)

	そう 思う	そう 思う とど ちら か と 言 う	そう 思 わ な い とど ちら か と 言 う	そう 思 わ な い
a 結婚や出産に関わりなく、一生職業を持つ	1	2	3	4
b 結婚までは職業をもつが、結婚後はもたない	1	2	3	4
c 結婚後、子どもが生まれるまでは職業をもち、 その後はもたない	1	2	3	4
d 子育ての時期だけ一時辞めて、その前後は職業をもつ	1	2	3	4
e 一生仕事を持たず家事に専念する	1	2	3	4

問6 子育てについて、以下a～eのような意見があります。

あなたの考えに最も近いものを教えてください。(各々1つずつ)

	そう 思う	そう 思う とど ちら か と 言 う	そう 思 わ な い とど ちら か と 言 う	そう 思 わ な い
a 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい	1	2	3	4
b 女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい	1	2	3	4
c 男の子にも、家事ができるように育てるのがよい	1	2	3	4
d 性別に関わらず、経済的自立や家事ができるように育てる のがよい	1	2	3	4
e 父親は現在よりももっと子育てにかかわるほうがよい	1	2	3	4

問7 職場や学校などにおける性別による服装や身だしなみのあり方について、以下a～fのような意見があります。あなたの考えに最も近いものを教えてください。(各々1つずつ)

	そう 思う	そう 思う とど ちら か と 言 う	そう 思 わ な い とど ちら か と 言 う	そう 思 わ な い
職場では...				
a 女性はパンプス(ハイヒール)を履くべきだ	1	2	3	4
b 男性はパンプス(ハイヒール)を履くべきでない	1	2	3	4
c 女性はメイク(化粧)をするべきだ	1	2	3	4
d 男性はメイク(化粧)をすべきでない	1	2	3	4
学校では...				
e 女性がスラックス(ズボン)をはいてもよい	1	2	3	4
f 男性がスカートをはいてもよい	1	2	3	4

DV・IPVについて

DV(ドメスティック・バイオレンス)やIPV(インティメイト・パートナー・バイオレンス)とは、配偶者やパートナー、恋人など、親密なパートナー間での暴力のことを指す言葉で、身体的・精神的・性的・経済的など様々な暴力が含まれます。

このうちDVは、近年では「配偶者・パートナーからの暴力」と考えるのが一般的になってきています。

一方IPVは、DVに加えて、結婚していない恋人や元恋人、同居していない交際相手、同性のパートナー間など、親密な関係にある人からの暴力が幅広く含まれます。

問8 配偶者暴力防止法(配偶者等からの暴力防止、被害者保護を図る法律)について、どの程度ご存知でしたか。(1つだけ)

1 内容まである程度知っている	3 聞いたことがない
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	

問9 以下a～cの言葉について、どの程度ご存知でしたか。(各々1つずつ)

	知 内 容 ま で あ る 程 度	内 容 は 知 ら な い	聞 い た こ と は あ る	聞 い た こ と が な い
a DV(ドメスティック・バイオレンス) ※ 現在、配偶関係にある配偶者・パートナー間での暴力	1	2	3	
b IPV(インティメイト・パートナー・バイオレンス) ※ 上記に加え、結婚していない恋人や元恋人、同性のパートナー間など、配偶関係・パートナー関係にない間柄も含む関係で起きる暴力	1	2	3	
c セクシュアル・ハラスメント ※ 性的いやがらせやおどし	1	2	3	

問10 あなたがIPVだと思うものはどれですか。(当てはまるもの全て)

- 1 命の危険を感じるような暴力行為
- 2 髪を引っ張る、物を投げつける等、体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為
- 3 大声でどなる、無視する
- 4 人前又は人目のないところで馬鹿にする
- 5 大切にしているものを壊す
- 6 見たくないのにポルノビデオや雑誌を見せる
- 7 性行為を強要する
- 8 男性が避妊に協力しない
- 9 わずかな生活費しか渡さない、仕事に就くことを禁止する
- 10 友人や実家との付き合いを禁止する
- 11 外出先をチェックする、封書やメールを無断で見る
- 12 子どもの前で暴力をふるう
- 13 特になし

人権に対する意識・関心

問11 以下のような人権にかかわる問題について、あなたの関心度合いをお答えください。
(各々1つずつ)

	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない
a 女性の人権	1	2	3	4
b 子どもの人権	1	2	3	4
c 高齢者の人権	1	2	3	4
d 障害を理由とする偏見や差別の問題	1	2	3	4
e 部落差別(同和問題)	1	2	3	4
f アイヌの人々の偏見や差別の問題	1	2	3	4
g 外国人の人権	1	2	3	4
h 感染症に関連する偏見や差別の問題	1	2	3	4
i ハンセン病患者・元患者 及びその家族に対する偏見や差別の問題	1	2	3	4
j 刑を終えて出所した人 及びその家族に対する偏見や差別の問題	1	2	3	4
k 犯罪被害者及びその家族の人権	1	2	3	4
l インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の問題	1	2	3	4
m 北朝鮮当局による人権侵害の問題	1	2	3	4
n ホームレスに対する偏見や差別の問題	1	2	3	4
o 性的マイノリティに関する偏見や差別の問題	1	2	3	4
p 人身取引の問題	1	2	3	4
q 震災等の災害に起因する偏見や差別の問題	1	2	3	4
r ゲノム情報(遺伝情報)に関する偏見や差別の問題	1	2	3	4

性の多様性について

以降の設問では、性の多様性についてのお考えを伺います。

出生時の戸籍・出生届の性別や、今の自分の性別についての認識など、回答しづらい設問もありますが、これらは個人を特定するものではなく、集計・分析は匿名で行われます。皆さまの率直なご意見が、より包括的で安心できる支援体制の構築につながりますので、安心してご回答いただければ幸いです。

性的マイノリティ(性的少数者、LGBT、LGBTQ)とは、

L:レズビアン:女性として女性が好きな人

G:ゲイ:男性として男性が好きな人

B:バイセクシュアル:同性にひかれる場合も異性にひかれる場合もある人

T:トランスジェンダー:自認する性とからだの性の不一致や違和感を感じる人

(出生時に割り当てられた性別とは異なる性別として生きる人)

Q:クエスチョニング:自分の性のありようについて迷っている人、決めていない人

など、多様な性自認や性的指向を持つ人たちを指します。

問12 性的マイノリティについて、どの程度ご存知でしたか。(1つだけ)

1 言葉も意味も知っている	3 言葉も意味も知らない
2 言葉は知っているが、意味は知らない	

問13 あなたの性別(出生時の戸籍・出生届の性別)をお答えください。(1つだけ)

1 男性	2 女性

問14 あなたは今の自分の性別について、どのように感じていますか。(1つだけ)

1 問13で答えた性別と同じだと感じている	2 ほんとうは別の性別だと感じている 3 今の自分の性別は、本当の性別と違う部分があると感じている

↓
【問14で2か3を回答した方に】

問14-2 今の自分の性別に最も近い性別を教えてください。(1つだけ)

1 男性	6 自分の性別が揺れ動いていると認識している
2 女性	
3 男性・女性のどちらでもあると認識している	7 その他(具体的に:)
4 男性・女性の間であると認識している	
5 男性・女性のどちらでもないと感じている	

【以降、全ての方に】

問15 あなたが恋愛・性愛感情を抱く相手について、最も近いと思うものを教えてください。(1つだけ)

1 男女どちらにも恋愛・性愛感情を抱いたことがない	4 女性のみ
2 男性のみ	5 ほとんどが女性
3 ほとんどが男性	6 男性と女性同じぐらい

【以降、全ての方に】

問16 あなたの周りに性的マイノリティの人がいますか。(当てはまるもの全て)

1 家族・親戚	4 その他(具体的に)
2 友人・知人	5 一人もいない
3 学校の関係者、クラスメイトや部活の先輩後輩、教員など	

問17 あなたは、ある人から「性的マイノリティである」ことを伝えられたとしたら、その人とどのように接すればよいか不安に思いますか。(1つだけ)

1 どのように接すればよいか、不安はない	3 どのように接すればよいか、そもそも見当がつかない
2 どのように接すればよいか、不安である	4 あてはまるものはない

問18 あなたは、ある人から「性的マイノリティである」ことを伝えられたときに、その事実や内容を他の人に伝えることについてどう考えますか。(1つだけ)

- | |
|------------------------------------|
| 1 他の人には伝えるべきでない |
| 2 本人から伝えてもよいと言われない限り他の人に伝えてはいけない |
| 3 本人から秘密にしてほしいと言われない限り他の人に伝えても問題ない |
| 4 他の人に伝えても問題ない |

問19 性の多様性について、以下のような意見があります。
あなたの考えに最も近いものを教えてください。(1つだけ)

自分の性別に関する認識や恋愛・性愛感情を抱く性別は、人それぞれであってよい	
1 そう思う	3 どちらかと言うとそう思わない
2 どちらかと言うとそう思う	4 そう思わない

問20 性的マイノリティへの対応・支援に関し「学校がすべき取り組み」について、
あなたの考えを教えてください。(当てはまるもの全て)

1 性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業 2 図書館等で性の多様性に関する書籍を紹介 3 相談窓口の設置 4 孤立しがちな性的マイノリティ当事者の交流の場の設置 5 生徒の希望に合った性別の制服着用を認める 6 性別を問わないトイレの設置や性的マイノリティ当事者が希望する性別でのトイレの利用 7 性的マイノリティ当事者が希望する通称名の使用や 希望する性別としての名簿上の扱いを認める 8 その他(具体的に 9 特になし／わからない	)

犯罪被害者等の支援について

以降の設問では、犯罪被害者等の支援についてのお考えを伺います。

設問では、制度の認知状況などを中心にお尋ねしますが、ご自身やご家族が犯罪被害に遭われた場合など、ご回答により辛い思いをされる可能性がある場合には、回答せず次の設問に進んでいただいても構いません。ご負担をおかけして恐れ入りますが、可能な範囲でご協力ください。

犯罪被害者等(犯罪被害に遭われたご本人やそのご家族・ご遺族)は、犯罪による直接的な被害だけではなく、心身の不調や、金銭的な面での苦勞、捜査・裁判等に伴う精神的・時間的負担、他の人からの配慮がない言葉や対応などによる精神的被害など、その他の被害を受けることもあります。そのため、政府や地方公共団体、民間団体等による様々な支援が行われています。

- 問21 あなたは、ご自身が、渋谷区で暮らす中で、
以下のような犯罪等の被害に遭うかもしれないという不安を感じることはありますか。
犯罪全般、個別の犯罪等それぞれについてお答えください。(各々1つずつ)

	よくある	ときどきある	あまりない	全くない
a 犯罪全般	1	2	3	4
b 殺人、強盗、放火	1	2	3	4
c 暴行、傷害	1	2	3	4
d 住居等への侵入を伴う窃盗(空き巣など)	1	2	3	4
e 住居等への侵入を伴わない窃盗(すり、ひったくり、自転車泥棒など)	1	2	3	4
f 不同意性交、不同意わいせつ	1	2	3	4
g 盗撮、痴漢行為	1	2	3	4
h つきまとい行為、ストーカー行為	1	2	3	4
i 覚せい剤などの薬物犯罪	1	2	3	4
j 恐喝・特殊詐欺(オレオレ詐欺、還付金詐欺、ロマンス詐欺など)	1	2	3	4
k 悪質商法(訪問販売、スカウト詐欺、闇バイトなど)	1	2	3	4
l 危険運転・飲酒運転など悪質な運転行為による交通事故	1	2	3	4

- 問22 これまでに、あなたやご家族が上記のような犯罪被害に遭われたことはありますか。(1つだけ)

1 犯罪被害に遭ったことがある 2 犯罪被害に遭ったことはない

渋谷区の取組みについて

渋谷区では、男女の人権の尊重、性的少数者の人権の尊重を基本理念とする「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」を2015年に施行しました。

同条例を「渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例」に改正し、2024年4月より施行しています。

条例では、ジェンダーやセクシュアリティだけでなく、すべての人権を尊重し合い、差別や偏見がなく自分らしく生きられる社会を推進していくことを規定しています。

※条例とは、地方公共団体が制定する法の一つです。

問23 「渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例」について、どの程度ご存知でしたか。
(1つだけ)

1 内容まである程度知っている	3 聞いたことがない
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	

問24 渋谷区では、すべての人が持っている性のありようを示す概念として、「SOGIE(ソジー)」という言葉を用いることがあります。あなたはSOGIEという言葉についてご存知でしたか。(1つだけ)
※SOGIEとは以下の頭文字を取った略語です。

SO:Sexual Orientation(性的指向) GI:Gender Identity(性自認)

GE:Gender Expression(ジェンダー表現)

1 内容まである程度知っている	3 聞いたことがない
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	

問25 渋谷区には、人権を尊重し差別をなくす社会を推進するための拠点施設として、
「渋谷区インクルーシブシティセンター<アイリス>」(旧称:渋谷男女平等・ダイバーシティセンター
<アイリス>)があります。あなたはこのセンターについてご存知でしたか。(1つだけ)

1 利用したことがある	3 知らない
2 知っているが、利用したことはない	

問26 「渋谷区パートナーシップ証明制度(法律上の婚姻関係にない二人を、婚姻関係と異ならない
程度の実質を備えたパートナー関係であるとして渋谷区が証明する制度)」について、
どの程度ご存知でしたか。(1つだけ)

1 内容まである程度知っている	3 聞いたことがない
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	

【問26で1または2を回答した方に】

問27 渋谷区パートナーシップ証明制度は2024年4月より、同性カップルだけではなく異性カップルも
制度の対象になりました。このことについてご存知でしたか。(1つだけ)

1 知っていた	2 知らなかった

【以降、全ての方に】

問28 学校において、先生や職員の対応について、ジェンダーやセクシュアリティに関する配慮が十分でない
ことから(「男の子だからこうするべき」「女の子はこうあるべき」、「異性を好きになるのがふつう」など)
自分の気持ちや考えをわかってもらえなかったり、いやな気持ちになったことはありますか？(1つだけ)

- | |
|---------------------------------|
| 1 はい(その時に内容や感じたことをご記入ください:
) |
| 2 いいえ |

令和 7 年度人権尊重社会推進に関する意識調査 報告書

実施・発行 渋谷区総務部インクルーシブシティ推進課

令和 8 年 3 月発行